

**WebSphere® Application Server V4.0 for z/OS
and OS/390**



メッセージおよび診断

**WebSphere® Application Server V4.0 for z/OS
and OS/390**



メッセージおよび診断

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、581ページの『付録E. 特記事項』に記載する一般情報をお読みください。

本書は、WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 (5655-F31) に適用されます。また、新版で特に提示のない限り、これ以降のすべてのリリースとモディフィケーションに適用されます。

WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 の資料の最新バージョンは、次の Web サイトにあります。
<http://www.ibm.com/jp/software/websphere/appserv/>

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原典： GA22-7837-00
WebSphere® Application Server V4.0 for z/OS and OS/390
Messages and Diagnosis

発行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2001.6

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2000, 2001. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 2001

目次

図	vii	ローカル・トランザクション・ポリシー	23
		グローバル・トランザクション・ポリシー	24
表	ix	コールド・スタートに関連する問題の診断	24
		構成のバックアップ	25
		インストール時の障害に関する注意点	26
		現在のコールド・スタート環境変数	26
		詳細情報の入手方法	26
本書について	xi		
対象読者	xi		
本書の構成	xi		
関連情報の入手先	xiii		
変更の要約	xv		
第1章 概要	1		
診断者を表す図	1		
第2章 WebSphere for z/OS の診断	5		
弊社営業担当員への問題報告のためのヒント	5		
適切なサポート・レベルを選択する	5		
次の情報を準備する	5		
ランタイム環境のチェック・リスト	6		
使用できるツール	7		
WebSphere for z/OS で発生した問題の診断手順	9		
診断の 4 つの段階	9		
バックグラウンド・プロセス	15		
Application Server の診断時の考慮事項	15		
何が起きているか	15		
修正プログラムはすべてインストール済みか	16		
移植性が問題となっていないか	16		
診断情報の位置の判別に関するヘルプ	17		
トレースとエラー・ログ・ストリームのヒント	20		
Application Server トレースの実行	20		
Application Server のエラー・ログ・ストリームの表示	21		
IMS-APPC 手続き型アプリケーション・アダプターに関連する問題の診断	22		
ローカル・トランザクションのサポートに関連する問題の診断	23		
ローカル・トランザクション・モードとグローバル・トランザクション・モード間の切り替えに関するガイドライン	23		
ローカル・トランザクションの再開	23		
		ローカル・トランザクション・ポリシー	23
		グローバル・トランザクション・ポリシー	24
		コールド・スタートに関連する問題の診断	24
		構成のバックアップ	25
		インストール時の障害に関する注意点	26
		現在のコールド・スタート環境変数	26
		詳細情報の入手方法	26
		第3章 ランタイム・アクティビティーのトレース	29
		概要	29
		WebSphere for z/OS コンポーネント・トレースの計画	30
		WebSphere for z/OS トレース用 CTIBBOxx parmlib メンバーの作成	30
		WebSphere for z/OS トレースで使用するバッファの指定	32
		環境変数による WebSphere for z/OS トレース・オプションの指定	32
		トレース項目の決定	36
		WebSphere for z/OS トレース・データの取得	36
		トレース・バッファへのトレース	37
		トレース・データ・セットへのトレース	37
		CTRACE 外部ライターの実行	39
		Java サーバー・アプリケーションのトレース・データ収集のための CTRACE の実行	40
		IPCS の使用による WebSphere for z/OS トレース・データの表示	40
		IPCS ダイアログの使用による CTRACE データのフォーマット手順	41
		IPCS CTRACE のサブネームの検出	42
		複数のトレースの表示	43
		トレース用 WebSphere for z/OS 環境変数のまとめ	43
		バッファ	43
		オプション	43
		第4章 Java サーバー・アプリケーションのトレース	45
		バッチ・モードでの IPCS の使用による CTRACE データのフォーマットの設定手順	46

WebSphere for z/OS トレース・データを表 示するサンプル JCL	49	インターフェース・リポジトリ・ダン プ・ユーティリティ (BBOPUDMP) を使 用するとき	73
J2EE トレースの有効化の手順	50	インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ ユーティリティの使用	74
イベント・タイプ	50	入力	74
エラー・ログ・ストリームへのメッセージ出 力のフォーマット	52	出力	76
メッセージ長	53	BBOPUDMP 戻りコード	79
エラー・ログ・ストリームへのトレース出力 のフォーマット	53		
トレースの長さ	53		
第5章 WebSphere for z/OS エラー・ログ・ ストリームの使用	55	第8章 インターフェース・リポジトリ保全 性チェッカー (BBOPUNIT) の使用	81
WebSphere for z/OS エラー・ログ・ストリー ムの概要	55	インターフェース・リポジトリ保全性チェ ッカーの概要	81
エラー・ログ・ストリームのセットアップ	56	インターフェース・リポジトリ保全性チェ ッカーの使用	81
エラー・ログ・ストリーム名の識別	56	入力	81
ログ・ブラウズ・ユーティリティ (BBORBLOG) の使用	56	出力	83
エラー・ログ・ストリーム・レコード出力 の分析	57	BBOPUNIT 戻りコード	84
BBORBLOG ブラウザー出力の保管	59		
第6章 ネーミング・ダンプ・ユーティリテ ィ (BBOSNDMP) の使用	61	第9章 メッセージ -- GUI	87
ネーミング・ダンプ・ユーティリティの概 要	61	第10章 メッセージ -- スクリプト API	189
ネーミング・ダンプ・ユーティリティの使 用	61	第11章 メッセージ -- 照会	209
入力	61	第12章 メッセージ -- 一般	241
出力	62	第13章 エラー (マイナー) コード	363
ネーミング・ダンプ・ユーティリティの制 御ステートメント	65	第14章 異常終了 (理由) コード	535
ジョブ制御ステートメント	65	付録A. VERBEXIT CBADATA サブコマンド -- WebSphere for z/OS データのフォー マット	573
ユーティリティ制御ステートメント (ユ ーティリティ・オプション)	66	付録B. 自動化対応メッセージ	575
BBOSNDMP 制御ステートメントの例	69	付録C. 有効な WebSphere for z/OS エラ ー (マイナー) コードのコンポーネント範囲	577
TSO からの BBOSNDMP 制御ステートメ ントの例	71	付録D. WebSphere for z/OS エラー・ダン プおよびクリーンアップ・インターフェース	579
BBOSNDMP 戻りコード	72	プログラム要件	579
第7章 インターフェース・リポジトリ・ダ ンプ・ユーティリティ (BBOPUDMP) の使 用	73	一般情報	579
インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ ユーティリティの概要	73	入力レジスター情報	580
		出力レジスター情報	580
		例	580

付録E. 特記事項	581	商標	583
本書で正在している例について	583	用語集	585
プログラミング・インターフェース情報	583		



1. 問題判別の作業と責務 1
2. インターフェース・ダンプ出力 (テキスト) ファイルのレイアウト 76
3. インターフェース・リポジトリ健全性チェッカー 83

表

1.	役割別の診断者表	1	7.	BBOSNDMP レコード出力のパーツ表	63
2.	parmlib メンバーのパーツ表	31	8.	BBOSNDMP 戻りコード	72
3.	メッセージとトレース・データの表示方 法	45	9.	戻りコード BBOPUDMP	79
4.	トレース・イベント・タイプ	50	10.	BBOPUNIT 戻りコード	84
5.	サーバー・ログ・ストリーム・レコード 出力のパーツ表	58	11.	Component Broker 異常終了コード	535
6.	CERR レコード出力のパーツ表	59	12.	自動化に役立つメッセージ	575
			13.	有効なエラー (マイナー) コードのコン ポーネント範囲	577

本書について

本書では、WebSphere for z/OS に関連する問題の診断とデバッグ情報を示すとともに、問題発生時に出力される可能性のあるすべてのメッセージ、コード、および異常終了について解説しています。

注: 製品の完全な名前は「WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390」ですが、以後、本書内では「WebSphere for z/OS」または「Application Server」と呼びます。

対象読者

本書は、WebSphere for z/OS に関連する問題の診断とデバッグを行う必要のあるプロフェッショナル・プログラマー向けのマニュアルです。本書の内容を理解するには、豊富なプログラミング経験と、オブジェクト指向プログラミングおよび z/OS または OS/390 に関する一般知識が必要です。オブジェクト指向プログラミング言語による実際のプログラミング経験があると役立ちますが、必須ではありません。

本書では、オブジェクト指向プログラミングの一般用語を使用しています。特別な意味を持つ用語については、*Component Broker 用語集* (SD88-7380) を参照してください。

本書の構成

以下に、各章の内容についてまとめます。

- 1ページの『第1章 概要』では、一般に誰が WebSphere for z/OS の診断を行うかについて説明します。
- 5ページの『第2章 WebSphere for z/OS の診断』では、WebSphere for z/OS で発生する問題の判定時に使用するチェックリストと診断のヒントを提供します。また、弊社への問題の報告方法についても説明します。
- 29ページの『第3章 ランタイム・アクティビティのトレース』では、WebSphere for z/OS トレース機能を使用した問題のデバッグ方法について説明します。
- 45ページの『第4章 Java サーバー・アプリケーションのトレース』では、WebSphere for z/OS 用の JRAS に関する情報を提供します。

- 55ページの『第5章 WebSphere for z/OS エラー・ログ・ストリームの使用』では、WebSphere for z/OS エラー・ログ・ストリームの使用法について説明します。
- 61ページの『第6章 ネーミング・ダンプ・ユーティリティー (BBOSNDMP) の使用』では、ネーミング・ダンプ・ユーティリティー (BBOSNDMP) の使用法について説明します。
- 73ページの『第7章 インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティー (BBOPUDMP) の使用』では、インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティー (BBOPUDMP) の使用法について説明します。
- 81ページの『第8章 インターフェース・リポジトリ保全性チェッカー (BBOPUNIT) の使用』では、インターフェース・リポジトリ保全性チェッカー (BBOPUNIT) の使用法について説明します。
- 87ページの『第9章 メッセージ -- GUI』では、標準の WebSphere for z/OS GUI メッセージを示します。
- 189ページの『第10章 メッセージ -- スクリプト API』では、サーバー側とクライアント側の両方の、標準の WebSphere for z/OS SM スクリプト API メッセージを示します。
- 209ページの『第11章 メッセージ -- 照会』では、標準の WebSphere for z/OS 照会メッセージを示します。
- 241ページの『第12章 メッセージ -- 一般』では、標準の WebSphere for z/OS 一般メッセージを示します。
- 363ページの『第13章 エラー (マイナー) コード』では、WebSphere for z/OS で出力されるコードを示します。
- 535ページの『第14章 異常終了 (理由) コード』では、WebSphere for z/OS で出力される異常終了コードを示します。
- 573ページの『付録A. VERBEXIT CBDATA サブコマンド -- WebSphere for z/OS データのフォーマット』では、VERBEXIT CBDATA サブコマンドの使用法について説明します。これは、WebSphere for z/OS データのフォーマットを設定するための IPCS コマンドです。
- 575ページの『付録B. 自動化対応メッセージ』では、自動化に対処する際に役立つメッセージのリストを示します。
- 577ページの『付録C. 有効な WebSphere for z/OS エラー (マイナー) コードのコンポーネント範囲』では、WebSphere for z/OS コンポーネントの有効範囲のリストを示します。
- 579ページの『付録D. WebSphere for z/OS エラー・ダンプおよびクリーンアップ・インターフェース』では、BBORLEXT プログラミング・インターフェースに関する情報を提供します。

- 581ページの『付録E. 特記事項』では、本書についての一般情報を示します。

関連情報の入手先

以下に、WebSphere for z/OS ライブラリーに含まれる資料をリストします。これらの資料は、次の Web サイトで入手することができます。

<http://www.ibm.com/jp/software/websphere/appserv/library.html>

- *WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: プログラム・ディレクトリー*, GI88-8549 - WebSphere for z/OS のエレメントを示し、インストール手順について説明しています。
- *WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: License Information*, LA22-7855 - WebSphere for z/OS のライセンス情報を記載しています。
- *WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: インストールおよびカスタマイズ*, GA88-8652 - WebSphere for z/OS の計画、インストール、およびカスタマイズの各作業とガイドラインについて説明しています。
- *WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: メッセージおよび診断*, GA88-8655 - 診断情報を示し、WebSphere for z/OS に関連する診断メッセージとコードについて説明しています。
- *WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: 操作および管理*, SA88-8653 - システム操作タスクと管理タスクについて説明しています。
- *WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: J2EE アプリケーションのアセンブル*, SA88-8654 - J2EE アプリケーションの開発およびアセンブル方法と、WebSphere for z/OS J2EE サーバーへのインストール方法について説明しています。また、WebSphere Application Server for OS/390 の旧リリース、または他の WebSphere ファミリー・プラットフォームからのアプリケーションのマイグレーションに関する情報も収録しています。
- *WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: CORBA アプリケーションのアセンブル*, SA88-8658 - CORBA アプリケーションの開発およびアセンブル方法と、WebSphere for z/OS (MOFW) サーバーへのインストール方法について説明しています。
- *WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理ユーザー・インターフェース*, SA88-8656 - システム管理ユーザー・インターフェースで提供される、システム管理タスクと操作タスクについて説明しています。
- *WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理スクリプト API*, SA88-8657 - WebSphere for z/OS システム管理スクリプト API 製品の機能について説明しています。

z/OS または OS/390 の他のエレメントや製品に関する情報を参照する場合は、次のインターネット・サイトにあるリンクからそれらの情報にアクセスすることができます。

<http://www.ibm.com/servers/eserver/zseries/zos/>
<http://www.ibm.com/servers/s390/os390/>

以下の資料には、特に有用な情報を収録しています。

- *Getting Started with WebSphere Application Server, SC09-4581* - WebSphere for z/OS の概要を示し、環境の設定要件について説明しています。
- *WebSphere ビジネス構築のソリューション, SD88-7362*

変更の要約

変更の要約

GA88-8655-00 (英文原典 GA22-7873-00)

WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 バージョン 4.0
2001 年 3 月作成

本書は新たに製作されたマニュアルですが、本書には、WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 バージョン 3.02 について解説するマニュアル (GA22-7837-03) で提供されていた情報が含まれています。本書の改訂は、サービス項目や保守に関する情報の追加、変更、削除、および用語、保守、編集上の変更を反映するものです。

注:

1. 「メッセージ」という用語は、メッセージ、マイナー・コード、異常終了コードのいずれかを表します。
2. 新規メッセージの導入や、既存のメッセージの変更および削除は、インストール・システムの自動化パッケージに影響を及ぼす場合があります。これらのメッセージの変更がお使いのインストール・システムの自動化パッケージに反映されていることを確認してください。

新しい情報

次の節は、今回の改訂で新しく組み込まれました。

- 50ページの『イベント・タイプ』
- 579ページの『付録D. WebSphere for z/OS エラー・ダンプおよびクリーンアップ・インターフェース』

以下は、今回の大幅な改訂で導入された新しいメッセージ ID です。

BBOU0618W	BBOU0642E	BBOU0706W	BBOU0712E
BBOU0637E	BBOU0643E	BBOU0707W	BBOU0713W
BBOU0638E	BBOU0644E	BBOU0708W	BBOU0714E
BBOU0639E	BBOU0645E	BBOU0709E	BBOU0715E
BBOU0640E	BBOU0646E	BBOU0710E	BBOU0716E
BBOU0641E	BBOU0705W	BBOU0711E	

	C9C20CC3	C9C21232	C9C22823	C9C240CE
	C9C20CC4	C9C21233	C9C22824	C9C240CF
	C9C20CC5	C9C21234	C9C22825	C9C240D0
	C9C20CC6	C9C21235	C9C22826	C9C240D2
	C9C20CC7	C9C21236	C9C22827	C9C240D3
	C9C20CC8	C9C21237	C9C22828	C9C240D4
	C9C20CC9	C9C21238	C9C22829	C9C240D5
	C9C20CCA	C9C21239	C9C2282A	C9C240D6
	C9C20CCB	C9C2123A	C9C2282B	C9C240D7
	C9C20CCC	C9C2123B	C9C2282C	C9C240D8
	C9C20CCD	C9C2123C	C9C2282D	C9C240D9
	C9C20CCE	C9C2123E	C9C2282E	C9C240DA
	C9C20CCF	C9C2123F	C9C2282F	C9C240DB
	C9C20CD0	C9C21457	C9C22830	C9C240DC
	C9C20CD1	C9C21458	C9C22831	C9C240DD
	C9C20CD2	C9C21809	C9C22832	C9C240DE
	C9C20CD3	C9C218C1	C9C22833	C9C240DF
	C9C20CD4	C9C218C2	C9C22834	C9C257F4
	C9C20CD5	C9C218C3	C9C22835	C9C257F3
	C9C20CD6	C9C218C4	C9C22836	C9C257F2
	C9C20CD7	C9C218C5	C9C24076	C9C257F1
	C9C20CD8	C9C218C6	C9C24077	C9C257F0
	C9C20CD9	C9C218C7	C9C240B8	C9C257EF
	C9C20CDA	C9C218C8	C9C240B9	C9C257CE
	C9C21001	C9C218C9	C9C240BA	C9C257CD
	C9C21002	C9C218CA	C9C240BB	C9C257CC
	C9C21003	C9C218CB	C9C240BC	C9C257CB
	C9C2121E	C9C21C05	C9C240C0	C9C257CA
	C9C2121F	C9C21C06	C9C240C1	C9C257C9
	C9C21220	C9C21C3F	C9C240C2	C9C257C8
	C9C21221	C9C21C40	C9C240C3	C9C257AF
	C9C21222	C9C21C41	C9C240C4	C9C257AE
	C9C21223	C9C21C42	C9C240C5	C9C257AD
	C9C21224	C9C21C43	C9C240C6	C9C257AC
	C9C21225	C9C21C44	C9C240C7	C9C257AB
	C9C21226	C9C2281D	C9C240C8	C9C2579F
	C9C21227	C9C2281E	C9C240C9	C9C25790
	C9C21228	C9C2281F	C9C240CA	C9C25780
	C9C2122F	C9C22820	C9C240CB	C9C2EA01
	C9C21230	C9C22821	C9C240CC	C9C2EA02
	C9C21231	C9C22822	C9C240CD	

CC3 0A020004	CC3 0A08000C	CC3 0A090004	DC3 041A000C
CC3 0A020005	CC3 0A08000D	CC3 0A090005	DC3 041A000D
CC3 0A060001	CC3 0A08000E	CC3 0A090006	DC3 041A000E
CC3 0A060002	CC3 0A08000F	CC3 0A090007	DC3 041A000F
CC3 0A060003	CC3 0A080010	CC3 0A090008	DC3 041A0010
CC3 0A060004	CC3 0A080011	CC3 0A090009	DC3 041A0011
CC3 0A060005	CC3 0A080011	CC3 0A0A0001	DC3 041A0012
CC3 0A060006	CC3 0A080012	CC3 0A0A0002	EC3 0402000B
CC3 0A060007	CC3 0A080013	CC3 0A0A0003	EC3 0402000C
CC3 0A070001	CC3 0A080014	DC3 00050005	EC3 0405000E
CC3 0A080001	CC3 0A080015	DC3 00050006	EC3 041A0002
CC3 0A080002	CC3 0A080016	DC3 0204000A	EC3 041A0003
CC3 0A080003	CC3 0A080017	DC3 0204000B	EC3 041A0004
CC3 0A080004	CC3 0A080018	DC3 0205000F	EC3 041A0005
CC3 0A080005	CC3 0A080019	DC3 02050010	EC3 041A0006
CC3 0A080006	CC3 0A08001A	DC3 04010006	EC3 041A0007
CC3 0A080007	CC3 0A08001B	DC3 04010007	EC3 041A0008
CC3 0A080008	CC3 0A08001C	DC3 04010008	EC3 041A0009
CC3 0A080009	CC3 0A090001	DC3 04190004	EC3 041A000A
CC3 0A08000A	CC3 0A090002	DC3 04190005	EC3 041A000B
CC3 0A08000B	CC3 0A090003	DC3 04190006	EC3 041A0013

変更された情報

次の節では、以前の記述が一部変更されています。

- 32ページの『環境変数による WebSphere for z/OS トレース・オプションの指定』
- 45ページの『第4章 Java サーバー・アプリケーションのトレース』
- 53ページの『エラー・ログ・ストリームへのトレース出力のフォーマット』

以下は、変更されたメッセージです。

BBOU0000I	BBOU0610E	BBOU0670I	BBOU0698I
BBOU0039E	BBOU0611E	BBOU0673I	BBOU0699I
BBOU0130I	BBOU0612E	BBOU0677I	BBOU0700I
BBOU0131I	BBOU0623E	BBOU0678I	C9C21111
BBOU0133I	BBOU0628E	BBOU0679I	C9C21208
BBOU0134I	BBOU0648E	BBOU0692I	C9C2120A
BBOU0168E	BBOU0649E	BBOU0694I	CC3 000C0005
BBOU0334I	BBOU0650E	BBOU0695I	CC3 000C0006
BBOU0505E	BBOU0651E	BBOU0696I	DC3 000C0005
BBOU0604I	BBOU0652E	BBOU0697I	DC3 000C0006

使用されなくなったメッセージ

今回のリリースから、次のメッセージは使用されなくなりました。

BBOU0519W	C9C20C00	C9C21077	C9C22801
BBOU0520W	C9C20C03	C9C21078	C9C22802
BBOU0521W	C9C20C22	C9C21079	C9C22803
BBOU0669I	C9C20C36	C9C2107A	EC3 04230004
BBOU0693I	C9C20C6E	C9C2107B	EC3 0907000B
C9C2000B	C9C20C73	C9C22426	EC3 090B0002

本文や図に変更が行われた箇所は、その左側の余白に縦線 (|) を付けて示してあります。

変更の要約

GA22-7329-02

WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 バージョン 3.02 2000 年 11 月更新

本書には、WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 バージョン 3.02 について解説するマニュアル (GA22-7329-01) で提供されていた情報が含まれています。本書の改訂は、サービス項目や保守に関する情報の追加、変更、削除、および用語、保守、編集上の変更を反映するものです。

注:

1. 「メッセージ」という用語は、メッセージ、マイナー・コード、異常終了コードのいずれかを表します。
2. 新規メッセージの導入や、既存のメッセージの変更および削除は、インストール・システムの自動化パッケージに影響を及ぼす場合があります。これらのメッセージの変更がお使いのインストール・システムに反映されていることを確認してください。

変更された情報

次の節では、以前の記述が一部変更されています。

- BBON8900E ~ BBON8911E までのメッセージは、189ページの『第10章 メッセージ -- スクリプト API』から 87ページの『第9章 メッセージ -- GUI』に移動しました。

以下は、変更されたメッセージです。

BBON3003E	BBON3014E	BBON3122E	BBON3156E
BBON3004E	BBON3100E	BBON3123E	BBON3163E
BBON3013E	BBON3110E	BBON3155E	BBON3199E

変更の要約

GA22-7329-01

WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 バージョン 3.02 2000 年 10 月更新

本書には、WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 バージョン 3.02 について解説するマニュアル (GA22-7329-00) で提供されていた情報が含まれています。本書の改訂は、サービス項目や保守に関する情報の追加、変更、削除、および用語、保守、編集上の変更を反映するものです。

注:

1. 「メッセージ」という用語は、メッセージ、マイナー・コード、異常終了コードのいずれかを表します。
2. 新規メッセージの導入や、既存のメッセージの変更および削除は、インストール・システムの自動化パッケージに影響を及ぼす場合があります。これらのメッセージの変更がお使いのインストール・システムに反映されていることを確認してください。

本書には、WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 バージョン 3.02 について解説するマニュアル (GA22-7325-00) で提供されていた情報が含まれています。今回のリリースでの変更内容を、以下に簡単にまとめます。

APAR

本書は、次の APAR を反映するため変更されています。

- OW44456
- OW44463
- OW45936

新しい情報

以下は、今回の大幅な改訂で導入された新しいメッセージ ID です。

BBON0495I	BBON3131E	BBON3173E	C9C2121B
BBON0607I	BBON3132E	BBON3174E	C9C2121C
BBON1105E	BBON3133E	BBON3175E	C9C2121D
BBON3100E	BBON3135E	BBON3176E	C9C218BC
BBON3101E	BBON3136E	BBON3177E	C9C218BD
BBON3102E	BBON3137E	BBON3178E	C9C218BE
BBON3103E	BBON3138E	BBON3179E	C9C218BF
BBON3104E	BBON3139E	BBON3180E	C9C218C0
BBON3105E	BBON3140E	BBON3181E	C9C22424
BBON3106E	BBON3141E	BBON3182E	C9C2E41B
BBON3109E	BBON3142E	BBON3183E	DC3 00080003
BBON3110E	BBON3143E	BBON3184E	DC3 00080004
BBON3111E	BBON3145E	BBON3185E	DC3 000C0005
BBON3112E	BBON3146E	BBON3186E	DC3 000C0006
BBON3113E	BBON3147E	BBON3187E	DC3 0205000D
BBON3114E	BBON3148E	BBON3188E	DC3 0205000E
BBON3115E	BBON3149E	BBON3189E	DC3 06010004
BBON3116E	BBON3150E	BBON3190E	EC3 02010005
BBON3117E	BBON3151E	BBON3191E	EC3 04110002
BBON3118E	BBON3152E	BBON3192E	EC3 04140005
BBON3119E	BBON3155E	BBON3193E	EC3 04140006
BBON3120E	BBON3156E	BBON3199E	EC3 04140007
BBON3122E	BBON3160E	BBOU0635E	EC3 04160004
BBON3123E	BBON3161E	BBOU0636E	EC3 04160005
BBON3125E	BBON3162E	C9C21053	EC3 04160006
BBON3126E	BBON3163E	C9C21144	EC3 04160007
BBON3127E	BBON3164E	C9C21217	EC3 04160008
BBON3128E	BBON3170E	C9C21218	EC3 04160009
BBON3129E	BBON3171E	C9C21219	EC3 0416000A
BBON3130E	BBON3172E	C9C2121A	EC3 0416000B

変更された情報

次の節では、以前の記述が一部変更されています。

- 5ページの『次の情報を準備する』

以下は、変更されたメッセージです。

BBON0003E	BBON0185E	BBON0904I	BBOU0249W
BBON0023I	BBON0186E	BBON1005E	BBOU0559W
BBON0026I	BBON0187E	BBON1037E	BBOU0560I
BBON0030I	BBON0188E	BBON1046E	BBOU0629W
BBON0031I	BBON0189E	BBON1055E	BBOU0630I
BBON0032I	BBON0190I	BBON1056E	BBOU0631E
BBON0033I	BBON0191I	BBON1057E	BBOU0632E
BBON0034I	BBON0192I	BBON1058E	BBOU0633E
BBON0035I	BBON0193I	BBON1059E	BBOU0634I
BBON0036I	BBON0194E	BBON1060E	C9C21047
BBON0037I	BBON0403E	BBON1061E	C9C21076
BBON0038I	BBON0461I	BBON1062E	C9C21077
BBON0039I	BBON0462E	BBON1063E	C9C21078
BBON0040I	BBON0463I	BBON1104E	C9C21079
BBON0041I	BBON0464E	BBON2000I	C9C2107A
BBON0042I	BBON0488E	BBON8911E	C9C2107B
BBON0044I	BBON0490I	BBOQ0202E	C9C2107C
BBON0045I	BBON0540I	BBOQ0213E	C9C21216
BBON0047I	BBON0553I	BBOQ0214E	C9C218B9
BBON0180E	BBON0563I	BBOQ0215E	C9C218BA
BBON0181E	BBON0608I	BBOU0043E	C9C218BB
BBON0182E	BBON0613I	BBOU0044E	CC3 000C0005
BBON0183E	BBON0614I	BBOU0070W	CC3 000C0006
BBON0184E	BBON0869E	BBOU0168E	DC3 00080001

使用されなくなったメッセージ

今回のリリースから、次のメッセージは使用されなくなりました。

C9C20013

第1章 概要

この章では、WebSphere for z/OS の診断担当者について説明します。

診断者を表す図

WebSphere for z/OS システムのアプリケーション環境は、それぞれの問題判別の役割を担う何人かの既存のユーザーに影響を及ぼします。図1 は、WebSphere for z/OS のワークフロー、および診断者の作業と責務を示したものです。

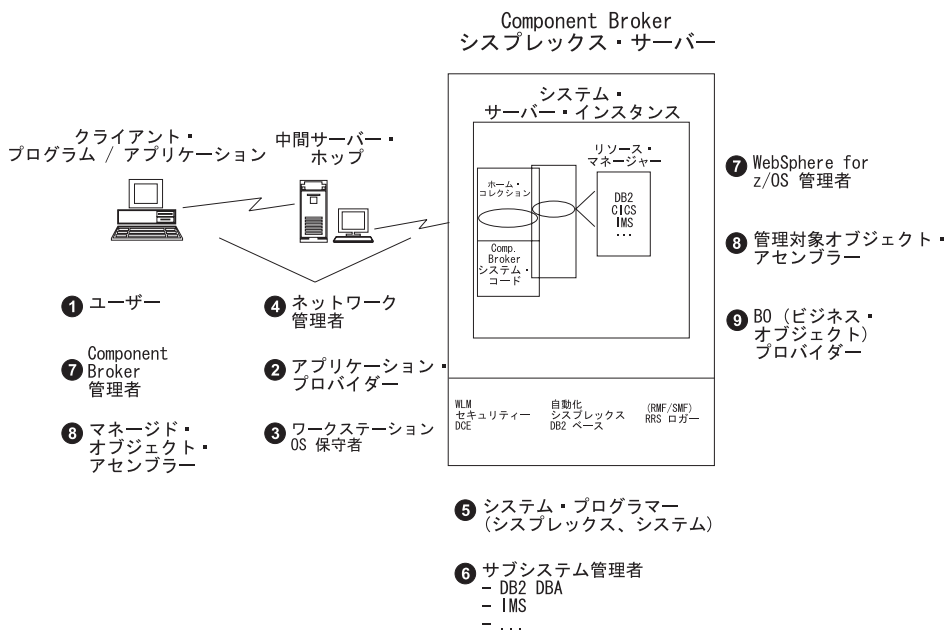


図 1. 問題判別の作業と責務

以下の表に、WebSphere for z/OS の主要ユーザー、およびそれぞれが使用する主なユーザー・インターフェース、代表的な責務、予想される問題判別ツールを示します。

表 1. 役割別の診断者表

診断者	ユーザー・ インターフェース	責務	問題判別に使用する ツール
(1) ユーザー	クライアント・ワー クステーション	メソッドまたは関数 の呼び出し	サーバーからのエラ ー・メッセージ、コ ード、および例外
(2) アプリケーショ ン・プロバイダー	クライアント・ワー クステーション、サ ーバー	アプリケーションの 開発、インストー ル・システムの定 義、およびワークス テーションとサーバ ーにおける、アプリ ケーションの一部の 問題判別の処理	ビジネス・アプリケ ーション・レベルで のクライアントとサ ーバーの診断 (シス テムの診断はほとん ど、またはまったく 不要)
(3) ワークステーシ ョンの OS 保守者	クライアント・ワー クステーション	クライアントへのソ フトウェアのインス トール、および問題 の解決	クライアントの診断
(4) ネットワーク管 理者	AOC クライアン ト、Netview/MVS、 NPDA などのサーバ ー自動化コンソール	ネットワーク・ルー ティングや負荷に関 する問題の解決、 TCP/IP ルーティング	ネットワーク・トレ ース、探知トレー ス、PING、他の TCP/IP トレース機 能
(5) システム・プロ グラマー (シスプレ ックス、システム)	MVS コンソール、 TSO 端末 (ISPF 付 き)、MVS 接続を持 つ他のコンソールの インプリメンテーシ ョン、および IPCS	MVS システムとアプ リケーション・ライ ブラリーのインスト ールと保守、システ ム・レベルの問題判 別	トレース、ダンプ (IPCS を使用して表 示)、MVS コンソ ール・コマンドと表 示、および ISPF (イ ンストールの仕様 の表示と修正用)
(6) サブシステム管 理者 (DB2 の DBA や IMS の DBA な ど)	TSO の ISPF、 CICS、IMS 端末、 ワークステーション	データベース・コレ クションの保守、問 題の解決、再編成の スケジュール	データベース・レポ ート、トレース、そ の他のダンプの読み 取り

表 1. 役割別の診断者表 (続き)

診断者	ユーザー・ インターフェース	責務	問題判別に使用する ツール
(7) WebSphere for z/OS 管理者	クライアント・ワー クステーション、 TSO/ISPF 注: WebSphere for z/OS 管理者はクラ イアント側とサーバ 側の両方で作業し ます。	生産と運用の適用範 囲の設定、コレクシ ョンのインストー ル、サーバーの定義	データベース・レポ ート
(8) ビジネス・コン ポーネントの構築者	クライアント・ワー クステーション、 TSO ISPF (ビジネ ス・コンポーネント の構築者は、クラ イアント側とサーバ 側の両方を操作しま す)	接続とデータ・オブ ジェクトのマップ、 スキーマ・マップ、 バックエンド・デー タベースへの DO イ ンスタンス変数のマ ップ	データベース・レポ ート
(9) ビジネス・コン ポーネントのプロバ イダー	なし	エラーを表面化し、 トレース / ログを生 成するアプリケーシ ョン・コードの装備	アプリケーション・ トレース

第2章 WebSphere for z/OS の診断

「WebSphere for z/OS の診断」とは、WebSphere for z/OS で発生した問題の判定と解決を表す用語です。WebSphere for z/OS に発生した問題を診断するときには、適切な手順に従って診断作業を行うことで、開発者はフラストレーションを感じることなく短時間で問題を解決することができます。この章では、WebSphere for z/OS で発生する問題の判定に関する指示とチェックリスト、および診断のヒントを示します。

弊社営業担当員への問題報告のためのヒント

弊社へのご連絡の際には、次の URL にある IBM サポート・センター Web ページにアクセスしてください。 <http://www.ibm.com/jp/support/>

適切なサポート・レベルを選択する

ご使用のアプリケーションに基づいて適切なサポート・レベルをお選びください。

使用アプリケーション	サポート・レベル	注
WebSphere for z/OS	S/390 サポート	コンポーネント番号は、「Component Broker」になります。
ワークステーション Application Server	ワークステーション・サポ ート	--
S/390 で稼働する他の製品	S/390 サポート	--

次の情報を準備する

弊社営業担当員にご連絡の際には、問題の判定に役立つ次の情報を準備しておいてください（この章では、これらの情報のそれぞれについて、その収集方法を示します）。

- 影響を受けたアドレス・スペースのジョブ・ログ（特に BBOXXXX メッセージ）。これは、障害が発生した可能性のあるプロセスに関連する JESMSG LG データ・セットに書き込まれる WebSphere for z/OS メッセージです。
- アプリケーション・サーバー領域のジョブ出力。

WebSphere for z/OS の診断

- エラー・ログ。
- システム・ログ (特に BBOXXXX メッセージ)。
- **CTRACE** 外部ライターのデータ・セット (例外レベルのトレースまたはそれ以上が有効になっている場合、外部ライターが使用されています)。
- **ダンプ** (SVCDUMP と CEEDUMP のいずれかまたは両方を含むアドレス・スペース)。

なるべく、発生している問題に関連するあらゆるデータを準備しておきます。

ランタイム環境のチェック・リスト

ガイドライン: Application Server で問題が発生している場合は、次のガイドラインに基づいて稼働環境が適切かどうかをチェックしてください。

- **適切な始動シーケンスに従っているか。**

ヒント: この確認方法については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: 操作および管理, SA88-8653* を参照してください。

- **アドレス・スペースに問題はないか。** すべてのアドレス・スペースが稼働していなければなりません。アプリケーション・サーバー・インスタンスが稼働しているかを確認します。

注: OS/390 の `display active (d a,<procname>)` コマンドを使用して Application Server の活動中のアドレス・スペースを表示します。

ヒント: アプリケーション・サーバー・インスタンスについては、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: 操作および管理, SA88-8653* を参照してください。

- **ソフトウェアに問題はないか。** TCP/IP (特に DNS を使用している場合は DNS)、RACF などの他の OS/390 コンポーネントからの警告メッセージやエラー・メッセージがないか SYSLOG をチェックします。また、例外がスローされていないか Application Server エラー・ログもチェックします。

注: 言語環境プログラム (LE) エラーの場合は、エラー・コードの先頭に「U」が付きます。LE エラーの説明をマニュアル内で探す際には、この点に留意してください。

- **前提条件として必要とされるソフトウェアが稼働しているか。** それらのソフトウェアに適切な許可が与えられ、その許可が適切に定義されているかを確認します。

例: RACF、DCE、LDAP、TCP/IP など。

- **OS/390 に十分な DASD スペースがあるか。** この要件は、特にページ・スペースやフリー・スペースの SVC ダンプを生成するために重要です。これらのダンプは、サイズが非常に大きくなる可能性があります。

ヒント: ダンプ・サイズの詳細については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: インストールおよびカスタマイズ*, GA88-8652 を参照してください。

- **エラー・コードに注意する。** Java は Application Server のエラー・コード (16 数の C9C2xxxx) を受け取ると、それを非常に大きな負数に変換します。非常に大きな負数が検出された場合は、16 進数に戻して元のコードが何かを確認してください。

ヒント: エラー・コードを 16 進数に戻すには、次のようにします。

- 負数に 2^{32} を加算して、それを 16 進に変換します。この計算は OMVS コマンド「bc」を使って行います。

例: 「910022649」というエラー・コードが出力されたとします。

1. OMVS 下で次のコマンドを入力します。

```
bc
```

2. 続いて、次ように入力します。

```
obase=16
2^32 - 910022649
quit
```

- bc プログラムによって C9C22807 という元の 16 進値が表示されます。このエラー・コードに対応する説明を参照してください。

- **一般環境に問題はないか。** メモリーが不足していないかチェックします。通常、メモリーの不足は、AUX の不足や、異常終了、ランタイムからの例外の発生という形で現れます。特に、LE と JVM 用のヒープ・サイズに問題があることが考えられます。

注: ヒープ・サイズを変更するための環境変数については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: インストールおよびカスタマイズ*, GA88-8652 を参照してください。

使用できるツール

デバッグ時には、特定の技術を常に活用できるようにしておくとう便利です。以下に、問題の診断に役立つ情報とツールを、システム・プログラマー用とアプリケーション開発者用に分けてリストします。

WebSphere for z/OS の診断

システム・プログラマー

- IBM level2 の指示に従って CTRACE 操作を管理し、障害の発生したアドレス・スペースの CEEDUMP、およびエラー・ログと SYSLOG を収集する。
- 生成されたトレースを調べる。JRAS CTRACE 機能を使用している場合は、TSO、ISPF、および IPCS アプリケーション・トレースに関する基本知識が必要になります。
- SDSF を使用して、ジョブ・ログ、SYSLOG、オペレーター・コンソール、および CEEDUMP を表示する (TSO からコンソールを表示する場合は、特別な権限が必要な場合があります)。
- ログ表示ユーティリティを使用して、エラー・ログを表示する。
- IPCS を使用して、サーバーからのトレースとダンプを表示する。

アプリケーション開発者

- 次について理解する。
 - OLT
 - Java デバッガー
 - サーバーを管理するための操作技術
 - ISPF
 - TSO
 - SDSF (CEEDUMP の表示用)
 - IPCS (CTRACE の表示用)
- CEEDUMP の読み方を理解する。
- リモート・デバッガーを使用してコードを診断する。
- 利用できる場合は、オブジェクト・レベル・トレース (OLT) を使ってコードを診断する。

アプリケーション開発者は、リモート・デバッガーと OLT ツール (利用できる場合) を使用してコードの単体テストを実行します。サーバーにエラー発生の際候がある場合、システム・プログラマーは、IPCS を使用してダンプとトレースを表示します。

ヒント: IPCS の詳細については、40ページの『IPCS の使用による WebSphere for z/OS トレース・データの表示』を参照してください。

WebSphere for z/OS で発生した問題の診断手順

前提条件: アプリケーション・サーバー領域の出力、およびメッセージが発行されている可能性があるその他の領域にアクセス可能でなければなりません。

WebSphere for z/OS で発生した問題の診断は、次の手順で行います。

1. 次のことをチェックして、問題の発生元を突き止めます。
 - クライアントが受け取った例外を調べる。
 - コンソール上、またはアプリケーション・サーバー領域の出力でメッセージが発行されていないかを調べる。
 - CEEDUMP が含まれたコードやメッセージが発行されていないか、他の領域を調べる。

ヒント: 問題の発生元を突き止めるには、まずクライアントから調べ、それからさかのぼっていきます。RMI/IIOP プロトコルでは、一部の例外で、ランタイムを通過する間に別の例外タイプに変換されなければならないものがあります。例外をトレースしてその発生元を調べるときには、この点に注意してください。通常、この変換は CORBA::SystemExceptions タイプと RMI RemoteExceptions タイプの間で行われます。タイプ変換が行われたことを示す CORBA::SystemException のマイナー・コードには、特に注意してください。

-
2. 上記のチェックによって、メッセージ、および場合によってはマイナー・コードを見つけ、本書の解説を参照してその意味を調べます。
-
3. 問題が特定できない場合は、弊社営業担当員までご連絡ください。
-

診断の 4 つの段階

WebSphere for z/OS の診断時に検出される問題は、次の異なる種類に分類されます。

- クライアントが受け取った例外
- サーバーで発生したトランザクションのタイムアウト
- ランタイムの破局的な故障によるハングとその処理 (その結果として、OS/390 SVC ダンプが生成されます)。

本書では、これらの各種類の問題の診断プロセスについて段階ごとに説明します。

WebSphere for z/OS の診断

クライアントの例外

原因	システム例外 (ランタイムによってスローされたもの)	ユーザー例外 (アプリケーション・コードによってスローされたもの)
チェック項目	<ul style="list-style-type: none">制御領域またはサーバー領域 (ランタイム・エラーの発生場所) 内の CEEDUMPJRAS エラー・ログ・エントリー (これにより、例外の発生元をランタイム内の特定の関数に絞り込むことができます)	<ul style="list-style-type: none">CEEDUMPJRAS エラー・ログ・エントリーおよびトレース
アクション	<ul style="list-style-type: none">出力されたマイナー・コードを調べる。同じような症状に対応する修正方法を調べるか、マイナー・コードを調べる。このどちらかまたは両方を行います。通常、システム例外は予期しないエラーの検出を表すため、多くの場合、問題の特定には弊社営業担当員の支援が必要となります (マイナー・コードの解説によって特定が可能な場合を除く)。	<ul style="list-style-type: none">エラーの徴候がないかアプリケーションを調べる。システム障害 (制御サーバー領域内のシステム例外など) が発生していないか調べる。システム例外が検出された場合は、左の列のシステム例外用の診断手順に従います。

タイムアウト

診断前の確認事項	環境変数 (OTS_MAXIMUM_TIMEOUT または OTS_DEFAULT_TIMEOUT) が正しく設定されているか、EC3 異常終了コードが出力されたサーバー領域のジョブ・ログを調べる。 注: クライアントがトランザクションを開始し、タイムアウト値を指定するときには、クライアントが大きすぎる値を使用するのを阻止する目的で OTS_MAXIMUM_TIMEOUT が使用されます。または、OTS_DEFAULT_TIMEOUT が使用されます。	
原因	アプリケーション内のループ	JVM でヒープ・ストレージが足りなくなった (サーバー領域で Java (Java BO または EJB) を実行している場合)。

<p>チェック項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> • タイムアウトまでのアプリケーションの実行時間を処理する環境変数 • タイムアウトに関連する次のマイナー・コード <ul style="list-style-type: none"> - C9C21047 - C9C2110F - C9C21110 - C9C21111 - C9C21112 - C9C21113 - C9C21114 - C9C21190 - C9C21191 - C9C21192 - C9C21809 - C9C21892 - C9C21893 - C9C22013 • ABEND (異常終了コード) EC3、理由コード 04130001 • コンソール上のリソース・マネージャー・メッセージ 例: OS/390 コンソール上の DB2 デッドロック・メッセージ 	<ul style="list-style-type: none"> • 障害が発生したサーバー領域のジョブ・ログ内にある、JVM 発行のエラー・メッセージ
---------------	--	---

WebSphere for z/OS の診断

<p>アクション</p>	<ul style="list-style-type: none"> • IPCS で分析し、サーバー領域にループが発生したのか (アプリケーション・コード・ループ)、またはサーバー領域が待機中だったのか (おそらくランタイムの障害による) を判別する。 – MVSSLIP コマンドを使用して SVC ダンプを取得します。 • JRAS を使用していた場合は、JRAS CTRACE 項目を調べる。 – アプリケーション・コードにループが発生していた場合は、同じ項目が繰り返し記述されています。 	<ul style="list-style-type: none"> • 環境変数 JVM_DEBUG=1 を初期化する。それによって、情報が JVM に渡されて高レベルのメッセージが有効化されるため、そのメッセージを調べることができます。 注: この変数は、JVM メッセージをデバッグ目的で SYSOUT に転送するためにも必要となります。JVM_DEBUG=1 と設定すると、JVM メッセージングが起動されます。 • OUT_OF_MEMORY 状態を示す Java スタック・トレースまたはエラー・メッセージがないかを調べる。
--------------	--	---

ハング

<p>診断前の確認事項</p>	<p>OTS_DEFAULT_TIMEOUT 変数値が大きすぎないかを確認する。</p>	
<p>原因</p>	<p>アプリケーション内のループ</p>	<p>JVM でヒープ・ストレージが足りなくなった (サーバー領域で Java (Java BO または EJB) を実行している場合)。</p>

<p>チェック項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> • タイムアウトまでのアプリケーションの実行時間を処理する環境変数 • タイムアウトに関連する次のマイナー・コード <ul style="list-style-type: none"> - C9C21047 - C9C2110F - C9C21110 - C9C21111 - C9C21112 - C9C21113 - C9C21114 - C9C21190 - C9C21191 - C9C21192 - C9C21809 - C9C21892 - C9C21893 - C9C22013 • ABEND (異常終了コード) EC3、理由コード 04130001 • コンソール上のリソース・マネージャー・メッセージ 例: OS/390 コンソール上の DB2 デッドロック・メッセージ • タイムアウト値が「タイムアウトなし」と指定されているときの、タイムアウト値の長さを超える待機 	<ul style="list-style-type: none"> • 障害が発生したサーバー領域のジョブ・ログ内にある、JVM 発行のエラー・メッセージ
---------------	--	---

WebSphere for z/OS の診断

<p>アクション</p>	<ul style="list-style-type: none"> • IPCS で分析し、サーバー領域にループが発生したのか (アプリケーション・コード・ループ)、またはサーバー領域が待機中だったのか (おそらくランタイムの障害による) を判別する。 <ul style="list-style-type: none"> – MVSSLIP コマンドを使用して SVC ダンプを取得します。 • JRAS を使用していた場合は、JRAS CTRACE 項目を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> – アプリケーション・コードにループが発生していた場合は、同じ項目が繰り返し記述されています。 	<ul style="list-style-type: none"> • 環境変数 JVM_DEBUG=1 を初期化する。それによって、情報が JVM に渡されて高レベルのメッセージが有効化されるため、そのメッセージを調べることができます。 <p>注: この変数は、JVM メッセージをデバッグ目的で SYSOUT に転送するためにも必要となります。JVM_DEBUG=1 と設定すると、JVM メッセージングが起動されます。</p> • OUT_OF_MEMORY 状態を示す Java スタック・トレースまたはエラー・メッセージがないかを調べる。
--------------	--	---

SVC ダンプ

<p>原因</p>	<p>システム例外 (TRACE_DIAG_DATA が SVC ダンプに設定されている場合のみ -- 「RAS_MINORCODEDEFAULT=SVCDUMP」と設定する)</p>	<p>SVC ダンプを生成するもの (LE や USS など)</p>
<p>チェック項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> • CEEDUMP <p>注: CEEDUMP は制御領域、または多くのサーバー領域のいずれかにあります。どのサーバー領域にあるか自動的に判別できる方法はありません。</p> • エラー・ログ・エントリー 	<ul style="list-style-type: none"> • SVC ダンプ

アクション	<ul style="list-style-type: none"> • 通常 SVC DUMP は製品がエラーを検出したときにのみ生成されます。要求元はシステム例外を受け取ります。 • CTRACE コマンドを使用して JRAS トレース項目を調べ、アプリケーション・コンポーネントの動作を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> • これらの問題について第 1 レベルの診断 (症状ストリングを確認するなど) を行う。 <p>ヒント: この方法については、<i>z/OS MVS 診断：手順</i>, GA88-8559 を参照してください。</p>
-------	---	---

アプリケーションの診断で依然問題が検出される場合は、弊社営業担当員にご連絡ください。

ヒント: 弊社への連絡方法、および準備しておく必要がある情報については、5 ページの『弊社営業担当員への問題報告のためのヒント』を参照してください。

バックグラウンド・プロセス

アプリケーションのバックグラウンドで行われる処理の詳細は、次のとおりです。

1. クライアントが例外を受け取る。
2. デバッガーがクライアントから情報を取得し、その情報をエラー・ログと照合する。
3. 例外をスローしたサーバーが判明する。
4. SDSF の使用により、例外をスローしたサーバー、またはそのサーバーに関連する CEEDUMP 内でメッセージを探す。

Application Server の診断時の考慮事項

Application Server の診断時には、次の点について考慮します。

何が起きているか

次のことが起きているかを確認します。これらが問題の原因となっている可能性があります。

- コード内、WebSphere for z/OS ランタイム内 (BB0 接頭部で始まる DLL 内)、または他の DLL やロード・モジュール内で、障害や例外が発生していないか。

WebSphere for z/OS の診断

- アプリケーションがハングアップしているように見受けられないか。ダンプの生成中ではないか (ダンプの生成中には、一時的にハングアップしているように見えることがあります)。
- アプリケーションが無限ループに入っているように見受けられないか。
- アプリケーションの制御領域またはサーバー領域に CEEDUMP がないか。
- Application Server の制御領域またはサーバー領域によって SVC ダンプがとられていないか。
- WebSphere for z/OS エラー・ログに、エラーまたは警告の戻りコードまたは理由コードが出力されていないか。SYSLOG にはどうか。また、コンソールにはどうか。
- タイムアウト例外やマイナー・コードはないか。

修正プログラムはすべてインストール済みか

APAR をチェックします。Application Server で問題が発生している場合は、前提条件となっているすべての修正プログラムがインストールされているかを確認する必要があります。次のサポート・レベルをチェックします。システムのリアクションが予期したものと異なる場合、バグがある可能性があります。また、テストされていない要因が組み合わさって問題を引き起こしている場合もあります。修正プログラムがないかを確認するわずかな時間で、デバッグに要する長い時間を節約できることがあります。重要な修正プログラムは、サービス・チームが管理する PSP バケット内で見つけることができます。

次の点について確認します。

- 前提条件となっているすべての PTF (修正プログラム) がシステムに適用済みであること。
- すべての PTF がエラー時に使用されていた実行可能ファイルに実際に組み込まれていたこと。修正プログラムがシステムにインストールされていても、エラー時に使用されていた実行可能ファイルに実際には組み込まれていないことが、SMP によって判明することがよくあります。

移植性が問題となっていないか

発生している問題が、ワークステーションとメインフレーム間の、WebSphere for z/OS プラットフォームの移植性に関連していないかを確認します。

移植性に関連する問題として次のことがあります。

- 一部の関数がワークステーションのプラットフォームでのみサポートされている (MOFW サーバーの場合のみ)。

例: セッション・サポート

- 一部の関数がワークステーションでメインフレーム上とは異なる動作をする (MOFW サーバーの場合のみ)。

例: WebSphere for z/OS では、WebSphere for z/OS ワークステーションとは異なるコンテナ・ポリシーがサポートされています。

- 大文字小文字の区別。ワークステーションとメインフレーム間で切り取りと貼り付け操作を行うときは、注意が必要です。

診断情報の位置の判別に関するヘルプ

診断データは次のいずれかの場所で表示することができます。

- **コンソール**

最初の検出点で Application Server アドレス・スペースの終了を引き起こした構成エラーはコンソールに送られます。コンソールに送られた情報は SYSLOG にも送られます。

- **SYSLOG**

SYSLOG はオペレーター・コンソールに表示されたすべてのメッセージのリポジトリです。また、SYSLOG には、障害の発生後の回復作業に役立つ警告メッセージと情報メッセージも格納されています。

- **JOBLOG**

構成関連のエラーと警告 (異常終了にはならないもの) は JOBLOG に送られます (コンソールまたは SYSLOG と同じ)。コンソールおよび SYSLOG に送られた情報は、自動的に JOBLOG にも送られます。

- **SYSOUT**

これはバッチ・ログです。JVM からの診断情報を収集するためにサーバー領域で JVM_DEBUG=1 環境変数を使用した場合は、SYSOUT に情報が送られます。また、なんらかの理由でログ・ストリームに書き込めなかったエラー・メッセージは、SYSOUT に転送されます。問題が Application Server のネーミング・サーバーかネーミング・ブートストラップ・クライアントで起こっている場合は、LDAP のトレース方法が関係してエラーが SYSOUT に送られることがあります。通常、CError に書き込まれた情報は、いずれも最終的に SYSOUT に送られます。

- **エラー・ログ**

「IBM 内部使用のみ」となっているメッセージは、通常、エラー・ログに送られます。これらは、外部化される場合があるアクション、障害、問題に対して使用されるメッセージです。通常、カスタマーはエラー・ログ内のメッセージを参照する必要はありません。しかし、エラー・ログが役に立つこともあります (弊社に報告するためメッセージ ID を調べる場合など)。そのよ

WebSphere for z/OS の診断

うな場合は、ユーザーは、LOGSTREAMNAME 環境変数によってエラー・ログを識別し、エラー・ログから必要な情報を取り出します。JRAS メッセージも、エラー・ログに送られます。

- **コンポーネント・トレース・データ・セット**

トレースの実行中、トレース診断データには、そのときに有効になっているトレース・オプションに対応するトレース項目が組み込まれます。

ヒント: トレースの実行の詳細については、29ページの『第3章 ランタイム・アクティビティのトレース』を参照してください。

- **オブジェクト・レベル・トレース (OLT)**

OLT では、問題のトレースを目的としてリモート・クライアントからサーバーにデバッガーを接続するためのメカニズムが提供されます。OLT は独自に作成したコードのデバッグ用にワークステーション上で使用することができます。OLT の使用により、弊社作成のコードから、独自に作成したコードの問題を切り離してください。

- **ダンプ (CEEDUMP と SVC ダンプ、またはそのいずれか)**

どちらのダンプを参照するかは、エラーがどこで検出されたかによって決まります。LE または Java ランタイムがエラーを検出した場合、CEEDUMP が生成されています (したがって、診断にはこれを使用します)。それ以外の場合で、システム例外を内部使用しているときは、RAS_MINORCODEDEFAULT 変数 (33 ページを参照) の設定を確認する必要があります。次の表に基づいて、参照する情報を選択してください。

障害の検出場所	生成されているダンプ	注
<p>LE または Java 環境内</p> <p>または</p> <p>LE または Java 環境外で、RAS_MINORCODEDEFAULT が CEEDUMP に設定されている場合</p>	<p>CEEDUMP</p>	<p>CEEDUMP 情報は、ジョブ・ログ内の独立した CEEDUMP 仕様に書き込まれます。</p> <p>ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> - CEEDUMP のパラメータ設定については、<i>OS/390 言語環境プログラム デバッグのガイド およびランタイム・メッセージ (SC88-7596)</i> を参照してください。 - 各ダンプの先頭に、「Traceback」というセクションがあります。このセクションには非常に有用な情報が含まれています。

WebSphere for z/OS の診断

障害の検出場所	生成されているダンプ	注
LE または Java 環境外で、RAS_MINORCODEDEFAULT が SVCDUMP (このアプリケーションの推奨値) に設定されている場合	SVC ダンプ	<p>SVC ダンプは、通常プログラミング例外が発生したときにオペレーション・システムによって開始されるコア・ダンプです。SVC ダンプ処理では、ユーザーによって事前に割り当てられたか、または必要に応じてシステムによって自動割り当てされたダンプ・データ・セットにデータが保管されます。サーバー領域 (SR) はいくつも存在できるため、どの SR でダンプが生成されているかを判別する必要があります。parmlib オプションでは、ダンプ内容の指定や、重複ダンプの除外などの設定を行えます。Application Server の SBBOJCL (BBODMCCB) には、ダンプ の parmlib サンプルが格納されています。</p> <p>ヒント: SVC ダンプの詳細については、<i>MVS Tools and Service Aids (SY28-1085)</i> と、<i>MVS 初期設定およびチューニング ガイド (SC88-6575)</i> を参照してください。</p>

トレースとエラー・ログ・ストリームのヒント

Application Server トレースの実行

トレースは、次の手順で実行します。

1. トレースを開始します。

例:

```
TRACE CT,ON,COMP=SYSBBOSS
```

```
REPLY xx,WTR=BBOWTR,END
```

-
2. クライアントまたはジョブを実行します。

-
3. トレースを停止します。

例:

```
TRACE CT,OFF,COMP=SYSBBOSS
```

```
REPLY xx,WTR=DISCONNECT,END
```

```
TRACE CT,WTRSTOP=BBOWTR (必ず先に BBOWTR を開始します)
```

-
4. IPCS を使用してコンポーネント・トレースを表示します。

トレース・データ・セットをデフォルトとして設定します。オプション 6 を使用して次のコマンドを入力します。

例:

```
CTRACE COMP(SYSBBOSS) FULL
```

ヒント

- トレースはインストール時に使用すると役立ちますが、**SYSPRINT** にトレースする場合、スプール領域がすぐにいっぱいになってしまうため、実動時間中はトレースの使用を最小限に抑えたほうがいい場合があります。
- トレースの実行、および **TRACEDTAIL** 環境変数を使用した特殊トレースの実行の詳細については、29ページの『第3章 ランタイム・アクティビティのトレース』を参照してください。

Application Server のエラー・ログ・ストリームの表示

ログ表示ユーティリティ (BBORBLOG) を使用して、エラー・ログ・ストリームを表示することができます。Application Server のエラー・ログ・ストリームを表示する場合は、ISPF オプション 6 を使用して次のコマンドを入力します。

```
ex 'BBO.SBBOEXEC(BBORBLOG)' 'BBO.BOSSXXXX'
```

WebSphere for z/OS の診断

スペース割り振りおよび割り振り単位は、rexx コード内に含まれています。大量のトレース・データを維持する場合は、割り振り量を増やす必要があります。

ヒント: Application Server のエラー・ログ・ストリームの使用方法の詳細については、55ページの『第5章 WebSphere for z/OS エラー・ログ・ストリームの使用』を参照してください。

IMS-APPC 手続き型アプリケーション・アダプターに関連する問題の診断

拡張プログラム間通信機能 (APPC) は、システム・ネットワーク体系 (SNA) LU (論理単位) 6.2 プロトコルのインプリメンテーションです。SNA アーキテクチャーが通信ネットワークにおける製品の接続の手引きとして機能するのに対し、APPC は相互接続されたこれらのシステム間の通信を可能にし、これらのシステムがプログラムの処理を共同で行えるようにします。

LU 6.2 の使用により、APPC アプリケーションはそのアプリケーションが稼働するプロセッサ (OS/390、Windows 2000、Windows 98、Sun Solaris、HP-UX など) とは種類の異なるプロセッサ上のリモートの APPC アプリケーションと通信することができます。OS/390 上の APPC は、仮想記憶通信アクセス方式 (VTAM) を使用してこれらの APPC アプリケーション間の通信を支援します。APPC または VTAM の詳細については、*z/OS MVS 計画: APPC/MVS 管理*, SA88-8571 を参照してください。

WebSphere for z/OS は、次の 2 つの手続き型アプリケーション・アダプターを介して IMS リソースへのアクセスを提供します。一方のアダプターはオープン・トランザクション・マネージャー・アクセス (OTMA) を使用して IMS と通信し、もう一方のアダプターは MVS の拡張プログラム間通信コンポーネント (APPC/MVS) を使用します。IMS-APPC アダプターは該当の IMS サブシステムに対して APPC の会話を割り振ります。

C9C2xxxx 例外が検出された場合は、次のいずれかが原因と考えられます。PAA がローカル・トランザクションのもとでディスパッチされたが、LRMI 定義の同期レベルが SM EUI で同期点 (SYNCPT) に指定されているか、または IMS APPC PAA コード内になんらかの内部エラーがあります。どちらの場合も、このエラー・コードが出力されたときは APPC トレース・レコードをチェックする必要があります。それには、高レベルのトレース詳細 (TRACEDETAIL=10 (34 ページの『TRACEDETAIL オプション』を参照)) を指定し、アダプター・コンポーネントのトレースをレベル 3 で実行するように設定します。

ローカル・トランザクションのサポートに関連する問題の診断

ローカル・トランザクション・モードとグローバル・トランザクション・モード間の切り替えに関するガイドライン

ローカル・トランザクション・モードとグローバル・トランザクション・モード間の切り替えに問題が発生している場合は、次のガイドラインに従ってチェックしてください。

- リソース・マネージャーへのローカル接続でコミットされていないものはないか。ある場合、グローバル・トランザクションを開始できません。
- SRRCMIT のような、グローバル・コミット / ロールバックの動詞を使用していないか。これらの動詞は、ローカル・トランザクション・モードでは使用できません。
- MQCMIT のような、ローカル・コミット / ロールバックの動詞を使用していないか。これらの動詞は、グローバル・トランザクション・モードでは使用できません。

ローカル・トランザクションの再開

ローカル・トランザクションの調整は RRS によって代行されます。したがって、WebSphere for z/OS は再開処理については一切行う必要がありません。回復可能なリソースがある場合は、リソース・マネージャーと RRS が対応します。

ローカル・トランザクション・ポリシー

ローカル・トランザクション・ポリシーには、次の 3 つがあります。

TX MOFW 分離ハイブリッド・グローバル (TX MOFW Isolated Hybrid Global)

インバウンド・クライアントによって伝搬されたグローバル・トランザクションにかかわらず、分離されたローカル・トランザクションのビジネス・メソッドがディスパッチされます。

TX MOFW マージ・ハイブリッド・グローバル (TX MOFW Merged Hybrid Global)

インバウンド・クライアントによって伝搬されたグローバル・トランザクションにかかわらず、組み合わせられたローカル・トランザクションのビジネス・メソッドがディスパッチされます。

TX MOFW によるマージ・ハイブリッド・グローバルのサポート (TX MOFW Supports Merged Hybrid Global)

インバウンド・クライアントのトランザクション・コンテキストにグローバル・トランザクションが含まれている場合、ビジネス・メソッドはその

WebSphere for z/OS の診断

グローバル・トランザクションの一部としてディスパッチされます。インバウンド・クライアントのトランザクション・コンテキストにグローバル・トランザクションが含まれていない場合、ビジネス・メソッドは組み合わせられたローカル・トランザクション内でディスパッチされます。

関連情報については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: J2EE アプリケーションのアセンブル*, SA88-8654 を参照してください。

グローバル・トランザクション・ポリシー

グローバル・トランザクション・ポリシーには、次の 4 つがあります。

TX 必須 (TX REQUIRED) (デフォルト)

バイト値 ('1'x)

TX MOFW 分離ハイブリッド・グローバル (TX MOFW Isolated Hybrid Global)

バイト値 ('2'x)

TX MOFW マージ・ハイブリッド・グローバル (TX MOFW Merged Hybrid Global)

バイト値 ('3'x)

TX MOFW によるマージ・ハイブリッド・グローバルのサポート (TX MOFW Supports Merged Hybrid Global)

バイト値 ('4'x)

コールド・スタートに関連する問題の診断

コールド・スタートのバックグラウンド情報については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: インストールおよびカスタマイズ*, GA88-8652 を参照してください。

WebSphere for z/OS のコールド・スタートは、初期インストールかどうかに応じて、必ず次の順序で行ってください。

初期インストールか 手順 どうか

初期インストール

- データベース割り振りジョブの初期セットを準備します。これらのジョブがシステムの管理データベース、および WebSphere for z/OS が適切に実行する必要がある他のデータベースの割り振りを行います。

ヒント: 詳しくは、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: インストールおよびカスタマイズ, GA88-8652* を参照してください。

- コールド・スタート・オプションを指定して新しい WebSphere for z/OS デーモンを起動します。
-

初期インストール以外

- 管理アプリケーションを使用してコールド・スタートを準備します。
- 現在の環境をシャットダウンして WebSphere for z/OS の機能変更をインストールし、コールド・スタート・オプションを指定して新しい WebSphere for z/OS デーモンを再起動します。

各サーバーの環境ファイルの位置を確認するには、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: インストールおよびカスタマイズ, GA88-8652* を参照してください。

構成のバックアップ

デバッグに長い時間を費やさずにすむよう、構成は必ずバックアップをとって破壊的な障害に備えます。コールド・スタートを実行する前には、Application Server の永続データ全体のバックアップが作成してあることを確認してください。

SMDM (システム管理データベース)

システム管理情報のすべてを格納するデータベース

LDAP

ネーミング・ツリーとインターフェース・リポジトリを格納するテーブル

HFS

サーバーが使用するすべての環境変数を格納するデータ・セット

WebSphere for z/OS proclib

Application Server の始動プロシージャを格納するライブラリー

WebSphere for z/OS loadlib

Application Server のロード・モジュールを格納するライブラリー

インストール時の障害に関する注意点

コールド・スタート・ブートストラップの実行時には、次の点に注意します。

- CBCONFIG 環境変数 (HFS ファイル・ツリーのルート部分を指すために使用) を必ず指定する必要があります。デフォルトはありません。したがって、値を指定しないとエラーになります。
- システム管理サーバー領域のユーザー ID は、この HSF ファイル・セットに対して適切なアクセス権を持っていないとなりません。
- BackupConfiguration ファイルを使用するには、CurrentConfiguration ファイルに手動でコピーする必要があります。該当の HSF ファイルを見つけるには、CBCONFIG/configuration/current.xml ディレクトリーおよび CBCONFIG/backup ディレクトリー内をチェックします。
- DaemonIPName を必ず指定します。これが指定されていないと、エラーになります。

現在のコールド・スタート環境変数

現在定義されている環境変数で、値の変更時にコールド・スタート・タイプが必要なものとして、次の変数があります。

DAEMON_IPNAME

DAEMON_PORT

SM_DEFAULT_ADMIN

(コールド・スタートでのみ使用)

SYS_DB2_SUB_SYSTEM_NAME

(DB2 テーブルをコピーするには、場合によっては外部手段を使用する必要があります)

詳細情報の入手方法

以下の資料には、WebSphere for z/OS の診断に関する追加情報が記載されています。

- *WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 Component Broker Problem Determination Guide* (特に、『Where to Find Diagnosis Information』のセクション) - WebSphere for z/OS の診断に役立ちます。
- *WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 Component Broker System Administration Guide* - Application Server のトレースに関する情報が収録されています。

- *OS/390 MVS Planning: APPC/MVS Management Guide* - APPC/MVS の診断に役立つセクションが含まれています。

第3章 ランタイム・アクティビティのトレース

この章では、特定の WebSphere for z/OS プロセス (アドレス・スペース) のトレース・データの収集方法について説明します。

概要

WebSphere for z/OS のトレースでは、コンポーネント・トレース (CTRACE) 機能を使用してトレースのいくつかの外部機能が管理されます。CTRACE はトレース・データをバッファに取り込み、トレース・データ・セットにこれを保管します。CTRACE は、WebSphere for z/OS トレース・データの位置や、トレース自体の活動化 / 非活動化の管理には使用されません。これらの機能は WebSphere for z/OS インターフェースを介して実行されます。

CTRACE のトレース・データの取り込みと表示機能は非常に強力です。このトレース技法の利点を次に示します。

- ブラウズ・ツールを使用して複数のトレースをマージすることができる。これには、TCPIP や OMVS などの他のコンポーネントの組み合わせも含まれます。
- トレース・データが SYSPRINT ではなくデータ・セットに書き込まれる。そのため、スプール・スペースがトレース情報で消費されることがありません。
- トレース・データ・セットを循環させるかどうかを選択できる。そのため、システム・リソースの管理がしやすくなります。
- 複数のアドレス・スペースを同じデータ・セットに書き込む (CTRACE が漏斗として機能する) か、または個別のデータ・セットに書き込むことができる。必要に応じて、どちらかを選択できます。
- WebSphere for z/OS のアドレス・スペースを停止、再始動することなく、データ・セットへのトレースを開始および停止できる。この機能は実働環境では非常に重要です。
- CTRACE では、トレース・データの取り込みに 1 つ以上のデータ・セットを使用できる。そのため、各インストーラーでそのサイトの入出力を管理できます。

ランタイム・アクティビティのトレース

注:

1. トレース・データは読み取り可能なフォーマットになっていないため、エディターではなく IPCS CTRACE を使用して表示する必要があります。
2. トレース・データ・セットを特定し、そのデータ・セットを WebSphere for z/OS に接続するためのトレース・オプションを parmlib メンバーで指定する必要があります。それらのオプションは WebSphere for z/OS インターフェースでは指定できません。

ヒント: parmlib メンバーの作成については、『WebSphere for z/OS コンポーネント・トレースの計画』を参照してください。

トレース機能は WebSphere for z/OS のすべての面に組み込まれています。トレース機能は WebSphere for z/OS のすべてのサーバー (デーモン、ネーミング /IR、アプリケーション、システム管理などのサーバー) 上に存在し、WebSphere for z/OS のすべてのアドレス・スペース (制御領域やサーバー領域など) のデータを表示することができます。

注: 特に Java カスタマー・アプリケーションを処理する場合は、特定の種類の CTRACE、JRAS CTRACE を使用する必要があります。

ヒント: 詳しい説明については 40ページの『Java サーバー・アプリケーションのトレース・データ収集のための CTRACE の実行』を参照してください。

WebSphere for z/OS コンポーネント・トレースの計画

WebSphere for z/OS コンポーネント・トレースの使用を計画するときには、トレースのさまざまな仕様を調整しなければなりません。トレース・データをトレース・データ・セットに取り込むための、parmlib メンバーと proclib メンバーの更新について計画する必要があります。また、初期トレース・パラメーターを設定するための、WebSphere for z/OS 環境変数の更新についても計画します。

WebSphere for z/OS トレース用 CTIBBOxx parmlib メンバーの作成

WebSphere for z/OS では、CTRACE 外部ライターに接続してトレース・データを取り込むことができます。CTRACE parmlib メンバーでは、この仕様のみに有効です。また、これは WebSphere for z/OS トレースをトレース・データ・セットに接続して表示するための唯一の仕様でもあります。

WebSphere for z/OS では、CTIBBO00 にデフォルトの CTRACE parmlib メンバーが提供されています。また、以下に説明する方法で独自の parmlib メンバーを設定することもできます。

parmlib メンバーの構文は CTRACE によって支配されます。この parmlib メンバーでは、接続先の CTRACE 外部ライターを指定します。また必要に応じて、この parmlib メンバーの仕様から CTRACE 外部ライターのアドレス・スペースを開始することができます。

WebSphere for z/OS parmlib メンバーのフォーマット

WebSphere for z/OS parmlib メンバーの形式は次のとおりです。

```
TRACEOPTS
  WTRSTART(xxxxxx)
  ON
/*CONNECT TO CTRACE EXTERNAL WRITER: */
  WTR(xxxxxx)
```

WebSphere for z/OS parmlib メンバーのコンポーネントを以下に示します。

表 2. parmlib メンバーのパーツ表

コンポーネント	説明
TRACEOPTS	CTRACE に必要。先に指定する必要があります。
WTRSTART(xxxxxx)	CTRACE ライターのアドレス・スペースに対して開始する proclib のメンバーを識別します。 注: CTRACE 外部ライターをすでに起動している場合は、WTRSTART コマンドは省略することができますが、そのまま発行してもかまいません。WTRSTART コマンドをそのまま使用した場合、CTRACE はライターが起動済みであることを通知する情報メッセージの発行のみを行い、その他の処理は行いません。
ON	CTRACE に必要。コンポーネント・オプションの前に指定する必要があります。
WTR(xxxxxx)	WebSphere for z/OS を接続する CTRACE 外部ライターを識別します。この値は WTRSTART の値と一致していなければなりません。一致していないと、WebSphere for z/OS トレース・データはトレース・データ・セットに取り込まれません。

ヒント: CTRACE ライターのアドレス・スペースとデータ・セットの設定および管理については、*z/OS MVS 診断: ツールと保守援助プログラム*, GA88-8561 を参照してください。

WebSphere for z/OS トレースで使用するバッファの指定

WebSphere for z/OS では、プロセス (アドレス・スペース) の初期化時に 2 つのバッファ・オプションを指定することができます。これらのオプションはバッファの数と各バッファのサイズを制御します。

注: これらのオプションは、WebSphere for z/OS サーバーの環境変数で指定する必要があります。

構文は次のとおりです。

TRACEBUFFCOUNT=nnnn

割り振るトレース・バッファの数を指定します。有効な値は 4 ~ 8 です。デフォルトは 4 です。

TRACEBUFFSIZE=nnnn

単一のトレース・バッファのサイズをバイト単位で指定します。値は、バイト (*nnnn*)、キロバイト (*nnnnK*)、メガバイト (*nM*) のいずれかの単位で指定することができます。有効な値は 128KB ~ 4MB で、デフォルトは 1MB です。

TRACEBUFFLOC=SYSPRINT | BUFFER

トレース・レコードの転送先として、SYSPRINT またはメモリー・バッファ (BUFFER) (その後 CTRACE データ・セットに保管) を指定します。デフォルトでは、トレース・レコードは、クライアントの場合は SYSPRINT に転送され、WebSphere for z/OS のその他のプロセスの場合はバッファに転送されます。いずれか一方の値を選択するか、またスペースで区切って両方の値を指定できます。

例: TRACEFUFFLOC=SYSPRINT BUFFER

注: WebSphere for z/OS ではクライアントに対して CTRACE をサポートしていません (クライアントの場合は「TRACEBUFFLOC=BUFFER」と指定しないでください)。他のすべてのアプリケーションに対しては、SYSPRINT の使用を避けるよう強くお勧めします。

環境変数による WebSphere for z/OS トレース・オプションの指定

WebSphere for z/OS では、30ページの『WebSphere for z/OS トレース用 CTIBBOxx parmlib メンバーの作成』で説明しているトレース・オプションの他に、プロセス (アドレス・スペース) の初期化時にさまざまなトレース・オプションを指定することができます。これらのオプションでは、トレースの「レベル」と parmlib のオーバーライドを設定することができます。これらのパラメーターは、WebSphere for z/OS サーバーの環境変数で指定する必要があります。

構文は次のとおりです。

RAS_MINORCODEDEFAULT=cccccccc

システム例外エラー (マイナー) コードについての文書を収集するためのデフォルトの動作を決定します。

注: このオプションは、必ず弊社営業担当員の指示に従って使用してください。

CEEDUMP

デフォルト。コールバックおよびオフセットを取り込みます。

TRACEBACK

言語環境プログラムおよび OS/390 UNIX トレースバック・データを取り込みます。

SVCDUMP

MVS ダンプを取り込みます (クライアントではダンプは生成しません)。

NODIAGNOSTICDATA

CEEDUMP、TRACEBACK、および SVCDUMP データを収集しません。

TRACEALL=x

コンポーネント・ブローカーのすべてのコンポーネントの一般トレース・レベルを設定します。有効なトレース・レベルは、0 (なし)、1 (例外)、2 (基本)、および 3 (詳細トレース) です。正常時および実動環境では、レベル 1 (例外) を使用してください。問題が発生している場合は、レベル 3 (詳細) を指定します。

注: レベル 3 (すべてのコンポーネントの詳細) は慎重に使用してください。このレベルでは、妥当に処理できる量を超えるデータが生成される可能性があります。

TRACEBASIC=(n,...)

基本レベルのトレースが有効になっている場合に、それよりも低いトレース・レベルが TRACEALL によって設定されていても、そのレベルをオーバーライドすることができる WebSphere for z/OS コンポーネントを指定します。

注: この変数値を変更する場合は、必ず弊社営業担当員の指示に従ってください。

ランタイム・アクティビティのトレース

TRACEBASIC=(*n*,...) および TRACEDETAIL=(*n*,...) における *n* の有効な値は次のとおりです。

- 0: RAS
- 1: 共通ユーティリティ
- 2: COS/ ネーミング
- 3: COMM
- 4: ORB
- 5: IM
- 6: OTS
- 7: Shasta
- 8: システム管理
- 9: OS/390 ラッパー
- A: デーモン
- B: IR
- C: テスト
- D: COS/ 照会
- E: セキュリティ
- F: 外部化
- G: アダプター
- H: ライフ・サイクル
- I: 識別
- J: JRAS (内部トレース -- 弊社営業担当員の指示に従って使用)
- K: 参照の収集
- L: J2EE

TRACEDETAIL=(*n*,...)

指定された WebSphere for z/OS コンポーネントの最も詳細なトレースを活動化し、TRACEALL での低い設定をオーバーライドします。選択されたコンポーネント (*n*,...) は、コンポーネント ID (有効な値は上記の TRACEBASIC を参照) によって識別されます。番号で指定されたサブコンポーネントは詳細トレースを受け取ります。WebSphere for z/OS の他の部分は TRACEALL 環境変数で指定されたトレースを受け取ります。推奨値は「1」です。

注: この変数値を変更する場合は、必ず弊社営業担当員の指示に従ってください。

TRACEMINORCODE=value

システム例外マイナー・コードのトレースバックを使用可能にします。

注: このオプションは、弊社営業担当員から指示があった場合のみ使用してください。

有効な値は以下のとおりです。

ALL すべてのシステム例外マイナー・コードのトレース・バックを使用可能にします。

minor_code

特定のマイナー・コードのトレース・バックを使用可能にします。コードは 16 進数で指定します。

例: TRACEMINORCODE=C9C21234

(null value)

デフォルト。トレースバック・データの収集を行いません。

注: 別の環境変数 RAS_MINORCODEDEFAULT の設定によって、結果が異なる場合があります。TRACEMINORCODE の設定は、実際には重要ではありません。RAS_MINORCODEDEFAULT の設定によって、必要な結果を生じさせることができます。

例: RAS_MINORCODEDEFAULT の使用により、トレースバックを次の 2 つの異なる方法で取得することができます。

- TRACEMINORCODE=ALL および
RAS_MINORCODEDEFAULT=NODIAGNOSTICDATA と設定する。
- TRACEMINORCODE=(null value) および
RAS_MINORCODEDEFAULT=TRACEBACK と設定する。

TRACEMINORCODE=(null value) と指定しても TRACEBACK は取り消されません。トレースバックの収集が行われただけで、トレースバックは実行されます (そのため、上記の例では、トレースバックの収集を有効化する RAS_MINORCODEDEFAULT=TRACEBACK オプションを併せて使用しています)。

TRACEPARM=pp

「WebSphere for z/OS - CTRACE」間の接続と始動情報を格納する parmlib メンバーを指定します。

「pp」には、CTIBBO に付ける 2 文字の接尾部 (CTIBB0pp)、または parmlib メンバーの完全名を指定します。

ランタイム・アクティビティのトレース

デフォルトは 00 です。

注:

1. このパラメーターはデーモンのアドレス・スペースに対してのみ有効です。また、プログラム環境変数として指定する必要があります。
2. トレースは、トレース・レベルが「なし」のときも定義されます。

このパラメーターが指定されているときに parmlib メンバーが検出されない場合は、デフォルトが使用されます。指定された parmlib メンバーとデフォルトの parmlib のどちらも検出されない場合でもトレースは CTRACE に対して定義されますが、CTRACE 外部ライターへの接続はありません。

トレース項目の決定

トレース・フィルターの定義時には、詳細レベルを次のように指定することができます。

- **例外のトレース。** 例外が検出された場合はこのレベルを指定します。
このような状態には、次の状態が含まれます。
 - プログラム内の関数間での不正なパラメーター渡し
 - 制限条件の超過
 - 予期しないエラー状態 (デフォルト)
- **基本トレース。** このトレースでは、例外情報に加えて、コンポーネント間およびリソース・マネージャーの境界越えなどの主なイベントについての情報が提供されます。
- **詳細トレース。** このトレースでは制御フローがトレースされ、それによって問題の再現や新しいアプリケーションのテストを行うことができます。場合によっては、特殊なトレース・オプションを指定できます。例外と基本トレース・データはいずれも組み込まれます。このオプションでは、出力の量が最も多くなります。
- **トレースなし。** デフォルトのトレースがオフに設定されます。

WebSphere for z/OS トレース・データの取得

WebSphere for z/OS のコンポーネント・トレース機能では、トレース・データを収集する方法が複数あります。データは、トレース・バッファのダンプ、またはトレース・データ・セットから取得することができます。JRAS CTRACE データの場合は、これらの方法のいずれかを使用し、その他の指示に従って処理を行います。

トレース・バッファへのトレース

一度活動化されると、WebSphere for z/OS はトレース・データをメモリー・バッファに書き続けます。これらのバッファの数とサイズはこれまでに説明した方法で制御されます。トレース・バッファは各アドレス・スペースの(ページ可能) 専用ストレージで割り振られ、そのアドレス・スペース内の他の専用ストレージと一緒にダンプが生成されます。

システム生成ダンプまたはオペレーターが DUMP または SLIP によって要求したダンプから、このトレース・データを取得することができます。

ヒント: DUMP および SLIP コマンドの詳細については、z/OS MVS システム・コマンド、SA88-8593 を参照してください。

トレース・データ・セットへのトレース

WebSphere for z/OS はトレース・データをメモリー・バッファに書き続けます。しかし、これらのバッファはダンプによって取り込まれる前に循環してしまい、ダンプがとられないことがあります。その場合、WebSphere for z/OS は CTRACE 外部ライター・サービスを使用し、外部ライター・アドレス・データ・スペースによって設定されたトレース・データ・セットにトレース・データをコピーします。以下に、CTRACE 外部ライターを使用した WebSphere for z/OS トレース・データのこのような取得方法の概要を示し、続いてこの方法の詳しい内容について説明します。

CTRACE 外部ライターを使用した WebSphere for z/OS トレース・データの取得方法の概要

30ページの『WebSphere for z/OS トレース用 CTIBBOxx parmlib メンバーの作成』で説明しているように、WebSphere for z/OS デーモン・プロセスの初期化時に、WebSphere for z/OS は parmlib メンバーで指定されている CTRACE 外部ライターへの接続を試みます。デーモンの初期化で CTRACE 外部ライターに接続できなかった場合(つまり、WTR キーワードを格納する parmlib メンバーが存在しない場合)、後続の WebSphere for z/OS プロセスの初期化でも CTRACE 外部ライターへの接続は失敗します。

しばしば、WebSphere for z/OS トレース・データがトレース・データ・セットにコピーされないことがあります。WebSphere for z/OS が CTRACE 外部ライターに接続しても、CTRACE 外部ライターのアドレス・スペースがない場合は、トレース・データはトレース・データ・セットに書き込まれません。

WebSphere for z/OS トレース・データがトレース・データ・セットに書き込まれるようにするには、WebSphere for z/OS デーモンを CTRACE 外部ライター

ランタイム・アクティビティーのトレース

に接続し、その CTRACE 外部ライターを起動する必要があります。この接続と起動を行わないと、トレース・データは書き込まれません。

プロセスの初期化時のトレース・データ・セットへのトレースの開始手順

開始前に必要な作業: *z/OS MVS 診断: ツールと保守援助プログラム*, GA88-8561 に、この手順の実行に必要な作業に関する説明が記載されています。CTRACE ライターの PROC (コマンド・プロシージャー) 「bbowtr」の使用が前提とされます。

プロセスの初期化時のトレース・データ・セットへのトレースの開始は、次の手順で行います。すべてのトレース・データをトレース・データ・セットに確実に書き込むには、必ず WebSphere for z/OS プロセスの開始前に、parmlib メンバーと proclib メンバーを初期化し、CTRACE 外部ライターのアドレス・スペースを開始する必要があります。ただし、WebSphere for z/OS デーモンの初期化前にこれらが行われなかった場合でも、トレース・データを収集することは可能です (39ページの『プロセスの活動中のトレース・データ・セットへのトレースの開始手順』を参照)。

1. CTRACE ライターのアドレス・スペースを開始します。これは、デフォルトの WebSphere for z/OS parmlib メンバー CTIBBO00 で自動的行われます。

注: ライターがすでに活動している場合は、それを通知する情報メッセージが表示されます。

-
2. 必要なトレース仕様を指定してデーモンのアドレス・スペースを開始します。

-
3. WebSphere for z/OS サーバーを始動します。

-
4. 問題判別を行うためにトレース・データを収集する必要がある場合

- CTRACE からの WebSphere for z/OS の切断には、次のオペレーター・コマンドを使用します。

```
TRACE CT,ON,COMP=SYSBBOSS  
REPLY x,WTR=DISCONNECT,END
```

- CTRACE アドレス・スペースの停止には、次のオペレーター・コマンドを使用します。

```
TRACE CT,WTRSTOP=BBOWTR
```

CTRACE アドレス・スペースが停止したらトレースは完了です。IPCS を使用して、定義されているトレース・データ・セットを表示することができます。

プロセスの活動中のトレース・データ・セットへのトレースの開始手順

開始前に必要な作業: *OS/390 MVS Diagnosis: Tools and Service Aids*

(SY28-1085) に、この手順の実行に必要な作業に関する説明が記載されています。CTRACE ライターの PROC (コマンド・プロシージャ) 「bbowtr」の使用が前提とされます。

プロセスの活動中のトレース・データ・セットへのトレースの開始は、次の手順で行います。CTRACE 外部ライターのアドレス・スペースが活動していないときに WebSphere for z/OS デーモンを開始した場合でも、WebSphere for z/OS は CTIBBOxx parmlib メンバーで指定されているライターへの接続を実行します。この場合、WebSphere for z/OS はそのトレース・バッファーにデータを収集しますが、それらのバッファーはその名前の CTRACE 外部ライターのアドレス・スペースが開始されるまで保管されません。同様に、CTIBBOxx parmlib メンバーが存在しなかったり、存在しても WTR パラメーターが格納されていない場合でも、後から WebSphere for z/OS の実行中に CTRACE に接続することができます。それによって、後続のトレース・バッファーは CTRACE 外部ライターのデータ・セットに書き込まれるようになります。

1. 次のオペレーター・コマンドを使用して CTRACE ライターのアドレス・スペースを開始します。

```
TRACE CT,WTRSTART=BBOWTR
```

-
2. この CTRACE ライターのアドレス・スペースに WebSphere for z/OS を接続する必要がある場合は、次のオペレーター・コマンドを使用します。

```
TRACE CT,ON,COMP=SYSBBOSS  
REPLY x,WTR=BBOWTR,END
```

ヒント: トレース・データの収集を開始する必要がある場合は、38ページの『プロセスの初期化時のトレース・データ・セットへのトレースの開始手順』の手順 4 を参照してください。

CTRACE 外部ライターの実行

MVS オペレーター・コンソールから次のコマンドを発行することによって、WebSphere for z/OS のトレース用に CTRACE 外部ライターを開始できます。

ランタイム・アクティビティのトレース

```
TRACE CT,ON,COMP=SYSBBOSS,PARM=CTIBB000
```

この CTIBB000 parmlib メンバーには、次のステートメントが格納されています。

```
TRACEOPTS  
  WTRSTART(BBOWTR)  
  ON  
  WTR(BBOWTR)
```

注: CTRACE 外部ライターは、WebSphere for z/OS デーモンの始動前に開始する必要があります。

外部ライターのアドレス・スペースの開始後、WebSphere for z/OS デーモンとサーバーのアドレス・スペースを開始することができます。

コンポーネント・トレース・データを表示するには、その前に WebSphere for z/OS をコンポーネント・トレース外部ライターから切断する必要があります。この切断には、MVS オペレーター・コンソールから次のコマンドを発行します。

```
TRACE CT,OFF,COMP=SYSBBOSS  
TRACE CT,WTRSTOP=BBOWTR
```

Java サーバー・アプリケーションのトレース・データ収集のための CTRACE の実行

JRAS トレース・データは、WebSphere for z/OS ランタイムが発行する内部トレースと同じコンポーネント・トレース・データ・セットに書き込まれます。したがって、トレース・データをトレース・バッファ・ダンプから収集する場合もトレース・データ・セットから収集する場合も、WebSphere for z/OS ランタイムで実行されるアプリケーションが発行する JRAS トレースのコンポーネント・トレースの開始および停止は同じ手順で行うことができます。

ヒント: JRAS の詳細については、45ページの『第4章 Java サーバー・アプリケーションのトレース』を参照してください。

IPCS の使用による WebSphere for z/OS トレース・データの表示

コンポーネント・トレースからのメッセージまたはアプリケーション・トレース・データを表示するには、対話式問題制御システム (IPCS) を使用してデータをフォーマットしなければなりません。トレース・データのソースは、ダンプ・データ・セットまたはトレース・データ・セットです。コマンドは IPCS CTRACE を使用します。また、IPCS CTRACE コマンドでは、複数の WebSphere

for z/OS アドレス・スペース・トレース、OMVS、TCPIP などの複数のトレース・エンティティーを組み合わせることもできます。

ヒント

- z/OS MVS 対話式問題管理システム (IPCS) コマンド, SA88-8566 には、IPCS CTRACE および IPCS MERGE の使用法が記載されています。
- バッチ・モードでの IPCS の使用は、JRAS により深く関係します。そのため、この詳細については、45ページの『第4章 Java サーバー・アプリケーションのトレース』を参照してください。

IPCS ダイアログの使用による CTRACE データのフォーマット手順

開始前に必要な作業: インストール・システムによっては、IPCS の設定時に IPCS をユーザー用にカスタマイズしている場合があります。弊社では、ISPF パネルから IPCS ダイアログにアクセスできるようにするよう推奨しています。ご使用のインストール・システムで IPCS をこのようにカスタマイズしていない場合は、IPCS ダイアログを起動する必要があります。

ヒント: IPCS ダイアログの起動方法については、z/OS MVS 対話式問題管理システム (IPCS) ユーザーズ・ガイド, SA88-8568 を参照してください。

IPCS ダイアログの使用によるアプリケーション・トレース・データのフォーマット設定は、次の手順で行います。

1. 「IPCS 基本オプション・メニュー (IPCS Primary Option Menu)」パネルから、オプション 6 (COMMAND) を選択します。
-
2. 「IPCS サブコマンド入力 (IPCS Subcommand Entry)」パネルで次のことを行います。
 - a. (オプション) SETDEF サブコマンドを入力してルーティング表示のデフォルト値を設定します。
 - b. 次の必須パラメーターを指定して CTRACE コマンドを入力します。

```
CTRACE COMP(SYSBBOSS)
```

注: JRAS データのみのトレースを行う場合は、次のコマンドを入力します。

```
CTRACE COMP(SYSBBOSS)USEREXIT(JRAS)
```

必要に応じてその他のパラメーターを指定します。

ランタイム・アクティビティのトレース

例: トレース・データを端末のみに転送する場合は、NOPRINT パラメーターと TERMINAL パラメーターを指定して CTRACE コマンドを発行します。

ヒント: CTRACE コマンドのすべてのパラメーターについては、*z/OS MVS* 対話式問題管理システム (IPCS) コマンド, SA88-8566 を参照してください。

3. トレース・データの送り先に基づいて次のいずれかの表示方法を選択し、アプリケーション・データを表示します。

データの転送先	表示方法
IPCS 印刷データ・セット (IPCSPRNT)	「ISPF/PDF 表示 (ISPF/PDF Browse)」オプション
端末	「ダンプ表示レポーター (Dump Display Reporter)」パネル

ヒント: *z/OS MVS* 対話式問題管理システム (IPCS) ユーザーズ・ガイド, SA88-8568 では、「ダンプ表示レポーター (Dump Display Reporter)」パネルでトレース・データ内を移動するときに使用できるコマンドと PF キーについて説明しています。

トレース・データが指定したフォーマットに設定されたら完了です。

IPCS CTRACE のサブネームの検出

トレース・データ・セットが SVC ダンプの場合、トレースのサブネームも指定する必要があります。このサブネームは、アドレス・スペースのジョブ名と ASID (アドレス・スペース ID) とを組み合わせた、印刷可能な 16 進値です。サブネームを判別する簡単な方法は、次の IPCS サブコマンドを使用して CTRACE に対してデータを照会することです。

```
CTRACE QUERY DSN('dump.data.set')
```

サブネームがわかったら、次の IPCS サブコマンドを使用して WebSphere for *z/OS* トレース・データを表示できます。

```
CTRACE COMP(SYSBBOSS) SUB((subname)) FULL DSN('dump.data.set')
```

注: トレース・データ・セットの場合のみ、`subname` パラメーターは任意で指定できます。ダンプ・データ・セットを使用してトレース・データを表示する場合、このパラメーターの指定は必須です。

複数のトレースの表示

CTRACE では、タイム・スタンプに基づいて混ぜ合わされたさまざまなソースからのトレース・データと一緒に、複数のトレースを表示することができます。

ヒント: この MERGE サブコマンドの使用法の詳細については、*z/OS MVS 対話式問題管理システム (IPCS) コマンド*, SA88-8566 を参照してください。

トレース用 WebSphere for z/OS 環境変数のまとめ

以下に、WebSphere for z/OS トレースの管理に使用する環境変数をまとめます。詳細については、この章のこれまでの説明を参照してください。

バッファ

`TRACEBUFFCOUNT=nnnn`

`TRACEBUFFSIZE=nnnn`

`TRACEBUFFLOC=SYSPRINT | BUFFER`

オプション

`RAS_MINORCODEDEFAULT=ccccccc`

`CEEDUMP`

`TRACEBACK`

`SVCDUMP`

`NODIAGNOSTICDATA`

`TRACEALL=x`

`TRACEBASIC=(n,...)`

`TRACEDetail=(n,...)`

`TRACEMINORCODE=value`

`ALL`

`minor_code`

`(null value)`

ランタイム・アクティビティのトレース

`TRACEPARM=pp`

第4章 Java サーバー・アプリケーションのトレース

WebSphere for z/OS のランタイムでは、Ras Toolkit for Java がサポートされています。このツールキットの使用により、アプリケーション・プログラマーは、WebSphere for z/OS サーバーで稼働する Java サーバー・アプリケーションからメッセージを発行し、これらのアプリケーションのトレース・データを収集することができます。このサポートによって、Java アプリケーションが生成したメッセージを MVS マスター・コンソール上に表示したり、これらのメッセージをエラー・ログ・ストリームやコンポーネント・トレース (CTRACE) データ・セットに出力できるようになっています。Java アプリケーションのトレース項目も、同じ CTRACE データ・セットに出力されます。

Java アプリケーションがコンソールに発行したメッセージは、いずれもエラー・ログ・ストリームおよび WebSphere for z/OS CTRACE データ・セットにも出力されます。これらのシステム・リソースにメッセージのログを記録すると、アプリケーションの処理に関連するエラーの診断を容易に行えます。

エラー状態を記録するもう 1 つの方法として、CTRACE データ・セットへのトレース・データのログ要求を発行することもできます。この方法は、アプリケーション・データを診断目的で収集するときにも使用できます。収集するトレース・データの量と種類は選択可能なため、最小トレース (パフォーマンスを優先する場合) または詳細トレース (問題を再生し、追加の診断情報を取得したいとき) のいずれかでアプリケーションを実行することができます。

ヒント

- 環境変数パラメーターのリストについては、32ページの『環境変数による WebSphere for z/OS トレース・オプションの指定』を参照してください。
- メッセージとトレース・データのログを記録するための Java アプリケーションのコーディング方法については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: J2EE アプリケーションのアセンブル*, SA88-8654 を参照してください。

Java サーバー・アプリケーションが稼働したら、次の方法で、そのメッセージとトレース・データを表示することができます。

表3. メッセージとトレース・データの表示方法

出カタイプ	表示方法
エラー・ログ・ストリーム内のメッセージ	<p>エラー・ログ・ストリーム内のメッセージを表示するには、ログ表示ユーティリティ (BBORBLOG) を使用します。</p> <p>ヒント: BBORBLOG の詳細については、55ページの『第5章 WebSphere for z/OS エラー・ログ・ストリームの使用』を参照してください。</p>
コンポーネント・トレース内のメッセージまたはトレース・データ	<p>コンポーネント・トレース内のメッセージまたはアプリケーションのトレース・データを表示するには、次のいずれかの方法で対話式問題制御システム (IPCS) を使用する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 端末上で行モードで実行 (IPCS CTRACE コマンド) • 端末モニター・プログラムを使用してバッチ・モードで実行 <p>ヒント: 『バッチ・モードでの IPCS の使用による CTRACE データのフォーマットの設定手順』を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 端末上でフルスクリーン・モードで実行 (IPCS ダイアログ) <p>ヒント: 41ページの『IPCS ダイアログの使用による CTRACE データのフォーマット手順』を参照してください。</p> <p>推奨: IPCS、TSO/E、ISPF の使用に慣れていない場合は、バッチ・モードで IPCS を使用してトレース・データのフォーマット設定および表示を行ってください。</p>

バッチ・モードでの IPCS の使用による CTRACE データのフォーマットの設定手順

コンポーネント・トレースからのメッセージまたはアプリケーション・トレース・データを表示するには、対話式問題制御システム (IPCS) を使用してデータのフォーマットを設定する必要があります。バッチ・モードで IPCS を使用すると、最も簡単にデータのフォーマットを設定できます。特に IPCS、TSO/E、および ISPF の使用に慣れていない場合は、この方法が便利です。IPCS をバッチ・モードで使用することによって、トレース・データのフォーマットを設定し、トレース・データを MVS データ・セットに書き込むことができます。また必要に応じて、データ・セットの内容を HFS ファイルにコピーして表示できます。

開始前に必要な作業: IPCS をバッチ・モードで使用するには、あらかじめ IPCS ダンプ・ディレクトリーを作成しておく必要があります。インストール・システムによっては、IPCS 設定時に IPCS をユーザー用にカスタマイズしている場合があります。このカスタマイズの一部として、IBM 提供の BLSCDDIR CLIST で IPCS ダンプ・ディレクトリー作成のデフォルト値が変更されていることがあります。

ご使用のインストール・システムで BLSCDDIR CLIST を変更している場合は、次の手順に従って IPCS ダンプ・ディレクトリーを作成してください。

1. ディレクトリーの完全修飾データ・セット名を決めます。
2. TSO/E コマンド・プロンプトから、BLSCDDIR コマンドを入力してこのデータ・セット名を指定します。たとえば、IBMUSER.DDIR という名前のダンプ・ディレクトリーを作成するには、次のように入力します。

```
%blscddir dsn('ibmuser.ddir')
```

ご使用のインストール・システムで IPCS のカスタマイズを行っていない場合は、BLSCDDIR CLIST の他のパラメーターの変更が必要になる場合があります。BLSCDDIR CLIST を使用したダンプ・ディレクトリーの作成の詳細については、*z/OS MVS 対話式問題管理システム (IPCS) ユーザーズ・ガイド*, SA88-8568 および *z/OS MVS 対話式問題管理システム (IPCS) コマンド*, SA88-8566 を参照してください。

バッチモードでの IPCS の使用によるアプリケーション・トレース・データのフォーマット設定は、次の手順で行います。

1. ファイルを作成し、そのファイルに次のサンプル JCL をコピーします。この JCL が IPCS を呼び出して JRAS トレース・データの抽出とフォーマット設定を行い、このデータを MVS データ・セットに書き込みます。その後、この JCL は TSO/E OPUT コマンドを使って MVS データ・セットのフォーマット設定済みデータを HFS ファイルにコピーします。

```
//IBMUSERX JOB ,
// CLASS=J,NOTIFY=&SYSUID,MSGCLASS=H
//IPCS EXEC PGM=IKJEFT01,REGION=4096K,DYNAMNBR=50
//IPCSDDIR DD DSN=IBMUSER.DDIR,DISP=SHR
//IPCSDOC DD SYSOUT=H
//JRASTRC DD DSN=IBMUSER.CB390.CTRACE,DISP=SHR
//IPCSPRNT DD DSN=IBMUSER.IPCS.OUT,DISP=OLD
//SYSTSPRT DD SYSOUT=*
//SYSTSIN DD *
IPCS
DROPDUMP DDNAME(JRASTRC)
PROFILE LINESIZE(80)PAGESIZE(99999999)
SETDEF NOCONFIRM
CTRACE COMP(SYSBBOSS) DDNAME(JRASTRC) FULL PRINT +
NOTERMINAL
```

Java サーバー・アプリケーションのトレース

```
DROPDUMP DDNAME(JRASTRC)
END
/*
//OPUT          EXEC PGM=IKJEFT01,REGION=4096K,DYNAMNBR=50
//SYSTSPRT      DD SYSOUT=*
//SYSTSIN       DD *
oput 'ibmuser.ipcs.out' '/u/ibmuser/ipcs/jrastrace.txt' TEXT
/*
```

2. サンプル JCL を編集し、IBMUSER.DDIR を、作成した IPCS ダンプ・ディレクトリーに付けたデータ・セット名に置き換えます。

注:

- a. PROFILE ステートメントの PAGESIZE パラメーターは、出力データ・セットを印刷したくない場合にのみ使用します。
- b. HFS ファイル名は既存の HFS ファイル名と置き換えてもかまいませんが、その必要はありません。指定したファイルが存在しない場合、OPUT コマンド処理によって、新しい HFS ファイルが作成され、そのファイルに対する読み取りおよび書き込みアクセスが該当のユーザー ID のみに与えられます。

既存の HFS ファイルを指定した場合、そのファイルにどのようなデータが格納されていても、OPUT コマンド処理はそのデータに上書きします。OPUT コマンドの詳細については、*z/OS UNIX システム・サービス コマンド解説書*, SA88-8641 を参照してください。

- c. サンプル JCL の JRASTRC DD で指定されているデータ・セット名を、CTRACE データを格納するデータ・セット名に変更します。
- d. JRASTRC DD ステートメントと SYSTSIN ストリームでの OPUT コマンドに指定されている MVS データ・セット名を必要に応じて変更します。JRAS CTRACE データのフォーマット設定済みの出力は、まず、IPCSPRINT DD ステートメントで指定された MVS データ・セットに書き込まれ、その後 HFS データ・セットにコピーされます (コピー・オプションが指定されている場合)。このデータ・セットは、事前に割り当てておくか、またはこのデータ・セットを割り振るようサンプル JCL を変更します。このデータ・セットは、レコード・フォーマットが VBA で、レコード長が 133 でなければなりません。

3. JCL を実行依頼して IPCS バッチ・ジョブを開始します。

完了したら、vi などの UNIX エディターを使用して、HFS ファイル内のトレース・データを表示することができます。UNIX エディターの詳細については、*z/OS UNIX システム・サービス ユーザーズ・ガイド*、SA88-8640 を参照してください。

WebSphere for z/OS トレース・データを表示するサンプル JCL

次に、WebSphere for z/OS トレース・データを表示する JCL のサンプルを示します。

注: JCL は IPCS ダンプ・ディレクトリー (VSAM データ・セット userid.DUMP.DIR 内) を使用するため、JCL の実行前にこのディレクトリーを割り振っておく必要があります。

ヒント: ダンプ・ディレクトリーの初期化については、*z/OS MVS 対話式問題管理システム (IPCS)* コマンド、SA88-8566 を参照してください。

```
//SHOWTRC JOB <job card info>
//JOBLIB DD DISP=SHR,DSN=BBO.SBBOMIG
// DD DISP=SHR,DSN=SYS1.MIGLIB
//PRINTIT EXEC PGM=IKJEFT01,REGION=OM
//IPCSDDIR DD DISP=(OLD,KEEP),DSN=userid.DUMP.DIR
//IPCSPARM DD DISP=SHR,DSN=SYS1.PARMLIB
//SYSTSPRT DD SYSOUT=*
//IPCSTOC DD SYSOUT=*
//IPCSPRNT DD SYSOUT=*
//*-----
//SYSTSIN DD *
IPCS NOPARM
 CTRACE COMP(SYSBBOSS) SUB((subname)) FULL DSN('dump.data.set')
/*
```

次に、複数のアドレス・スペースの WebSphere for z/OS トレース・データを表示する JCL のサンプルを示します。

```
//SHOWTRC2 JOB <job card info>
//JOBLIB DD DISP=SHR,DSN=BBO.SBBOMIG
// DD DISP=SHR,DSN=SYS1.MIGLIB
//PRINTIT EXEC PGM=IKJEFT01,REGION=OM
//IPCSDDIR DD DISP=(OLD,KEEP),DSN=userid.DUMP.DIR
//IPCSPARM DD DISP=SHR,DSN=SYS1.PARMLIB
//SYSTSPRT DD SYSOUT=*
//IPCSTOC DD SYSOUT=*
//IPCSPRNT DD SYSOUT=*
//*-----
//SYSTSIN DD *
IPCS NOPARM
MERGE
```

Java サーバー・アプリケーションのトレース

```
CTRACE COMP(SYSBBOSS) SUB((subname)) FULL DSN('dump.data.set')
CTRACE COMP(SYSBBOSS) SUB((subname2)) FULL DSN('dump.data.set')
MERGEEND
/*
```

J2EE トレースの有効化の手順

J2EE トレースの有効化は次の手順で行います。

1. HFS 内にトレース設定ファイルを作成します。

2. `jvm.properties` ファイルに次の行を追加します。

```
com.ibm.ws390.trace.settings=/.../trace.settings
```

注: `jvm.properties` ファイルの作成方法および作成位置の詳細については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: インストールおよびカスタマイズ*, GA88-8652 を参照してください。

3. トレース設定ファイルに次の行を追加します。

```
com.ibm.ejs.*=all=enabled
com.ibm.ws390.orb=all=enabled
```

最初の行ではすべてのコンテナ・トレースが有効化され、2 番目の行ではすべての ORB トレースが有効化されます。

4. トレースを有効化したサーバーを再始動します。

イベント・タイプ

次の表に、トレース・イベントの各タイプを挙げ、それぞれのタイプに関連するデフォルトの状況 (使用可能 / 使用不可) と関連データの転送先を示します。また、各タイプのトレース・イベントに対応する JRas メッセージ・イベント・タイプ、およびサポートされている JRas トレース・イベント・タイプを示します。詳しくは *WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: J2EE アプリケーションのアセンブル*, SA88-8654 を参照してください。

表4. トレース・イベント・タイプ

トレース・イベント・タイプ	デフォルト状況	宛先	JRas メッセージ・イベント・タイプ	JRas トレース・イベント・タイプ
TraceEvent .AUDIT	使用可能	<ul style="list-style-type: none"> • WTO • CTrace 	RASIMessageEvent .TYPE_INFORMATION	
TraceEvent .DEBUG	使用不可	<ul style="list-style-type: none"> • CTrace 		RASITraceEvent .TYPE_MISC_DATA RASITraceEvent .TYPE_LEVEL1 RASITraceEvent .TYPE_LEVEL2 RASITraceEvent .TYPE_LEVEL3
TraceEvent .DUMP	使用不可	<ul style="list-style-type: none"> • CTrace 		
TraceEvent .ERROR	使用可能	<ul style="list-style-type: none"> • エラー・ログ • WTO • CTrace 	RASIMessageEvent .TYPE_ERROR	
TraceEvent .EVENT	使用不可	<ul style="list-style-type: none"> • CTrace 		<ul style="list-style-type: none"> • RASITraceEvent .TYPE_ERROR_EXC • RASITraceEvent .TYPE_SVC • RASITraceEvent .TYPE_OBJ_CREATE • RASITraceEvent .TYPE_OBJ_DELETE • RASITraceEvent .TYPE_LEVEL1

Java サーバー・アプリケーションのトレース

表4. トレース・イベント・タイプ (続き)

TraceEvent .ENTRY TraceEvent .EXIT	使用不可	<ul style="list-style-type: none"> • CTrace 		<ul style="list-style-type: none"> • RASITraceEvent .TYPE_ENTRY_EXIT • RASITraceEvent .TYPE_API • RASITraceEvent .TYPE_CALLBACK • RASITraceEvent .TYPE_PRIVATE • RASITraceEvent .TYPE_PUBLIC • RASITraceEvent .TYPE_STATIC • RASITraceEvent .TYPE_LEVEL1 • RASITraceEvent .TYPE_LEVEL2
TraceEvent .FATAL	使用可能	<ul style="list-style-type: none"> • エラー・ログ • WTO • CTrace 		
TraceEvent .TERMINATE	使用可能	<ul style="list-style-type: none"> • エラー・ログ • WTO • CTrace 		
TraceEvent .WARNING	使用可能	<ul style="list-style-type: none"> • WTO • CTrace 	RASIMessageEvent .TYPE_WARNING	

エラー・ログ・ストリームへのメッセージ出力のフォーマット

エラー・ログ・ストリームに転送される JRAS メッセージ要求は、次に示すサンプルのようにフォーマット設定されます。この場合、JRAS メッセージは WebSphere for z/OS ランタイムによって転送されますが、JRAS の使用時には、クライアントとサーバーの情報は提供されません。

注: 左側の数字は行を指定するためのもので、実際の出力には表示されません。

```

1 | 2000/04/17 19:22:57.416 01 SYSTEM=SY1 SERVER=BBOASR1A JobName=BBOASR1S
2 |   ASID=0X003B PID=0X00000043 TID=0X251D8D40 0X000004 c=A.6 JRAS/Tr+1 ...
3 |   BBOJ0001 Java B0 created.
```

JRAS エラー・ログ・エントリーの最初の 2 行には、WebSphere for z/OS ランタイム・エラー・ログ・エントリーと同じ情報が出力されます。ただし、ログ要求を発行した *.cpp ファイルのファイル名と行番号に代わって、「JRAS/Tr+1」という語句が行 2 の終わりに記述されます。

OS/390 CTRACE 機能に転送されたメッセージ要求は、IPCS を使用して表示する必要があります。IPCS を使用してフォーマット設定された JRas メッセージ・トレース項目には、次の出力フィールドがあります。

```
ComponentId  
ThreadId  
FunctionName  
SourceId  
Manufacturer  
Product  
Version  
ServerName  
Severity  
Category  
ExtendedMessage  
RawData
```

メッセージ長

WTO 機能に転送される JRAS メッセージは、メッセージ・テキストの長さが 700 文字を超える場合、WebSphere for z/OS ランタイムによって切り捨てられます。また、エラー・ログ・ストリームに転送される JRAS メッセージについては、データの長さ (メッセージ・テキストのほか、日付、時刻、クラス、メソッド、組織、製品、コンポーネント、およびあらゆるスペース文字を含む) が 512 文字を超える場合、WebSphere for z/OS ランタイムによって切り捨てられます。

エラー・ログ・ストリームへのトレース出力のフォーマット

CTrace に書き込まれたトレース・データのフォーマット設定によって、JRas トレース・データを他のファイル・フォーマットに容易に変換できるようになります。JRas トレース・イベント用の出力フィールドは、メッセージおよびトレース・イベント用のフィールドと同じです (52ページの『エラー・ログ・ストリームへのメッセージ出力のフォーマット』を参照)。ただし、すべてのフィールドにすべてのトレース・タイプのデータが含まれるわけではありません。

トレースの長さ

1024 バイトを超える 16 進データ (Java バイト配列のトレースからの) や、16384 文字を超えるストリング・データを格納するトレース要求は、

Java サーバー・アプリケーションのトレース

WebSphere for z/OS ランタイムによって切り捨てられます。JRAS トレース・イベントに 1024 バイトを超える 16 進データが格納されている場合、ランタイムはそのデータを 1024 バイトまでで切り捨てます。JRAS トレース・イベントに 16384 文字を超える文字列・データが格納されている場合、ランタイムは 16384 文字の制限範囲内に入らない各文字列・フィールドを「***BUFFER OVERFLOW***」という語句に置き換えます。

注:

1. 文字列文字列・データの制限は 16384 バイトですが、これにはトレース出力に書き込まれるすべてのテキスト・フィールド (組織、製品、コンポーネント、グループ、クラス、メソッド、スレッド、タイプ、テキスト、パラメーターなど) が含まれます。
2. 各文字列には、16384 バイトの上限までカウントする、1 バイトの文字列終了文字が付きます。いくつかの埋め込み文字はカウントされません。そのため、16384 文字制限におけるカウント数は実際の文字数とは多少異なります。

第5章 WebSphere for z/OS エラー・ログ・ストリームの使用

この章では、WebSphere for z/OS エラー・ログ・ストリームの使用法を説明します。

ヒント: JRAS メッセージおよびトレース・ロギングの詳細については、45ページの『第4章 Java サーバー・アプリケーションのトレース』を参照してください。

WebSphere for z/OS エラー・ログ・ストリームの概要

WebSphere for z/OS には、WebSphere for z/OS が自身のコード内で予期しない状態または障害を検出した場合に、エラー情報を記録するエラー・ログ・ストリームがあります。予期しない状態または障害には、以下のようなものがあります。

- 代入エラー
- 回復不能エラー状態
- 重大なリソース障害

例: メモリー

- オペレーティング・システム (OS) 例外
- WebSphere for z/OS コードのプログラミング障害

エラー情報または状況情報を取り込むには、エラー・ログ・ストリームとその他の使用可能な機能を組み合わせて使用してください。

- アクティビティ・ログ
- トレース・データ
- システム logrec
- ジョブ・ログ

WebSphere for z/OS エラー・ログ・ストリームは、システム・ロガー・アプリケーションです。エラー・ログ・ストリームはシステム・ロガーを使用するため、以下のことが可能です。

WebSphere for z/OS エラー・ログ・ストリームの使用

- エラー情報を、カップリング・ファシリティ・ログ・ストリーム (シスプレックス規模のエラー・ロギングを提供)、または DASD 専用ログ・ストリーム (単一システム専用のエラー・ロギングを提供) に書き込む。
- WebSphere for z/OS すべてに対して共通のログ・ストリームをセットアップする。または、サーバーおよびサーバー・インスタンスごとに個々のログ・ストリームをセットアップする。ローカル OS/390 クライアント ORB は、データをログ・ストリームに記録することもできます。システム・ロガー API は無許可です。このログ・ストリーム・リソースは、RACF などのセキュリティ製品を使用して保護することができます。

WebSphere for z/OS は、BBORBLOG という名前の ISPF REXX EXEC を提供します。これによって、エラー・ログ・ストリームを表示することができます。

注: デフォルトでは、マクロはエラー・レコードを 3270 ディスプレイに合わせてフォーマット設定します。

エラー・ログ・ストリームのセットアップ

本書では、エラー・ログ・ストリームのセットアップについて詳しく説明しません。

ヒント: エラー・ログ・ストリームのセットアップの詳細については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: インストールおよびカスタマイズ*, GA88-8652 を参照してください。

エラー・ログ・ストリーム名の識別

システムがログ・ストリームへの記録を開始すると、ログ・ストリーム名を示すジョブ・メッセージに対してメッセージが発行されます。

ログ・ブラウザ・ユーティリティ (BBORBLOG) の使用

BBORBLOG ブラウザーを使用して、エラー・ログ・ストリーム出力を表示することができます。ブラウザーを起動するには、ISPF オプション 6 に進み、以下のように入力します。

```
'BBO.SBBOEXEC(BBORBLOG)' 'BBO.BOSSXXXX format option '
```

注: この例では、BBORBLOG は BBO.SBBOEXEC にあります。

ブラウザーは「userid.stream_name」という名前のブラウザ・データ・セットを作成します。この中には、ログ・ストリームの内容が含まれています。ブラウザーが実行されると、以下のことが実行されます。

1. `userid.stream_name` というデータ・セットが割り振られる。このデータ・セットは重複するデータ・セットを上書きします。
2. データ・セットにログ・ストリームの内容が挿入される。
3. 「ブラウズ」モードにあるユーザーがデータ・セットに書き込まれる。

ブラウザーは以下の 2 つのパラメーターをとります。

ログ・ストリーム名

ログ・ストリームの名前。ログ・ストリームの名前についてはジョブ・メッセージを参照してください。

フォーマット・オプション

80 デフォルト。ログ・ストリーム・レコードは、80 文字の `lrecl` 長さでフォーマット設定されます。それを超える行は折り返しされず。

NOFORMAT

フォーマット設定をオフにします。エラー・ログ・メッセージは、1 つのログ・メッセージ・ストリングとしてブラウズ・ファイルに表示されます。

ブラウザーを起動するには、3 つの有効な方法 (使用できる 3 種類のコマンド) があります。以下の例を使用して、各コマンドについて説明します。

例: BBORBLOG メンバーが `BBO.SBBOEXEC` という名前のデータ・セットにある場合は、選択したフォーマット・オプションに応じて以下のいずれかを発行します。

```
ex 'BBO.SBBOEXEC(BBORBLOG)' 'BBO.BOSSXXXX '  
ex 'BBO.SBBOEXEC(BBORBLOG)' 'BBO.BOSSXXXX 80'  
ex 'BBO.SBBOEXEC(BBORBLOG)' 'BBO.BOSSXXXX NOFORMAT '
```

ヒント: (BBORBLOG を使用する場合): 上記の `BBO.SBBOEXEC` の例で、WebSphere for z/OS のインストール中にターゲット・ライブラリーがユーザーのログオン・プロシージャの SYSEXEC 連結に追加された場合、これはブラウザーを起動する最も簡単な方法です。ブラウザー REXX EXEC を含むライブラリーを指定する必要はありません。BBORBLOG を指定するだけで済みます。

エラー・ログ・ストリーム・レコード出力の分析

以下の 2 つのエラー・ログ・ストリーム・レコードについて説明します。

- サーバー・ログ・ストリーム
- サーバーの CERR

WebSphere for z/OS エラー・ログ・ストリームの使用

注: 各サンプルの左に示された数字は、行を指定するために追加されたものであり、実際の出力には表示されません。

サーバー・ログ・ストリームからの出力例

```
1 | 2000/06/01 16:01:06.683 01 SYSTEM=SY1 SERVER=BBOASR1A JobName=BBOASR1S
2 | ASID=0X0033 PID=0X0100003C TID=0X24F858A0 0X000004 c=2.1010030
3 | ./bbooreq.cpp+4437 ... BBOU0013W The function
4 | make_user_exception(IIOP_protocolArea*+4437 raised a user exception
5 | CosNaming::NamingContext::NotFound.
```

ストリーム BBO.BOSSXXXX からのログ・ストリーム・レコード出力フィールドは、以下のとおりです。

表 5. サーバー・ログ・ストリーム・レコード出力のパーツ表

コンポーネント	説明
行 1: 2000/06/01 16:01:06.683 01	日付 / タイム・スタンプ / 2 桁のレコード・バージョン番号
行 1: SYSTEM=SY1	システム名
行 1: SERVER=BBOASR1A	サーバー名
行 1: JobName=BBOASR1S	ジョブ名
行 2: ASID=0X0033	ASID (アドレス・スペース ID)
行 2: PID=0X0100003C	PID (プロセス ID)
行 2: TID=0X24F858A0 0X000004	TID (スレッド ID)
行 2: c=2.1010030	要求関連情報
行 3: ./bbooreq.cpp+4437	ファイル名 & 行
行 3: BBOU0013W	ログ・メッセージ番号
行 3: The function...	ログ・メッセージ
行 4~5: make_user_exception... CosNaming::Naming...	継続行: ログ・ストリーム・ログ・メッセージの継続

注: 各フィールドはブランクで区切られます。

サーバーの CERR からの出力例

```
1 | BossLog: { 0017} 2000/06/01 15:58:25.557 01 SYSTEM=SY1 SERVER=BBOASR1A
2 | PID=0X0100003C TID=0X24F82920 00000000 c=3.C5D02
3 | ./bboiroot.cpp+1195 ... BBOU0012W The function IRootHomeImpl::findHome(
4 | const char*+1195 received CORBA system exception CORBA::INTERNAL.
5 | Error code is C9C21200.
```

CERR ジョブ・メッセージ出力フィールドは以下のとおりです。

表 6. CERR レコード出力のパーツ表

コンポーネント	説明
行 1: BossLog: { 0017}	BossLog: {エントリー番号}
行 1: 2000/06/01 15:58:25.557 01	日付 / タイム・スタンプ / 2 桁のレコード・バージョン番号
行 1: SYSTEM=SY1	システム名
行 1: SERVER=BBOASR1A	サーバー名
行 2: PID=0X0100003C	PID (プロセス ID)
行 2: TID=0X24F82920 00000000	TID (スレッド ID)
行 2: c=3.C5D02	要求関連情報
行 3: ./bboiroot.cpp+1195	ファイル名 & 行
行 3: BBOU0012W	ログ・メッセージ番号
行 3: The function IRootHomeImpl::find...	ログ・メッセージ
行 4~5: const char*)+1195 received CORBA system exception CORBA::INTERNAL. Error code is C9C21200.	継続行: CERR ジョブ・メッセージの継続行

注:

1. 各フィールドはブランクで区切られます。
2. CERR フォーマットはロガーではなく SYSOUT にあります。

BBORBLOG ブラウザー出力の保管

BBORBLOG ブラウザーを使用すると、ユーザー ID にログ・ストリーム名を付けてデータ・セットが作成されます。ブラウザー出力を保管する場合は、この名前を変更してください。ログ・ストリームの現行ビューの内容は、ストリームの保存日付に達するまでは変更されません。ただし、次のブラウザー起動時に、ログ・ストリームの現行ビューが削除されます (同じデータ・セット名 (DSNAME) が使用されるため)。直前のデータは、保存日付まで別のレコード (現行ビューではなく) に存在します。

第6章 ネーミング・ダンプ・ユーティリティー (BBOSNDMP) の使用

この章では、ネーミング・ダンプ・ユーティリティー (BBOSNDMP) について説明します。

ネーミング・ダンプ・ユーティリティーの概要

BBOSNDMP は、WebSphere for z/OS ネーム・スペースの内容のダンプを生成してネーミング操作の結果を参照するためのユーティリティーです。

BBOSNDMP の使用により、ネーム・スペースの内容を確認し、潜在的な問題を認識することができます。

ネーム・スペースの内容は、ネーミング・コンテキスト、およびアプリケーション・オブジェクトへのバインディングです。BBOSNDMP は、指定された開始コンテキストからネーム・スペースを走査し、ネーミング・コンテキストの名前、およびバインドされているアプリケーション・オブジェクトをリスト表示します。ネーミング・コンテキストとバインドされているアプリケーション・オブジェクトについて、その配置先のサーバーの名前に関する情報が提供されます。バインドされているアプリケーション・オブジェクトについては、そのモジュール名とインターフェース名、およびバージョン番号に関する追加情報のダンプも生成することができます。

ローカル・ネーム・スペースのほか、いくつかのサーバーに分散しているネーム・スペースのダンプをとることができます。ネーム・スペースは非常に大きなサイズになる可能性があるため、フィルター・オプションが設けられています。このオプションを使用して出力を制御し、ダンプ・スペースを限定することができます。

ネーミング・ダンプ・ユーティリティーの使用

入力

BBOSNDMP の入力オプションは、制御データ・セット、ジョブ制御言語 (JCL) PARM ステートメント、または TSO コマンド行で指定することができます。

ネーミング・ダンプ・ユーティリティ (BBOSNDMP)

ます。これらを組み合わせて使用することも可能です。たとえば、あるオプションを制御データ・セットで指定し、別のオプションを TSO コマンド行で指定することができます。

出力

BBOSNDMP はネーム・スペースの内容を格納する出力データ・セットを生成します。出力のフォーマットは、プレーン・テキストと HTML のどちらかに設定することができます。HTML フォーマットにした場合、Web ブラウザーからネーム・スペースを容易に使用したり、ブラウズしたりすることができます。

BBOSNDMP 出力の分析

ネーミング・ダンプのプレーン・テキスト出力

```
Date: 1998/09/28
Time: 04:51:16.766
Server: BOSS0071.PLEX1.L2.IBM.COM
```

Used Options:

```
-Recursion depth: 1
-Names only:      no
-Contexts only:   no
-Object pattern:  *
-Traversal mode:  lifo
-Bootstrap host:  local
```

Startcontexts:

```
-/host
```

```
-----
Startcontext: /host
-----
```

```
(0) /host
```

Contexts:

```
(c) applications (1)
    + Server:    BOSS0071.PLEX1.L2.IBM.COM
(c) resources (corrupted)
(c) development (3)
    + Server:    BOSS0071.PLEX1.L2.IBM.COM
```

```
(3) /host/development
```

Objects:

```
(o) myobject1
    + Server:    BOSS0071.PLEX1.L2.IBM.COM
    + Module:    IDL:IManagedClient
    + Interface: IManageable
    + Version:   1.0
(o) myobject2
    + Server:    BOSS0071.PLEX1.L2.IBM.COM
```

ネーミング・ダンプ・ユーティリティ (BBOSNDMP)

```
+ Module: IDL:IManagedClient
+ Interface: IManageable
+ Version: 1.0
```

```
Contexts:
  (c) resources (leaf)
      + Server: BOSS0071.PLEX1.L2.IBM.COM
(2) /host/resources
```

```
Contexts:
  (c) factories (leaf)
      + Server: BOSS0071.PLEX1.L2.IBM.COM
  (c) servers (leaf)
      + Server: BOSS0071.PLEX1.L2.IBM.COM
  (c) locations (leaf)
      + Server: BOSS0071.PLEX1.L2.IBM.COM
  (c) factory-finders (leaf)
      + Server: BOSS0071.PLEX1.L2.IBM.COM
```

```
(1) /host/applications
```

```
-----
Index for /host:
-----
```

```
-/host (0)
-/host/development (3)
-/host/resources (2)
-/host/applications (1)
```

出力は次のような構成になっています。

表 7. BBOSNDMP レコード出力のパーツ表

コンポーネント	説明
ヘッダー	
Date: 1998/09/28 Time: 04:51:16.766	ダンプの作成日時
Server: BOSS0071.PLEX1.L2.IBM.COM	ブートストラップ・ホストの名前
Used Options: -Recursion depth: 1 -Names only: no -Contexts only: no -Object pattern: * -Traversal mode: lifo -Bootstrap host: local	使用された制御ステートメント (オプション)

ネーミング・ダンプ・ユーティリティー (BBOSNDMP)

表 7. BBOSNDMP レコード出力のパーツ表 (続き)

コンポーネント	説明
Startcontexts: -/host ----- Startcontext: /host -----	異なる開始コンテキストのリスト
(0) /host (3) /host/development (2) /host/resources (1) /host/applications	
異なる開始コンテキスト	
実際の開始コンテキストのサブコンテキスト項目	
(3) /host/development Objects: (o) myobject1 + Server: BOSS0071.PLEX1... + Module: IDL:IManagedClient + Interface: IManageable + Version: 1.0 (o) myobject2 + Server: BOSS0071.PLEX1... + Module: IDL:IManagedClient + Interface: IManageable + Version: 1.0	実際のサブコンテキスト内のアプリケーション・オブジェクトの名前を格納するオブジェクト・セクション • バインディング名 • サーバー名 • モジュール、インターフェース、バージョン
(3) /host/development Contexts: (c) resources (leaf) + Server: BOSS0071.PLEX1...	実際のサブコンテキストのサブコンテキストの名前を格納するコンテキスト・セクション • バインディング名 • サーバー名
索引	
-/host/development	実際の開始コンテキスト内のアクセスされたすべてのコンテキストの絶対パス名 (ルート・コンテキストからのパス)
(3)	括弧で囲まれた値。同じコンテキスト・オブジェクトを指すコンテキスト項目の別名 (リンク)

制御ステートメントを使用して、さまざまな開始コンテキストを指定することができます。それにより、開始コンテキストのサブツリーのダンプが順番に生

成されます。サブコンテキストのオブジェクト・セクションでは、アプリケーション・オブジェクトのすべてのバインディング (サーバー名、モジュール、インターフェース、バージョンに関する情報を含む) のダンプが生成されます。コンテキスト・セクションでは、すべてのサブコンテキストのバインディング (サーバー名に関する情報を含む) が出力されます。開始コンテキストのダンプ後、アクセスされたすべてのコンテキストの絶対パス名を示す索引のダンプが生成されます。アクセスされたコンテキストに別名 (同じコンテキスト・オブジェクトを指すコンテキスト項目) が存在する場合、最初に検出されたコンテキスト項目の下にその別名が括弧で囲まれて記述されます。

バインディングのサーバー、モジュール、インターフェースなどの情報にアクセスできない場合、そのバインディングは「破損している」とマーク付けされます。BBOSNDMP では、制御ステートメント `RecDepth` を使用することができます。再帰の深さが最大のコンテキストは、リーフ・コンテキストとしてマーク付けされます。

HTML 出力の使用時には、HTML リンクによってネーム・スペース・ダンプ内を移動することができます。プレーン・テキスト出力では、各ダンプ・コンテキストに番号が付けられます。

ネーミング・ダンプ・ユーティリティの制御ステートメント

BBOSNDMP はジョブとユーティリティの制御ステートメントによって制御されます。ジョブ制御ステートメントでは、BBOSNDMP が使用する入出力データ・セットを指定できます。また、ユーティリティ制御ステートメントで、これらのデータ・セットを指定することもできます。

ジョブ制御ステートメント

BBOSNDMP では、次のジョブ制御ステートメントが使用されます。

EXEC

例: `//[stepname] EXEC PGM=BBOSNDMP, [PARM=<parms>]`

注:

1. 66ページの『ユーティリティ制御ステートメント (ユーティリティ・オプション)』で説明しているパラメーターの任意のものを、次のように指定することができます。

`PARM='keyword1=value1 keyword2=value2 ...'`

2. ユーティリティ制御ステートメント間は空白で区切る必要があります。

ネーミング・ダンプ・ユーティリティー (BBOSNDMP)

3. 「keyword」、「=」文字、「value」の間には、ブランクは挿入できません。

NDCONFIG DD (使用)

BBOSNDMP のユーティリティー制御ステートメントを格納する入力データ・セットを定義します。

注:

1. これを指定しない場合、JCL 内 PARM ステートメントで定義されたパラメーターか、または TSO call コマンド内のコマンド行パラメーターのみが使用されます。
2. または、configdataset 制御ステートメントを使用して制御データ・セットを指定することもできます。

NDOUTPUT DD (オプション)

ネーム・スペースの内容のダンプ先とする出力データ・セットを定義します。

注:

1. この出力データ・セットは、生成される出力の量に対応できる大きさでなければなりません。PS、PDS、PDSE、または HFS データ・セットを使用することができます。
2. または、outputdataset 制御ステートメントを使用して出力データ・セットを指定することもできます。

ユーティリティー制御ステートメント (ユーティリティー・オプション)

ユーティリティー制御ステートメントは、次の方法で指定することができます。

- 制御データ・セット (構成ファイル) で指定する
- JCL の PARM ステートメントを介して指定する
- TSO call コマンドのコマンド行パラメーターで指定する

2 番目と 3 番目の方法では、1 番目の制御データ・セットによる設定が上書きされます。

すべての制御ステートメントは、Keyword=Value の形式で記述します。

注:

1. PARM ステートメントまたはコマンド行パラメーターを使用して制御ステートメントを指定する場合、「Keyword」、「=」文字、「Value」の間にはスペースを挿入できません (この制約は、制御データ・セットで指定した制御ステートメントには適用されません)。

- Value 内にスペースが存在する場合は、単一引用符を使用する必要があります。

例: `Keyword='a b c d'`

各制御ステートメントごとに、Keyword の長い名前と短い名前があります。これらの名前では、大文字と小文字は区別されません。制御データ・セットでコメントを挿入するときには、C++ の場合と同じように、先頭に「//」を付けます。

CONFIGDATASET (CDS)

制御データ・セットの名前。

範囲: 有効なデータ・セット名

デフォルト: `NDCONFIG DD` (指定する場合 -- 指定しない場合は、コマンド行パラメーターのみが使用されます)

注:

- 「ネイティブ」の MVS データ・セットには、先頭に「//」ストリングを付けます (このストリングを付けないと、HFS データ・セットが開かれます)。
- この制御ステートメントは制御データ・セットでは使用できません。

ヒント: 制御ステートメント `outputdataset` も参照してください。

CONTEXTONLY (CO)

索引の作成のみを指定します。この制御ステートメントは、オブジェクトではなくネーム・スペースの構造を確認する場合に使用します。

範囲: [yes,no]

デフォルト no

HOST (HT)

ブートストラップ・ホストとポートを指定します。

範囲: `iiop://<host name>: <port>`

デフォルト: `localhost`

注: ホスト名は、`127.0.0.1` のような IP アドレス、または `myhost.ibm.com` のような記号名で指定することができます。

NAMESONLY (NO)

バインディング名のダンプのみを生成します。詳細 (サーバー、モジュール、インターフェース、バージョン) は表示されません。

ネーミング・ダンプ・ユーティリティー (BBOSNDMP)

範囲: [yes,no]

デフォルト no

OBJECTPATTERN (OP)

このパターンに一致するオブジェクトのダンプのみを生成します。

範囲: [*|?|<char>]*

デフォルト *

注:

- 「*」文字と「?」文字はワイルドカードとして使用できます。
 - 「*」は任意の数の文字を表します。
 - 「?」は 1 文字を表します。
- 「*」と「?」を一般文字として使用するには、直前に「¥」文字を付けます。
- パターンでは、大文字と小文字が区別されます。

OUTPUTDATASET (ODS)

出力データ・セットの名前を指定します。

範囲: 有効なデータ・セット名

デフォルト: NDOUTPUT DD (指定する場合)

例:

- 物理順次データ・セット: //<dsname>
- PDS: //<dsname>(<member>)
- HFS データ・セット: /path/dsname

注:

- 指定したデータ・セットが存在しない場合、新しいデータ・セットが作成されます。
- 「ネイティブ」の MVS データ・セット (物理順次データ・セットと PDS) は、先頭に「//」ストリングを付けて指定します (このストリングを付けないと、HFS データ・セットが使用されます)。
- 上位修飾子を自動的に設定したくない場合は、単一引用符を使用します。

例: //'XXX.XXX.XXX'

OUTPUTFORMAT (OF)

出力ファイルのフォーマットを指定します。

範囲: [HTML,text]

ネーミング・ダンプ・ユーティリティ (BBOSNDMP)

- HTML を指定した場合、HTML 2.0 フォーマットの出力が生成されます。
- text を指定した場合、プレーン・テキストの出力が生成されます。

デフォルト: text

RECDEPTH (RD)

再帰の最大の深さを指定します。

範囲: [-1,0,1,2,...]

デフォルト: -1 (無制限)

例: RECDEPTH=0 は、開始コンテキストの内容のみ (サブコンテキストは含まない) のダンプが生成されます。

STARTPATH (SP)

ダンプを開始するネーミング・コンテキストを指定します。

範囲: ローカルのルート・コンテキスト「/」からの、コンテキストの有効なパス名。「/host」や「/host/resources」は代表的な例です。

デフォルト: ブートストラップ・ホストのルート・ネーミング・コンテキスト (「/」)

例: /host のダンプを生成する場合は、STARTPATH=/host と指定します。

注: 開始コンテキストは複数指定することができます -- その場合、指定したすべてのコンテキストのダンプが生成されます。

TRAVERSALMODE (TM)

コンテキスト・ツリーを走査する順序を指定します。

範囲: [fifo,lifo]

- fifo を指定した場合、幅が優先されます (ネーム・スペースは「層」ごとに走査されます)。
- lifo を指定した場合、深さが優先されます。

デフォルト: lifo

BBOSNDMP 制御ステートメントの例

制御ステートメントはいずれも複数回指定することができます。通常、個々の制御ステートメントの最初の定義が使用され、同じステートメントの後続の出現には警告が発行されます。Startpath 制御ステートメントは累積的に使用されます。

ネーミング・ダンプ・ユーティリティ (BBOSNDMP)

通常、コマンド行制御ステートメントは、制御データ・セットに指定された制御ステートメントより優先されます。

例 1: 制御データ・セットに対する CDS 制御ステートメントを使用する場合

```
//BBOSNDMP JOB ...
//S1      EXEC PGM=BBOSNDMP,REGION=0M,
//        PARM='/CDS=/'IBMUSER.BBOSNDMP.TEST(NDCNF)''
```

例 2: 制御データ・セットに対する CDS 制御ステートメントを使用し、RECDEPTH (RD) を値 2 で上書きする場合

```
//BBOSNDMP JOB ...
//S1      EXEC PGM=BBOSNDMP,REGION=0M,
//        PARM='/CDS=/'IBMUSER.BBOSNDMP.TEST(NDCNF)'' RD=2'
```

例 3: 制御データ・セットに対する DD ステートメントを使用する場合

```
//DDUMP   JOB ...
//S1      EXEC PGM=BBOSNDMP,REGION=0M,
//NDCONFIG DD DSN='IBMUSER.BBOSNDMP.TEST(NDCNF)',DISP=SHR
```

例 4:

```
//BBONDUTL JOB <JOB CARD PARAMETERS>
/** See instructions at the bottom of this file
// SET BBOLIB='BBO'
//BBONDUTL EXEC PGM=BBOSNDMP,REGION=0M
/**STEPLIB DD DSN=&BBOLIB;.SBBOLD2,DISP=SHR
/**      DD DSN=&BBOLIB;.SBBLOAD,DISP=SHR
//NDCONFIG DD DSN=&BBOLIB;.SBBOEXEC(BBONDSMP),DISP=SHR
/**NDOUTPUT DD DSN=<Output data set>,DISP=SHR
//BBOENV   DD DISP=SHR,DSN=&BBOLIB;.SBBOEXEC(BBOSYM)
//BBOERROR DD DISP=SHR,DSN=&BBOLIB;.ERROR.LOG
//CEEDUMP DD SYSOUT=*,SPIN=UNALLOC,FREE=CLOSE
//SYSOUT   DD SYSOUT=*,SPIN=UNALLOC,FREE=CLOSE
//SYSPRINT DD SYSOUT=*,SPIN=UNALLOC,FREE=CLOSE
//
/** ===== */
/**                                          */
/** COPYRIGHT =                          */
/** Licensed Material - Property of IBM  */
/**                                          */
/** 5655-A98 (C) Copyright IBM Corp. 2000 */
/** All Rights Reserved.                  */
/** U.S. Government users - RESTRICTED RIGHTS - Use, Duplication, or */
/** Disclosure restricted by GSA-ADP schedule contract with IBM Corp.*/
/** Status = H28K510                      */
/**                                          */
/** FUNCTION: Run the Naming Dump Utility. */
/**                                          */
/** ===== */
/**-----*/
/** Before submitting this job, the JCL must be customized for your */
```

ネーミング・ダンプ・ユーティリティー (BBOSNDMP)

```
/** installation. The following changes need to be made: */
/**
/** 1. Update the JOB card with the installation-specific */
/** parameters. */
/**
/** 2. The OS/390 CB load modules must either be in the linklist */
/** (which is recommended) or specified in a steplib. If you */
/** don't put them in the linklist, uncomment the steplib and */
/** change the above BBOLIB specification to identify the high */
/** level qualifier used for OS/390 CB on your system. */
/**
/** 3. Modify the sample configuration file specified in the */
/** NDCONFIG DD statement, or specify another one. */
/**
/** 4. Specify an output data set in the NDOUTPUT DD statement. */
/** Alternatively, the output data set can also be specified in */
/** the configuration file. */
/**
/** Change Activity: */
/** $P1=D5407 H28K510 990712 PDEB: Initial Release */
/**
/** ===== */
```

TSO からの BBOSNDMP 制御ステートメントの例

TSO 領域サイズは最小 100000 です。TSO 領域サイズが十分ないと、問題が発生することがあります。

```
call 'loadlib(ndump)' '/CDS=/'IBMUSER.BBOSNDMP.TEST(NDCNF)''
```

例 5: 制御データ・セット IBMUSER.NDUMP.TEST(NDCNF) の内容

```
// -----
// My control data set:
// -----
// Startpaths:
// -----
startpath    = /host/resources
startpath    = /host/applications
// Other options:
// -----
outputformat = HTML
outputdataset = /tmp/output.HTML
recdepth     = 3
```

注: 制御データ・セットには、コメント行 (先頭に「//」が付く行) と空行を組み込むことができます。

例 6

```
//
// Naming Dump Utility: Configuration file sample
//
// This sample dumps the entire local (host) NameSpace.
```

ネーミング・ダンプ・ユーティリティー (BBOSNDMP)

```
// HTML output is created and stored in the MVS data set
// <HLQ>.BBOSNDMP.OUT.
//
// For a description of all options of the Naming Dump Utility
// see the 'OS/390 Component Broker: Messages and Diagnosis'
// manual.
//
StartPath      = /host
OutputFormat   = HTML
OutputDataset  = //'<HLQ>.BBOSNDMP.OUT'
```

BBOSNDMP 戻りコード

表 8. BBOSNDMP 戻りコード

コード	意味
'00' (X'00')	正常終了
'04' (X'04')	警告。おそらく正常終了。警告メッセージが書き込まれます。
'08' (X'08')	ユーザー・エラー。ユーティリティーは終了します。制御ステートメントの誤り、データ・セットが小さすぎる、などの原因が考えられます。
'12' (X'0C')	システム・エラー。ユーティリティーは終了します。リソースに関する問題、システム呼び出しの失敗などの原因が考えられます。
'16' (X'10')	内部エラー。ユーティリティーは終了します。このエラーは通常は起こりません。

第7章 インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティー (BBOPUDMP) の使用

この章では、インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティー (BBOPUDMP) について説明します。

インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティーの概要

BBOPUDMP は、インターフェース・リポジトリ (IR) の内容のダンプを HTML またはプレーン・テキスト・フォーマットでファイルに生成するためのユーティリティーです。IR には膨大な数のオブジェクトが格納されている場合があるため、ダンプ対象は、これらのオブジェクトのサブセットだけに制限します。HTML 出力では、IR の階層構造が表示されるほか、ハイパーリンクによって IR のオブジェクト間の関係が示されます。

インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティー (BBOPUDMP) を使用するとき

インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティーは、IR の内容に疑問があるときに使用することができます。CORBA ORB の DII 機能は、IR を使用して、サーバーがサポートするオブジェクトの属性とメソッドに関する情報を取得します。

例: IR が DII クライアントの適切な出力を戻さない問題が発生した場合は、IR の一部をダンプして問題の診断に役立てることができます。

IR は LDAP を使用し、さらに LDAP はそのデータの永続格納場所として DB2 を使用します。ダンプ・ユーティリティーは、単に IR 自体を使用して永続データの抽出とフォーマット設定を行います。

注:

1. IR に論理エラーが存在すると、ダンプ・ユーティリティーが機能しない場合があります。
2. このダンプ・ユーティリティーには、バックアップ / 復元機能は付いていません。このユーティリティーの主な機能は、IR の内容の表示と確認ができることです。そのため、このユーティリティーは、インストール時やランタイムの問題 (IR 内の論理エラーなど) の診断ではなく、IR の使用に関連する問題の診断に役立ちます。

インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティの使用

入力

BBOPUDMP の処理は 4 つのオプションのセットで制御されます。これらのオプションは、次の 3 つの方法で指定することができます。

- コマンド行パラメーターとして指定する
- PARM ステートメントとして指定する (バッチ・ジョブ)
- 構成ファイルで指定する (TSO およびバッチ・ジョブ)

オプションの定義は固有でなければなりません。

例: コマンド行オプションと構成ファイルを組み合わせて使用した場合、これらのコマンド行オプションを構成ファイル内で指定することはできません。

TSO コマンド行パラメーターによる起動

インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティ (BBOPUDMP) は、次の呼び出しによってコマンド行から起動することができます。

TSO から

```
call 'lo adlib ( BBOPUDMP ) ' ' [ / <key>=<value1> [<key2>=<value2> [... ]]'
```

バッチ・ジョブによる起動

インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティ (BBOPUDMP) は、ジョブ制御ステートメントによって制御されます。ジョブ制御ステートメントでは、入力パラメーターと出力データ・セットを指定することができます。

BBOPUDMP ジョブ制御ステートメント

EXEC

例: `//[stepname] EXEC PGM=BBOPUDMP, [PARM=<parms>]`

注:

1. 75ページの『BBOPUDMP 入力パラメーター』で説明しているパラメーターの任意のものを、次のように指定することができます。
`PARM='keyword1=value1 keyword2=value2 ...'`
2. `keyword=value` の異なる割り当て間は空白で区切る必要があります。逆に、「keyword」、「=」文字、および「value」の間には、空白を挿入できません。

STEPLIB DD

インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティー (BBOPUDMP) の使用

例: DISP=SHR, DSN=<steplib name>

IRCONFIG DD (オプション)

BBOPUDMP に対して指定したオプションを格納する入力データ・セットを定義します。

注:

1. IRCONFIG DD を指定しない場合、オプションの指定には、JCL 内の PARM ステートメント、または TSO call コマンド内のコマンド行パラメーターで定義されたパラメーターのみが使用されます。
2. または、configdataset オプションを使用して構成データ・セットを指定することもできます。

IROUTPUT DD (オプション)

インターフェース・リポジトリの内容のダンプ先とする出力データ・セットを定義します。

注:

1. この出力データ・セットは、生成される出力の量に対応できる大きさでなければなりません。PS、PDS、PDSE、または HFS を使用します。
2. または、outputdataset オプションを使用して出力データ・セットを指定することもできます。

BBOPUDMP 入力パラメーター

CONFIGDATASET (CDS)

IR ダンプ・オプションを格納する構成ファイルの名前。

注: 「ネイティブ」の MVS データ・セットは、先頭に「//」ストリングを付けて指定します (このストリングを付けないと、HFS データ・セットが使用されます)。

OUTPUTDATASET (ODS)

出力ファイルの名前。

注:

1. 「ネイティブ」の MVS データ・セットは、先頭に「//」ストリングを付けて指定します (このストリングを付けないと、HFS データ・セットが使用されます)。
2. 指定したファイルが存在しない場合、新しいファイルが作成されます。

OUTPUTFORMAT (OF)

出力フォーマット: HTML または text。

START (S)

ダンプ対象のモジュールまたはインターフェースの名前。

注: 指定しない場合、IR 全体のダンプが生成されます。

構成ファイルによる起動

次に、代表的な構成ファイルの例を示します。

```
// -----  
// config file for Interface Repository Dump  
// -----  
// specify container to start dump with  
// if omitted the complete IR is dumped  
//start = container_XYZ      !!! commented out !!!  
// other options:  
outputdataset=Out.text  
outputformat=text
```

出力

次に、インターフェース・リポジトリ・ダンプ出力 (テキスト) ファイルのレイアウトの例として、単純なインターフェース・リポジトリ構造を示します。

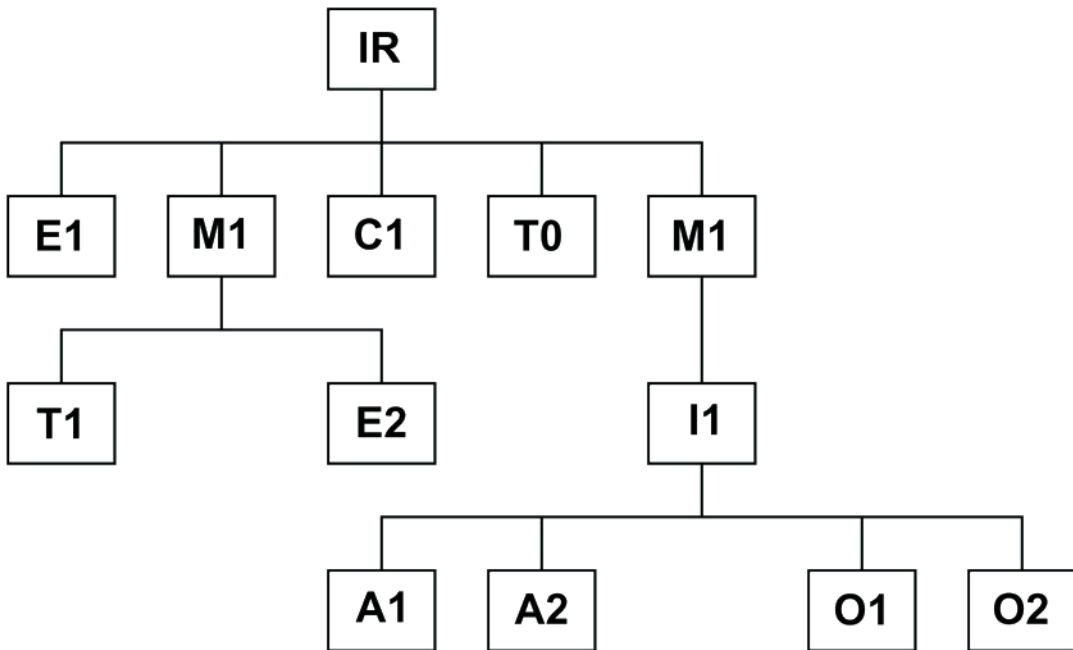


図2. インターフェース・ダンプ出力 (テキスト) ファイルのレイアウト

インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティー (BBOPUDMP) の使用

次のようなテキストが記述されます。

```
=====
Interface Repository Dump
=====
Date: Tuesday, September 29, 1998
Time: 06:29:07 PM
Used Options:
  - Configuration file: config_txt
  - Output data set: Out.text
  - Output format: Text
  - Start container: NOT DEFINED => Interface Repository
=====
Interface:Object
=====
Absolute Name: ::Object
RepositoryID:IDL:CORBA/Object
Defined in:The Repository
Scope::
Version:1.0
Alias:T0
Absolute Name:::T0
RepositoryID:IRTest:T0:1.0
Defined in:The Repository
Scope::
Version:1.0
Type:tk_alias
  Current Kind:tk_long
  Prim. Type:tk_long
Constant:C1
Absolute Name:::C1
RepositoryID:IRTest:C1:1.0
Defined in:The Repository
Scope::
Version:1.0
Type:tk_long
Value:47 (0x2f)
Exception:Exception
Absolute Name:::Exception
RepositoryID:IRTest:E1:1.0
Defined in:The Repository
Scope::
Version:1.0
Type:22
No. Members:2
-> Member name:placeholder0
  Type:tk_short
-> Member name:placeholder1
  Type:tk_alias
  Reference:IRTest:T0:1.0
=====
Module:M1
=====
Absolute Name:::M1
```

インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティー (BBOPUDMP) の使用

```
RepositoryID:IRTest:M1:1.0
Defined in:The Repository
Scope::
Version:1.0

    Alias:T1
    Absolute Name::M1:T1
    RepositoryID:IRTest:T1:1.0
    Defined in:M1
    Scope::M1::
    Version:1.0
    Type:tk_alias
        Current Kind:tk_short
        Prim. Type:tk_short

    Exception:Exception
    Absolute Name::M1:Exception
    RepositoryID:IRTest:E2:1.0
    Defined in:M1
    Scope::M1::
        Version:          1.0
    Type:                22
    No. Members:        2
    -> Member name:     placeHolder0
        Type:            tk_short
    -> Member name:     placeHolder1
        Type:            tk_alias
        Reference:       IRTest:T0:1.0
=====
Module:                M2
=====
Absolute Name:        ::M2
RepositoryID:         IRTest:M2:1.0
Defined in:           The Repository
Scope:                ::
Version:              1.0
=====
Interface:            I1
=====
Absolute Name:        ::M2:I1
RepositoryID:         IRTest:I1:1.0
Defined in:           M2
Scope:                ::M2::
    Version:          1.0
    Attribute:        A1
    Absolute Name:    ::M2:I1:A1
    RepositoryID:     IRTest:A1:1.0
    Defined in:       I1
    Scope:            ::M2:I1::
    Version:          1.0
    Type:             tk_alias
    Type ref.:        IRTest:T1:1.0
    Attribute:        A2
    Absolute Name:    ::M2:I1:A2
    RepositoryID:     IRTest:A2:1.0
```

インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティー (BBOPUDMP) の使用

```

Defined in:      I1
Scope:           ::M2::I1::
Version:         1.0
Type:            tk_short

Operation:01
Absolute Name:   ::M2::I1::01
RepositoryID:    IRTTest:01:1.0
Defined in:      I1
Scope:           ::M2::I1::
Version:         1.0
Result:          tk_void
No. Parameters:  2
-> Parm. Name:   aLong
    Type:        tk_alias (IN)
    Reference:   IRTTest:T0:1.0
-> Parm. Name:   aString
    Type:        tk_string (OUT)
No. Exceptions:  1
-> Except.Id:    IRTTest:E1:1.0
No. Contexts:    0
Operation:       02
Absolute Name:   ::M2::I1::02
RepositoryID:    IRTTest:02:1.0
Defined in:      I1
Scope:           ::M2::I1::
Version:         1.0
Result:          tk_alias
Result ref.:     IRTTest:T1:1.0
No. Parameters:  1
-> Parm. Name:   aFloat
    Type:        tk_alias (IN)
    Reference:   IRTTest:T1:1.0
No. Exceptions:  2
-> Except.Id:    IRTTest:E1:1.0
-> Except.Id:    IRTTest:E2:1.0
No. Contexts:    3
-> Context:      alfred
-> Context:      benjamin
-> Context:      charly
    
```

BBOPUDMP 戻りコード

表9. 戻りコード BBOPUDMP

コード	意味
'00' (X'00')	正常終了
'04' (X'04')	警告。おそらく正常終了。警告メッセージが書き込まれます。
'08' (X'08')	ユーザー・エラー。ユーティリティーは終了します。制御ステートメントの誤り、データ・セットが小さすぎる、などの原因が考えられます。

インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティー (BBOPUDMP) の使用

表9. 戻りコード BBOPUDMP (続き)

'12' (X'0C')	システム・エラー。ユーティリティーは終了します。リソースに関する問題、システム呼び出しの失敗などの原因が考えられます。
'16' (X'10')	内部エラー。ユーティリティーは終了します。このエラーは通常は起こりません。

第8章 インターフェース・リポジトリ保全性チェッカー (BBOPUNIT) の使用

この章では、インターフェース・リポジトリ保全性チェッカーについて説明します。

インターフェース・リポジトリ保全性チェッカーの概要

BBOPUNIT では、インターフェース・リポジトリの妥当性をチェックすることができます。このチェックは、次の規則に適合しているかを検査し、違反があった場合はフラグを立てることによって行われます。

- **参照保全:** 循環参照や、参照または継承されているのにどこにも含まれていないオブジェクトがないかチェックされます。
- **名前の正しさ:** 絶対名と有効範囲名の構文が適切かどうかチェックされます。
- **名前の一意性:** リポジトリ ID と絶対名が IR 内で固有かどうかチェックされます。単純名は、その有効範囲内で固有かどうかを確認されます。
- **含有関係:** インターフェース内にモジュールやインターフェースが格納されていないか検査されます。
- **継承関係:** モジュールが継承されていないか検査されます。

インターフェース・リポジトリ保全性チェッカーの使用

入力

INTEGRITY/BBOPUNIT の処理は、2 つのオプションのセットによって制御されます。これらのオプションは、コマンド行パラメーター (TSO) または PARM ステートメント (バッチ・ジョブ) として指定することができます。

ジョブ制御ステートメントによる起動:

インターフェース・リポジトリ保全性チェッカー・ユーティリティー (BBOPUNIT) は、ジョブ制御ステートメントによって制御されます。ジョブ制御ステートメントでは、入力パラメーターと出力データ・セットを指定することができます。

インターフェース・リポジトリ健全性チェッカー (BBOPUNIT) の使用

ヒント: 入力パラメーターについては、『BBOPUNIT 入力パラメーター』を参照してください。

EXEC

例: `//[stepname] EXEC PGM=BBOPUNIT, [PARM=<parms>]`

注:

1. 『BBOPUNIT 入力パラメーター』で説明しているパラメーターの任意のものを、次のように指定することができます。

`PARM='/keyword1=value1 keyword2=value2'.`

2. `keyword=value` の異なる割り当て間は空白で区切る必要があります。逆に、「keyword」、「=」文字、および「value」の間には、空白を挿入できません。

STEPLIB DD

例: `DISP=SHR, DSN=<steplib name>`

IROUTPUT DD (オプション)

チェック・レポートを格納する出力データ・セットを定義します。

注:

1. この出力データ・セットは、生成される出力の量に対応できる大きさでなければなりません。PS、PDS、PDSE、または HFS データ・セットを使用することができます。
2. または、`outputdataset` オプションを使用して出力データ・セットを指定することもできます。

TSO コマンド行パラメーターによる起動

インターフェース・リポジトリ健全性チェッカー (INTEGRITY/BBOPUNIT) は、次の呼び出しによってコマンド行から起動することができます。

TSO から

```
call 'lo adlib ( BBOPUNIT ) ' ' [...] ]]
```

BBOPUDMP 入力パラメーター

OUTPUTDATASET (ODS)

出力ファイルの名前。

注:

1. 指定したファイルが存在しない場合、新しいファイルが作成されます。

インターフェース・リポジトリ健全性チェッカー (BBOPUNIT) の使用

2. 「ネイティブ」の MVS データ・セットは、先頭に「//」ストリングを付けて指定します (このストリングを付けないと、HFS データ・セットが使用されます)。

START (S)

検査対象のモジュールまたはインターフェースの名前。

注: 指定しない場合、IR 全体が検査されます。

出力

次に、インターフェース・リポジトリ健全性チェッカー (テキスト) ファイルのレイアウトの例として、単純なインターフェース・リポジトリ構造を示します。

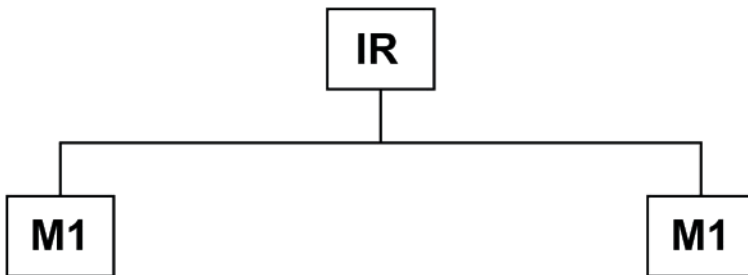


図3. インターフェース・リポジトリ健全性チェッカー

次のようなテキストが記述されます。

注: レポートは、誤りが検出された各オブジェクトに関する固有のメッセージで構成されます。メッセージが何も出力されていない場合、インターフェース・リポジトリは健全であるとみなすことができます。

```
=====
Interface Repository Integrity Report
=====
Date: Monday, November 2, 1998
Time: 10:53:11 AM
Used Options:
  - Output data set:    NOT DEFINED => IRInteg.out
  - Start container:   NOT DEFINED => Interface Repository
=====
Starting with step 1: Interface >> Interface Repository <<
...
=====
INFO: Defined objects: checking of the uniqueness of the RepositoryId is
done!
=====
Starting with step 2: Interface >> Interface Repository <<
```

インターフェース・リポジトリ健全性チェッカー (BBOPUNIT) の使用

```
...
=====
INFO: Defined objects: checking of the referential integrity for
referenced objects is done!
INFO: Inherited objects: checking of the referential integrity is done!

=====

Starting with step 3:    ...
=====
#####
severe error: the 'absoluteName' of a defined object is NOT unique!
duplicate objects:
RepositoryId           Scope
AbsoluteName
TCU2:M1:1.0            ::
::U2_M1
TCU2:M2:1.0            ::
::U2_M1
#####
INFO: Defined objects: checking of the uniqueness of the absoluteName is
done!
=====

Starting with step 4:    ...
=====
INFO: Defined objects: additional checking is done!
=====

Starting with step 5:    ...
=====
INFO: Inherited objects: additional checking is done!
=====

Starting with step 6:    ...
=====
INFO: Referenced objects: additional checking is done!
=====

IR Integrity checking is done.
If there are no findings reported the IR is assumed to be consistent.
=====

Initialization: 2 s
Scanning the IR (1st pass): 1 s
Scanning the IR (2nd pass): 0 s
Additional checking: 0 s
=====
```

BBOPUNIT 戻りコード

表 10. BBOPUNIT 戻りコード

コード	意味
'00' (X'00')	正常終了
'04' (X'04')	警告。おそらく正常終了。警告メッセージが書き込まれます。

インターフェース・リポジトリー健全性チェッカー (BBOPUNIT) の使用

表 10. BBOPUNIT 戻りコード (続き)

'08' (X'08')	ユーザー・エラー。ユーティリティーは終了します。制御ステートメントの誤り、データ・セットが小さすぎる、などの原因が考えられます。
'12' (X'0C')	システム・エラー。ユーティリティーは終了します。リソースに関する問題、システム呼び出しの失敗などの原因が考えられます。
'16' (X'10')	内部エラー。ユーティリティーは終了します。このエラーは通常は起こりません。

インターフェース・リポジトリ健全性チェッカー (BBOPUNIT) の使用

第9章 メッセージ -- GUI

この章では、WebSphere for z/OS の GUI メッセージについて説明します。これらのメッセージは次の場所に出力されます。

- ステータス・バー
- 活動ログ (ジョブ・ログまたはシステムのハード・コピー・ログ)

WebSphere for z/OS の GUI に関連する問題の診断についての詳細は、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理ユーザー・インターフェース*, SA88-8656 を参照してください。

BBON0001I アンインストーラーのセットアップの初期化に失敗しました。

説明: この製品をアンインストールできない可能性があります。インストール時に、アンインストールに必要なパラメーターとファイルを初期化しようとしたのですが、初期化に失敗しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0002E このプログラムには **VGA** またはそれ以上の解像度が必要です。

説明: インストール・プログラムが、ビデオ解像度が少なくとも VGA になっていないことを判別しました。VGA が必要です。セットアップは中止されます。

ユーザーの処置: ワークステーションのシステム要件については、*WebSphere for z/OS: インストールおよびカスタマイズ* を参照してください。

BBON0003E データ移動処理中にエラーが発生しました: 理由コード

説明: インストール中、ファイルをワークステーションに転送できませんでした。インストールは中止されました。

ユーザーの処置: InstallShield が発行した理由コードでエラーの原因を判別してください。

コード	説明	原因
-101	コンポーネントを追加できません。	ComponentAddItem は、スクリプト作成のコンポーネント・セットにコンポーネントを追加できませんでした。
-102	指定されたコンポーネントはすでにあります。	同じメディアとコンポーネント名を使って ComponentAddItem が 2 度呼び出されました。

メッセージ -- GUI

コード	説明	原因
-103	指定されたコンポーネントは選択したり、選択解除したりすることはできません。	現在選択されているコンポーネントが必要とするコンポーネントを選択または選択解除するために、ComponentSelectedItem が呼び出されました。指定されたコンポーネントを選択または選択解除する前に、指定されたコンポーネントを必要とする、現在選択されているコンポーネントを選択解除してください。
-104	指定されたコンポーネントは無効です。	ComponentInitialize の 2 つ目のパラメーターで渡された値が無効です。
-105	指定されたコンポーネントがメディアに見つかりません。	指定されたメディアに存在しないコンポーネントにアクセスしようとしてしました。このエラーは、コンポーネント・ファンクションへの呼び出しでコンポーネント名が誤って指定されたときに発生します。コンポーネント名は、コンポーネント画面または ComponentAddItem への呼び出しの中の名前と完全に同じに指定しなければなりません。大文字小文字は区別されます。
-106	ファイルを解凍できません。	内部エラーが発生しました。技術担当者に連絡してサポートを要求してください。
-107	指定されたディスク ID が無効です。	ComponentMoveData がファイルを転送するためにすでに呼び出されており、再初期化されていません。ComponentMoveData を再初期化するには、1 つ目のパラメーターをヌル・ストリングにしてそのファンクションを呼び出してください。
-108	ディスク・スペースが足りません。	ターゲット・ディスクまたはディレクトリーのスペースが足りないか、TARGETDIR が無効なため、ディスク・スペースを判別できません。あるいは、コンポーネントのスクリプト定義フォルダーが設定されていません。
-109	呼び出された EnterDisk ファンクションが失敗しました。	内部エラーが発生しました。技術担当者に連絡してサポートを要求してください。
-112	指定されたファイルが見つかりません。	どのファイルがないのかを判別するには、パラメーター svFile で ComponentError によって返された値を確認してください。
-113	指定されたファイルを読み取り専用で開くことができません。	ファイル Data1.cab (またはその他の data cab ファイルの 1 つ) がないか、壊れています。または CD-ROM に解凍されたデータ・ファイルがないため、原状のままのデータ・ファイルが構築されました。
-114	指定されたファイルを読み取り / 書き込み可能で開くことができません。	分割ファイルに付加できません。技術担当者に連絡してサポートを要求してください。

コード	説明	原因
-115	指定されたファイルを書き込み可能で開くことができません。	「潜在ロックまたは共用」特性が「Yes」に設定されていないファイル・グループに属している、ロックされたファイルを上書きしようとした。または、長いファイル名をもつファイル (あるいは長いパス名をもつフォルダー) を 16 ビット・セットアップにインストールしようとした。または、宛先フォルダーへのパスが無効です。
-116	ファンクション呼び出しに無効なファイル指定が行われました。	ComponentFileInfo への呼び出しの中のパラメーター szFile の値が無効です (たとえば、ヌル・ストリング)。
-117	指定されたファイルを読み取れません。	data cab ファイルまたは未解凍データ・ファイルが壊れている可能性があります。
-118	スクリプト作成コンポーネント・セットでは許可されていない操作が試行されました。	ファイル・メディアでしか操作されないスクリプト作成コンポーネント・セット名がコンポーネント・ファンクションに渡されました (たとえば、ComponentFileInfo)。
-119	ファイルを正しく自己登録できません。	このエラーの原因にはさまざまなものがあります。詳しくは、InstallShield 知識ベースの中の Q101538 を参照してください。
-120	ComponentMoveData の中の共用ファイルを更新できません。	内部エラー。技術担当者に連絡してサポートを要求してください。
-121	ファイルに書き込めません。	内部エラー。技術担当者に連絡してサポートを要求してください。
-123	ファイル・グループが見つかりません。	指定されたファイル・グループが見つかりません。この欠落ファイル・グループの名前が、ComponentError によりパラメーター svFileGroup で戻されました。
-125	コンポーネント・ファンクションに指定されたリストは無効です。	ComponentFileEnum、ComponentFileInfo、ComponentListItems、または ComponentSetupTypeEnum を呼び出すときに、そのファンクションに渡そうとしているリストが有効であることを確認してください。
-126	試行された操作は、ファイル・メディア・ライブラリーでは許可されていません。	スクリプト作成コンポーネント・セットでしか操作されないファイル・メディア名がコンポーネント・ファンクションに渡されました (たとえば、ComponentAddItem)。
-127	メディアはすでに初期化されています。	すでに初期化済みのメディアを初期化するための ComponentInitialize が呼び出されました。

メッセージ -- GUI

コード	説明	原因
-128	指定されたファイル・メディア・ライブラリーは InstallShield Media Build Wizard によって生成されていません。	ファイル <code>Data1.cab</code> が壊れているか、 <code>ComponentInitialize</code> への呼び出しに指定されたファイルが <code>InstallShield</code> 生成のキャビネット・ファイルではありません。
-132	指定されたメディアが見つかりません。	メディアが宣言されましたが、どのコンポーネントとも関連付けられていません。必ずスクリプト作成コンポーネントか、ファイル・メディア・コンポーネントのいずれかがそのメディアと関連付けられるようにしてください。
-133	指定されたメディアでエラーが発生しました。	<code>ComponentMoveData</code> がファイルを転送するためにすでに呼び出されており、再初期化されていません。スクリプトが <code>ComponentMoveData</code> を 2 回以上呼び出す場合は、各呼び出しの後に、1 つ目のパラメーターをヌル・ストリングにしてもう一度呼び出すことによって再初期化しなければなりません。
-136	メモリーを割り振れません。	セットアップに必要なメモリーが足りません。エンド・ユーザーに、他のすべてのアプリケーションをクローズするかセットアップを取り消して、システムをリブートし、セットアップを再始動するメッセージを表示してください。
-137	指定されたオプションは無効です。	コンポーネント・ファンクションに対して無効なオプションが指定されました。たとえば、 <code>ComponentFileInfo</code> の 4 つ目のパラメーターに <code>INCLUDE_SUBDIR</code> を渡したり、ファイル・グループとファイル名の両方が必要なのにファイル・グループだけを指定するなどです。
-139	指定されたパスワードが一致しません。	指定されたパスワードが、指定されたファイル・メディア・ライブラリーまたはコンポーネントに保管されたパスワードと一致しません。
-141	指定されたパスワードが見つかりません。	パスワードが設定されていないコンポーネントまたはファイル・メディア・ライブラリーを妥当性検査するために、 <code>ComponentValidate</code> が呼び出されました。
-142	メディアまたはコンポーネントのパスワードが検証されませんでした。	<code>ComponentMoveData</code> を使ってコンポーネントを転送する前に、コンポーネントとファイル・メディア・ライブラリー (またはそのいずれか) を妥当性検査するために <code>ComponentValidate</code> が呼び出されませんでした。
-145	コンポーネントのターゲット・パスが見つかりません。	スクリプトに定義されたフォルダーのターゲット・ディレクトリーが設定されていないか、無効です。
-147	無効な値がコンポーネントに関連するファンクションに渡されました。	コンポーネント・ファンクションに渡された値の 1 つが無効です。このエラーは、たとえば <code>ComponentAddItem</code> の 2 つ目のパラメーターに空にストリングが渡されたような場合に発生します。

コード	説明	原因
-148	データをインターネットから読み取れません。	このエラーは、InstallFromTheWeb を InstallShield5 と一緒に使用した場合に発生します。InstallShield は、ファイルが壊れていたり、インターネット接続が失われ、InstallFromTheWeb によって再確立できないために、インターネットからデータを読み取ることができません。
-149	インターネットは切断されました。	このエラーは、InstallFromTheWeb を InstallShield5 と一緒に使用した場合に発生します。インターネット接続が失われ、InstallFromTheWeb によって再確立できません。
-150	キャビネット・ファイルは、InstallShield5 の古いバージョンによって生成されました。	プロジェクトが InstallShield5 の最新バージョンで作成されたことを確認してください。複数の異なる InstallShield5 のバージョンで生成された、不一致のキャビネット・ファイルを使用していないことを確認してください。
-623	ファイルの名前変更エラー。	「潜在ロック」特性を「Yes」に設定せずに、ロックされたファイル上で実行可能ファイル (.exe または .com ファイル) を転送しようとしていました。

BBON0009I 宛先フォルダー *folder-name* が空ではありません。同じ名前のファイルは置き換えられません。続行しますか？

説明: 製品のインストール用に使用する宛先フォルダーには、すでに 1 つ以上のファイルが入っています。インストールを続行すると、同じ名前のファイルは置き換えられます。ファイルを置き換えたくない場合には、別のディレクトリーを指定してください。

ユーザーの処置: システムに同じアプリケーションの新しいバージョンをインストールする場合は、「スタート」->「コントロール パネル」->「アプリケーションの追加と削除」オプションを使用して古いバージョンをアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールしてください。

BBON0010I プログラム・ファイル・コンポーネントが必要です。選択を強制します。

説明: WebSphere for z/OS のカスタム・インストール中、プログラム・ファイル・コンポーネントが選択されませんでした。プログラム・ファイルは必須です。

BBON0011E README ファイルが見つかりません。

説明: WebSphere for z/OS をインストール中、README ファイルが見つからなかったため、その表示要求が失敗しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0012E README を表示するためのデフォルト・エディターが見つからないか、立ち上げられません。

説明: WebSphere for z/OS のインストール中、デフォルト・エディターが見つからなかったため、README ファイルを表示できませんでした。

ユーザーの処置: README ファイルのファイル・タイプが、システム上のエディターの 1 つと正しく関連付けられていることを確認してください。README ファイルは README.TXT です。

BBON0013E ユーティリティ `dll INSTUTIL.DLL` をロードできません。インストールは続行されません。

説明: WebSphere for z/OS のインストール中、ユーティリティ `dll` をロードできませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0014E プログラム・フォルダー `foldername` を作成できません (return-code)。

説明: WebSphere for z/OS のインストール中に、示されたフォルダーを作成できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0015E アイコン `icon-name` の戻りコード `return-code` を追加できません。

説明: WebSphere for z/OS のインストール中、示されたアイコンをプログラム・フォルダーに追加できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0016E プログラム・フォルダーのパスを判別できません。

説明: WebSphere for z/OS のインストール中、プログラム・フォルダー・パスが見つかりませんでした。

ユーザーの処置: AntiVirus プログラムが実行されていないことを確認してください。WebSphere for z/OS のインストール中、プログラム・フォルダーへのパスを取得できませんでした。これは、AntiVirus プログラムが実行中であることを示していることがあります。AntiVirus プログラムを実行している場合は、それを停止してからインストールを最初からやり直してください。

BBON0017E ソース `source-file`、ターゲット `target-file` に対するコピー・ファイルが失敗しました。戻りコード `return-code`。

説明: WebSphere for z/OS のインストール中、示されたファイルに対するコピー・ファイル機能が失敗しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0018I インターネット・ショートカットはご使用のプラットフォームではサポートされていません。アイコンは作成されません。

説明: プラットフォームでインターネット・ショートカットがサポートされていないため、インストーラーはインストール中にこのショートカットを作成できませんでした。ショートカットは作成されませんでした。

BBON0019I ディレクトリー *directory-name* を作成できません。戻りコード *return-code*。

説明: インストール中に、インストーラーは指定されたディレクトリーを作成できませんでした。インストールは続行されますが、製品が正しく機能しない場合があります。

ユーザーの処置: 戻りコードを使用して、エラーを診断してください。IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0021E 許容できないホーム・パス。アプリケーションは開始されません。

説明: WebSphere for z/OS は、アプリケーションのインストール・パスを判別できませんでした。アプリケーションを呼び出すためには、インストール・パスが必要です。

ユーザーの処置: WebSphere for z/OS が正しくインストールされていることを確認してください。IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0022E 許容できない Java ランタイム環境。アプリケーションは開始されていません。

説明: WebSphere for z/OS は Java ランタイム環境へのパスを判別できません。アプリケーションを実行するには、Java ランタイム環境が必要です。

ユーザーの処置: WebSphere for z/OS が正しくインストールされていることを確認してください。カスタム・インストールを行ったときに Java ランタイム・ファイルをインストールしないよう選択した場合は、正しいバージョンの JDK または JRE がワークステーションにインストールされている必要があります。

あるいは、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0023I 5655-A98 (c) Copyright IBM Corp. 1998 - All Rights Reserved.

説明: メッセージ BBON0030I の説明を参照してください。

BBON0024I 認識されない始動オプション *option* が無視されました。

説明: WebSphere for z/OS の始動中、無効な始動オプションが検出されました。始動オプションは、BBONPARM 環境変数を使って指定されます。

ユーザーの処置: 正しい構文で始動オプションが指定されていることを確認してください。

メッセージ -- GUI

BBON0025I Invalid BBONDEBUG level *level* ignored. (無効な BBONDEBUG レベル *level* が無視されました。)

説明: BBONDEBUG 環境変数を使用して、無効な診断レベルが設定されました。

ユーザーの処置: この環境変数に有効なレベルが割り当てられていることを確認してください。

BBON0026I Version *level date time*. (バージョン *level date time*)

説明: メッセージ BBON0030I の説明を参照してください。

BBON0028I サービス *servicename* (*filename* の *linenumber* 行目によって呼び出された) が、戻りコード *returncode* で失敗しました。

説明: WebSphere for z/OS の呼び出し中、指定されたサービスは、示された戻りコードで失敗しました。IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0029I 追加情報: *information*。

説明: BBON0028I に対する応答として、エラーについて記述する追加情報がシステムから提供されました。

BBON0030I Usage: (使用法:)

説明: このメッセージと後続のメッセージは、`smdrv` コマンドおよびこのコマンドのオプション、さらに管理アプリケーションまたは操作アプリケーションの使用に合わせて変更できるワークステーション環境変数の使用方法について説明します。

BBON0031I `smdrv` [options]

説明: メッセージ BBON0030I の説明を参照してください。

BBON0032I where options are any of the following: (オプションは次のとおりです。)

説明: メッセージ BBON0030I の説明を参照してください。

BBON0033I `-J-[opts]` names any Java runtime options (`-J-[opts]` は、任意の Java ランタイム・オプション)

説明: メッセージ BBON0030I の説明を参照してください。

BBON0034I -X-debug enable debug mode -X-sysJRE use installed runtime (-X-debug デバッグ・モードを使用可能にする。-X-sysJRE インストールされているランタイムを使用する。)

説明: メッセージ BBON0030I の説明を参照してください。

BBON0035I -X-help display this panel -X-title console window title . (-X-help このパネルを表示する。-X-title コンソール・ウィンドウ・タイトル。)

説明: メッセージ BBON0030I の説明を参照してください。

BBON0036I -X-home overrides home path -X-trace enables trace mode (-X-home ホーム・パスをオーバーライドする。-X-trace トレース・モードを使用可能にする。)

説明: メッセージ BBON0030I の説明を参照してください。

BBON0037I -X-sync synchronous mode -X-syncp synchronous mode with prompt (-X-sync 同期モード。-X-syncp プロンプト付きの同期モード。)

説明: メッセージ BBON0030I の説明を参照してください。

BBON0038I [-applopts] names any application options ([-applopts] は、任意のアプリケーション・オプション)

説明: メッセージ BBON0030I の説明を参照してください。

BBON0039I Environment variables: (環境変数:)

説明: このメッセージに続けて、管理アプリケーションまたは操作アプリケーションの使用に合わせて変更できるワークステーション環境変数のリストが表示されます。

環境変数はいずれもオプションです。環境変数を設定すると、製品のインストール中に設定されたデフォルト値がオーバーライドされます。

BBON0040I BBONPARM - application parameters BBONHOME - overriding home path (BBONPARM - アプリケーション・パラメーター BBONHOME - ホーム・パスのオーバーライド)

説明:

BBONPARM

BBONPARM ワークステーション 環境変数は、管理アプリケーションおよび操作アプリケーションに使用するさまざまなログイン・オプションを割り当てるために使用されます。環境変数の指定方法についてはご使用のオペレーティング・システムのヘルプを参照してください。

メッセージ -- GUI

ログオン・オプションの形式は、*-option* を指定し、その後に値があればそれを指定します。たとえば、このログイン・オプションを使って、ネーミング・サーバーへの接続にポート 900 を使用するよう指定するのであれば、次のようになります。-nameport 900

以下に、ログイン・オプションをリストします。

-bootstrapserver <nameserver>

ネーミング・サーバーのデフォルト IP 名を指定します。

-bootstrapport <port>

ネーミング・サーバーへの接続に使用するポートを指定します。

-loginuser <user ID>

ログインのためのデフォルト・ユーザー ID を指定します。

-loginpassword <password>

ログインのためのデフォルト・パスワードを指定します。

-commtrace

通信トレースを開始することを指定します。

-trace 内部トレースを開始することを指定します。

-debug

デバッグ・モードを活動化することを指定します。

-newprofile

ユーザー・プリファレンスを保存するために新しいプロファイルを作成することを指定します。

オプションが重複して BBONPARM 環境変数に割り当てられた場合、最後に指定されたオプションが使用されます。

BBONHOME

BBONHOME は、WebSphere for z/OS のインストールされているパスに設定することができます (たとえば、c:¥CBroker390)。

BBON0041I BBONJEXEC - Java runtime executable BBONJCLASS - Java runtime classes (BBONJEXEC - Java ランタイム実行可能プログラム BBONJCLASS - Java ランタイム・クラス)

説明:

BBONJEXEC

BBONJEXEC は、Java ランタイム実行可能プログラムが置かれている場所の絶対パスに設定することができます (たとえば、c:¥Program Files¥JavaSoft¥JRE¥1.1¥bin¥jre.exe)。

BBONJCLASS

BBONJCLASS は、Java ランタイム・クラスが置かれている場所の絶対パスに設定することができます (たとえば、`c:¥Program Files¥JavaSoft¥JRE¥1.1¥rt.jar;c:¥Program Files¥JavaSoft¥JRE¥1.1¥i18n.jar`)。

BBON0042I BBONDEBUG - debug option (BBONDEBUG - デバッグ・オプション)

説明: BBONDEBUG はデバッグ・レベルに設定することができます。0 のレベルを設定すると、この `exec` のステートメントがトレースされます。

BBON0043I 実行可能プログラム名: *pathname*

説明: WebSphere for z/OS の呼び出しに使用されるパス名は、*pathname* に表示されます。

BBON0044I Command parameters: *parameters* (コマンド・パラメーター: *parameters*)

説明: このメッセージは、Java 仮想マシンを開始するために `smdrv` で使用するパラメーターのリストを表示します。

BBON0045I アプリケーション *application-name* が終了しました。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションが、ユーザーによって終了されました。

BBON0046I Undefined BBONDEBUG level ignored. (未定義の BBONDEBUG レベルが無視されました。)

説明: BBONDEBUG 環境変数が、未定義の診断レベルに設定されています。

BBON0047I -X-window create console window -X-launch launch program or file (-X-window コソール・ウィンドウを作成する。-X-launch プログラムまたはファイルを立ち上げる。)

説明: メッセージ BBON0030I の説明を参照してください。

BBON0048E (*dllname*) (*dll-load-failed-reason-text*)。

説明: WebSphere for z/OS の呼び出し中、示された dll のロードに失敗しました。理由テキストを使って、エラーの原因を判別してください。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0049I Java ランタイムがレジストリーに定義されましたが、ファイル *filename* が存在しません。

説明: WebSphere for z/OS は、システム・レジストリーに定義されている現在の Java ランタイムが、存在するファイルを参照していないと判別しました。このランタイム環境は使用できません。

ユーザーの処置: Java ランタイムがシステム上に正しくインストールされていることを確認してください

メッセージ -- GUI

い。製品に含まれている Java ランタイムを使用するために、WebSphere for z/OS を再インストールすることもできます。

BBON0050I ファイル *filename* は存在しません。

説明: WebSphere for z/OS の呼び出し中、要求されたファイルが見つかりません。

ユーザーの処置: WebSphere for z/OS が正しくインストールされていることを確認してください。

BBON0051I 環境変数 *variablename* の値 *value* が使用されています。

説明: WebSphere for z/OS の呼び出し中、示された環境変数が使用されています。

BBON0052E Section [*sectionname*] or key *keyname* not found in file *filename*. (セクション [*sectionname*] またはキー *keyname* がファイル *filename* にありません。)

説明: 示されたセクションまたはキーが、初期設定ファイル *filename* にありません。

ユーザーの処置: 製品が正しくインストールされていること、および初期設定ファイルがあることを確認してください。問題が訂正されない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0053I Section [*sectionname*] key *keyname* read from file *filename*, value is *value*. (セクション [*sectionname*] キー *keyname* がファイル *filename* から読み取られました。値は *value* です。)

説明: 示されたセクションまたはキーが、初期設定ファイルから読み取られました。

BBON0061E Section [*sectionname*] or key *keyname* not found in file *filename*. (セクション [*sectionname*] またはキー *keyname* がファイル *filename* にありません。)

説明: モジュール *module-name* (行 *line-number*) で内部エラーが発生しました。理由コード *reason code*、追加情報: *reason-text*。

示されたモジュール内で内部エラーが発生しました。理由コードは次のとおりです。

101 バッファが小さすぎます

102 メインクラスがありません

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0101E 内部エラーが起きました。routine-name, 理由コード *reason code*, その他の情報: *text*

説明: 示されたルーチンで内部処理エラーが発生しました。ファンクションは完了していません。

理由コードは次のとおりです。

101 認識できない処理コマンドです

102 認識できないフォント変更です

- 103 認識できないカラー変更です
- 104 認識できない選択項目です
- 105 認識できないセキュリティー・レベルです
- 106 ヘルプ ID がありません
- 201 コンポーネントが見つかりません
- 202 ヌル・コマンド
- 203 クラス項目がありません
- 501 オブジェクトがサーバーに定義されていません
- 502 予期しないオブジェクト状況です
- 503 予期しないオブジェクト・タイプです
- 601 管理者がリストにありません
- 701 予期しないサーバー例外です
- 801 会話がコミットされていません
- 802 会話はすでに活動化されています
- 803 基本レベルが無効です
- 901 特性選択索引が無効です
- 902 特性順序索引が無効です

BBON0102E ヘルプ定義ファイル *file-name* をロードできません。

説明: ヘルプの提供に使用するファイルのロード中にエラーが発生しました。ファイル名は *file-name* です。現在のアクティビティーに関するヘルプは利用できません。

ユーザーの処置: 製品が正しくインストールされていること、およびすべてのファイルがアクセス可能であることを確認してください。これにより問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0103E ヘルプ URL *help-URL* を得られません。理由: *reason-text*

説明: *help-URL* を有効な IP アドレスに変換しているときにエラーが発生しました。現在のアクティビティーに関するヘルプは利用できません。

ユーザーの処置: ヘルプの URL が正しいことを確認してください。理由テキストを使用して、問題を診断してください。さらにサポートが必要な場合は、IBM の担当者に連絡してください。

BBON0104E Java ランタイム・レベル *level* が必要ですが、インストールされているのはレベル *execution-level* です。アプリケーションは終了します。

説明: Java ランタイム環境が、必要なリリース・レベルではありません。リリース *level* が必須ですが、見つかったリリース・レベルは *execution-level* でした。初期化を完了することができません。

ユーザーの処置: 製品が正しくインストールされていることを確認してください。問題が訂正されない場合は、IBM の担当者に連絡してください。

BBON0105E *function-name* の処理中に、予期しないエラーが起きました。理由: *reason-text*

説明: *function-name* の処理中にランタイム例外が発生しました。ファンクションは完了していません。

ユーザーの処置: 理由テキストを使用して、エラーの原因を判別してください。さらにサポートが必要な場合は、IBM の担当者に連絡してください。

BBON0106E 特性 *property-name* が *property file* に見つかりません。

説明: 特性が、示された *property file* に定義されていませんでした。この特性には、デフォルト値が割り当てられます。

BBON0107I コマンド *command-name* から応答を受け取りました。 *response-text*

説明: システム・コマンドが発行され、*response-text* が生成されました。

BBON0108E コマンド *command-name* の実行に失敗しました。理由: *reason-text*

説明: システム・コマンドが発行されましたが、成功しませんでした。

ユーザーの処置: Web ブラウザーを起動するコマンドの場合は、「ブラウザー・パス (Browser Path)」ダイアログを使用して、正しいパスが指定されていることを確認してください。このダイアログを表示するには、「オプション (Options)」メニュー・バー選択項目から「ブラウザー・パス (Browser Path)」アクションを選択します。

ブラウザー・パスを設定しても問題が解決しない場合や、その他のシステム・コマンドの場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0109E イメージ *image-name* (*image-description*) をロードできません。理由: *reason-text*

説明: 要求されたイメージはロードされませんでした。イメージなしで、処理が続行します。

ユーザーの処置: 製品が正しくインストールされていること、およびイメージ・ファイルがアクセス可能であることを確認してください。理由テキストを使用して、問題をさらに詳しく診断してください。問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してください。

BBON0110E 認識できないカラー *color-name* が特性 *property-name* にあります。

説明: 特性 *property-name* について、カラー *color-name* は有効なカラー名ではありません。デフォルトのカラーが割り当てられます。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してください。

BBON0111E キー *key-name* を読み取ることができません。ファイル *file-name*, 理由: *reason-text*

説明: プロパティ・ファイル *file-name* の読み取り中に、プロファイル項目キー *key-name* が見つかりませんでした。このプロファイル項目は無視されます。処理は続行します。

ユーザーの処置: 問題の詳細については、理由テキストを参照してください。問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してください。

BBON0112E 国別言語特性ファイル *file-name* をロードできません。理由: *reason-text*

説明: 各国語処理時に、*file-name* をロードできませんでした。英語がデフォルトの言語として使用されます。

ユーザーの処置: 製品が正しくインストールされていることを確認してください。理由テキストを使用して、問題をさらに詳しく診断してください。問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してください。

BBON0113E ヘルプ・エディターを作成できません。理由: *reason-text*

説明: ヘルプ・ポップアップを表示する要求は、この表示を作成できなかったため失敗しました。ヘルプ・ポップアップは表示されません。

ユーザーの処置: 理由テキストを使って、エラーの原因を判別してください。さらにサポートが必要な場合は、IBM の担当者に連絡してください。

BBON0114E ファイル *file-name* の読み取り中に I/O エラーが起きました。理由: *reason-text*

説明: *file-name* の読み取り中に永続入出力エラーが発生しました。操作は終了します。

ユーザーの処置: 理由テキストを使用して、エラーの原因を判別してください。

BBON0115E パス名 *path-name* は無効です。理由: *reason-text*

説明: 示されたパス名の構文が無効です。パスは処理されません。

ユーザーの処置: 理由テキストを使用して、パス名を訂正してください。

BBON0116E ファイル *file-name* は存在しません。

説明: 要求されたファイル *file-name* は存在しません。ファイルは処理されません。

ユーザーの処置: ファイル名を訂正してください。

メッセージ -- GUI

BBON0117E パス *path-name* はファイルではありません。

説明: 示されたパス名は、ファイル項目を表していません。たとえば、このパスは、ディレクトリーおよびファイルを指定した完全パスではなく、ディレクトリーである可能性があります。パスは処理されません。

ユーザーの処置: パス名を訂正してください。

BBON0118E イメージ URL *url* を得られません。 *reason-text*

説明: 示された URL *url* (イメージ用) を取得できませんでした。おそらく、構文が無効であることが原因です。URL は処理されず、イメージは表示されません。

ユーザーの処置: さらにサポートが必要な場合は、IBM の担当者に連絡してください。

BBON0119E パス *path-name* は実行ファイルを指していません。

説明: パス *path-name* は、実行可能プログラム・ファイルを指していません。パスは処理されません。

ユーザーの処置: パスが正しいことを確認してください。実行可能プログラムは、ファイル拡張子 *.exe* または *.bat* を持っている必要があります。

BBON0120E 無効なプロファイル形式 *format* が無視されました。

説明: システム管理サーバーのプロファイル項目の構文が無効です。このプロファイル項目は使用されません。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してください。

BBON0121E 索引 *index* にあるヌル・プロファイル項目が無視されました。

説明: プロファイルのプロファイルの値がヌルです。このヌル値は索引 *index* にあります。ヌル値は無視されます。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してください。

BBON0125E プロファイル・データにアクセス中、CORBA システム例外が発生しました。理由:
reason-text。

説明: プロファイル・データにアクセスしているときに、CORBA システム例外が発生しました。

ユーザーの処置: システム例外の原因を判別するためには、理由テキストとそれに伴うメッセージを使用してください。

"C9C2" が先頭に付いた、マイナー・コードの含まれた理由テキストについては、*WebSphere for z/OS: メッセージおよび診断* で、詳細を確認してください。他のマイナー・コードは別の製品に属しており、WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 で扱う文書の範囲を超えています。

BBON0126E function の処理中、CORBA システム例外が発生しました。理由: *reason-text*。

説明: 示された機能を処理しているときに、CORBA システム例外が発生しました。

ユーザーの処置: システム例外の原因を判別するためには、理由テキストを使用してください。また、それに伴うメッセージを参照して、さらに詳しい情報を入手してください。

"C9C2" が先頭に付いた、マイナー・コードの含まれた理由テキストについては、*WebSphere for z/OS: メッセージおよび診断* で、詳細を確認してください。他のマイナー・コードは別の製品に属しており、WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 で扱う文書の範囲を超えています。

BBON0127E function 要求の処理中、予期しない例外が発生しました。タイプ: *type*。

説明: 示された要求を処理しているときに、予期しない例外が発生しました。z/OS 上のシステム管理サーバーにアクセスできません。

ユーザーの処置: システム例外の原因を判別するためには、タイプ・テキストとそれに伴うメッセージを使用してください。

"C9C2" で始まるマイナー・コードを持つタイプについては、*WebSphere for z/OS: メッセージおよび診断* で、詳細を確認してください。他のマイナー・コードは別の製品に属しており、WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 で扱う文書の範囲を超えています。

問題を解決できない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0128E アプリケーション・パラメーター・ファイル *file* をロードできません。理由: *reason-text*。

説明: アプリケーション・パラメーター・ファイル *file* をロードできませんでした。この失敗の理由は、*reason-text* によって示されています。デフォルトのアプリケーション・パラメーターが使用されません。

ユーザーの処置: 製品が正しくインストールされていることを確認してください。理由テキストを使って、エラーの原因を判別してください。

"C9C2" が先頭に付いた、マイナー・コードの含まれた理由テキストについては、*WebSphere for z/OS: メッセージおよび診断* で、詳細を確認してください。他のマイナー・コードは別の製品に属しており、WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 で扱う文書の範囲を超えています。

BBON0129E プロファイル・データをサーバーに保存できません。理由: *reason-text*。

説明: プロファイル・データを z/OS 上のシステム管理サーバーに保管できませんでした。この失敗の理由は、*reason-text* によって示されています。

プロファイル・データへの変更は保管されないため、次回管理アプリケーションまたは操作アプリケーションをオープンしたときに使用できません。

ユーザーの処置: 理由テキストを使って、エラーの原因を判別してください。

"C9C2" が先頭に付いた、マイナー・コードの含まれた理由テキストについては、*WebSphere for z/OS: メッセージおよび診断* で、詳細を確認してください。他のマイナー・コードは別の製品に属しており、

メッセージ -- GUI

WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 で扱う文書の範囲を超えています。

BBON0130E リンクの処理中にハイパーリンク例外が起きました。理由: *reason-text*

説明: ヘルプ中のハイパーリンクを解決することができませんでした。リンクは無視されました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してください。

BBON0131E *type* の外観を **function** で設定できません。理由: *reason-text*

説明: 要求された外観 *type* を設定できませんでした。この失敗の理由は、*reason-text* によって示されています。デフォルトの外観が使用されます。

ユーザーの処置: エラーの原因を判別するには、理由テキストを使用してください。

BBON0133E 認識できないカラー *color* をデコードできません。

説明: *color* で指定されたカラーは認識できないため、デコードすることができませんでした。カラーは無視されます。デフォルトのカラーが使用されます。

BBON0134E カラー: **red=value, green=value, blue=value** をコードできません。

説明: プロファイルに保管されているカラー値を使用できませんでした。値が無効か、範囲外です。デフォルトのカラーが使用されます。

BBON0135I Java ランタイム・レベル *recommended-level* が推奨されていますが、インストールされているレベルは *level* です。予期しない結果が起こることがあります。

説明: システムに存在する Java ランタイムのレベル *level* は、推奨されているレベル *recommended-level* より低いレベルにあります。管理アプリケーションは続行されますが、正しく機能しない可能性があります。

ユーザーの処置: 推奨されているレベルの Java ランタイムがインストールされていることを確認してください。

BBON0136E システム管理サーバーのアプリケーション・レベル *major.minor* は、クライアント・レベルの *major.minor* と非互換です。サーバーは切断されます。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションのレベルは、z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーと互換性がありません。アプリケーションは、システム管理サーバーから切断されます。

このメッセージで示されるレベル *major.minor* は内部で使用されるものであり、アプリケーションのバージョン番号とは異なります。

ユーザーの処置: 互換性のあるレベルがインストールされていることを確認してください。問題を解決できない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0138I ファイル *file* は存在します。上書きしますか？

説明: 指定されたファイルはすでに存在します。続行すると、既存のファイルが上書きされます。

ユーザーの処置: ファイルを上書きする場合は、「はい (Yes)」をクリックします。ファイルを上書きせずに操作を終了する場合は、「いいえ (No)」をクリックし、元の画面に戻ります。

BBON0139E ファイル *file* の書き込み中に I/O エラーが起きました。理由: *reason-code*

説明: 示されたファイルへの書き込み中に入出力エラーが発生しました。書き込み操作は行われませんでした。

ユーザーの処置: 理由コードを使用して、エラーの原因を判別してください。

BBON0140E ファイル *file* を開けません。理由: *reason-text*

説明: 示されたファイルを開こうとしていたときにエラーが発生しました。ファイルは開かれていません。

ユーザーの処置: 理由テキストを使用して、エラーの原因を判別してください。

BBON0141E ファイル *file* を閉じることができません。理由: *reason-text*

説明: 示されたファイルを閉じようとしていたときにエラーが発生しました。ファイルは開かれた状態のままです。

ユーザーの処置: 理由テキストを使用して、エラーの原因を判別してください。

BBON0142E ファイル *file* への書き込みが拒否されました。

説明: 示されたファイルへの書き込みは、ユーザーが必要な許可を持っていなかったために失敗しました。

ユーザーの処置: ファイル名が正しいこと、およびそのファイルに書き込みを行うための適切な許可を持っていることを確認してください。

BBON0143I ファイル *file* は存在しません。作成しますか？

説明: 指定されたファイル *file* は存在しません。このファイルの作成を要求することも、要求を取り消して別のファイルを指定することもできます。

BBON0144E ファイル *path* のディレクトリー構造を作成できません。理由: *reason-text*

説明: パスに指定されたサブディレクトリーを作成できないため、ファイルの作成に失敗しました。

ユーザーの処置: ファイル名が正しいこと、およびそのファイルならびに必要なサブディレクトリーを作成するための適切な許可を持っていることを確認してください。理由テキストを使用して、エラーの原因を判別してください。

メッセージ -- GUI

BBON0145E ランタイム例外が起きました。スタック・トレースは以下のとおりです。

説明: 例外が発生しました。このメッセージのあとに、スタック・トレースおよび例外を識別するメッセージが出力されます。

ユーザーの処置: スタック・トレースおよび例外を識別するメッセージを使用して、エラーの原因を判別してください。IBM の担当者に連絡してください。

BBON0147E システム管理サーバーのアプリケーション・レベルを獲得できません。サーバーは切断されました。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションは、z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーのレベルを取得できませんでした。

アプリケーションは、システム管理サーバーから切断されます。システム管理サーバーを必要とする機能は使用できません。

ユーザーの処置: 「ファイル」メニュー・バー選択項目の「サーバーに接続」アクションを使って、再接続を試行してみてください。

BBON0148E イメージ *name (description)* をロードできません。メディア・トラッカー理由コード *reason-code*

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションは、示されたイメージをロードできませんでした。

メディア・トラッカーの戻りコードは、次のとおりです。

2 打ち切り

3 エラー

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してください。

BBON0149I イメージ *url (description)* を処理中です。メディア・トラッカー理由コード *reason-code*

説明: メディア・トラッカーは、URL *url* にあるイメージを処理しています。これには多少時間がかかります。

BBON0150E サーバーに接続できませんでした。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションと、z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーとの間の接続が失われました。システム管理サーバーを必要とする機能を使用できません。

ユーザーの処置: 「ファイル」メニュー・バー項目の「サーバーに接続」アクションを使って、再接続を試行してみてください。それでも成功しない場合は、メッセージ・ログの中の関連メッセージに詳細情報がないか確認してください。

BBON0151E CORBA システム例外です。サーバーは接続されています。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションと、z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーとの間の通信で、例外が発生しました。ただし、アプリケーションとシステム管理サーバー間の接続はまだつながっています。

ユーザーの処置: メッセージ・ログの中の関連メッセージに詳細情報がないかを確認してください。

BBON0152I このウィンドウを最新表示すると、会話は中断されます。続行しますか?

説明: ユーザーは、z/OS 上のシステム管理サーバーのデータを使ってウィンドウを更新するように要求しました。

ユーザーの処置: ウィンドウを再表示して、ダイアログを閉じるには、「はい (Yes)」をクリックしてください。ウィンドウを再表示せずに、ウィンドウに戻るには、「いいえ (No)」をクリックしてください。

BBON0153E サーバーへの接続中に CORBA システム例外が起きました。理由: *reason-text*。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションが z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーに接続しようとしていたときに、CORBA システム例外が発生しました。システム管理サーバーにアクセスできません。

ユーザーの処置: "C9C2" が先頭に付いた、マイナー・コードの含まれた理由テキストについては、*WebSphere for z/OS: メッセージおよび診断* で、詳細を確認してください。他のマイナー・コードは別の製品に属しており、WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 で扱う文書の範囲を超えています。

TCP/IP ドメイン・ネーム・サーバーがご使用のブートストラップ・サーバーを認識しない場合は、ワークステーションに置かれている HOSTS ファイルを更新する必要があるかもしれません。詳しくは、WebSphere for z/OS のフォルダーに入っているリリース情報を参照してください。

BBON0154E ORB を初期化できません。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションから z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーへのログイン要求中に、クライアント ORB (オブジェクト・リクエスト・ブローカー) を初期化できませんでした。ログインは完了しませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログの中の関連メッセージに詳細情報がないかを確認してください。

BBON0155E ネーミング・サーバーの参照を処理できません。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションから z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーへのログイン要求中に、アプリケーションはネーミング・サーバーの参照を解決できませんでした。ログインは完了しませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログの中の関連メッセージに詳細情報がないかを確認してください。

メッセージ -- GUI

BBON0156E ネーミング・サーバーに接続できません。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションから z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーへのログイン要求中に、アプリケーションはネーミング・サーバーに接続できませんでした。ログインは完了しませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログの中の関連メッセージに詳細情報がないかを確認してください。

BBON0157E ネーミング・サーバーの参照を限定できません。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションから z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーへのログイン要求中に、アプリケーションはネーミング・サーバーへの参照 (ネーミング・サーバーからの参照ではない) を使用できませんでした。ログインは完了しませんでした。

ユーザーの処置: パスワードを正しく入力したことを確認してください。またメッセージ・ログにある関連メッセージに、さらに詳しい情報がないかを確認してください。

BBON0158E WebSphere for z/OS 管理者の参照を解決できません。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションから z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーへのログイン要求中に、アプリケーションは WebSphere for z/OS 管理者の参照を解決できませんでした。ログインは完了しませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログの中の関連メッセージに詳細情報がないかを確認してください。

BBON0159E システム管理サーバーに接続できません。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションから z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーへのログイン要求中に、アプリケーションはシステム管理サーバーに接続できませんでした。システム管理サーバーを必要とする機能は使用できません。

ユーザーの処置: メッセージ・ログの中の関連メッセージに詳細情報がないかを確認してください。

BBON0160E WebSphere for z/OS 管理者を限定できません。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションから z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーへのログイン要求中に、アプリケーションは WebSphere for z/OS 管理者の参照を限定することができませんでした。ログインは完了しませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログの中の関連メッセージに詳細情報がないかを確認してください。

BBON0162E サーバーに接続しようとしているときに例外が起きました。理由: *reason-text*

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションは、z/OS 上のシステム管理サーバーに接続できませんでした。システム管理サーバーを必要とする機能は使用できません。

ユーザーの処置: 詳しくは、理由テキストを参照してください。

"C9C2" が先頭に付いた、マイナー・コードの含まれた理由テキストについては、*WebSphere for z/OS: メッセージおよび診断* で、詳細を確認してください。他のマイナー・コードは別の製品に属しており、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390* で扱う文書の範囲を超えています。

BBON0163E ORB パッケージ名エラーが起きました。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションから z/OS 上のシステム管理サーバーへのログイン要求中に、ORB (オブジェクト・リクエスト・ブローカー) パッケージ名エラーを検出しました。ログインは完了しませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログの中の関連メッセージに詳細情報がないかを確認してください。また、以下の点を確認してください。

- ネーミング・サーバーの IP 名、ポート番号、ユーザー ID が正しくログイン・ダイアログに入力されている。
- ネーミング・サーバーが実行中である。
- ユーザーのワークステーションと、ネーミング・サーバーが稼働しているシステムが接続されている。これをテストするには、Windows のコマンド・プロンプトで ping コマンドを入力してください。たとえば、ping systema と入力します。

ワークステーションとホスト間の接続の確立については、*WebSphere for (z/OS)* のフォルダーに入っているリリース情報を確認してください。

BBON0164E ネーミング・コンテキスト・パッケージ名エラーが起きました。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションから z/OS 上のシステム管理サーバーへのログイン要求中に、ネーミング・コンテキスト・パッケージでエラーを検出しました。ログインは完了しませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログの中の関連メッセージに詳細情報がないかを確認してください。また、以下の点を確認してください。

- ネーミング・サーバーの IP 名、ポート番号、ユーザー ID が正しくログイン・ダイアログに入力されている。
- ネーミング・サーバーが実行中である。
- ユーザーのワークステーションと、ネーミング・サーバーが稼働しているシステムが接続されている。これをテストするには、Windows のコマンド・プロンプトで ping コマンドを入力してください。たとえば、ping system a と入力します。

ワークステーションとホスト間の接続の確立については、*WebSphere for z/OS* のフォルダーに入っているリリース情報を確認してください。

BBON0165E 管理者オブジェクトに対する参照が見つかりません。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションから z/OS 上のシステム管理サーバーへのログイン要求中に、ネーミング・コンテキスト・パッケージが見つかりませんでした。ログインは完了しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログの中の関連メッセージに詳細情報がないかを確認してください。また、以下の点を確認してください。

- ネーミング・サーバーの IP 名、ポート番号、ユーザー ID が正しくログイン・ダイアログに入力されている。
- ネーミング・サーバーが実行中である。
- ユーザーのワークステーションと、ネーミング・サーバーが稼働しているシステムが接続されている。これをテストするには、Windows のコマンド・プロンプトで ping コマンドを入力してください。たとえば、ping systema と入力します。

ワークステーションとホスト間の接続の確立については、WebSphere for z/OS のフォルダーに入っているリリース情報を確認してください。

BBON0166E ネーミング・コンテキスト・パッケージを処理できません。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションから z/OS 上のシステム管理サーバーへのログイン要求中に、ネーミング・コンテキスト・パッケージでエラーを検出しました。ログインは完了しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログの中の関連メッセージに詳細情報がないかを確認してください。また、以下の点を確認してください。

- ネーミング・サーバーの IP 名、ポート番号、ユーザー ID が正しくログイン・ダイアログに入力されている。
- ネーミング・サーバーが実行中である。
- ユーザーのワークステーションと、ネーミング・サーバーが稼働しているシステムが接続されている。これをテストするには、Windows のコマンド・プロンプトで ping コマンドを入力してください。たとえば、ping systema と入力します。

ワークステーションとホスト間の接続の確立については、WebSphere for z/OS のフォルダーに入っているリリース情報を確認してください。

BBON0170I ORB を初期化しています。

説明: ユーザー・ログインに応答して、ORB が初期化されています。

BBON0171I ネーム・サーバーに接続しています。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションへのユーザー・ログインに응答して、ネーム・サーバーへの接続が行われています。

BBON0172I 管理者の参照を処理しています。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションへのユーザー・ログインにตอบสนองして、管理者名への参照が解決されています。

BBON0173I アプリケーション情報を獲得しています。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションへのユーザー・ログインにตอบสนองして、アプリケーション情報が取得されています。

BBON0175E 内部エラーが発生しました。

説明: 内部エラーが発生しました。詳細は、メッセージ・ログ中の関連メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0176E z/OS 例外コード =code

説明: 例外が発生しました。理由コードは *code* です。このメッセージは、関連メッセージの補足情報を提供します。

BBON0177E URL <helpset-url> から helpset を作成できません。

説明: URL で指定された helpset ファイルから helpset を作成しようとして、エラーが発生しました。システムによって、このエラーを説明する追加のメッセージが出されている可能性があります。

このセッションでは、ヘルプ機能を使用できません。WebSphere for z/OS 情報を表示するには、プログラム・フォルダーを調べてください。

ユーザーの処置: 製品が正しくインストールされており、ヘルプ・コンポーネントがインストールされていることを確認してください。IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0178E helpset <helpset-name> を検出できません。

説明: 示された helpset ファイルが見つかりませんでした。このセッションでは、ヘルプ機能を使用できません。プログラム・フォルダーのアイコンを使用してヘルプにアクセスすることはできます。

ユーザーの処置: 製品が正しくインストールされていること、およびヘルプ・コンポーネントがインストールされていることを確認してください。IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0179E 通信エラーが発生しました。理由 *reason-text*。

説明: z/OS ホスト・システムに接続中、またはデータの転送中に、エラーが発生しました。このエラーが接続中に起こった場合は、ワークステーションがホスト名を解決できなかったか、ホストがワークステーション名を解決できませんでした。

ユーザーの処置: "C9C2" が先頭に付いた、マイナー・コードの含まれた理由テキストについては、*WebSphere for z/OS: メッセージおよび診断* で、詳細を確認してください。その他のマイナー・コードは

メッセージ -- GUI

別の製品 (おそらくユーザーの通信プロトコル) に属しており、WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 で扱う文書の範囲を超えています。

BBON0180E パラメーター・リストのエラーが発生しました。

説明: セキュリティー上の問題が原因で、管理アプリケーションまたは操作アプリケーションのログオンが失敗しました。

ユーザーの処置: 技術担当者または 弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBON0181E セキュリティーの処理中に内部エラーが発生しました。

説明: セキュリティー上の問題が原因で、システム管理拡張ユーザー・インターフェースのログオンが失敗しました。

ユーザーの処置: 技術担当者または 弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBON0182E リカバリー環境を確立できませんでした。

ユーザーの処置: 技術担当者または 弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBON0183E ユーザー ID が定義されていません。

ユーザーの処置: 技術担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0184E パスワードが無効です。

説明: RACF - パスワードまたはパスチケットが無効です。

ユーザーの処置: パスワードが正しく入力されていることを確認してください。入力している場合は、技術担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0185E パスワードが期限切れです。

ユーザーの処置: 技術担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0186E ユーザー ID またはパスワードが取り消されています。

ユーザーの処置: 技術担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0187E ユーザー ID が許可されていません。

ユーザーの処置: 技術担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0188E 証明書が無効です。

ユーザーの処置: 技術担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0189E ユーザー ID がこの証明書に対して定義されていないか、証明書の状況が **NOTRUST** です。

ユーザーの処置: 技術担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0190I 可能性および機能レベルを獲得します。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションにユーザーがログインすると、サーバーの可能性レベルおよび機能レベルが取得され、管理アプリケーションまたは操作アプリケーションのバージョンと比較されます。

可能性レベルおよび機能レベルの詳細については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理ユーザー・インターフェース* の『サーバーまたはサーバー・インスタンスのウォーム・スタートを実行する』の章を参照してください。

xcsx0191I 機能レベルを獲得します。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションにユーザーがログインすると、サーバーの機能レベルが取得され、管理アプリケーションまたは操作アプリケーションのバージョンと比較されます。

機能レベルの詳細については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理ユーザー・インターフェース* の『サーバーまたはサーバー・インスタンスのウォーム・スタートを実行する』の章を参照してください。

BBON0192I システム管理サーバー・アプリケーションはレベル *function-level* で実行されており、レベル *capability-level* で実行する能力をもっています。システム管理クライアント・アプリケーションは、レベル *function-level* で実行されており、レベル *capability-level* で稼働する能力をもっています。

説明: 可能性レベルおよび機能レベルの詳細については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理ユーザー・インターフェース* の『サーバーまたはサーバー・インスタンスのウォーム・スタートを実行する』の章を参照してください。

BBON0193I システム管理クライアント・アプリケーションを、レベル *level* にアップグレードすることをお勧めします。

説明: 管理アプリケーションおよび操作アプリケーションの新しいバージョンがあります。これをインストールすることをお勧めしますが、必須ではありません。ご使用のアプリケーションはまだ、サーバーと互換性があります。

可能性レベルおよび機能レベルの詳細については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理ユーザー・インターフェース* の『サーバーまたはサーバー・インスタンスのウォーム・スタートを実行する』の章を参照してください。

BBON0194E システム管理クライアント・アプリケーションを、レベル *level* にアップグレードすることをお勧めします。サーバーを切断します。

説明: サーバーの可能性レベルと機能レベルが、管理アプリケーションおよび操作アプリケーションの可能性レベルおよび機能レベルよりも上です。これらの 2 つのバージョンは非互換です。

可能性レベルおよび機能レベルの詳細については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理ユーザー・インターフェース* の『サーバーまたはサーバー・インスタンスのウォーム・スタートを実行する』の章を参照してください。

ユーザーの処置: 管理アプリケーションおよび操作アプリケーションの新しいバージョンをサーバーからダウンロードしてください。

ファイル *bboninst.exe* が、ホストのパス */usr/lpp/CB390/bin* にありません。FTP を使ってファイルを *binary* ファイルとしてダウンロードしてください。

BBON401E *Object name* はすでにロックされています。


説明: 選択されたオブジェクトは、現在別の管理者によってロックされています。この時点での変更は不可能です。

ユーザーの処置: 現在このオブジェクトをロックしている管理者が変更を完了した後でもう一度実行してください。

BBON402E *Object-type, object-name* はすでに存在します。

説明: タイプが *object-type* で名前が *object-name* のオブジェクトは、すでに定義されています。特性フォームは、名前のフィールドにカーソルが置かれた状態で、未定義のままになります。

ユーザーの処置: 新しいオブジェクトの定義を続行するには、そのオブジェクトに使用する別の名前を特性フォームに入力し、変更を保管します。

新しいオブジェクトを定義せずに特性フォームを閉じるには、ツールバーにある  をクリックするか、「選択済み (Selected)」メニュー・バー選択項目から「キャンセル (Cancel)」アクションを選択します。

BBON403E *type object* に対する操作 *operation* が失敗しました。

説明: タイプ *type* のオブジェクト *object* に対する開始、停止、再始動なしでキャンセルまたはキャンセルのいずれかの操作が失敗しました。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージ・ログで、このメッセージの後に出力されるメッセージを参照してください。

BBON0410E サーバーから J2EE リソース・タイプ・テンプレート XML ファイルを受け取ろうとしたときに、少なくとも 1 つのエラーを検出しました。詳しくは、メッセージ・ログを参照してください。

説明: メッセージ・ログに 1 つ以上のメッセージが含まれている可能性があります。

ユーザーの処置: 詳しくは、各メッセージのメッセージ・ヘルプを参照してください。

BBON0441E Conversation *conversation* is not valid. (会話 *conversation* は無効です。)

説明: 「コミット (Commit)」アクションまたは「妥当性検査 (Validate)」アクションに対する応答として、システム管理サーバーが会話 *conversation* の妥当性検査を行いました。会話は無効です。


ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージ・ログで、このメッセージと共に出力されるシステム・メッセージを参照してください。

BBON0442I 会話 *conversation* は有効です。

説明: 要求された会話 *conversation* は有効なモデルであることが、システム管理サーバーによって確認されました。

BBON0444E 会話 *conversation-name* がコミットされました。

説明: *conversation-name* のコミットが完了しました。

ユーザーの処置: 会話名の横の  は、z/OS タスクを終了するための指示があることを示します。この指示を表示するには、「ビルド (Build)」メニュー・バー選択項目から「指示 (Instructions)」アクションを選択します。

BBON0449I 会話 *conversation-name* が活動化されました。

説明: 会話 *conversation-name* を活動化するための要求が完了しました。

会話は活動化されました。直前に活動中だった会話の状況が置き換えられています。

BBON0450I WebSphere for z/OS のコールド・スタートの準備が完了しています。変更は許可されません。

説明: WebSphere for z/OS のコールド・スタートを準備するために、活動イメージの構成データがホストに保管されます。管理アプリケーションが再始動されるまで変更できません。

詳しくは、WebSphere for z/OS: システム管理ユーザー・インターフェース を参照してください。

メッセージ -- GUI

BBON0451E コールド・スタートの準備に失敗しました。エクスポート・ディレクトリー名を作成できません。

説明: 活動中の会話の「コールド・スタートの準備」アクションは成功しませんでした。

ユーザーの処置: ディレクトリー "*CBCONFIG/SYSPLEX/servers/*" のアクセス権を確認してください。このとき、

- *CBCONFIG* は、環境変数 *CBCONFIG* に指定されたパスです。*CBCONFIG* のデフォルトは、*/WebSphere390/CB390* です。
 - *SYSPLEX* は、WebSphere for z/OS が動作しているシスプレックスの名前です。
-

BBON0452E コールド・スタートの準備に失敗しました。会話ディレクトリーを作成できません。

説明: 活動中の会話の「コールド・スタートの準備」アクションは成功しませんでした。

ユーザーの処置: ディレクトリー "*CBCONFIG/SYSPLEX/conversations/*" のアクセス権とスペース制限を確認してください。このとき、

- *CBCONFIG* は、環境変数 *CBCONFIG* に指定されたパスです。*CBCONFIG* のデフォルトは、*/WebSphere390/CB390* です。
 - *SYSPLEX* は、WebSphere for z/OS が動作しているシスプレックスの名前です。
-

BBON0455I セキュリティー・タスクが完了しました。

説明: 指示に記述されているセキュリティー・タスクに、完了のマークが付けられました。

BBON0456I ワークロード管理タスクが完了しました。

説明: 指示に記述されているワークロード管理 (WLM) タスクに、完了のマークが付けられました。

BBON0457I 自動再始動管理タスクが完了しました。

説明: 指示に記述されている自動再始動管理 (ARM) タスクに、完了のマークが付けられました。

BBON0458I 自動化タスクが完了しました。

説明: 指示に記述されている自動化タスクに、完了のマークが付けられました。

BBON0459I リソース・マネージャー・タスクが完了しました。

説明: 指示に記述されているリソース・マネージャー・タスクに、完了のマークが付けられました。

BBON0460I ログ・ストリームのタスクが完了しました。

説明: 指示に記述されているログ・ストリーム・タスクに、完了のマークが付けられました。

BBON0461I サーバー *name* が入力ディレクトリーからインポートされました。

説明: 「サーバーのインポート... (Import server...)」アクションが正常に完了しました。

BBON0462E 入力ディレクトリー *directory-name* からサーバー *server-name* をインポートできません。

説明: 「サーバーのインポート... (Import server...)」アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 入力ディレクトリーが正しく入力されていること、およびその入力ディレクトリーへのアクセス権が許可されていることを確認してください。

詳しくは、この後に続くホスト・メッセージを確認してください。

BBON0463I サーバー *server-name* が出力ディレクトリーにエクスポートされました。

説明: 「サーバーのエクスポート... (Export server..)」アクションが正常に完了しました。

BBON0464E サーバー *server-name* を出力ディレクトリー *directory-name* にエクスポートできません。

説明: 「サーバーのエクスポート... (Export server...)」アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: この出力ディレクトリーがすでに存在しているか、出力ディレクトリーへのファイル・アクセスが許可されているか、ディスク容量が十分かを確認してください。

詳しくは、この後に続くホスト・メッセージを確認してください。

BBON0465E パッケージ・ファイル *package-file* が見つかりません。

説明: 要求されたパッケージ・ファイル *package-file* が、z/OS 上のシステム管理サーバーに見つかりません。

ユーザーの処置: パッケージ・ファイルを取得できません。ファイルのパスが正しく入力されていることを確認してください。

BBON0466E ファイル・パッケージ *package-file* をインポートできません。

説明: 要求されたパッケージ・ファイル *package-file* をインポートできません。アプリケーションはモデルに追加されません。

ユーザーの処置: 原因として以下のことが考えられます。

1. パッケージ・ファイルが見つからないか、アクセスできない。

以下の条件に当てはまるかどうかを確認してください。

- パッケージ・ファイルが存在しない。パスとファイル名が正しく入力されており、/ が先頭に付いていることを確認してください。
- ファイル許可がシステム管理サーバーのファイルへのアクセスを許可していない。
- ファイルの HFS ファイル・システムがマウントされていない。

メッセージ -- GUI

2. パッケージ・ファイルにエラーが含まれている。

詳しくは、以下を確認してください。

- 「インポート」ダイアログに指定された出力ファイルを確認する。これにはインポート・アクティビティのリストが含まれています。
- メッセージ・ログを確認する。後に続くメッセージでこのエラー・メッセージの理由が判別できる場合があります。

BBON0467I ファイル・パッケージ *package-file* がインポートされました。

説明: ファイル・パッケージ *package-file* がインポートされました。サーバーのブランチは縮小されています。ノードを展開すると、インポートに関連するオブジェクトが表示されます。

BBON0468E 会話 *conversation* を作成できません。

説明: 要求された会話 *conversation* を確立できませんでした。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージ・ログで、このメッセージと共に出力されるシステム・メッセージを参照してください。問題を解決できない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0469E EAR ファイル *file-name* をサーバー *server-name* にインストールできません。

説明: EAR ファイル *file-name* によって指定された J2EE アプリケーションのインストール中に、システム管理サーバーでエラーが発生しました。アプリケーションはインストールされていません。

ユーザーの処置: この問題の原因については、メッセージ・ログで、この後に続くメッセージを確認してください。

BBON0470I EAR ファイル *file-name* がサーバー *server-name* に正しくインストールされました。

説明: EAR ファイル *file-name* に指定された J2EE アプリケーションが正しくインストールされました。

ユーザーの処置: 現在作業中の会話が活動化されると、アプリケーションを使用できます。

BBON0471E 一時 EAR ファイル *filename* に書き込めません。(Reason)

説明: J2EE アプリケーションのインストール中、一時 EAR ファイルが作成されます。このファイルには、SM EUI でのインストール処理中に行われたすべての更新が入っています。これは、ファイルが FTP を使って z/OS システム上の SM サーバーに転送される前に行われます。SM EUI は、reason によって示される理由により、この一時ファイルの作成に失敗しました。J2EE インストール / 展開処理は取り消されました。

ユーザーの処置: SM EUI が filename の場所に対する書き込みアクセスを持っており、そのデバイス上に十分なスペースがあることを確認してください。

BBON0472E 会話 *conversation* のレベルを作成できません。

説明: 会話 *conversation* のレベルを作成できませんでした。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージ・ログで、このメッセージと共に出力されるシステム・メッセージを参照してください。IBM の担当者に連絡してください。

BBON0474E 会話 *conversation* への変更を反映させることができません。

説明: 会話 *conversation* への変更を伝搬できなかったため、会話のコミット要求が失敗しました。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージ・ログで、このメッセージと共に出力されるシステム・メッセージを参照してください。IBM の担当者に連絡してください。

BBON0478E *object-name* の変更が失敗しました。詳しくは、メッセージ・ログを参照してください。

説明: オブジェクト *object-name* を変更できませんでした。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージ・ログを参照してください。

BBON0479E Add for *object-name* failed. (*object-name* の追加に失敗しました。)

説明: オブジェクト *object-name* をツリーに追加できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してください。

BBON0480E LRM インスタンス *lrm-instance* の追加ができません。このシステムには、LRM の別のインスタンスがすでにあります。

説明: 1 つのシステムに LRM のインスタンスを複数定義することはできません。

BBON0481E 名前 *name* を使用した会話はすでにあります。

説明: 指定された名前の会話がすでに存在します。

ユーザーの処置: 別の名前を選択してください。

BBON0482E サーバー・インスタンス *server-instance-name* をサーバー *server-name* に対して発行しようとして失敗しました。

説明: サーバー・インスタンスの「ウォーム・スタート (Warm start)」アクションは成功しませんでした。

ユーザーの処置: この失敗の原因については、メッセージ・ログでこの後のメッセージをチェックしてください。

BBON0484I すべてのタスクが完了しました。

説明: 指示に記述されているすべてのタスクに、完了のマークが付けられました。イメージは、活動化することができる状態です。

BBON0486E 管理者を削除できません。

説明: 管理者ダイアログを使用して管理者を削除しようとしたのですが、削除に失敗しました。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージ・ログで、このメッセージと共に出力されるメッセージを参照してください。これらのメッセージに内部エラーが発生したことが示されていた場合は、IBM の担当者に連絡してください。

BBON0487I パッケージ・ファイルがサーバー *server-name* にインポートされました。入力ファイル = *input-file*、出力ファイル = *output-file*。

説明: 管理アプリケーションがパッケージ・ファイル *input-file* を、示されたサーバーにインポートしました。インポート処理のリストは、z/OS データ・セット *output-file* にあります。

パッケージ・ファイルにバックされたアプリケーションが、ツリーに追加されます。

BBON0488E 会話 *conversation-name* の活動化に失敗しました。

説明: 指示された会話を活動化しようとしたのですが、失敗しました。会話は活動化されませんでした。

ユーザーの処置: 実際の構成と一致するよう新しい会話を追加してください。

モデルの構成方法の詳細については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理ユーザー・インターフェース* を参照してください。

BBON0489I サーバー *server-name* が入力ディレクトリー *directory-name* からインポートされました。このサーバーの特性、論理リソース・マッピング・インスタンス、およびサーバー・インスタンスをチェックして更新してください。

説明: 「サーバーのインポート... (Import server...)」アクションが正常に完了しました。

ユーザーの処置: この J2EE サーバーについて、以下の点をチェックしてください。

- サーバーの特性。特に「制御領域 **proc 名**」(サーバー名を変更した場合)と「デバッガーを許可」
 - 論理リソース・マッピング・インスタンス
 - サーバー・インスタンス
-

BBON0490I サーバー *server-name* が出力ディレクトリー *directory-name* にエクスポートされました。

説明: 「サーバーのエクスポート.. (Export server..)」アクションは正常に完了しました。

BBON0491E コールド・スタートの準備に失敗しました。詳しくは、メッセージ・ログを参照してください。

説明: 活動中の会話の「コールド・スタートの準備」アクションは成功しませんでした。

ユーザーの処置: この失敗の原因については、メッセージ・ログでこの後のメッセージをチェックしてください。

BBON0492E コールド・スタートの準備に失敗しました。アプリケーション・サーバーを停止できません。

説明: 活動中の会話の「コールド・スタートの準備」アクションは成功しませんでした。

ユーザーの処置:

BBON0493E コールド・スタートの準備に失敗しました。会話データを保管できません。

説明: 活動中の会話の「コールド・スタートの準備」アクションは成功しませんでした。

ユーザーの処置: 次のファイルに対するアクセス権を確認してください。

`CBCONFIG/Sysplex-name/initial/configuration.xml`

説明

- `CBCONFIG` は、環境変数 `CBCONFIG` に指定されたパスです。デフォルト値は、`/WebSphere390/CB390` です。
 - `Sysplex-name` は、シスプレックスの名前です。
-

BBON0494E コールド・スタートの準備に失敗しました。環境ファイルに書き込めません。

説明: 活動中の会話の「コールド・スタートの準備」アクションは成功しませんでした。

ユーザーの処置: 環境変数は、各サーバー・インスタンスごとに次のファイルに保管されます。

`CBCONFIG/controlinfo/envfile/Sysplex_name/ServerInstance_name/current.env`

- `CBCONFIG` は、環境 `CBCONFIG` に指定されたパスです。デフォルト値は、`/WebSphere390/CB390` です。
- `Sysplex_name` はサーバー・インスタンスが属しているサーバーの名前です。
- `ServerInstance_name` はサーバー・インスタンスの名前です。

これらのファイルのアクセス権を確認してください。

メッセージ -- GUI

BBON0495I サーバー *server-name* での新しいシステム管理アプリケーションの第 1 段階活動化が完了しました。すべてのシステムで **CB** をリサイクルし、**SM** 管理 **EUI** に再接続して、会話 *conversation-name* の活動化をもう一度開始してください。

説明: システム管理サーバーへのスクリプト API のインストールの第 1 段階が正常に完了しました。

ユーザーの処置:

1. 管理アプリケーションを閉じます。
2. システム管理サーバーで WebSphere for z/OS をシャットダウンします。
 - a. デーモンをキャンセルします。
 - b. すべてのプロセスが終了していることを確認します。
3. デーモンをもう一度開始します。
4. 管理アプリケーションを再始動します。
5. 会話 *conversation-name* を再度活動化して、スクリプト API のインストールの第 2 段階を開始します。
6. 状況バーに次のメッセージが表示されると完了です。

BBON0449I 会話 SM スクリプト API は活動化されました。

詳しくは、*WebSphere for z/OS: システム管理スクリプト API*, SA88-8657 を参照してください。

BBON496E J2EE リソース・インスタンス *instance-name* の追加に失敗しました。この J2EE リソースの別のインスタンスが、すでにこのシステムに存在しています。

説明: 1 つの J2EE リソースおよびシステムにつき、1 つの J2EE リソース・インスタンスしか許可されません。

BBON497E *object* に対するアクション *action-name* は成功しませんでした。詳しくは、メッセージ・ログを参照してください。

ユーザーの処置: エラーの原因については、メッセージ・ログで後続くメッセージを確認してください。

BBON0499E 要求された機能はサーバーによってサポートされていません。

説明: WebSphere for z/OS で動作しているシステム管理サーバーではサポートされない機能であるため、管理アプリケーションはその機能を処理できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してください。

BBON0500I ユーザー ID *user ID* のログイン中。ブートストラップ・サーバー *server*、ポート *port*。

説明: 示されたブートストラップ・サーバーとポートが、z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーに *user ID* をログインするために使用されています。

BBON0501I ログインはキャンセルされました。アプリケーションは終了します。

説明: ユーザーの要求に従って、ログインがキャンセルされ、アプリケーションが終了しました。

BBON0502E ネーミング・サーバー IP 名を入力してください。

説明: ネーミング・サーバーの IP 名が要求されましたが、IP 名が入力されていません。

ユーザーの処置: ネーミング・サーバーの IP 名を入力してください。任意の有効な IP 名または IP アドレスを使用することができます。ネーミング・サーバーの IP 名がわからない場合は、システム・プログラマーに問い合わせてください。

BBON0503E ユーザー ID を入力してください。

説明: z/OS ユーザー ID が必要です。

ユーザーの処置: ユーザー ID を入力してください。ユーザー ID が WebSphere for z/OS の管理者として定義されていない場合は、WebSphere for z/OS の管理者に連絡してください。

BBON0504E パスワードを入力してください。

説明: z/OS のパスワードが必要です。

ユーザーの処置: パスワードを入力してください。

BBON0505I ユーザー ID *user ID* のログインが完了しました。

説明: 示されたユーザー ID *user ID* を持つユーザーが、アプリケーションへのログインに成功しました。

BBON0506E ログインに失敗しました。理由: *reason-text*。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションへのログインで障害が発生しました。理由は、*reason-text* に記述されています。

説明: "C9C2" が先頭に付いた、マイナー・コードの含まれた理由テキストについては、*WebSphere for z/OS: メッセージおよび診断* で、詳細を確認してください。他のマイナー・コードは別の製品に属しており、WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 で扱う文書の範囲を超えています。

BBON0507I WebSphere for z/OS *system-name*、バージョン *version-level* の初期化が完了しました。

説明: システム *system-name* 上で 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションの初期化が完了しました。アプリケーションのバージョン・レベルは、*version-level* です。

BBON0508I 削除操作は元に戻すことはできません。それでも *object-name* を削除しますか?

説明: *object-name* の削除が要求されました。

ユーザーの処置: 指定されたオブジェクトおよびツリーのブランチでそのオブジェクトの下にあるすべてのオブジェクトを削除するには、「はい (Yes)」をクリックします。削除を取り消すには、「いいえ (No)」をクリックします。

注意: オブジェクトを削除した場合、そのオブジェクトを復元することはできません (LRM 接続は例外です)。

BBON0509I 接続 *connection-name* を削除しますか?

説明: ユーザーが、示された接続を削除しようとしてしました。

ユーザーの処置: 接続を削除するには、「はい (Yes)」をクリックします。削除を取り消し、ウィンドウに戻るには、「いいえ (No)」をクリックします。

BBON0510I ファイルの終わりに達しましたが、ストリング *search-string* は見つかりませんでした。

説明: 検索機能は、文字ストリング *search-string* を見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: 「検索 (Find)」ダイアログを閉じることも、検索のオプションを変更することもできます。たとえば、ファイルの先頭から検索を開始するオプションを選択することができます。

BBON0511I Connecting with target. (ターゲットに接続しています。)

説明: ターゲットとの接続が進行中です。

BBON0512I この LRM のインスタンスは次のサーバー / コンテナで使用されています。削除しますか。

説明: この LRM のインスタンスは、コンテナで使用されています。

ユーザーの処置: この LRM を削除すると、対応する接続も除去されます。

BBON513E この J2EE リソースのインスタンスは、次のサーバー / アプリケーションによって使用されています: *server-list*。これらの接続が存在する限り、この J2EE リソースは削除できません。

説明: J2EE リソースは、J2EE アプリケーションによって参照されている限り削除できません。

ユーザーの処置: 接続された J2EE リソースを削除する前に、これらのアプリケーションを削除してください。

BBON514I サーバー *server-name* のエクスポート・ディレクトリーは、*directory-name* です。

説明: 「サーバーのエクスポート.. (Export server..)」アクション中に、サーバー *server-name* のファイルがディレクトリー *directory-name* にエクスポートされます。

BBON0516I J2EE サーバー *server-name* が、入力ディレクトリー *directory-name* からインポートされました。このサーバーの特性、J2EE リソース・インスタンス、およびサーバー・インスタンスを確認して更新してください。

説明: 「サーバーのインポート... (Import server...)」アクションが正常に完了しました。

ユーザーの処置: この J2EE サーバーについて、以下の点をチェックしてください。

- J2EE サーバーの特性。特に「制御領域 **proc** 名」(J2EE サーバー名を変更した場合)と「デバッガーを許可」
- J2EE リソース・インスタンス
- サーバー・インスタンス

BBON0515I *Object-type object-name* が追加されました。

説明: 示された名前とタイプのオブジェクトが正常に定義され、ツリーに追加されました。WebSphere for z/OS は、関連するオブジェクトもツリーに追加する可能性があります。

BBON0523I *Object-type object-name* が変更されました。



説明: 示されたタイプおよび名前のオブジェクトが変更されました。この変更は、モデルに反映されません。

BBON0531I *Object-type object-name* が削除されました。

説明: 示されたオブジェクトの削除要求が完了しました。ツリーのブランチ内でそのオブジェクトの下にあるオブジェクトもすべて削除されました。

BBON0533I *Object-name* は削除されています。特性データは表示されません。

説明: 選択したオブジェクトは削除されました。削除されたオブジェクトの特性を表示することはできません。

削除されたオブジェクトには、 または  (フォルダーの場合) のマークが付けられます。これらはツリーに残ります。

BBON0534I コミットをやり直すことはできません。それでもコミットしますか?

ユーザーの処置: 会話をコミットするには、「はい (Yes)」をクリックします。コミットを取り消すには、「いいえ (No)」をクリックします。

メッセージ -- GUI

コミット・プロセスを開始後は、会話をアンコミットすることができません。コミット済みの会話は変更できません。

BBON0535I すべてのタスクを完了しましたか？

説明: 指示に含まれている、示されたすべてのタスクに、完了のマークが付けられました。これらのタスクは、会話の活動化を成功させるために実行されました。

ユーザーの処置: タスクに完了のマークを付けるには、「はい (Yes)」をクリックします。

アクションを取り消し、ウィンドウに戻るには、「いいえ (No)」をクリックします。


BBON0536I 警告! コールド・スタートの準備をすると、WebSphere for z/OS が停止され、その後にコールド・スタートが行われます。元に戻すことはできません。WebSphere for z/OS のコールド・スタートをする準備をしますか?

説明: 「コールド・スタートの準備」アクションの結果については、*WebSphere for z/OS*: システム管理ユーザー・インターフェース を参照してください。

BBON0537I Object-name への変更は保存されていません。変更を破棄しますか?

説明: オブジェクト *object-name* の特性の変更が保管されていない状態で、このオブジェクトが選択解除されました。


ユーザーの処置: 変更を破棄するには、「はい (Yes)」をクリックします。

object-name の特性を編集モードのままにした状態でメインウィンドウに戻るには、「いいえ (No)」をクリックします。変更を保管するには、ツールバーにある  をクリックするか、「選択済み (Selected)」メニュー・バー選択項目の「保管 (Save)」アクションを選択します。

BBON0538I 追加への変更が保存されていません。変更を破棄しますか?

説明: 追加されるオブジェクトに対する変更が保管されていない状態で、このオブジェクトが選択解除されました。オブジェクトはツリーに追加されません。

ユーザーの処置: 変更を破棄するには、「はい (Yes)」をクリックします。

object-name の特性を編集モードのままにした状態でメインウィンドウに戻るには、「いいえ (No)」をクリックします。変更を保管し、オブジェクトをツリーに追加するには、ツールバーにある  をクリックするか、「選択済み (Selected)」メニュー・バー選択項目の「保管 (Save)」アクションを選択します。

BBON0539I 活動化を取りやめることはできません。会話 conversation-name を活動化しますか?

説明: 選択した会話 *conversation-name* の活動化を要求しました。会話を活動化すると、その会話は活動イメージになります。このアクションは元に戻すことができません。また、活動イメージを変更することもできません。

ユーザーの処置: 会話を活動化するには、「はい (Yes)」をクリックします。

アクションを取り消し、メインウィンドウに戻るには、「いいえ (No)」をクリックします。

BBON0540I すべてのタスクを完了しましたか？

説明: 指示にあるすべてのタスクに完了のマークを付けるように要求しました。活動化が成功するには、すべてのタスクが実行済みである必要があります。

ユーザーの処置: タスクに完了のマークを付けるには、「はい (Yes)」をクリックします。

アクションを取り消し、メインウィンドウに戻るには、「いいえ (No)」をクリックします。

BBON0541I プロファイルの保存が開始されています。

説明: プロファイルへの変更を保管しています。プロファイルの保管が完了すると、2 番目のメッセージが発行されます。

BBON0542I プロファイルの保管が完了しました。

説明: プロファイルは、z/OS 上のシステム管理サーバーに保管されました。プロファイルは、直前のセッションから保管された値を提供します。

BBON0544I プロファイルの獲得が開始されました。

説明: プロファイルを取得しています。プロファイルは、直前のセッションから保管された値を提供します。操作が完了すると、2 番目のメッセージが発行されます。

BBON0545I Profile obtain completed. (プロファイルの獲得が完了しました。)

説明: プロファイルを取得しました。プロファイルは、直前のセッションから保管された値を提供しません。

BBON0547I LRM 接続 *name* が追加されました。

説明: 示された LRM 接続がツリーに追加されました。

BBON0548I LRM 接続 *name* が削除されました。

説明: LRM 接続 *name* が削除されました。ほかのオブジェクトとは異なり、LRM 接続は削除後に復元することができます。

BBON0549I 会話 *conversation-name* の指示の操作を終了しますか？

説明: 要求したアクションによって、アプリケーションが、会話 *conversation-name* の指示の表示から、別のデータの表示に切り替えられます。会話の指示を再び表示するには、この会話をツリーで選択し、

メッセージ -- GUI

「ビルド (Build)」メニュー・バー選択項目の「指示 (Instructions)」アクションを選択する必要があります。

ユーザーの処置: 続行するには、「はい (Yes)」をクリックします。

要求を取り消し、指示の作業に戻るには、「いいえ (No)」をクリックします。

BBON0550I すべてのタスクを完了しましたか？

説明: ユーザーが、指示に記述されているすべてのタスクが完了したことを示しました。示された指示の作業が完了したことを確認することも、指示の作業を続けることもできます。

BBON0552E Object データにエラーがあります。

説明: システム管理サーバー・データベースには、このオブジェクトについて無効なデータが含まれており、このオブジェクトに対してアクションを実行することはできません。このオブジェクトに対してアクションを実行するためには、データベース管理者によるデータベースの補修が必要です。

BBON0553I Object-name は、WebSphere for z/OS によって所有されています。

説明: 示されたオブジェクトは、WebSphere for z/OS によって作成されたもので、その実行に必要です。このオブジェクトをうっかり変更したり、削除しないよう気を付けてください。

BBON0554I administrator を削除しますか？

ユーザーの処置: 管理者 ID *administrator* の管理者を削除するには、「はい (Yes)」をクリックします。

管理者ダイアログに戻るには、「いいえ (No)」をクリックします。

BBON0556I システム管理サーバーのアプリケーション・レベルは *major.minor*、クライアント・レベルは *major.minor* です。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションは、z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーに接続されています。アプリケーションとシステム管理サーバーのレベルは、*major.minor* で示されています。この数字は内部使用であり、アプリケーションのバージョン番号とは異なります。

BBON0557I Operation stopped. (操作が停止しました。)

説明: 現在の操作は、ユーザーの要求によって停止されました。

ツリーの展開を停止すると、展開途中のブランチは展開されますが、それ以上の展開は行われません。

会話の状況に影響を及ぼす操作を停止すると、ツリーが最新表示されます。

BBON0558I ログインが取り消されました。

説明: 管理者のログインは取り消されました。アプリケーションは開始されませんでした。

BBON0559I システム管理サーバーが接続されています。

説明: ユーザー・ログインに応答して、管理アプリケーションまたは操作アプリケーションが WebSphere for z/OS 上で動作しているシステム管理サーバーに接続されました。

BBON0560I ローカル ID にデフォルト値が設定されています。

説明: サーバーに対して「認証されていないクライアントを許可する」フラグがオンになっていると、そのサーバーのローカルおよびリモート ID が必要です。ID が設定されていない場合には、デフォルトの設定が採用されます。

ユーザーの処置: ローカル ID のデフォルト設定がここで受け入れ可能か確認してください。必要な権限については、「計画およびインストール・ガイド」を参照してください。

BBON0561I リモート ID にデフォルト値が設定されています。

説明: サーバーに対して「認証されていないクライアントを許可する」フラグがオンになっていると、そのサーバーのローカルおよびリモート ID が必要です。ID が設定されていない場合には、デフォルトの設定が採用されます。

ユーザーの処置: リモート ID のデフォルト設定がここで受け入れ可能か確認してください。必要な権限については、「計画およびインストール・ガイド」を参照してください。

BBON0562I デフォルト値がローカルおよびリモート ID に設定されています。

説明: サーバーに対して「認証されていないクライアントを許可する」フラグがオンになっていると、そのサーバーのローカルおよびリモート ID が必要です。ID が設定されていない場合には、デフォルトの設定が採用されます。

ユーザーの処置: ローカルおよびリモート ID のデフォルト設定がここで受け入れ可能か確認してください。必要な権限については、「計画およびインストール・ガイド」を参照してください。

BBON0563I デバッガー許可に対してデフォルト値が設定されています。

説明: サーバーで「実動サーバー」フラグがオンになっていると、「デバッガー許可」のフラグはデフォルトで **false** に設定されます。

BBON0579E Conversation cannot be committed. (会話をコミットできません。)

説明: システム管理サーバーは、会話をコミットすることができませんでした。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージ・ログで、このメッセージと共に出力されるシステム・メッセージを参照してください。

メッセージ -- GUI

BBON0580E サーバー *server-name* のいくつかの LRM を上書きできませんでした。詳しくは、メッセージ・ログを確認してください。

説明: 「サーバーのインポート.. (**import server..**)」アクション中に、すでにこの会話に存在するいくつかの LRM が参照されました。これらの LRM の特性は既存の LRM の特性と異なります。

ユーザーの処置: これらの特性がこのコンテキストで正しいかを確認してください。メッセージ・ログに、対応する LRM 特性と異なる LRM 特性についての詳しい情報があります。

BBON0597I ヘルプ機能は使用できません。

説明: ヘルプ機能は使用不可にされており、利用できません。

ユーザーの処置:

BBON0598I 終了していいですか?

説明: ユーザーがアプリケーションを閉じる要求を行いました。

ユーザーの処置: アプリケーションを終了するには、「はい (**Yes**)」をクリックします。アプリケーションの使用を続けるには、「いいえ (**No**)」をクリックします。

BBON0599E 重大な初期化エラーが起きました。アプリケーションは終了します。

説明: 初期化中に内部論理エラーが発生しました。アプリケーションを始動できません。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0600I オブジェクト *object-name* の開始が指示されました。

説明: *object-name* という名前のサーバーまたはサーバー・インスタンスの開始要求が z/OS で出されました。

BBON0601I オブジェクト *object-name* の停止が指示されました。

説明: *object-name* という名前のサーバーまたはサーバー・インスタンスの停止要求が z/OS で出されました。現在実行中のトランザクションは完了されます。

BBON0602I オブジェクト *object-name* の (再始動をとまなう) キャンセルが要求されました。

説明: *object-name* という名前のサーバーまたはサーバー・インスタンスの取り消し要求が z/OS で出されました。現在実行中のトランザクションは完了されません。ARM 保護されたサーバーおよびサーバー・インスタンスは、自動的に再始動されます。

BBON0603I オブジェクト *object-name* の (再始動をとみなわない) キャンセルが要求されました。

説明: *object-name* という名前のサーバーまたはサーバー・インスタンスの取り消し要求が z/OS で出されました。サーバーまたはサーバー・インスタンスは、ARM によって再始動されません。

BBON0604I オブジェクト *object-name* にダンプが要求されました。

説明: *object-name* という名前のサーバーまたはサーバー・インスタンスを構成するすべてのアドレス・スペースをダンプする要求が z/OS 上で行われています。現在実行中のトランザクションの実行は遅らされますが、打ち切られることはありません。

BBON0607I 作業要求 *request-identifier* がキャンセルされました。

説明: この作業要求には、操作ウィンドウの「キャンセル (Canceled)」列で「キャンセル済み」のマークが付いています。ウィンドウを最新表示すると、この作業要求はリストから除去されます。

BBON0608I 作業要求 *request-identifier* はすでにキャンセルされています。

説明: 作業要求 *request-identifier* をキャンセルしようとしたますが、この作業要求はすでにキャンセルされています。この作業要求には、操作ウィンドウの「キャンセル (Canceled)」列で「キャンセル済み」のマークが付いています。ウィンドウを最新表示すると、この作業要求はリストから除去されます。

BBON0609I *object-name* を停止しますか?

説明: サーバーまたはサーバー・インスタンス *object-name* の停止要求を行いました。

ユーザーの処置: 現在実行されているトランザクションがすべて完了した後に、オブジェクトを停止するには、「はい (Yes)」をクリックします。

オブジェクトを停止せずに操作ウィンドウに戻るには、「いいえ (No)」をクリックします。

BBON0610I *object-name* をキャンセルして再始動しますか?

説明: サーバーまたはサーバー・インスタンス *object-name* の取り消し要求を行いました。

ユーザーの処置: このオブジェクトを取り消すには、「はい (Yes)」をクリックします。これにより、オブジェクトは即時に停止されます。現在実行中のトランザクションは完了されません。ARM 保護されているオブジェクトは、ARM によって自動的に再始動されます。

オブジェクトの取り消しを行わずに操作ウィンドウに戻るには、「いいえ (No)」をクリックします。

BBON0611I 再始動なしで *object-name* のキャンセルしますか?

説明: 再始動なしでサーバーまたはサーバー・インスタンス *object-name* の取り消し要求を行いました。

ユーザーの処置: 再始動を指定せずにこのオブジェクトを取り消すには、「はい (Yes)」をクリックします。これにより、オブジェクトは即時に停止されます。現在実行中のトランザクションは完了されず、サーバーまたはサーバー・インスタンスは ARM によって再始動されません。

メッセージ -- GUI

オブジェクトの取り消しを行わずに操作ウィンドウに戻るには、「いいえ (No)」をクリックします。

BBON0613I *object name* に対するウォーム・スタートが発行されました。

説明: 「ウォーム・スタート」アクションは正常に完了しました。

BBON0614I *name* を本当にウォーム・スタートしてよろしいですか?

説明: 「ウォーム・スタート」アクションの詳細については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理ユーザー・インターフェース* を参照してください。

BBON0701I トレース・ライターが始動しました。

説明: トレース・ロギングが開始されました。トレース・ロギングを実行すると、パフォーマンスが低下するので、ロギングは IBM サービス技術員の指示があった場合にのみ使用可能にしてください。トレース・レコードは標準出力装置に書き込まれます。

BBON0702I トレース・ライターが停止しました。

説明: トレース・ロギングを使用不可にする要求が処理されました。トレース・ロギングは停止されました。

BBON0703I 現在デバッグ・モードです。

説明: アプリケーションは現在デバッグ・モードです。デバッグ・モードでは、診断メッセージが出されてトレース・レコードが作成されるので、パフォーマンスが低下します。このため、デバッグ・モードにするのは、IBM サービス技術員の指示があった場合のみにしてください。

BBON0704I デバッグ・モードを終了しました。

説明: デバッグ・モードを終了しました。

BBON0705I Property *property-name* processed, the value is *property-value*. (特性 *property-name* が処理されました。値は *property-value* です。)

説明: 示された特性がプロパティ・ファイルから読み取られました。この特性は、示された値に設定されています。

BBON0706I 特性 *property* がユーザー・プロファイルから処理されました。値は *value* です。

説明: 示された値を持つ、示された特性がユーザー・プロファイルから読み取られ、このセッションで使用されます。

BBON0707I 確認モードです。

説明: 確認モードがアクティブになりました。オブジェクトの削除などの破壊的なアクションの前には、確認メッセージが出されます。

BBON0708I Confirmation mode now disabled. (確認モードを終了しました。)

説明: オブジェクトの削除などの破壊アクションの前に、確認メッセージは出されません。

BBON0709I 国別言語ファイル *file-name* が使用されています。

説明: 示されたファイルが、各国語サポート用として使用されています。

BBON0710I アプリケーション・ホーム・パスは *path-name*, **codebase** パスは *codebase-path* です。

説明: このセッションでは、示されたパスが使用されています。

BBON0711I 印刷が完了しました。 *number* 行、 *number* ページ

説明: ユーザーの要求に従って、示された数の行およびページが印刷されました。

BBON0712I トレース・データがファイル *file* に書き込まれました。

説明: ユーザーの要求に従って、示されたファイルにトレース・レコードが書き込まれました。

BBON0713I アラーム・モードです。

説明: アラームがオンになりました。エラー状態が発生すると、音響アラームが鳴ります。

BBON0714I アラーム・モードを終了しました。

説明: アラームがオフになりました。エラー状態が発生しても、音響アラームは鳴りません。

BBON0716I メッセージのロードが停止しました。 *count* エントリーが表示されていません。

説明: メッセージ・ログ内のメッセージがすべて表示される前に、メッセージのロード停止要求が処理されました。メッセージ・ログのロードは終了します。完全なメッセージ・ログを表示するには、「ビュー (View)」メニュー・バー選択項目から「最新表示 (Refresh)」アクションを選択するか、F11 キーを押します。

BBON0718I ヘルプ URL *url-name* への要求が進行中です。

説明: ヘルプ要求は、示された URL へのハイパーテキスト・リンクを処理しています。

メッセージ -- GUI

BBON0719I ブラウザー・パスは *path-name* に設定されています。

説明: Web ブラウザーの実行可能プログラムへのパスは *path-name* に設定されています。

BBON0720I クラス・サービス・レベル情報を獲得しています。

説明: アプリケーションは、ランタイム・クラスの保守レベルを取得しています。これには多少時間がかかります。

BBON0721I プロファイル・データをサーバーから獲得できませんでした。

説明: プロファイル・データを z/OS 上のシステム管理サーバーから入手できませんでした。保管された値は使用できません。デフォルト値を使用します。

BBON0722I プロファイル特性 *property* 値 *value* が追加されました。

説明: z/OS 上のシステム管理サーバーへの保管準備として、特性 *property* の値 *value* がプロファイルに追加されました。

BBON0723I プロファイル特性 *property* がアンロードされました。

説明: z/OS システム管理サーバーへの保管の準備中に、プロファイル特性 *property* がユーザー・プロファイルからアンロードされました。

BBON0724I **New profile is being created. (新規プロファイルを作成しています。)**

説明: 始動オプションによる要求に従って、新規プロファイルが作成されています。保管されていた、以前のセッションの値は廃棄されます。

BBON0726I メッセージ・ログ制限は *number-of-messages* に設定されています。

説明: メッセージ・ログの最大サイズ (最大メッセージ数) は、*number-of-messages* に設定されています。メッセージ数がこの最大値を超えると、ログの先頭部分にあるメッセージが廃棄されて、新しいメッセージが追加されます。

BBON0727I サーバー指示 が *path* に正しく書き込まれました。

説明: 示されたパスに指示が書き込まれました。このファイルは、テキスト・エディターで編集したり、Web ブラウザーで表示することができます。

BBON0728I メッセージ・ログがファイル *file*、*count* レコードに書き込まれました。

説明: メッセージ・ログは、示されたファイルに保管されました。保管されたレコード数は、*count* です。

BBON0729I *total* のうち *number* のエントリーを処理しています。

説明: トレース・ビューアーは、トレース・エントリーを表示するための準備を行っています。現在処理されているトレース・エントリーは *number* であり、合計 *total* のトレース・エントリーがあります。

BBON0730I フィルターがレコードを除外しました。

説明: フィルター機能により、1 つ以上のレコードが除外されました。

フィルター機能をオフにして全レコードを表示するには、「フィルター (Filter)」メニュー・バー選択項目の「リセット (Reset)」アクションを選択します。

BBON0731I フィルターがすべてのレコードを除外しました。

説明: フィルター機能をオフにして全レコードを表示するには、「フィルター (Filter)」メニュー・バー選択項目の「リセット (Reset)」アクションを選択します。

BBON0732I フィルターは活動中です。

説明: 1 つ以上のフィルターが設定されていますが、このフィルターによって除外されたレコードは現在ありません。

フィルター機能をオフにして全レコードを表示するには、「フィルター (Filter)」メニュー・バー選択項目の「リセット (Reset)」アクションを選択します。

BBON0734E アプリケーション・ホーム・パスが指定されていません。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションが呼び出されましたが、ホーム・パスが指定されていません。ホーム・パスとは、アプリケーションがインストールされているディレクトリーです。アプリケーションを続行できません。

ユーザーの処置: 製品が正しくインストールされていることを確認してください。これにより問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0735I 始動オプションが処理されてます。 *option*

説明: 示された始動オプションが処理されています。

BBON0736I 取り消された印刷: *number* 行、*number* ページ

説明: 印刷操作が取り消されました。取り消し要求が出される前に、示された数の行およびページが印刷されました。

BBON0737I 画面印刷が完了しました。

説明: 画面印刷要求が完了しました。

BBON0800E 認識されていない始動引き数 *argument* が無視されました。

説明: 認識されない始動オプションがアプリケーションに渡されました。この引き数は無視されます。

ユーザーの処置: エラーが解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0807E *parameter* の値 *value* が長すぎます。許可されている最大長は *max-length* です。

説明: 内部パラメーター *parameter* の値 (示された値) が最大許容長を超えています。

ユーザーの処置: エラーが解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0808E *parameter* の値 *value* が数値ではありません。

説明: 内部数値パラメーター *parameter* の値 (*value* で示された値) が数値ではありません。

ユーザーの処置: エラーが解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0809E *parameter* の値 *value* が小さすぎます。許可されている最小値は *minimum* です。

説明: 内部パラメーター *parameter* の値 (*value* で示された値) が最小許容値より小さく設定されています。

ユーザーの処置: エラーが解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0810E *parameter* の値 *value* が大きすぎます。許可されている最大値は *maximum* です。

説明: *value* で示された値が、最大許容値を超えています。

ユーザーの処置: エラーが解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0811E *area* の値 *value* が無効です。

説明: ウィンドウの領域 *area* の値 (*value* で示された値) には、1 バイト文字セットに含まれていない文字が少なくとも 1 つあるので、この値は無効です。

ユーザーの処置: エラーが解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON0812E *field* に無効なデータがあります。

説明: アプリケーションは、無効データのあるフィールドを検出しました。たとえば、DBCS データが許可されていないにもかかわらず、これが使用されている場合、このデータは無効です。データを訂正してください。

ユーザーの処置: データを訂正してください。

BBON0840E 少なくとも 1 つのセキュリティー・タイプを選択してください。

説明: サーバーに対して少なくとも 1 つのセキュリティー・タイプを選択する必要があります。

ユーザーの処置: 次のいずれかを行ってください。

- 「非認証クライアントを許可 (allow non-authenticated clients)」フラグをオンにする
- 3 つのセキュリティー・タイプ「ユーザー ID / パスワード (Userid/Password)」、「ユーザー ID / パスチケット (Userid/Passticket)」、または「DCE」のいずれかを選択する

BBON0841E パス名が必要です。

説明: パス名 (必須) が指定されていません。

ユーザーの処置: パス名を入力してください。

BBON0850E *property* の値が指定されていません。

説明: カーソルでマークが付けられている必須特性 *property* の値が空白です。

ユーザーの処置: 値を入力するか、「選択済み (Selected)」メニュー・バー選択項目の「キャンセル (Cancel)」アクションを選択してすべての変更を破棄してください。

有効な値についてのヘルプを表示するには、ツリー内の選択済みオブジェクトを右マウス・ボタンでクリックし、表示されるポップアップ・メニューの「ヘルプ (Help)」アクションを選択します。

BBON0851E *property* の値が **number** 文字を超えています。

説明: 示された特性の値の長さが、最大許容文字数 *number* を超えています。

ユーザーの処置: 値を入力するか、「選択済み (Selected)」メニュー・バー選択項目の「キャンセル (Cancel)」アクションを選択してすべての変更を破棄してください。

有効な値についてのヘルプを表示するには、ツリー内の選択済みオブジェクトを右マウス・ボタンでクリックし、表示されるポップアップ・メニューの「ヘルプ (Help)」アクションを選択します。

BBON0852E *value* に組み込み空白があります。

説明: *value* には組み込み空白がありますが、これは許可されません。

ユーザーの処置: 値を訂正してください。有効な値についてのヘルプを表示するには、ツリー内の選択済みオブジェクトを右マウス・ボタンでクリックし、表示されるポップアップ・メニューの「ヘルプ (Help)」アクションを選択します。

BBON0854E *property* の値は、アルファベットで始まらなければなりません。

説明: 特性 *property* の値は英字で始まる必要がありますが、英字以外の文字で始まっています。

ユーザーの処置: 値を訂正してください。有効な値についてのヘルプを表示するには、ツリー内の選択済

メッセージ -- GUI

みオブジェクトを右マウス・ボタンでクリックし、表示されるポップアップ・メニューの「ヘルプ (Help)」アクションを選択します。

BBON0855E property 値の位置 position にある文字は英数字、@, # または \$ でなければなりません。

説明: 特性 *property* の位置 *position* にある文字が無効です。英数字および 3 つの特殊文字 (@、#、および \$) のみが有効です。

ユーザーの処置: 値を訂正してください。有効な値についてのヘルプを表示するには、ツリー内の選択済みオブジェクトを右マウス・ボタンでクリックし、表示されるポップアップ・メニューの「ヘルプ (Help)」アクションを選択します。

BBON0856E property 値の位置 position にある文字は英数字、@, #, \$, :, /, または _ でなければなりません。

説明: 特性 *property* の位置 *position* にある文字が無効です。英数字および示された特殊文字のみが有効です。

ユーザーの処置: 値を訂正してください。有効な値についてのヘルプを表示するには、ツリー内の選択済みオブジェクトを右マウス・ボタンでクリックし、表示されるポップアップ・メニューの「ヘルプ (Help)」アクションを選択します。

BBON0857E property 値の位置 position にある文字は数字でなければなりません。

説明: 特性 *property* の位置 *position* にある文字が無効です。数字のみが有効です。

ユーザーの処置: 値を訂正してください。有効な値についてのヘルプを表示するには、ツリー内の選択済みオブジェクトを右マウス・ボタンでクリックし、表示されるポップアップ・メニューの「ヘルプ (Help)」アクションを選択します。

BBON0859E Property column row-number が maximum 文字を超えています。

説明: 示されたフィールドの値が許容される最大長を超えています。最大長は、*maximum* 文字です。

ユーザーの処置: 値を訂正してください。*property*、*column*、および *row-number* を使用して、エラーになっている値を突き止めます。たとえば、値が接続データ (Connection data)、値 (value) および 3 の場合は、接続データ特性の「値 (Value)」列の 3 行目でエラーが発生しています。

BBON0860E property column row-number が指定されていません。

説明: 示された必須フィールドの値が欠落しています。

ユーザーの処置: 値を入力してください。*property*、*column*、および *row-number* を使用して、エラーになっている値を突き止めます。たとえば、値が接続データ (Connection data)、値 (value) および 3 の場合は、接続データ特性の「値 (Value)」列の 3 行目のデータが欠落しています。

BBON0861E *property item* 順序選択はすでに選択されています。

説明: すでに使用されている順序番号を指定して優先のマークを付けました。各順序番号は一度しか使用できず、1 から始まる連続した番号でなければなりません。

ユーザーの処置: 順序番号を変更してください。

BBON0863E *property* 順序選択 *value* が選択されていません。

説明: 特性 *property* について、示された順序選択が欠落しています。欠落している番号よりも大きな番号が指定されました。番号は順番に選択する必要があります。

BBON0864E テキスト・トレース・ファイル名は *.txt* で終わっていなければなりません。

説明: テキストに使用するトレース・ファイルに必須の拡張子は *txt* ですが、これ以外の拡張子が使用されています。

ユーザーの処置: トレース・ファイル名を訂正してください。

BBON0865E バイナリー・トレース・ファイル名は *.bin* で終わっていなければなりません。

説明: バイナリー・データに使用するトレース・ファイルに必須の拡張子は *bin* ですが、これ以外の拡張子が使用されています。

ユーザーの処置: トレース・ファイル名を訂正してください。

BBON0866E *property* 値の位置 *position* にある文字は英数字、@、#、\$、:、または _ でなければなりません。

説明: 特性 *property* の位置 *position* にある文字が無効です。英数字および示された特殊文字のみが有効です。

ユーザーの処置: 値を訂正してください。有効な値についてのヘルプを表示するには、ツリー内の選択済みオブジェクトを右マウス・ボタンでクリックし、表示されるポップアップ・メニューの「ヘルプ (Help)」アクションを選択します。

BBON0867E *property column-name row-number* に無効なデータがあります。

説明: 示された特性の値には、1 バイト文字セットに含まれていない値が 1 つ以上存在します。

BBON0868E *qualifier* 値の位置 *position* にある値は英字、@、#、または \$ でなければなりません。

説明: 修飾子 *qualifier* の位置 *position* にある文字は、英字、@、#、または \$ でなければなりません。

ユーザーの処置: 修飾子を変更して、有効な文字だけが含まれるようにしてください。

BBON0869E *property-name name number* は、*name number* と重複しています。

説明: 管理アプリケーションまたは操作アプリケーションによるデータ入力が許可されるテーブルの 1 つに、重複するエントリーがあります。これは許可されません。

ユーザーの処置: 重複するエントリーを除去してください。

BBON870E *Property-name* 特性が、サポートされていない XML タグ *tag-name* を使用しています。

説明: J2EE リソース・オブジェクトで選択された J2EE リソース・タイプが、ベンダー提供のテンプレートを参照しています。このテンプレートは、この J2EE リソース・タイプの必須パラメーターを記述します。

この参照される XML ベースのテンプレートは、現在サポートされていないパラメーター・タイプを使用しています。このタイプの J2EE リソースは正しく動作しない可能性があります。

ユーザーの処置: この J2EE リソース・タイプでさらに問題が発生したような場合は、データベースのベンダーに連絡してください。

BBON871E タグ *tag-name* を *tag-name* で処理しているときに、XML 書き込みエラーが発生しました。

説明: XML 文書生成中の処理エラーが原因で、J2EE リソースまたは J2EE リソース・インスタンスの定義に失敗しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON872E XML 書き込みエラー。

説明: XML 文書生成中の処理エラーが原因で、新しいオブジェクトを定義できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON873E *Property-name* 値は正規表現 *expression* に一致しません。

説明: 作成または変更された J2EE リソース・インスタンスの特性 *property-name* に対して入力された値が無効です。

ユーザーの処置: *property-name* の値を変更してください。特性の有効な値は、正規表現 *expression* によって示されています。

この特性は、適切な J2EE リソースに示された J2EE リソース・タイプに示された XML テンプレートに定義されています。

BBON874E 属性 *property-name* の正規表現が無効です。エラー: *message*。

説明: J2EE リソース・インスタンスを保管できません。J2EE リソース・タイプを定義する XML テンプレート (適切な J2EE リソースの中で示されている) に、属性 *property-name* に無効な正規表現が含まれています。

ユーザーの処置: システム管理サーバーの HFS で XML テンプレートを訂正してください。

このテンプレートは、*CBCONFIG/Sysplex-name/resources/templates* にあります。この場合、

- *CBCONFIG* は、環境変数 *CBCONFIG* に指定されたパスです。デフォルト値は、*/WebSphere390/CB390* です。
- *Sysplex-name* は、J2EE リソース・タイプが定義されているシスプレックスの名前です。

BBON880E J2EE アーカイブ・ファイル の処理中にエラーが発生しました *file-name* :
exception-text。

説明: SM の EUI を使った展開のために選択された EAR ファイルは、1.1 EJB を含む有効な J2EE アーカイブ・ファイルには見えません。

ユーザーの処置: このファイルが WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390 に付属する Application Assembly and Standalone Deployment Tool を使って正しく実行されていることを確認してください。エラーの原因については、例外テキストを参照してください。

BBON881E J2EE アーカイブ・ファイル *filename* を読み取り用に開くことができません。

説明: SM の EUI を使った展開のために選択された EAR ファイルは、指定された場所に見つからなかったか、またはユーザーがこのファイルのアクセスに必要な権限を持っていません。

ユーザーの処置: 指定されたファイルがローカル・ディスクに存在していることを確認してください。

BBON0900E メッセージ *message-id* がファイル *file-name* に見つかりませんでした。

説明: メッセージ・ファイル *file-name* にメッセージ *message-id* がないため、このメッセージを発行することができませんでした。メッセージは発行されません。

ユーザーの処置: メッセージ・テキストを参照するには、このメッセージをヘルプで見つけてください。

IBM の担当者に連絡してください。

BBON0901E メッセージ *message-id* は出されませんでした。 *file-name* が見つかりませんでした。

説明: メッセージ定義ファイル *file-name* が見つからないため、メッセージ *message-id* を発行することができませんでした。メッセージは発行されません。

ユーザーの処置: メッセージ・テキストを参照するには、メッセージ ID を使用して、このメッセージをヘルプで見つけてください。

メッセージ -- GUI

製品が正しくインストールされていることを確認してください。正しくインストールされている場合は、IBM の担当者に連絡してください。

BBON0902E メッセージ ID *message-id* は無効です。理由: *reason-text*

説明: メッセージ *message-id* には、無効なメッセージ ID が含まれています。メッセージは発行されません。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してください。

BBON0903E メッセージは出されませんでした。メッセージ ID が見つかりません。 *reason-text*

説明: メッセージにメッセージ ID が付いていないため、メッセージを発行することができませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してください。

BBON0904I メッセージ *number* のヘルプはありません。

説明: メッセージ番号 *number* のヘルプがありません。

BBON0921I トレース・テーブルにエントリーがありません。

説明: トレース・テーブルの表示要求が処理されましたが、このトレース・テーブルは空です。

BBON0924I トレースのロードを停止しました。 *count* エントリーが表示されていません。

説明: トレース・テーブルの表示が停止されましたが、このとき、トレース・テーブルのエントリーの表示が完全には終わっていませんでした。表示されなかったエントリーの数は、*count* です。

BBON0925I *total* のうち *number* のエントリーをロードしています。

説明: *number* 番目のエントリーがロードされています。エントリーの合計数は、*total* です。

BBON0926I トレース・テーブルが除去されました。

説明: トレース・テーブルが除去されました。

BBON0927I トレース・テーブルを除去しますか?

ユーザーの処置: トレース・テーブルを除去する場合は、「はい (Yes)」をクリックします。トレース・テーブルの除去要求を取り消す場合は、「いいえ (No)」をクリックします。トレース・テーブルを除去する前に、すべてのトレース・エントリーを保管することをお勧めします。ウィンドウで右マウス・ボタンをクリックしたときに表示されるポップアップには、トレース・テーブルの保管アクションが含まれています。

BBON0999I 診断: *diagnostic-text*

説明: 条件について、*diagnostic-text* で記述される診断メッセージが発行されました。

BBON1000E type オブジェクト name が見つかりませんでした。

説明: システム管理サーバーは、タイプ *type*、名前 *name* のオブジェクトを見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: 規定の手順に従って、IBM に問題を報告してください。

BBON1001E type オブジェクトが見つかりませんでした。

説明: システム管理サーバーは、タイプ *type* のオブジェクトを見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: 規定の手順に従って、IBM に問題を報告してください。

BBON1002E type オブジェクト name はすでに定義されています。

説明: 名前 *name*、タイプ *type* のオブジェクトを定義する要求を管理アプリケーションから処理しようとしたが、指定された名前およびタイプのオブジェクトがすでに存在することがシステム管理サーバーによって検出されました。

オブジェクトは定義されません。

BBON1003E object オブジェクトの定義中に、内部プログラミング・エラーが起きました。

説明: 示されたオブジェクトの定義中に、システム管理サーバーで内部エラーが発生しました。オブジェクトは定義されません。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してください。

BBON1004E この機能はサポートされていません。

説明: 要求された機能は、システム管理サーバーでサポートされていません。要求は無視されます。

ユーザーの処置: 規定の手順に従って、IBM に問題を報告してください。

BBON1005E 新しい会話を作成しようとして失敗しました。

説明: システム管理サーバーが管理アプリケーションの要求に応じて会話を作成しようとしたが、これに失敗し、会話は作成されませんでした。

ユーザーの処置: この名前の会話がすでに存在しているか確認してください。

また、規定の手順にしたがって、IBM に問題を報告してください。

メッセージ -- GUI

BBON1006E アプリケーション情報をマスター・レコードから得ようと試みましたが、失敗しました。

説明: システム管理サーバーは、アプリケーションについて、要求された情報を取得できませんでした。

ユーザーの処置: 規定の手順に従って、IBM に問題を報告してください。

BBON1007E 会話のイメージ・バージョンを検査しなければ、このアクションを実行することはできません。

説明: イメージは最初に妥当性検査を行う必要があるため、システム管理サーバーは、このイメージに対するアクションを実行することができませんでした。

ユーザーの処置: 規定の手順に従って、IBM に問題を報告してください。

BBON1008E この指示のセットは、すでに [完了] とマークされています。

説明: システム管理サーバーは管理アプリケーションの要求に応じて指示に「完了」のマークを付けようとしたが、この指示には、すでに「完了」のマークが付いていました。要求は無視されます。

BBON1009E 新しいレベルの作成中に、内部プログラミング・エラーが起きました。RC=return-code

説明: システム管理サーバーがプログラミング・エラーを検出しました。

ユーザーの処置: 規定の手順に従って、IBM に問題を報告してください。

BBON1010E モデルの変更をイメージに反映させようと試みているときに、内部プログラミング・エラーが起きました。RC=return-code

説明: システム管理サーバーが内部エラーを検出しました。

ユーザーの処置: 規定の手順に従って、IBM に問題を報告してください。

BBON1011E 新しいレベルを作成するために使用された基本レベル *level* は無効です。

説明: 新しいレベルを作成するために使用されたレベル *level* が無効でした。

ユーザーの処置: 規定の手順に従って、IBM に問題を報告してください。

BBON1012E 会話のモデル・バージョンが無効です。

説明: システム管理サーバーは、選択されたモデルが無効であることを報告しています。

BBON1013E 会話のイメージ・バージョンが無効です。

説明: システム管理サーバーは、選択されたイメージが無効であることを報告しています。

BBON1014E シスプレックス *sysplex* はシステム管理データベースにありません。

説明: 示されたシスプレックスを含む会話の活動化中に、システム管理サーバーは、このシスプレックスを見つけることができませんでした。システム管理サーバーのデータベースに定義されていないシスプレックスに対して、活動化を実行しようとしている可能性があります。

ユーザーの処置: 活動化により処理されるのは、活動化が実行されているシスプレックスだけです。

BBON1015E サーバー・インスタンス *server-instance* (サーバー *server* 上) を開始できませんでした。

説明: 会話の活動化中に、WebSphere for z/OS は示されたサーバー・インスタンスを開始しようとしたのですが、失敗しました。このサーバー・インスタンスは開始されませんでした。サーバー・インスタンスの開始試行がタイムアウトになったか、またはサーバー・プロシージャーに問題のある可能性があります。タイムアウトを回避するためには、SYNC_START 環境変数の値を上げることができます。この値はデーモン・サーバーが始動を待機する時間を制御します。WebSphere for z/OS の環境変数については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: インストールおよびカスタマイズ* で説明しています。

ユーザーの処置: タイムアウトの問題をアドレッシングするか、サーバー・プロシージャーの問題を解決したら、もう一度会話の活動化を実行してみてください。

BBON1016E サーバー・インスタンス *server-instance* (サーバー *server* 上) を再始動できませんでした。

説明: 会話の活動化中に、WebSphere for z/OS は示されたサーバー・インスタンスを再始動しようとしたのですが、失敗しました。このサーバー・インスタンスは再始動されませんでした。サーバー・インスタンスの再始動試行がタイムアウトになったか、またはサーバー・プロシージャーに問題のある可能性があります。タイムアウトを回避するためには、SYNC_START 環境変数の値を上げることができます。この値はデーモン・サーバーが始動を待機する時間を制御します。WebSphere for z/OS の環境変数については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: インストールおよびカスタマイズ* で説明しています。

ユーザーの処置: タイムアウトの問題をアドレッシングするか、サーバー・プロシージャーの問題を解決したら、もう一度会話の活動化を実行してみてください。

BBON1017E サーバー・インスタンス *server-instance* (サーバー *server* 上) を停止できませんでした。

説明: 会話の活動化中に、WebSphere for z/OS は変更されたサーバーをリサイクルしようとしたのですが、示されたサーバー・インスタンスの停止試行は失敗しました。停止要求はタイムアウトになった可能性があります。タイムアウトは、サーバーで何らかの活動がある場合に発生することがあります。これは、サーバーでのすべてのトランザクションが完了するのを、停止要求が待機するためです。

ユーザーの処置: サーバーが忙しくない時間に活動化を計画することにより、タイムアウトを回避することができます。

指定されたサーバー・インスタンスの停止試行が失敗した原因について詳しく知りたい場合は、z/OS システム上のジョブ・ログを確認してみてください。WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390

メッセージ -- GUI

のエラー・ログで詳しい情報が見つかることがあります。エラー・ログの詳細については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: インストールおよびカスタマイズ* を参照してください。

BBON1018E サーバー *server* がアクティブではありません。ネーミングおよびライフ・サイクルの登録を続行できません。

説明: 会話の活動化中に、WebSphere for z/OS は、示されたサーバーが活動していないことを発見しました。サーバーは、活動化プロセスの一部として、リサイクルされた後、停止しました。

ユーザーの処置: サーバーを始動し、再度活動化を実行してみてください。

BBON1019E ネーム・スペースでのバインディングが、サーバー *server* のホーム *home* で失敗しました。

説明: 会話の活動化中に、示されたホームのネーム・スペースのバインディングが失敗しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1020E ネーム・スペースでのアンバインドが、サーバー *server* のホーム *home* で失敗しました。

説明: 会話の活動化中に、示されたホームのアンバインドが失敗しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1021E オブジェクトが、サーバー *server* のホーム *home* で作成されませんでした。

説明: 会話の活動化中に、システム管理サーバーは、示されたホームに使用するオブジェクトを作成できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1022E クラス *class-name* を使用した管理オブジェクトの作成に失敗しました。

説明: システム管理サーバーは、示されたクラス名を使用した管理オブジェクトを作成できませんでした。

BBON1023E サーバー *server* のシステム管理サーバー・インスタンス *server-instance* のオブジェクトを作成できません。

説明: システム管理サーバーは、示されたサーバー・インスタンスに使用するオブジェクトを作成しようとしたが、これに失敗しました。このサーバー・インスタンスはツリーに追加されません。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1024E サーバー *server* を OTS トランザクション・ファクトリーとして登録しようとして失敗しました。

説明: システム管理サーバーは、示されたサーバーを OTS トランザクション・ファクトリーとして登録しようとしたが、これに失敗しました。このサーバーは登録されませんでした。

BBON1025E サーバー *server* を OTS トランザクション・ファクトリーとして抹消しようとして失敗しました。

説明: システム管理サーバーは、示されたサーバーの OTS トランザクション・ファクトリーとしての登録を抹消しようとしたが、これに失敗しました。このサーバーは OTS トランザクション・ファクトリーとして登録された状態のままです。

BBON1026E サーバー *server* のホーム *home* を追加しようとしてデータベース・エラーが起きました。

説明: システム管理サーバーは、示されたサーバーについて、示されたホームを追加しようとしていたときに、DB2 データベースのエラーを検出しました。このホームは追加されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1027E サーバー *server* のホーム *home* を更新しようとしてデータベース・エラーが起きました。

説明: システム管理サーバーは、示されたサーバーについて、示されたホームを更新しようとしていたときに、DB2 データベースのエラーを検出しました。このホームは更新されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1028E サーバー *server* のホーム *home* を除去しようとしてデータベース・エラーが起きました。

説明: システム管理サーバーは、示されたサーバーについて、示されたホームを除去しようとしていたときに、DB2 データベースのエラーを検出しました。このホームは除去されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1029E サーバー *server* をサーバー特定のファクトリー・ファインダーとして登録しようとして失敗しました。

説明: システム管理サーバーは、示されたサーバーをサーバー特定のファクトリー・ファインダーとして登録しようとしていたときに、エラーを検出しました。このサーバーは登録されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1030E サーバー *server* をサーバー特定のファクトリー・ファインダーとして抹消しようとして失敗しました。

説明: システム管理サーバーは、示されたサーバーについて、サーバー特定のファクトリー・ファインダーとしての登録を取り消そうとしていたときに、エラーを検出しました。登録は有効な状態のままです。

メッセージ -- GUI

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

**BBON1031E LRM *lrm* にはシステム *system* へのインスタンスがありません。このシステムにはコンテナ
— *container* が稼働するサーバー・インスタンスがあります。**

説明: モデルの妥当性検査中に、このモデルには必須の LRM インスタンスが欠落していることが検出されました。この LRM インスタンスは、示された LRM およびシステムのインスタンスです。LRM 接続は、この LRM を示されたコンテナに接続します。コンテナに接続している各 LRM は、そのコンテナが実行されている、サーバー・インスタンスをもつ各システムの LRM インスタンスをもっている必要があります。

ユーザーの処置: 示された LRM およびシステムの LRM インスタンスを追加してください。

BBON1032E サーバー *server* には有効なサーバー・インスタンスがありません。

説明: 会話の妥当性検査中に、サーバーには有効なサーバー・インスタンスがないことが検出されました。各サーバーには、1 つ以上のサーバー・インスタンスが必要です。

ユーザーの処置: このサーバーのサーバー・インスタンスを追加してください。

BBON1033E 管理者を削除できません。

説明: 管理者を削除しようとしたのですが、これに失敗しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1034E 管理者を作成できません。

説明: 管理者を作成しようとしたのですが、これに失敗しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1035E 現在の管理者 *administrator* を削除できません。

説明: 示された管理者を削除しようとしたのですが、ユーザーはこの管理者 ID でアプリケーションにログインしているので削除に失敗しました。現在使用中の管理者 ID を削除することはできません。この管理者を削除するには、いったんログオフし、別の管理者 ID でログインしてください。

BBON1036E デフォルトの管理者 *administrator* を削除できません。

説明: 示された管理者はデフォルト管理者であるため、削除できませんでした。デフォルト管理者は削除できません。デフォルト管理者は、SM_DEFAULT_ADMIN 環境変数で定義されています。

ユーザーの処置: 詳しくは、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: インストールおよびカスタマイズ* を参照してください。

BBON1037E サーバーのホームをライフ・サイクルに登録しようとして失敗しました。

説明: ライフ・サイクル・サービスへのホームの登録中にエラーが発生しました。原因として以下のことが考えられます。

- ライフ・サイクル・サービスが正しく機能していない。
- このホームがすでに登録されている。
- 管理者ユーザー ID がライフ・サイクルのサービスの使用に必要な権限をもっていない。

ユーザーの処置: この問題は通常、登録しようとするホームのアプリケーション・クラスまたは dll が見つからない場合に発生します。CLASSPATH が正しく設定されており、アプリケーション・サーバーがアプリケーション dll にアクセスできることを確認してください。

詳細については、エラー・ログ、ジョブ・ログ、サーバーのコンソールをチェックしてください。

BBON1038E サーバーのホームをライフ・サイクルから抹消しようとして失敗しました。

説明: ライフ・サイクル・サービスからのホームの登録抹消中にエラーが発生しました。原因として以下のことが考えられます。

- ライフ・サイクル・サービスが正しく機能していない。
- このホームが登録されていない。
- 管理者ユーザー ID がライフ・サイクルのサービスの使用に必要な権限をもっていない。

ユーザーの処置: 詳細については、エラー・ログ、ジョブ・ログ、サーバーのコンソールをチェックしてください。

BBON1039E サーバー *server name* のサーバー・インスタンス *server instance name* を始動しようとして失敗しました。

ユーザーの処置: コンソール出力、エラー・ログ、トレース、およびジョブ・ログをチェックします。手順をもう一度実行してください。

BBON1040E サーバー *server name* のサーバー・インスタンス *server instance name* を停止しようとして失敗しました。

ユーザーの処置: コンソール出力、エラー・ログ、トレース、およびジョブ・ログをチェックしてください。手順をもう一度実行してください。

BBON1041E サーバー *server name* のサーバー・インスタンス *server instance name* を取り消そうとして失敗しました。

ユーザーの処置: コンソール出力、エラー・ログ、トレース、およびジョブ・ログをチェックしてください。手順をもう一度実行してください。

メッセージ -- GUI

BBON1042E サーバー *server name* のサーバー・インスタンス *server instance name* の再始動なしで取り消そうとして失敗しました。

ユーザーの処置: コンソール出力、エラー・ログ、トレース、およびジョブ・ログをチェックしてください。手順をもう一度実行してください。

BBON1043E サーバー *server name* のサーバー・インスタンス *instance name* のダンプを発行しようとして失敗しました。

ユーザーの処置: コンソール出力、エラー・ログ、トレース、およびジョブ・ログをチェックしてください。

BBON1044E サーバーのデフォルト・クエリー・エバリュエーターを登録しようとして失敗しました。

説明: ネーミング・サービスへのデフォルトのクエリー・エバリュエーターの登録中にエラーが発生しました。原因として以下のことが考えられます。

- ネーミング・サービスが正しく機能していない
- このクエリー・エバリュエーターがすでに登録されている
- 管理者ユーザー ID がネーミング・サービスを使用するのに必要な権限をもっていない
- サーバーが WLM に対して正しく定義されていない

ユーザーの処置: 詳細については、エラー・ログ、ジョブ・ログ、サーバーのコンソールをチェックしてください。

詳しくは、*WebSphere for z/OS: インストールおよびカスタマイズ* を参照してください。

BBON1045E サーバーのデフォルト・クエリー・エバリュエーターを抹消しようとして失敗しました。

説明: ネーミング・サービスからのデフォルトのクエリー・エバリュエーターの登録抹消中にエラーが発生しました。原因として以下のことが考えられます。

- ネーミング・サービスが正しく機能していない
- このクエリー・エバリュエーターが登録されていない
- 管理者ユーザー ID がネーミング・サービスの使用に必要な権限をもっていない

ユーザーの処置: 詳細については、エラー・ログ、ジョブ・ログ、サーバーのコンソールをチェックしてください。

BBON1046E LRM は未サポート・タイプです。

ユーザーの処置: LRM を削除してください。

BBON1047E Target home *target home name* from relationship *relationship name* from home identifier is not found on *server name* of server being checked. (関係 *relationship name* from *home identifier* からのターゲット・ホーム *target home name* は、チェック中のサーバー *server name* にはありません。)

説明: 2つのホーム間の関係は、ホーム ID によって示されます。ホーム ID は、ホーム ID 名および関係名によって記述されます。

ユーザーの処置: 欠落しているホームが含まれているアプリケーションをインポートしてください。このインポート手順により、ホーム ID が追加されます。

BBON1048E Source home *source home name* from relationship *relationship name* from home identifier is not found on *server name* of server being checked. (関係 *relationship name* からのソース・ホーム *source home name* は、チェック中のサーバー *server name* にはありません。)

説明: 2つのホーム間の関係は、ホーム ID によって示されます。ホーム ID は、ホーム ID 名および関係名によって記述されます。

ユーザーの処置: 欠落しているホームが含まれているアプリケーションをインポートしてください。このインポート手順により、ホーム ID が追加されます。

BBON1049E ホーム *home name* の前のバージョンが見つかりません。

説明: ホームの新しいバージョンを登録するには、ホームの前のバージョンをライフ・サイクルから抹消する必要があります。DDL のインポートによりホームが変更された場合は、ネーミングおよびライフ・サイクルにホームを再登録する必要があります。再登録するには、まずホームを抹消する必要があります。抹消には、ホームの前のバージョンが必要になります。このバージョンは、前に活動中だった会話から取得することができます。

ユーザーの処置: 作業していたアプリケーション・ファミリーを削除し、会話を活動化してから、ホーム変更の原因となった DDL をインポートしてください。変更されたホームが、新しいホームになります。

BBON1050E 次のホームはコンテナ *container name* に関連しています。このコンテナは削除できません。

説明: 削除しようとしているコンテナに、まだホームが含まれています。ホームの含まれたコンテナは削除できません。

ユーザーの処置: このホームを削除するには、まずこのホームを導入したアプリケーション・ファミリーを削除します。このメッセージの後に、エラー・メッセージ BBON1051E が続きます。そのメッセージにコンテナの中のホームがリストされています。

メッセージ -- GUI

BBON1051E ホーム名。

説明: コンテナを削除できませんでした。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージ・ログのエラー・メッセージ BBON1050E および BBON1051E を参照してください。

BBON1052E コンテナ *container name* の削除に失敗しました。

説明: コンテナを削除できませんでした。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージ・ログのエラー・メッセージ BBON1050E および BBON1051E を参照してください。

BBON1053E 会話 *conversation-name* の基本会話は、現在の活動状態の会話ではありません。

説明: 会話は、現在活動中の会話に基づいていません。コミットまたは活動化できるのは、活動中の会話のコピーだけです。

BBON1054E 会話は活動していません。コールド・スタートの準備は活動状態の会話でのみ可能です。

説明: 詳しくは、*WebSphere for z/OS: システム管理ユーザー・インターフェース* を参照してください。

BBON1055E 管理者 *administrator-name* が見つかりません。

説明: 管理者 *administrator-name* に関する内部情報が見つかりません。データベースが壊れている可能性があります。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求するか、システムを再ブートストラップしてください。

BBON1056E レベル *level* が見つかりません。

説明: レベル *level* に関する内部情報が見つかりません。データベースが壊れている可能性があります。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求するか、システムを再ブートストラップしてください。

BBON1057E トレース

説明: 内部解決ポインターが失敗しました。データベースが壊れている可能性があります。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1058E トレース

説明: 内部シーケンスが空です。データベースが壊れている可能性があります。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1059E トレース

説明: 内部シーケンスを使用できません。データベースが壊れている可能性があります。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1060E 必須機能の呼び出し属性 *attribute-name* が欠落しています。

説明: 内部処理エラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1061E 構成 *configuration* を入力ファイル *file-name* からインポートできません。

説明: 指定された XML 入力ファイルから構成をインポートできませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログの中のその他のメッセージを確認してください。

BBON1062E 構成 *configuration* を出力ファイル *file-name* にエクスポートできません。

説明: 「コールド・スタートの準備 (Prepare for cold start)」アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 次のディレクトリーに十分なディスク・スペースがあることを確認してください。

CBCONFIG/Sysplex-name/initial

この場合

- *CBCONFIG* は、環境変数 *CBCONFIG* に指定されたパスです。デフォルト値は、*/WebSphere390/CB390* です。
- *Sysplex-name* は、シスプレックスの名前です。

メッセージ・ログ内の、このメッセージの前に出力されているメッセージを参照してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON1063E 構成 *configuration* をエクスポートするために出力ファイル *file-name* を開くことができません。

説明: 先行するアクション「コールド・スタートの準備 (Prepare for cold start)」または「サーバーのエクスポート... (Export server...)」が失敗しました。出力ファイル *file-name* を書き込みアクセス用を開くことができません。

ユーザーの処置:

メッセージ -- GUI

- 「コールド・スタートの準備」アクションの場合は、次のファイルの書き込みアクセス権を確認してください。

`CBCONFIG/Sysplex-name/initial/configuration.xml`

この場合

- `CBCONFIG` は、環境変数 `CBCONFIG` に指定されたパスです。デフォルト値は、`/WebSphere390/CB390` です。
 - `Sysplex-name` は、シスプレックスの名前です。
- 「サーバーのエクスポート... (Export server...)」アクションの場合、「サーバーのエクスポート」ダイアログ・ボックスに入力したテスト・システムのホスト上の出力ファイルの書き込みアクセス権を確認してください。

BBON1074E 入力ファイル *file-name* を開けません。

説明: ホストの構成データを読み取れません。

ユーザーの処置: ホストでの参照されているファイルのアクセス権を確認してください。

BBON1075E 出力ファイル *file-name* の作成に失敗しました。

説明: ホストの構成データを書き込むことができません。

ユーザーの処置: 参照されるファイルのアクセス権とホストの空きメモリー・スペースを確認してください。

BBON1076E ディレクトリー *directory-name* が見つかりません。

説明: ターゲット・ディレクトリーが存在しないため、構成データをホストに書き込むことができません。

ユーザーの処置: ホスト上に参照されるディレクトリーを作成してください。

BBON1077E ディレクトリー *directory-name* の作成に失敗しました。

説明: ターゲット・ディレクトリーを作成できないため、構成データをホストに書き込むことができません。

ユーザーの処置: ホストのアクセス権を確認してください。

BBON1079E Component Broker サーバー *server-name* をウォーム・スタートできません。

説明: いくつかの WebSphere for z/OS サーバー (DAEMON とシステム管理) は、ワークステーションの操作アプリケーションを使ってウォーム・スタートできません。

ユーザーの処置: 次のコマンドを使ってこれらのサーバーのインスタンスを再始動してください。

- `stop daemon-procedure-name`
- `start daemon-procedure-name, parms=' -ORBSrvname daemon-server-instance-name -ORBCBI WARM'`

BBON1080E サーバー *server-name* のサーバー・インスタンス *server-instance-name* を停止しようとしてタイムアウトになりました。

説明: 指定した時間内にサーバー・インスタンスが停止されませんでした。このサーバーの「ウォーム・スタート (Warm start)」アクションは打ち切られました。

ユーザーの処置: システムとサーバー (またはそのどちらか) に対する負荷が少ないときに、もう一度ウォーム・スタートを実行してみてください。その後で、操作ウィンドウを最新表示して、「ウォーム・スタート準備完了 (ready for warm start)」状態の各サーバー・インスタンスごとに「ウォーム・スタート (Warm start)」アクションを実行してください。この状態は、サーバー・インスタンスの右上端にある緑色のドットで示されます。

BBON1081E サーバー *server-name* はウォーム・スタートの準備ができていません。

説明: 「ウォーム・スタート (Warm start)」アクションは、「ウォーム・スタート準備完了 (ready for warm start)」状態のサーバーにしか実行できません。この状態は、サーバーの右上端にある緑色のドットで示されます。詳しくは、*WebSphere for z/OS: システム管理ユーザー・インターフェース* を参照してください。

BBON1082E サーバー *server-name* のサーバー・インスタンス *server-instance-name* を停止しようとしてタイムアウトになりました。

説明: 指定時間内にサーバー・インスタンスが開始されませんでした。このサーバーの「ウォーム・スタート (Warm start)」アクションは打ち切られました。

ユーザーの処置: システムとサーバー (またはそのどちらか) に対する負荷が少ないときに、もう一度ウォーム・スタートを実行してみてください。その後で、操作ウィンドウを最新表示して、「ウォーム・スタート準備完了 (ready for warm start)」状態の各サーバー・インスタンスごとに「ウォーム・スタート (Warm start)」アクションを実行してください。この状態は、サーバー・インスタンスの右上端にある緑色のドットで示されます。

BBON1084E ファイル *file-name* を、サーバー *server-name* をインポートするために開けません。

説明: 「サーバーのインポート... (Import server...)」アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 以下の条件に当てはまるかどうかを確認してください。

- ファイルが存在しない。先頭に「/」が付いた、正しいパスとファイル名が入力されているかを確認してください。
- ファイルまたはパスの許可が、システム管理サーバーのファイルへのアクセスを許可していない。
- ファイルの HFS ファイル・システムがマウントされていない。

BBON1085E XML エlement *name* がファイル *file-name* に見つかりません。

説明: 「サーバーのインポート.. (Import server..)」アクションは、「サーバーのエクスポート.. (Export server..)」中に作成されたファイルが壊れているため失敗しました。

メッセージ -- GUI

ユーザーの処置: ファイルを削除してから、サーバーを再度エクスポートしてファイルを作成し直してください。このファイルを手動で変更しないでください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON1086E サーバー *server-name* がファイル *file-name* に見つかりません。

説明: 「サーバーのインポート.. (Import server..)」アクションは、「サーバーのエクスポート.. (Export server..)」中に作成されたファイルが壊れているため失敗しました。

ユーザーの処置: ファイルを削除してから、サーバーを再度エクスポートしてファイルを作成し直してください。このファイルを手動で変更しないでください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON1087E *Ism_ConfigTree* の初期化に失敗しました。

説明: 「サーバーのインポート.. (Import server..)」アクションは、「サーバーのエクスポート.. (Export server..)」中に作成されたファイルが壊れているため失敗しました。

ユーザーの処置: ファイルを削除してから、サーバーを再度エクスポートしてファイルを作成し直してください。このファイルを手動で変更しないでください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON1088E 構成データを *Ism_ConfigTree* オブジェクトにインポートできませんでした。

説明: 「サーバーのインポート.. (Import server..)」アクションは、「サーバーのエクスポート.. (Export server..)」中に作成されたファイルが壊れているため失敗しました。

ユーザーの処置: この XML ファイルを手動で変更しないでください。変更してしまった場合は、ファイルを削除してからサーバーをエクスポートして XML ファイルを作成し直してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。詳しくは、z/OS システムのシステム管理サーバー領域の *sysprint* を参照してください。

BBON1089E SM 構成オブジェクトの作成は、このオブジェクトがすでに定義済みのため失敗しました。

説明: 「サーバーのインポート.. (Import server..)」アクションは、「サーバーのエクスポート.. (Export server..)」中に作成されたファイルが壊れているため失敗しました。

ユーザーの処置: この XML ファイルを手動で変更しないでください。変更してしまった場合は、ファイルを削除してからサーバーをエクスポートして XML ファイルを作成し直してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。詳しくは、z/OS システムのシステム管理サーバー領域の *sysprint* を参照してください。

BBON1090E 何らかの理由で **SM** 構成オブジェクトは作成されませんでした。

説明: 「サーバーのインポート.. (**Import server..**)」アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 「サーバーのエクスポート.. (**Export server..**)」中に作成される XML ファイルを手動で変更しないでください。変更してしまった場合は、ファイルを削除してからサーバーをエクスポートして XML ファイルを作成し直してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。詳しくは、z/OS システムのシステム管理サーバー領域の `sysprint` を参照してください。この問題は、完全データベースなど、特定のセットアップに起因している可能性があります。

BBON1091E 別のオブジェクトで参照されている **SM** オブジェクトが見つかりませんでした。

説明: 「サーバーのインポート.. (**Import server..**)」アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 「サーバーのエクスポート.. (**Export server..**)」中に作成される XML ファイルを手動で変更しないでください。変更してしまった場合は、ファイルを削除してからサーバーをエクスポートして XML ファイルを作成し直してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。詳しくは、z/OS システムのシステム管理サーバー領域の `sysprint` を参照してください。

BBON1092E *server-name* のインポート中に内部エラーが発生しました。

説明: 「サーバーのインポート.. (**Import server..**)」アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 「サーバーのエクスポート.. (**Export server..**)」中に作成される XML ファイルを手動で変更しないでください。変更してしまった場合は、ファイルを削除してからサーバーをエクスポートして XML ファイルを作成し直してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。詳しくは、z/OS システムのシステム管理サーバー領域の `sysprint` を参照してください。

BBON1093E 環境変数名を `sysplex/server/server-instance` 名に変えてはいけません。

説明: 参照される環境変数は、次のいずれかになります。

- 変更が許可されない。
 - より高水準でのみ変更が可能。
 - サーバー・インスタンスの場合、この環境変数は適切なサーバーまたはシスプレックスで変更可能なことがあります。
 - サーバーの場合、この環境変数は適切なシスプレックスで変更可能なことがあります。
-

BBON1094E バックアップ・ディレクトリー *directory-name* を作成できませんでした。

説明: 「コールド・スタートの準備 (Prepare for cold start)」中に、WebSphere for z/OS は直前の構成ファイルのバックアップをバックアップ・サブディレクトリーに作成しようとします。ディレクトリーの作

メッセージ -- GUI

成に失敗しました。「コールド・スタートの準備 (Prepare for cold start)」アクションは実行されませんでした。

ユーザーの処置:

1. 次に示すパスの HFS セットアップとディレクトリー構造について、以下の点を確認してください。

- 書き込みアクセスが不十分である
- HFS スペースに制約がある
- サブディレクトリーの数に制限がある

CBCONFIG/Sysplex-name/conversations/

この場合

- *CBCONFIG* は、環境変数 *CBCONFIG* に指定されたパスです。デフォルト値は、*/WebSphere390/CB390* です。
- *Sysplex-name* は、シスプレックスの名前です。

詳しくは、*Unix システム・サービス コマンド解説書* で *mkdir* コマンドに関する説明を参照してください。

2. 「コールド・スタートの準備 (Prepare for cold start)」アクションを再度開始します。

BBON1095E *configuration-filename* を *backup-filename* にバックアップできません。

説明: 「コールド・スタートの準備 (Prepare for cold start)」中に、WebSphere for z/OS は直前の構成ファイルのバックアップをバックアップ・サブディレクトリーに作成しようとしています。構成ファイルをバックアップ・サブディレクトリーに移動しようとして失敗しました。「コールド・スタートの準備 (Prepare for cold start)」アクションは実行されませんでした。

ユーザーの処置:

1. 次に示すパスの HFS セットアップとディレクトリー構造について、以下の点を確認してください。

- 書き込みアクセスが不十分である
- HFS スペースに制約がある

CBCONFIG/Sysplex-name/conversations/DdateTtime

この場合

- *CBCONFIG* は、環境変数 *CBCONFIG* に指定されたパスです。デフォルト値は、*/WebSphere390/CB390* です。
- *Sysplex-name* はシスプレックスの名前です。
- *date* は、現在の日付スタンプです。
- *time* は現在のタイム・スタンプです。

ファイル `CBCONFIG/Sysplex-name/initial/configuration.xml` に書き込みアクセス権が与えられているかどうかを確認します。

パス `CBCONFIG/Sysplex-name/resources/templates` が存在する場合は、このパスに読み取りアクセス権が与えられているかどうかを確認します。

詳しくは、*Unix システム・サービス コマンド解説書*で `mv` コマンドに関する説明を参照してください。

2. 「コールド・スタートの準備 (Prepare for cold start)」アクションを再度開始します。

BBON1096E *LogicalResourceMapping-name* に対する論理リソース・マッピングの上書きが拒否されました。

説明: 「サーバーのインポート.. (Import server..)」アクション中に、新しいサーバーが会話に定義されました。このサーバーはこの会話にすでに存在する LRM に接続されています。参照される LRM の特性のいくつかがこの会話にある特性と異なっています。メッセージ・ログでこのメッセージに続くリスト出力は、これらの LRM 特性を表示します。

ユーザーの処置: この会話では、どの特性を定義する必要があるかを確認してください。

BBON1097I LRM の設定が以下のように検出されました:

説明: 以下のリストにある LRM 特性は、すでにこの会話に定義されている LRM の特性に対応しているため、変更する必要はありません。メッセージ・ログで、メッセージ BBON1099I、BBON1100I、BBON1101I、または BBON1102I を参照して、これらの特性の値を確認してください。

BBON1098I インポートされていない LRM の設定は以下のとおりです:

説明: 以下のリストの LRM 特性は、すでにこの会話に定義されている LRM の特性と異なります。これらの特性は、サーバーのインポートによって変更されていません。メッセージ・ログで、メッセージ BBON1099I、BBON1100I、BBON1101I、または BBON1102I を参照して、これらの特性の値を確認してください。

ユーザーの処置: テスト・システムで特性を変更してから、調整した特性を使用して「サーバーのエクスポート / インポート.. (Export/Import server..)」アクションを再度実行する (この方法をお勧めします) ことも、実動システム上で LRM 特性を変更することもできます。

BBON1099I 管理オブジェクト・クラス名 = *name*

説明: 論理リソース・マッピングのこの特性は特性リストの一部です。これはサーバーが会話にインポートされた後に検査する必要があります。

BBON1100I 管理オブジェクト DLL 名 = *name*

説明: 論理リソース・マッピングのこの特性は特性リストの一部です。これはサーバーが会話にインポートされた後に検査する必要があります。

メッセージ -- GUI

BBON1101I 管理オブジェクト・クラス作成機能 = *name*.

説明: 論理リソース・マッピングのこの特性は特性リストの一部です。これはサーバーが会話にインポートされた後に検査する必要があります。

BBON1102I LRM サブシステム・タイプ = *type*

説明: 論理リソース・マッピングのこの特性は特性リストの一部です。これはサーバーが会話にインポートされた後に検査する必要があります。

BBON1103I LRM サブシステムは正しく設定されています。

説明: 「サーバーのインポート.. (**Import server..**)」中に、LRM 接続をもつ LRM (論理リソース・マッピング) を参照する新しいサーバーが作成されました。参照された LRM は作成されたか、この会話に存在する LRM に対応しています。

BBON1104E *source-file* を *destination-file* に移動できませんでした。

説明: 構成データ・ファイルの 1 つを移動できなかったため、「コールド・スタートの準備 (**Prepare for cold start**)」アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 以下のパスのすべてのファイルに書き込みアクセスがあることを確認してください。

- *CBCONFIG/Sysplex_name/conversations/current*
 - *CBCONFIG/controlinfo/envfile/Sysplex_name/ServerInstance_name/*。この場合、
 - *CBCONFIG* は、環境変数 *CBCONFIG* に指定されたパスです。*CBCONFIG* のデフォルトは、*/WebSphere390/CB390* です。
 - *Sysplex_name* はシスプレックスの名前です。
 - *ServerInstance_name* はシスプレックスに属しているサーバー・インスタンスの名前です。
-

BBON1105I サーバー *server-name* での新しいシステム管理アプリケーションの第 1 段階活動化が完了しました。すべてのシステムで **CB** をリサイクルし、**SM** 管理 **EUI** に再度接続して、再度活動化を開始してください。

説明: システム管理サーバーへのスクリプト API のインストールの第 1 段階が正常に完了しました。

ユーザーの処置:

1. 管理アプリケーションを閉じます。
2. システム管理サーバーで WebSphere for z/OS をシャットダウンします。
 - a. デーモンをキャンセルします。
 - b. すべてのプロセスが終了していることを確認します。
3. デーモンをもう一度開始します。
4. 管理アプリケーションを再始動します。

5. 会話を再び活動化して、スクリプト API のインストールの第 2 段階を開始します。
6. 状況バーに次のメッセージが表示されると完了です。

BBON0449I 会話「SM スクリプト API」は活動化されました。

詳しくは、*WebSphere for z/OS: システム管理スクリプト API, SA88-8657* を参照してください。

BBON1108E サーバー *server-name* のネーミング登録の挿入または更新に失敗しました。サーバーの始動中にこのサーバーをネーミングに登録する必要があります。

説明: サーバー *server-name* の活動化に失敗しました。

ユーザーの処置: システム管理データベースの問題を除外するには、会話の活動化を処理したシステム管理サーバー領域の SYSPRINT で SQL エラーがないかをチェックします。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1109E ホーム *home-name* のネーミング登録の挿入または更新に失敗しました。サーバーの始動中にこのホームをネーミングに登録する必要があります。

説明: ホーム *home-name* の活動化に失敗しました。

ユーザーの処置: システム管理データベースの問題を除外するには、会話の活動化を処理したシステム管理サーバー領域の SYSPRINT で SQL エラーがないかをチェックしてください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1110E J2EE コンポーネント *component-name* のネーミング登録エントリーを挿入または更新しようとして失敗しました。サーバー始動中に **J2EE** コンポーネントを **JNDI** に登録する必要があります。

説明: J2EE コンポーネント *component-name* の活動化に失敗しました。

ユーザーの処置: システム管理データベースの問題を除外するには、会話の活動化を処理したシステム管理サーバー領域の SYSPRINT で SQL エラーがないかチェックします。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1115E J2EE コンポーネント *component-name* の前のバージョンが見つかりません。**J2EE** コンポーネントの新しいバージョンを登録するには、**JNDI** から **J2EE** コンポーネントを登録解除する必要があります。

説明: J2EE コンポーネント *component-name* の前のバージョンを、システム管理データベースから取得できません。

ユーザーの処置: このバージョンを使用するためには、次の手順を実行してください。

1. 新しい会話を追加する
2. 各 J2EE アプリケーションを削除する
3. 会話を活動化する

メッセージ -- GUI

4. 会話をもう一度追加する
5. 各 J2EE アプリケーションを J2EE サーバーに再インストールする

BBON1116E 削除済みサーバー *server-name* のネーミングの登録解除に失敗しました。

説明: 削除済みサーバー *server-name* をネーミングから登録解除できないため、会話の活動化に失敗しました。

ユーザーの処置: システム管理データベースの問題を除外するには、会話の活動化を処理したシステム管理サーバー領域の **SYSPRINT** で SQL エラーがないかチェックします。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1117E サーバー *server-name* のサーバーネーミング登録エントリが見つかりません。このサーバーをネーミングに登録し、登録解除する必要があります。

説明: 追加、変更、または削除されたサーバー *server-name* の重要なデータを取得できないため、会話の活動化に失敗しました。

ユーザーの処置: システム管理データベースの問題を除外するには、会話の活動化を処理したシステム管理サーバー領域の **SYSPRINT** で SQL エラーがないかチェックします。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1118E ネーミング登録のためにライフ・サイクル・ファクトリーを作成しようとして、失敗しました。

説明: ライフ・サイクル・サービスにホームを登録しようとしてエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 以下の点をチェックしてください。

- ライフ・サイクル・サービスが正しく機能している
- 管理者ユーザー ID がライフ・サイクル・サービスの使用に必要な権限をもっている

システム管理データベースの問題を除外するには、システム管理制御およびサーバー領域の **SYSPRINT** で SQL エラーがないかをチェックしてください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1119E サーバー *server-name* のサーバー管理オブジェクトを作成しようとして失敗しました。

説明: 会話の活動化に失敗しました。

システム管理はネーミング登録中、サーバーのサーバー管理オブジェクトの作成に失敗しました。このオブジェクトは、登録する J2EE コンポーネントのホームを構築するために必要です。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1120E J2EE コンポーネント *J2EEapplication-name/ J2EEmodule-name/ J2EEcomponent-name* のホームを作成しようとして失敗しました。

説明: 示された J2EE コンポーネントのホーム・オブジェクトを作成できませんでした。

ユーザーの処置: アプリケーション・サーバー・データベースの問題を除外するには、アプリケーション・サーバー制御とサーバー領域の `SYSPRINT` で SQL エラーがないかをチェックしてください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1121E J2EE コンポーネント *J2EEapplication-name/ J2EEmodule-name/ J2EEcomponent-name* を JNDI に登録しようとして失敗しました。

説明: J2EE コンポーネント *J2EEapplication-name/ J2EEmodule-name/ J2EEcomponent-name* のホームを JNDI に登録または登録解除しようとして失敗したため、会話を活動化できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1111E HFS アクセスが失敗しました。理由: *reason-text*

説明: ファイル・システムのアクセス・エラーが発生しました。詳しくは、メッセージにある理由をお読みください。多くの場合、これは USS ファイル・システムでのセットアップまたはアクセス権の問題です。

ユーザーの処置: ディスク・スペースと、ユーザー ID のファイルへのアクセス権をチェックしてください。

BBON1112E 少なくとも 1 つのコンポーネントにまだ関連付けがあるため、J2EE リソース *J2EE resource-name* を削除できません。

説明: J2EE リソースは、J2EE コンポーネントと関連付けられている限り削除できません。

ユーザーの処置: 関連付けられた J2EE リソースを削除する前に、関連付けられた J2EE コンポーネントを削除してください。

BBON1127E 初期化せずに `J2EEClasspathComposer` オブジェクトが使用されました。IBM の担当者に連絡してください。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1128E CLASSPATH 環境変数の長さが、*number* 文字の最大サイズを超えています。

説明: 環境ファイルの作成中に、CLASSPATH 変数が最大サイズを超えていることが判明しました。

- 必要に応じて、システム管理サーバーは CLASSPATH 変数にいくつかの項目を追加します。そのため、値が最初の環境ファイルや管理 EUI に入力された設定で最大サイズに達していなくても、自動的にサイズが大きくなることがあります。

ユーザーの処置: 不要な項目を除去したり、(元のパス名を使用する代わりに、ディレクトリーやファイ

メッセージ -- GUI

ルへのリンクに省略形を使用するなどして) 短い絶対パス名を使用することによって、初期 CLASSPATH 値を減らしてください。CLASSPATH 変数値自体の値の中で変数を使用することはできません。

BBON1129E J2EE リソース *J2EE-Resource-name* は、システム *system-name* のインスタンスを持っていません。このシステムは、アプリケーション *application-name* のコンポーネント *component-name* が実行されるサーバー・インスタンスを持っています。

説明:

ユーザーの処置: このシステム上のサーバー・インスタンスをサポートするために、システム *system-name* 上に *J2EE-Resource-name* の J2EE リソース・インスタンスを作成してください。

BBON1130E J2EE リソース・テンプレート・ファイル *file-name* をオープンできません。

説明:

ユーザーの処置: パス *file-name* のすべてのコンポーネントのアクセス権を確認してください。

BBON1131E XML の初期化に失敗しました。理由: *reason-code*。

説明: XML テンプレート・ファイルの初期化に失敗しました。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージ・ログと *reason-code* を確認してください。

BBON1132E XML は、**J2EE** リソース・テンプレート *file-name* には無効です。

説明: XML ファイルが無効です

ユーザーの処置: テンプレート・ファイル *file-name* の構文を確認するか、またはテンプレートのプロバイダーに連絡してください。

BBON1133E XML のリソース ID 名 *name* が、データ・ソースのテンプレート・ファイル名 *file-name* と一致していません。

説明: XML ファイルの中のリソース ID が無効です。

ユーザーの処置: データ・ソースのテンプレート・ファイル名をリソース ID 名 *name* に変更してください。

BBON1134E 機能 *function-name* のメモリー割り振りが失敗しました (*number* バイト)。

説明: サーバー領域は、メモリーの指定バイト数を動的に割り振ろうとしましたが、割り振り要求は失敗しました。

ユーザーの処置: サーバー領域でもっと多くのメモリーが使用できるようにしてください。

BBON1200E タスク *task-name* で **EARFileProcessor** エラーが発生しました。

説明: 「**J2EE アプリケーションのインストール.. (Install J2EE application..)**」アクションが失敗しました。EAR ファイルの処理中に回復不能のエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1201E **error while *task-name argument-name*** 中に **EARFileProcessor** エラー。

説明: 「**J2EE アプリケーションのインストール.. (Install J2EE application..)**」アクションが失敗しました。EAR ファイルの処理中に回復不能のエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1202E 一時転送ディレクトリーに **EAR** ファイル *file-name* が見つかりません。

説明: 「**J2EE アプリケーションのインストール.. (Install J2EE application..)**」アクションが失敗しました。EAR ファイル *file-name* が、指定されたサーバー側のディレクトリーに見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 該当するパスのサーバー上でディスク・スペースとユーザー ID のアクセス権を確認の上、もう一度展開を実行してみてください。

BBON1203E 一時 **EAR** ファイル *file-name* の処理中にエラーが発生しました。

説明: 「**J2EE アプリケーションのインストール.. (Install J2EE application..)**」アクションが失敗しました。EAR ファイルの処理中に回復不能のエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1204E システム構成ディレクトリーに **EAR** ファイル *file-name* を作成できませんでした。

説明: 「**J2EE アプリケーションのインストール.. (Install J2EE application..)**」アクションが失敗しました。システムはサーバー側の **EAR** ファイルを作成できませんでした。

ユーザーの処置: ターゲット・ファイル・システムに新しい **EAR** ファイルをコピーするのに十分な容量があるかを確認してください。

BBON1205E システム構成ディレクトリーのシステム **EAR** ファイル *file-name* の処理中にエラーが発生しました。

説明: 「**J2EE アプリケーションのインストール.. (Install J2EE application..)**」アクションが失敗しました。EAR ファイルの処理中に回復不能のエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

メッセージ -- GUI

BBON1206E EAR ファイル *file-name* をシステム構成ディレクトリーにコピーしようとしてエラーが発生しました。

説明: 「J2EE アプリケーションのインストール.. (Install J2EE application..)」アクションが失敗しました。システムは EAR ファイルをシステム・インストール・ディレクトリーにコピーできませんでした。

ユーザーの処置: ターゲット・ファイル・システムに新しい EAR ファイルをコピーするのに十分な容量があるかを確認してください。

BBON1207E システム EAR ファイル *file-name* をクローズできません。

説明: 「J2EE アプリケーションのインストール.. (Install J2EE application..)」アクションが失敗しました。EAR ファイルの処理中に回復不能のエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1208E バインディング情報が見つかりません。

説明: 「J2EE アプリケーションのインストール.. (Install J2EE application..)」アクションが失敗しました。EJB の展開データが不完全です。

ユーザーの処置: 「参照とリソースの解決」ウィンドウに入力した JNDI 名を確認してください。

BBON1209E ファイル *file-name* を解凍できません。

説明: ファイル *file-name* は無効なフォーマットなので、WebSphere for z/OS は、このファイルを解凍できませんでした。

ユーザーの処置: アーカイブ・ファイルまたはその内容が壊れていないことを確認してください。このファイルを再度展開してください。

問題を解決できない場合は、IBM の担当者に連絡してください。

BBON1210E *file-name* を削除できません。

説明: WebSphere for z/OS は、ファイル *file-name* を削除できませんでした。

ユーザーの処置: ジョブ・ログおよびシステム・ログを調べて、ファイル・システムに関する問題の詳細を確認してください。

必要な場合は、IBM の担当者に連絡してください。

BBON1211E 参照されたリソース *resource-name* が見つかりません。

説明: WebSphere for z/OS は、指定のリソース *resource-name* を見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: 現在の展開情報が有効なリソースを参照していることを確認してください。

SM の EUI を介してインストール・プロセス (参照およびリソースの解決を含む) を再度実行してください

い。すべてのリソース参照が有効な J2EE リソースを指し示していることを確認してください。

BBON1212E システム管理オブジェクト *object-name* を作成できません。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1213E 現在のトランザクションがロールバック専用とマークされていることが判明しました。

説明: 直前の操作が失敗したため、現在の操作を処理することができません。

ユーザーの処置: ジョブ・ログおよびシステム・ログを調べて、直前に発生した問題およびエラーを確認してください。

BBON1214E 現在のトランザクションへの参照を取得できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON1215E *file-name1* を *file-name2* に名前変更できません。

ユーザーの処置: HFS ファイル・システムを調べて、問題またはエラーを確認してください。直前に発生した問題およびエラーについては、ジョブ・ログおよびシステム・ログを参照してください。

問題が訂正されない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON2000I 情報メッセージ

説明: この汎用情報メッセージ番号では、DDL のインポート中に出力された情報メッセージが表示されます。

ユーザーの処置: 出力ファイルおよびメッセージ・ログを調べて、生成されたメッセージの詳細を確認してください。

BBON2010E エラー・メッセージ

説明: この汎用エラー・メッセージ番号では、DDL のインポート中に出力されたエラー・メッセージが表示されます。出力ファイルおよびメッセージ・ログを調べて、生成されたメッセージの詳細を確認してください。

インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: このメッセージに「Unable to create Map Expression (マップ式を作成できません)」と示されている場合、アプリケーションに対してインポートする必要がある 2 つの DDL ファイル (特定ファイルと不特定ファイル) のセットがあり、この 2 つが誤った順序でインポートされていることが、エラー原因として考えられます。最初に不特定の DDL をインポートせずに特定の DDL をインポートしようとする、このエラーが発生します。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2020E アプリケーション・ファミリーの名前が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を最大 234 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2021E アプリケーション・ファミリー名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってアプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2022E アプリケーション・ファミリー名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。組み込みブランクは使用できません。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2023E アプリケーション・ファミリーの記述が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って記述を最大 4096 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2030E アプリケーションの名前が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を最大 234 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2031E アプリケーション名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2032E アプリケーション名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。組み込みブランクは使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2033E アプリケーションの記述が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って記述を最大 4096 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2040E ホームの名前が長過ぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を最大 192 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2041E ホーム名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2042E ホーム名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字ま

メッセージ -- GUI

たは国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2043E ホームの記述が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って記述を最大 4096 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2044E データ・オブジェクト名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って Data Object クラス名を最大 234 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2045E データ・オブジェクト名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って DataObject クラス名を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2046E データ・オブジェクト名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って DataObject クラス名を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2047E マネージド・オブジェクト名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を最大 234 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2048E マネージド・オブジェクト名の先頭文字は英字 {0} でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2049E マネージド・オブジェクト名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2050E 1 次キー・オブジェクト名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名(ManagedObject Class Name) の *primaryKeyClass* の名前を最大 234 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2051E 1 次キー・オブジェクト名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の *primaryKeyClass* の名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2052E 1 次キー・オブジェクト名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の *primaryKeyClass* の名前を変更してください。先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2053E コピー・ヘルパー・オブジェクト名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の *interfaceName* の値を最大 230 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2054E コピー・ヘルパー・オブジェクト名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の *interfaceName* の値を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2055E コピー・ヘルパー・オブジェクト名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の *interfaceName* の値を変更してください。先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2056E ホーム・クラス名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってホーム名 (Home Name) の *CollectsHome* の値を最大 242 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2057E ホーム・クラス名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってホーム名 (Home Name) の *CollectsHome* の値を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2058E ホーム・クラス名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってホーム名 (Home Name) の *CollectsHome* の値を変更してください。先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2059E クライアント・タイプが長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の *interfaceName* の値を最大 230 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2061E Visible in workgroup value is invalid. (ワークグループで可視の値が無効です。)

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってホーム名 (Home Name) の *visibleInWorkGroupNameTree* の値を変更してください。有効な値は「Y」または「N」です。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2063E Visible in cell value is invalid. (セルで可視の値が無効です。)

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってホーム名 (Home Name) の *visibleInCellNameTree* の値を変更してください。有効な値は「Y」または「N」です。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2064E ファクトリー名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を最大 256 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2065E ファクトリー名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2066E ホーム名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を最大 256 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2067E ホーム名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2070E コンテナ名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を最大 234 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2071E コンテナ名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2072E コンテナーの記述が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って記述を最大 4096 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2073E コンテナー名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2074E 同一サーバーの別のアプリケーション・ファミリーに、既存のアプリケーションをインポートしないでください。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使ってアプリケーションの名前を変更するか、アプリケーション・ファミリーを別のサーバーにインポートしてください。

BBON2080E マネージド・オブジェクト・クラス名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を最大 234 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2081E マネージド・オブジェクト・クラス名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2082E マネージド・オブジェクト・クラス名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、

メッセージ -- GUI

オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2083E マネージド・オブジェクトの記述が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って記述を最大 4096 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2084E マネージド・オブジェクト作成関数名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の *homeMOCreatFunctionName* の値を最大 256 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2085E マネージド・オブジェクト作成関数の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の *homeMOCreatFunctionName* の値を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2086E マネージド・オブジェクト作成関数に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の *homeMOCreatFunctionName* の値を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2087E 1 次キー・クラス名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を最大 234 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2088E 1 次キー・クラス名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2089E 1 次キー・クラス名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2090E 1 次キー・クラス作成関数名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の `keyCreateFunctionName` の値を最大 256 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2091E 1 次キー・クラス作成関数の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の `keyCreateFunctionName` の値を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2092E 1 次キー・クラス作成関数に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の `keyCreateFunctionName` の値を変更してください。先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。

メッセージ -- GUI

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2093E コピー・ヘルパー・クラス作成関数名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の *copyHelperFunctionName* の値を最大 256 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2094E コピー・ヘルパー・クラス作成関数の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の *copyHelperFunctionName* の値を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2095E コピー・ヘルパー・クラス作成関数に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使ってマネージド・オブジェクト・クラス名 (ManagedObject Class Name) の *copyHelperFunctionName* の値を変更してください。先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2096E マネージド・オブジェクト・インターフェース名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を最大 230 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2097E マネージド・オブジェクト・インターフェース名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2098E マネージド・オブジェクト・インターフェース名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2100E データ・オブジェクト名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を最大 234 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2101E データ・オブジェクト名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2102E データ・オブジェクト名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2110E データ・オブジェクトの記述が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って記述を最大 4096 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

メッセージ -- GUI

BBON2120E データ・オブジェクト作成関数名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を最大 256 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2121E データ・オブジェクト作成関数名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2122E データ・オブジェクト作成関数名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、特殊文字または国別文字 (/、:、@、_、#、\$) を使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2130E クラス名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に出されるメッセージを参照して、エラーの原因を除去してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2131E クラス名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に出されるメッセージを参照して、エラーの原因を除去してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2132E クラス名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に出されるメッセージを参照して、エラーの原因を除去してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2133E クラスの記述が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に出されるメッセージを参照して、エラーの原因を除去してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2134E クラス作成関数名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に出されるメッセージを参照して、エラーの原因を除去してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2135E クラス作成関数名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に出されるメッセージを参照して、エラーの原因を除去してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2136E クラス作成機能名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に出されるメッセージを参照して、エラーの原因を除去してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2137E クラス `typeid` 名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に出されるメッセージを参照して、エラーの原因を除去してください。

メッセージ -- GUI

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2138E クラス typeid の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に出されるメッセージを参照して、エラーの原因を除去してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2139E クラス typeid に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に出されるメッセージを参照して、エラーの原因を除去してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2140E DLL 名が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を最大 8 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2141E DLL 名の先頭文字は英字でなければなりません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2142E DLL 名に無効文字があります。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 先頭文字は文字でなければなりません。先頭以外の文字には、文字、数字、または国別文字 (#, \$, @) を使用できます。DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って名前を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2143E DLL の記述が長すぎます。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL キーワードネーミング規則に準拠するように、オブジェクト・ビルダーを使って記述を最大 4096 文字までに短縮してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2150E 入力ファイル *filename* を開くことができません。

説明: システム管理サーバーは、入力ファイルをアクセスまたは開くことができません。「アプリケーションのインポート.. (Import application..)」アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 以下の条件に当てはまるかどうかを確認してください。

- 入力ファイルが存在しない。パスとファイル名が正しく入力されているか、HFS ファイルの場合は「/」が先頭に付いているかを確認してください。
 - ファイル許可がシステム管理サーバーのファイルへのアクセスを許可していない。
 - ファイルの HFS ファイル・システムがマウントされていない。
-

BBON2151E 出力ファイル *filename* を作成できません。

説明: 「アプリケーションのインポート.. (Import application..)」アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: 以下の条件に当てはまるかどうかを確認してください。

- 出力ファイルのパスが存在しない。パスとファイル名が正しく入力されているか、HFS ファイルの場合は / が先頭に付いているかを確認してください。
 - ファイル許可がシステム管理サーバーのファイルへのアクセスを許可していない。
 - ファイルの HFS ファイル・システムがマウントされていない。
-

BBON2160E *string* を予期しています。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2161E Name value pair is not properly terminated. (名前値ペアが正しく終了していません。)

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2162E 無効キーワードが見つかりました。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL ファイルに役立つ情報がないかを確認してください。あるいは、ファイル転送の際に、ファイルが破壊されている可能性があります。DDL ファイルは必ず、テキスト・ファイルとして転送してください。

あるいは、オブジェクト・ビルダーを使ってアプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2163E 予期しないファイルの終わりです。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: DDL ファイルが空でないことを確認してください (転送エラーなどによって DDL ファイルが空になることがあります)。

あるいは、オブジェクト・ビルダーを使ってアプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2170E *string* は定義されていません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2171E *string* を正しく処理できませんでした。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2172E ホームは定義されていません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2173E マネージド・オブジェクトは定義されていません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2174E データ・オブジェクトは定義されていません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2175E コンテナは定義されていません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2176E DLL オブジェクトは定義されていません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2177E ホームは定義されていません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2178E マネージド・オブジェクトは定義されていません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2179E データ・オブジェクトは定義されていません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2180E コンテナは定義されていません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON2181E DDL オブジェクトは定義されていません。

説明: インポート・アクションが失敗しました。

ユーザーの処置: オブジェクト・ビルダーを使って、アプリケーション構成を変更してください。

問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBON8900E 特性エラーがサーバー・データで検出されました。

説明: アプリケーションがシステム管理サーバー・データベースの処理中に内部論理エラーを検出しました。

ユーザーの処置: 管理アプリケーションおよび操作アプリケーションを閉じて、再始動してください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON8901E サーバー・データで オブジェクト・タイプ 特性のエラーが検出されました。特性値が不十分、特性 = *property*、索引 = *index*、サーバー特性データ = *data*。

説明: システム管理サーバー・データベースの処理で、内部論理エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 管理アプリケーションおよび操作アプリケーションを閉じて、再始動してください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON8902E サーバー・データで オブジェクト・タイプ 特性のエラーが検出されました。非数値名 / 値カウント、特性 = *property*、索引 = *index*、サーバー特性データ = *data*。

説明: システム管理サーバー・データベースの処理で、内部論理エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 管理アプリケーションおよび操作アプリケーションを閉じて、再始動してください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON8903E サーバー・データで オブジェクト・タイプ 特性のエラーが検出されました。認識されない状況、特性 = *property*、索引 = *index*、サーバー特性データ = *data*。

説明: システム管理サーバー・データベースの処理で、内部論理エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 管理アプリケーションおよび操作アプリケーションを閉じて、再始動してください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON8904E サーバー・データで オブジェクト・タイプ 特性のエラーが検出されました。特性値が選択リストにない、特性 = *property*、索引 = *index*、サーバー特性データ = *data*、選択リスト = *list*。

説明: システム管理サーバー・データベースの処理で、内部論理エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 管理アプリケーションおよび操作アプリケーションを閉じて、再始動してください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON8905E サーバー・データで オブジェクト・タイプ 特性エラーが検出されました。値が数値でないか範囲外、特性 = *property*、索引 = *index*、サーバー特性データ = *data*、選択リスト = *list*。

説明: システム管理サーバー・データベースの処理で、内部論理エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 管理アプリケーションおよび操作アプリケーションを閉じて、再始動してください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON8906E サーバー・データでオブジェクト・タイプ 特性エラーが検出されました。必須値が指定されていない、特性 = *property*、索引 = *index*、サーバー特性データ = *data*。

説明: システム管理サーバー・データベースの処理で、内部論理エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 管理アプリケーションおよび操作アプリケーションを閉じて、再始動してください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON8907E サーバー・データでオブジェクト・タイプ 特性のエラーが検出されました。値が最大長を超えている、特性 = *property*、索引 = *index*、サーバー特性データ = *data*。

説明: システム管理サーバー・データベースの処理で、内部論理エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 管理アプリケーションおよび操作アプリケーションを閉じて、再始動してください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON8908E サーバー・データでオブジェクト・タイプ 特性のエラーが検出されました。値に組み込みブランクが含まれている、特性 = *property*、索引 = *index*、サーバー特性データ = *data*。

説明: システム管理サーバー・データベースの処理で、内部論理エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 管理アプリケーションおよび操作アプリケーションを閉じて、再始動してください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

メッセージ -- GUI

BBON8909E サーバー・データでオブジェクト・タイプ 特性のエラーが検出されました。認識されない所有者、特性 =*property*、索引 =*index*、サーバー特性データ =*data*。

説明: システム管理サーバー・データベースの処理で、内部論理エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 管理アプリケーションおよび操作アプリケーションを閉じて、再始動してください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON8910E サーバー・データでオブジェクト・タイプ 特性のエラーが検出されました。非数値リスト・カウント、特性 =*property*、索引 =*index*、サーバー特性データ =*data*。

説明: 管理アプリケーションがシステム管理サーバー・データベースの処理中に内部論理エラーを検出しました。

ユーザーの処置: 管理アプリケーションを閉じて、再始動してください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON8911E サーバー・データで特性エラーが検出されました。特性値が多過ぎる、索引 =*index*、サーバー特性データ =*data*。

説明: 管理アプリケーションがシステム管理サーバー・データベースの処理中に内部論理エラーを検出しました。

ユーザーの処置: 管理アプリケーションおよび操作アプリケーションを閉じて、再始動してください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON8920E サーバーから受信した XML データにエラーがあります。例外 =*exception*。

説明: システム管理サーバーから無効な XML 文書が受信されました。ある特定のタイプのオブジェクト(たとえば、J2EE リソース)を使った作業はできません。

ユーザーの処置: J2EE リソース・オブジェクトの中で選択された J2EE リソース・タイプが無効な XML テンプレートを参照している可能性があります。その場合には、最近インストールした J2EE リソース・タイプの XML ファイルの内容をチェックしてください。このファイルは、シスプレックスのディレクトリー *CBCONFIG/Sysplex-name/resources/templates* にあります。

この場合

- *CBCONFIG* は、環境変数 *CBCONFIG* に指定されたパスです。デフォルト値は、*/WebSphere390/CB390* です。
- *Sysplex-name* は、シスプレックスの名前です。

第10章 メッセージ -- スクリプト API

この章では、サーバー側とクライアント側の両方の WebSphere for z/OS の SM スクリプト API メッセージを示します。これらのメッセージは次の場所に出力されます。

- ステータス・バー
- 活動ログ (ジョブ・ログまたはシステムのハード・コピー・ログ)

WebSphere for z/OS の SM スクリプト API に関連する問題の診断についての詳細は、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理ユーザー・インターフェース*, SA88-8656 を参照してください。

BBON3000E 予期しないエラー: *reason*

説明: クライアント側で予期しないエラーが発生しました。このエラーは通常は起こりません。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3001E CB390CFG 呼び出しでパラメーター *parametername* が欠落しています。

説明: CB390CFG スクリプトの呼び出し中に、パラメーターが 1 つ欠落していることがクライアント側で検出されました。

ユーザーの処置: REXX スクリプトをチェックして、CB390CFG 呼び出しのすべてのパラメーターが正しく設定されていることを確認してください。

BBON3002E CB390CMD 呼び出しでパラメーター *parametername* が欠落しています。

説明: CB390CMD スクリプトの呼び出し中に、パラメーターが 1 つ欠落していることがクライアント側で検出されました。

ユーザーの処置: REXX スクリプトをチェックして、CB390CMD 呼び出しのすべてのパラメーターが正しく設定されているかを確認してください。

BBON3003E xml 入力参照の取得に失敗しました。

説明: このエラーは、クライアントがパラメーター入力ファイルまたはデフォルトの xml ファイルを開く必要があるときに発生します。パラメーター入力ファイルまたはデフォルトの xml ファイルの読み取りができないか、これらのファイルのフォーマットが無効です。

ユーザーの処置: デフォルトの xml ファイルとパラメーター入力ファイル (使用している場合) をチェッ

メッセージ -- スクリプト API

クして、これらのファイルに対する読み取りアクセス権を持っているか、またこれらのファイルが正しいフォーマットになっているかを確認してください。

BBON3004E xml 入力ファイルが見つかりません。

説明: このエラーは、クライアントがパラメーター入力ファイルまたはデフォルトの xml ファイルを開く必要があるときに発生します。パラメーター入力ファイルまたはデフォルトの xml ファイルが検出されませんでした。

ユーザーの処置: デフォルトの xml ファイルとパラメーター入力ファイル (使用している場合) をチェックして、これらのファイルに対する読み取りアクセス権を持っているか、またこれらのファイルが正しいフォーマットになっているかを確認してください。

BBON3005E xml 入力の読み取りに失敗しました。

説明: このエラーは、クライアントがパラメーター入力ファイルまたはデフォルトの xml ファイルを開く必要があるときに発生します。パラメーター入力ファイルまたはデフォルトの xml ファイルからの読み取りに失敗しました。

ユーザーの処置: デフォルトの xml ファイルとパラメーター入力ファイルのどちらかまたは両方をチェックして、これらのファイルが正しいフォーマットになっているかを確認してください。

BBON3006E xml 出力参照の取得に失敗しました。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側から結果を取得して、それを出力ファイルに書き込むときに発生します。出力ファイルの作成中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 出力ファイルおよび出力ディレクトリーに対する書き込み権を持っていることを確認してください。出力ディレクトリーとして使用できるのは、/tmp ディレクトリーだけです。REXX スクリプトで出力ファイル用にディレクトリーが指定されていないことを確認してください。

BBON3007E 出力ファイルの書き込みに失敗しました。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側から結果を取得して、それを出力ファイルに書き込むときに発生します。出力ファイルに書き込めませんでした。

ユーザーの処置: 出力ファイルおよび出力ディレクトリーに対する書き込み権を持っていることを確認してください。出力ディレクトリーとして使用できるのは、/tmp ディレクトリーだけです。

BBON3008E Xml 出力が無効です。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側から結果を取得して、それを出力ファイルに書き込むときに発生します。サーバー側での出力文書の生成中にエラーが発生しました。サーバー側は生成された xml 文書を結果ストリームに書き込めませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3009E Corba システム例外。理由 *reason*

説明: Corba システム例外がキャッチされました。

ユーザーの処置: 詳しくは、マイナー・コードの説明を参照してください。

BBON3010E xml パーサーの参照の取得に失敗しました。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側への入力ストリームを生成するときに発生します。DOMParser オブジェクトの生成中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3011E xml パーサーの参照の取得に失敗しました。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側への入力ストリームを生成するときに発生します。DOMParser オブジェクトの生成中に例外が発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3012E xml 入力文書の参照の取得に失敗しました。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側への入力ストリームを生成するときに発生します。DOMParser オブジェクトが xml 入力ストリングから文書を取得できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3013E xml 入力文書のルート・エレメントの取得に失敗しました。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側への入力ストリームを生成するときに発生します。DOMParser オブジェクトが xml 入力ストリングのルート・エレメントを取得できませんでした。

ユーザーの処置: デフォルトの xml ファイルをチェックして正しい構文が使用されているかを確認します。SM スクリプト API で提供されるデフォルトのすべての xml ファイルについては、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理スクリプト API* を参照してください。

BBON3014E xml ルート・エレメントの属性の取得に失敗しました。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側への入力ストリームを生成するときに発生します。サーバー側に渡す xml 文書に属性が何も格納されていません。

ユーザーの処置: デフォルトの xml ファイルをチェックして正しい構文が使用されているかを確認します。SM スクリプト API で提供されるデフォルトのすべての xml ファイルについては、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理スクリプト API* を参照してください。

メッセージ -- スクリプト API

BBON3015E 属性 *attributename* を入力 xml 文書に追加できません。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側への入力ストリームを生成するときに発生します。xml 入力ストリーム用のエレメントの作成中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3017E 出力 xml ファイルに無効な属性 *attributename* があります。

説明: このエラーは、クライアントがサーバーからの出力ストリームを出力ファイルに書き込むときに発生します。サーバー側から戻された xml 出力内に、無効な属性が渡されています。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3018E 出力 xml ファイルに無効なエレメントがあります。

説明: このエラーは、クライアントがサーバーからの出力ストリームを出力ファイルに書き込むときに発生します。サーバー側から戻された xml 出力に有効なエレメントが何も格納されていません。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3019E 出力 xml 文書のエレメントの取得に失敗しました。

説明: このエラーは、クライアントがサーバーからの出力ストリームを出力ファイルに書き込むときに発生します。サーバー側から戻された xml 出力にエレメントが何も格納されていません。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3020E 属性 *attributename* は不明であり、データが含まれていません。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側への入力ストリームを生成するときに発生します。パラメーター入力ファイルに、デフォルトの xml ファイルに指定されていない属性が検出されました。

ユーザーの処置: 次の異なる可能性についてチェックします。

- REXX スクリプトに含まれている属性が、実行されたアクションに対して使用可能な属性かを確認する。
 - パラメーター入力ファイルに含まれている属性名が、実行されたアクションに対して使用可能な属性名かを確認する。
-

BBON3021E 属性 *attributename* は不明です。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側への入力ストリームを生成するときに発生します。パラメーター入力ファイルに、デフォルトの xml ファイルに指定されていない属性が検出されました。

ユーザーの処置: 次の異なる可能性についてチェックします。

- REXX スクリプトに含まれている属性が、実行されたアクションに対して使用可能な属性かを確認する。

- パラメーター入力ファイルに含まれている属性名が、実行されたアクションに対して使用可能な属性名かを確認する。

BBON3025E orb 参照の取得に失敗しました。

説明: 「SM スクリプトの API ホーム」の参照に対するクライアントからの要求中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3026E orb 参照の取得に失敗しました。内部エラー。

説明: 「SM スクリプトの API ホーム」の参照に対するクライアントからの要求中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3027E orb 参照の取得に失敗しました。ストリングが見つかりません。

説明: 「SM スクリプトの API ホーム」の参照に対するクライアントからの要求中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3028E orb 参照の取得に失敗しました。string は無効なストリングです。

説明: 「SM スクリプトの API ホーム」の参照に対するクライアントからの要求中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3029E ファクトリー・ファインダーの参照の取得に失敗しました。

説明: 「SM スクリプトの API ホーム」の参照に対するクライアントからの要求中にエラーが発生しました。クライアントはファクトリー・ファインダーの参照を解決できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3030E ファクトリーの参照の取得に失敗しました。

説明: 「SM スクリプトの API ホーム」の参照に対するクライアントからの要求中にエラーが発生しました。クライアントはファクトリーの参照を検出できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

メッセージ -- スクリプト API

BBON3031E ファクトリーの参照の取得に失敗しました。ファクトリー *factoryname* が見つかりません。

説明: 「SM スクリプトの API ホーム」の参照に対するクライアントからの要求中にエラーが発生しました。クライアントは *factoryname* が示すファクトリーを検出できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3032E ファクトリーの参照の取得に失敗しました。 *string* は無効なストリングです。

説明: 「SM スクリプトの API ホーム」の参照に対するクライアントからの要求中にエラーが発生しました。クライアントは *string* が示すストリングを含むファクトリーを検出できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3033E ファクトリーの参照の取得に失敗しました。 *string* の中の引用符が一致していません。

説明: 「SM スクリプトの API ホーム」の参照に対するクライアントからの要求中にエラーが発生しました。クライアントは *string* が示すストリングを含むファクトリーを検出できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3034E ホーム・オブジェクトの取得に失敗しました。

説明: 「SM スクリプトの API ホーム」の参照に対するクライアントからの要求中にエラーが発生しました。クライアントは「SM スクリプト API ホーム」を限定することができませんでした。

ユーザーの処置: SM スクリプト API が正しくインストールされていることを確認します。

BBON3035E SM スクリプト API の参照の取得に失敗しました。

説明: 「SM スクリプトの API ホーム」の参照に対するクライアントからの要求中にエラーが発生しました。クライアントは「SM スクリプト API」オブジェクトのインスタンスを作成できませんでした。

ユーザーの処置: SM スクリプト API が正しくインストールされていることを確認します。

BBON3040E *environmentvariable* には 1 つのパスしか指定できません。

説明: *environmentvariable* が示す環境変数に、複数のパスが指定されています。

ユーザーの処置: *environmentvariable* をチェックして、パスが複数指定されていないかを確認してください。

BBON3041E *environmentvariable* が指定されていません。

説明: *environmentvariable* が示す環境変数が指定されていません。

ユーザーの処置: 環境変数 *environmentvariable* が正しく設定されていることを確認してください。

BBON3042E デフォルト xml ファイルが存在しないか、アクセスが否認されました。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側の呼び出しに使用する引き数を検査するときに発生します。デフォルトの xml ファイルを検出できないか、またはアクセス権が正しく設定されていません。

ユーザーの処置: 次の異なる可能性についてチェックします。

- デフォルトの xml ファイルが指定されたディレクトリに存在していることを確認する。パスを指定しない場合、デフォルトの xml ファイルは DEFAULT_CLIENT_XML_PATH でアクセスできなければなりません。
- デフォルトの xml ファイルに対する読み取りアクセス権を持っていることを確認する。

BBON3045E 呼び出し *functionname* が失敗しました。呼び出しターゲットが無効です。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側のメソッドを呼び出そうとするときに発生します。functionname 関数の呼び出し中にエラーが発生しました。ターゲットの呼び出しは無効でした。

ユーザーの処置: 「SM スクリプト API」が正しくインストールされていることを確認してください。

BBON3046E 呼び出し *functionname* が失敗しました。アクセスが不正です。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側のメソッドを呼び出そうとするときに発生します。functionname 関数の呼び出し中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 「SM スクリプト API」が正しくインストールされていることを確認してください。

BBON3047E 呼び出し *functionname* が失敗しました。メソッド *functionname* が見つかりません。

説明: このエラーは、クライアントがサーバー側のメソッドを呼び出そうとするときに発生します。functionname 関数の呼び出し中にエラーが発生しました。functionname が示すメソッドが検出されませんでした。

ユーザーの処置: メソッド functionname がアクション・パラメーターの有効な値であることを確認してください。

BBON3100E Unexpected error on server. (予期しないサーバー・エラー。)

説明: サーバー側で予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3101E xml パーサーの参照の取得に失敗しました。

説明: このエラーは、サーバー側がクライアント側からの入力を解析しようとするときに発生します。DOMParser オブジェクトの生成中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: サーバー側の CLASSPATH をチェックして、JAR ファイル「xml4j.jar」が含まれているかを確認してください。

メッセージ -- スクリプト API

BBON3102E xml パーサーの参照の取得に失敗しました。入出力エラー

説明: このエラーは、サーバー側がクライアント側からの入力を解析しようとするときに発生します。DOMParser オブジェクトの生成中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3103E xml 入力文書の参照の取得に失敗しました。

説明: このエラーは、サーバー側がクライアント側からの入力を解析しようとするときに発生します。DOMParser オブジェクトが xml 入力ストリングから文書を取得できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3104E xml 入力文書のルートの取得に失敗しました。

説明: このエラーは、サーバー側がクライアント側からの入力を解析しようとするときに発生します。DOMParser オブジェクトが xml 入力ストリングのルート・エレメントを取得できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3105E xml 入力の読み取りに失敗しました。

説明: このエラーは、サーバー側がクライアント側からの入力を解析しようとするときに発生します。入力ファイルまたはデフォルトの xml ファイルからの読み取りに失敗しました。例外が発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3106E xml 入力のルート・エレメントの属性の取得に失敗しました。

説明: このエラーは、サーバー側がクライアント側からの入力を解析しようとするときに発生します。サーバー側に渡す xml 文書に属性が何も格納されていません。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3109E Corba システム例外。理由 *reason*

説明: Corba システム例外がキャッチされました。

ユーザーの処置: 詳しくは、マイナー・コードの説明を参照してください。

BBON3110E 属性 *attributename* が必要です。

説明: このエラーは、サーバー側が属性の構文が正しいかどうかを解析するときに発生します。クライアント側から転送された入力 xml ファイル内に、属性 *attributename* を検出できませんでした。

ユーザーの処置: デフォルトの xml ファイルをチェックして、属性 *attributename* が正しく指定されているかを確認します。SM スクリプト API で提供されるデフォルトのすべての xml ファイルについては、

WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理スクリプト API を参照してください。

BBON3111E 属性 *attributename* は指定されていますが、データが入っていません。これは必須です。

説明: このエラーは、サーバー側が属性の構文が正しいかどうかを解析するときに発生します。属性 *attributename* は指定されていますが、データが格納されていません。

ユーザーの処置: 属性 *attributename* に値を割り当てます。

BBON3112E 属性 *attributename = attributevalue* は長過ぎます。最大長は *length* 文字です。

説明: このエラーは、サーバー側が属性の構文が正しいかどうかを解析するときに発生します。*attributevalue* で示された値が、最大許容値を超えています。

ユーザーの処置: 属性 *attributename* に関連する値 *attributevalue* の文字数を確認してください。

BBON3113E 属性 *attributename = attributevalue* は OS/390 文字で開始されていません。

説明: このエラーは、サーバー側が属性の構文が正しいかどうかを解析するときに発生します。*attributevalue* で示された値の先頭文字は無効です。

ユーザーの処置: 属性 *attributename* の最初の文字をチェックします。OS/390 のマニュアルを参照して許容される文字を確認してください。

BBON3114E 属性 *attributename = attributevalue* は無効です。OS/390 文字と数字しか許容されません。

説明: このエラーは、サーバー側が属性の構文が正しいかどうかを解析するときに発生します。*attributevalue* で示された値の先頭文字は無効です。

ユーザーの処置: 属性 *attributename* の文字をチェックします。OS/390 のマニュアルを参照して許容される文字を確認してください。

BBON3115E 属性 *attributename = attributevalue* は無効です。OS/390 文字、数字、および (/ :) しか許容されません。

説明: このエラーは、サーバー側が属性の構文が正しいかどうかを解析するときに発生します。*attributevalue* で示された値の先頭文字は無効です。

ユーザーの処置: 属性 *attributename* の文字をチェックします。OS/390 のマニュアルを参照して許容される文字を確認してください。

BBON3116E 属性 *attributename = attributevalue* が数値ではありません。

説明: このエラーは、サーバー側が属性の構文が正しいかどうかを解析するときに発生します。*attributevalue* で示された値が数値ではありません。

メッセージ -- スクリプト API

ユーザーの処置: 属性 *attributename* の値 *attributevalue* に数値が割り当てられているかを確認してください。

BBON3117E 属性 *attributename* = *attributevalue* が範囲外です。 *min* - *max* の間でなければなりません。

説明: このエラーは、サーバー側が属性の構文が正しいかどうかを解析するときに発生します。
attributevalue で示された値が *min* ~ *max* の範囲外です。

ユーザーの処置: 属性 *attributename* の値 *attributevalue* が *min* と *max* 間の範囲内にあるかを確認してください。

BBON3118E 属性 *attributename* = *attributevalue* が長過ぎます。1 文字しか許可されません。

説明: このエラーは、サーバー側が属性の構文が正しいかどうかを解析するときに発生します。
attributename で示された値は長すぎます。この場合、1 文字のみ許容されます。

ユーザーの処置: 属性 *attributename* に関連する値 *attributevalue* の文字数を確認してください。

BBON3119E 属性 *attributename* = *attributevalue* は Y か N でなければなりません。

説明: このエラーは、サーバー側が属性の構文が正しいかどうかを解析するときに発生します。
attributename で示された値は有効な文字ではありません。この場合は、「Y」または「N」のみ許容されません。

ユーザーの処置: 属性 *attributename* の値を確認してください。

BBON3120E 属性 *attributename* = *attributevalue* に無効なスペースが含まれています。

説明: このエラーは、サーバー側が属性の構文が正しいかどうかを解析するときに発生します。
attributename で示された値に無効なスペースが含まれています。

ユーザーの処置: 属性 *attributename* の値 *attributevalue* の構文が正しいかを確認してください。

BBON3122E *attributename* の属性が見つかりません。

説明: *attributename* で示された名前の属性が検出されません。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3123E 属性 *attributevalue* は *attributename* に対して不明です。

説明: *attributename* で示された属性の値は、*attributename* で示された名前に対して有効ではありません。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3125E orb 参照の取得に失敗しました。

説明: サーバー側が管理者の参照を解決しようとしているときに、エラーが発生しました。orb 参照が見つかりません。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3126E ネーミング・コンテキスト・オブジェクトの取得に失敗しました。

説明: サーバー側が管理者の参照を解決しようとしているときに、エラーが発生しました。ネーミング・コンテキストの参照が見つかりません。初期参照の解決に失敗しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3127E ネーミング・コンテキスト・オブジェクトの取得に失敗しました。string が無効です。

説明: サーバー側が管理者の参照を解決しようとしているときに、エラーが発生しました。ネーミング・コンテキストの参照が見つかりません。初期参照の解決に失敗しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3128E ネーミング・コンテキストの取得に失敗しました。

説明: サーバー側が管理者の参照を解決しようとしているときに、エラーが発生しました。ネーミング・コンテキストの参照が見つかりません。限定に失敗しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3129E 管理者オブジェクトの取得に失敗しました。

説明: サーバー側が管理者の参照を解決しようとしているときに、エラーが発生しました。管理者の参照が正しく解決されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3130E 管理者オブジェクトの取得に失敗しました。管理者 administratorname が見つかりません。

説明: サーバー側が管理者の参照を解決しようとしているときに、エラーが発生しました。管理者 administratorname が検出されませんでした。

ユーザーの処置: 管理者 administratorname が「SM スクリプト API」の使用を許可されていることを確認します。

BBON3131E 管理者オブジェクトの取得に失敗しました。string は無効なストリングです。

説明: サーバー側が管理者の参照を解決しようとしているときに、エラーが発生しました。ストリング string は無効です。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

メッセージ -- スクリプト API

BBON3132E 管理者オブジェクトの取得に失敗しました。内部エラー。

説明: サーバー側が管理者の参照を解決しようとしているときに、エラーが発生しました。内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3133E 管理者の参照の取得に失敗しました。

説明: サーバー側が管理者の参照を解決しようとしているときに、エラーが発生しました。管理者の参照が正常に限定されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3135E 会話 *conversationname* は活動中の会話です。

説明: *conversationname* で示された会話は変更できません。これは活動中の会話です。

ユーザーの処置: 変更するには、別の会話を追加するか、または非活動 / 保留中の会話を使用します。

BBON3136E 会話 *conversationname* が見つかりません。

説明: *conversationname* で示された会話が見つかりません。

ユーザーの処置: REXX スクリプト内の会話 *conversaationname* を確認します。

BBON3137E 会話の参照が無効です。

説明: 会話の会話参照が無効です。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3138E シスプレックスが見つかりません。

説明: シスプレックス・オブジェクトが検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3139E 会話 *conversationname* はすでに追加されています。

説明: *conversationname* で示された会話はすでに存在しており、新たに作成することはできません。

ユーザーの処置: 新しい会話を作成する場合は、別の会話名を使用してください。

BBON3140E 管理者の参照が無効です。

説明: サーバー側が管理者の参照を解決しようとしているときに、エラーが発生しました。管理者オブジェクトの参照が無効です。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3141E サーバー *servername* は活動中の会話にありません。

説明: このエラーは、サーバー側が指定されたサーバーに対してアクションを実行しようとするときに発生します。servername で示されたサーバーは活動中の会話内に検出されませんでした。

ユーザーの処置: サーバー *servername* が活動中の会話に含まれているかを確認します。

BBON3142E サーバー・インスタンス *serverinstancename* は無効な状態です。

説明: このエラーは、サーバー側が指定されたサーバー・インスタンスに対してアクションを実行しようとするときに発生します。serverinstancename で示されたサーバー・インスタンスの状態は無効です。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3143E *object name* は削除されます。変更は実行されていません。

説明: *object* で示されたオブジェクトはすでに削除されています。オブジェクトが物理的に削除されるのは、会話がコミットされた後です。

ユーザーの処置: 変更しようとしているオブジェクトがすでに削除されているオブジェクトではないかを確認してください。

BBON3145E xml 出力文書の作成に失敗しました。

説明: xml 出力文書の作成中にエラーが発生しました。文書の参照は無効です。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3146E xml 出力文書の作成に失敗しました。インスタンス化エラー。

説明: xml 出力文書の作成中にエラーが発生しました。インスタンス化の実行中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3147E xml 出力文書の作成に失敗しました。クラスが見つかりません。

説明: xml 出力文書の作成中にエラーが発生しました。文書をインスタンス化するためのクラスが検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3148E xml 出力文書の作成に失敗しました。不正なアクセス・エラー。

説明: xml 出力文書の作成中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

メッセージ -- スクリプト API

BBON3149E 出力 xml 文書にルート・エレメントを作成できませんでした。

説明: 出力 xml 文書のルート・エレメントの作成中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3150E Xml 出力文書が無効です。

説明: xml 出力文書の作成中にエラーが発生しました。xml 出力文書は正常に作成されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3151E xml 出力文書のルートを取得できません。

説明: DOMParser オブジェクトが xml 出力文書のルート・エレメントを取得できませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3152E xml 出力文書に新しいエレメントを作成できません。

説明: 出力 xml 文書の新しいエレメントの作成中にエラーが発生しました。エレメントは正常に作成されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3155E LRM *lrmname* はコンテナ *containername* と関連付けられていません。

説明: このエラーは、サーバー側がコンテナと関連付けられた lrm をリストしようとするときに発生します。lrmname で示された lrm は containername で示されたコンテナと関連付けられていません。

ユーザーの処置: REXX スクリプトをチェックして、CB390CFG 呼び出しのすべてのパラメーターが正しく設定されているかを確認します。または、lrmname で示された LRM が、指定されたコンテナ *containername* と関連付けられているかを確認します。これらの確認作業を行うには、システム管理拡張ユーザー・インターフェースの管理アプリケーションを使用することができます。

BBON3156E LRM *lrmname* はすでにコンテナ *containername* と関連付けられています。

説明: このエラーは、サーバー側がコンテナと関連付けられた lrm をリストしようとするときに発生します。lrmname で示された LRM は、containername で示されたコンテナと複数回関連付けられています。

ユーザーの処置: アクション `associatelrmwithcontainer` の 1 つを削除します。詳しくは、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理スクリプト API* を参照してください。

問題が解決しない場合は、IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3160E パラメーター *parametername* が必要です。

説明: このエラーは、サーバー側が CB390CMD 呼び出しの入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。parametername で示されたパラメーターは必須ですが、これが指定されていません。

ユーザーの処置: REXX スクリプトをチェックして、パラメーター parametername が指定されているかを確認してください。

BBON3161E パラメーター *parametername* は指定されていますが、データが入っていません。これは必須です。

説明: このエラーは、サーバー側が CB390CMD 呼び出しの入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。parametername で示されたパラメーターが指定されていますが、データが格納されていません。このパラメーターは有効な値と共に必ず指定する必要があります。

ユーザーの処置: REXX スクリプト内のパラメーター parametername をチェックします。有効な値が必ず指定されていなければなりません。

BBON3162E パラメーター *parametername* = *parametervalue* は長過ぎます。最大長は *length* 文字です。

説明: このエラーは、サーバー側が CB390CMD 呼び出しの入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。parametername で示されたパラメーターの、parametervalue で示された値が長過ぎます。

ユーザーの処置: REXX スクリプトをチェックして、パラメーター parametername の値 parametervalue が有効な長さになっていることを確認してください。

BBON3163E パラメーター *parametername* = *parametervalue* が無効な文字で開始されています。

説明: このエラーは、サーバー側が CB390CMD 呼び出しの入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。parametername で示されたパラメーターの、parametervalue で示された値の先頭文字が無効です。許容されるのは OS/390 文字のみです。

ユーザーの処置: パラメーター parametername の最初の文字をチェックします。OS/390 のマニュアルを参照して許容される文字を確認してください。

BBON3164E パラメーター *parametername* = *parametervalue* は無効です。OS/390 文字と数字しか許容されません。

説明: このエラーは、サーバー側が CB390CMD 呼び出しの入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。parametername で示されたパラメーターの、parametervalue で示された値に無効な文字が含まれています。許容されるのは、OS/390 文字と数字のみです。

ユーザーの処置: パラメーター parametername の文字をチェックします。OS/390 のマニュアルを参照して許容される文字を確認してください。

メッセージ -- スクリプト API

BBON3170E 活動化分離ポリシーに対して属性 *attributevalue* は不明です。

説明: このエラーは、サーバー側が入力に対応するそれぞれの出力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。 *attributevalue* で示された属性は「活動化分離ポリシー」に対して不明です。

ユーザーの処置: 「活動化分離ポリシー」に関連する値については、*WebSphere Application Server V4.0 for z/OS and OS/390: システム管理スクリプト API* を参照してください。

BBON3171E 非活動化制約に対して属性 *attributevalue* は不明です。

説明: このエラーは、サーバー側が入力に対応するそれぞれの出力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。 *attributevalue* で示された属性は「非活動化制約」に対して不明です。

ユーザーの処置: 「SM スクリプト API」のマニュアルを参照して、「非活動化制約」に関連する値を確認してください。

BBON3172E マネージド・オブジェクトの最新表示ポリシーに対して属性 *attributevalue* は不明です。

説明: このエラーは、サーバー側が入力に対応するそれぞれの出力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。 *attributevalue* で示された属性は「マネージド・オブジェクトの最新表示ポリシー」に対して不明です。

ユーザーの処置: 「SM スクリプト API」のマニュアルを参照して、「マネージド・オブジェクトの最新表示ポリシー」に関連する値を確認してください。

BBON3173E トランザクション・ポリシーに対して属性 *attributevalue* は不明です。

説明: このエラーは、サーバー側が入力に対応するそれぞれの出力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。 *attributevalue* で示された属性は「トランザクション・ポリシー」に対して不明です。

ユーザーの処置: 「SM スクリプト API」のマニュアルを参照して、「トランザクション・ポリシー」に関連する値を確認してください。

BBON3174E LRM サブシステム・タイプに対して属性 *attributevalue* は不明です。

説明: このエラーは、サーバー側が入力に対応するそれぞれの出力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。 *attributevalue* で示された属性は「LRM サブシステム・タイプ」に対して不明です。

ユーザーの処置: 「SM スクリプト API」のマニュアルを参照して、「LRM サブシステム・タイプ」に関連する値を確認してください。

BBON3175E 分離ポリシーに対して属性 *attributevalue* は不明です。

説明: このエラーは、サーバー側が入力に対応するそれぞれの出力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。 *attributevalue* で示された属性は「分離ポリシー」に対して不明です。

ユーザーの処置: 「SM スクリプト API」のマニュアルを参照して、「分離ポリシー」に関連する値を確認してください。

BBON3176E 複製ポリシーに対して属性 *attributevalue* は不明です。

説明: このエラーは、サーバー側が入力に対応するそれぞれの出力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。attributevalue で示された属性は「複製ポリシー」に対して不明です。

ユーザーの処置: 「SM スクリプト API」のマニュアルを参照して、「複製ポリシー」に関連する値を確認してください。

BBON3177E DCE 保護品質に対して属性 *attributevalue* は不明です。

説明: このエラーは、サーバー側が入力に対応するそれぞれの出力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。attributevalue で示された属性は「DCE 保護品質」に対して不明です。

ユーザーの処置: 「SM スクリプト API」のマニュアルを参照して、「DCE 保護品質」に関連する値を確認してください。

BBON3178E セキュリティーに対して属性 *attributevalue* は不明です。

説明: このエラーは、サーバー側が入力に対応するそれぞれの出力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。attributevalue で示された属性は「セキュリティー」に対して不明です。

ユーザーの処置: 「SM スクリプト API」のマニュアルを参照して、「セキュリティー」に関連する値を確認してください。

BBON3179E サーバー・インスタンス状況に対して属性 *attributevalue* は不明です。

説明: このエラーは、サーバー側が入力に対応するそれぞれの出力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。attributevalue で示された属性は「サーバー・インスタンス状況」に対して不明です。

ユーザーの処置: 「SM スクリプト API」のマニュアルを参照して、「サーバー・インスタンス状況」に関連する値を確認してください。

BBON3180E コンテナの属性が見つかりません。

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。コンテナの特性の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3181E サーバーの属性が見つかりません

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。サーバーの特性の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3182E サーバー・インスタンスの属性が見つかりません

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。サーバー・インスタンスの特性の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3183E LRM の属性が見つかりません

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。lrm の特性の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3184E LRMI の属性が見つかりません

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。lrmi の特性の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3185E Security の属性が見つかりません

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。セキュリティーの特性の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3186E 分離ポリシーの属性が見つかりません

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。「分離ポリシー」の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3187E 複製ポリシーの属性が見つかりません

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。「複製ポリシー」の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3188E DCE 保護品質の属性が見つかりません

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。「DCE 保護品質」の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3189E LRM サブシステム・タイプの属性が見つかりません

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。「LRM サブシステム・タイプ」の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3190E 活動化分離ポリシーの属性が見つかりません。

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。「活動化分離ポリシー」の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3191E 非活動化制約の属性が見つかりません

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。「非活動化制約」の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3192E マネージド・オブジェクトの最新表示ポリシーの属性が見つかりません

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。「マネージド・オブジェクトの最新表示ポリシー」の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3193E トランザクション・ポリシーの属性が見つかりません。

説明: このエラーは、サーバー側が入力パラメーターの構文をチェックするときに発生します。「トランザクション・ポリシー」の読み取り中にエラーが発生しました。属性が検出されませんでした。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBON3199E メソッド *functionname* が失敗しました。

説明: メソッド *functionname* の実行中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 詳しくは、追加メッセージを参照してください。

第11章 メッセージ -- 照会

この章では、WebSphere for z/OS の照会メッセージについて説明します。これらのメッセージが表示される場所は以下のとおりです。

- オペレーターのコンソール上
- 環境ファイルで LOGSTREAMNAME によって示されるエラー・ログ内 (または、ログ・ストリームが使用可能でない場合は CERR 内)。
- アクティビティー・ログ内。これはジョブ・ログまたはシステム・ハードコピー・ログです。

BBOQ0001E Aggregates are not supported in view types. (集合はこのビュー・タイプではサポートされていません。)

説明: マップ・タイプまたはビューをインプリメントする照会に集合関数が指定されています。CB OO-SQL 照会サービスのこのバージョンでは、次の集合関数のいずれかを持つ照会にマップ・タイプが定義されていない場合があります。COUNT、SUM、AVG、MIN、または MAX。ステートメントは処理されません。

ユーザーの処置: マップ・タイプを定義している照会から集合関数を除去してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。

BBOQ0002I A date computation overflow has occurred. (日付計算オーバーフローが発生しました。)

説明: SQL ステートメントの処理中に、日付関数を処理しているときにオーバーフロー条件が発生しました。ステートメントを処理できません。データを検索できませんでした。

ユーザーの処置: SQL ステートメントの構文を調べて、エラーの原因を判別してください。データに依存する問題の場合は、エラー発生時に処理されていたデータを検査する必要がある場合があります。

BBOQ0003E An error occurred executing a SQL query: *string1*. (SQL 照会 *string1* の実行中にエラーが発生しました。)

説明: プッシュダウン SQL ステートメントの処理中に、DBMS によってエラーが報告されました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: SQL ステートメントの構文およびエラー・ログを調べて、エラーの原因を判別してください。

BBOQ0004E An error occurred while computing an indexed scan. (索引スキャンの計算中にエラーが発生しました。)

説明: OO-SQL 照会関数が索引スキャンの計算中に、コマンドが失敗しました。コマンドを処理できません。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズによるエラーの処理方法については、追加メッセージを参照してください。関連するメッセージが見つからない場合は、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」を参照してください。必要な場合は弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0006E An invalid character was found in a character string argument in function *string1*. (関数 *string1* の文字ストリング引き数で無効文字が検出されました。)

説明: 数値を表すストリング引き数を受け入れる関数は、ストリング引き数を処理できません。

ユーザーの処置: ストリング引き数を検査してください。正しい構文については、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」の OO-SQL の節を参照してください。

BBOQ0007E Alias *string1* is not defined. (別名 *string1* は定義されていません。)

説明: <name> によって示される別名はメタデータに定義されていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: DDL を調べて、別名が DDL に正しく指定されていることを確認してください。必要な場合は弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0008E An overflow occurred during a numeric data type conversion in function *string1*. (関数 *string1* の数値データ・タイプ変換中にオーバーフローが発生しました。)

説明: SQL ステートメントの処理中に、<function> によって示される関数の数値データ・タイプを変換しているときにオーバーフロー条件が発生しました。

ユーザーの処置: SQL ステートメントの構文を調べて、エラーの原因を判別してください。データに依存する問題の場合は、エラー発生時に処理されていたデータを検査する必要が生じる場合があります。

BBOQ0009E Assignment overflow occurred converting unsigned int to int. (符号なし int から int への変換中に、割り当てオーバーフローが発生しました。)

説明: SQL ステートメントの処理中に、符号なし int タイプから int タイプへ変換しているときにオーバーフロー条件が発生しました。

ユーザーの処置: SQL ステートメントの構文を調べて、エラーの原因を判別してください。データに依存する問題の場合は、エラー発生時に処理されていたデータを検査する必要が生じる場合があります。

BBOQ0010E Assignment overflow occurred converting unsigned long to long. (符号なし long から long への変換中に、割り当てオーバーフローが発生しました。)

説明: SQL ステートメントの処理中に、符号なし long タイプから long タイプへ変換しているときにオーバーフロー条件が発生しました。

ユーザーの処置: SQL ステートメントの構文を調べて、エラーの原因を判別してください。データに依存する問題の場合は、エラー発生時に処理されていたデータを検査する必要がある場合があります。

BBOQ0012E A query cannot be projected in the sub-query of a predicate. (述部の副照会に照会を射影することができません。)

説明: 副照会は射影エレメント内にネストすることができません。

ユーザーの処置: 射影エレメント内にネストされた副照会を除去してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。

BBOQ0013E A correlation is dependent upon another correlation (*string1*) defined in a SELECT statement with a GROUP BY clause. (相関が、GROUP BY 文節を持つ SELECT ステートメントに定義された別の相関 (*string1*) に依存しています。)

説明: ネストまたは組み込みコレクションを相関させるために使用される相関が、GROUP BY 文節を持つ別の SELECT ステートメントの FROM 文節で使用される別の相関名 <name1> に依存しています。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 相関が <name2> を使用して定義されていないことを確認してください。

BBOQ0014E A single escape character is required for LIKE *string1*. (LIKE *string1* には単一のエスケープ文字が必要です。)

説明: LIKE <name> には 1 つのエスケープ文字のみを指定できます。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: LIKE 述部が単一のエスケープ文字を指定していることを確認して、コマンドを再実行依頼してください。

BBOQ0015E A time computation overflow has occurred. (時刻計算オーバーフローが発生しました。)

説明: SQL ステートメントの処理中に、時刻関数を処理しているときにオーバーフロー条件が発生しました。ステートメントを処理できません。データは検索されませんでした。

ユーザーの処置: SQL ステートメントの構文を調べて、エラーの原因を判別してください。データに依存する問題の場合は、エラー発生時に処理されていたデータを検査する必要がある場合があります。

BBOQ0016E An argument type error was found in *string1*. (*string1* で引き数タイプ・エラーが検出されました。)

説明: <pred> の 1 オペランドと第 2 オペランドのデータ・タイプを混合しないでください。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: データ・タイプが一致していることを確認してください。正しいタイプの使用規則のリストを以下に示します。

数値	文字
< より小	(前方との比較)
= 等しい	(完全一致)
> より大	(後方との比較)
<= 最大	(これより前または完全一致)
<< 等しくない	(同じではない)
<= 最低	(これより後または完全一致)

不等式または比較演算子が、<pred> で数値データまたは文字データを使用するようにしてください。

LIKE または NOT LIKE 述部の左に表されるオペランドは、ストリング式である必要があります。述部の右に表される値は、ストリング定数である必要があります。LIKE 述部の構文を検査し、訂正してください。2 項演算子 +、-、*、および / のオペランドは、整数、短整数、浮動数、実数、倍精度、数値、および 10 進数にすることができます。<pred> で算術演算子が使用されている場合は、上述のリストのオペランドを使用してください。

BBOQ0017E A timestamp computation overflow has occurred. (タイム・スタンプ計算オーバーフローが発生しました。)

説明: SQL ステートメントの処理中に、時刻関数を処理しているときにオーバーフロー条件が発生しました。ステートメントを処理できません。データは検索されませんでした。

ユーザーの処置: SQL ステートメントの構文を調べて、エラーの原因を判別してください。データに依存する問題の場合は、エラー発生時に処理されていたデータを検査する必要が生じる場合があります。

BBOQ0018E A WHERE clause or a SET clause contains a column function: *string1*. (WHERE 文節または SET 文節に列関数 *string1* が含まれています。)

説明: WHERE 文節が列関数を含むことができるのは、その文節が HAVING 文節の副照会内に表され、列関数の引き数がグループへの相関参照である場合のみです。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: WHERE 文節から列関数を除去してください。

BBOQ0019E Computing aggregate AVG. (集合 AVG を計算しています。)

説明: このメッセージの前にオーバーフロー例外メッセージが出されます。既知の値の数値合計が、プラットフォームでサポートされる最大整数または倍精度浮動小数点数を超えたため、AVG 関数を計算できません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 述部を使用する照会を再作成して、既知の値の合計がプラットフォームでサポートされる最大整数または倍精度浮動小数点数を超えないようにしてください。

BBOQ0020E Computing aggregate SUM. (集合 SUM を計算しています。)

説明: このメッセージの前にオーバーフロー例外メッセージが出されます。既知の値の数値合計が、プラットフォームでサポートされる最大整数または倍精度浮動小数点数を超えたため、SUM 関数を計算できません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 述部を使用する照会を再作成して、既知の値の合計がプラットフォームでサポートされる最大整数または倍精度浮動小数点数を超えないようにしてください。

BBOQ0021E *string1* cannot be an alias for *string2*. (*string1* を *string2* の別名にすることはできません。)

説明: 関連名は FROM 文節でネスト・セットとして使用されます。ネスト・セットは属性およびメソッドに定義されます。

ユーザーの処置: FROM 文節からエントリーを除去してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。

BBOQ0022E Column *string1* cannot be cast to another type. (列 *string1* を別のタイプにキャストすることができません。)

説明: 列 <name> は不適切に別のタイプにキャストされました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 列をタイプにキャストすることができるのは、列が void* であるか、またはパラメーターで表示されていないコレクションである場合のみです。列をキャストする前に、列がこの 2 つのカテゴリのいずれかに該当することを確認してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。

BBOQ0023E Column *string1* cannot be cast to a view. (列 *string1* をビューにキャストすることができません。)

説明: 列 <name> は不適切にビューまたはマップ・タイプにキャストされました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: <name> で指定された列をビューまたはマップ・タイプにキャストすることはできません。キャストを除去してステートメントを再実行依頼してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。

BBOQ0024E Cannot flatten *string1* : *string2* to define *string3*. (*string1* : *string2* をフラット化して *string3* を定義することができません。)

説明: 相関名 <name3> は、タイプ <name1> のメンバー <name2> に対して定義されていますが、メンバー <name2> はコレクション・タイプのメンバーではありません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 相関名は組み込みコレクションおよびルート・コレクションのみに定義できます。たとえば、相関名 q2 がネストされたコレクション q1.m1 に結合されている場合、m1 は q1 で複数値 (またはコレクション) メンバーである必要があります。一般に、ネストされたコレクションの最後のメンバーは複数値タイプである必要があります。メンバーが複数値タイプであることを確認して、コマンドを再実行依頼してください。

BBOQ0026E Column *string1* is ambiguous. (列 *string1* があいまいです。)

説明: ステートメントの FROM 文節に指定された 2 つ以上のコレクションに、指定された <name> を持つ列が含まれています。可能性のある列の中から列を特定するには、列名に追加情報を提供する必要があります。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 列名に修飾子を追加してください。修飾子は集合名または相関名です。

BBOQ0027E Column *string1* is a pointer, so it cannot be cast to a non-pointer. (列 *string1* はポインターであるため、ポインター以外にキャストすることはできません。)

説明: ポインター・タイプの列 <name> は、誤ってポインター以外のタイプにキャストされました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 列 <name> の正しいポインター・タイプを検索して、列 <name> をそのポインター・タイプにキャストしてください。

BBOQ0029E Column *string1* is not a pointer, so it cannot be cast as a pointer to another type. (列 *string1* はポインターではないため、ポインターとして別のタイプにキャストすることはできません。)

説明: SQL ステートメントに不明なポインターが含まれています。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: ポインター名が正しいスペルになっていることを確認してください。

BBOQ0030E Class *string1* is not defined for SELECT *N. (クラス *string1* は SELECT *N に対して定義されていません。)

説明: タイプ <name> のメタデータ記述は利用不能です。

ユーザーの処置: 欠落エントリについては情報リポジトリをチェックしてください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のインターフェース・リポジトリの説明を参照してください。

BBOQ0031E Column *string1* is not specified in the GROUP BY clause. (列 *string1* は GROUP BY 文節に指定されていません。)

説明: SELECT ステートメントには、SELECT 文節に含まれているが GROUP BY 文節には含まれていない列名があります。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: SELECT 文節にある GROUP BY 文節に列を含めるか、または SELECT 文節から列を除去して、ステートメントを訂正してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。

BBOQ0032E Column *string1* specified in the order by clause has no corresponding column in the projection clause. (order by 文節に指定された列 *string1* は、射影文節内に対応する列を持っていません。)

説明: ステートメント内の ORDER BY 文節は、1 より小さいか、または結果テーブルの列数 (SELECT 文節内の項目数) を超える列数を含んでいます。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: ORDER BY 文節の構文を訂正して、それぞれの列 ID が結果テーブルの列を正しく識別するようにしてください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。

BBOQ0034E Collection *string1* is not defined. (コレクション *string1* は定義されていません。)

説明: <name> によって示されるコレクションは、正しいネーミング・サービスのネーミングコンテキストで定義されていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: コレクションが SQL ステートメントに正しく指定されているかどうかを判断してください。正しく指定されている場合は、コレクションが正しいネーミング・コンテキストに存在することを確認し、ステートメントを再実行依頼してください。

BBOQ0035E Class *string1* is not defined in the information repository. (クラス *string1* は情報リポジトリに定義されていません。)

説明: <name> によって示されるインターフェース名は、インターフェース・リポジトリに定義されていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: インターフェース名が SQL ステートメントに正しく指定されているかどうかを判断してください。正しく指定されている場合は、クラスがインターフェース・リポジトリに定義されていることを確認してください。

BBOQ0036E CLOSE is not implemented (CLOSE がインプリメントされていません。)

説明: CLOSE コマンドは CB OO-SQL 照会関数のこのバージョンではサポートされていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: プログラムからステートメントを除去し、このコマンドを発行しないようにしてください。

メッセージ -- 照会

い。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。

BBOQ0037E Column numbers must be positive integers. (列数は正の整数である必要があります。)

説明: ORDER BY 文節内の列数は、1 より小さいか、または結果テーブル内の列数 (SELECT 文節内の項目数) を超える列数を含んでいます。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: ORDER BY の構文を訂正して、それぞれの列 ID が結果テーブルの列を正しく識別するようにしてください。

BBOQ0038E *string1* cannot navigate past *string2*. (*string1* は、前の *string2* をナビゲートできません。)

説明: <name2> は組み込みまたはネストされたコレクションではありません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 組み込みまたはネストされたコレクションで <name2> を置換してください。<name2> が非パラメーター化の組み込みまたはネストされたコレクションである場合は、適切なコレクション・タイプで <name2> を置換してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。

BBOQ0039E Cannot navigate through *string1*. (*string1* をナビゲートすることができません。)

説明: 照会で <name> のナビゲーションが試行されました。ナビゲーションを実行できるのは、列が次のいずれかのタイプである場合のみです。セット、ポインター、組み込みクラス、またはビュー。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: ナビゲーション可能なタイプの列名を入力してください。列名が非パラメーター化タイプの複数値タイプである場合は、適切なタイプでキャストしてください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。

BBOQ0040E Counter overflow occurred computing AVG. (AVG の計算中にカウンター・オーバーフローが発生しました。)

説明: AVG 関数を計算するためにデータベースから検索されたデータ配列の数が、プラットフォームでサポートされる最大整数の数を超えました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 述部を使用する照会を再作成して、データベースから検索されるデータ配列の数がプラットフォームでサポートされる最大整数の数を超えないようにしてください。

BBOQ0041E Counter overflow occurred computing COUNT. (COUNT の計算中にカウンター・オーバーフローが発生しました。)

説明: COUNT 関数を計算するためにデータベースから検索された結果の数が、プラットフォームでサポートされる最大整数の数を超えました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 述部を使用する照会を再作成して、データベースから検索される結果の数がプラットフォームでサポートされる最大整数の数を超えないようにしてください。

BBOQ0042E CREATE TABLE is not implemented. (CREATE TABLE はインプリメントされていません。)

説明: CREATE TABLE コマンドは CB OO-SQL 照会関数のこのバージョンではサポートされていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: プログラムからステートメントを除去し、このコマンドを発行しないようにしてください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0043E CREATE TABLE TYPE is not implemented. (CREATE TABLE TYPE はインプリメントされていません。)

説明: CREATE TABLE TYPE コマンドは CB OO-SQL 照会関数のこのバージョンではサポートされていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: プログラムからステートメントを除去し、このコマンドを発行しないようにしてください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0044E Duplicate column *string1* has been found in the order by clause. (order by 文節で重複列 *string1* が検出されました。)

説明: ステートメントの ORDER BY 文節に重複列番号 <number> が含まれています。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: ORDER BY 文節の構文を訂正して、列 <number> が一度のみ出現するようにしてください。

BBOQ0045E Duplicate group by element *string1* has been found in the group by clause. (group by 文節で重複グループ別エレメント *string1* が検出されました。)

説明: ステートメントの GROUP BY 文節に重複エレメント <name> が含まれています。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: GROUP BY 文節の構文を訂正して、エレメント <name> が一度のみ出現するようにしてください。

BBOQ0046E DISTINCT is specified more than once in aggregate functions. (DISTINCT が集合関数に複数回指定されています。)

説明: SELECT 文節と列関数の両方に DISTINCT 修飾子を指定することはできません。同じ SELECT ステートメントの 2 つ以上の列関数内で指定することもできません。ステートメントを処理できません。

メッセージ -- 照会

ユーザーの処置: SELECT ステートメントを再作成して、コマンドを再実行依頼してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0047E Distinct in view type *string1* is not supported. (ビュー・タイプ *string1* での Distinct はサポートされていません。)

説明: ビューまたはマップ・タイプ <name> は SELECT DISTINCT 文節で定義されています。OO-SQL 照会関数のこのバージョンでは、ビューまたはマップ・タイプは SELECT DISTINCT 文節を持つ照会を使用して定義されない場合があります。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: ビューまたはマップ・タイプ <name> を定義する照会から SELECT DISTINCT 文節を除去します。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0048E *string1 string2* does not have a column *string3*. (*string1 string2* に列 *string3* がありません。)

説明: FROM 文節に指定されたコレクションまたはビュー <name1> <name2> に列 <name3> がありません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: コレクション <name1> <name2> に属する正しい列名を入力して、コマンドを再実行依頼してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0049E *string1 string2* does not have a method *string3*() . (*string1 string2* にメソッド *string3*() がありません。)

説明: FROM 文節に指定されたオブジェクト <name1> <name2> にメソッド <name3> がありません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: オブジェクト <name1> <name2> に属する正しいメソッド名を入力してください。

BBOQ0050E DECLARE is not implemented. (DECLARE はインプリメントされていません。)

説明: DECLARE コマンドは CB OO-SQL 照会関数のこのバージョンではサポートされていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: プログラムからステートメントを除去し、このコマンドを発行しないようにしてください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0051E / is only for simple types *string1*. (/ は単純なタイプ *string1* のみに使用できます。)

説明: / 演算子が式 <expr> で不適切に使用されています。2 項算術演算子 / のオペランドは、短整数、整数、実数、倍精度、または 10 進数になります。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: オペランドが上記のものであることを確認してください。

BBOQ0052E Error - (エラー)

説明: エラー・メッセージの接頭部

ユーザーの処置: ありません。

BBOQ0053E EXISTS, IN, ALL, ANY and SOME are only for multi-valued attributes. (EXISTS、IN、ALL、ANY、および SOME は、複数值属性にのみ使用できます。)

説明: EXISTS、IN、ALL、ANY、および SOME 述部で使用されたメンバーは、複数值ではありません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: メンバーがコレクション・タイプ属性であることを確認してください。コレクションは空にすることも、1 つまたは複数の値を含めることもできます。値のセットにヌル値を組み込むこともできます。

BBOQ0054E An exception has been raised during navigation. (ナビゲーション中に例外が発生しました。)

説明: OO-SQL 照会関数がナビゲーションを実行中に、コマンドが失敗しました。このメッセージの前に別のエラー・メッセージが表示されます。このメッセージは、無効なユーザー・メソッドまたは無効なポインターが原因で表示されます。コマンドを処理できません。

ユーザーの処置: 詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0055E An exception has been raised during path expression analysis. (パス式分析中に例外が発生しました。)

説明: OO-SQL 照会関数が照会の詳細化を実行中にコマンドが失敗しました。CB で実行している場合は、インターフェース・リポジトリが破壊された可能性があります。コマンドを処理できません。

ユーザーの処置: 詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0056E An exception has been raised during query evaluation. (照会評価中に例外が発生しました。)

説明: CB OO-SQL 照会関数が SQL 照会を評価中に、コマンドが失敗しました。このメッセージの前に別のエラー・メッセージが表示されます。コマンドを処理できません。

ユーザーの処置: このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

BBOQ0057E An exception has been raised during table define. (テーブル定義中に例外が発生しました。)

説明: OO-SQL 照会関数がメタデータ情報にアクセスしているときに、コマンドが失敗しました。コマンドを処理できません。

ユーザーの処置: 詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。必要な場合は弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0058E An exception has been raised during table describe. (テーブル記述中に例外が発生しました。)

説明: CB OO-SQL 照会関数が DDL メタデータ情報にアクセスしているときに、コマンドが失敗しました。コマンドを処理できません。

ユーザーの処置: このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

BBOQ0059E Foreign key column *string1* in table *string2* is already defined. (テーブル *string2* の外部キー列 *string1* はすでに定義されています。)

説明: CB OO-SQL 照会関数が DDL メタデータ情報にアクセスしているときに、コマンドが失敗しました。コマンドを処理できません。

ユーザーの処置: このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

BBOQ0060E Foreign key column *string1* in table *string2* is not defined. (テーブル *string2* の外部キー列 *string1* が定義されていません。)

説明: CB OO-SQL 照会関数が DDL メタデータ情報にアクセスしているときに、コマンドが失敗しました。コマンドを処理できません。

ユーザーの処置: このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

BBOQ0061E FETCH is not implemented. (FETCH はインプリメントされていません。)

説明: FETCH コマンドは CB OO-SQL 照会関数のこのバージョンではサポートされていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: プログラムからステートメントを除去し、このコマンドを発行しないようにしてください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0063E A floating point division by zero has occurred: *fstring1 char2 fstring3*. (ゼロによる浮動小数点割り算が発生しました。 *fstring1 char2 fstring3*。)

説明: 指定された算術演算を処理した結果、ゼロによる割り算が発生しました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: SQL ステートメントを調べて、問題の原因を判別してください。データに依存する問題の場合は、エラー発生時に処理されていたデータを検査する必要があります。浮動値の正しい範囲についてはプラットフォーム・ガイドを調べてください。

BBOQ0064E A floating point invalid operation has occurred: *fstring1 char2 fstring3*. (浮動小数点無効操作が発生しました。 *fstring1 char2 fstring3*。)

説明: 指定された算術演算を処理した結果、算術オーバーフローまたはゼロによる割り算が発生しました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: データに依存する問題の場合は、エラー発生時に処理されていたデータを検査する必要があります。浮動値の正しい範囲についてはプラットフォーム・ガイドを調べてください。

BBOQ0065E A floating point overflow has occurred: *fstring1 char2 fstring3*. (浮動小数点オーバーフローが発生しました。 *fstring1 char2 fstring3*。)

説明: 指定された算術演算を処理した結果、算術オーバーフローまたはゼロによる割り算が発生しました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: SQL ステートメントを調べて、エラーの原因を判別してください。データに依存する問題の場合は、エラー発生時に処理されていたデータを検査する必要があります。浮動値の正しい範囲についてはプラットフォーム・ガイドを調べてください。

BBOQ0066E A floating point underflow has occurred: *fstring1 char2 fstring3*. (浮動小数点アンダーフローが発生しました。 *fstring1 char2 fstring3*。)

説明: 指定された算術演算を処理した結果、算術アンダーフローが発生しました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: SQL ステートメントを調べて、問題の原因を判別してください。データに依存する問題の場合は、エラー発生時に処理されていたデータを検査する必要があります。浮動値の正しい範囲についてはプラットフォーム・ガイドを調べてください。

BBOQ0067E >= is only for simple types *string1*. (>= は単純なタイプ *string1* のみに使用できます。)

説明: 比較演算子 >= が式 <expr> で不適切に使用されています。比較演算子 >= は数値データおよび文字データに対してのみ有効です。数値データの場合、演算子 >= の意味は「最低」であり、文字データ、日付、時刻、タイム・スタンプまたは期間の場合は、演算子 >= の意味は「これより後方または完全一致」になります。ステートメントを処理できません。

メッセージ -- 照会

ユーザーの処置: 比較演算子 `>=` が数値データまたは文字データのいずれかを使用していることを確認してください。

BBOQ0068E > is only for simple types *string1*. (> は単純なタイプ *string1* のみに使用できます。)

説明: `>` がタイプ `<expr>` に対して不適切に使用されています。比較演算子 `>` は、数値データおよび文字データ、日付、時刻、タイム・スタンプまたは期間に対してのみ有効です。数値データの場合、演算子 `>` の意味は「より大」であり、文字データ、日付、時刻、タイム・スタンプまたは期間の場合は、演算子 `>` の意味は「後方との比較」になります。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 比較演算子 `>` が数値データ、文字データ、日付、時刻、タイム・スタンプ、または期間のいずれかを使用していることを確認してください。

BBOQ0070E Illegal character has been found in the input stream. (入力ストリームで不当文字が検出されました。)

説明: 入力ストリームから照会を読み取っているときに、不当文字 `<char>` が検出されました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 入力ストリームから不当文字を除去して、再実行依頼してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0077E Inequality is only allowed for simple types *string1*. (不等式は単純なタイプ *string1* に対してのみ許可されています。)

説明: 比較演算子が式 `<expr>` で不適切に使用されています。比較演算子は短整数、整数、実数、倍精度、10 進数および文字データ、日付、時刻、タイム・スタンプ、または期間に対してのみ有効です。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 不等式または比較演算子が短整数、整数、実数、倍精度データ、10 進数、文字データ、日付、時刻、タイム・スタンプ、または期間のいずれかを使用していることを確認してください。

BBOQ0078E An integer value is out of range: *string1 char2 string3*. (整数値が範囲外です。 *string1 char2 string3*。)

説明: 指定された整数リテラルがこのプラットフォームで許容される範囲内にありません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 整数リテラル値をこのプラットフォームでサポートされる適切なサイズに削減してください。

BBOQ0080E <= is only for simple types *string1*. (<= は単純なタイプ *string1* のみに使用できません。)

説明: `<=` が式 `<expr>` で不適切に使用されています。比較演算子 `<=` は、短整数、整数、実数、倍精度、10 進数、文字データ、時間、タイムスタンプ、または期間だけに使用できます。短整数、整数、実

数、倍精度、および 10 進データの場合、<= は「最大」を意味します。文字データ、日付、時刻、タイム・スタンプ、または期間の場合、<= は「これより前またはこれと等しいものを比較する」を意味しません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 比較演算子 <= が、数値データ、文字データ、日付、時間、タイム・スタンプ、または期間に使用されていることを確認してください。

BBOQ0081E < is only for simple types *string1*. (< は単純なタイプ *string1* のみに使用できます。)

説明: < が式 <expr> で不適切に使用されています。比較演算子 < は、短整数、整数、実数、倍精度、10 進数、文字データ、時間、タイムスタンプ、または期間だけに使用できます。短整数、整数、実数、倍精度、および 10 進のデータ・タイプの場合、< は「より小」を意味します。文字データ、日付、時間、タイムスタンプ、または期間の場合、< は「これより前のものを比較する」を意味します。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 比較演算子 < が、数値データ、文字データ、日付、時刻、タイム・スタンプ、または期間に使用されていることを確認してください。

BBOQ0082E Low on memory. (メモリーの減少)

説明: CB はメモリーを使い果たしました。

ユーザーの処置: 一部のメモリーを解放して照会を再実行依頼してください。

BBOQ0083E Method arguments for parameter *string1* of method *string2* are passed as pointers, please change the parameter type to a pointer type. (メソッド *string2* のパラメーター *string1* のメソッド引き数がポインターとして渡されています。パラメーター・タイプをポインター・タイプに変更してください。)

説明: クラス・オブジェクトまたは struct データ構造に対するメソッド引き数は、メソッド・シグニチャーで値によるパスとして宣言されます。現行の制限では、そのような引き数のポインターによるパスを制限しています。

ユーザーの処置: メソッド・シグニチャーを変更して再試行してください (CORBA メソッド・パス)。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0084E MAX is only for simple types: *string1* (MAX は単純なタイプ *string1* にのみ使用できません。)

説明: MAX 関数が式 <expr> で不適切に使用されています。MAX 関数は以下のデータ・タイプとともにのみ使用できます。短整数、整数、実数、倍精度、10 進数、文字、日付、時刻、タイム・スタンプ、または期間。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: MAX が上記のタイプのみを使用するようにしてください。

BBOQ0085E Method *string1* has a type mismatch on parameter *string2* in *string3*. (メソッド *string1* に、*string3* のパラメーター *string2* に対するタイプ・ミスマッチがあります。)

説明: メソッド引き数のタイプがメソッド・タイプ・シグニチャーと一致していません。

ユーザーの処置: メソッド引き数を変更して、照会を再試行してください。

BBOQ0086E Method *string1* has *string2* parameters and *string3* arguments were given in *string4*. (メソッド *string1* に *string2* パラメーターがあり、*string3* 引き数が *string4* に指定されています。)

説明: メソッドに渡される引き数の数が、メソッドによって受け入れられるパラメーターの数と一致していません。

ユーザーの処置: メソッド引き数を変更して、照会を再試行してください。

BBOQ0087E - is only for simple types *string1*. (- は単純なタイプ *string1* のみに使用できます。)

説明: - が式 <expr> で不適切に使用されています。2 項算術演算子 - のオペランドは、短整数、整数、実数、倍精度、または 10 進数になります。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: オペランドが上記のものであることを確認してください。

BBOQ0088E Method *string1* in table *string2* is already defined. (テーブル *string2* のメソッド *string1* はすでに定義されています。)

説明: OO-SQL 照会関数は、すでにテーブル <name2> に定義されているメソッド名 <name1> を検出しました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: このエラーの詳細は、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」を参照してください。このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

BBOQ0089E MIN is only for simple types: *string1*. (MIN は単純なタイプ *string1* のみに使用できません。)

説明: MIN 関数が式 <expr> で不適切に使用されています。MIN 関数は以下のデータ・タイプとともにのみ使用できます。短整数、整数、実数、倍精度、10 進数、文字、日付、時刻、タイム・スタンプ、または期間。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: MIN が上記のタイプのみを使用するようにしてください。

BBOQ0090E More than *string1* collections are used in the query. (*string1* 以上のコレクションが照会で使用されています。)

説明: 照会に関係するコレクションの数が限界数の 512 を超えました。

ユーザーの処置: 照会からコレクションを除去して、照会を再試行してください。

BBOQ0091E More than *string1* operations have been found in the query. (*string1* 以上のオペレーションが照会で検出されました。)

説明: N (100) 以上のレベルの副照会のネストが照会で検出されました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: ネスト・レベルの数を N (100) に制限します。必要に応じて個別の照会を発行してください。

BBOQ0092E More than *string1* quantifiers are used in the query. (*string1* 以上の修飾子が照会で使用されています。)

説明: 照会に関係する修飾子の数が限界数の 512 を超えました。

ユーザーの処置: 照会からコレクションを除去して、照会を再試行してください。

BBOQ0093E Nested aggregate functions are not allowed. (ネストされた集合関数は許可されていません。)

説明: 集合関数- MAX、MIN、AVG、COUNT、および SUM のネストが照会で検出されました。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: すべての集合関数- MAX、MIN、AVG、COUNT、および SUM のネストを照会から除去します。たとえば、式 AVG(SUM(e.salary)+ e.salary) は無効です。これは、集合関数 SUM が集合関数 AVG 内で使用されているためです。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0094E NEST can only be used with class types: *string1*. (NEST はクラス・タイプ *string1* とともにのみ使用できます。)

説明: NEST 集合関数はオブジェクト・タイプである引き数のみを受け入れます。

ユーザーの処置: 引き数をオブジェクト・タイプに変更して、照会を再試行してください。

BBOQ0095E *string1* is not defined. (*string1* は定義されていません。)

説明: <name> によって示されるコレクションは、DDL メタデータに定義されていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: エンティティ名が SQL ステートメントに正しく指定されているかどうかを判断してください。正しく指定されている場合は、エンティティが DDL メタデータに定義されていることを確認し、ステートメントを再実行依頼してください。DDL はオブジェクト・ビルダーによって生成されます。必要な場合は弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0097E *string1 is not defined for string2. (string1 が string2 に対して定義されていません。)*

説明: メンバー <name1> をクラス <name2> の定義で検出できませんでした。この問題は、ポインター・タイプまたはネスト・セットであるメンバーを走査するパス式を処理しているときに発生しました。

ユーザーの処置: DDL メタデータを検査して、メンバー <name1> がクラス <name2> に定義されていることを検証してください。問題を修正して、照会を再実行依頼してください。DDL はオブジェクト・ビルダーによって生成されます。必要な場合は弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0098E *string1 is not defined for flattening string2. (string1 は string2 のフラット化用に定義されていません。)*

説明: メンバー <name2> をクラス <name1> の定義で検出できませんでした。この問題は、照会の FROM 文節でパス式を処理しているときに発生しました。

ユーザーの処置: DDL メタデータを検査して、メンバー <name2> がクラス <name1> に定義されていることを検証してください。問題を修正して、照会を再実行依頼してください。DDL はオブジェクト・ビルダーによって生成されます。必要な場合は弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0099E *string1 is not defined in string2. (string1 は string2 に定義されていません。)*

説明: <name2> から <name1> へのナビゲーションが試行されましたが、<name1> は <name2> のタイプに定義されていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: <name1> タイプが <name2> のタイプに定義されていることを確認してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0100E *There is not enough memory to sort tuples in the qes ALL statement. (qes ALL ステートメントのタプルをソートするのに十分なメモリーがありません。)*

説明: データ配列内部照会評価のソート中にメモリー割り振りエラーが発生しました。コマンドの処理に使用可能なメモリーが不十分です。コマンドを処理できません。(qes - 照会モジュール名)

ユーザーの処置: アプリケーションを停止してください。可能なソリューションには以下のものがあります。1. システムに十分なメモリーがあることを検証する。2. バックグラウンド・プロセスを除去する。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0101E *There is not enough memory to sort tuples in the qes DISTINCT statement. (qes DISTINCT ステートメントのタプルをソートするのに十分なメモリーがありません。)*

説明: qes DISTINCT ステートメントのデータ配列のソート中にメモリー割り振りエラーが発生しました。コマンドの処理に使用可能なメモリーが不十分です。(qes - 照会モジュール名)

ユーザーの処置: アプリケーションを停止してください。可能なソリューションには以下のものがあります。システムに十分なメモリーがあることを検証する。バックグラウンド・プロセスを除去する。詳しく

は、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0102E There is not enough memory to sort tuples in the qes GROUP statement. (qes GROUP ステートメントのタプルをソートするのに十分なメモリーがありません。)

説明: qes GROUP ステートメントのデータ配列のソート中にメモリー割り振りエラーが発生しました。コマンドの処理に使用可能なメモリーが不十分です。(qes - 照会モジュール名)

ユーザーの処置: アプリケーションを停止してください。可能なソリューションには以下のものがあります。システムに十分なメモリーがあることを検証する。バックグラウンド・プロセスを除去する。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0103E There is not enough memory to sort tuples in the qes UNION statement. (qes UNION ステートメントのタプルをソートするのに十分なメモリーがありません。)

説明: qes UNION ステートメントのデータ配列のソート中にメモリー割り振りエラーが発生しました。コマンドの処理に使用可能なメモリーが不十分です。(qes - 照会モジュール名)

ユーザーの処置: アプリケーションを停止してください。可能なソリューションには以下のものがあります。システムに十分なメモリーがあることを検証する。バックグラウンド・プロセスを除去する。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0104E N must be a positive integer in SELECT q.*N. (SELECT q.*N で、N は正の整数である必要があります。)

説明: * 演算子の修飾に使用された数値が負でした。

ユーザーの処置: 負数を正数で置き換えて、照会を再実行依頼してください。

BBOQ0105E N must be a positive integer in SELECT *N. (SELECT *N で、N は正の整数である必要があります。)

説明: * 演算子の修飾に使用された数値が負でした。

ユーザーの処置: 負数を正数で置き換えて、照会を再実行依頼してください。

BBOQ0107E A non numeric expression has been found in string1. (string1 で数値以外の表現が検出されました。)

説明: 非数値オペランドが算術集合関数 <name> に指定されています。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: SQL ステートメントの構文を訂正して、指定されたすべての関数または演算子オペランドが数値になるようにしてください。

BBOQ0108E A non numeric expression has been found in AVG. (AVG で数値以外の表現が検出されました。)

説明: 非数値オペランドが算術関数 AVG に指定されています。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: SQL ステートメントの構文を訂正して、指定されたすべての AVG 関数オペランドが数値になるようにしてください。

BBOQ0110E The number is too big: *string1*. (数値が大きすぎます。 *string1*)

説明: このエラー・メッセージに続いて構文エラー・メッセージが出されます。指定された数値リテラルがこのプラットフォームでサポートされる許容範囲内にありません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 許容範囲については、プラットフォーム資料を調べてください。リテラル値を適切なサイズに削減し、照会を再実行依頼してください。

BBOQ0111E The number is too small: *string1*. (数値が小さすぎます。 *string1*)

説明: このエラー・メッセージに続いて構文エラー・メッセージが出されます。指定された数値リテラルがこのプラットフォームでサポートされる許容範囲内にありません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 許容範囲については、プラットフォーム資料を調べてください。リテラル値を適切なサイズに削減し、照会を再実行依頼してください。

BBOQ0112E Order by column *string1.string2* is not a projection element. (Order by 列 *string1.string2* は射影エレメントではありません。)

説明: ステートメントは無効です。ORDER BY リストに指定された列 <name1>.<name2> が SELECT リストおよび結果テーブルに指定されていないことが原因です。結果テーブルにある列のみをその結果の順序付けに使用できます。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: ステートメントの構文を訂正するには、指定された列を結果テーブルに追加するか、または ORDER BY 文節から削除します。

BBOQ0121E OPEN is not implemented. (OPEN はインプリメントされていません。)

説明: OPEN コマンドは、CB OO-SQL 照会関数のこのバージョンではサポートされていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: プログラムからステートメントを除去し、このコマンドを発行しないようにしてください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0125E OO-SQL schema parser error: *string1*: *string2*. (OO-SQL スキーマ・パーサー・エラー: *string1*: *string2*。)

説明: DDL メタデータの構文解析中にエラーが発生しました。問題のトークンは <name2> です。エラー・メッセージは <name1> です。

ユーザーの処置: DDL ファイルをチェックして誤ったメタデータを探してください。メタデータを再インストールして、照会を再実行依頼してください。DDL はオブジェクト・ビルダーによって生成されます。必要な場合は弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0126E Projection clause does not contain a single column. (射影文節に単一の列が含まれていません。)

説明: 照会の `result=existing` スタイルに複数オブジェクトの射影が指定されています。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 照会の `result=existing` スタイルの場合、照会は複数オブジェクトの射影を指定することはできません。複数オブジェクトの射影を指定するには、データ配列インターフェースを使用します。oosql API を oosql API で置換します。API の正しい使用方法については、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」の OO-SQL の節を参照してください。

BBOQ0127E Parameter expressions are not implemented. (パラメーター表現がインプリメントされていません。)

説明: コロンを含むパラメーター表現が SELECT ステートメントで検出されました。DB2 SQL パラメーター表現は、CB OO-SQL 照会関数のこのバージョンではサポートされていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: SELECT ステートメントでパラメーター表現を使用しないでください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0128E Projection element is not a pointer. (射影エレメントがポインターではありません。)

説明: SQL ステートメントは `evaluate_to_iterator` メソッドを使用して非ポインター・タイプを射影しています。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 非ポインター・タイプの射影には `evaluate_to_data_array` を使用してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0130E Primary key column *string1* in table *string2* is already defined. (テーブル *string2* 内の基本キー列 *string1* はすでに定義されています。)

説明: DDL メタデータの構文解析中にエラーが発生しました。<name2> のメタデータ定義に <name1> に対する複数の基本キー定義が含まれています。

メッセージ -- 照会

ユーザーの処置: DDL ファイルをチェックして誤ったメタデータを探してください。メタデータを再インストールして、照会を再実行依頼してください。DDL はオブジェクト・ビルダーによって生成されます。必要な場合は弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0131E Primary key column *string1* in table *string2* is not defined. (テーブル *string2* 内の基本キーク列 *string1* が定義されていません。)

説明: メタデータの構文解析中にエラーが発生しました。<name2> のメタデータ定義に列 <name1> が含まれていません。

ユーザーの処置: DDL ファイルをチェックして誤ったメタデータを探してください。メタデータを再インストールして、照会を再実行依頼してください。必要な場合は弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0132E + is only for simple types *string1*. (+ は単純なタイプ *string1* のみに使用できます。)

説明: + 演算子が式 <expr> で不適切に使用されています。2 項算術演算子 + のオペランドは、短整数、整数、実数、倍精度、または 10 進数になります。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: オペランドが上記のものであることを確認してください。

BBOQ0133E Please use column numbers for order by on methods. (メソッドに対する順序付けには列番号を使用してください。)

説明: メソッド列の識別に列番号が使用されていません。ORDER BY 文節のメソッドを持つ列を識別するには、列番号または位置番号を使用してください。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 列番号または位置番号を使用して ORDER BY 文節のメソッドを持つ列を識別し、コマンドを再実行依頼してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0134E Please use column numbers for order by on UNION. (UNION に対する順序付けには列番号を使用してください。)

説明: ORDER BY 文節の列の識別に列番号が使用されていません。ORDER BY 文節の結果テーブルの列を識別するには、列番号または位置番号を使用してください。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 列番号または位置番号を使用して ORDER BY 文節の列を識別し、コマンドを再実行依頼してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0135E Correlation *string1* is already defined over *string2*. (相関 *string1* は、*string2* に対してすでに定義されています。)

説明: FROM 文節で単一の相関名を使用して 2 つ以上のテーブルまたはビューが相関されています。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: FROM 文節でテーブルまたはビューを相関させるために指定された重複する相関名を除去し、固有の相関名に置き換えてください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0136E Quote cannot be used as an escape character for LIKE. (LIKE のエスケープ文字として引用符を使用できません。)

説明: LIKE のエスケープ文字として引用符が指定されています。LIKE の場合、単一のエスケープ文字を引用符にすることはできません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: LIKE 述部に引用符以外のエスケープ文字を使用して、コマンドを再実行依頼してください。

BBOQ0137E Correlation *string1* is dependent upon another correlation (*string2*) defined in a SELECT statement with a GROUP BY clause. (相関 *string1* が、GROUP BY 文節を持つ別の SELECT ステートメントで定義された別の相関 (*string2*) に依存しています。)

説明: ネストまたは組み込みコレクションを相関させるために使用される相関名 <name1> が、GROUP BY 文節を持つ別の SELECT ステートメントの FROM 文節で使用される別の相関名 <name2> に依存しています。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: <name1> が <name2> を使用して定義されていないことを確認してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0138E Queries in the projection clause cannot be nested. (射影文節内の照会をネストすることができません。)

説明: 射影エレメントとして使用された選択ステートメントに、別の選択ステートメントが射影エレメントとして含まれています。

ユーザーの処置: 単純な射影エレメントによって 2 番目の選択ステートメントを置換し、照会を再実行依頼してください。

BBOQ0139E Range variable *string1* is undefined for select *. (範囲変数 *string1* が選択した * に対して未定義です。)

説明: SELECT ステートメントの列 <name>.* は相関名 <name> を使用して相関されましたが、FROM 文節にはその相関名を持つテーブルは指定されていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 列 <name>.* 内の相関名 <name> が、FROM 文節のテーブルまたはビューに相関名 <name> を追加することによって定義されていることを確認してください。

BBOQ0140E Range variable *string1* is undefined for select *string2. (範囲変数 *string1* が選択した *string2** に対して未定義です。)**

説明: SELECT ステートメントの式 <name2>.* は相関名 <name2> を使用して相関されましたが、FROM 文節にはその相関名を持つテーブルは指定されていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 列 <name2>.* 内の相関名 <name1> が、FROM 文節のテーブルまたはビューに相関名 <name1> を追加することによって定義されていることを確認してください。

BBOQ0141E A syntax error was detected while reading (*string1*) on line *string2* at character position *string3*. (文字位置 *string3* の行 *string2* での読み取り (*string1*) 中に、構文エラーが検出されました。)

説明: 指定された SQL ステートメントは無効です。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 正しい構文については、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」の OO-SQL の節を参照してください。

BBOQ0142E Table *string1* is already defined. (テーブル *string1* はすでに定義されています。)

説明: メタデータの処理中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: IBM の担当者に連絡してください。

BBOQ0143E The data type, length or value of argument *string1* is incorrect: *string2*. (引き数 *string1* のデータ・タイプ、長さ、または値が誤っています。 *string2*)

説明: 誤った値 <name1> が引き数としてスカラー関数 <name2> に渡されました。

ユーザーの処置: 正しい構文について「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」の OO-SQL の節を参照して、照会を再実行依頼してください。

BBOQ0144E 修飾子 *_qstring2* に対する列 *_cstring1* の予期したタイプと実際のタイプが一致しません。照会計画を検査してください。

説明: データベース照会によって検索した値が予期したタイプのものではありませんでした。

ユーザーの処置: メタデータを検査してメタデータを実際のデータベース・スキーマと比較し、矛盾を判別してください。メタデータを再ロードして照会を再実行依頼してください。

BBOQ0146E Table *string1* is not defined. (テーブル *string1* が定義されていません。)

説明: 照会で参照されたテーブル <name1> をメタデータで検出できません。

ユーザーの処置: メタデータを検査して照会を再実行依頼してください。

BBOQ0147E The number of projection elements is not equal to the number of columns for view *string1*. (射影エレメントの数が、ビュー *string1* の列数と等しくありません。)

説明: メタデータの処理中に問題が検出されました。マップ・タイプのインプリメンテーションがマップ・タイプのシグニチャーと一致していません。

ユーザーの処置: メタデータを検査して照会を再実行依頼してください。

BBOQ0148E * is only for simple types *string1*. (* は単純なタイプ *string1* のみに使用できます。)

説明: * 演算子が式 <expr> で不適切に使用されています。2 項算術演算子 * のオペランドは、短整数、整数、実数、倍精度、または 10 進数になります。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: オペランドが上記のものであることを確認してください。

BBOQ0150E The query used as projection element for column *string1* in view *string2* cannot have a GROUP BY or HAVING clause. (ビュー *string2* の列 *string1* に対して射影エレメントとして使用された照会は、GROUP BY 文節または HAVING 文節を持つことができません。)

説明: ビュー <name2> で関係を確認するために使用された副照会が、GROUP BY 文節または HAVING 文節を持っています。

ユーザーの処置: 副照会から GROUP BY または HAVING を除去してください。再ロードして照会を再実行依頼してください。

BBOQ0151E The query used as projection element for column *string1* in view *string2* must use NEST. (ビュー *string2* の列 *string1* に対して射影エレメントとして使用された照会は、NEST を使用する必要があります。)

説明: ビュー <name2> の列 <name1> が複数值です。<name1> に結合された副照会はコレクションを戻しません。

ユーザーの処置: NEST 集合関数を使用するように副照会を変更してください。DDL を再ロードして、照会を再実行依頼してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0152E The result of the sub-query of a basic predicate is more than one value. (基本述部の副照会の結果が複数の値になっています。)

説明: SQL ステートメントのコンテキストで、副照会の結果が複数の値になっています。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 副照会の結果が 1 つの値のみになるようにし、式の左側と右側が単一の値になるようにしてください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト

メッセージ -- 照会

指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0154E The SELECT clause of a sub-query specifies multiple columns. (副照会の SELECT 文節が複数の列を指定しています。)

説明: 副照会に複数の射影エレメントが含まれています。

ユーザーの処置: 不要な射影エレメントを除去して、照会を再実行依頼してください。

BBOQ0155E The syntax of the string representation of a datetime value is incorrect: *string1*. (日付時刻値のSTRING表記の構文が誤っています。 *string1*)

説明: 日付または時刻値のSTRING表記が指定または暗黙のデータ・タイプの構文に準拠していません。

ユーザーの処置: 日付または時刻値の構文が、そのデータ・タイプの構文に準拠するようにしてください。STRINGが日付または時刻値として意図されていない場合は、これを使用するときは日付または時刻データ・タイプを暗黙指定していないことを確認してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0156E The subquery that implements the *string1* attribute in type *string2* computes a reference and requires a key based join. (タイプ *string2* の *string1* 属性をインプリメントする副照会は、参照を計算し、キー・ベースの結合を必要としています。)

説明: マップ・タイプ <name2> の属性 <name1> をインプリメントする副照会は、最高でも単一のオブジェクトを戻すためにキー・ベースの結合を必要とします。

ユーザーの処置: 副照会を再作成してキー・ベースの結合を組み込みます。DDL を再ロードして、照会を再実行依頼してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0160E Traversal through non class *string1* is not allowed. (非クラス *string1* を介した走査は許可されていません。)

説明: OO-SQL 照会関数が照会の詳細化を実行中にコマンドが失敗しました。コマンドを処理できません。この問題の原因は、DDL メタデータと IR メタデータの矛盾である可能性があります。

ユーザーの処置: メタデータを検査して、可能性のある矛盾を探してください。DDL を再ロードして、照会を再実行依頼してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0162E Traversal through non class pointer *string1* is not allowed. (非クラス・ポインター *string1* を介した走査は許可されていません。)

説明: OO-SQL 照会関数が照会の詳細化を実行中に、コマンドが失敗しました。コマンドを処理できません。この問題の原因は、DDL メタデータと IR メタデータの矛盾である可能性があります。

ユーザーの処置: メタデータを検査して、可能性のある矛盾を探してください。DDL を再ロードして、照会を再実行依頼してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0163E Table THIS *string1* is only for view types. (テーブル THIS *string1* はビュー・タイプのみで使用できます。)

説明: キーワード THIS が SELECT ステートメントの FROM 文節でテーブル式に使用されていますが、これはビュー・タイプを定義していません。キーワード THIS は、ビュー・タイプが付加される特定のインスタンスを識別するビュー・タイプ本体でのみ使用できます。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: テーブル式の THIS キーワードを除去して、代わりに集合名を提供してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0164E Unresolved column *string1* has been found. (未解決の列 *string1* が検出されました。)

説明: <name> により指定された暗黙的修飾列が FROM 文節のテーブルに属していません。

ユーザーの処置: 列名が存在していることを確認して、列名 <name> を正しい列名で置換し、ステートメントを再実行依頼してください。

BBOQ0166E There are an unequal number of projection elements across UNION SELECT statements. (UNION SELECT ステートメント内に等しくない数の射影エレメントがあります。)

説明: UNION ステートメントの副照会または SELECT ステートメントに指定された射影リストに同じ数の列が含まれていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: UNION ステートメントに指定されたテーブルが UNION と互換性のあること、つまり最低でも同数の列を持っていることを確認してください。

BBOQ0167E Unresolved correlation name *string1* has been found. (未解決の相関名 *string1* が検出されました。)

説明: SELECT 文節の列名が、相関名 <name> を使用して相関されましたが、FROM 文節にはその相関名を持つテーブルは指定されていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 相関名 <name> を適切なテーブルに追加して、照会を再実行依頼してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照

メッセージ -- 照会

してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0168E Type compatibility error has been detected on column *string1* for UNION. (UNION の列 *string1* でタイプ互換性エラーが検出されました。)

説明: UNION ステートメントに指定されたテーブルが UNION 互換ではありません。列 <number> によって指定された列が、UNION ステートメントに関与しているすべてのテーブルについて同じデータ・タイプを持っていません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: 列 <number> によって指定された列が、UNION ステートメント内のすべてのテーブルについて同じデータ・タイプを持つようにしてください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0169E The view definition for *string1* is not a SELECT statement. (*string1* のビュー定義が SELECT ステートメントではありません。)

説明: SELECT 以外のステートメントがビュー定義の作成に使用されています。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: SELECT ステートメントのみを使用してビュー定義を作成してください。詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0170E A view definition missing for *string1*. (*string1* のビュー定義が欠落しています。)

説明: マップ・タイプ <name> にはインプリメンテーションがありません。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: DDL を調べて、誤ったマップ・タイプ・インプリメンテーションを探してください。DDL はオブジェクト・ビルダーによって生成されます。DDL を再ロードして、照会を再実行依頼してください。必要な場合は弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0171E View *string1* has a type mismatch for column *string2*. (ビュー *string1* には列 *string2* とのタイプ・ミスマッチがあります。)

説明: マップ・タイプ <name> に対して列番号 <number> によって指定された列を射影することができません。これは、SELECT 照会の <name> の列 <number> のソース・タイプを、ビュー・リストの列 <number> に指定されたターゲット・タイプにマップできないことが原因です。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: ソース・タイプからターゲット・タイプへのマッピングが正当であることを確認してください。正当なマッピングは以下のとおりです。

ソース・タイプ

ターゲット・タイプ

短整数

短整数、整数、実数 / 浮動数、倍精度、10 進数

ソース・タイプ	ターゲット・タイプ
整数	短整数、整数、実数 / 浮動数、倍精度、10 進数
実数 / 浮動数	短整数、整数、実数 / 浮動数、倍精度、10 進数
倍精度	短整数、整数、実数 / 浮動数、倍精度、10 進数
10 進数	短整数、整数、実数 / 浮動数、倍精度、10 進数
日付	日付、 varchar
時刻	時刻、 varchar
タイム・スタンプ	タイム・スタンプ、 varchar
ビット・データ	ビット・データ
vargraphic	vargraphic
varchar	varchar、 varchar(1)、 vargraphic

詳しくは、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」のオブジェクト指向 SQL の節を参照してください。「DB2 (OS/390 版) V5 SQL 解説書 (SC88-7381)」も参照してください。

BBOQ0172E View *string1* has a type mismatch for column *string2* on *string3*. (ビュー *string1* には *string3* の列 *string2* とのタイプ・ミスマッチがあります。)

説明: マップ・タイプ <name1> の列番号 <number2> によって指定された列を射影することができません。これは、SELECT 照会の <name3> の列 <number2> のソース・タイプを、シグニチャーの列 <number2> に指定されたターゲット・タイプにマップできないことが原因です。ステートメントを処理できません。

ユーザーの処置: マップ・タイプ・インプリメンテーションを訂正してください。DDL を再ロードして、照会を再実行依頼してください。DDL はオブジェクト・ビルダーによって生成されます。必要な場合は弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0177E View type *string1* is undefined. (ビュー・タイプ *string1* が未定義です。)

説明: マップ・タイプ・インプリメンテーションを検索する内部要求が失敗しました。

ユーザーの処置: このエラーの詳細は、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」を参照してください。必要な場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

BBOQ0178E View type *string1* is undefined for column *string2* on *string3*. (ビュー・タイプ *string1* が *string3* の列 *string2* に対して未定義です。)

説明: 列 <number2> の <name1> によって示されるマップ・タイプがメタデータで定義されていません。パス式の処理中にエラーが発生しました。<name3> の処理に必要なメタデータを検索できませんでした。

ユーザーの処置: マップ・タイプ <name1> が DDL メタデータに定義されているかどうかを判別してください。DDL を再ロードして、照会を再実行依頼してください。DDL はオブジェクト・ビルダーによ

メッセージ -- 照会

て生成されます。必要な場合は弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0183W Warning - (警告 -)

説明: 警告メッセージの接頭部です。

ユーザーの処置: ありません。

BBOQ0184W Wrong number of arguments used in function: *string1*. (誤った数の引き数関数で使用されました。 *string1*)

説明: 誤った数の引き数がスカラー関数または集合関数に提供されました。

ユーザーの処置: ストリング引き数を検査してください。正しい構文については、「Component Broker プログラミング解説書 (SD88-7376-00)」の OO-SQL の節を参照してください。

BBOQ0191E *** SQLAccess internal error. (*** SQLAccess の内部エラー。)

説明: DB2 テーブルへのアクセス中に予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 発生したエラーを弊社技術担当者に報告してください。

BBOQ0192W *** SQL error code: *string1*, SQLSTATE: *string2*, command: *string3* Data is not found. dbname: *string4* query: *string5*. (*** SQL エラー・コード: *string1*、SQLSTATE: *string2*、コマンド: *string3* データを検出できません。DB 名: *string4* 照会: *string5*。)

説明: 照会 <name5> の処理時に、DB2 テーブルが空でした。

ユーザーの処置: ありません。

BBOQ0193E *** SQL error code: *string1*, SQLSTATE: *string2*, command: *string3* sqlerrmc: *string4* sqlerrp: *string5*, sqlerrd[0]=*string6* sqlerrd[1]=*string7* dbname: *string8* query: *string9* (*** SQL エラー・コード: *string1*、SQLSTATE: *string2*、コマンド: *string3* sqlerrmc: *string4* sqlerrp: *string5*、sqlerrd[0]=*string6* sqlerrd[1]=*string7* DB 名: *string8* 照会: *string9*)

説明: 照会 <name9> の処理中に DB2 エラーが発生しました。

ユーザーの処置: SQLCODE および SQLSTATE を調べて、エラーの原因を判別してください。問題を修正して、照会を再実行依頼してください。

BBOQ0195E A decimal overflow has occurred: *fstring1* *char2* *fstring3*. (10 進数オーバーフローが発生しました。 *fstring1* *char2* *fstring3*)

説明: 10 進数オペランドの計算中にオーバーフローが発生しました。

ユーザーの処置: 10 進数オペランドが要求されている操作に対して大きすぎないかどうかを検証してください。照会を再実行依頼してください。

BBOQ0196E Invalid cursor state on call to next. (次への呼び出しでカーソル状態が無効になりました。)

説明: コレクションを反復しているときに内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に問題を報告してください。

BBOQ0198E * SQL error code: *string1*, Database connection to '*string2*' is failed.** (** SQL エラー・コード: *string1*, '*string2*' へのデータベース接続が失敗しました。)

説明: 照会コンポーネントはデータベース接続 <name2> を確立できませんでした。SQLCODE は <number1> です。

ユーザーの処置: SQLCODE を検査して失敗の原因を判別してください。問題を訂正して、照会を再実行依頼してください。

BBOQ0199E An error occurred while parsing the implementation of *string1*. (*string1* のインプリメンテーションの構文解析中にエラーが発生しました。)

説明: DDL メタデータ・ファイルにエラーがあります。<name1> に対応するインプリメンテーションがエラーを生成しました。

ユーザーの処置: DDL を検査して、DDL を再ロードしてください。DDL はオブジェクト・ビルダーによって生成されます。必要な場合は弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0201E Internal size of the query string exceeding 8K limit. (照会ストリングの内部サイズが限界値の 8K を超えています。)

説明: 内部照会ストリングのサイズが限界値の 8K を超えていることが検出されました。照会サービスは照会が長すぎるため処理できません。

ユーザーの処置: 内部照会ストリングのサイズが 8K の限界値を超えないように照会を再作成して、照会を再実行依頼してください。

BBOQ0202E Cannot get the metadata for column *string1* (列 *string1* のメタデータを取得できません。)

説明: 指定された列は DDL メタデータ・ファイルに存在しません。

ユーザーの処置: DDL を検査して、列のメタデータが指定されていることを確認してください。メタデータが見つからない場合は、オブジェクト・ビルダーを使用して DDL ファイルを再生成してから、DDL を再ロードしてください。必要な場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOQ0213E Assignment overflow occurred converting long long to long (long long から long への変換中に、割り当てオーバーフローが発生しました。)

説明: SQL ステートメントの処理中に、long long データ・タイプをデータベースにデータを保管するために使用する long データ・タイプに変換しているときにオーバーフロー条件が発生しました。現在 long long は long として持続されているため、long データ・タイプによってサポートされる値の範囲のみを含めることができます。

ユーザーの処置: SQL ステートメントの構文を調べて、エラーの原因を判別してください。データに依存する問題の場合は、エラー発生時に処理されていたデータを検査する必要がある場合があります。

BBOQ0214E Assignment underflow occurred converting long long to long (long long から long への変換中に、割り当てアンダーフローが発生しました。)

説明: SQL ステートメントの処理中に、long long データ・タイプをデータベースにデータを保管するために使用する long データ・タイプに変換しているときにアンダーフロー条件が発生しました。現在 long long は long として持続されているため、long データ・タイプによってサポートされる値の範囲のみを含めることができます。

ユーザーの処置: SQL ステートメントの構文を調べて、エラーの原因を判別してください。データに依存する問題の場合は、エラー発生時に処理されていたデータを検査する必要がある場合があります。

BBOQ0215E 符号なし long long から long への変換中に、割り当てオーバーフローが発生しました。

説明: SQL ステートメントの処理中に、符号なし long long データ・タイプをデータベースにデータを保管するために使用する long データ・タイプに変換しているときにオーバーフロー条件が発生しました。現在符号なし long long は long として持続されているため、long データ・タイプによってサポートされる値の範囲のみを含めることができます。

ユーザーの処置: SQL ステートメントの構文を調べて、エラーの原因を判別してください。データに依存する問題の場合は、エラー発生時に処理されていたデータを検査する必要がある場合があります。

第12章 メッセージ -- 一般

この章では、WebSphere for z/OS の一般メッセージについて説明します。これらのメッセージは、次の場所に出力されます。

- オペレーターのコンソール
- 環境ファイル内の LOGSTREAMNAME で識別されるエラー・ログ (ログ・ストリームがない場合は CERR 内)
- アクティビティ・ログ (ジョブ・ログまたはシステムのハードコピー・ログ)

注: 一部のメッセージは、自動化を使用しているときに特に役立ちます。自動化に関連するメッセージのリストについては、575ページの『付録B. 自動化対応メッセージ』を参照してください。

| **BBOJ0001E Java BO created. (Java BO が作成されました。)**

| **説明:** これは、IVP Java BO から発行されるエラー・メッセージの例です。

| **ユーザーの処置:** ありません。

| **BBOJ0002I Policy number *string* obtained. (ポリシー番号 *string* を取得しました。)**

| **説明:** これは、IVP Java BO から発行される情報メッセージの例です。

| **ユーザーの処置:** ありません。

| **BBOJ0003E WebSphere/390 trace settings file error: *string*. (WebSphere/390 トレース設定ファイル・エラー: *string*)**

| **説明:** サーバーのトレース設定ファイルをロードできませんでした。*string* は、例外情報を示しています。

| **ユーザーの処置:** 例外情報により示された問題を訂正し、サーバーを再始動してください。

| **BBOJ0004E *string* error(s) detected in WebSphere/390 trace settings file. (WebSphere/390 トレース設定ファイルで *string* のエラーが検出されました。)**

| **説明:** サーバーのトレース設定ファイルで 1 つ以上のエラーが検出されました。このエラーは、このサーバー SYSPRINT 出力に書き込まれています。

| **ユーザーの処置:** トレース設定ファイル内のエラーを訂正し、サーバーを再始動してください。

メッセージ -- 一般

| **BBOJ0011I JVM Build is *string*. (JVM Build は *string* です。)**

| 説明: サーバー領域の初期化中に発行される情報メッセージであり、始動されている JVM のビルド・レベルを示します。

| ユーザーの処置: ありません。

BBOJ0012I Successfully registered JNDI name *string* (JNDI 名 *string* が登録されました。)

説明: EJB ホームの JNDI の登録中に発行される情報メッセージであり、JNDI に登録された名前を示します。

ユーザーの処置: ありません。

BBOJ0013I Successfully deregistered JNDI name *string* (JNDI 名 *string* が抹消されました。)

説明: EJB ホームの JNDI の登録抹消中に発行される情報メッセージであり、JNDI から抹消された名前を示します。

ユーザーの処置: ありません。

**BBOU0000I WEBSHERE FOR OS/390 AND Z/OS LICENSED MATERIAL - PROPERTY OF IBM
5655-F31 (C) COPYRIGHT IBM CORP. 2000, 2001 ALL RIGHTS RESERVED. U.S.
GOVERNMENT USERS - RESTRICTED RIGHTS - USE, DUPLICATION, OR
DISCLOSURE RESTRICTED BY GSA-ADP SCHEDULE CONTRACT WITH IBM
CORP. IBM IS A REGISTERED TRADEMARK OF THE IBM CORP.**

説明: IBM の著作権に関する言明です。

ユーザーの処置: ありません。

**BBOU0001I CB SERIES CONTROL REGION *string* IS STARTING. (Component Broker シリーズ
制御領域 *string* を始動しています。)**

説明: Component Broker シリーズ制御領域のアドレス・スペース "string" を始動しています。このアドレス・スペースは、Component Broker 管理エンド・ユーザー・インターフェースでサーバー・インスタンスとして定義されています。

ユーザーの処置: ありません。

**BBOU0002I CB SERIES CONTROL REGION *string* ENDED NORMALLY. (Component Broker シ
リーズ制御領域 *string* は正常に終了しました。)**

説明: Component Broker シリーズ制御領域のアドレス・スペース "string" が正常に終了しました。このアドレス・スペースは、Component Broker 管理エンド・ユーザー・インターフェースでサーバー・インスタンスとして定義されています。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0003E CB SERIES CONTROL REGION *string* ENDED ABNORMALLY, REASON=*hstring*.
(Component Broker シリーズ制御領域 *string* が異常終了しました。REASON=*hstring*)

説明: Component Broker シリーズ制御領域のアドレス・スペース "*string*" が異常終了しました。このアドレス・スペースは、Component Broker 管理エンド・ユーザー・インターフェースでサーバー・インスタンスとして定義されています。

ユーザーの処置: "*hstring*" は、発生した指定の障害を説明するマイナー・コード (第 13 章で説明) です。詳細については、ジョブ・ログまたはシステム・ログで、このメッセージの直前に出されたメッセージを参照してください。

BBOU0004I CB SERIES SERVER *string* IS STARTING. (Component Broker シリーズ・サーバー *string* を始動しています。)

説明: Component Broker シリーズ・アプリケーション・サーバーのアドレス・スペース "*string*" を始動しています。このアドレス・スペースは、Component Broker 管理エンド・ユーザー・インターフェースでサーバー・インスタンスとして定義されています。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0005I CB SERIES SERVER *string* ENDED NORMALLY. (Component Broker シリーズ・サーバー *string* が終了しました。)

説明: Component Broker シリーズ・アプリケーション・サーバーのアドレス・スペース "*string*" が正常に終了しました。このアドレス・スペースは、Component Broker 管理エンド・ユーザー・インターフェースでサーバー・インスタンスとして定義されています。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0006E CB SERIES SERVER *string* ENDED ABNORMALLY, REASON=*hstring*. (Component Broker シリーズ・サーバー *string* が異常終了しました。REASON=*hstring*)

説明: Component Broker シリーズ・アプリケーション・サーバーのアドレス・スペース "*string*" が異常終了しました。このアドレス・スペースは、Component Broker 管理エンド・ユーザー・インターフェースでサーバー・インスタンスとして定義されています。

ユーザーの処置: "*hstring*" は、発生した指定の障害を説明するマイナー・コード (第 13 章で説明) です。詳細については、ジョブ・ログまたはシステム・ログで、このメッセージの直前に出されたメッセージを参照してください。

BBOU0007I CB SERIES DAEMON *string* IS STARTING. (Component Broker シリーズ・デーモン *string* を始動しています。)

説明: Component Broker シリーズ・デーモンのアドレス・スペースを始動しています。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0008I CB SERIES DAEMON *string* ENDED NORMALLY.

説明: Component Broker シリーズ・デーモンのアドレス・スペースが正常に終了しました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0009E CB SERIES DAEMON *string* ENDED ABNORMALLY, REASON=*hstring*.

説明: Component Broker シリーズ・デーモンのアドレス・スペースが異常終了しました。

ユーザーの処置: "*hstring*" は、発生した指定の障害を説明するマイナー・コード (第 13 章で説明) です。詳細については、ジョブ・ログまたはシステム・ログで、このメッセージの直前に出されたメッセージを参照してください。

BBOU0010I INITIALIZATION COMPLETE.

説明: Component Broker シリーズのアドレス・スペースの初期化が完了しました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0011W The function *string+dstring* raised CORBA system exception *string*. (関数 *string+dstring* で CORBA システム例外 *string* が発生しました。) Error code is *hstring*. (エラー・コードは *hstring* です。)

説明: Component Broker シリーズで異常な状況が確認され、示された CORBA システム例外が発生しました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。関連メッセージがない場合には、Component Broker シリーズ・エラー・コードについての説明がある節 (本文中) を参照してください。Component Broker シリーズのエラー・コードに関する節に説明がない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0012W The function *string+dstring* received CORBA system exception *string*. (関数 *string+dstring* が CORBA システム例外 *string* を受け取りました。) Error code is *hstring*. (エラー・コードは *hstring* です。)

説明: Component Broker シリーズは、示された CORBA システム例外をキャッチしました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。関連メッセージがない場合には、Component Broker シリーズ・エラー・コードについての説明がある節 (本文中) を参照してください。Component Broker シリーズのエラー・コードに関する節に説明がない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0013W The function *string+dstring* raised a user exception *string*. (関数 *string+dstring* でユーザー例外 *string* が発生しました。)

説明: Component Broker シリーズで異常な状況が確認され、示された CORBA ユーザー例外が発生しました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。関連メッセージがない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0014W The function *string+dstring* received a user exception *string*. (関数 *string+dstring* でユーザー例外 *string* を受け取りました。)

説明: Component Broker シリーズは、示された CORBA ユーザー例外をキャッチしました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。関連メッセージがない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0015W The function *string+dstring* received an unexpected exception. (関数 *string+dstring* が予期しない例外を受け取りました。)

説明: Component Broker シリーズは、予期しないエラーをキャッチしました。これは、CORBA::SystemException および CORBA::UserException の値として CORBA に定義されている値 (オブジェクト・インスタンス) 以外の値のスローがアプリケーションから発行されたことが原因です。たとえば、アプリケーションからスロー・エラーが発行され、エラーのタイプが int でした。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。関連メッセージがない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0016I INITIALIZATION COMPLETE FOR DAEMON *string*.

説明: 示された Component Broker シリーズ・デーモンの初期化が完了しました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0017W TOO MANY INPUT PARAMETERS SPECIFIED.

説明: 現在のプログラムに渡されたパラメーターの数が多すぎました。パラメーターの最大数は 19 です。これらのパラメーターは、障害が発生しているアドレス・スペースの JCL の PGM= statement によって指し示されるプログラムを参照しています。

ユーザーの処置: プログラムに渡されるパラメーターの数を 19 以下に変更してください。

BBOU0018E ORBSRVNAME PARAMETER WAS NOT SPECIFIED.

説明: 現在のプログラム用として、ORBSrvname パラメーターまたは値が指定されていません。

ユーザーの処置: プログラムに ORBSrvname <value> が渡されるように、プログラム・パラメーターを変更してください。

BBOU0019I Attempting retry in current thread (*hstring* *hstring*). (現在のスレッド (*hstring* *hstring*) で再試行しています。)

説明: Component Broker シリーズはシグナル・ハンドラーで制御を受け取り、エラーを再試行しようとしています。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0020I INITIALIZATION COMPLETE FOR CB SERIES CONTROL REGION *string*.

説明: 示された Component Broker シリーズ制御領域のアドレス・スペースの初期化が完了しました。このアドレス・スペースは、Component Broker Administration エンド・ユーザー・インターフェースでサーバー・インスタンスとして定義されています。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0021I INITIALIZATION COMPLETE FOR CB SERIES SERVER *string*.

説明: 示された Component Broker シリーズ・アプリケーション・サーバーのアドレス・スペースの初期化が完了しました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0022E Assertion failed: '*string*', file *string*, line *dstring*. (代入が失敗しました。'*string*'、ファイル *string*、行 *dstring*。)

説明: 上記の代入が失敗しました。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0023W The function *string+dstring* rethrew CORBA system exception *string*. (関数 *string+dstring* が CORBA システム例外 *string* を再スローしました。) Error code is *hstring*. (エラー・コードは *hstring* です。)

説明: Component Broker シリーズで異常な状況が確認され、示された CORBA システム例外がキャッチされ、再スローされました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。関連メッセージがない場合には、Component Broker シリーズ・エラー・コードについての説明がある節 (本書中) を参照してください。Component Broker シリーズのエラー・コード

ドに関する節に説明がない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0024W The function *string+dstring* rethrew user exception *string*. (関数 *string+dstring* がユーザー例外 *string* を再スローしました。)

説明: Component Broker シリーズで異常な状況が確認され、示された CORBA ユーザー例外がキャッチされ、再スローされました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。関連メッセージがない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0025I ERRORS WILL BE WRITTEN TO *string string*.

説明: Component Broker シリーズは、示されたりポジトリーをエラーのロギング用として使用します。ファイル・リポジトリーの場合、ファイルは BBOERROR DD の指定に基づいて取得されます。この指定がない場合、システム・ロガー・ストリームが指定されているときは、ログ・ストリームがエラーのロギングに使用されます。指定されたファイルまたはログ・ストリームにロギングを行えない場合は、CERR がエラーのロギングに使用されます。デフォルトでは、CERR は SYSOUT と等価です。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0031W Unable to use specified language of *string*. (指定された言語 *string* を使用できません。) Defaulted to use language ENUS (English US). (ENUS (米国英語) を使用するようにデフォルト設定されました。)

説明: Component Broker シリーズは、指定された言語を使用できませんでした。Component Broker シリーズは、名前 BBOxxxx (xxxx は *string* で示された言語) により dll をロードしようとしたましたが、この dll のロードが失敗しました。Component Broker シリーズは、デフォルトの言語である ENUS を代わりに使用しました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0032W The *string* DLL for messages could not be loaded. (メッセージ用の *string* DLL をロードできませんでした。) Check your STEPLIB to ensure it can be located. (STEPLIB を調べて、この DLL があることを確認してください。)

説明: Component Broker シリーズは、指定された dll をロードできませんでした。

ユーザーの処置: 指定された dll が、このプロセスの実行パスに含まれていることを確認してください。含まれていない場合は、実行パス (STEPLIB、JOBLIB、LPA、リンク・リスト、またはパス) に dll を追加してください。

BBOU0033E Function 'MsgRetrieve()' not exported. (関数 'MsgRetrieve()' はエクスポートされませんでした。) Check your STEPLIB to ensure it can be located. (STEPLIB を調べて、この関数があることを確認してください。)

説明: Component Broker シリーズは、指定された関数をメッセージ dll にロードできませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ dll が、このプロセスの実行パスに含まれていることを確認してください。含まれていない場合は、実行パス (STEPLIB、JOBLIB、LPA、またはリンク・リスト) にメッセージ dll を追加してください。

BBOU0034E CONTROL REGION UNABLE TO GET INTO SUPERVISOR STATE.

説明: Component Broker シリーズ・サーバーは、監視プログラム状態にモードを設定できませんでした。おそらく、Component Broker シリーズ製品が正しくインストールされていないことが原因です。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズ製品が正しくインストールされていることを確認してください。領域が PPT に登録されていない可能性があります。SCHEDxx PARMLIB メンバーが「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の説明に従って適切に修正されていることを確認してください。製品が正しくインストールされている場合、問題が解消しないときは、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0035W Processing for signal '*string*' (*dstring*), in current thread (*hstring hstring*). (現在のスレッド (*hstring hstring*) で、シグナル '*string*' (*dstring*) のための処理を行います。)

説明: Component Broker シリーズは、シグナルに対応する制御を受け取りました。

ユーザーの処置: メッセージを確認して、問題の解決方法を判別してください。追加のメッセージがない場合、シグナルは処理されてスレッドの処理が続行されています。この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0036W Processing for signal '*string*' (*dstring*) with *string* , in current thread (*hstring hstring*). (現在のスレッド (*hstring hstring*) で、*string* を持つシグナル '*string*' (*dstring*) のための処理を行います。)

説明: Component Broker シリーズは、シグナルに対応する制御、および追加情報を受け取りました。追加情報は、元の異常終了コード (abendcode 値)、元の異常終了理由コード (rsncode 値)、シグナル・コード (文字または 10 進数による si_code 値)、エラー番号 (si_errno 値)、またはエラーのあったアドレス (si_addr value) のいずれか、またはこれらの組み合わせです。

ユーザーの処置: クライアントを実行しているシステムでデーモンが始動されていることを確認してください。異常終了については、エラーが発生しているサービスに関するメッセージおよびコードの資料を参照してください。Component Broker については、「WebSphere for OS/390 Component Broker Messages and Diagnosis」を参照してください。その他のシグナル・タイプについては、「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」でシグナルに関する資料を確認してください。追加のメッセージがない場合、シグナルは処理されてスレッドの処理が続行されています。この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0037W Terminating the current thread (*hstring hstring*), REASON=*hstring*. (現在のスレッド (*hstring hstring*) を終了します。REASON=*hstring*。)

説明: Component Broker シリーズは、現在のプロセス (アドレス・スペース) で、現在のスレッドの終了処理を行っています。

ユーザーの処置: このプロセスが終了した理由については、直前のメッセージを参照してください。この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0038W TERMINATING THE CURRENT PROCESS, REASON=*hstring*.

説明: Component Broker シリーズは、現在のプロセス (アドレス・スペース) の終了処理を行っています。

ユーザーの処置: このプロセスが終了した理由については、直前のメッセージを参照してください。この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0039E ADDRESS SPACE CREATE SERVICE (ASCRES) FAILED FOR PROCEDURE '*string*' WITH RC=*dstring*, REASON=*dstring*. (プロシージャ '*string*' のアドレス・スペース作成サービス (ASCRES) が失敗しました。RC=*dstring*、REASON=*dstring*。)

説明: Component Broker シリーズは、アドレス・スペース作成サービス (ASCRES) の呼び出しに失敗しました。障害のあったプロシージャ名 (PROC)、戻りコード (10 進数)、および理由コード (10 進数) が示されています。

ユーザーの処置: 示されたプロシージャが SYS1.PROCLIB (またはこれに相当するもの) にあることを確認してください。戻りコードおよび理由コードの説明については、「OS/390 MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」で、ASCRES サービスに関する記述を参照してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0040E FUNCTION *string* FAILED WITH RC=*dstring*. (関数 *string* が失敗しました。RC=*dstring*。)

説明: メッセージに示されているとおり、Component Broker シリーズが失敗し、関数が RC で示された 10 進数の戻りコードで終了しました。

ユーザーの処置: 「OS/390 C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」、「OS/390 MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書」、「OS/390 MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」、「OS/390 SecureWay Security Server LDAP サーバー 管理および使用の手引き」、またはその他の該当する OS/390 資料で、該当する関数について記述されている個所を探し出し、このエラーについての説明を参照してください。問題を訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0041E Function *string* failed with RC=*dstring*, REASON=*hstring*. (関数 *string* が失敗しました。RC=*dstring*、REASON=*hstring*。)

説明: メッセージに示されているとおり、Component Broker シリーズが失敗し、関数が RC で示された 10 進数の戻りコードおよび REASON で示された 16 進数の理由コードで終了しました。

ユーザーの処置: 「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」、「OS/390 MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書」、「OS/390 MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」、「OS/390 SecureWay Security Server LDAP サーバー 管理および使用の手引き」、またはその他の該当する OS/390 資料で、示された関数について記述されている個所を探し出し、このエラーについての説明を参照してください。問題を訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0042E Function *string* failed with RC=*dstring*, REASON=*hstring*, EXTENDED REASON=*hstring*. (関数 *string* が失敗しました。RC=*dstring*、REASON=*hstring*、EXTENDED REASON=*hstring*。)

説明: メッセージに示されているとおり、Component Broker シリーズが失敗し、RC で示された 10 進数の戻りコード、REASON で示された 16 進数の理由コード、および EXTENDED REASON で示された 16 進数の拡張理由で関数が終了しました。

ユーザーの処置: 「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」、「OS/390 MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書」、「OS/390 MVS Programming: Authorized Assembler Services」またはその他の該当する OS/390 資料で、示された関数について記述されている個所を探し出し、このエラーについての説明を参照してください。エラーを訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0043E Function *string* failed with RV=*dstring*, RC=*dstring*, RSN=*hstring*, [*string*]. (関数 *string* が失敗しました。RV=*dstring*、RC=*dstring*、RSN=*hstring*, [*string*]。)

説明: Component Broker シリーズが、示された関数を発行し、この関数が RV で示された 10 進数の戻り値、RC で示された 10 進数の戻りコード、および RSN で示された 16 進数の理由コードで終了しました。

ユーザーの処置: 戻り値および戻りコードの説明については、「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」または「UNIX システム・サービス メッセージおよびコード」を参照してください。エラーを訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0044E Function *string* failed with RV=*dstring*, RC=*dstring*, RSN=*hstring*, [*string*] (関数 *string* が失敗しました。RV=*dstring*、RC=*dstring*、RSN=*hstring*, [*string*]。)

説明: Component Broker シリーズが、示された関数を発行し、この関数が RV で示された 10 進数の戻り値、RC で示された 10 進数の戻りコード、および RSN で示された 16 進数の理由コードで終了しました。TCPIP は実行中ではありません。

ユーザーの処置: 戻り値およびコードの説明については、「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」または「UNIX システム・サービス メッセージおよびコード」を参照してください。エラーを訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0045E Function *string* failed with RV=*dstring*, RC=*dstring*, RSN=*hstring*, [*string*]. (関数 *string* が失敗しました。RV=*dstring*、RC=*dstring*、RSN=*hstring*、[*string*]。)

説明: Component Broker シリーズが、示された関数を発行し、この関数が RV で示された 10 進数の戻り値、RC で示された 10 進数の戻りコード、および RSN で示された 16 進数の理由コードで終了しました。

ユーザーの処置: 戻り値およびコードの説明については、「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」または「UNIX システム・サービス メッセージおよびコード」を参照してください。エラーを訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0046E Function *string* failed with RV=*dstring*, RC=*dstring*, RSN=*hstring*, [*string*]. (関数 *string* が失敗しました。RV=*dstring*、RC=*dstring*、RSN=*hstring*、[*string*]。)

説明: Component Broker シリーズが、示された関数を発行し、この関数が RV で示された 10 進数の戻り値、RC で示された 10 進数の戻りコード、および RSN で示された 16 進数の理由コードで終了しました。

ユーザーの処置: 戻り値およびコードの説明については、「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」または「UNIX システム・サービス メッセージおよびコード」を参照してください。エラーを訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0047E Server session failed with invalid foreign host *sin_addr*=*hstring*. (サーバー・セッションが、無効な外部ホスト *sin_addr*=*hstring* で失敗しました。)

説明: Component Broker シリーズは、クライアントとのセッションを確立しようとしたのですが、ドット区切りのインターネット・プロトコル・アドレスを *sin_addr* から取得できませんでした。

ユーザーの処置: コードの説明については、「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」を参照してください。クライアントのアドレス情報を訂正してください。

BBOU0048E Invalid parameter [*string*] passed to *string*. (無効なパラメーター [*string*] が *string* に渡されました。)

説明: Component Broker シリーズは示されたパラメーターを受け取りましたが、示された関数はこのパラメーターを認識できませんでした。

ユーザーの処置: 呼び出し中の関数に関するプログラミング・ガイドを参照してください。パラメーター

メッセージ -- 一般

の指定を訂正し、プログラムを再実行してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0050E Class/method *string::string* not implemented. (クラス / メソッド *string::string* がインプリメントされていません。)

説明: 示されたクラスは示されたメソッドを含んでいますが、このメソッドがインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスのオブジェクトのインスタンスについては、このメソッドを呼び出さないでください。

BBOU0051E Internal communications error: REASON=*hstring*. (内部通信エラー: REASON=*hstring*)

説明: Component Broker シリーズで通信エラーが発生しました。

ユーザーの処置: このエラーの説明については、Component Broker シリーズ・エラー・コードの節 (本書中) を参照してください。Component Broker シリーズのエラー・コードに関する節に説明がない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0052E Internal failure, REASON=*hstring*. (内部エラー。REASON=*hstring*。)

説明: 内部エラーが発生し、Component Broker シリーズが失敗しました。

ユーザーの処置: このエラーの説明については、Component Broker シリーズ・エラー・コードの節 (本書中) を参照してください。Component Broker シリーズのエラー・コードに関する節に説明がない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0054E Internal failure, REASON=*hstring*, EXTENDED REASON=*hstring*. (内部エラー。REASON=*hstring*、EXTENDED REASON=*hstring*。)

説明: 内部エラーが発生し、Component Broker シリーズが失敗しました。

ユーザーの処置: このエラーの説明については、Component Broker シリーズ・エラー・コードの節 (本書中) を参照してください。Component Broker シリーズのエラー・コードに関する節に説明がない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0055E Function *string* failed with errno=*dstring* [*string*]. (関数 *string* が失敗しました。errno=*dstring* [*string*]。)

説明: メッセージに示されているとおり、Component Broker シリーズが失敗し、関数が `errno` で示された 10 進数の戻りコードで終了しました。中括弧内のストリングは、`errno` についての説明です。

ユーザーの処置: 「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」、「OS/390 MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書」、「OS/390 MVS Programming: Authorized Assembler Services」またはその他の該当する OS/390 資料で、示された関数について記述されている個所を探し出し、このエラーについての説明を参照してください。問題を訂正してください。問題が解消しない場合

は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0058E SYSBBOSS TRACE REQUEST FAILED.OPTIONS ARE NOT ALLOWED.

説明: システムは、SYSBBOSS コンポーネントのトレース要求をリジェクトしました。TRACE コマンドにオプションが指定されていますが、WTR オプション以外のオプションを指定することはできません。

ユーザーの処置: オプションを指定せずに、あるいは WTR オプションを指定して、TRACE コマンドを再度入力してください。

BBOU0067E Internal Error: Could not get NamingContext *string*. (内部エラー: NamingContext *string* を取得できませんでした。)

説明: LifeCycle フレームワークは、LifeCycle リポジトリの一部にアクセスする必要がありましたが、これに失敗しました。LifeCycle リポジトリの一部が壊れている可能性があります。発生した問題は、このメッセージが発行された Component Broker ドメイン以外のシステムに関連している可能性があります。

ユーザーの処置: アクセスできなかった NamingContext の名前は、メッセージ・テキストに示されています。この名前を使用して問題が発生しているマシンを突き止め、システム管理機能を使って LifeCycle リポジトリの該当部分を再作成してください。

BBOU0070W CB SERIES COMPONENT TRACE MAY HAVE LOST ENTRIES.

説明: Component Broker シリーズ管理者が Component Broker シリーズ・コンポーネント・トレースを開始しました (あるいは、デフォルトでトレースが開始されました)。コンポーネント・トレースの外部ライターがエントリーを取り込む前に、Component Broker シリーズが古いエントリーの一部をオーバーレイしました。次のいずれかの理由により、システムはトレース・エントリーをデータ・セットに書き込むことができませんでした。

1. オペレーターが外部ライターを開始した後で、Component Broker シリーズ・コンポーネント・トレースが外部ライターに接続されました。
2. システムがトレース・データ・セットにトレース・エントリーの書き込みを終える前に、トレース・バッファがいっぱいになり、Component Broker シリーズがこれを再使用しました。これにより、一部の古いトレース・エントリーが失われました。

Component Broker シリーズ・コンポーネント・トレースは続行します。古いトレース・エントリーは、新しいトレース・エントリーによって引き続きオーバーレイされます。

ユーザーの処置: トレース・バッファ・サイズの指定を変更するか、次の要求に使用するトレース・バッファの番号を変更してください。

BBOU0071W Incorrect specification of *string*, request is *dstring*. (要求 *dstring* の *string* の指定が無効です。) Using default of *dstring*. (デフォルトの *dstring* を使用します。)

説明: 示されたパラメーターについて、ユーザーが指定した値が無効です。指定された値の代わりに、示されたデフォルト値が使用されました。

ユーザーの処置: 指定を有効な値に変更してください。

BBOU0072E Local comm call *string* failed with RV=*dstring*, RC=*dstring*, RSN=*hstring*, [*string*]. (ローカル通信呼び出し *string* が失敗しました。RV=*dstring*、RC=*dstring*、RSN=*hstring*, [*string*].)

説明: ローカル IOP 処理で内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: RV 値および RC 値を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0074E CB Series IKeyStreamFactory terminated for Server. (サーバーに対する Component Broker シリーズ IKeyStreamFactory が終了しました。)

説明: サーバーに対する IKeyStreamFactory 関数を終了する、IKeyStreamFactory の Destructor メソッドが発行されました。

ユーザーの処置: IKeyStreamFactory 関数を復元するには、サーバーを始動してください。

BBOU0076E CB Series IM_GTIDFactory terminated for Server. (サーバーに対する Component Broker シリーズ IM_GTIDFactory が終了しました。)

説明: サーバーに対する IM_GTIDFactory 関数を終了する、IM_GTIDFactory の Destructor メソッドが発行されました。

ユーザーの処置: IM_GTIDFactory 関数を復元するには、サーバーを始動してください。

BBOU0080E The readKeyComponent operation on an IKeyStream object failed. (IKeyStream オブジェクトに対する readKeyComponent 操作が失敗しました。)

説明: IKeyStream オブジェクトに対する readKeyComponent 操作が失敗しました。操作が失敗した理由は、IKeyStream の Key Data がなくなったためです。

ユーザーの処置: IKeyStream オブジェクトの内容を確認し、プログラムを再実行してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0081E DCE/SAF initialization failed. (DCE/SAF。初期化が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*, RACF 戻りコード = *dstring*, RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: 初期化中に、Component Broker は、RACF ユーザー・プロファイルの DCE セグメントから DCE 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: 詳しくは、付加的な Component Broker メッセージを参照してください。これらのコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0082E DCE intialization failed. (DCE。初期化が失敗しました。) Internal error: *dstring*. (内部エラー: *dstring*。)

説明: 内部エラーが検出されました。表示される診断コードは、弊社営業担当員にサポートを要求する際に使用します。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0083E DCE initialization failed. (DCE。初期化が失敗しました。) Setup problem detected: *string*. (検出されたセットアップ上の問題: *string*。)

説明: 初期化中にエラーが検出されましたが、このエラーは DCE 構成エラーに関連しています。メッセージ・テキストは、構成エラーの発生元を示します。

ユーザーの処置: このメッセージの情報およびその他の Component Broker エラー・メッセージの情報を使用して、構成エラーを訂正してください。

BBOU0084E DCE initialization failed. (DCE。初期化が失敗しました。) DCE API: *string*. Code(hex)= *hstring*.

説明: 特定の DCE API が失敗しました。

ユーザーの処置: エラーの説明については、「OS/390 OpenEdition DCE アプリケーション開発解説書」を参照してください。DCE から報告されたエラーがないかを確認してください。

BBOU0085E Internal daemon error: REASON=*hstring*. (内部デーモン・エラー: REASON=*hstring*)

説明: Component Broker シリーズでデーモン・エラーが発生しました。

ユーザーの処置: このエラーの説明については、Component Broker シリーズ・エラー・コードの節 (本書中) を参照してください。Component Broker シリーズのエラー・コードに関する節に説明がない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0086E CBIND CHECK FAILED WITH SAF RETURN CODE=*hstring*, RACF RETURN CODE=*hstring*, RACF REASON CODE=*hstring*. (CBIND 検査が失敗しました。SAF 戻りコード =*hstring*、RACF 戻りコード =*hstring*、RACF 理由コード =*hstring*。)

説明: CBIND クラスに対して RACF 検査を実行しましたが、これが失敗しました。

ユーザーの処置: SAF および RACF の戻りコードと理由コードを確認し、これに従って RACF データベースを更新してください。CBIND クラスに関する情報については、「ACF Messages and Codes」、
「OS/390 Security Server (RACF) マクロおよびインターフェース」、
「OS/390 Security Server (RACF) システム・プログラマーのガイド」を参照してください。参考資料:「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

BBOU0087E IM Reference Collection Element Table Operation failed. (IM 参照コレクション・エレメント・テーブル操作が失敗しました。)

説明: インスタンス・マネージャーの参照コレクション・テーブルに対する操作が失敗しました。

ユーザーの処置: テーブルの内容を確認してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0088I An error occurred in EXEC SQL. (EXEC SQL でエラーが発生しました。) The description returned from the DSNTIAR service is: *string*: (DSNTIAR サービスから戻された記述は *string* です。)

説明: EXEC SQL から非ゼロの結果が戻りました。

ユーザーの処置: DB2 の解説書を参照して、適切な処置を取ってください。

BBOU0089W THE DB2 DSNTIAR SERVICE COULD NOT BE FETCHED.A DETAILED DESCRIPTION OF SQLCODE COULD NOT BE OBTAINED.

説明: DSNTIAR モジュールを取り出そうとしましたが、失敗しました。SQL エラー・コードの詳細は取得できませんでした。

ユーザーの処置: DSNTIAR モジュールは、DB2 SDSNLOAD データ・セットに含まれています。このデータ・セットが、このプロセスの実行パス (STEPLIB、JOBLIB、LPA、またはリンク・リスト) に含まれていることを確認してください。

BBOU0090I Attributes were not changed, data store not changed. (属性は変更されていません。データ・ストアは変更されませんでした。)

説明: データ・オブジェクトに対して、データ・ストアの更新が要求されましたが、属性が変更されていませんでした。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0091W Key values were not set, data store not changed. (キー値が設定されていません。データ・ストアは変更されませんでした。)

説明: データ・オブジェクトに対して、データ・ストアの更新が要求されましたが、KEY 値が設定されていませんでした。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0092E CLASS MANAGER FAILED TO LOAD DLL *string*.

説明: クラス・マネージャーは、指定された DLL をロードできませんでした。指定された DLL の入っているデータ・セットが、要求を処理しているサーバー領域用の STEPLIB に含まれていない可能性があります。

ユーザーの処置: 技術担当者または 弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0093W CLASS MANAGER FAILED TO FIND CLASS *string* IN THE CLASS LIST. (クラス・マネージャーは、クラス・リストでクラス *string* を見つけることができませんでした。)

説明: クラス・マネージャーは、指定されたクラスを、サーバーでサポートされているクラス・リストで見つけることができませんでした。クラスが見つからないことが問題となっている場合は、クラス・マネージャー・サービスの呼び出し元によって例外がスローされています。呼び出し元が例外をスローした場合は、このクラスが含まれているアプリケーションが正しく定義されていないか、サーバーにインストールされていません。

ユーザーの処置: 例外が発生しなかった場合は、警告を無視してください。後続の例外が発生した場合は、システム管理の GUI を使用して、サーバーにインストールされている、例外が発生したアクティブ・アプリケーションを表示してください。該当するクラスがサポートされていることが GUI に示された場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0094E CLASS MANAGER FAILED TO FIND FACTORY FUNCTION *string* IN DLL *string*.

説明: クラス・マネージャーは、ファクトリー関数に使用するアドレスを取得しようとしたましたが、失敗しました。これは、アプリケーション・プロバイダーがクラスを正しくインストールしていないことが原因の可能性があります。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0095E CONTEXT SERVICE '*string*' FAILED WITH RETURN CODE=*hstring*. (コンテキスト・サービス '*string*' が失敗しました。戻りコード =*hstring*。)

説明: Component Broker シリーズは示されたコンテキスト・サービスに失敗し、このサービスは、示された 16 進数の戻りコードで終了しました。

ユーザーの処置: コンテキスト・サービスの戻りコードについては、「MVS プログラミング: リソース・リカバリー」を参照してください。

BBOU0096E initACEE (IRRSIA00) failed for MVS Userid: *string*, with SAF Return Code=*dstring*, RACF Return Code=*dstring*, RACF Reason Code=*dstring*. (MVS Userid: *string* について、initACEE (IRRSIA00) が失敗しました。SAF 戻りコード =*dstring*、RACF 戻りコード =*dstring*、RACF 理由コード =*dstring*。)

説明: initACEE 呼び出し可能セキュリティー・サービスは、示された MVS ユーザー ID について、示された 10 進数の戻りコードおよび理由コードで失敗しました。

ユーザーの処置: initACEE (IRRSIA00) の戻りコードについては、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」、または該当するセキュリティー製品の解説書を参照してください。initACEE サービスの戻りコードおよび理由コードについては、initACEE について記載されている、「OS/390 Security Server (RACF) セキュリティー管理者のガイド」および「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」などの Security Server 関連資料を参照してください。参考資料:「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス (GC88-6546)」。

BBOU0097W Deletion of a RACO failed. (RACO の削除に失敗しました。)

説明: RACO 用のストレージの解放に失敗しました。

ユーザーの処置: このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0098E RACLIST of class, *string*, failed with SAF Return Code=*hstring*, RACF Return Code=*hstring*, RACF Reason Code=*hstring*. (クラス *string* の RACLIST が失敗しました。SAF 戻りコード=*hstring*、RACF 戻りコード =*hstring*、RACF 理由コード =*hstring*。)

説明: RACROUTE REQUEST=LIST が失敗しました。

ユーザーの処置: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書」を参照して、理由を確認してください。適切な SETROPTS コマンドを発行して、問題を解決してください。

BBOU0099E DOWN-LEVEL SECURITY PRODUCT FOUND.

説明: 一部の initACEE (IRRSIA00) には、レベル 2.6.0 のセキュリティー製品が必要です。

ユーザーの処置: セキュリティー製品をアップグレードしてください。

BBOU0100E RACROUTE REQUEST=EXTRACT for *string* failed with SAF Return Code=*hstring*, RACF Return Code=*hstring*, RACF Reason Code=*hstring*. (*string* の RACROUTE REQUEST=EXTRACT が失敗しました。SAF 戻りコード =*hstring*、RACF 戻りコード =*hstring*、RACF 理由コード =*hstring*。)

説明: RACROUTE REQUEST=EXTRACT の呼び出しが、示された 16 進数の戻りコードおよび理由コードで失敗しました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に出力される戻りコードおよび理由コードについて、「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書」で確認してください。この問題を技

術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0101W AUTOMATIC RESTART MANAGER (IXCARM) SERVICE 'string'
WARNING/FAILURE, RC=*hstring* REASON=*hstring*. (自動再始動マネージャー (IXCARM)
サービス '*string*' の警告 / 障害です。RC=*hstring*、REASON=*hstring*。)

説明: メッセージに示されているとおり、Component Broker シリーズが自動再始動マネージャー (IXCARM) サービスで問題を検出し、このサービスが RC で示された 16 進数の戻りコードおよび REASON で示された 16 進数の理由コードで終了しました。

ユーザーの処置: IXCARM サービスの戻りコードについては、「OS/390 MVS プログラミング: システム・サービス解説書」を参照してください。

BBOU0102E THE OPERATION *string* IS NOT SUPPORTED BY THE DISPATCH METHOD.

説明: dispatch メソッドが戻りましたが、この操作は実行されませんでした。

ユーザーの処置: サーバーが、要求された操作をサポートするバージョンの xxxxxxxs_S.cpp ファイルを持つクラス用の DLL を使って実行されていることを確認してください。

BBOU0103I PROXYFACTORY *string* WAS NOT FOUND.

説明: Component Broker シリーズ ORB は入力クラス名に対応するプロキシ・オブジェクトを作成しようとしたが、このクラスのファクトリーがありませんでした。

ユーザーの処置: このサーバーに、クラス名が格納されているアプリケーションが正しくインストールされていることを確認してください。

BBOU0104I OBJECT LEVEL TRACE (OLT) DLL WAS LOADED SUCCESSFULLY.

説明: Component Broker シリーズ OLT DLL がロードされました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0105E Function *string* failed with RC=*dstring*, RSN=*dstring*, [*string*].(関数 *string* が失敗しました。RC=*dstring*、RSN=*dstring*, [*string*]。)

説明: Component Broker シリーズが、示された関数を発行し、この関数が RC で示された 10 進数の戻りコードおよび RSN で示された 10 進数の理由コードで終了しました。最後のフィールドは、追加情報を示すメッセージ・ストリングです。

ユーザーの処置: 戻り値および戻りコードの説明については、「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」または「UNIX システム・サービス メッセージおよびコード」を参照してください。エラーを訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0106E An invalid value for the *string* parameter was passed to *string*. (*string* に渡された *string* パラメーター値が無効です。)

説明: 示されたメソッドに、示されたパラメーターの無効な値が渡されました。渡された値は、最大許容長を超えていました。

ユーザーの処置: 呼び出し中の関数に関するプログラミング・ガイドを参照してください。パラメーターの指定を訂正し、プログラムを再実行してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0107W The function *string+dstring* raised an exception *string*. (関数 *string+dstring* で例外 *string* が発生しました。) **Additional data: *string*. (追加データ: *string*)**

説明: Component Broker シリーズで異常な状況が確認され、示された CORBA ユーザー例外が発生しました。例外に関連する追加データも示されています。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。示された関数の例外についての説明も参照してください。関連メッセージがない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0108E 'gss_init_sec_context' failed building outbound security context: Major Code: *hstring*, MinorCode: *hstring*. ('gss_init_sec_context' は、アウトバウンド・セキュリティ・コンテキストの作成に失敗しました。メジャー・コード: *hstring*、マイナー・コード: *hstring*。)

説明: `gss_init_sec_context` の呼び出しが失敗しました。DCE セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: 状況コードを検査して、DCE が正しく設定されていることを確認してください。

BBOU0109E 'gss_import_name' failed while building outbound security context: Major Code: *hstring*, Minor Code: *hstring*. ('gss_import_name' は、アウトバウンド・セキュリティ・コンテキストの作成中に失敗しました。メジャー・コード: *hstring*、マイナー・コード: *hstring*。)

説明: `gss_import_name` の呼び出しが失敗しました。DCE セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: 状況コードを検査して、DCE が正しく設定されていることを確認してください。

BBOU0110E 'gss_get_mic' failed while building outbound security context: Major Code: *hstring*, Minor Code: *hstring*. ('gss_get_mic' は、アウトバウンド・セキュリティ・コンテキストの作成中に失敗しました。メジャー・コード: *hstring*、マイナー・コード: *hstring*。)

説明: `gss_get_mic` の呼び出しが失敗しました。DCE セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: 状況コードを検査して、DCE が正しく設定されていることを確認してください。

BBOU0111E COULD NOT LOAD OBJECT LEVEL TRACE DLL.

説明: オブジェクト・レベル・トレースが使用可能にされましたが、DLL をロードできませんでした。

ユーザーの処置: OLT のインストールおよび使用方法に関する情報を確認し、OLT の DLL を使用できるようにしてください。

BBOU0112E COULD NOT LOCATE OBJECT LEVEL TRACE INIT ROUTINE.

説明: オブジェクト・レベル・トレース (OLT) の DLL がロードされましたが、init ルーチンが見つかりませんでした。OLT を開始できませんでした。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0115E Unable to retrieve the namespace root during resolution on host *string*. (ホスト *string* の解決中にネーム・スペース・ルートを取得できませんでした。)

説明: 指定されたホストのネーム・スペースのルートを取得できませんでした。

ユーザーの処置: ネーミング構成ファイルで、ホスト名が正しいことを確認してください。

BBOU0116E Unable to resolve '*string*' in remote host *string*'s namespace (リモート・ホスト *string* のネーム・スペースで '*string*' を解決できませんでした。)

説明: 指定されたリモート・ホストのネーム・スペースで、要求された名前を解決できませんでした。

ユーザーの処置: 要求された名前が、指定されたホストのネーム・スペースにあることを確認してください。

BBOU0117I Configuration has successfully bound *string* to *string*. (構成は *string* を *string* にバインドしました。)

説明: 実行依頼された名前は、指定されたネーミング・コンテキストにバインドされました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0118W Configuration was unsuccessful at binding *string* to *string*. (*string* から *string* へのバインディングで構成が失敗しました。)

説明: 実行依頼された名前は、指定されたコンテキストにバインドできませんでした。

ユーザーの処置: 構成ファイルに名前が正しく指定されていること、およびその名前がネーム・スペースに存在しないことを確認してください。

BBOU0119I CURRENT LOCAL CB SERIES CONFIGURATION DATA:

説明: このメッセージは、BBOENV 構成の (メモリーからの) 出力の導入部分です。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0121I The default *string* Factory Finder for *string* has been successfully created and bound into the namespace (*string* 用のデフォルトの *string* Factory Finder が作成され、ネーム・スペースにバインドされました。)

説明: Naming Federation/LifeCycle ブート・アプリケーションは、デフォルト・ホストのファクトリー・ファインダー・オブジェクトを作成し、これを LifeCycle リポジトリにバインドしました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0122I The default *string* Single Location has been successfully created and bound into the namespace (デフォルトの *string* Single Location が作成され、ネーム・スペースにバインドされました。)

説明: Naming Federation/LifeCycle ブート・アプリケーションは、デフォルト・ワークグループの Single Location オブジェクトを作成し、これを LifeCycle リポジトリにバインドしました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0123W During the configuration of the *string string*'s system namespace, the *string* name *string* was found to be invalid (*string string* のシステム・ネーム・スペースの構成中に、*string* 名 *string* が無効でした。)

説明: Naming Federation/LifeCycle ブート・アプリケーションは、構成中に無効な名前を検出しました。

ユーザーの処置: ネーム・スペースにバインドされる名前には、有効な名前を指定してください。

BBOU0124W During the configuration of the *string string*'s system namespace, the *string* name *string* was not found (*string string* のシステム・ネーム・スペースの構成中に、*string* 名 *string* が見つかりませんでした。)

説明: Naming Federation/LifeCycle ブート・アプリケーションは、指定された名前を解決できませんでした。

ユーザーの処置: 解決中の名前がネーム・スペースに定義されていることを確認してください。

BBOU0125W During the configuration of the *string string*'s system namespace, the *string* name '*string*' was found to already exist in the namespace. (*string string* のシステム・ネーム・スペースの構成中に、*string* 名 '*string*' がすでにネーム・スペースに存在していました。)

説明: Naming Federation/LifeCycle ブート・アプリケーションでネーム・スペースにバインドしようとしていた名前は、すでに存在していました。

ユーザーの処置: ありません。

**BBOU0126I THE CONFIGURATION OF THE GLOBAL NAMESPACE HAS SUCCEEDED.
NAMESPACE CONFIGURATION HAS BEEN COMMITTED.**

説明: Naming Federation/LifeCycle ブート・アプリケーションは、指定されたサブネーム・スペース用のシステム・ネーム・スペースを作成することができました。

ユーザーの処置: ありません。

**BBOU0127E THE CONFIGURATION OF THE GLOBAL NAMESPACE HAS FAILED. NAMESPACE
CONFIGURATION HAS NOT BEEN COMMITTED.**

説明: Naming Federation/LifeCycle ブート・アプリケーションは、指定されたサブネーム・スペース用のシステム・ネーム・スペースを作成できませんでした。このメッセージは、コンソールにもネーミング・クライアントのジョブ・ログにも出力されます。ジョブ・ログでは、ネーム・スペースのセットアップが失敗した理由を説明するメッセージの後に、このメッセージが表示されます。

ユーザーの処置: クライアントのジョブ・ログを分析し、ネーム・スペースのセットアップが失敗した理由を突き止めてください。ネーミング・サーバー領域のジョブ・ログ (特に LDAP メッセージの書き込み先である SYSOUT 部分) にも、役に立つ情報がある場合があります。

BBOU0129I %23s: string.

説明: SCO 構成変数の設定を示します (BBOU0119I も参照)。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0130I THE WEBSHERE BOOTSTRAP PROCESSING HAS STARTED.

説明: WebSphere のブートストラップ処理が開始されました。処理が完了すると、メッセージ BBOU0131I が発行されます。

ユーザーの処置: ありません。このメッセージは単なる情報メッセージです。

BBOU0131I THE WEBSHERE BOOTSTRAP HAS COMPLETED.

説明: WebSphere のブートストラップ処理が完了しました。Component Broker システム・サーバーをリサイクルすることができます。

ユーザーの処置: ありません。このメッセージは単なる情報メッセージです。

BBOU0132I WS BOOTSTRAP STEP string STARTING.

説明: このメッセージは情報メッセージであり、システム管理ブートストラップの指定された段階の処理が開始されたことを示します。

ユーザーの処置: ありません。このメッセージは単なる情報メッセージです。

BBOU0133I WS BOOTSTRAP STEP *string* COMPLETED.

説明: このメッセージは情報メッセージであり、システム管理ブートストラップの指定された段階の処理が完了したことを示します。

ユーザーの処置: ありません。このメッセージは単なる情報メッセージです。

BBOU0134I WS BOOTSTRAP PHASE %s IS COMPLETE.

説明: このメッセージは、WS BOOTSTRAP の段階が完了したことを示します。

ユーザーの処置: このメッセージは情報メッセージです。「(WebSphere for OS/390) Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の『OS/390 Component Broker のインストールおよびカスタマイズ (Installing and customizing OS/390 Component Broker)』を参照してください。ブートストラップには 2 つの段階があり、そのどちらかが完了しました。

BBOU0135E The NameSpace configuration has encountered an unknown problem. (NameSpace の構成で未知の問題が発生しました。) NameSpace configuration is terminating. (NameSpace の構成は終了します。)

説明: 不明なエラーが発生しました。NameSpace の構成を回復できません。処理は終了しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0136E BBOENV FAILURE.

説明: BBOENV エラーです。

ユーザーの処置: BBOENV が正しいことを確認してください。

BBOU0137E FCLOSE FAILURE.

説明: BBOENV の検査中に FCLOSE が失敗しました。

ユーザーの処置: BBOENV が正しいことを確認してください。

BBOU0138I BBOENV IS NOT VARIABLE LENGTH.

説明: このメッセージは情報メッセージであり、BBOENV が可変長でないことを示しています。C++ では、ストリング・コピー用として NULL を指定する必要があります。

ユーザーの処置: BBOENV を固定長から可変長に変更してください。

BBOU0139E FLDATA failure, rc=*dstring*. (FLDATA エラー。rc=*dstring*。)

説明: BBOENV の検査中に FLDATA が失敗しました。

ユーザーの処置: BBOENV が正しいことを確認してください。

BBOU0140W BBOENV FOPEN failure. (BBOENV FOPEN エラー。)

説明: BBOENV DD 用の FOPEN が失敗しました。

ユーザーの処置: BBOENV DD が正しいことを確認してください。Component Broker は、環境変数をデフォルトに設定して、実行を続けます。

BBOU0141E The namespace dump utility encountered an internal error. (ネーム・スペース・ダンプ・ユーティリティーが内部エラーを検出しました。)

説明: ネーム・スペース・ダンプ・ユーティリティーでプログラミング・エラーが検出されました。

ユーザーの処置: この問題を弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0142E CBS call *string* failed. (CBS 呼び出し *string* が失敗しました。)

説明: Component Broker シリーズの呼び出しが例外を検出し、この例外はネーム・スペース・ダンプ・ユーティリティーで処理できませんでした。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズ・インストール・システムを検査してください。

BBOU0143E Instance manager failed to find context for method *string*. (インスタンス・マネージャーは、*string* メソッド用のコンテキストを見つけることができませんでした。)

説明: Component Broker シリーズのインスタンス・マネージャーは、必要なコンテキストを見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。サポートを要求する際には、このエラーが発生したサーバーのインスタンス・マネージャーについて、TRACEDETAIL レベルのトレースを提出する必要があります。

BBOU0144E Instance manager failed to find connector. (インスタンス・マネージャーはコネクタを見つけることができませんでした。)

説明: Component Broker シリーズのインスタンス・マネージャーは、必要なコネクタを見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0145E Instance manager found a duplicate connector. (インスタンス・マネージャーは重複するコネクタを検出しました。)

説明: Component Broker シリーズのインスタンス・マネージャーは、必要なコネクタが重複していることを検出しました。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0146E The LName to be converted resulted in an invalid CosName (変換対象の LName について、無効な CosName が生成されました。)

説明: LName から CosName への変換で、無効な CosName が生成されました。

ユーザーの処置: 変換対象の LName が CosNames の規則に適合していることを確認してください。

BBOU0147W Configuration data set cannot be opened for DD name NDCONFIG. (DD 名 NDCONFIG について、構成データ・セットを開くことができません。)

説明: ユーザーは制御ステートメント configdataset を指定しませんでした。DD 名 NDCONFIG が定義されていないか、この DD 名に割り振られたデータ・セットを開くことができません。

ユーザーの処置: 制御データ・セットを使用する場合は、DD 名 NDCONFIG にデータ・セットを割り振るか、制御ステートメント configdataset を使用してください。DD 名 NDCONFIG がすでに定義されている場合は、システム・プログラマーに連絡してください。制御データ・セットを使用しない場合は、この警告を無視してください。

BBOU0148E Output data set cannot be opened for DD name NDOUTPUT (DD 名 NDOUTPUT について、出力データ・セットを開くことができません。)

説明: ユーザーは制御ステートメント outputdata set を指定しませんでした。DD 名 NDOUTPUT が定義されていないか、この DD 名に割り振られたデータ・セットを開くことができません。

ユーザーの処置: DD 名 NDOUTPUT にデータ・セットを割り振るか、制御ステートメント outputdataset を使用して出力データ・セットを指定してください。DD 名 NDOUTPUT がすでに定義されている場合は、システム・プログラマーに連絡してください。

BBOU0149E The output data set is full. (出力データ・セットがいっぱいです。) Please specify a larger one. (もっと大きなサイズのデータ・セットを指定してください。)

説明: 出力データ・セットが小さすぎます。ネーム・スペース・ダンプ・ユーティリティは、これ以上データを書き込むことができませんでした。

ユーザーの処置: もっと大きなサイズの出力データ・セットを作成してください。

BBOU0150E Invalid start context(s) (開始コンテキストが無効です。)

説明: ユーザーによって指定された開始コンテキストの 1 つまたは複数を解決できません。

ユーザーの処置: 指定された開始コンテキストがすべて存在することを確認してください。

BBOU0151E Invalid program option(s) (プログラム・オプションが無効です。)

説明: ユーザーが、無効な制御ステートメント (プログラム・オプション) をコマンド行または制御データ・セットで指定しました。

ユーザーの処置: 無効な制御ステートメントを訂正してください。

BBOU0152E *string data set string cannot be string.* (*string* データ・セット *string* を *string* できません。)

説明: 示されたデータ・セットに対する操作 (作成、開く、または閉じる) を実行できません。

ユーザーの処置: データ・セットが有効であること (たとえば、権限が適切かどうか) を確認してください。

BBOU0153E **Namespace dump utility cannot proceed.** (ネーム・スペース・ダンプ・ユーティリティーは、処理を続けることができません。)

説明: CB/390 内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0154W **Option specified more than once.** (オプションが複数回指定されました。)

説明: 重複するプログラム・オプションが検出されました。最初のオカレンスが有効になります。

ユーザーの処置: オプションの設定を訂正してください。

BBOU0155E **Cannot resolve root naming context.** (ルート・ネーミング・コンテキストを解決できません。)

説明: CB/390 内部エラーが発生したため、ルート・ネーミング・コンテキストを解決できません。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0156E **Out of memory.** (メモリーが足りません。)

説明: メモリー割り振り要求が失敗しました。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

BBOU0157E **METHODS IN CLASS *string* CANNOT BE DISPATCHED BY THE SERVER.**

説明: このオブジェクトは、リモート可能 (remotable) ではなく、ローカル専用 (localonly) として IDL コンパイルされているので、このクラスのメソッドをディスパッチすることはできません。

ユーザーの処置: オブジェクト・インターフェースをリモート可能オブジェクトとして再コンパイルしてください。

BBOU0158E **IR BOOTSTRAP FAILED:** *string*.

説明: インターフェース・リポジトリのブートストラップ・プログラムが停止しました。

ユーザーの処置: メッセージに対して、適切な応答を行ってください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0160W SHASTA RUNTIME FUNCTION*string***DID NOT FIND CLASS***string*.

説明: shasta ランタイムは、クラスを見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: 指定されたクラス名が正しいこと、およびこのクラスが適切に定義されていることを確認してください。この 2 つが確認できた場合は、この問題を弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0161I SHASTA RUNTIME FUNCTION*string***DETECTED THAT***string string*.

説明: shasta ランタイムは、この情報メッセージに示された条件を検出しました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0162W SHASTA RUNTIME FUNCTION*string***DETECTED THAT***string string*.

説明: shasta ランタイムは、この警告メッセージに示された条件を検出しました。

ユーザーの処置: この警告メッセージが例外の発生と関連している場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0163E Shasta Runtime function *string* **detected that** *string string*. (Shasta ランタイム関数 *string* は、次のことを検出しました。 *string string*)

説明: shasta ランタイムは、このエラー・メッセージに示された条件を検出しました。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0164E SHASTA RUNTIME FUNCTION *string* **COULD NOT LOAD THE JAVA IMPLEMENTATION CLASS** *string* **FOR CLASS** *string*.

説明: shasta ランタイムは、Java インプリメンテーション・クラスのロード中にエラーを検出しました。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0165E SHASTA RUNTIME FUNCTION *string* **COULD NOT FIND THE JAVA VM DLL** *string*.

説明: shasta ランタイムは、指定された Java 仮想マシン用 DLL を見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: LIBPATH 環境変数に Java 仮想マシン DLL の正しいパスが指定されていることを確認してください。

BBOU0166E Shasta Runtime function *string* **failed to establish a JNI environment.** (Shasta ランタイム関数 *string* は JNI 環境の設定に失敗しました。)

説明: shasta ランタイムは、Java Native Interface (JNI) 環境を使用可能にするために必要な関数ポインタを設定できませんでした。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0167E Shasta Runtime function *string* detected that the Java VM was not started.
(Shasta ランタイム関数 *string* は、Java VM が開始されていないことを検出しました。)

説明: shasta ランタイムは、Java VM のロードと初期化が行われていないことを検出しました。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0168E Shasta Runtime function *string* detected that the following exception occurred in the Java VM ... JVM Exception Message = *string* JVM Stack Trace = *string*.
(Shasta ランタイム関数 *string* は、Java VM で次の例外が発生したことを検出しました。... JVM 例外メッセージ = *string*、JVM スタック・トレース = *string*)

説明: shasta ランタイムが、示されたスタック・トレースを Java から受け取りました。

ユーザーの処置: Java VM スタック・トレース内の例外を分析してください。障害が発生した、Java VM スタック・トレース内のメソッドが、ユーザー・コードに記述されているメソッドかどうかを判別してください。ユーザー・アプリケーションのメソッドである場合は、コーディング・エラーを修正後、アプリケーションを再実行してください。障害が発生したメソッドを特定できない場合は、弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0169E Unable to unbind naming context '*string*' (ネーミング・コンテキスト '*string*' をアンバインドできません。)

説明: S/390 ネーム・サーバーにあるネーミング・コンテキストをアンバインドできません。アンバインドすると、孤立したネーム・スペースが発生します。

ユーザーの処置: アンバインド対象のオブジェクトが S/390 のネイティブ・ネーミング・コンテキストでないことを確認してください。

**BBOU0170W Unable to complete operation : *string1*, dbname: *string2*, tablename: *string3* ,
CollectionKey: *string4*, *** SQL error code: *string5*, SQLSTATE: *string6*, SQL Error
MSG: *string7* (操作を完了できません。 *string1*, dbname: *string2*、テーブル名: *string3* 、
CollectionKey: *string4*、*** SQL エラー・コード: *string5*、SQLSTATE: *string6*、SQL
Error MSG: *string7*。)**

説明: コレクションに対して、要求された操作を完了できませんでした。SQL コードおよび SQL エラー・メッセージには、このデータベース障害についての説明が入ります。

ユーザーの処置: SQL エラー・メッセージを参照して、説明および必要な処置を確認してください。示されたエラー情報については、「DB2 (OS/390 版) メッセージおよびコード」を参照してください。操作を再実行してください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0171W Unable to complete operation : *string1*, dbname: *string2*, tablename: *string3*, CollectionKey: *string4*, cursorHandle: *string5*, * SQL error code: *string6*, SQLSTATE: *string7*, SQL Error MSG: *string8* (操作を完了できません。 *string1*、dbname: *string2*、テーブル名: *string3*、CollectionKey: *string4*、cursorHandle: *string5*、*** SQL エラー・コード: *string6*、SQLSTATE: *string7*、SQL Error MSG: *string8*。)**

説明: コレクションに対して、要求された操作を完了できませんでした。SQL コードおよび SQL エラー・メッセージには、このデータベース障害についての説明が入ります。

ユーザーの処置: SQL エラー・メッセージを参照して、説明および必要な処置を確認してください。示されたエラー情報については、「DB2(OS/390 版) メッセージおよびコード」を参照してください。操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0173E Fatal error: too many open cursors, collection type : %1s MAX Limit : *string2* (致命的エラー: 開いているカーソルが多すぎます。コレクション・タイプ: %1s、最大値 : *string2*。)

説明: コレクションに割り振られたカーソル最大値 256 に達したため、コレクションに対して、要求された操作を完了できませんでした。

ユーザーの処置: コレクション・イテレーターを解放せずに、collections カーソルを保持しているアプリケーションを突き止めてください。このアプリケーションを終了してください。操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0174E FAILED TO RESOLVE REFERENCE TO INTERFACE REPOSITORY.

説明: システムのインターフェース・リポジトリが見つかりませんでした。

ユーザーの処置: インターフェース・リポジトリがマシンにインストールされていること、および構成されていることを確認してください。操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0175E COULD NOT LOCATE INTERFACE REPOSITORY ID : *string1* IN THE IR

説明: 要求されたインターフェースのリポジトリ ID が、インターフェース・リポジトリにありませんでした。

ユーザーの処置: ツアー管理用の IR ポピュレーション・プログラムを実行して、インターフェース・リポジトリにデータを挿入してください。IR ブラウザーを使用して、インターフェースが存在することを確認してください。操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0176E Unable to complete operation : *string1*, dbname: *string2*, tablename: *string3* , * SQL error code: *string4*, SQLSTATE: *string5* , SQL Error MSG: *string6*, CollectionKeyLen: *string7* , CollectionKeyString: *string8* (操作を完了できません。 *string1*, dbname 名: *string2*、テーブル名: *string3*、*** SQL エラー・コード: *string4*、SQLSTATE: *string5*、SQL Error MSG: *string6*、CollectionKeyLen: *string7*、CollectionKeyString: *string8*。)**

説明: コレクションに対して、要求された操作を完了できませんでした。SQL コードおよび SQL エラー・メッセージには、このデータベース障害についての説明が入ります。

ユーザーの処置: SQL エラー・メッセージを参照して、説明および必要な処置を確認してください。示されたエラー情報については、「DB2 (OS/390 版) メッセージおよびコード」を参照してください。操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0177E Create Function for the class name found in the key is not registered with the factory, ClassName : *string1* (キーで見つかったクラス名に対応する create 関数がファクトリーに登録されていません。ClassName : *string1*。)

説明: コレクション・キーに指定されたクラス名は、コレクション・ファクトリーに登録されていません。

ユーザーの処置: コレクション専用のホームで提供されている createCollection() を使用してコレクションを作成している場合は、おそらく、内部エラーまたはインストール・エラーです。createFromPrimaryKey または createFromCopyString を使用してコレクションを作成している場合は、コレクション・キーに渡されたクラスが間違っているか、このコレクションに登録されていません。操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0178E Implementor Kind for class is not registered with the factory, ClassName : *string1* (ファクトリー ClassName : *string1* について、クラスの Implementor Kind が登録されていません。)

説明: コレクション・キーに指定されたクラス名は、コレクションに正しく登録されていません。implementor kind フィールドが間違っています。

ユーザーの処置: コレクション専用のホームで提供されている createCollection() を使用してコレクションを作成している場合は、おそらく、内部エラーまたはインストール・エラーです。createFromPrimaryKey または createFromCopyString を使用してコレクションを作成している場合は、コレクション・キーに渡されたクラスが間違っているか、このコレクションに登録されていません。操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0179E Class Name : *string1* Could not be registered because the maximum number of classes are already registered (登録されているクラスの数に最大数に達していたため、クラス名 : *string1* を登録できませんでした。)

説明: コレクション・フレームワークに登録可能な最大クラス数 256 に達しました。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0180E INCORRECT MODIFY COMMAND.

説明: オペレーター・コンソールから入力された modify コマンドが間違っています。

ユーザーの処置: modify コマンドを再入力してください。アドレス・スペースの ARM (非同期応答モード) 再始動が必要な場合は、F <JOBNAME>,CANCEL,ARMRESTART を発行してください。アドレス・スペースを取り消す場合は、F <JOBNAME>,CANCEL を発行してください。

BBOU0181E RACAUTH of class, *string*, failed with SAF Return Code=*hstring*, RACF Return Code=*hstring*, RACF Reason Code=*hstring*. (クラス *string* の RACAUTH が失敗しました。SAF 戻りコード=*hstring*、RACF 戻りコード =*hstring*、RACF 理由コード =*hstring*。)

説明: RACROUTE REQUEST=AUTH または REQUEST=FASTAUTH が失敗しました。

ユーザーの処置: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書」を参照して、理由を確認してください。適切な SETROPTS コマンドを発行して、問題を解決してください。

BBOU0182E The requested PassTicket was not produced properly. (要求された PassTicket は正しく作成されませんでした。)

説明: PassTicket の作成に失敗しました。

ユーザーの処置: 「OS/390 Security Server (RACF) マクロおよびインターフェース」の セキュア・サインオン (PassTicket) 関数に関する記述を参照して、説明を確認してください。

BBOU0183E THE REQUESTED PASSTICKET SUPPORT IS NOT AVAILABLE FOR USE.THE SECURED SIGNON CALLABLE SERVICE COULD NOT BE LOCATED.

説明: PassTicket を作成するために必要なセキュア・サインオン呼び出し可能サービスが、システム上で利用可能ではありません。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。おそらく、必要なレベルのセキュリティー・サーバーがシステムに正しくインストールされていません。

BBOU0184E IR bootstrap failed: system exception minor code: *hstring*. (IR ブートストラップが失敗しました。システム例外マイナー・コード: *hstring*。)

説明: インターフェース・リポジトリのブートストラップ・プログラムがシステム例外を受け取りました。

ユーザーの処置: エラー・コードを参照し、適切な応答を行ってください。

BBOU0185I IR bootstrap completed successfully for *string*. (*string* について、IR ブートストラップが正常に完了しました。)

説明: IR サーバーのブートストラップが正常に完了しました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0186I IR bootstrap received an unexpected exception. (IR ブートストラップが予期しない例外を受け取りました。)

説明: IR ブートストラップが、予期しない例外で失敗しました。

ユーザーの処置: Component Broker のエラー・ログを調べて発生した例外を確認し、適切な応答を行ってください。

BBOU0187E Interface Repository utility cannot initialize ORB. (インターフェース・リポジトリ・ユーティリティは ORB を初期化できません。)

説明: CB/390 内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0188E The specified start object '*string*' is neither a module nor an interface. (指定された開始オブジェクト '*string*' は、モジュールでもインターフェースでもありません。)

説明: インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティの開始オブジェクトとして、ユーザーが無効なオブジェクトを指定しました。

ユーザーの処置: インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティの開始オブジェクトとして、モジュールまたはインターフェースを指定してください。

BBOU0189E The specified start object '*string*' is not defined in the Interface Repository. (指定された開始オブジェクト '*string*' は、インターフェース・リポジトリに定義されていません。)

説明: インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティの開始オブジェクトとして、ユーザーが無効なオブジェクトを指定しました。

ユーザーの処置: インターフェース・リポジトリ・ダンプ・ユーティリティの開始オブジェクトとして、既存のモジュールまたはインターフェースを指定してください。

BBOU0190E An object with an invalid attribute ('def_kind') is found in the Interface Repository at scope '%Issued by: CB Series (無効な属性 ('def_kind') を持つオブジェクトがインターフェース・リポジトリにあります。有効範囲 '%、発行元: Component Broker シリーズ。)

説明: CB/390 内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0191E Unknown internal exception caught while analyzing *string string*. (*string string* の分析中に不明な内部例外をキャッチしました。)

説明: CB/390 内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0192E Invalid program option(s) (プログラム・オプションが無効です。)

説明: ユーザーが無効なプログラム・オプションを指定しました。

ユーザーの処置: オプションを訂正し、プログラムを再実行してください。

BBOU0193W The configuration data set DD:IRDCONFIG does not exist or the data set cannot be opened. (構成データ・セット DD:IRDCONFIG が存在しないか、このデータ・セットを開くことができません。)

説明: ユーザーが無効な構成データ・セットを指定しました。

ユーザーの処置: 構成データ・セットを割り当てて編集するか、正しい構成データ・セットを指定してください。

BBOU0194E Cannot create the output data set '*string*'. (出力データ・セット '*string*' を作成できません。)

説明: ユーザーがオプション `outputdataset` に、存在しない出力データ・セットを指定しました。

BBOPUDMP では、新規データ・セットを作成しようとしたのですが、これに失敗しました。出力データ・セットに指定されたデータ・セット名が無効である、データ・セットの作成アクセス権を持っていない、あるいは、ファイル・システムに空きスペースがないことが理由として考えられます。

ユーザーの処置: 指定したデータ・セット名が有効であること、およびユーザーがデータ・セットの作成アクセス権を持っていることを確認してください。出力データ・セットを自分で割り振り、そのデータ・セットを出力用として使用してください (DD 名を指定するか、オプション `outputdataset` を使用)。

BBOU0195E Cannot open the existing output data set 'string'. (既存の出力データ・セット 'string' を開くことができません。)

説明: 指定されたデータについて、ユーザーが書き込みアクセス権を持っていないことが理由として考えられます。

ユーザーの処置: 指定されたデータ・セットに対するアクセス権を確認 / 変更してください。

BBOU0196E Cannot close the output data set 'string'. (出力データ・セット 'string' を閉じることができません。)

説明: 出力データ・セットを閉じることができませんでした。

ユーザーの処置: ありません。

**BBOU0197E Output data set is full, please specify a larger one! (出力データ・セットがいっぱい
です。もっと大きなデータ・セットを指定してください。)**

説明: 出力データ・セットが小さ過ぎます。

ユーザーの処置: もっと大きな出力データ・セットを指定し、プログラムを再実行してください。

**BBOU0198E Cannot open output data set for DD name: 'string'. (DD 名 'string' 用の出力データ・
セットを開くことができません。)**

説明: ユーザーがオプション `outputdataset` に出力データ・セットを指定しませんでした。プログラムは DD 名 `IROUTPUT` を使用して出力データ・セットを開こうとしましたが、これに失敗しました。ユーザーが DD 名 `IROUTPUT` を指定し忘れたことが理由として考えられます。

ユーザーの処置: DD 名 `IROUTPUT` を定義するか、オプション `outputdataset` を使用してください。

BBOU0199E UNABLE TO SCHEDULE WORK, WLM APPLICATION ENVIRONMENT *string* HAS STOPPED.

説明: 指定された WLM アプリケーション環境を使用して作業をスケジューリングしようとした
が、アプリケーション環境が停止しました。

ユーザーの処置: アプリケーション環境が停止した理由を突き止め、その問題が解決されていることを確認してください。 `V WLM` コマンドを使用して再始動してください。

**BBOU0200E APPLICATION *string* HAD A DATA OBJECT ERROR, RETURN CODE *dstring* MINOR
CODE *hstring*.THE FOLLOWING MAY BE THE APPLICATION CLASS NAME,
METHOD NAME, OR BOTH: *string*.THE FOLLOWING IS ADDITIONAL DIAGNOSTIC
INFORMATION IF PRESENT: *string*.**

説明: このメッセージは、アプリケーション・データ・オブジェクトに関連する障害では必ず発行されま
す。このメッセージは、障害が発生したアプリケーションおよびその他の診断情報を示します。

メッセージ -- 一般

ユーザーの処置: 提供された診断情報からはエラーの原因を特定できない場合は、メッセージで示されたアプリケーションのプロバイダーに連絡してください。Component Broker シリーズ・アプリケーションのアプリケーション名には、接頭部 Component Broker シリーズが付きます。接頭部 Component Broker シリーズが付いているアプリケーションについて、提供された診断情報からはエラーの原因を特定できない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0201E LDAP API call *string* failed. (LDAP API 呼び出し *string* が失敗しました。) Function returned *dstring*. (関数から *dstring* が戻りました。)

説明: 指定された LDAP API 呼び出しが失敗しました。この関数からは、表示された値が戻りました。関数の戻り値の説明については、LDAP API の資料を参照してください。

ユーザーの処置: LDAP が正しく構成されていること、および LDAP の DLL が LPA にロードされているか、Component Broker サーバー・プロセス内で STEPLIB ステートメントを介してアドレッシングされていることを確認してください。「OS/390 SecureWay Security Server LDAP サーバー 管理および使用の手引き」を参照してください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0202E DCE/SAF initialization failed for user *string*, because RACF is not installed. (DCE/SAF。ユーザー *string* について、RACF がインストールされていないため、初期化が失敗しました。) API: *string*.SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: RACF がインストールされていないため、Component Broker は初期化中にユーザー・プロファイルの DCE セグメントから DCE 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: Component Broker で DCE セキュリティーを使用するには、RACF をインストールする必要があります。RACF をインストールし、DCE セキュリティーを使用するユーザー用に DCE セグメントを定義してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0203E DCE/SAF initialization failed for user *string*, because there is no DCE segment defined in the RACF user profile. (DCE/SAF。ユーザー *string* について、RACF ユーザー・プロファイルに DCE セグメントが定義されていないため、初期化が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: 示されたユーザーについて DCE セグメントが定義されていないため、Component Broker は初期化中にユーザー・プロファイルの DCE セグメントから DCE 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: このユーザーについて DCE セグメントのフィールドを定義してから、操作を再試行してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0204E DCE/SAF initialization failed for user *string*, because of an internal error.

(DCE/SAF。内部エラーにより、ユーザー *string* について初期化が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。) The API required a buffer of size *dstring*, and was supplied a buffer of size *dstring*. (この API はバッファ・サイズ *dstring* を必要としますが、提供されたバッファ・サイズは *dstring* でした。)

説明: Component Broker は、初期化中にユーザー・プロファイルの DCE セグメントから DCE 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: IRRDSI00 API に提供される出力バッファは、想定される最大サイズの応答を収容できる大きさでなければなりません。この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0205E DCE/SAF initialization failed for user *string*, because of an internal error.

(DCE/SAF。内部エラーにより、ユーザー *string* について初期化が失敗しました。) The returned data length was invalid. (戻されたデータ長が無効です。)

説明: 内部エラーにより、Component Broker は初期化中に DCE にログインできませんでした。

ユーザーの処置: IRRDSI00 API に提供される出力バッファは、想定される最大サイズの応答を収容できる大きさでなければなりません。この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0206E DCE/SAF initialization failed for user *string*, because of an internal error.

(DCE/SAF。内部エラーにより、ユーザー *string* について初期化が失敗しました。) The number of fields returned was invalid. (戻されたフィールド数が無効です。) API: *string*, returned *dstring* parameter(s) when asked for *dstring*. (要求された数 *dstring* に対して、API *string* は *dstring* 個のパラメータを戻しました。)

説明: 内部エラーにより、Component Broker は初期化中に DCE にログインできませんでした。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0207E DCE/SAF initialization failed for user *string*, because of an internal error.

(DCE/SAF。内部エラーにより、ユーザー *string* について初期化が失敗しました。) API: *string*, did not return the requested DCEsegment field name. (API: *string* は、要求された DCE セグメント・フィールド名を戻しませんでした。)

説明: 内部エラーにより、Component Broker は初期化中に DCE にログインできませんでした。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0208E DCE/SAF initialization failed for user *string*, because there is no DCE principal defined in the DCE segment of the RACF user profile. (DCE/SAF. ユーザー *string* について、RACF ユーザー・プロファイルの DCE セグメントに DCE プリンシパルが定義されていないため、初期化が失敗しました。)

説明: ユーザー・プロファイルの DCE セグメントの DCE プリンシパル名フィールドが定義されていないため、Component Broker は初期化中に DCE プリンシパル名を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: ユーザー・プロファイルの DCE セグメントにプリンシパル名を定義してから、操作を再試行してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0209E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, that is associated with OS/390 userid *string*, because the DCE principal does not exist in the DCE registry. (DCE/SAF. OS/390 ユーザー ID *string* に関連付けられている DCE プリンシパル *string* について、DCE プリンシパルが DCE レジストリーに登録されていないため、初期化が失敗しました。) API: *string*, DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: DCE レジストリーにプリンシパルが登録されていないため、Component Broker は初期化中にプリンシパルを DCE にログインさせることができませんでした。使用されたプリンシパル名は、OS/390 ユーザー ID に関連付けられている RACF ユーザー・プロファイルの DCE セグメントから取得されました。

ユーザーの処置: OS/390 ユーザー ID の DCE セグメントに正しい DCE プリンシパルが指定されていることを確認してください。DCE セグメントの DCENAME エントリーが正しくない場合は、正しい DCE プリンシパルを使用して RACF データベースを更新してください。RACF の DCE セグメントの DCE プリンシパルが正しい場合は、このプリンシパルが含まれるように DCE レジストリーを更新する必要があります。必要な更新を行ってから、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。

BBOU0210E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because the security client run time cannot communicate with the DCE registry server. (DCE/SAF. セキュリティー・クライアント・ランタイムが DCE レジストリー・サーバーと通信できないため、DCE プリンシパル *string* についての初期化が失敗しました。) API: *string*, DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: DCE レジストリー・サーバーと通信できなかったため、Component Broker は初期化中にプリンシパルを DCE にログインさせることができませんでした。

ユーザーの処置: DCE レジストリー・サーバーと通信できなかった理由は、おそらく、Component Broker プログラムが実行されている OS/390 イメージ上で DCE レジストリー・サーバーが活動化されていないためです。Component Broker プログラムが実行されている OS/390 イメージ上で、DCE セキュリティー・レジストリー・レプリカが活動化されている必要があります。Component Broker プログラムは、リモートの DCE セキュリティー・レプリカと通信することはできません。イメージ上で DCE セキュリティー・レジストリー・レプリカが実行されていることを確認後、操作を再試行してください。DCE

状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。

BBOU0211E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because a memory allocation attempt failed. (DCE/SAF。DCE プリンシパル *string* について、メモリーの割り振りが失敗したため初期化が失敗しました。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: メモリーの割り振りに失敗したため、Component Broker は初期化中にプリンシパルを DCE にログインさせることができませんでした。

ユーザーの処置: プログラムで使用可能なメモリーを増やしてから、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。

BBOU0212E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because one of the API parameters is not valid. (DCE/SAF。API パラメーターのうちの 1 つが無効なため、DCE プリンシパル *string* について初期化が失敗しました。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: API パラメーターのうちの 1 つが無効なため、Component Broker は初期化中にプリンシパルを DCE にログインさせることができませんでした。

ユーザーの処置: おそらく、使用されている DCE プリンシパル名の長さに問題があります。API に渡されるプリンシパル名が有効であることを確認後、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0213E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because the following DCE API failed. (DCE/SAF。次の DCE API が失敗したため、DCE プリンシパル *string* について初期化が失敗しました。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: DCE API への呼び出しが失敗したため、Component Broker は初期化中にプリンシパルを DCE にログインさせることができませんでした。該当する API および戻された DCE 状況コードは、メッセージに示されています。

ユーザーの処置: 「OS/390 DCE メッセージおよびコード」を参照して戻された状況コードについての説明を確認し、適切な処置を実行してください。操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0214E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because the following DCE GSS API failed. (DCE/SAF。次の DCE GSS API が失敗したため、DCE プリンシパル *string* について初期化が失敗しました。) API: *string*. GSS major status *hstring*, GSS minor Status *hstring string* (GSS メジャー状況 *hstring*、GSS マイナー状況 *hstring string*。)

説明: Component Broker は、初期化中に DCE ログイン・コンテキストから GSSAPI 証明書を作成できませんでした。

ユーザーの処置: 「OS/390 DCE メッセージおよびコード」を参照して戻された状況コードについての説明を確認し、適切な処置を実行してください。操作を再試行してください。

BBOU0215I DURING DCE/SAF INITIALIZATION THE PASSWORD FOR THE PRINCIPAL *string*, FOUND IN THE KEY TABLE FILE *string* EXPIRED.

説明: DCE プリンシパルの DCE へのログインに使用されたパスワードの有効期限が切れています。

ユーザーの処置: DCE パスワードの有効期限が切れていても、DCE へのプリンシパルのログインは可能です。このメッセージは情報メッセージであり、このプリンシパル用のパスワードを変更する時期であることを示しています。パスワードの取得に使用されたキー・テーブル・ファイルがメッセージに示されているので、DCE レジストリーでパスワードを変更してから、このキー・テーブル・ファイルを更新してください。

BBOU0216E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because the password obtained from the key table *string* is not valid. (DCE/SAF。キー・テーブル *string* から取得したパスワードが無効なため、DCE プリンシパル *string* について初期化が失敗しました。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: キー・テーブル・ファイルから取得したパスワードが無効なため、Component Broker は初期化中にプリンシパルを DCE にログインさせることができませんでした。

ユーザーの処置: このプリンシパルについて、キー・テーブル・ファイルに保管されているパスワードが正しいことを確認してください。DCE キー・テーブル・ファイルを更新するには、`dcecp` コマンドまたは `rgy_edit` コマンドを使用します。キー・テーブル・ファイルに保管されているパスワードが DCE レジストリーに登録されているパスワードと同じであることを確認後、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0217E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because its DCE account is invalid or has expired. (DCE/SAF。DCE アカウントが無効または期限切れであったため、DCE プリンシパル *string* について初期化が失敗しました。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: DCE アカウントが無効または期限切れであったため、Component Broker は初期化中にプリンシパルを DCE にログインさせることができませんでした。

ユーザーの処置: このプリンシパルに関連付けられているアカウントが有効で、期限が切れていないことを確認してください。アカウントの有効性を確認するには、DCE の `dcecp` コマンドまたは `rgy_edit` コマンドを使用します。アカウントの有効性を確認後、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0218E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because the key table *string* was not found. (DCE/SAF。キー・テーブル *string* が見つからなかったため、DCE プリンシパル *string* について初期化が失敗しました。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: DCE パスワードの取得先のキー・テーブルが見つからなかったため、Component Broker は初期化中にプリンシパルを DCE にログインさせることができませんでした。

ユーザーの処置: プリンシパルに使用するパスワードの取得先のキー・テーブル・ファイルが存在しません。理由としては、次のことが考えられます。1. キー・テーブル・ファイル名は正しいが、このファイルが作成されていない。この場合は、DCE コマンドの `dcecp` または `rgy_edit` を使用して、プリンシパルのパスワードを作成してキー・テーブル・ファイルに格納してください。2. キー・テーブル・ファイル名が間違っている。この場合は、Component Broker 構成ファイルでファイル名を訂正してください。訂正処置を実行後、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0219E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because its password was not found in the key table *string*. (DCE/SAF。キー・テーブル *string* に DCE プリンシパル *string* 用のパスワードがなかったため、このプリンシパルについて初期化が失敗しました。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: キー・テーブル・ファイルにプリンシパル用のパスワードがなかったため、Component Broker は初期化中にプリンシパルを DCE にログインさせることができませんでした。

ユーザーの処置: 理由としては、次のことが考えられます。1. キー・テーブル・ファイル名は正しいが、このプリンシパル用のパスワードがこのファイルに保管されていない。この場合は、DCE コマンドの `dcecp` または `rgy_edit` を使用して、パスワードをキー・テーブル・ファイルに格納してください。2. キー・テーブル・ファイル名が間違っている。この場合は、Component Broker 構成ファイルでファイル名を訂正してください。訂正処置を実行後、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0220E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, that is associated with RACF user ID *string* because it does not have read authority to the key table *string*. (DCE/SAF。 RACF ユーザー ID *string* はキー・テーブル *string* に対する読み取り権限を持っていないため、このユーザー ID に関連付けられた DCE プリンシパル *string* について初期化が失敗しました。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: RACF ユーザー ID がキー・テーブル・ファイルに対する読み取り権限を持っていないため、Component Broker は初期化中にプリンシパルを DCE にログインさせることができませんでした。

ユーザーの処置: 理由としては、次のことが考えられます。1. キー・テーブル・ファイル名は正しいが、RACF ユーザー ID はファイルに対する読み取りアクセス権を持っていない。この場合は、適切な UNIX システム・サービス・コマンドを使用して、キー・テーブル・ファイルに対する読み取り権限を RACF ユーザー ID に付与してください。2. キー・テーブル・ファイル名が間違っている。この場合は、Component Broker 構成ファイルでファイル名を訂正してください。訂正処置を実行後、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0221E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because the DCE principal name could not be converted into a GSS name. (DCE/SAF。 DCE プリンシパル名を GSS 名に変換できなかったため、DCE プリンシパル *string* について初期化が失敗しました。) API: *string*. GSS major status *string* GSS minor status *hstring string* (GSS メジャー状況 *string*、GSS マイナー状況 *hstring string*。)

説明: DCE プリンシパル名を GSS 名に変換できなかったため、Component Broker は初期化中にプリンシパルを DCE にログインさせることができませんでした。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0222E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because the DCE principal name could not be converted into a GSS name. (DCE/SAF。 DCE プリンシパル名を GSS 名に変換できなかったため、DCE プリンシパル *string* について初期化が失敗しました。) API: *string*. GSS major status *string* Name type *string* Name type value *hstring*. (GSS メジャー状況 *string*、名前タイプ *string*、名前タイプ値 *hstring*。)

説明: DCE プリンシパル名を GSS 名に変換できなかったため、Component Broker は初期化中にプリンシパルを DCE にログインさせることができませんでした。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0223E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because the DCE principal name could not be converted into a GSS name. (DCE/SAF。DCE プリンシパル名を GSS 名に変換できなかったため、DCE プリンシパル *string* について初期化が失敗しました。) API: *string*. GSS major status *hstring* GSS minor status *hstring string* (GSS メジャー状況 *hstring*、GSS マイナー状況 *hstring string*。)

説明: DCE プリンシパル名を GSS 名に変換できなかったため、Component Broker は初期化中にプリンシパルを DCE にログインさせることができませんでした。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0224E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because the principal was unable to register the context acceptor's identity with the GSS runtime. (DCE/SAF。DCE プリンシパル *string* がコンテキスト・アクセプターのアイデンティティを GSS ランタイムに登録できなかったため、このプリンシパルについて初期化が失敗しました。) API: *string*. GSS major status *hstring* GSS minor status *hstring string* (GSS メジャー状況 *hstring*、GSS マイナー状況 *hstring string*。)

説明: 初期化中に、GSS API `gssdce_register_acceptor_identity` の呼び出しが失敗しました。GSS メジャー状況は、この障害が GSS API レベルであったかどうかを示し、マイナー状況は、DCE レベルのエラーを示します。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0225I While determining how long to wait before refreshing the DCE login context the API *string* failed. (DCE ログイン・コンテキストの最新表示までの待ち時間を判別中に、API *string* が失敗しました。) The default interval of one hour will be used. (デフォルト間隔である 1 時間が使用されます。)

説明: DCE ログイン・コンテキストの最新表示までの待ち時間を判別しているときに、メッセージに示された API 呼び出しが失敗しました。プログラムは続行され、1 時間の待ち時間経過後に DCE コンテキストが最新表示されます。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0226E Unable to refresh the DCE security context because it could not be determined how long before they expire. (DCE セキュリティー・コンテキストの有効期限を判別できなかったため、このセキュリティ・コンテキストを最新表示できませんでした。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: Component Broker 制御領域の実行中、活動中のスレッドは、DCE セキュリティー・コンテキストの有効期限が切れる前に、このセキュリティ・コンテキストを最新表示しようとしています。このエラーに

メッセージ -- 一般

よってスレッドが終了し、DCE コンテキストは最新表示されません。コンテキストの有効期限が切れると、この制御領域では DCE セキュリティー・サービスを使用できなくなります。失敗した DCE API および戻り状況がメッセージに示されています。

ユーザーの処置: 「OS/390 DCE メッセージおよびコード」を参照して戻された状況コードについての説明を確認し、適切な訂正処置を実行してください。新しい DCE ログイン・コンテキストを取得するには、制御領域を停止して、再始動する必要があります。

BBOU0227E Unable to refresh the DCE security context because the password obtained from the key table *string* is not valid. (キー・テーブル *string* から取得したパスワードが無効なため、DCE セキュリティー・コンテキストを最新表示できません。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: Component Broker 制御領域の実行中、活動中のスレッドは、DCE セキュリティー・コンテキストの有効期限が切れる前に、このセキュリティ・コンテキストを最新表示しようとしています。このプロセスの実行中に、(メッセージに示したとおり) キー・テーブル・ファイルから取得したパスワードが無効でした。この問題が解消されない場合は、DCE コンテキストを最新表示しようとしていたスレッドが終了し、DCE コンテキストは最新表示されません。コンテキストの有効期限が切れると、この制御領域では DCE セキュリティー・サービスを使用できなくなります。

ユーザーの処置: キー・テーブル・ファイルに保管されているパスワードが正しいことを確認してください。DCE キー・テーブル・ファイルを更新するには、`dcecp` コマンドまたは `rgy_edit` コマンドを使用します。キー・テーブル・ファイルに保管されているパスワードが DCE レジストリーに登録されているパスワードと同じであることを確認後、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0228E Unable to refresh the DCE security context because the DCE account being used is invalid or has expired. (使用している DCE アカウントが無効または期限切れだったため、DCE セキュリティー・コンテキストを最新表示できません。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: Component Broker 制御領域の実行中、活動中のスレッドは、DCE セキュリティー・コンテキストの有効期限が切れる前に、このセキュリティ・コンテキストを最新表示しようとしています。このプロセスの実行中、使用している DCE アカウントが無効または期限切れでした。この問題が解消されない場合は、DCE コンテキストを最新表示しようとしていたスレッドが終了し、DCE コンテキストは最新表示されません。コンテキストの有効期限が切れると、この制御領域では DCE セキュリティー・サービスを使用できなくなります。

ユーザーの処置: このプリンシパルに関連付けられているアカウントが有効で、期限が切れていないことを確認してください。アカウントの有効性を確認するには、DCE の `dcecp` コマンドまたは `rgy_edit` コマンドを使用します。アカウントの有効性を確認後、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0229E Unable to refresh the DCE security context because a memory allocation attempt failed. (メモリーの割り振りに失敗したため、DCE セキュリティー・コンテキストを最新表示できません。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: Component Broker 制御領域の実行中、活動中のスレッドは、DCE セキュリティー・コンテキストの有効期限が切れる前に、このセキュリティ・コンテキストを最新表示しようとします。このプロセスの実行中、メモリーの割り振りに失敗しました。この問題が解消されない場合は、DCE コンテキストを最新表示しようとしていたスレッドが終了し、DCE コンテキストは最新表示されません。コンテキストの有効期限が切れると、この制御領域では DCE セキュリティー・サービスを使用できなくなります。

ユーザーの処置: プログラムで使用可能なメモリーを増やしてから、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。

BBOU0230E Unable to refresh the DCE security context because the password was not found in the key table *string*. (キー・テーブル *string* にパスワードが見つからなかったため、DCE セキュリティー・コンテキストを最新表示できません。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: Component Broker 制御領域の実行中、活動中のスレッドは、DCE セキュリティー・コンテキストの有効期限が切れる前に、このセキュリティ・コンテキストを最新表示しようとします。メッセージに示されたキー・テーブルでパスワードが見つからなかったため、プロセスの実行中にコンテキストを最新表示できませんでした。この問題が解消されない場合は、DCE コンテキストを最新表示しようとしていたスレッドが終了し、DCE コンテキストは最新表示されません。コンテキストの有効期限が切れると、この制御領域では DCE セキュリティー・サービスを使用できなくなります。

ユーザーの処置: 理由としては、次のことが考えられます。1. キー・テーブル・ファイル名は正しいが、このプリンシパル用のパスワードがこのファイルに保管されていない。この場合は、DCE コマンドの `dcecp` または `rgy_edit` を使用して、パスワードをキー・テーブル・ファイルに格納してください。2. キー・テーブル・ファイル名が間違っている。この場合は、Component Broker 構成ファイルでファイル名を訂正してください。訂正処置を実行後、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0231E Unable to refresh the DCE security context because the following DCE API failed. (次の DCE API が失敗したため、DCE セキュリティー・コンテキストを最新表示できません。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: Component Broker 制御領域の実行中、活動中のスレッドは、DCE セキュリティー・コンテキストの有効期限が切れる前に、このセキュリティ・コンテキストを最新表示しようとします。メッセージに示された DCE API 呼び出しが失敗したため、プロセスの実行中にコンテキストを最新表示できませんでした。この問題が解消されない場合は、DCE コンテキストを最新表示しようとしていたスレッドが終了し、DCE コンテキストは最新表示されません。コンテキストの有効期限が切れると、この制御領域では DCE セキュリティー・サービスを使用できなくなります。

ユーザーの処置: 「OS/390 DCE メッセージおよびコード」を参照して戻された状況コードについての説

メッセージ -- 一般

明を確認し、適切な処置を実行してください。操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0232E Unable to refresh the DCE security context because the process does not have read authority to the key table *string*. (このプロセスはキー・テーブル *string* に対する読み取り権限を持っていないため、DCE セキュリティー・コンテキストを最新表示できません。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: Component Broker 制御領域の実行中、活動中のスレッドは、DCE セキュリティー・コンテキストの有効期限が切れる前に、このセキュリティ・コンテキストを最新表示しようとしています。このプロセスはメッセージに示されたキー・テーブルに対する読み取りアクセス権を持っていないため、コンテキストを最新表示できませんでした。この問題が解消されない場合は、DCE コンテキストを最新表示しようとしていたスレッドが終了し、DCE コンテキストは最新表示されません。コンテキストの有効期限が切れると、この制御領域では DCE セキュリティー・サービスを使用できなくなります。

ユーザーの処置: 理由としては、次のことが考えられます。1. キー・テーブル・ファイル名は正しいが、プロセスに関連付けられている RACF ユーザー ID はファイルに対する読み取りアクセス権を持っていない。この場合は、適切な UNIX システム・サービス・コマンドを使用して、キー・テーブル・ファイルに対する読み取り権限を RACF ユーザー ID に付与してください。2. キー・テーブル・ファイル名が間違っている。この場合は、Component Broker 構成ファイルでファイル名を訂正してください。訂正処置を実行後、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0233E Unable to refresh the DCE security context because the key table *string* was not found. (キー・テーブル *string* が見つからなかったため、DCE セキュリティー・コンテキストを最新表示できません。) API: *string*. DCE Status *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: Component Broker 制御領域の実行中、活動中のスレッドは、DCE セキュリティー・コンテキストの有効期限が切れる前に、このセキュリティ・コンテキストを最新表示しようとしています。DCE パスワードの取得先のキー・テーブルが見つからなかったため、コンテキストを最新表示できませんでした。この問題が解消されない場合は、DCE コンテキストを最新表示しようとしていたスレッドが終了し、DCE コンテキストは最新表示されません。コンテキストの有効期限が切れると、この制御領域では DCE セキュリティー・サービスを使用できなくなります。

ユーザーの処置: プリンシパルに使用するパスワードの取得先のキー・テーブル・ファイルが存在しません。理由としては、次のことが考えられます。1. キー・テーブル・ファイル名は正しいが、このファイルは除去されている。この場合は、DCE コマンドの `dcecp` または `rgy_edit` を使用して、プリンシパルのパスワードを作成してキー・テーブル・ファイルに格納してください。2. キー・テーブル・ファイル名が間違っている。この場合は、Component Broker 構成ファイルでファイル名を訂正してください。訂正処置を実行後、操作を再試行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0234E Unable to refresh the DCE security context because the process can not communicate with the DCE registry server. (プロセスが DCE レジストリー・サーバーと通信できないため、DCE セキュリティー・コンテキストを最新表示できません。)
API: *string*, **DCE Status** *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: Component Broker 制御領域の実行中、活動中のスレッドは、DCE セキュリティー・コンテキストの有効期限が切れる前に、このセキュリティ・コンテキストを最新表示しようとしています。DCE レジストリー・サーバーと通信できなかったため、コンテキストを最新表示できませんでした。この問題が解消されない場合は、DCE コンテキストを最新表示しようとしていたスレッドが終了し、DCE コンテキストは最新表示されません。コンテキストの有効期限が切れると、この制御領域では DCE セキュリティー・サービスを使用できなくなります。

ユーザーの処置: DCE レジストリー・サーバーと通信できなかった理由は、おそらく、Component Broker プログラムが実行されている OS/390 イメージ上で DCE レジストリー・サーバーが活動化されていないためです。Component Broker プログラムが実行されている OS/390 イメージ上で、DCE セキュリティー・レジストリー・レプリカが活動化されている必要があります。Component Broker プログラムは、リモートの DCE セキュリティー・レプリカと通信することはできません。イメージ上で DCE セキュリティー・レジストリー・レプリカが実行されていることを確認後、操作を再実行してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。

BBOU0235E Unable to refresh the DCE security context because the DCE principal associated with the login context does not exist. (ログイン・コンテキストに関連付けられている DCE プリンシパルが存在しないため、DCE セキュリティー・コンテキストを最新表示できません。) **API:** *string*, **DCE Status** *hstring string* (DCE 状況 *hstring string*。)

説明: Component Broker 制御領域の実行中、活動中のスレッドは、DCE セキュリティー・コンテキストの有効期限が切れる前に、このセキュリティ・コンテキストを最新表示しようとしています。このログイン・コンテキストに関連付けられている DCE プリンシパルが存在しないため、コンテキストを最新表示できませんでした。この問題が解消されない場合は、DCE コンテキストを最新表示しようとしていたスレッドが終了し、DCE コンテキストは最新表示されません。コンテキストの有効期限が切れると、この制御領域では DCE セキュリティー・サービスを使用できなくなります。

ユーザーの処置: DCE プリンシパルが存在しない理由は、おそらく、このプリンシパルが DCE レジストリーから除去されたためです。DCE レジストリーにプリンシパルを戻してから、Component Broker 制御領域を再始動してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。

BBOU0236E UNABLE TO REFRESH THE DCE SECURITY CONTEXT.THE THREAD THAT REFRESHES THE DCE CONTEXT IS ENDING.

説明: Component Broker 制御領域の実行中、活動中のスレッドは、DCE セキュリティー・コンテキストの有効期限が切れる前に、このセキュリティ・コンテキストを最新表示しようとしています。コンテキストは最新表示できず、コンテキストの最新表示を担当するスレッドは終了しました。コンテキストの有効期限が切れると、この制御領域では DCE セキュリティー・サービスを使用できなくなります。

メッセージ -- 一般

ユーザーの処置: ログを調べて、DCE コンテキストを最新表示できなかった理由を確認してください。適切な処置をとってから、Component Broker 制御領域を再始動してください。DCE 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0237E UNABLE TO START THE THREAD THAT REFRESHES THE DCE SECURITY CONTEXT.API: *string*. ERRNO *dstring string*

説明: Component Broker 制御領域の実行中、活動中のスレッドは、DCE セキュリティー・コンテキストの有効期限が切れる前に、このセキュリティ・コンテキストを最新表示しようとします。このスレッドを開始できませんでした。コンテキストの有効期限が切れると、この制御領域では DCE セキュリティー・サービスを使用できなくなります。

ユーザーの処置: メッセージ中の `errno` は、API `pthread_create` から戻されたものです。`errno` に基づいて適切な処置をとってから、Component Broker 制御領域を再始動してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0238E DCE/SAF INITIALIZATION FAILED.

説明: Component Broker は、初期化中に DCE セキュリティー・プロセスを完了することができませんでした。セキュリティ・プロセスには、RACF DCE セグメントからの使用する DCE プリンシパルの取得、使用する DCE キー・テーブルの判別、DCE へのログイン、および DCE アイデンティティーの GSS API への登録が含まれます。

ユーザーの処置: ログを調べて、DCE の初期化が失敗した理由を確認し、適切な処置をとってください。操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0239E DCE/SAF INITIALIZATION FAILED BECAUSE THE LENGTH OF THE DCE KEY TABLE FILE NAME *string*, EXCEEDED THE MAXIMUM SIZE ALLOWED.

説明: Component Broker は、初期化中に DCE セキュリティー・プロセスを完了することができませんでした。DCE キー・テーブル名の長さが、最大許容値を超えていました。

ユーザーの処置: メッセージを調べて、エラーの原因となったキー・テーブルの名前を突き止めてください。Component Broker では、このファイル名の最大許容長は 1000 文字です。この制限に適合する名前を使用して、このサーバー用の新しいキー・テーブル・ファイルを作成してから、操作を再試行してください。

BBOU0240I UNABLE TO DETERMINE WHETHER TO INITIALIZE DCE/SAF SECURITY.

説明: 初期化中に、Component Broker は DCE セキュリティーが要求されているかどうかを判別できませんでした。DCE セキュリティーが要求されなかったものとして、プログラムの実行が継続されます。

ユーザーの処置: セキュリティー・プロトコルが構成されていません。必要な場合は、セキュリティを構成してください。

BBOU0241E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because the principal was unable to acquire a GSSAPI credential. (DCE/SAF. DCE プリンシパル *string* が GSSAPI 証明書を取得できなかったため、このプリンシパルについて初期化が失敗しました。) API: *string*. GSS major status *hstring* GSS minor status *hstring string* (GSS メジャー状況 *hstring*、GSS マイナー状況 *hstring string*。)

説明: 初期化中に、GSS API `gss_acquire_cred` 呼び出しが失敗しました。GSS メジャー状況は、DCE レベルの障害を示します。エラー状況を調べてください。エラー状況は、DCE で発生したエラーを示します。DCE および GSSAPI 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。

ユーザーの処置: DCE エラーに基づいて、適切な訂正処置をとってください。操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0242E DCE/SAF initialization failed for the DCE principal *string*, because the principal was unable to acquire a GSSAPI credential. (DCE/SAF. DCE プリンシパル *string* が GSSAPI 証明書を取得できなかったため、このプリンシパルについて初期化が失敗しました。) API: *string*. GSS major status *hstring*. (GSS メジャー状況 *hstring*。)

説明: 初期化中に、GSS API `gss_acquire_cred` 呼び出しが失敗しました。GSS メジャー状況は、GSSAPI レベルの障害を示します。GSSAPI 状況コードは、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」に文書化されています。

ユーザーの処置: GSSAPI エラーに基づいて、適切な訂正処置をとってください。操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0243E IMPLEMENTATION OF CLASS *string* EITHER CAUSED OR RAISED EXCEPTION *string* DURING INVOCATION OF METHOD *string*.

説明: アプリケーションの呼び出し中に、プロバイダーのクラス・インプリメンテーションである Component Broker シリーズ・インスタンス・マネージャーがエラーを受け取りました。

ユーザーの処置: メッセージに示されているクラスのプロバイダーに連絡し、プロバイダーと協力して問題を判別してください。アプリケーション・プロバイダーは、IBM、カスタマー、またはその他の Component Broker アプリケーション・ベンダーです。

BBOU0245I CURRENT CB SERVICE LEVEL IS *string*.

説明: 現在の Component Broker サービス・レベルを示します。これは IBM 内部の値 (PTF 番号ではない) であり、弊社営業担当員にサポートを要求する際に必要になります。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0246I CB SERIES SERVER REGION *string* HAS BEEN RECYCLED.

説明: 示されたサーバー領域が停止し、同じタイプの別のサーバー領域が始動されます。これにより、システムでは、リークした可能性のあるリソースを再利用することができます。サーバー領域をリサイクルする場合、その頻度はシステム管理者が管理します。

ユーザーの処置: ありません。活動中のトランザクションがある場合は、このトランザクションが完了してからスペースがリサイクルされます。プログラマーは、この管理アクションの結果を確認することはできません。

BBOU0247E CB SERIES SERVER REGION *string* CAN NOT BE RECYCLED.

説明: サーバー領域は、ストレージを再利用するために、自分自身をリサイクルしようとしていました。サーバー領域では、WLM を呼び出してリサイクル機能を実行しようとしていましたが、この機能を実行できなかったことを示す戻りコードを受け取りました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0248E Internal failure, REASON=*hstring*, RC=*dstring*, EXTENDED REASON=*hstring*. (内部エラー。REASON=*hstring*、RC=*dstring*、EXTENDED REASON=*hstring*。)

説明: 内部エラーが発生し、Component Broker シリーズが失敗しました。

ユーザーの処置: このエラーの説明については、Component Broker シリーズ・エラー・コードの節 (本書中) を参照してください。Component Broker シリーズのエラー・コードに関する節に説明がない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0249W IRREGULARITIES WERE DETECTED DURING THE NAMESPACE CONFIGURATION.HOWEVER, THE NAMESPACE CONFIGURATION HAS BEEN COMMITTED.

説明: Naming Federation / LifeCycle ブートストラップ・アプリケーションの基本ステップが正常に実行されました。ただし、一部の重要でない構成ステップが失敗しました。許容可能な障害の例としては、次のものがあります。

1. 作成しようとしているコンテキストがすでに存在する。
2. ユーザー指定の (コンテキスト) 名が無効である。

ユーザーの処置: 失敗した構成ステップの詳細については、ジョブ出力を参照してください。必要に応じてアプリケーション入力 (たとえば、無効な名前が指定された) を訂正後、ブートストラップ・アプリケーションを再実行してください。

BBOU0250W The NameSpace configuration has encountered an unexpected problem. (NameSpace の構成で予期しない問題が発生しました。)

説明: 予期しない問題が発生しました。この問題は回復不能エラーではないので、NameSpace の構成は続行されます。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0251E The NameSpace configuration program cannot initialize ORB. (NameSpace 構成プログラムは ORB を初期化できません。)

説明: CB/390 ORB の初期化が失敗しました。構成プログラムは終了します。

ユーザーの処置: CB/390 サーバーが稼働中であることを確認してください。そうでない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0252E Unable to find Naming/LifeCycle homes. (Naming/LifeCycle ホームが見つかりません。)

説明: Naming / LifeCycle ホームにアクセスしているときに Component Broker 内部エラーが発生したため、構成プログラムが終了します。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0253E The default *string string* could not be created or could not be bound into the namespace. (デフォルト *string string* を作成できませんでした。あるいは、ネーム・スペースにバインドできませんでした。)

説明: Naming Federation/LifeCycle ブート・アプリケーションは、デフォルト・ホスト、ワークグループ、またはセル LifeCycle オブジェクトの作成および LifeCycle リポジトリへのバインドに失敗しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0254E Unable to register / bind *string* home for host *string*. (ホスト *string* 用の *string* ホームを登録 / バインドできません。)

説明: 指定されたホスト用として、指定されたホームを登録できませんでした。構成プログラムは終了します。

ユーザーの処置: ホスト名が無効であることが原因で登録が失敗した場合は、このエラーを訂正してから、構成プログラムを再実行してください。そうでない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0255I The *string* home for host *string* has been successfully created and bound into the namespace. (ホスト *string* 用の *string* ホームが正常に作成され、ネーム・スペースにバインドされました。)

説明: 指定されたホスト用として、指定されたホームが正常に登録されました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0333W Inconsistent configuration file input. (構成ファイルの入力が矛盾しています。) *string* specified, *string* missing. (*string* が指定されましたが、*string* が指定されていません。)

説明: Naming Federation/ LifeCycle ブート・アプリケーションで 사용되는構成ファイルに矛盾するステートメントがあります。このステートメントは無視され、処理が続行されます。

ユーザーの処置: 構成ファイルの構文については、「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」を参照してください。必要な場合は、不整合を訂正してから、ブート・プログラムを再実行してください。

BBOU0334I DCE/SAF mutual authentication failed with major status *hstring*, and minor status *hstring*. (DCE/SAF. 相互認証が失敗しました。メジャー状況 *hstring*、マイナー状況 *hstring*。)

説明: DCE 相互認証プロセスの完了に失敗しました。クライアント要求は継続されますが、この後、「アクセス権なし」例外で失敗します。

ユーザーの処置: ログを調べて、DCE 相互認証が失敗した理由を確認し、適切な処置をとってください。操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0335E DCE/SAF The server control region could not convert the DCE principal *string*, into its corresponding OS/390 identity because RACF is not installed or is not active. (DCE/SAF. サーバー制御領域は DCE プリンシパル *string* を対応する OS/390 アイデンティティーに変換できませんでした。これは、RACF がインストールされていない、あるいは活動状態でないためです。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: RACF がインストールされていない、あるいは活動状態でないため、Component Broker サーバー制御領域は R_dceruid サービスから DCE 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: Component Broker で DCE セキュリティーを使用するには、RACF がインストールされ、作動可能である必要があります。RACF がインストールされ、作動可能であることを確認後、操作を再試行してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0336E DCE/SAF The server control region could not convert the DCE principal *string*, with DCE principal and cell UUIDs of *string*, and *string*, into its corresponding OS/390 identity because no mapping to a RACF user ID exists for these UUIDs. (DCE/SAF。サーバー制御領域は、DCE プリンシパル UUID *string*、セル UUID *string* の DCE プリンシパル *string* を対応する OS/390 アイデンティティーに変換できませんでした。これは、これらの UUID に対応する RACF ユーザー ID へのマッピングがないためです。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: DCE UUID に対応する RACF ユーザー ID へのマッピングがないため、Component Broker サーバー制御領域は、これらの DCE UUID に対応する OS/390 アイデンティティーを取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: Component Broker サーバー制御領域では、DCE プリンシパルのセル UUID およびプリンシパル UUID を OS/390 アイデンティティーにマップするための RACF R_dceruid サービスにエントリーが必要であり、これがないと、DCE セキュリティーを使用するクライアントを識別できません。このマッピングを作成してから、操作を再試行してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0337E DCE/SAF The server control region could not convert the DCE principal *string*, into its corresponding OS/390 identity because it is not authorized to use this RACF conversion service. (DCE/SAF。サーバー制御領域は、DCE プリンシパル *string* を対応する OS/390 アイデンティティーに変換できませんでした。これは、このサーバー制御領域がこの RACF 変換サービスの使用を許可されていないためです。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: Component Broker サーバー制御領域は、R_dceruid サービスを使用するための RACF が許可されていないため、DCE プリンシパルに対応する OS/390 アイデンティティーを取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: この制御領域に R_dceruid サービスを使用するための RACF 権限を付与してから、操作を再試行してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0338E DCE/SAF The server control region could not convert the DCE principal *string*, into its corresponding OS/390 identity because the RACF DCEUIDS class is not active. (DCE/SAF. サーバー制御領域は DCE プリンシパル *string* を対応する OS/390 アイデンティティーに変換できませんでした。これは、RACF DCEUIDS クラスが活動状態でないためです。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: RACF DCEUIDS クラスが活動状態でないため、Component Broker サーバー制御領域は、DCE プリンシパルに対応する OS/390 アイデンティティーを取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: RACF クラス DCEUIDS を活動化してから、操作を再試行してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0339E DCE/SAF The server control region could not convert the DCE principal *string*, into its corresponding OS/390 identity because the parameters passed into the API were not correct. (DCE/SAF. サーバー制御領域は DCE プリンシパル *string* を対応する OS/390 アイデンティティーに変換できませんでした。これは、API に渡されたパラメーターが間違っていたためです。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: IRRSDI00 API に渡されたパラメーターが間違っていたため、Component Broker サーバー制御領域は、DCE プリンシパルに対応する OS/390 アイデンティティーを取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: これは内部プログラミング・エラーです。技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0340E DCE/SAF The server control region could not convert the DCE principal *string*, into its corresponding OS/390 identity. (DCE/SAF. サーバー制御領域は DCE プリンシパル *string* を対応する OS/390 アイデンティティーに変換できませんでした。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: Component Broker サーバー制御領域は、DCE プリンシパルに対応する OS/390 アイデンティティーを取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: メッセージに示された戻りコードに基づいて適切な処置をとってから、操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0341W The *string* value of *string* from the environment file has an invalid character at position *dstring*. (環境ファイルに保管されている *string* の値は、*string* の位置 *dstring* にある文字が無効です。) Error logging will be directed to CERR. (エラー・ログは CERR に送信されます。)

説明: 環境ファイルの LOGSTREAM 値には、次の制約事項があります。

1. ログ・ストリーム名はピリオドで区切った 1 つ以上の修飾子で構成され、26 文字以内でなければならない。
2. 各修飾子は 8 文字以内の数字、英字、あるいは国別文字で構成される。
3. 各修飾子の先頭は、英字または国別文字でなければならない。
4. 各修飾子はピリオドで区切られ、このピリオドも文字数に含まれる。

ユーザーの処置: 値は無視されます。この値を使用する場合は、環境ファイルで値を修正してから、Component Broker シリーズ・デーモンのアドレス・スペースを再始動してください。

BBOU0342W The logstream name in the Systems Management configuration does not match the value of the LOGSTREAMNAME environment variable. (システム管理構成内のログ・ストリーム名が LOGSTREAMNAME 環境変数の値と一致しません。) The Systems Management configuration value, *string*, is being used. (システム管理構成値 *string* が使用されます。)

説明: システム管理構成にログ・ストリーム名が定義されている場合は、その値が取り出されます。このメッセージは、LOGSTREAMNAME 環境変数を変更しても、出力の書き込み先に影響はないことをユーザーに通知するために発行されます。使用するログ・ストリームを変更するには、システム管理の管理ツールを使用してください。残りの文字は英数字にする必要があります。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0343E System Logger service *string* for stream *string* returned with failure - RC=*hstring*, RSN=*hstring*. (ストリーム *string* 用のシステム・ロガー・サービス *string* が失敗しました。RC=*hstring*、RSN=*hstring*。) Error logging will be directed to CERR. (エラー・ログは CERR に送信されます。)

説明: 指定されたシステム・ロガー・サービスの呼び出し中に、エラーが発生しました。このエラーは、16 進数の戻りコードおよび理由コードで示されています。

ユーザーの処置: 「OS/390 MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書」、 「OS/390 MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」、またはその他の該当する OS/390 資料で、示された関数について記載されている個所を探し出し、このエラーについての説明を参照してください。問題を訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0344E Input to program BBORBLOG specifies incorrect input parameter. (プログラム BBORBLOG への入力として指定された入力パラメーターが間違っています。) **A stream name must be supplied. (ストリーム名を指定する必要があります。)**

説明: ユーザーは、示されたプログラムに渡す最初のパラメーターとして、適切なシステム・ロガー・ストリーム名を指定しませんでした。

ユーザーの処置: 適切な入力を指定してから、プログラムを再実行してください。

BBOU0345E Input to program BBORBLOG specifies stream name of incorrect length. (プログラム BBORBLOG への入力として指定されたストリーム名の長が無効です。) **Length must be <=26 characters. (長さは 256 文字以内でなければなりません。)**

説明: ユーザーは、示されたプログラムに渡す最初のパラメーターとして、適切なシステム・ロガー・ストリーム名を指定しませんでした。値の長さは 26 文字以内でなければなりません。

ユーザーの処置: 適切な入力を指定してから、プログラムを再実行してください。

BBOU0346E Input to program BBORBLOG specifies incorrect format option. (プログラム BBORBLOG への入力として指定されたフォーマット・オプションが無効です。) **Valid format options are 80 and NOFORMAT. (有効なフォーマット・オプションの値は、80 および NOFORMAT です。)**

説明: ユーザーは、示されたプログラムに渡す 2 番目のパラメーターとして、適切なフォーマット・オプションを指定しませんでした。有効なフォーマット・オプションの値は、80 および NOFORMAT です。

ユーザーの処置: 適切な入力を指定してから、プログラムを再実行してください。

BBOU0347E Program BBORBLOG encountered an error opening file associated with DD:BBOLOG. (DD:BBOLOG に関連付けられているファイルを開くときに、プログラム BBORBLOG でエラーが発生しました。)

説明: ログ・ストリーム・ブラウザ・ファイルを開こうとしていたときに、エラーが発生しました。

ユーザーの処置: このデータ・セットが存在すること、および有効であることを確認してください。

BBOU0348E Program BBORBLOG encountered error during invocation of system logger service string. (システム・ロガー・サービス *string* の呼び出し中に、プログラム BBORBLOG でエラーが発生しました。) **Service returned with - RC=*hstring*, RSN=*hstring*. (サービスは RC=*hstring*、RSN=*hstring* で戻りました。)**

説明: 指定されたシステム・ロガー・サービスの呼び出し中に、エラーが発生しました。このエラーは、16 進数の戻りコードおよび理由コードで示されています。

ユーザーの処置: 「OS/390 MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書」、 「OS/390 MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」、またはその他の該当する OS/390 資料で、示さ

れた関数について記載されている個所を探し出し、このエラーについての説明を参照してください。問題を訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0349E Program BBORBLOG encountered an error writing to file associated with DD:BBOLOG. (DD:BBOLOG に関連付けられているファイルへの書き込み中に、プログラム BBORBLOG でエラーが発生しました。)

説明: ログ・ストリーム・ブラウザ・ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: このデータ・セットが存在すること、および有効であることを確認してください。

BBOU0350E Program BBORBLOG terminated due to errors. (プログラム BBORBLOG がエラーのため終了しました。) Browse file output may be truncated. (ブラウザ・ファイルの出力は切り捨てられます。)

説明: ログ・ストリームの処理中にプログラム BBORBLOG でエラーが発生しました。生成されたブラウザ・ファイルに格納されている出力は不完全である可能性があります。

ユーザーの処置: このメッセージの前に出力されたエラー・メッセージで報告されたエラーを修正してから、ブラウザ・プログラムを再実行してください。メッセージ 351、352、353 は除去されました。

BBOU0354E Connect failed to log stream *string*. (ログ・ストリーム *string* への接続に失敗しました。) Log stream BLKSIZE *dstring* is less than allowed minimum of 255. (ログ・ストリーム BLKSIZE *dstring* に、最小許容値 255 より小さい値が指定されています。)

説明: ログ・ストリームは、必須最小 BLKSIZE である 255 を使用して作成されていません。エラー・ログは CERR に送信されます。

ユーザーの処置: インストール・システムのログ・ストリームを、IBM 推奨範囲 255 ~ 4096 に適合する値で再定義してください。

BBOU0355E Server alias *string* not found in the Implementation Repository. (サーバー別名 *string* がインプリメンテーション・リポジトリで見つかりません。)

説明: 入力サーバー別名用の ImplementationDef を見つけるために CORBA::ImplRepository::find_impldef_by_alias が呼び出されましたが、サーバー別名がインプリメンテーション・リポジトリで見つかりませんでした。

ユーザーの処置: サーバーを始動してから、CORBA::ImplRepository::find_impldef_by_alias を呼び出してください。

BBOU0356E implid *string* not found in the Implementation Repository. (implid *string* がインプリメンテーション・リポジトリで見つかりません。)

説明: 入力 implid 用の ImplementationDef を見つけるために CORBA::ImplRepository::find_impldef が呼び出されましたが、implid がインプリメンテーション・リポジトリで見つかりませんでした。

メッセージ -- 一般

ユーザーの処置: サーバーを始動してから、CORBA::ImplRepository::find_impldef を呼び出してください。

BBOU0357W Environment variable DAEMON_IPNAME not set. (環境変数 DAEMON_IPNAME が設定されていません。)

説明: ネーミング・ブートストラップ構成ファイルには、ステートメント 'Host<n>=&DAEMON_IPNAME.' が格納されています。つまり、環境変数 DAEMON_IPNAME の値が Host<n> (<n>=1,2,3...) の名前として使用されます。しかし、この環境変数が設定されていません。

ユーザーの処置: 環境変数 DAEMON_IPNAME が設定されていること (BBOENV ファイルを参照) を確認するか、固定ホスト名 ('Host<n>=<fixed host name>') を指定してください。

BBOU0358E The fully-qualified binding or context name is too long. (完全修飾されたバインディング名またはコンテキスト名が長すぎます。)

説明: LDAP では、現在、バインディング / ネーミング・コンテキスト名の長さについて制限があります。内部 LDAP 表現の最大長は、1000 文字を超えることができません。指定された名前の内部表現が長すぎます。

ユーザーの処置: 名前を短くするか、ネーム・スペースにおけるネーミング・コンテキストのネストの深さを減らしてください。

BBOU0359E NATIVE SECURITY CONTEXT VERSION MISMATCH.CURRENTLY *dstring.dstring*, PASSED *dstring.dstring*

説明: ネイティブ・セキュリティー・コンテキストのバージョン・レベルが、実行可能プログラムで使用されているレベルと一致しませんでした。

ユーザーの処置: クライアントとサーバーが同じレベルのセキュリティー・コードで実行されていることを確認してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0360E DCE is not available. (DCE が利用不能です。)

説明: サーバーのセキュリティー要件を満たすために DCE が必要ですが、DCE が利用不能です。

ユーザーの処置: DCE を始動してから、要求を再度処理してください。

BBOU0361E A client has attempted to use a DCE protection level which is less than the minimum set for the server. (クライアントが、サーバー用の最小セットよりも低いレベルの DCE 保護を使用しようとしてしました。)

説明: サーバーに対してシステム管理者が設定した DCE 保護品質レベルよりも低いレベルを使用して、クライアントが DCE 保護会話を開始しようとしています。サーバーはクライアントに対して「アクセス権なし」例外を戻さずに、会話を終了します。

ユーザーの処置: DCE 保護会話を開始するためにクライアントが使用する保護品質を上げるか、クライアントが要求した保護レベルに合わせてサーバーの設定を下げてください。クライアントが要求した DCE 保護品質レベルがサーバーの保護品質レベルと同じかそれより高い場合、サーバーはクライアントの要求したレベルを使用します。サーバーの保護品質レベルは、システム管理ユーザー・インターフェースを介して制御されます。クライアントの保護品質レベルは、システム管理ユーザー・インターフェースを介して設定されます。あるいは、OS/390 の環境変数 CLIENT_DCE_QOP を介して設定されます。有効な保護品質レベルは、昇順で、NO_PROTECTION (つまり AUTHENTICITY)、INTEGRITY、および CONFIDENTIALITY の 3 つです。

BBOU0362E FUNCTION *string* FAILED WITH RC=*dstring*, RSN=*dstring*, RSN1=*hstring*, RSN2=*hstring*.

説明: Component Broker シリーズが、示された関数を発行し、この関数が RC で示された 10 進数の戻りコード、RSN で示された 10 進数の理由コード、および RSN1 と RSN2 で示された 2 つの 16 進数の副次理由コードで終了しました。

ユーザーの処置: エラーを報告した関数のリソース・マネージャーに関するメッセージおよびコードが記載されているマニュアルで、示された戻りコードおよび理由コードについての説明を参照してください。この情報を使用して、エラーを訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0363E The wrong number of values was passed to method *string*. (メソッド *string* に渡された値の数が間違っています。)

説明: 示されたメソッドに渡された値の数が間違っています。

ユーザーの処置: 呼び出し中の関数に関するプログラミング・ガイドを参照してください。パラメーターの指定を訂正し、プログラムを再実行してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0364E The *string*'s getConnectionObject() method was invoked before the admin object was fully initialized. (管理オブジェクトが完全に初期される前に、*string* の getConnectionObject() メソッドが呼び出されました。)

説明: 接続オブジェクトを作成するために管理オブジェクトが必要とする属性が完全には設定されていません。

ユーザーの処置: 管理オブジェクトの設定メソッドが呼び出されてから getConnectionObject() が呼び出されるようにプログラムを変更後、プログラムを再実行してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0365E The *string* method was invoked before the connection object was initialized. (接続オブジェクトが初期化される前に、*string* メソッドが呼び出されました。)

説明: 接続オブジェクトの initialize() メソッドを呼び出す前に、getHelperObject() が呼び出されました。

ユーザーの処置: 接続オブジェクトの initialize() メソッドが呼び出されてから getHelperObject() メソッド

メッセージ -- 一般

ドが呼び出されるようにプログラムを変更後、プログラムを再実行してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0366E FUNCTION *string* FAILED WITH RC=*dstring*, RSN=*dstring* DUE TO IMS NOT AVAILABLE.

説明: 示された Component Broker シリーズの関数が IMS otma_open() インターフェースを呼び出しましたが、IMS がインストールされていないまたは作動不能であったため、この呼び出しが失敗しました。10 進数の戻りコード RC および 10 進数の理由コード RSN が IMS OTMA から戻りました。

ユーザーの処置: IMS がインストールされ、作動可能であることを確認後、プログラムを再試行してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0367E CB SERIES DAEMON FAILED BECAUSE DAEMON IPNAME IS NOT SET.

説明: Component Broker デーモンを正常に始動するためには、DAEMON_IPNAME 環境変数を設定しておく必要があります。

ユーザーの処置: DAEMON_IPNAME 環境変数を適切に (通常は、デーモンの始動を試みたシステムの TCP/IP ホスト名に) 設定してください。

BBOU0368E CB SERIES DAEMON NOT FOUND BY SERVER *string*.

説明: Component Broker シリーズ・アドレス・スペースは、同じシステム上に活動状態の Component Broker シリーズ・デーモンがないと始動できません。始動しようとしたサーバーは、同じシステム上にデーモンを見つけないことができなかったため、エラーで終了します。

ユーザーの処置: このシステムで Component Broker シリーズ・デーモンを始動してから、別の Component Broker シリーズ・サーバーを始動してください。

BBOU0369E CB SERIES SERVER SPECIFIC NAME, *string* IS TOO LONG.

説明: Component Broker シリーズ・サーバーの場合、キーワード '-ORBSrvname' に続けて特定のサーバー名を入力パラメーターとして指定する必要があります。この名前は 8 文字以内でなければなりません。指定された名前は、この長さを超えていました。

ユーザーの処置: サーバーを始動するときは、特定のサーバーの有効な名前を指定してください。この名前は、Component Broker シリーズのシステム管理にサーバーが定義されたときに使用された名前です。

BBOU0370E CB SERIES DAEMON FAILED TO INITIALIZE BECAUSE ANOTHER DAEMON WAS STARTING.

説明: Component Broker シリーズ・デーモンを始動しようとしたのですが、別の Component Broker シリーズ・デーモンが始動処理中でした。1 つのシステム上では、一度に 1 つの Component Broker シリーズ・デーモンだけを活動化することができます。このデーモンはエラーで終了します。

ユーザーの処置: 1 つのシステムで同時に 2 つの Component Broker シリーズ・デーモンを始動しないでください。

BBOU0371E CB SERIES DAEMON FAILED TO INITIALIZE BECAUSE ANOTHER DAEMON WAS ACTIVE.

説明: Component Broker シリーズ・デーモンを始動しようとしたのですが、別の Component Broker シリーズ・デーモンが活動状態でした。1 つのシステム上では、一度に 1 つの Component Broker シリーズ・デーモンだけを活動化することができます。このデーモンはエラーで終了します。

ユーザーの処置: 1 つのシステムで同時に 2 つの Component Broker シリーズ・デーモンを始動しないでください。

BBOU0372E CB SERIES SYSTEMS MANAGEMENT FAILED TO INITIALIZE BECAUSE ANOTHER SYSTEMS MANAGEMENT SERVER WAS ST (別のシステム管理サーバーが始動処理中だったため、Component Broker シリーズ・システム管理は初期化に失敗しました。)

説明: Component Broker シリーズ・システム管理を始動しようとしたのですが、同じシステム上で別のシステム管理サーバーが始動処理中でした。1 つのシステム上では、一度に 1 つの Component Broker シリーズ・システム管理だけを活動化することができます。このシステム管理サーバーはエラーで終了します。

ユーザーの処置: 1 つのシステムで同時に 2 つの Component Broker シリーズ・システム管理サーバーを始動しないでください。

BBOU0373E CB SERIES SYSTEMS MANAGEMENT FAILED TO INITIALIZE BECAUSE ANOTHER SYSTEMS MANAGEMENT SERVER WAS AC (別のシステム管理サーバーが活動中だったため、Component Broker シリーズ・システム管理は初期化に失敗しました。)

説明: Component Broker シリーズ・システム管理サーバーを始動しようとしたのですが、同じシステム上で別のシステム管理サーバーが活動状態でした。1 つのシステム上では、一度に 1 つの Component Broker シリーズ・システム管理サーバーだけを活動化することができます。このサーバーはエラーで終了します。

ユーザーの処置: 1 つのシステムで同時に 2 つの Component Broker シリーズ・システム管理サーバーを始動しないでください。

BBOU0374E CB SERIES SYSTEMS MANAGEMENT SERVER NOT FOUND BY SERVER *string*.

説明: Component Broker シリーズ・サーバー・アドレス・スペースは、同じシステム上に活動状態の Component Broker シリーズ・システム管理サーバーがないと始動できません。始動しようとしたサーバーは、同じシステム上にシステム管理サーバーを見つけることができなかつたため、エラーで終了します。

ユーザーの処置: このシステムで Component Broker シリーズ・システム管理サーバーを始動してから、別の Component Broker シリーズ・サーバーを始動してください。

BBOU0375E CB SERIES CONTROL REGION *string* FAILED TO INITIALIZE BECAUSE ANOTHER CONTROL REGION OF THE SAME NAME W (同じ名前を持つ別の制御領域が始動処理中だったため、Component Broker シリーズ制御領域 *string* は初期化に失敗しました。)

説明: Component Broker シリーズ制御領域を始動しようとしたのですが、同じ特定のサーバー名を持つ別の制御領域が始動処理中でした。特定のサーバー名については、一度に 1 つの制御領域だけを活動状態にすることができます。

ユーザーの処置: 特定のサーバー名については、同時に 2 つの制御領域を始動しないでください。

BBOU0376E CB SERIES CONTROL REGION *string* FAILED TO INITIALIZE BECAUSE ANOTHER CONTROL REGION OF THE SAME NAME W (同じ名前を持つ別の制御領域が活動中だったため、Component Broker シリーズ制御領域 *string* は初期化に失敗しました。)

説明: Component Broker シリーズ制御領域を始動しようとしたのですが、同じ特定のサーバー名を持つ別の制御領域が活動状態でした。特定のサーバー名については、一度に 1 つの制御領域だけを活動状態にすることができます。

ユーザーの処置: 特定のサーバー名については、同時に 2 つの制御領域を始動しないでください。

BBOU0377W CB SERIES UNEXPECTED DELAY WAITING FOR START OF SERVER *string*.

説明: Component Broker が別の Component Broker サーバーを自動的に始動する場合、そのサーバーの初期化が開始されるのを待ってから処理を続けます。最初のタイムアウト期間 (1 分間) が経過すると、このサーバーが始動されるのを適度な時間にわたって待っていたことを示すために、このメッセージが表示されます。Component Broker は待機を続け、2 回目のタイムアウト期間が経過すると、後続の警告メッセージが発行されます。

ユーザーの処置: システムの処理速度が遅いか、示されたサーバーの始動を妨げている問題があります。場合によっては、問題を判別し、タイムアウトになる前にサーバーを始動することができます。

BBOU0378W CB SERIES WAITING FOR START OF SERVER *string*, SECOND WARNING.

説明: Component Broker が別の Component Broker サーバーを自動的に始動する場合、そのサーバーの初期化が開始されるのを待ってから処理を続けます。2 回目のタイムアウト期間 (5 分間) が経過すると、このサーバーが始動されるのを適度な時間にわたって待っていたことを示すために、このメッセージが表示されます。Component Broker は待機を続け、3 回目のタイムアウト期間が経過すると、このサーバーの始動を待機するのをやめたことを示す後続のエラー・メッセージが発行されます。

ユーザーの処置: システムの処理速度が遅いか、示されたサーバーの始動を妨げている問題があります。場合によっては、問題を判別し、タイムアウトになる前にサーバーを始動することができます。

BBOU0379E CB SERIES WAITING FOR START OF SERVER *string* HAS TIMED OUT.

説明: Component Broker が別の Component Broker サーバーを自動的に始動する場合、そのサーバーの初期化が開始されるのを待ってから処理を続けます。3 回目のタイムアウト期間 (合計で 10 分間) が経

過すると、このサーバーが始動されるのを適度な時間にわたって待っていたことを示すために、このメッセージが表示されます。Component Broker は待機をやめて、場合によっては例外をスローし、このサーバーの始動を必要としていたその他の処理を終了します。

ユーザーの処置: システムの処理速度が遅いか、示されたサーバーの始動を妨げている問題があります。このタイムアウトによってどのような結果になった場合でも、過度な遅延を発生させた原因を判別し、問題を訂正してから再試行してください。

BBOU0380E CB SERIES CONTROL REGION *string* PROGRAM *string* PPT ENTRY *string* IS NOT SPECIFIED.

説明: この PPT エントリーが指定されていないと、プログラムを実行できません。

ユーザーの処置: PPT 要件が正しいことを確認してください。SCHEDxx PARMLIB メンバーが「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の説明に従って適切に修正されていることを確認してください。

BBOU0381E CB SERIES CONTROL REGION *string* PROGRAM *string* PPT ENTRY *string* SHOULD NOT BE SPECIFIED.

説明: この PPT エントリーが指定されていると、プログラムを実行できません。

ユーザーの処置: PPT 要件が正しいことを確認してください。SCHEDxx PARMLIB メンバーが「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の説明に従って適切に修正されていることを確認してください。

BBOU0382E CB SERIES CONTROL REGION *string* PROGRAM *string* PPT ENTRY *string* IS SPECIFIED INCORRECTLY.

説明: このエントリーの指定が間違っているため、プログラムを実行できません。

ユーザーの処置: PPT 要件が正しいことを確認してください。SCHEDxx PARMLIB メンバーが「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の説明に従って適切に修正されていることを確認してください。

BBOU0383E CB SERIES PROGRAM *string* PPT ENTRY *string* IS NOT SPECIFIED.

説明: この PPT エントリーが指定されていないと、プログラムを実行できません。

ユーザーの処置: PPT 要件が正しいことを確認してください。SCHEDxx PARMLIB メンバーが「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の説明に従って適切に修正されていることを確認してください。

BBOU0384E CB SERIES PROGRAM *string* PPT ENTRY *string* SHOULD NOT BE SPECIFIED.

説明: この PPT エントリーが指定されていると、プログラムを実行できません。

ユーザーの処置: PPT 要件が正しいことを確認してください。SCHEDxx PARMLIB メンバーが「OS/390

メッセージ -- 一般

Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の説明に従って適切に修正されていることを確認してください。

BBOU0385E CB SERIES PROGRAM *string* PPT ENTRY *string* IS SPECIFIED INCORRECTLY.

説明: このエントリーの指定が間違っているため、プログラムを実行できません。

ユーザーの処置: PPT 要件が正しいことを確認してください。SCHEDxx PARMLIB メンバーが OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の説明に従って適切に修正されていることを確認してください。

BBOU0386E FUNCTION *string* FAILED WITH RC=*dstring*, RSN=*dstring*; UNABLE TO CONNECT TO CICS. (関数 *string* が失敗しました。RC=*dstring*、RSN=*dstring*。CICS に接続できません。)

説明: 示された Component Broker シリーズの関数が CICS EXCI Open_Pipe インターフェースを呼び出しましたが、この呼び出しが失敗しました。おそらく、CICS 領域が活動状態でない、あるいは PAA サーバーによって要求された特定のパイプ接続が CICS に定義されていないことが原因です。10 進数の戻りコード RC および 10 進数の理由コード RSN が CICS EXCI から戻りました。

ユーザーの処置: CICS 領域が活動状態であること、および CONNTYPE(SPECIFIC) による CICS 接続定義で指定された NETNAME が CB/390 PAA サーバー用として選択されたサーバー名と一致することを確認してください。確認後、プログラムを再試行してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0387E FUNCTION *string* FAILED WITH RC=*dstring*, RSN=*dstring*; IRP ABORT RECEIVED FROM CICS.

説明: 示された Component Broker シリーズの関数が CICS EXCI DPL_Request インターフェースを呼び出しましたが、この呼び出しが失敗しました。10 進数の戻りコード RC および 10 進数の理由コード RSN が CICS EXCI から戻りました。問題の判別を容易にするために、このメッセージの直前に、要求の戻り領域に関連する CICS エラー・メッセージが出力されます。

ユーザーの処置: このエラー・メッセージの直前に出力された CICS エラー・メッセージを確認して、示された問題を解決してください。このエラーの原因としては、該当する CICS 領域が属性 RRMS=YES で実行されていなかったことが考えられます。その場合は、属性 RRMS=YES を指定して CICS 領域を実行してから、プログラムを再試行してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0388E FUNCTION *string* FAILED WITH RC=*dstring*, RSN=*dstring*; PGMIDERR RECEIVED FROM CICS. (関数 *string* が失敗しました。RC=*dstring*、RSN=*dstring*。CICS から PGMIDERR を受け取りました。)

説明: 示された Component Broker シリーズの関数が CICS EXCI DPL_Request インターフェースを呼び出しましたが、この呼び出しが失敗しました。10 進数の戻りコード RC および 10 進数の理由コード RSN が CICS EXCI から戻りました。PGMIDERR は、DPL_Request により呼び出された CICS プログラ

ム (トランザクション) が CICS 領域に存在しなかったことを示します。

ユーザーの処置: ターゲット・プログラムが含まれているプログラム・ライブラリーが、CICS 領域の始動に使われたジョブの DFHRPL ステップで正しく指定されていることを確認後、プログラムを再試行してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0389E FUNCTION *string* FAILED WITH RC=*dstring*, RSN=*dstring* DUE TO INVALID XCF GROUP NAME.

説明: 示された Component Broker シリーズの関数が IMS OTMA otma_open() インターフェースを呼び出しましたが、指定された XCF_group_name 値が無効だったため、呼び出しが失敗しました。10 進数の戻りコード RC および 10 進数の理由コード RSN が IMS OTMA から戻りました。

ユーザーの処置: CB/390 システム管理に対して定義された IMS OTMA PAA 論理リソース・マネージャー・インスタンス (LRMI) への入力として指定された XCF グループ名が正しいことを確認後、プログラムを再試行してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0390E FUNCTION *string* FAILED WITH RC=*dstring*, RSN=*dstring* DUE TO CB/390 SERVER INSTANCE NOT AUTHORIZED TO USE THE IMS OTMA INTERFACE.

説明: 示された Component Broker シリーズの関数が IMS otma_open() インターフェースを呼び出しましたが、CB/390 サーバー・インスタンスは IMS OTMA インターフェースの使用を許可されていなかったため、この呼び出しが失敗しました。10 進数の戻りコード RC および 10 進数の理由コード RSN が IMS OTMA から戻りました。

ユーザーの処置: CB/390 サーバー・インスタンスが IMS OTMA インターフェースの使用を許可されていることを確認後、プログラムを再試行してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0391I Unable to load the DCE DLL EUVSDLL, the C/C++ library function dllload failed with errno *dstring*. (DCE DLL EUVSDLL をロードできません。C/C++ ライブラリー関数 dllload が errno *dstring* で失敗しました。)

説明: Component Broker 制御領域は、DCE ダイナミック・ロード・ライブラリー "EUVSDLL" をロードできませんでした。DCE セキュリティーを使用するには、この DLL がシステムで使用可能である必要があります。制御領域は継続されますが、DCE セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: おそらく、システムに DCE がインストールされていないことがエラーの理由です。DCE セキュリティーを使用する場合は、システムに DCE をインストールし、DCE セキュリティー・サーバー (SECD) を活動化する必要があります。

BBOU0392I The C/C++ library function *string* failed to locate the pointer to *string* in the DCE DLL. (C/C++ ライブラリー関数 *string* は、DCE DLL 内で *string* のポインターを見つけることができませんでした。) The errno returned was *dstring*. (errno *dstring* が戻りました。)

説明: Component Broker 制御領域は、エントリーのポインターを DCE DLL "EUVSDLL" 内で見つけることができませんでした。DCE セキュリティーを使用するには、このエントリーがシステムで使用可能である必要があります。制御領域は継続されますが、DCE セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: メッセージに対して、適切な応答を行ってください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0393I Unable to allocate memory for an object of class indirect_DCE_calls. (クラス indirect_DCE_calls のオブジェクトに使用するメモリーを割り振ることができません。)

説明: Component Broker プログラムは、DCE セキュリティーに必要な情報を格納するためのストレージを取得できませんでした。プログラムは続行しますが、DCE セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: プログラムを再始動するときに、このプログラムに使用可能なストレージの量を増やしてください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0394W ENVIRONMENT VARIABLE DAEMON_IPNAME CANNOT BE CHANGED.THE VALUE BOOTSTRAPPED WITH IS *string*.

説明: システム管理ブートストラップが実行されたときに、DAEMON_IPNAME 環境変数が初期設定されました。ブートストラップの実行後に、DAEMON_IPNAME 環境変数の値を変更することはできません。システム管理ブートストラップの処理中に存在していた値が、引き続き使用されます。環境ファイルで変更された値は無視されます。

ユーザーの処置: デーモンの IP 名を変更する場合は、システム管理ブートストラップを再実行する必要があります。システム管理ブートストラップを再実行すると、構成されたアプリケーション・データはすべて失われます。

BBOU0395W ENVIRONMENT VARIABLE DAEMON_IPNAME IS NOT FULLY QUALIFIED.

説明: DAEMON_IPNAME 環境変数にドメインが完全に修飾されていません。これは、複数シスプレックス構成の場合、問題が発生する原因となります。

ユーザーの処置: デーモンの IP 名にドメインを指定して完全修飾した場合は、完全修飾名が反映されるように DAEMON_IPNAME 環境変数を変更してから、システム管理ブートストラップを再実行してください。

BBOU0396E ENVIRONMENT VARIABLE DAEMON_IPNAME IS SET TO AN IP ADDRESS, NOT TO A HOST NAME.

説明: DAEMON_IPNAME 環境変数が IP アドレスに設定されています。この環境変数は、IP 名 (ホスト名) に設定する必要があります。

ユーザーの処置: DAEMON_IPNAME 環境変数を訂正後、システム管理ブートストラップを再実行してください。

BBOU0397E The DCE mutual authentication request failed with a *string* exception, with a minor code of *hstring*. (DCE 相互認証要求が *string* 例外で失敗しました。マイナー・コード *hstring*。)

説明: Component Broker クライアントは、サーバーとの DCE 相互認証シーケンスを完了できませんでした。

ユーザーの処置: メッセージに示された例外に基づいて適切な処置をとってから、操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0398E Attempt to dispatch method *string* of class *string* encountered uncaught system exception *string*. (クラス *string* のメソッド *string* をディスパッチしようとしたときに、未キャッチのシステム例外 *string* が発生しました。)

説明: メソッドのディスパッチ中に、Component Broker シリーズ ORB はシステム例外をキャッチしました。

ユーザーの処置: メッセージに示されているクラスのプロバイダーに連絡し、プロバイダーと協力して問題を判別してください。アプリケーション・プロバイダーは、IBM、カスタマー、またはその他の Component Broker アプリケーション・ベンダーです。

BBOU0399E Attempt to dispatch method *string* of class *string* encountered uncaught user exception *string*. (クラス *string* のメソッド *string* をディスパッチしようとしたときに、未キャッチのユーザー例外 *string* が発生しました。)

説明: メソッドのディスパッチ中に、Component Broker シリーズ ORB はユーザー例外をキャッチしました。

ユーザーの処置: メッセージに示されているクラスのプロバイダーに連絡し、プロバイダーと協力して問題を判別してください。アプリケーション・プロバイダーは、IBM、カスタマー、またはその他の Component Broker アプリケーション・ベンダーです。

BBOU0400I The default *string* Ordered Locations have been successfully created and bound into the namespace (デフォルトの *string* Ordered Locations が作成され、ネーム・スペースにバインドされました。)

説明: Naming Federation/LifeCycle ブート・アプリケーションは、デフォルト・ワークグループの Ordered Locations オブジェクトを作成し、これを LifeCycle リポジトリにバインドしました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0401E The Local Host Root Naming Context couldn't be created. (ローカル・ホスト・ルート・ネーミング・コンテキストを作成できませんでした。)

説明: Naming Federation/LifeCycle ブート・アプリケーションは、ローカル・ホスト・ルート・ネーミング・コンテキストを作成できませんでした。LDAP の設定が間違っていることが、この問題の原因である可能性があります。

ユーザーの処置: LDAP の設定を確認し、必要な場合は訂正してください。次のことを確認してください。 - BBOSYM ファイルで LDAPCONF、LDAPROOT、および LDAPIRROOT が適切に設定されていますか ? - 使用している LDAP 構成ファイルは間違っていないですか ? - 一部の LDAP 構成ファイルには、別の LDAP 構成ファイルの設定が含まれています。この包含チェーンは間違っていないですか ? 問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0404I Usage: BBOPUDMP [<key1>=<value1> [<key2>=<value2> [...]]] Key Short key Description *string string* name of a configuration file containing IR dump options *string string* name of the output file *string string* output format: 'HTML' or 'TEXT' *string string* name of a module or interface where the dump will start; if omitted the complete IR is dumped (使用法: BBOPUDMP [<key1>=<value1> [<key2>=<value2> [...]]] Key Short key 説明 *string string* IR ダンプ・オプションが定義されている構成ファイルの名前 *string string* 出力ファイル名 *string string* 出力フォーマット: 'HTML' または 'TEXT' *string string* ダンプを開始するモジュールまたはインターフェースの名前 (指定しなかった場合は、IR 全体のダンプがとられる))

説明: このメッセージは、このユーティリティの入力パラメーターのリストを要求した場合に出力されます。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0405W *string < dstring > : format of TIME_t.datetime has changed (string < dstring > : TIME_t.datetime のフォーマットが変わりました。)*

説明: Component Broker シリーズは予期しない日付 / 時刻フォーマットを検出しました。

ユーザーの処置: 技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0406W The function *string < dstring >* received the CORBA System exception: '*string Exception*'. (関数 *string < dstring >* が CORBA システム例外 '*string Exception*' を受け取りました。)

説明: Component Broker シリーズは、示された CORBA システム例外をキャッチしました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。関連メッセージがない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0407W The function *string < dstring >* received a CORBA User exception. (関数 *string < dstring >* が CORBA ユーザー例外を受け取りました。)

説明: Component Broker シリーズは、示された CORBA ユーザー例外をキャッチしました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。関連メッセージがない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0408W The function *string < dstring >* received an unkown exception. (関数 *string < dstring >* が不明な例外を受け取りました。)

説明: Component Broker シリーズは、不明な例外をキャッチしました。これは、CORBA::SystemException および CORBA::UserException の値として CORBA に定義されていない値 (オブジェクト・インスタンス) のスローがアプリケーションによって発行されたことが原因です。たとえば、アプリケーションからスロー・エラーが発行され、エラーのタイプが int でした。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。関連メッセージがない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0409W The function *string < dstring >* received an *string exception*. (関数 *string < dstring >* が *string* 例外を受け取りました。) Error code is *hstring*. (エラー・コードは *hstring* です。)

説明: Component Broker シリーズは例外をキャッチしました。これは、CORBA::SystemException および CORBA::UserException の値として CORBA に定義されていない値 (オブジェクト・インスタンス) のスローがアプリケーションによって発行されたことが原因です。たとえば、アプリケーションからスロー・エラーが発行され、エラーのタイプが int でした。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。関連メッセージがない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

メッセージ -- 一般

BBOU0410W WARNING: *string* (警告: *string*)

説明: このメッセージは、ユーティリティー・プログラムで発生した状態をプログラマーに通知するためのものです。

ユーザーの処置: メッセージ・テキストに従って処置をとってください。

BBOU0411E USER ERROR: *string* (ユーザー・エラー: *string*)

説明: このメッセージは、ユーティリティー・プログラムで発生した重大な状態をプログラマーに通知するためのものです。

ユーザーの処置: メッセージ・テキストに従って処置をとってください。

BBOU0412E The function *string < dstring >* received an *string* exception while performing an operation on a collection. (コレクションに対する操作を実行中に、関数 *string < dstring >* が *string* 例外を受け取りました。)

説明: Component Broker シリーズは、示された内部例外をキャッチしました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。関連メッセージがない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0413E The function *string < dstring >* received an unexpected exception while performing an operation on a collection. (コレクションに対する操作を実行中に、関数 *string < dstring >* が予期しない例外を受け取りました。)

説明: Component Broker シリーズは内部例外をキャッチしました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に表示されるメッセージを参照して、このエラーがどのように処理されたかを確認してください。関連メッセージがない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0414E Memory allocation failure during constructor call. (コンストラクターの呼び出し中にメモリー割り振りエラーが発生しました。)

説明: メモリー割り振り要求が失敗しました。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡してください。

BBOU0415I Usage: BBOPUINT [<key1>=<value1> [<key2>=<value2> [...]]] Key Short key
Description *string string* name of the output file *string string* name of a module or interface where the checking will start; if omitted the complete IR is checked (使用法: BBOPUINT [<key1>=<value1> [<key2>=<value2> [...]]] Key Short key 説明 *string string* 出力ファイル名 *string string* 検査を開始するモジュールまたはインターフェースの名前 (指定しなかった場合は、IR 全体が検査される))

説明: このメッセージは、このユーティリティーの入力パラメーターのリストを要求した場合に出力されます。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0487E Inconsistent configuration file input. (構成ファイルの入力が矛盾しています。) No IDR location specified. (IDR の位置が指定されていません。)

説明: Naming Federation/ LifeCycle ブート・アプリケーションで使用される構成ファイルに矛盾するステートメントがあります。IDR の位置が指定されていません。継続します。

ユーザーの処置: 構成ファイルの構文については、「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」を参照してください。必要な場合は、不整合を訂正してから、ブート・プログラムを再実行してください。

BBOU0490E Attempt to dispatch method *string* of class *string* encountered uncaught throw. (クラス *string* のメソッド *string* をディスパッチしようとしたときに、未キャッチのスローを検出しました。)

説明: メソッドのディスパッチ中に、Component Broker シリーズ ORB はシステム例外でもユーザー例外でもない例外をキャッチしました。

ユーザーの処置: メッセージに示されているクラスのプロバイダーに連絡し、プロバイダーと協力して問題を判別してください。アプリケーション・プロバイダーは、IBM、カスタマー、またはその他の Component Broker アプリケーション・ベンダーです。

BBOU0491W Program BBORBLOG encountered error trying to browse logstream. (ログ・ストリームのブラウズ中に、プログラム BBORBLOG でエラーが発生しました。) Logstream is empty. (ログ・ストリームが空です。)

説明: ブラウズしようとしているログ・ストリームには、データが入っていません。

ユーザーの処置: ログ・ストリーム名を確認してください。

BBOU0492E Program BBORBLOG encountered error trying to connect to logstream. (ログ・ストリームへの接続中にプログラム BBORBLOG でエラーが発生しました。) User does not have READ access to logstream. (ユーザーはログ・ストリームの読み取りアクセス権を持っていません。)

説明: ログ・ストリームをブラウズしようとしているユーザーが、ログ・ストリームの読み取りアクセス権を持っていません。

ユーザーの処置: 適切な RACF コマンドを発行することにより、このユーザーにログ・ストリームの読み取りアクセス権を付与してください。

BBOU0493E Program BBORBLOG encountered error trying to connect to log stream. (ログ・ストリームへの接続中にプログラム BBORBLOG でエラーが発生しました。) The log stream specified has not been defined. (指定されたログ・ストリームは定義されていません。)

説明: 指定されたログ・ストリーム名は、LOGR ポリシーに定義されていません。

ユーザーの処置: ログ・ストリーム名が LOGR ポリシーに定義されていることを確認してください。

BBOU0494E MSG_BBOUENUS_SEC_PARAM_LIST_ERR: RACF - Parameter list error occurred during init_acee create

説明: RACF - パラメーター・リスト・エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 詳しくは、付加的な Component Broker メッセージを参照してください。RACF のコードは「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。この資料には、IRRSIA00 に関する戻りコードおよび理由コードが記載されています。

BBOU0495E MSG_BBOUENUS_SEC_RACF_INTERNAL_ERR: RACF - An internal error occurred during init_acee create (MSG_BBOUENUS_SEC_RACF_INTERNAL_ERR: RACF - init_acee の作成中に内部エラーが発生しました。)

説明: RACF - RACF の処理中に内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 詳しくは、付加的な Component Broker メッセージを参照してください。RACF のコードは「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。この資料には、IRRSIA00 に関する戻りコードおよび理由コードが記載されています。

BBOU0496E MSG_BBOUENUS_SEC_RECOV_ENV_ERR: RACF - Recovery environment could not be established during init_acee create (MSG_BBOUENUS_SEC_RECOV_ENV_ERR: RACF - init_acee の作成中にリカバリー環境を確立できませんでした。)

説明: RACF - リカバリー環境を確立できませんでした。

ユーザーの処置: 詳しくは、付加的な Component Broker メッセージを参照してください。RACF のコー

ドは「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。この資料には、IRRSIA00 に関する戻りコードおよび理由コードが記載されています。

BBOU0497E MSG_BBOUENUS_SEC_UNDEF_USERID: RACF - User ID is not defined to RACF during init_acee create (MSG_BBOUENUS_SEC_UNDEF_USERID: RACF - init_acee の作成中にユーザー ID が RACF に定義されていません。)

説明: RACF - ユーザー ID が RACF に定義されていません。

ユーザーの処置: 詳しくは、付加的な Component Broker メッセージを参照してください。RACF のコードは「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。この資料には、IRRSIA00 に関する戻りコードおよび理由コードが記載されています。

BBOU0498E MSG_BBOUENUS_SEC_INV_PW_PTK: RACF - Password or PassTicket is not valid during init_acee create

説明: RACF - パスワードまたはパスチケットが無効です。

ユーザーの処置: 詳しくは、付加的な Component Broker メッセージを参照してください。RACF のコードは「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。この資料には、IRRSIA00 に関する戻りコードおよび理由コードが記載されています。

BBOU0499E MSG_BBOUENUS_SEC_PW_EXPIRED: RACF - Password is expired during init_acee create (MSG_BBOUENUS_SEC_PW_EXPIRED:RACF - init_acee の作成中にパスワードが期限切れでした。)

説明: RACF - パスワードの有効期限が切れています。

ユーザーの処置: 詳しくは、付加的な Component Broker メッセージを参照してください。RACF のコードは「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。この資料には、IRRSIA00 に関する戻りコードおよび理由コードが記載されています。

BBOU0500E MSG_BBOUENUS_SEC_USERID_OR_PW_REVOKED: RACF - User ID is revoked during init_acee create (MSG_BBOUENUS_SEC_USERID_OR_PW_REVOKED: RACF - init_acee の作成中にユーザー ID が取り消されていました。)

説明: RACF - ユーザー ID またはパスワードが取り消されています。

ユーザーの処置: 詳しくは、付加的な Component Broker メッセージを参照してください。RACF のコードは「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。この資料には、IRRSIA00 に関する戻りコードおよび理由コードが記載されています。

BBOU0501E MSG_BBOUENUS_SEC_UNAUTH_USER: RACF - User ID is not authorized during init_acee create (MSG_BBOUENUS_SEC_UNAUTH_USER: RACF - init_acee の作成中にユーザー ID が許可されていませんでした。)

説明: RACF - ユーザーが許可されていません。

ユーザーの処置: 詳しくは、付加的な Component Broker メッセージを参照してください。RACF のコードは「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。この資料には、IRRSIA00 に関する戻りコードおよび理由コードが記載されています。

BBOU0502E MSG_BBOUENUS_SEC_INVALID_CERTIF: RACF - Certificate is not valid during init_acee create (MSG_BBOUENUS_SEC_INVALID_CERTIF: RACF - init_acee の作成中に証明書が無効でした。)

説明: RACF - 証明書が無効です。

ユーザーの処置: 詳しくは、付加的な Component Broker メッセージを参照してください。RACF のコードは「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。この資料には、IRRSIA00 に関する戻りコードおよび理由コードが記載されています。

BBOU0503E MSG_BBOUENUS_SEC_CERTIF_NOTRUST: RACF - Either no user ID is defined for this certificate or the certificate status is NOTRUST during init_acee create (MSG_BBOUENUS_SEC_CERTIF_NOTRUST: RACF - init_acee の作成中に、この証明書のユーザー ID が未定義または証明書状況が NOTRUST でした。)

説明: RACF - この証明書についてユーザー ID が定義されていないか、証明書状況が NOTRUST です。

ユーザーの処置: 詳しくは、付加的な Component Broker メッセージを参照してください。RACF のコードは「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。この資料には、IRRSIA00 に関する戻りコードおよび理由コードが記載されています。

BBOU0504E MSG_BBOUENUS_SEC_NO_REM_USERID: No remote user ID is defined (MSG_BBOUENUS_SEC_NO_REM_USERID: リモート・ユーザー ID が定義されていません。)

説明: セキュリティー・マネージャー - リモート・ユーザー ID が定義されていません。

ユーザーの処置: 技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0505E MSG_BBOUENUS_SEC_NO_REM_PASSWORD: No remote password or a blank password is defined as an environmental variable for Userid *string*
(MSG_BBOUENUS_SEC_NO_REM_PASSWORD: ユーザー ID *string* の環境変数として、リモート・パスワードが定義されていません。あるいは、ブランク・パスワードが定義されています。)

説明: セキュリティー・マネージャー - リモート・パスワードが定義されていません。

ユーザーの処置: 技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0506E MSG_BBOUENUS_SEC_PTKT_HASHTABLE_FAILED: Security manager: hash table was not created (MSG_BBOUENUS_SEC_PTKT_HASHTABLE_FAILED: セキュリティー・マネージャー: ハッシュ・テーブルが作成されませんでした。)

説明: セキュリティー・マネージャー - セキュリティー・マネージャーのハッシュ・テーブル作成エラーです。

ユーザーの処置: 技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0507E MSG_BBOUENUS_SEC_PTKT_CREATE_FAILED: Security manager: pass ticket create failed (MSG_BBOUENUS_SEC_PTKT_CREATE_FAILED: セキュリティー・マネージャー: パスチケットの作成が失敗しました。)

説明: セキュリティー・マネージャー - セキュリティー・マネージャーのハッシュ・テーブル作成エラーです。

ユーザーの処置: 技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0508E MSG_BBOUENUS_SEC_NULL_SESSIONID: Null session ID in NatSecCtx_Auth (MSG_BBOUENUS_SEC_NULL_SESSIONID: NatSecCtx_Auth のセッション ID がヌルです。)

説明: セキュリティー・マネージャー - セキュリティー・マネージャーの NatSecCtx_Auth にヌルのセッション ID があります。

ユーザーの処置: 技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0509E Function *string* for host *ip_addr string* failed with RV=*dstring*, RC=*dstring*, RSN=*hstring*, [*string*] (ホスト *ip_addr string* 用の関数 *string* が失敗しました。RV=*dstring*、RC=*dstring*、RSN=*hstring*, [*string*])

説明: Component Broker シリーズが、示された関数を発行し、この関数が RV で示された 10 進数の戻り値、RC で示された 10 進数の戻りコード、および RSN で示された 16 進数の理由コードで終了しました。

ユーザーの処置: 戻り値およびコードの説明については、「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」または「UNIX システム・サービス メッセージおよびコード」を参照してください。エラー

メッセージ -- 一般

一を訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0510E Function *string* for hostname *string* failed with RV=*dstring*, RC=*dstring*, RSN=*hstring*, [*string*] (ホスト名 *string* 用の関数 *string* が失敗しました。RV=*dstring*、RC=*dstring*、RSN=*hstring*, [*string*])

説明: Component Broker シリーズが、示された関数を発行し、この関数が RV で示された 10 進数の戻り値、RC で示された 10 進数の戻りコード、および RSN で示された 16 進数の理由コードで終了しました。

ユーザーの処置: 戻り値およびコードの説明については、「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」または「UNIX システム・サービス メッセージおよびコード」を参照してください。エラーを訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0511S COULD NOT BUILD PROXY FOR CLASS *string* (クラス *string* のプロキシーを作成できませんでした。)

説明: `create_proxy` の呼び出しで NULL が戻りました。

ユーザーの処置: このクラス用の DLL が `steplib` またはリンク・リストにあることを確認してください。

BBOU0512W NON-NUMERIC VALUE SPECIFIED FOR ENVIRONMENT VARIABLE *string*.THE DEFAULT VALUE *dstring* IS TAKEN.

説明: 環境ファイル中で、示された変数について無効な値が指定されました。値は数値でなければなりません。デフォルト値が使用されます。

ユーザーの処置: 変数の設定を訂正後、Component Broker を再始動してください。

BBOU0513W VALUE OF ENVIRONMENT VARIABLE *string* TRUNCATED. LENGTH MUST NOT EXCEED *dstring* CHARACTERS.

説明: 環境ファイル中で、示された変数について無効な値が指定されました。ストリング値には、長さの制限があります。指定されたストリングは切り捨てられます。

ユーザーの処置: 変数の設定を訂正後、Component Broker を再始動してください。

BBOU0514W INVALID VALUE '*string*' SPECIFIED FOR ENVIRONMENT VARIABLE *string*.THE DEFAULT VALUE *string* IS TAKEN.

説明: 環境ファイル中で、示された変数について無効な値が指定されました。この値の代わりに、デフォルト値が使用されます。

ユーザーの処置: 変数の設定を訂正後、Component Broker シリーズを再始動してください。有効な設定

については、「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」を参照してください。

BBOU0515W ENVIRONMENT VARIABLE *string* NOT SPECIFIED.

説明: 指定された変数について、環境ファイルに値が指定されておらず、使用できるデフォルト値もありません。このため、ランタイム・エラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: 必要な場合は、変数を指定してください。

BBOU0516E LOCATE REQUEST FAILED FOR SERVER - *string*.

説明: ターゲット・サーバーが見つからなかったため、デーモンに対するローカル要求が失敗しました。CB/390 がターゲットの汎用サーバー名を判別できた場合は、そのサーバー名がメッセージ本文に表示されます。サーバー名を判別できなかった場合、サーバー名は 'unknown' として表示されます。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーが初期化されていることを確認してください。

BBOU0517E 要求 ID *hstring* に対する GIOP 応答メッセージを受け取りましたが、対応する要求が見つかりませんでした。

説明: GIOP 応答メッセージを受け取りましたが、対応する要求が見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0518W Environment variable LOGSTREAMNAME not set. (環境変数 LOGSTREAMNAME が設定されていません。) The Systems Management configuration value, *string*, is being used. (システム管理の構成値 *string* が使用されます。)

説明: システム管理構成にログ・ストリーム名が定義されている場合は、その値が取り出されます。このメッセージは、LOGSTREAMNAME 環境変数を変更しても、出力の書き込み先に影響はないことをユーザーに通知するために発行されます。使用するログ・ストリームを変更するには、システム管理の管理ツールを使用してください。残りの文字は英数字にする必要があります。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0522W Failed attempt to use SessionID, retrying alternate security (セッション ID を使用する試みが失敗しました。別のセキュリティーを使って再試行します。)

説明: 提供されたセキュリティー・タイプにはユーザー ID とセッション ID が含まれていましたが、このタイプは使用可能ではありません。次に使用可能なセキュリティー・タイプが試行されます。

ユーザーの処置: ありません。このメッセージは、サーバー・セキュリティーに関する警告メッセージです。

BBOU0523E MSG_BBOUENUS_SEC_UNABLE_TO_PERFORM_CBIND: SAF Ret Code (hex) :
hstring **The requested CBIND(RACROUTE) function could not be performed**
(MSG_BBOUENUS_SEC_UNABLE_TO_PERFORM_CBIND: SAF 戻りコード (16 進数)
: *hstring*. 要求された関数 CBIND(RACROUTE) を実行できませんでした。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された SAF 戻りコード - 要求された関数 CBIND (RACROUTE) を実行できませんでした。SAF 戻りコードおよび報告された RACF 戻りコードを使用して、問題の原因を判別してください。この SAF 戻りコードには、関連付けられた RACF 戻りコードがいくつかあり、これにより、問題をさらに特定することができます。

ユーザーの処置: 技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

BBOU0524E MSG_BBOUENUS_SEC_NO_RACF_SECURITY_DECISION_MADE: RACF Return Code (hex) : *hstring* **(RACROUTE)- No security decision could be made**
(MSG_BBOUENUS_SEC_NO_RACF_SECURITY_DECISION_MADE: RACF 戻りコード (16 進数) : *hstring* **(RACROUTE) - セキュリティーを決定することができませんでした。)**

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 戻りコード。セキュリティを決定することができませんでした。RACF ルーターがロードされていませんでした。要求、リソース、サブシステムの組み合わせが RACF ROUTER テーブルにありませんでした。出口ルーチンは正常に処理されません。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0525E MSG_BBOUENUS_SEC_UNKNOWN_TO_RACF: RACF Return Code (hex) : *hstring*
(RACROUTE) - No security decision could be made
(MSG_BBOUENUS_SEC_UNKNOWN_TO_RACF: RACF 戻りコード (16 進数) : *hstring*
(RACROUTE) - セキュリティーを決定することができませんでした。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 戻りコード。リソースまたはクラス名が RACF に定義されていないか、このクラスが *raclist* されていません。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0526E MSG_BBOUENUS_SEC_RACF_NOT_ACTIVE: RACF Return Code (hex) : *hstring*
(RACROUTE) - RACF not active (MSG_BBOUENUS_SEC_RACF_NOT_ACTIVE:
RACF 戻りコード (16 進数) : *hstring* **(RACROUTE) - RACF が活動化されていません。)**

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 戻りコード。RACF が活動化されていません。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0527E MSG_BBOUENUS_SEC_RACF_CLASS_DATA_SPACE_DELETED: RACF Return Code (hex) : *hstring* (RACROUTE) - RACF data space has been deleted (MSG_BBOUENUS_SEC_RACF_NOT_ACTIVE: RACF 戻りコード (16 進数) : *hstring* (RACROUTE) - RACF データ・スペースが削除されました。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 戻りコード。RACROUTE REQUEST=LIST, GLOBAL=YES、または SETROPTS RACLIST によってクラスが *raclist* されましたが、データ・スペースが削除されていました。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0528E MSG_BBOUENUS_SEC_DATA_SPACE_ACCESS_ALESERV_FAILURE: RACF Return Code(hex): *hstring* (RACROUTE) - No data space access, ALESERV failure (MSG_BBOUENUS_SEC_DATA_SPACE_ACCESS_ALESERV_FAILURE: RACF 戻りコード (16 進数): *hstring* (RACROUTE) - データ・スペースにアクセスできません。ALESERV 障害です。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 戻りコード。RACROUTE REQUEST=LIST, GLOBAL=YES、または SETROPTS RACLIST によってクラスが *raclist* されましたが、ALESERV 障害が原因でデータ・スペースにアクセスできませんでした。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0529E MSG_BBOUENUS_SEC_REQUESTED_CBIND_FUNCTION_FAILED: SAF Return Code (hex) : *hstring* The requested CBIND function failed (MSG_BBOUENUS_SEC_REQUESTED_CBIND_FUNCTION_FAILED: SAF 戻りコード (16 進法) : *hstring*。要求された CBIND 関数は失敗しました。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された SAF 戻りコード - 要求された関数 CBIND (RACROUTE) が失敗しました。SAF 戻りコードおよび報告された RACF 戻りコードを使用して、問題の原因を判別してください。一部の RACF 戻りコードには、関連付けられた RACF 戻りコードがいくつかあり、これにより、問題をさらに特定することができます。SAF 戻りコードおよび報告された RACF 戻りコードと RACF 理由コードを使用して、問題の原因を判別してください。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0530E MSG_BBOUENUS_SEC_USER_OR_GROUP_NOT_AUTHORIZED: RACF Return Code (hex): *hstring* (RACROUTE) - The user or group is not authorized (MSG_BBOUENUS_SEC_USER_OR_GROUP_NOT_AUTHORIZED: RACF 戻りコード (16 進数): *hstring* (RACROUTE) - ユーザーまたはグループが許可を持っていません。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 戻りコード。ユーザーまたはグループがリソースの使用を許可されていません。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0531E MSG_BBOUENUS_SEC_FASTAUTH_INSTALL_EXIT_ERROR: RACF Return Code(hex): *hstring* (RACROUTE) - FASTAUTH install exit error occurred. (MSG_BBOUENUS_SEC_FASTAUTH_INSTALL_EXIT_ERROR: RACF 戻りコード (16 進数): *hstring* (RACROUTE) - FASTAUTH インストール・システム出口エラーが発生しました。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 戻りコード。RACROUTE REQUEST=FASTAUTH インストール・システム出口エラーが発生しました。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0532E MSG_BBOUENUS_SEC_BLANK_PORT_OF_ENTRY_IN_SECURITY_TOKEN: RACF Return Code(hex): *hstring* (RACROUTE) - Blank port-of-entry in security token (MSG_BBOUENUS_SEC_BLANK_PORT_OF_ENTRY_IN_SECURITY_TOKEN: RACF 戻りコード (16 進数): *hstring* (RACROUTE) - セキュリティー・トークンの port-of-entry がブランクです。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 戻りコード。このプロファイルは条件付きアクセス・リストを持っており、セキュリティ・トークンの port-of-entry フィールドがブランクで埋められていること、および port-of-entry クラスが活動状態にあることを示します。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0533E MSG_BBOUENUS_SEC_PARAMETER_LIST_ERROR: RACF Return Code (hex) : *hstring* (RACROUTE) - Parameter list error. (MSG_BBOUENUS_SEC_PARAMETER_LIST_ERROR: RACF 戻りコード (16 進数) : *hstring* (RACROUTE) - パラメーター・リスト・エラーです。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 戻りコード。パラメーター・リスト・エラーです。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0534E MSG_BBOUENUS_SEC_ACEELET_KEYWORD_AND_NOT_IN_SPVSOR_STATE: ;
RACF Reason Code(hex : *hstring* (RACROUTE))-Calling program not in Supervisor
State
(MSG_BBOUENUS_SEC_ACEELET_KEYWORD_AND_NOT_IN_SPVSOR_STATE: ;
RACF 理由コード (16 進数) : *hstring* (RACROUTE) - 呼び出し側プログラムは監視プロ
グラム状態ではありません。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 理由コード。ACEEALET= keyword が指定されましたが、呼び出し側プログラムは監視プログラム状態 (システム・キー) で実行されていません。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0535E MSG_BBOUENUS_SEC_ACEE_KEYWORD_NOT_SPECIFIED: RACF Reason Code
(hex) : *hstring* (RACROUTE) - ACEE= keyword was not specified
(MSG_BBOUENUS_SEC_ACEE_KEYWORD_NOT_SPECIFIED: RACF 理由コード (16
進数) : *hstring* (RACROUTE) - ACEE= keyword が指定されていません。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 理由コード。ACEEALET= keyword が指定されましたが、ACEE= keyword が指定されていません。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0536E MSG_BBOUENUS_SEC_ENVIRN_KEYWORD_AND_NOT_IN_SPVSOR_STATE: RACF
Reason Code(hex): *hstring* (RACROUTE) -Calling program not in Supervisor State
(MSG_BBOUENUS_SEC_ENVIRN_KEYWORD_AND_NOT_IN_SPVSOR_STATE: RACF
理由コード (16 進数): *hstring* (RACROUTE) - 呼び出し側プログラムが監視プログラム状
態ではありません。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 理由コード。ENVRIN キーワードが指定されましたが、呼び出し側プログラムは監視プログラム状態 (システム・キー) で実行されていません。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0537E MSG_BBOUENUS_SEC_ENVIRN_AND_ACEE_KEYWORD_BOTH_SPECIFIED: RACF
Reason Code (hex) : *hstring* (RACROUTE)-ENVRIN and ACEE were both specified
(MSG_BBOUENUS_SEC_ENVIRN_AND_ACEE_KEYWORD_BOTH_SPECIFIED: RACF
理由コード(16 進数) : *hstring* (RACROUTE) - ENVRIN と ACEE の両方が指定されまし
た。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 理由コード。ENVRIN と ACEE の両方が指定されていました (この 2 つは相互排他キーワードです)。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

メッセージ -- 一般

ユーザーの処置:

BBOU0538E MSG_BBOUENUS_SEC_CBIND_RELEASE_PARAMETER_ERROR: SAF Return Code (hex) : *hstring* CBIND Release parameter error (MSG_BBOUENUS_SEC_CBIND_RELEASE_PARAMETER_ERROR: SAF 戻りコード (16 進数) : *hstring* CBIND Release パラメーター・エラーです。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 理由コード。このエラーは、RACROUTE REQUEST=FASTAUTH マクロの実行形式で RELEASE キーワードの CHECK サブパラメーターが指定されたときに、このマクロのリスト形式が同じ RELEASE パラメーターでなかったことを示します。マクロの処理は終了します。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0539E LDAP INITIALIZATION FAILED OR CONNECTION TO LDAP SERVER COULD NOT BE ESTABLISHED.

説明: 独立した LDAP サーバーを使用した場合は、Component Broker がそのサーバーへの接続を確立できませんでした。そうでない場合は、ローカルの LDAP データベースにアクセスできませんでした。

ユーザーの処置: この障害の詳細については、ネーミング・サーバー領域の SYSOUT 出力 (このメッセージの出力元) を参照してください。次の理由が考えられます。- LDAP DB2 テーブルが設定されていない。- DB2 許可が十分なレベルでない。- LDAP LDIF2DB バルク・ローダーが実行されていない。LDAP の設定方法については、「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」を参照してください。

BBOU0540E CB SERIES UNABLE TO CONTINUE SINCE RRS IS UNAVAILABLE.

説明: RRS が使用不能なため、Component Broker シリーズを始動できません。

ユーザーの処置: RRS を始動してから、Component Broker シリーズを再始動してください。

BBOU0541E CB SYSTEMS MANAGEMENT MASTER RECORD DOES NOT EXIST.

説明: Component Broker システム管理マスター・レコードがありません。システム管理ブートストラップは始動されません。

ユーザーの処置: -ORCBCI パラメーターを指定してデーモンを再始動することにより、システム管理ブートストラップを始動させてください。

BBOU0542E CB SYSTEMS MANAGEMENT MASTER RECORD COULD NOT BE READ/UPDATED. SQL ERROR CODE IS *dstring*.

説明: Component Broker システム管理マスター・レコードの読み取り中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージに含まれている SQL エラー・コードを調べるか、Component

Broker シリーズのエラー・ログを調べてください。理由としては、存在しないテーブルに対してアドレス・スペースの更新を実行しようとしたか、Component Broker に対してバインド・ジョブが実行されなかったことが考えられます。

BBOU0543E CB SYSTEMS MANAGEMENT MASTER RECORD COULD NOT BE READ/UPDATED DUE TO INSUFFICIENT AUTHORIZATION. SQL ERROR CODE IS *dstring*.

説明: Component Broker システム管理マスター・レコードの更新中に許可エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 詳しくは、メッセージに含まれている SQL エラー・コードを調べるか、Component Broker シリーズのエラー・ログを調べてください。原因としては、アドレス・スペースが DB2 の使用許可を持っていないことが考えられます。

BBOU0544E MSGINDEX_BBOUENUS_BBOOCDR_PFACTORY_NULL: NULL ENTRY IN TABLE WHEN LOOKING UP CLASSNAME *string*

説明: encode_objref() により ptable でクラス名を検索した結果が NULL でした。

ユーザーの処置: 技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0545E MethAuthCheck was issued in an address space without a BACB. (BACB のないアドレス・スペースで MethAuthCheck が発行されました。)

説明: MethAuth が呼び出されましたが、環境の初期化が完了していなかったか、Component Broker 環境の外から呼び出しが行われました。環境の初期化が完了するのを待つか、Component Broker 環境の外から呼び出しが行われた場合には、この呼び出しを除去してください。

ユーザーの処置: Component Broker 領域が初期化されていることを確認してください。

BBOU0546E MSG_BBOUENUS_SEC_UNABLE_TO_PERFORM_METHAUTHCHECK: SAF Ret Code (hex) : *hstring* The requested METHAUTHCHECK(RACROUTE) function could not be performed for Method Name *string* and Class Name *string* (MSG_BBOUENUS_SEC_UNABLE_TO_PERFORM_METHAUTHCHECK: SAF 戻りコード (16 進数) : *hstring*. メソッド名 *string* およびクラス名 *string* について、要求された関数 METHAUTHCHECK(RACROUTE) を実行できませんでした。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された SAF 戻りコード。要求された関数 METHAUTHCHECK (RACROUTE) を実行できませんでした。SAF 戻りコードおよび報告された RACF 戻りコードを使用して、問題の原因を判別してください。この SAF 戻りコードには、関連付けられた RACF 戻りコードがいくつかあり、これにより、問題をさらに特定することができます。

ユーザーの処置: 技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

BBOU0547E MSG_BBOUENUS_SEC_REQUESTED_METHAUTHCHECK_FUNCTION_FAILED: SAF
Return Code (hex) : *hstring* **The requested METHAUTHCHECK function failed and**
could not be performed for Method Name *string* and Class Name *string*
(MSG_BBOUENUS_SEC_REQUESTED_METHAUTHCHECK_FUNCTION_FAILED: SAF
戻りコード (16 進数) : *hstring*。メソッド名 *string* およびクラス名 *string* について、要求
された関数 **METHAUTHCHECK** が失敗したため、完了できませんでした。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された SAF 戻りコード。要求された関数
METHAUTHCHECK (RACROUTE) が失敗しました。SAF 戻りコードおよび報告された RACF 戻りコー
ドを使用して、問題の原因を判別してください。一部の RACF 戻りコードには、関連付けられた RACF
戻りコードがいくつかあり、これにより、問題をさらに特定することができます。SAF 戻りコードおよび
報告された RACF 戻りコードと RACF 理由コードを使用して、問題の原因を判別してください。参考資
料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0548E MSG_BBOUENUS_SEC_METHAUTHCHECK_RELEASE_PARAMETER_ERROR: SAF
Return Code (hex) : *hstring* **METHAUTHCHECK Release parameter error for**
Method Name *string* and Class Name *string*
(MSG_BBOUENUS_SEC_METHAUTHCHECK_RELEASE_PARAMETER_ERROR: SAF
戻りコード (16 進数) : *hstring*。メソッド名 *string* およびクラス名 *string* に関する、
METHAUTHCHECK Release パラメーター・エラーです。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 理由コード。このエラーは、RACROUTE
REQUEST=FASTAUTH マクロの実行形式で RELEASE キーワードの CHECK サブパラメーターが指定
されたときに、このマクロのリスト形式が同じ RELEASE パラメーターでなかったことを示します。マク
ロの処理は終了します。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ
解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0549E VALUE SPECIFIED FOR ORBID PARAMETER IS NOT VALID

説明: ORB_init() 関数で ORBid キーワードを使用する場合、指定する値は BOSS でなければなりません。
その他の値は受け入れられません。

ユーザーの処置: ORBid 用として有効な値を指定してください。

BBOU0550E NO VALUE SPECIFIED FOR ORBID KEYWORD

説明: ORB_init() で ORBid キーワードを使用する場合は、値も指定する必要があります。

ユーザーの処置: ORBid 用として有効な値を指定してください。

BBOU0551E NO VALUE SPECIFIED FOR ORBSRVNAME KEYWORD

説明: ORB_init() で ORBSrvname キーワードを使用する場合は、値も指定する必要があります。

ユーザーの処置: ORBSrvname 用として有効な値を指定してください。

BBOU0552E NO VALUE SPECIFIED FOR ORBTYPE KEYWORD

説明: ORB_init() で ORBType キーワードを使用する場合は、値も指定する必要があります。

ユーザーの処置: ORBType 用として有効な値を指定してください。

BBOU0553E LOAD FAILED FOR MODULE *string*

説明: Component Broker シリーズ・サーバーの初期化中に、メッセージ本文に示された製品モジュールをロードしようとした。このロード・モジュールが見つかりませんでした。サーバーは終了します。ロード・モジュールは、このサーバーの検索パス (STEPLIB、LPA、または Linklist) に置く必要があります。

ユーザーの処置: ロード・モジュールが置かれている場所を確認し、適切な格納場所 (STEPLIB、LPA または Linklist) を判別してください。問題を訂正後、サーバーを再始動してください。

BBOU0554E CB SERIES UNABLE TO LOCATE RRS

説明: Component Broker シリーズ・サーバーを起動するには、RRS アドレス・スペースが活動中かつ初期化済みである必要があります。このサーバーの初期化プロセスは RRS を見つけることができませんでした。サーバーは終了します。RRS が活動状態にあり、初期化が完全に終了していることを確認してから、Component Broker サーバーを始動してください。

ユーザーの処置: RRS が始動されていることを確認後、サーバーを再始動してください。

BBOU0555E VALUE SPECIFIED FOR ORBCBI KEYWORD IS NOT VALID

説明: ORB_init() で ORBCBI キーワードを使用する場合は、有効な値 (COLD、WARM、または HOT) も指定する必要があります。

ユーザーの処置: ORBCBI 用として有効な値を指定してください。

BBOU0556E NO VALUE SPECIFIED FOR ORBCBI KEYWORD

説明: ORB_init() で ORBCBI キーワードを使用する場合は、値 (COLD、WARM、または HOT) も指定する必要があります。

ユーザーの処置: ORBCBI 用として有効な値を指定してください。

BBOU0557D OTS ENCOUNTERED HARDENED DATA LOSS DURING RESTART OF *string*.REPLY 'CONTINUE' OR 'CANCEL'

説明: RRS が、Begin_Restart サービス (ATRIBRS) から ATR_HARDENED_DATA_LOST で戻りました。「続行 (CONTINUE)」と応答した場合、OTS では、不確かなトランザクションを完全には解決することができません。「キャンセル (CANCEL)」と応答した場合は、制御領域が終了します。この条件の解決方法については、RRS の資料を参照してください。

ユーザーの処置:

BBOU0558E '*string*' IS NOT A VALID REPLY.

説明: 直前のメッセージに対する応答が無効でした。直前のメッセージが再度発行されます。

ユーザーの処置:

BBOU0559W ERROR ENCOUNTERED DURING DAEMON ATTEMPT TO STOP SERVER *string*.

説明: Component Broker デーモンに対して stop コマンドが発行されました。他のサーバーが機能するためにはこのデーモンが必要なので、stop コマンドを発行したことにより、このデーモンを使用しているシステム上のシステム管理サーバーが停止されます。システム管理サーバーに対して stop コマンドを発行したことにより、エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 指定されたサーバーはすでに停止している可能性があり、その場合は、特別な処置は必要ありません。別の可能性としては、サーバーに何らかの問題があり、このサーバーをキャンセルしないと、デーモンを停止できないことがあります。メッセージに示された特定のサーバー名を調べて、どちらの場合に該当するかを判別してください。特定のサーバー名とは、サーバーを始動したときに指定したパラメーターです。

BBOU0560I OTHER CB SERVERS HAVE STOPPED, STOP OF DAEMON CONTINUES.

説明: Component Broker デーモンに対して stop コマンドが発行されると、このシステム上のシステム管理サーバーが停止されます。これは、このサーバーが機能するためにはデーモンを必要とするからです。デーモンは、システム管理サーバーが停止するまで待ってから、自分自身をシャットダウンします。このメッセージは、システム管理サーバーが停止されたこと、およびこれからデーモンの終了処理に入ることを示します。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0561I CB SERIES STOP COMMAND ISSUED FOR SERVER *string*.

説明: Component Broker シリーズ・アドレス・スペースに対して、変更された MVS Stop コマンドが発行されました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0562I CB SERIES CANCEL,ARMRESTART COMMAND ISSUED FOR SERVER *string*.

説明: ARM の再始動を要求して、Component Broker シリーズ・アドレス・スペースを取り消すための MVS Modify コマンドが発行されました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0563I CB SERIES CANCEL COMMAND ISSUED FOR SERVER *string*.

説明: Component Broker シリーズ・アドレス・スペースを再始動せずに取り消すための MVS Modify コマンドが発行されました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0564E UNABLE TO START SERVER *string* BECAUSE CB DAEMON IS STOPPING

説明: Component Broker デーモンに対して Stop コマンドが発行され、デーモンの終了処理の一環として、他のサーバーが停止処理されています。デーモンの終了処理中は、他のサーバーを始動できません。

ユーザーの処置: デーモンが完全に停止し、(必要な場合は) 再始動した後で、このサーバーの始動を再試行することができます。

BBOU0565W An 0D6 Abend occurred. (0D6 異常終了が発生しました。) The target PC is no longer valid. (ターゲット PC が無効です。)

説明: ターゲット PC のアドレス・スペースは終了しています。これは、情報メッセージです。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0566E Function *string* failed with RC=*dstring*, RSN1=*dstring*, RSN2=*hstring*, RSN3=*hstring*, RSN4=*hstring*. (関数 *string* が失敗しました。RC=*dstring*、RSN1=*dstring*、RSN2=*hstring*、RSN3=*hstring*、RSN4=*hstring*。)

説明: Component Broker シリーズが、示された関数を実行し、この関数が RC で示された 10 進数の戻りコード、RSN1 で示された 10 進数の理由コード、および RSN2、RSN3、RSN4 で示された 3 つの 16 進数の副次理由コードで終了しました。

ユーザーの処置: エラーを報告した関数のリソース・マネージャーに関するメッセージおよびコードが記載されているマニュアルで、示された戻りコードおよび理由コードについての説明を参照してください。この情報を使用して、エラーを訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0567E Scanner error. (スキャナー・エラーです。) **Token buffer overflows while parsing line *dstring* of file *string*.** (ファイル *string* の行 *dstring* を構文解析しているときに、トークン・バッファがオーバーフローしました。)

説明: Component Broker ネーミング・ブートストラップ・プログラムで、構成ファイルの処理中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。ファイル名とエラーの位置は、エラー・メッセージに示されています。訂正後、ネーミング・ブートストラップ・プログラムを再実行してください。

BBOU0568E Scanner error. (スキャナー・エラーです。) **Push-back buffer overflow while parsing line *dstring* of file *string*.** (ファイル *string* の行 *dstring* を構文解析しているときに、プッシュバック・バッファがオーバーフローしました。)

説明: Component Broker ネーミング・ブートストラップ・プログラムで、構成ファイルの処理中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。ファイル名とエラーの位置は、エラー・メッセージに示されています。訂正後、ネーミング・ブートストラップ・プログラムを再実行してください。

BBOU0569E Parser error. (パーサー・エラーです。) **Could not open configuration file '*string*' (構成ファイル '*string*' を開くことができませんでした。)**

説明: Component Broker ネーミング・ブートストラップ・プログラムで、構成ファイルの処理中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。ファイル名とエラーの位置は、エラー・メッセージに示されています。訂正後、ネーミング・ブートストラップ・プログラムを再実行してください。

BBOU0570E Parser error. (パーサー・エラーです。) **Buffer overflow at word *string* in line *dstring* of *string*** (*string* の行 *dstring* にあるワード *string* でバッファがオーバーフローしました。)

説明: Component Broker ネーミング・ブートストラップ・プログラムで、構成ファイルの処理中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。ファイル名とエラーの位置は、エラー・メッセージに示されています。訂正後、ネーミング・ブートストラップ・プログラムを再実行してください。

BBOU0571E Parser error. (パーサー・エラーです。) **Not enough space for parser stacks in *string* atline *dstring*: *string*.** (*string* の行 *dstring* の *string* でパーサー・スタックのスペース不足になりました。)

説明: Component Broker ネーミング・ブートストラップ・プログラムで、構成ファイルの処理中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。ファイル名とエラーの位置は、エラー・メッセージ

に示されています。訂正後、ネーミング・ブートストラップ・プログラムを再実行してください。

BBOU0572E Parser error. (パーサー・エラーです。) **Parser stack overflow in string at line *dstring*:**
string. (*string* の行 *dstring* の *string* でパーサー・スタックがオーバーフローしました。)

説明: Component Broker ネーミング・ブートストラップ・プログラムで、構成ファイルの処理中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。ファイル名とエラーの位置は、エラー・メッセージに示されています。訂正後、ネーミング・ブートストラップ・プログラムを再実行してください。

BBOU0573E Parser error. (パーサー・エラーです。) **Syntax error in string at line *dstring*:** *string.*
(*string* の行 *dstring* の *string* で構文エラーが発生しました。)

説明: Component Broker ネーミング・ブートストラップ・プログラムで、構成ファイルの処理中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。ファイル名とエラーの位置は、エラー・メッセージに示されています。訂正後、ネーミング・ブートストラップ・プログラムを再実行してください。

BBOU0574E Parser error. (パーサー・エラーです。) **String too long. (ストリングが長すぎます。)**
String is *dstring* bytes. (ストリングは *dstring* バイトです。)

説明: Component Broker ネーミング・ブートストラップ・プログラムで、構成ファイルの処理中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 構成ファイルを訂正してください。ファイル名とエラーの位置は、エラー・メッセージに示されています。訂正後、ネーミング・ブートストラップ・プログラムを再実行してください。

BBOU0575W CB SERIES UNEXPECTED DELAY WAITING FOR STOP OF SERVER *string*.

説明: Component Broker がウォーム・スタート中に別の Component Broker サーバーを自動的に停止する場合、そのサーバーが停止されるまで待ってから処理を続けます。最初のタイムアウト期間が経過すると、このサーバーが停止されるのを適度な時間にわたって待っていたことを示すために、このメッセージが表示されます。Component Broker は待機を続け、2 回目のタイムアウト期間が経過すると、後続の警告メッセージが発行されます。

ユーザーの処置: システムの処理速度が遅いか、示されたサーバーで時間のかかるトランザクションを実行しているために停止が妨げられている可能性があります。場合によっては、問題を判別し、タイムアウトになる前にサーバーを停止することができます。

BBOU0576W CB SERIES WAITING FOR STOP OF SERVER *string*, SECOND WARNING.

説明: Component Broker がウォーム・スタート中に別の Component Broker サーバーを自動的に停止する場合、そのサーバーが停止されるまで待ってから処理を続けます。2 回目のタイムアウト期間が経過すると、このサーバーが停止されるのを適度な時間にわたって待っていたことを示すために、このメッセージが表示されます。Component Broker は待機を続け、3 回目のタイムアウト期間が経過すると、このサー

メッセージ -- 一般

バーの停止を待機するのをやめたことを示す後続のエラー・メッセージが発行されます。

ユーザーの処置: システムの処理速度が遅いか、示されたサーバーで時間のかかるトランザクションを実行しているために停止が妨げられている可能性があります。場合によっては、問題を判別し、タイムアウトになる前にサーバーを停止することができます。

BBOU0577E CB SERIES WAITING FOR STOP OF SERVER *string* HAS TIMED OUT.

説明: Component Broker がウォーム・スタート中に別の Component Broker サーバーを自動的に停止する場合、そのサーバーが停止されるまで待ってから処理を続けます。3 回目のタイムアウト期間が経過すると、このサーバーが停止されるのを適度な時間にわたって待っていたことを示すために、このメッセージが表示されます。Component Broker は待つのをやめて、場合によっては、例外をスローし、このサーバーの停止を必要としていたその他の処理を終了します。

ユーザーの処置: システムの処理速度が遅いか、示されたサーバーで時間のかかるトランザクションを実行しているために停止が妨げられている可能性があります。システムとサーバー（またはそのいずれか）に対する負荷が少ないときに、もう一度ウォーム・スタートを実行してみてください。

BBOU0578E INVALID FUNCTION LEVEL FOR CONTROL REGION *string*.

説明: バックレベルのサーバーが始動されました。複製されたサーバーはすべて、すでにこれより高い機能レベルで動作しているため、このサーバーを異常終了させる必要があります。

ユーザーの処置: サーバーを新しい機能レベルにアップグレードしてください。

BBOU0579I CB SERIES SERVER *string* IS READY FOR WARMSTART.

説明: このサーバーのすべてのサーバー・インスタンスは、新しいコード・レベルにアップグレードされました。サーバーはウォーム・スタートにより作動可能です。ウォーム・スタートを実行すると、新しいコード・レベルでサーバーが作動します。

ユーザーの処置: システム管理の操作 GUI (アプリケーション・サーバーの場合)、あるいはパラメーター -ORBCBI WARM を指定したコンソール start コマンドを使用して、サーバーのウォーム・スタートを実行してください。

BBOU0580W CB SERIES DAEMON OPERATES ON BACKLEVEL CODE COMPARED TO SERVER *string*

説明: 現在ウォーム・スタートを実行しているサーバーのコード・レベルが、デーモンのコード・レベルよりも上です。このサーバーは、デーモンの機能レベルで作動します。

ユーザーの処置: デーモンのコード・レベルを最新のレベルにアップグレードしてから、デーモンおよびサーバーの両方についてウォーム・スタートを再実行してください。

BBOU0581E MSG_BBOUENUS_SM_INVALID_BOOTSTRAP_STATE: *dstring*

説明: システム管理のブートストラップ中に無効な状態が検出されました。例外がスローされ、ブートストラップ処理は終了します。

ユーザーの処置:

BBOU0582E MSG_BBOUENUS_SM_UNABLE_TO_OBTAIN_STORAGE (*dstring byte*)

説明: C++ ストレージの要求 (新規) が失敗しました。実行が継続される場合と、継続されない場合があります。このメッセージと共に出力されるメッセージを分析してください。

ユーザーの処置:

BBOU0583E MSG_BBOUENUS_SM_MANDATORY_ENVVAR_UNSPECIFIED: *string*

説明: SCO に必須の環境変数が指定されていません。

ユーザーの処置:

**BBOU0584E MSG_BBOUENUS_SM_ENVVAR_RANGE_CHECK: *var=string value=dstring*
(*min=dstring,max=dstring*)**

説明: 環境変数に割り当てられた値が、値の有効範囲を超えていました。

ユーザーの処置:

BBOU0585E MSG_BBOUENUS_SM_ENVVAR_VALIDATION_FAILED: *var=string value=string*

説明: 環境変数に割り当てられた値が無効でした。詳しくは、このメッセージと共に出力されたメッセージを参照してください。

ユーザーの処置:

**BBOU0586E MSG_BBOUENUS_SM_INVALID_ENVVAR_INDEX: *index=dstring,*
*maxValidIndex=dstring***

説明: 内部で保守されている環境のコピーにアクセスしようとしたますが、使用された索引が無効でした。

ユーザーの処置:

BBOU0587E MSG_BBOUENUS_SM_ENVIRONMENT_INIT_FAILED

説明: Component Broker 内部環境を初期化できませんでした。詳しくは、このメッセージと共に出力されたメッセージを参照してください。

ユーザーの処置:

BBOU0588E MSG_BBOUENUS_SM_SQL_STATEMENT_FAILED

説明: ブートストラップの実行中に、SQL ステートメントが失敗しました。詳しくは、このメッセージと共に出力されたメッセージを参照してください。

ユーザーの処置:

BBOU0589I CURRENT SERVER SETTINGS:

説明: このメッセージは、サーバーのパラメーター設定出力の導入部分です。BBOENV ファイルで環境変数 SHOW_SERVER_SETTINGS が設定されていると、これらのパラメーター設定が表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0590I %38s: string.

説明: サーバーのパラメーター設定を示します (BBOU0589I も参照)。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0591I DCE/SAF The server control region could not delete an ACEE created for user string. (DCE/SAF. サーバー制御領域は、ユーザー string 用に作成された ACEE を削除できませんでした。) API: string. SAF code = dstring, RACF ret code = dstring, RACF rsn code = dstring. (SAF コード = dstring、RACF 戻りコード = dstring、RACF 理由コード = dstring。)

説明: Component Broker サーバー制御領域は、クライアント名に偽名を使用するために一時的に使われた ACEE (アクセス機能環境エレメント (MVS 制御ブロック)) を削除できませんでした。

ユーザーの処置: メッセージに示された戻りコードに基づいて適切な処置をとってから、操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0592I DCE/SAF The server control region could not create an ACEE for user string. (DCE/SAF. サーバー制御領域は、ユーザー string 用として ACEE を作成できませんでした。) API: string. SAF code = dstring, RACF ret code = dstring, RACF rsn code = dstring. (SAF コード = dstring、RACF 戻りコード = dstring、RACF 理由コード = dstring。)

説明: Component Broker サーバー制御領域は、クライアント名に偽名を使用するために一時的に使われる ACEE (アクセス機能環境エレメント (MVS 制御ブロック)) を作成できませんでした。

ユーザーの処置: メッセージに示された戻りコードに基づいて適切な処置をとってから、操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0593I DCE/SAF The application control region could not determine the OS/390 identity of the client that initiated the request. (DCE/SAF。アプリケーション制御領域は、要求を開始したクライアントの OS/390 アイデンティティを判別できませんでした。)

説明: Component Broker サーバー制御領域は、要求を開始したクライアントの OS/390 アイデンティティを判別できませんでした。

ユーザーの処置: これは内部プログラミング・エラーです。技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0594I DCE/SAF The application control region could not determine the OS/390 identity of the client that initiated the request. (DCE/SAF。アプリケーション制御領域は、要求を開始したクライアントの OS/390 アイデンティティを判別できませんでした。)

説明: 内部ルーチン `get_identity()` から無効なユーザーアイデンティティが戻されたため、Component Broker サーバー制御領域は要求を開始したクライアントの OS/390 アイデンティティを判別できませんでした。

ユーザーの処置: これは内部プログラミング・エラーです。技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0595E MSG_BBOUENUS_SM_UNABLE_TO_OBTAIN_SYSTEM_PARAMETER

説明: ブートストラップの実行中、システム・パラメーターの取得に失敗しました。詳しくは、このメッセージと共に出力されたメッセージを参照してください。

ユーザーの処置:

BBOU0596E MSG_BBOUENUS_SM_PREVIOUS_BOOSTRAP_STEP_FAILED

説明: ブートストラップの実行中に、直前のブートストラップ・ステップが正しく終了しなかったため、このステップが失敗しました。詳しくは、このメッセージと共に出力されたメッセージを参照してください。

ユーザーの処置:

BBOU0597E Configuration import error in file 'string'.No config element found. (ファイル 'string' で構成のインポート・エラーが発生しました。構成エレメントがありません。)

説明: システム構成データの読み取り中に、ファイルを開くことができませんでした。推奨アクション: 環境変数 `CBCONFIG` が適切に設定されていること、およびこの変数が指し示している HFS 内のパスが存在することを確認してください。シスプレックス環境で作業している場合には、NFS によりマウントされた HFS によるすべてのシステムでこのパスが共用されていることを確認してください。

ユーザーの処置:

BBOU0598E Configuration import error. (構成のインポート・エラーです。) Could not open input file 'string' (入力ファイル 'string' を開くことができませんでした。)

説明: システム構成データの読み取り中に、ファイルを開くことができませんでした。推奨アクション: 環境変数 CBCONFIG が適切に設定されていること、およびこの変数が指し示している HFS 内のパスが存在することを確認してください。シスプレックス環境で作業している場合には、NFS によりマウントされた HFS によるすべてのシステムでこのパスが共有されていることを確認してください。

ユーザーの処置:

BBOU0599E Configuration import error. (構成のインポート・エラーです。) Could not find default administrator 'string' (デフォルトの管理者 'string' が見つかりませんでした。)

説明: ブートストラップ中に、新規会話が作成され、この会話は環境変数 SM_DEFAULT_ADMIN により指定されたデフォルトの Component Broker 管理者にバインドされます。デフォルトの管理者を表すオブジェクトが見つかりませんでした。推奨アクション: デフォルトの管理者は、ブートストラップ処理中に作成されます。したがって、これは内部エラーです。IBM の担当者に連絡してください。実際に使用されている管理者 ID については、このメッセージと共に出力されるメッセージを参照してください。

ユーザーの処置:

BBOU0600E Environment import error. (環境のインポート・エラーです。) Could not find sysplex object 'string' (シスプレックス・オブジェクト 'string' が見つかりませんでした。)

説明: 初期ブートストラップ中に、環境変数の初期設定がシスプレックス・オブジェクトの環境セクションに保管されます。この処理を実行しようとしたときに、シスプレックス・オブジェクトが見つかりませんでした。推奨アクション: ブートストラップ・プロセスにおいて 1 つ前の段階で発生したが検出されなかったエラー、または内部エラーが原因です。このメッセージと共に出力されるメッセージを参照して、直前に発生した障害を特定してください。問題を解決できなかった場合は、IBM の担当者に連絡してください。

ユーザーの処置:

BBOU0601E CB SERIES DAEMON OPERATES ON BACKLEVEL DATABASE

説明: バックレベルのデータベースでデーモンが始動されました。

ユーザーの処置: ドライバーとともに出荷されたパッチ・ユーティリティを使用してデータベースを新しいスキーマ・バージョンにアップグレードするか、-ORBCBI COLD オプションを指定してデーモンを始動してください。

BBOU0602E WRITE ENVIRONMENT FILES FAILED DURING BOOTSTRAP

説明: ブートストラップ中に、環境ファイルへの書き込みが失敗しました。

ユーザーの処置: 環境ファイル・ディレクトリー CBCONFIG/controlinfo/envfile の許可を確認してください。SYSPLEX_NAME が適切に設定されていることを確認してください。

**BBOU0603D OVERRIDE EXISTING CB CONFIGURATION ON SYSPLEX *string*. ? REPLY
'CONTINUE' OR 'CANCEL'**

説明: Component Broker はコールド・スタート・モードで実行されています。コールド・スタート処理の結果、既存のシステム管理データベース (構成データに関連する全アプリケーションを含む) が削除されます。初期 Component Broker システム管理構成が後続のブートストラップ・ステップによって再インストールされるときに、その他の構成データが失われるため、ブートストラップの段階 2 が正常に終了してから、これらの構成データを手動で再インストールする必要があります。

ユーザーの処置:

BBOU0604I WS BOOTSTRAP STEP *string* HAS BEEN ROLLED BACK. (WS ブートストラップ・ステップ *string* がロールバックされました。)

説明: このメッセージは情報メッセージであり、システム管理ブートストラップの指定された段階の処理がロールバックされたことを示します。

ユーザーの処置: エラーの詳細については、コンソール・メッセージおよびジョブ・ログを参照してください。

BBOU0605E Class/method *string* not implemented. (クラス / メソッド *string* はインプリメントされていません。)

説明: 示されたクラスは示されたメソッドを含んでいますが、このメソッドがインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスのオブジェクトのインスタンスについては、このメソッドを呼び出さないでください。

BBOU0606E Socket bind() for Server=*string* to Port=*dstring* failed with RV=*dstring*, RC=*dstring*, RSN=*hstring*, [*string*]. (Server=*string* から Port=*dstring* へのソケット bind() が失敗しました。RV=*dstring*、RC=*dstring*、RSN=*hstring*, [*string*])

説明: Component Broker シリーズが、bind 関数を発行し、この関数が RV で示された 10 進数の戻り値、RC で示された 10 進数の戻りコード、および RSN で示された 16 進数の理由コードで終了しました。

ユーザーの処置: 戻り値および戻りコードの説明については、OS/390 eNetwork Communication Server の資料を参照してください。エラーを訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0607E CB SERIES SMF DATA GATHERING IN SERVER *string* HAS STOPPED.

説明: SMF レコード用のデータの収集に、"*string*" で示された Component Broker シリーズ制御領域のアドレス・スペースで問題が発生しました。データ収集は停止されました。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、データ収集が停止された理由を

メッセージ -- 一般

特定してください。これは内部プログラミング・エラーです。技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0608E Could not create a dataspace buffer pool needed for SMF data gathering. (SMF データ収集に必要なデータ・スペース・バッファ・プールを作成できませんでした。)
RC=*dstring*

説明: SMF レコード用のデータ収集に必要なデータ・スペース・プールを作成していたときに、Component Broker シリーズ制御領域のアドレス・スペースで問題が発生しました。RC はエラーの理由を示す戻りコードです。

ユーザーの処置: これは内部プログラミング・エラーです。技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0609E gsk_initialize failed with Return Code=*dstring* Keyring name=*string*. (gsk_initialize が失敗しました。戻りコード =*dstring*、鍵リング名 =*string*。)

説明: OS/390 Cryptographic Services System Secure Sockets Layer の gsk_initialize ルーチンが、示された戻りコードで失敗しました。

ユーザーの処置: gsk_initialize の戻りコードについては、「OS/390 System SSL Programming Guide & Reference」を参照してください。

BBOU0610E SSL security was specified but could not be initialized. (SSL セキュリティが指定されましたが、初期化に失敗しました。)

説明: OS/390 Cryptographic Services System Secure Sockets Layer を初期化できませんでした。

ユーザーの処置: gsk_initialize の戻りコードについては、「OS/390 System SSL Programming Guide & Reference」を参照してください。

BBOU0611E SSL security was specified but System SSL routine module GSKSSL not available. (SSL セキュリティが指定されましたが、System SSL ルーチン・モジュール GSKSSL が利用不能でした。)

説明: サーバーの初期化中に、OS/390 Cryptographic Services System Secure Sockets Layer ルーチンをロードできませんでした。SSL セキュリティは使用されません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに相談して、OS/390 Cryptographic Services System SSL をインストールしてもらってください。

BBOU0612E SSL security was specified but the gsk_user_set function could not be loaded. (SSL セキュリティが指定されましたが、gsk_user_set 関数をロードできませんでした。)

説明: OS/390 Cryptographic Services System Secure Sockets Layer ルーチン routine gsk_user_set をロードできませんでした。ユーザーのロケーションでインストールされている System SSL のバージョンは、

この関数をサポートしていません。SSL セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに相談して、正しいバージョンの System SSL をインストールしてもらってください。

BBOU0613I ARM REGISTRATION FAILED - ARM NOT ACTIVE ON THIS SYSTEM

説明: CB/390 では、必ず OS/390 ARM (自動再始動マネージャー) に登録しようとはしますが、リカバリー可能アドレス・スペースの始動中に、示された ARM が未インストールまたは未構成でした。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。ただし、ARM サービスを使用する必要がある場合は、ARM の定義を調べて、適切に構成されていることを確認してください。

BBOU0614I ARM DETECTED A FAILURE AND IS RESTARTING THIS SERVER

説明: ARM で障害が検出されると、サーバーが再始動されます。このメッセージは、ARM が再始動されることを知らせる情報メッセージです。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。このメッセージは単なる情報メッセージであり、再始動エラーが発生した場合に、デバッグに役立ちます。

BBOU0615E ARM REGISTRATION FAILED - ARM COUPLE DATASET FULL

説明: ARM の登録中に、ARM カップル・データ・セットがいっぱいになりました。ARM の登録は失敗し、サーバーの始動処理が続けられます。

ユーザーの処置: ARM に登録される CB/390 アドレス・スペースは複数ありますが、すべての ARM 登録を処理できる大きさの ARM カップル・データ・セットが定義されていない可能性があります。ARM の資料を参照して、ARM カップル・データ・セットのサイズを大きくしてください。

BBOU0616I ARM REGISTRATION FAILED - ARM DETECTED A DUPLICATE NAME

説明: ARM への登録中に、使用された名前がすでにシスプレックス内で登録されていました。サーバーの始動処理は続けられます。

ユーザーの処置: 処置は必要ありません。ただし、ARM サービスを使用する必要がある場合は、CB/390 サーバー名を調べて、各サーバー名がシステム内で固有であることを確認してください。複数の CB/390 イメージが始動されるデータ非共用シスプレックスでは、ARM を使用できません。

BBOU0617I ARM READY FAILED - ARM TIMEOUT EXCEEDED

説明: CB/390 が ARM READY 呼び出しを発行し、ARM では、ARM ポリシーに定義されている時間にわたって待機しました。登録済みサーバーは、タイムアウトになる前に作動可能になりませんでした。サーバーの始動処理が続けられますが、依存サーバーが作動可能状態でないために、追加のエラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: アドレス・スペースが作動可能にならなかった原因を調べてください。あるいは、ARM ポリシーを調べて、タイムアウト値を大きくしてください。

BBOU0618W ARM READY FAILED - SERVER NOT REGISTERED

説明: CB/390 が ARM READY 呼び出しを発行しましたが、サーバーが登録されていませんでした。活動化は失敗しました。サーバーの始動処理が続けられますが、依存サーバーが作動可能状態でないために、追加のエラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: アドレス・スペースが登録されていない原因を調べてください。

BBOU0619I ARM WAITPRED FAILED - ARM TIMEOUT EXCEEDED

説明: CB/390 が ARM WAITPRED 呼び出しを発行し、ARM では、ARM ポリシーに定義されている時間にわたって待機しました。依存サーバーは、タイムアウトになる前に作動可能になりませんでした。サーバーの始動処理が続けられますが、依存サーバーが作動可能状態でないために、追加のエラーが発生する可能性があります。

ユーザーの処置: 依存サーバーが作動可能にならなかった原因を調べてください。あるいは、ARM ポリシーを調べて、タイムアウト値を大きくしてください。

BBOU0620E COMMAND IGNORED, STOP COMMAND ALREADY ISSUED FOR SERVER *string*

説明: このサーバーに対しては、MVS STOP コンソール・コマンドまたはシステム管理 EUI STOP コマンドがすでに発行されています。後続のコマンドは無視されます。推奨アクション: 現在の停止処理が完了するまで待つか、EUI Cancel または MVS コンソールの Modify Cancel コマンドにエスカレートしてください。

ユーザーの処置:

BBOU0621E COMMAND IGNORED, MODIFY CANCEL COMMAND ALREADY ISSUED FOR SERVER *string*

説明: このサーバーに対しては、MVS Modify Cancel コンソール・コマンドまたはシステム管理 EUI Cancel コマンドがすでに発行されています。後続のコマンドは無視されます。推奨アクション: 現在の処理が完了するまで待ってください。

ユーザーの処置:

BBOU0622E STOP AND MODIFY COMMANDS ARE NOT SUPPORTED FOR CBSERIES SERVER REGIONS

説明: MVS の Stop および Modify コマンドは、サーバー領域ではサポートされません。サーバー領域をシャットダウンするには、サーバー領域が所有している制御領域を停止するか、VARY WLM コマンドを使用してください。推奨アクション: コマンドは無視されます。説明に記載されている代替処置 (いずれか一方) を実行することを検討してください。

ユーザーの処置:

BBOU0623E Delete ACEE (IRRSIA00) failed with SAF Return Code=*dstring*, RACF Return Code=*dstring*, RACF Reason Code=*dstring*. (ACEE 削除 (IRRSIA00) が失敗しました。 SAF 戻りコード =*dstring*、RACF 戻りコード =*dstring*、RACF 理由コード =*dstring*。)

説明: ACEE 削除呼び出し可能セキュリティー・サービスが、示された 10 進数の戻りコードおよび理由コードで失敗しました。

ユーザーの処置: IRRSIA00 の戻りコードについては、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」または該当するセキュリティー製品の解説書を参照してください。参考資料:「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス (GC88-6546)」。

BBOU0624I THE FOLLOWING NUMBER OF MESSAGES WERE WRITTEN TO CERR PRIOR TO CONNECTING TO LOGSTREAM: *dstring*.

説明: Component Broker はログ・ストリームに接続されましたが、接続処理中に、一部のメッセージが CERR にリダイレクトされて記録されました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログを知らべて、メッセージを確認してください。

BBOU0625E CBSERIES DAEMON *string* UNABLE TO RUN AUTHORIZED

説明: Component Broker シリーズのデーモンおよび制御領域については、実行が許可される必要があります。しかし、このスペースについては、許可がないことが検出されました。このスペースはエラーで終了します。

ユーザーの処置: おそらく、この proc 用のデータ・セットが Steplib には含まれているものの、APF リストに含まれていないことが原因です。

BBOU0626E CBSERIES CONTROL REGION *string* UNABLE TO RUN AUTHORIZED

説明: Component Broker シリーズのデーモンおよび制御領域については、実行が許可される必要があります。しかし、このスペースについては、許可がないことが検出されました。このスペースはエラーで終了します。

ユーザーの処置: おそらく、この proc 用のデータ・セットが Steplib には含まれているものの、APF リストに含まれていないことが原因です。

BBOU0627E Configuration import error in file '*string*'.No version element found. (ファイル '*string*' で構成のインポート・エラーが発生しました。バージョン・エレメントがありません。)

説明: 構成のインポート中に、xml ファイル内にバージョン・エレメントがありませんでした。推奨アクション: インポートしようとしている config.xml が壊れていないこと、およびこのファイルにバージョン・エレメントの宣言とデータがあることを確認してください。

ユーザーの処置:

BBOU0628E WS BOOTSTRAP IS APPLIED TO BOOTSTRAPPED DB.APPLY BBOMCRDB FIRST

説明: システム管理ブートストラップが、ブートストラップ済みデータベースに完全に適用されました。

ユーザーの処置: 最初に BBOMCRDB を適用してください。

BBOU0629W ERROR ENCOUNTERED DURING SYSTEMS MANAGEMENT ATTEMPT TO STOP SERVER *string*.

説明: システム管理サーバーに対して stop コマンドが入力されました。これにより、システム上でシステム管理サーバーとして動作している他のすべての Component Broker サーバーが停止されます。メッセージに示された名前のサーバーに対して stop を発行したときに、エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 指定されたサーバーはすでに停止している可能性があり、その場合は、特別な処置は必要ありません。別の可能性としては、サーバーに何らかの問題があり、このサーバーをキャンセルしないと、システム管理サーバーを停止できないことがあります。メッセージに示された特定のサーバーを調べて、どちらの場合に該当するかを判別してください。特定のサーバー名とは、サーバーを始動したときに指定したパラメーターです。

BBOU0630I OTHER CB SERVERS HAVE STOPPED, STOP OF SYSTEMS MANAGEMENT CONTINUES.

説明: Component Broker システム管理サーバーに対して stop コマンドを発行すると、システム管理サーバーはこのシステム上にある他のすべての Component Broker サーバーを停止します。システム管理サーバーはすべての Component Broker サーバーが停止するまで待ってから、自分自身をシャットダウンします。このメッセージは、すべての Component Broker サーバーが停止されたこと、およびこれからシステム管理サーバーの終了処理に入ることを示します。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0631I CONTINUATION *dstring* FOR *string* ON TCB=*hstring*

説明: 10 行以上を必要とするメッセージが発行されました。このメッセージに続けて、示されたメッセージについて、9 行分のデータが続けて表示されます。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0632E JVM EXIT API DRIVEN. (JVM 出口 API が呼び出されました。) JVM EXITTING WITH CODE=*dstring* (JVM はコード =*dstring* で終了します。)

説明: JVM 出口 API が、示されたエラー・コードで呼び出されました。これは、JVM が異常終了したことを示します。

ユーザーの処置: IBM のサポートを求めるときに必要なので、エラー・コードを記録してください。このメッセージと共に出力されるエラー・メッセージ (BBOU0631E) をエラー・ログで探してください。

BBOU0633E JVM ABORT API DRIVEN.JVM ABORTING.

説明: JVM 異常終了 API が呼び出されました。

ユーザーの処置: このメッセージと共に出力されるエラー・メッセージ (BBOU0631E) をエラー・ログで探してください。

BBOU0634I JVM LOGMSG: *string*

説明: これは、JVM によって書き込まれたメッセージであり、環境変数 JVM_LOGFILE=1 を設定した結果としてエラー・ログに取り込まれました。このメッセージは、エラー・メッセージである場合と、そうでない場合があります。

ユーザーの処置: ありません。IBM にサポートを要求するときに、これらのメッセージの提出を求められる場合があります。

BBOU0635E CB FAILED TO ALLOCATE MEMORY FOR BLOB DATA

説明: BLOB データ用のメモリーが不足していたため、システム管理が失敗しました。

ユーザーの処置: プログラムで使用可能なメモリーを増やしてから、操作を再試行してください。

BBOU0636E Thread Type (*dstring*) *string*. (スレッド・タイプ (*dstring*) *string*。)

説明: 同じタイプのスレッドが 5 回以上再始動されました。

ユーザーの処置: ありません。

BBOU0637E initACEE (IRRSIA00) failed to convert SSL certificate with SAF Return

Code=*dstring*, RACF Return Code=*dstring*, RACF Reason Code=*dstring*, (initACEE (IRRSIA00) は、SSL 証明書の変換に失敗しました。SAF 戻りコード =*dstring*、RACF 戻りコード =*dstring*、RACF 理由コード =*dstring*。)

説明: initACEE 呼び出し可能セキュリティー・サービスは、SSL クライアント証明書の変換に失敗しました。10 進数の戻りコードおよび理由コードが示されています。

ユーザーの処置: initACEE (IRRSIA00) の戻りコードについては、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」または該当するセキュリティー製品の解説書を参照してください。initACEE サービス呼び出しの戻りコードおよび理由コードについては、initACEE について記載されている、「OS/390 Security Server (RACF) セキュリティー管理者のガイド」および「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」などの Security Server 関連資料を参照してください。参考資料:「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス (GC88-6546)」。

**BBOU0638E Function *string* failed with RV=*dstring*, RC=*dstring*, RSN=*hstring*, [*string*] hostname/ip:
string (関数 *string* が失敗しました。RV=*dstring*、RC=*dstring*、RSN=*hstring*、[*string*] ホスト
名 /ip: *string*)**

説明: Component Broker シリーズが、示された関数を発行し、この関数が RV で示された 10 進数の戻り値、RC で示された 10 進数の戻りコード、および RSN で示された 16 進数の理由コードで終了しました。

ユーザーの処置: 戻り値および戻りコードの説明については、「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」または「UNIX システム・サービス メッセージおよびコード」を参照してください。エラーを訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

**BBOU0639E Function *string* failed with RV=*dstring*, RC=*dstring*, RSN=*hstring*, [*string*] hostname/ip:
string port: *dstring* (関数 *string* が失敗しました。RV=*dstring*、RC=*dstring*、RSN=*hstring*、
[*string*] ホスト名 /ip: *string* ポート: *dstring*)**

説明: Component Broker シリーズが、示された関数を発行し、この関数が RV で示された 10 進数の戻り値、RC で示された 10 進数の戻りコード、および RSN で示された 16 進数の理由コードで終了しました。

ユーザーの処置: 戻り値および戻りコードの説明については、「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」または「UNIX システム・サービス メッセージおよびコード」を参照してください。エラーを訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

**BBOU0640E A DCE IOR component tag is too small to contain all its required information.
(DCE IOR コンポーネント・タグが小さすぎたため、必須情報を完全には収容できません。)**

説明: Component Broker シリーズは、DCE IOR コンポーネント・タグを解釈できませんでした。このタグのサイズが小さすぎるため、このタグ用として定義されている必須フィールドを完全には収容できません。

ユーザーの処置: このメッセージは、クライアント・プロセスがセキュリティー・コンポーネント・タグを解釈できないことを示しています。これにより、クライアントではこのセキュリティー・メソッドが省略されるため、サーバーに接続するときにクライアントが失敗する場合があります。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0641E There is no DCE principal name in a DCE IOR component tag. (DCE IOR コンポーネント・タグに DCE プリンシパル名がありません。)

説明: DCE IOR コンポーネント・タグにサーバーのプリンシパル名が入っていなかったため、Component Broker シリーズは、このコンポーネント・タグを解釈できませんでした。

ユーザーの処置: このメッセージは、クライアント・プロセスがセキュリティー・コンポーネント・タグ

を解釈できないことを示しています。これにより、クライアントではこのセキュリティー・メソッドが省略されるため、サーバーに接続するときにクライアントが失敗する場合があります。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0642E The DCE principal name contained in a DCE IOR component tag has a invalid length of *dstring*. (DCE IOR コンポーネント・タグに含まれている DCE プリンシパル名の長さ *dstring* が無効です。)

説明: DCE サーバー・プリンシパル・フィールドの長さが無効だったため、Component Broker シリズは DCE IOR コンポーネント・タグを解釈できませんでした。

ユーザーの処置: このメッセージは、クライアント・プロセスがセキュリティー・コンポーネント・タグを解釈できないことを示しています。これにより、クライアントではこのセキュリティー・メソッドが省略されるため、サーバーに接続するときにクライアントが失敗する場合があります。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0643E A DCE IOR component tag does not contain a required field and can not be interpreted. (DCE IOR コンポーネント・タグに必須フィールドが含まれていないため、このタグを解釈できません。)

説明: DCE IOR コンポーネント・タグが必須フィールドをすべて格納できる長さではなかったため、Component Broker シリズは、このコンポーネント・タグを解釈できませんでした。

ユーザーの処置: このメッセージは、クライアント・プロセスがセキュリティー・コンポーネント・タグを解釈できないことを示しています。これにより、クライアントではこのセキュリティー・メソッドが省略されるため、サーバーに接続するときにクライアントが失敗する場合があります。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0644E An SSL IOR component tag is too small to contain all its required information. (SSL IOR コンポーネント・タグが小さすぎたため、必須情報を完全には収容できません。)

説明: Component Broker シリズは、SSL IOR コンポーネント・タグを解釈できませんでした。このタグのサイズが小さすぎるため、このタグ用として定義されている必須フィールドを完全には収容できません。

ユーザーの処置: このメッセージは、クライアント・プロセスがセキュリティー・コンポーネント・タグを解釈できないことを示しています。これにより、クライアントではこのセキュリティー・メソッドが省略されるため、サーバーに接続するときにクライアントが失敗する場合があります。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0645E A Basic Authentication IOR component tag is too small to contain all its required information. (基本認証 IOR コンポーネント・タグが小さすぎたため、必須情報を完全には収容できません。)

説明: Component Broker シリーズは、基本認証 IOR コンポーネント・タグを解釈できませんでした。このタグのサイズが小さすぎるため、このタグ用として定義されている必須フィールドを完全には収容できません。

ユーザーの処置: このメッセージは、クライアント・プロセスがセキュリティー・コンポーネント・タグを解釈できないことを示しています。これにより、クライアントではこのセキュリティー・メソッドが省略されるため、サーバーに接続するときにクライアントが失敗する場合があります。問題が解消しない場合は、技術担当者に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0646E A Basic Authentication IOR component tag has an invalid length for its realm or principal field. (基本認証 IOR コンポーネント・タグのレルム (基本フィールド) 用の長さが無効です。)

説明: 基本認証 IOR コンポーネント・タグが必須フィールドをすべて格納できる長さでなかったため、Component Broker シリーズは、このコンポーネント・タグを解釈できませんでした。

ユーザーの処置: このメッセージは、クライアント・プロセスがセキュリティー・コンポーネント・タグを解釈できないことを示しています。これにより、クライアントではこのセキュリティー・メソッドが省略されるため、サーバーに接続するときにクライアントが失敗する場合があります。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0647W The RACF SOMDOBJs class has been found to be inactive during security method Authorization check. (セキュリティー・メソッドの許可検査中に、RACF SOMDOBJs クラスが活動中ではありませんでした。) **Contact your system administrator. (システム管理者に連絡してください。)** **SAF Ret Code (hex) : hstring**
RACF Ret Code (hex) : hstring **RACF Reason Code (hex) : hstring (SAF 戻りコード (16 進数) : hstring、RACF 戻りコード (16 進数) : hstring、RACF 理由コード (16 進数) : hstring)**

説明: RACF SOMDOBJs クラスが活動中でなかったため、Component Broker シリーズはセキュリティー methAuth 検査を完了することができませんでした。システム管理者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0648E The RACF SOMDOBJs class has encountered an error during security method Authorization check. (セキュリティ・メソッドの許可検査中に、RACF SOMDOBJs クラスがエラーを検出しました。) Contact your system administrator. (システム管理者に連絡してください。) SAF Ret Code (hex) : *hstring* RACF Ret Code (hex) : *hstring* RACF Reason Code (hex) : *hstring* (SAF 戻りコード (16 進数) : *hstring*、RACF 戻りコード (16 進数) : *hstring*、RACF 理由コード (16 進数) : *hstring*)

説明: RACF SOMDOBJs クラスが活動中でなかったため、Component Broker シリーズはセキュリティ・methAuthe 検査を完了することができませんでした。システム管理者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。参考資料:「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

ユーザーの処置:

BBOU0649E NO ACTIVE CONVERSATION OBJECT FOR LEVEL *dstring*. (レベル *dstring* について活動中の会話オブジェクトはありません。)

説明: システム管理サーバーは、活動化されている会話オブジェクトを見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: 詳しくは、このメッセージと共に出力されるメッセージを参照してください。会話オブジェクトについては、システム管理データベースを調べてください。

BBOU0650E NO ACTIVE LEVEL OBJECT, LEVEL NUMBER = *dstring*. (活動中のレベル・オブジェクトはありません。レベル番号 = *dstring*。)

説明: システム管理サーバーは、活動化されているレベル・オブジェクトを見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: 詳しくは、このメッセージと共に出力されるメッセージを参照してください。レベル・オブジェクトについては、システム管理データベースを調べてください。

BBOU0651E UNABLE TO OBTAIN SYSTEM PARAMETER *string*

説明: システム管理サーバーは、指定されたシステム・パラメーターを取得できませんでした。

ユーザーの処置: 詳しくは、このメッセージと共に出力されるメッセージを参照してください。

BBOU0652E NAMING REGISTRATION FAILED FOR SERVER *string*

説明: 指定されたサーバーについて、ネーミング登録が失敗しました。ネーミングに登録されていないと、サーバーにインストールされているアプリケーションが正しく動作しないので、サーバーが異常終了します。

ユーザーの処置: 詳しくは、このメッセージと共に出力されるメッセージを参照してください。

BBOU0653I Authentication failed. (認証が失敗しました。)

説明: 認証プロセスの完了に失敗しました。クライアント要求は継続されますが、この後、「アクセス権なし」例外で失敗します。

ユーザーの処置: ログを調べて、認証が失敗した理由を確認し、適切な処置をとってください。操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0654I An SSL Kerberos authentication request failed with a *string* exception, and a minor code of *hstring*. (SSL Kerberos 認証要求が *string* 例外で失敗しました。マイナー・コード *hstring*。)

説明: Component Broker クライアントは、サーバーとの SSL Kerberos GSS_API 認証シーケンスを完了できませんでした。

ユーザーの処置: メッセージに示された例外に基づいて適切な処置をとってから、操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0655I The length *dstring* of a Kerberos principal name returned from a SAF R_kerbinfo call for the user *string* exceeds the maximum allowable length. (ユーザー *string* について SAF R_kerbinfo 呼び出しから戻った Kerberos プリンシパル名の長さ *dstring* が最大許容長を超えています。)

説明: Component Broker シリーズは、R_kerbinfo 呼び出しからバッファーに戻されたプリンシパル名の長さを解釈できませんでした。

ユーザーの処置: このメッセージは、クライアント・プロセスが R_kerbinfo 呼び出しの結果を解釈できないことを示しています。これにより、クライアントでは SSL Kerberos GSS_API 認証メソッドが省略されるため、サーバーに接続するときにクライアントが失敗する場合があります。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0656I CB Series was unable to find the Kerberos principal associated with the user *string*. (Component Broker シリーズは、ユーザー *string* に関連付けられている Kerberos プリンシパルを見つけることができませんでした。)

説明: Component Broker シリーズは、R_kerbinfo 呼び出しから戻された Kerberos プリンシパル名を解釈できませんでした。

ユーザーの処置: このメッセージは、プロセスが R_kerbinfo 呼び出しの結果を解釈できないことを示しています。これにより、このプロセスでは SSL Kerberos GSS_API 認証メソッドが省略されます。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU06571 SSL/Kerberos initialization failed for user *string*, because RACF is not installed.
(SSL/Kerberos。ユーザー *string* について、RACF がインストールされていないため、初期化が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: RACF がインストールされていないため、Component Broker は初期化中にユーザー・プロファイルの KERB セグメントから Kerberos 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: Component Broker で Kerberos セキュリティーを使用するには、RACF をインストールする必要があります。RACF をインストールし、Kerberos セキュリティーを使用するユーザー用に KERB セグメントを定義してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU06581 SSL/Kerberos initialization failed for user *string*, because it has been revoked.
(SSL/Kerberos。ユーザー *string* が取り消されたため、このユーザーについての初期化が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: ユーザーが取り消されていたため、Component Broker は初期化中にユーザー・プロファイルの KERB セグメントから Kerberos 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して、ユーザーを復元してもらってください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU06591 SSL/Kerberos initialization failed for user *string*, because it has been revoked by this call. (SSL/Kerberos。この呼び出しによってユーザー *string* が取り消されたため、このユーザーについての初期化が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: ユーザーがこの呼び出しによって取り消されたため、Component Broker は初期化中にユーザー・プロファイルの KERB セグメントから Kerberos 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して、ユーザーを復元してもらってください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0660I SSL/Kerberos initialization failed for user *string*, because of an internal error.
(SSL/Kerberos。内部エラーにより、ユーザー *string* の初期化が失敗しました。) API:
string. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF
コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: Component Broker は、初期化中にユーザーの KERB セグメントから Kerberos 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0661I SSL/Kerberos initialization failed for user *string*, because of an internal error.
(SSL/Kerberos。内部エラーにより、ユーザー *string* の初期化が失敗しました。) API:
string. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF
コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: Component Broker は、初期化中にユーザーの KERB セグメントから Kerberos 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0662I SSL/Kerberos initialization failed for user *string*, because of an internal SAF error.
(SSL/Kerberos。内部 SAF エラーのため、ユーザー *string* について初期化が失敗しまし
た。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code =
dstring. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード =
dstring。)

説明: 内部 SAF エラーにより、Component Broker は初期化中にユーザーの KERB セグメントから Kerberos 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0663I SSL/Kerberos initialization failed for user *string*, because of an internal SAF error.
(SSL/Kerberos。内部 SAF エラーのため、ユーザー *string* についての初期化が失敗しま
した。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code =
dstring. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード =
dstring。)

説明: 内部 SAF エラーにより、Component Broker は初期化中にユーザーの KERB セグメントから Kerberos 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0664I SSL/Kerberos initialization failed for user *string*, because the user does not have a KERB segment. (SSL/Kerberos。ユーザー *string* は KERB セグメントを持っていないため、このユーザーについて初期化が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: ユーザーが Kerberos に定義されていないため、Component Broker は初期化中にユーザー・プロファイルの KERB セグメントから Kerberos 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: Kerberos セキュリティーを使用するには、このユーザーについて SAF KERB セグメントを定義する必要があります。このユーザーを Kerberos に定義するよう、セキュリティ管理者に依頼してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0665I SSL/Kerberos initialization failed for user *string*, because of an internal error. (SSL/Kerberos。内部エラーにより、ユーザー *string* の初期化が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: Component Broker は、初期化中にユーザーの KERB セグメントから Kerberos 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0666I SSL/Kerberos initialization failed for user *string*, because the user is not defined. (SSL/Kerberos。ユーザー *string* は定義されていないため、このユーザーについて初期化が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: ユーザーが SAF に定義されていないため、Component Broker は初期化中にユーザー・プロファイルの KERB セグメントから Kerberos 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: Kerberos セキュリティーを使用するには、このユーザーについて SAF KERB セグメントを定義する必要があります。このユーザーを SAF に定義すること、およびこのユーザーに対して Kerberos セグメントを追加することをセキュリティ管理者に依頼してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0667I SSL/Kerberos initialization failed for user *string*, because of an internal SAF error. (SSL/Kerberos。内部 SAF エラーのため、ユーザー *string* についての初期化が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: 内部 SAF エラーにより、Component Broker は初期化中にユーザーの KERB セグメントから Kerberos 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0668I SSL/Kerberos initialization failed for user *string*, because of an internal SAF error. (SSL/Kerberos。内部 SAF エラーのため、ユーザー *string* についての初期化が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: 内部 SAF エラーにより、Component Broker は初期化中にユーザーの KERB セグメントから Kerberos 情報を取り出すことができませんでした。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0670I SSL/Kerberos initialization failed because the Kerberos API *string* failed with a status code of *hstring* - *string*. (SSL/Kerberos。Kerberos API *string* が状況コード *hstring* - *string* で失敗したため、初期化が失敗しました。)

説明: 初期化中に、示された Kerberos API 呼び出しが、示された状況コードで失敗しました。

ユーザーの処置: メッセージに示された状況に基づいて適切な処置をとってから、操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。Kerberos 状況コードは、「OS/390 SecureWay Security Server ネットワーク認証およびプライベート・サービス 管理ガイド」に文書化されています。

BBOU0671I Unable to allocate memory for a string. (ストリング用のメモリーを割り振れません。)

説明: Component Broker プログラムは、Kerberos セキュリティーに必要な情報を格納するためのストレージを取得できませんでした。プログラムは続行しますが、Kerberos セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: プログラムを再始動するときに、このプログラムに使用可能なストレージの量を増やしてください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0672I The Server control region was not able to locate a client Kerberos identity. (サーバー制御領域は、クライアントの Kerberos アイデンティティを見つけることができませんでした。)

説明: Component Broker サーバーは、クライアントの Kerberos 代行証明書を取得できませんでした。Kerberos セキュリティーは、認証に使用されません。

ユーザーの処置: これは、単なる情報メッセージです。

BBOU0673I SSL/Kerberos initialization failed because the Kerberos GSS_API string failed. (SSL/Kerberos。Kerberos GSS_API string が失敗したため、初期化が失敗しました。)
major status: *hstring - string* **minor code:** *hstring - string* (メジャー状況: *hstring - string*、マイナー・コード: *hstring - string*。)

説明: 初期化中に、示された Kerberos GSS_API 呼び出しが、示された状況コードで失敗しました。

ユーザーの処置: メッセージに示された状況に基づいて適切な処置をとってから、操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。Kerberos 状況コードは、「OS/390 SecureWay Security Server ネットワーク認証およびプライベート・サービス 管理ガイド」に文書化されています。

BBOU0674I SSL/Kerberos initialization failed because the API SETENV failed with errno dstring. (SSL/Kerberos。API SETENV が errno dstring で失敗したため、初期化が失敗しました。)

説明: 初期化中に、サーバー制御領域は環境変数 KRB5_SERVER_KEYTAB を「1」に設定できませんでした。サーバーで Kerberos セキュリティーを使用するには、この環境変数を設定する必要があります。サーバーは初期化を続行しますが、Kerberos セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: メッセージに示された errno に基づいて適切な処置をとってから、操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0675I SSL/Kerberos initialization failed because the server could not find its associated Kerberos principal name. (SSL/Kerberos。このサーバーに関連付けられた Kerberos プリンシパル名が見つからなかったため、初期化が失敗しました。)

説明: 初期化中に、サーバー制御領域は関連付けられた Kerberos プリンシパル名を判別できませんでした。サーバーは初期化を続行しますが、Kerberos セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: サーバーのログを参照して、この問題に関連するメッセージがないか調べてください。見つかったメッセージに基づいて適切な処置をとってから、操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0676I SSL/Kerberos initialization failed because the server could not find its associated Default Kerberos realm. (SSL/Kerberos. サーバーに関連付けられたデフォルトの Kerberos レalmが見つからなかったため、初期化が失敗しました。)

説明: 初期化中に、サーバー制御領域は関連付けられた Kerberos レalm名を判別できませんでした。サーバーは初期化を続行しますが、Kerberos セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: サーバーのログを参照して、この問題に関連するメッセージがないか調べてください。見つかったメッセージに基づいて適切な処置をとってから、操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0677I SSL/Kerberos security initialization failed because the Kerberos API string failed with a status code of *hstring - string*. (SSL/Kerberos セキュリティー。Kerberos API string が状況コード *hstring - string* で失敗したため、初期化が失敗しました。)

説明: 初期化中に、示された Kerberos API 呼び出しが、示された状況コードで失敗しました。サーバーは初期化を続行しますが、Kerberos セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: メッセージに示された状況に基づいて適切な処置をとってから、操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。Kerberos 状況コードは、「OS/390 SecureWay Security Server ネットワーク認証およびプライバシー・サービス 管理ガイド」に文書化されています。

BBOU0678I SSL/Kerberos initialization failed because the Kerberos GSS_API string failed. (SSL/Kerberos. Kerberos GSS_API string が失敗したため、初期化が失敗しました。) major status: *hstring - string* minor code: *hstring - string* (メジャー状況: *hstring - string*、マイナー・コード: *hstring - string*。)

説明: 初期化中に、示された Kerberos GSS_API 呼び出しが、示された状況コードで失敗しました。サーバーは初期化を続行しますが、Kerberos セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: メッセージに示された状況に基づいて適切な処置をとってから、操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。Kerberos 状況コードは、「OS/390 SecureWay Security Server ネットワーク認証およびプライバシー・サービス 管理ガイド」に文書化されています。

BBOU0679I SSL/Kerberos server failed to authenticate this request because the Kerberos GSS_API string failed. (SSL/Kerberos. Kerberos GSS_API string が失敗したため、この要求の認証が失敗しました。) major status: *hstring - string* minor code: *hstring - string* (メジャー状況: *hstring - string*、マイナー・コード: *hstring - string*。)

説明: 要求処理中に、Kerberos GSS_API が示された状況コードで失敗しました。サーバーは、この要求については Kerberos セキュリティーを使用しません。

ユーザーの処置: メッセージに示された状況に基づいて適切な処置をとってから、操作を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求

してください。Kerberos 状況コードは、「OS/390 SecureWay Security Server ネットワーク認証およびプライバシー・サービス 管理ガイド」に文書化されています。

BBOU0680I The Kerberos principal name obtained from the authentication token has an invalid length of *dstring*. (認証トークンから取得した Kerberos プリンシパル名の長さ *dstring* が無効です。)

説明: Kerberos プリンシパル名の長さが許容値を超えていたため、Component Broker シリーズはクライアント要求を認証できませんでした。

ユーザーの処置: このメッセージは、この要求に関連付けられた Kerberos プリンシパルをサーバー・プロセスが解釈できないことを示しています。この要求については、Kerberos セキュリティーは使用されません。

BBOU0681I The Kerberos principal name obtained from the authentication token can not be understood by the server. (認証トークンから取得した Kerberos プリンシパル名をサーバーが解釈できません。)

説明: サーバーが Kerberos プリンシパル名を解釈できなかったため、Component Broker シリーズはクライアント要求を認証できませんでした。

ユーザーの処置: このメッセージは、この要求に関連付けられた Kerberos プリンシパルをサーバー・プロセスが解釈できないことを示しています。この要求については、Kerberos セキュリティーは使用されません。これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0682I SSL/Kerberos authentication failed for the principal *string*, because RACF is not installed. (SSL/Kerberos. RACF がインストールされていないため、プリンシパル *string* について認証が失敗しました。) API: *string*, SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*, RACF 戻りコード = *dstring*, RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: RACF がインストールされていないため、Kerberos 認証中に、Component Broker は Kerberos プリンシパルに関連付けられた SAF ユーザーを取得できませんでした。

ユーザーの処置: Component Broker で Kerberos セキュリティーを使用するには、RACF をインストールする必要があります。RACF をインストールし、Kerberos セキュリティーを使用するユーザー用に KERB セグメントを定義してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0683I SSL/Kerberos authentication failed for the principal *string*, because of an invalid parameter. (SSL/Kerberos。パラメーターが無効なため、プリンシパル *string* についての認証が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: 内部エラーが発生したため、Kerberos 認証中に、Component Broker は Kerberos プリンシパルに関連付けられた SAF ユーザーを取得できませんでした。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0684I SSL/Kerberos authentication failed for the principal *string*, because of an internal SAF error. (SSL/Kerberos。内部 SAF エラーが発生したため、プリンシパル *string* についての認証が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: 内部 SAF エラーが発生したため、Kerberos 認証中に、Component Broker は Kerberos プリンシパルに関連付けられた SAF ユーザーを取得できませんでした。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0685I SSL/Kerberos authentication failed for the principal *string*, because there is no mapping between the Kerberos principal and a RACF userid. (SSL/Kerbero。Kerberos プリンシパルと RACF ユーザー ID の間のマッピングがないため、プリンシパル *string* について認証が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: Kerberos プリンシパルと RACF ユーザー ID の間のマッピングがないため、Kerberos 認証中に、Component Broker は Kerberos プリンシパルに関連付けられた SAF ユーザーを取得できませんでした。

ユーザーの処置: セキュリティ管理者に連絡して、プリンシパルを RACF ユーザー ID にマップするよう依頼してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0686I SSL/Kerberos authentication failed for the principal *string*, because this server is not authorized to use the IRRSIM00 SAF service. (SSL/Kerberos. このサーバーは IRRSIM00 SAF サービスの使用を許可されていないため、プリンシパル *string* について認証が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: このサーバーは IRRSIM00 サービスの使用を許可されていないため、Kerberos 認証中に、Component Broker は Kerberos プリンシパルに関連付けられた SAF ユーザーを取得できませんでした。

ユーザーの処置: 戻りコードに基づいて訂正処置をとってから、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0687I SSL/Kerberos authentication failed for the principal *string*, because this server could not map the princpal to a SAF user. (SSL/Kerberos. このサーバーはプリンシパル *string* を SAF ユーザーにマップできないため、このプリンシパルについて認証が失敗しました。) API: *string*. SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: Kerberos 認証中に、Component Broker は Kerberos プリンシパルに関連付けられた SAF ユーザーを取得できませんでした。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して、このサーバーを IRR.RUSERMAP FACILITY クラスに許可するよう依頼してください。SAF および RACF のコードは、「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」に文書化されています。

BBOU0688I SSL/Kerberos the IOR tagged component for SSL Kerberos security was skipped because of an invalid length for the server realm name. (SSL/Kerberos. サーバーのレルム名の長さが無効なため、SSL Kerberos セキュリティー用の IOR タグ付きコンポーネントがスキップされました。)

説明: IOR の処理中に、SSL Kerberos GSS_API タグ内のサーバーのレルム名の長さを判別できませんでした。処理は続行されますが、このセキュリティ形式は使用されません。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0689I SSL/Kerberos the IOR tagged component for SSL Kerberos security was skipped because of an invalid realm name. (SSL/Kerberos. レルム名が無効なため、SSL Kerberos セキュリティー用の IOR タグ付きコンポーネントがスキップされました。)

説明: IOR の処理中に、SSL Kerberos GSS_API タグ内のサーバーのレルム名を判別できませんでした。処理は続行されますが、このセキュリティ形式は使用されません。

メッセージ -- 一般

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0690I SSL/Kerberos the IOR tagged component for SSL Kerberos security was skipped because of an invalid length for the server principal name. (SSL/Kerberos。サーバーのプリンシパル名の長さが無効なため、SSL Kerberos セキュリティー用の IOR タグ付きコンポーネントがスキップされました。)

説明: IOR の処理中に、SSL Kerberos GSS_API タグ内のサーバーのプリンシパル名の長さを判別できませんでした。処理は続行されますが、このセキュリティー形式は使用されません。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0691I SSL/Kerberos the IOR tagged component for SSL Kerberos security was skipped because of an invalid server principal name. (SSL/Kerberos。サーバーのプリンシパル名が無効なため、SSL Kerberos セキュリティー用の IOR タグ付きコンポーネントがスキップされました。)

説明: IOR の処理中に、SSL Kerberos GSS_API タグ内のサーバーのプリンシパル名を判別できませんでした。処理は続行されますが、このセキュリティー形式は使用されません。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0692I Unable to load the Kerberos DLL EUVFKDLL. (Kerberos DLL EUVFKDLL をロードできません。) The Kerberos API krb5_dll_load failed with errno *dstring*. (Kerberos API krb5_dll_load が *errno dstring* で失敗しました。)

説明: Component Broker プログラムは、Kerberos ダイナミック・ロード・ライブラリー "EUVFKDLL" をロードできませんでした。Kerberos セキュリティーを使用するには、この DLL がシステムで使用可能である必要があります。プログラムは続行しますが、Kerberos セキュリティーは使用されません。

ユーザーの処置: おそらく、システムに Kerberos がインストールされていないことがエラーの理由です。Kerberos セキュリティーを使用する場合は、システムに Kerberos をインストールし、Kerberos セキュリティー・サーバー (SKRBKDC) を活動化する必要があります。このレベルの Component Broker 用としてインストール資料に指定されている各サービスが Kerberos に含まれていることを確認してください。

BBOU0694I NAMING REGISTRATION STARTED FOR SERVER *string*

説明: 指定されたサーバーについて、ネーミング登録が開始されました。処理が完了すると、メッセージ BBOU0695I が発行されます。それまでは、サーバーは完全には作動していません。ネーミング登録が完了するまでは、クライアント要求を発行しないでください。

ユーザーの処置: ありません。このメッセージは単なる情報メッセージです。

BBOU0695I NAMING REGISTRATION COMPLETED FOR SERVER *string*

説明: 指定されたサーバーについて、ネーミング登録が完了しました。サーバーは完全に作動可能になりました。

ユーザーの処置: ありません。このメッセージは単なる情報メッセージです。

BBOU0696I REGISTERING HOME *string* FOR SERVER *string*

説明: 指定されたサーバーについて、指定されたホームがネーミングに登録されました。

ユーザーの処置: ありません。このメッセージは単なる情報メッセージです。

BBOU0697I REGISTERING COMPONENT *string* FOR SERVER *string*

説明: 指定されたサーバーについて、指定されたコンポーネントがネーミングに登録されました。

ユーザーの処置: ありません。このメッセージは単なる情報メッセージです。

BBOU0698I REGISTERING SERVER *string*

説明: 指定されたサーバーがネーミングに登録されました。

ユーザーの処置: ありません。このメッセージは単なる情報メッセージです。

BBOU0699I DEREGISTERING HOME *string* FOR SERVER *string*

説明: 指定されたサーバーについて、指定されたホームがネーミングから登録抹消されました。

ユーザーの処置: ありません。このメッセージは単なる情報メッセージです。

BBOU0700I DEREGISTERING COMPONENT *string* FOR SERVER *string*

説明: 指定されたサーバーについて、指定されたコンポーネントがネーミングから登録抹消されました。

ユーザーの処置: ありません。このメッセージは単なる情報メッセージです。

BBOU0701I DEREGISTERING SERVER *string*

説明: 指定されたサーバーがネーミングから登録抹消されました。

ユーザーの処置: ありません。このメッセージは単なる情報メッセージです。

BBOU0702W LOAD FAILED FOR MODULE *string*.

説明: Component Broker シリーズのサーバーまたはクライアントの初期化中に、メッセージ本文に示された製品モジュールをロードしようとした。このロード・モジュールが見つかりませんでした。サーバーまたはクライアントは継続されます。ロード・モジュールは、該当する検索パス (STEPLIB、LPA、または Linklist) に置く必要があります。

メッセージ -- 一般

ユーザーの処置: ロード・モジュールが置かれている場所を確認し、適切な格納場所 (STEPLIB、LPA または Linklist) を判別してください。問題を訂正後、サーバーまたはクライアントを再始動してください。

BBOU0703W FAILED TO FIND *string* FUNCTION IN MODULE *string*.

説明: 関数に使用するアドレスを取得しようとしたのですが、これに失敗しました。この関数は、ロード・モジュールに含まれていません。

ユーザーの処置: ロード・モジュールのロード元を確認し、このロード・モジュールが適切なバージョンであるかを確認してください。問題を訂正し、サーバーまたはクライアントを再始動してください。

BBOU0704W Naming registration encountered already bound object *string* (ネーミング登録中に、オブジェクト *string* がすでにバインドされていることがわかりました。)

説明: ネーミング登録中に、登録しようとしていたオブジェクトはすでにネーム・スペースにバインドされていました。このエラーの原因としては、次の 2 つが考えられます。1. 直前に失敗した、このサーバーのネーミング登録が再試行された。2. ファクトリー名または JNDI 名として、別のオブジェクトに対して同じホーム / 名前がそれぞれ使用された。1 の場合は、通常の操作の範囲であり、問題はありません。2 の場合は、問題であり、ホームの解決、オブジェクトの作成、またはオブジェクトの限定を行うときに、アプリケーション・エラーが発生する可能性があります。参照解決中にオブジェクト・ビルダーが作成するホーム / ファクトリーの名前や、システム管理 EUI が作成する JNDI 名には、固有の名前を使用してください。

ユーザーの処置: ありません。この後にアプリケーション・エラーが発生した場合は、ホーム / ファクトリーの名前や JNDI 名が固有の名前であることを確認してください。

BBOU0705W An SSL certificate failed an internal conversion. (SSL 証明書で内部変換が失敗しました。)

説明: SSL クライアント証明を RACF での処理のために変換する内部変換ルーチンが失敗しました。

ユーザーの処置: おそらく、着信 SSL 証明書が無効であることが、このエラー・コードが発行された理由です。クライアントから受け取った SSL 証明書をチェックして、この証明書が有効かどうかを確認してください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

BBOU0706W Invalid REM_USERID or invalid REM_PASSWORD defined as an environmental variable (環境変数として定義されている REM_USERID または REM_PASSWORD が無効です。)

説明: セキュリティー・マネージャー - 環境ファイル内のユーザー ID またはパスワードが無効であるか、定義されていません。

ユーザーの処置: 環境ファイルでこれらの変数を確認してください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

**BBOU0707W Function *string* failed with RC=*dstring*. (関数 *string* が失敗しました。RC=*dstring*。)
System determined REASON=*string* (システムによって判別された理由 =*string*。)**

説明: メッセージに示されているとおり、Component Broker シリーズが失敗し、関数が RC で示された 10 進数の戻りコードで終了しました。最初の '*string*' は、失敗した関数の名前です。2 番目の '*string*' は、関数失敗の理由を示しています。

ユーザーの処置: 「OS/390 C/C++ ランタイム・ライブラリー・リファレンス」またはその他の該当する OS/390 資料で、該当する関数について記載されている個所を探し出し、このエラーについての説明を参照してください。問題を訂正してください。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0708W A verify for a MVS userid/password pair failed for userid *string* SAF code = *dstring*, RACF ret code = *dstring*, RACF rsn code = *dstring*. (ユーザー ID *string* について MVS ユーザー ID / パスワード・ペアの検証が失敗しました。SAF コード = *dstring*、RACF 戻りコード = *dstring*、RACF 理由コード = *dstring*。)

説明: カスタマー・アプリケーションでは、MVS ユーザーとパスワードの組み合わせを検証する必要があります。ユーザー ID またはパスワードが無効だったため、SAF 呼び出しが失敗しました。

ユーザーの処置: 「OS/390 Security Server (RACF) 呼び出し可能サービス」(V2R4 以降) に定義されている、戻りコードおよび理由コードを参照してください。

BBOU0709E MSG_BBOUENUS_SEC_EJBROLES_CHECK_FAILED: The requested EJBROLESAUTHCHECK(RACROUTE) function User *string* not permitted to method *string* via Allowed roles (*string*). (MSG_BBOUENUS_SEC_EJBROLES_CHECK_FAILED: ユーザー *string* について、要求された EJBROLESAUTHCHECK(RACROUTE) 関数は許可されたロール (*string*) を介してメソッド *string* に対して許可されていません。)

説明: EJB コンテナは isClientInRole を呼び出しました。現在のスレッドの ID は、リストされた EJB ロールに対する読み取りアクセス権を一切持っていません。

ユーザーの処置: この ID にアクセス権を付与する必要がある場合は、SAF 許可を変更してください。そうでない場合は、これは、通常のサービス妨害です。

BBOU0710E Environment import error. (環境のインポート・エラーです。) Could not open environment file '*string*' (環境ファイル '*string*' を開くことができませんでした。)

説明: 初期ブートストラップ中に、環境ファイルから環境変数の初期設定が読み取られます。環境ファイルを開こうとしましたが、これに失敗しました。

ユーザーの処置: ファイルが存在することを確認してください。リンクになっている場合は、リンクをたどって、このリンクが解決できることを確認してください。該当する読み取りアクセス権フラグがオンになっていることを確かめてください。エディターで環境ファイルを開いて、ファイルが壊れていないことを確認してください。

BBOU0711E Environment import error while reading environment file '*string*' (環境ファイル '*string*' の読み取り中に、環境のインポート・エラーが発生しました。)

説明: 初期ブートストラップ中に、環境ファイルから環境変数の初期設定が読み取られます。環境ファイルの内容を解釈しようとしたのですが、これに失敗しました。

ユーザーの処置: エディターで環境ファイルを開いて、ファイルが壊れていないことを確認してください。

BBOU0712E Property conversion error while processing environment file (環境ファイルの処理中に、特性の変換エラーが発生しました。)

説明: 初期ブートストラップ中に、環境ファイルから環境変数の初期設定が読み取られます。特性を内部フォーマットからストリング・シーケンスに変換しようとしたのですが、これに失敗しました。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。問題が解消しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

BBOU0713W The transaction with URID '*string*' has timed out after processing for more than *dstring* seconds. (URID '*string*' のトランザクションは、*dstring* 秒以上にわたって処理したあとでタイムアウトになりました。) The transaction will be rolled back. (このトランザクションはロールバックされます。) The transaction XID is *string*. (トランザクションの XID は *string* です。)

説明: OTS が関連するグローバル・トランザクションが最大処理時間に達しました。このトランザクションには、単にロールバックのマークが付けられます。このトランザクションについて後続のメソッドがディスパッチされると、CORBA::TRANSACTION_ROLLEDBACK 例外がスローされます。

ユーザーの処置: このアプリケーションにコーディング・エラーがないかを調べてください。トランザクション・タイムアウト値が、OTS_MAXIMUM_TIMEOUT 環境変数の値と同じかそれより小さい値にアプリケーションで明示的に設定されている可能性があります。タイムアウト値が明示的に設定されていない場合は、OTS_DEFAULT_TIMEOUT 環境変数の値にデフォルトで設定されます。追加情報: URID が非ゼロの場合は、RRS パネルを介して、このトランザクションおよび関連するリソース・マネージャーに関する追加情報を取得することができます。URID がゼロの場合、このサーバーは、このトランザクション・ブランチではトランザクション作業を一切実行していません。<gtrid:bqual:formatid> 形式で記述された XID を使用することで、分散環境におけるこのトランザクションの追加情報を判別することもできます。

BBOU0714E MSG_BBOUENUS_SEC_UNABLE_TO_PERFORM_EJBROLES_CHECK: SAF Red Code (hex) : *hstring* The requested FASTAUTHCHECK(RACROUTE) function could not be performed for Role Name *string* and Class Name *string*
(MSG_BBOUENUS_SEC_UNABLE_TO_PERFORM_EJBROLES_CHECK: SAF 戻りコード (16 進数) : *hstring*。要求された関数 FASTAUTHCHECK(RACROUTE) をロール名 *string* およびクラス名 *string* について実行できませんでした。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された SAF 戻りコード。要求された関数 METHAUTHCHECK (RACROUTE) を実行できませんでした。SAF 戻りコードおよび報告された RACF 戻りコードを使用して、問題の原因を判別してください。この SAF 戻りコードには、関連付けられた RACF 戻りコードがいくつかあり、これにより、問題をさらに特定することができます。

ユーザーの処置: 技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

BBOU0715E MSG_BBOUENUS_SEC_REQUESTED_EJBROLES_CHECK_FUNCTION_FAILED: ; SAF Return Code (hex) : *hstring* The requested FASTAUTHCHECK function failed and could not be performed for Role Name *string* and Class Name *string*
(MSG_BBOUENUS_SEC_REQUESTED_EJBROLES_CHECK_FUNCTION_FAILED: SAF 戻りコード (16 進数) : *hstring*。要求された関数 FASTAUTHCHECK が失敗し、ロール名 *string* およびクラス名 *string* について実行できませんでした。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された SAF 戻りコード。要求された関数 METHAUTHCHECK (RACROUTE) が失敗しました。SAF 戻りコードおよび報告された RACF 戻りコードを使用して、問題の原因を判別してください。一部の RACF 戻りコードには、関連付けられた RACF 理由コードがいくつかあり、これにより、問題をさらに特定することができます。SAF 戻りコードおよび報告された RACF 戻りコードと RACF 理由コードを使用して、問題の原因を判別してください。

ユーザーの処置: 技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

BBOU0716E MSG_BBOUENUS_SEC_EJBROLES_CHECK_RELEASE_PARAMETER_ERRO: SAF Return Code (hex) : *hstring* FASTAUTHCHECK Release parameter error for Role Name *string* and Class Name *string*
(MSG_BBOUENUS_SEC_EJBROLES_CHECK_RELEASE_PARAMETER_ERRO: SAF 戻りコード (16 進数) : *hstring*。ロール名 *string* およびクラス名 *string* について、FASTAUTHCHECK 解放パラメーター・エラーが発生しました。)

説明: セキュリティー・マネージャーから報告された RACF 理由コード。このエラーは、RACROUTE REQUEST=FASTAUTH マクロの実行形式で RELEASE キーワードの CHECK サブパラメーターが指定されたときに、このマクロのリスト形式が同じ RELEASE パラメーターでなかったことを示します。マクロの処理は終了します。

ユーザーの処置: 技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。参考資料: 「OS/390 Security Server 外部インターフェース (RACROUTE) マクロ解説書 (GC88-6547)」。

メッセージ -- 一般

| **WRAS0001I The following byte array of data was logged. (次のバイト列のデータがログに記録されました。)**

| **説明:** ありません。

| **ユーザーの処置:** ありません。

| **WRAS0002I The following exception was logged. (次の例外がログに記録されました。)**

| **説明:** ありません。

| **ユーザーの処置:** ありません。

第13章 エラー (マイナー) コード

この章では、WebSphere for z/OS のエラー (マイナー) コードについて説明します。

注: この章に記載されていないエラー (マイナー) コードの場合は、必ず弊社営業担当員に直接連絡してください。

C9C20001

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20002

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20003

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20004

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20005

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20006

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20007

説明: Component Broker シリーズはシグナル・ハンドラーからのエラーを再試行しようとしたが、現在のスレッドでは再試行は許可されませんでした。スレッドは終了しました。

ユーザーの処置: 直前に出されたメッセージを参照して、スレッドがシグナル・ハンドラーに入った原因を確認してください。

C9C20008

説明: Component Broker シリーズは、再試行不能シグナルをキャッチしたため、プロセスを終了しました。プロセスは終了しました。

ユーザーの処置: 直前に出されたメッセージを参照して、スレッドがシグナル・ハンドラーに入った原因を確認してください。

C9C20009

説明: Component Broker シリーズは、再試行不能シグナルをキャッチしたため、スレッドを終了しました。スレッドは終了しました。

ユーザーの処置: 直前に出されたメッセージを参

エラー (マイナー) コード

照して、スレッドがシグナル・ハンドラーに入った原因を確認してください。

C9C2000A

説明: Component Broker シリーズは、不正な代入を検出しました。CORBA::INTERNAL 例外がスローされます。

ユーザーの処置: この問題およびこれに付随する情報を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

C9C2000C

説明: ログ・ファイルのヘッダー・レコード (最初のレコード) の fseek 中にエラーが発生しました。ヘッダー・レコードが無効です。

ユーザーの処置: エラー・ログ・ユーティリティ・プログラムを実行して、エラー・ログ・データ・セットの初期化および問題の訂正を行ってください。問題が解消しない場合は、この問題およびこれに付随する情報を技術担当者または弊社営業担当員に連絡してサポートを要求してください。

C9C20011

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20014

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20015

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20016

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20017

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20018

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20019

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2001A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2001B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2001C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2001D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2001F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20020

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20401

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20402

説明: Component Broker シリーズは、指定された DLL をロードすることができませんでした。

ユーザーの処置: 指定した DLL が、このプロセスの実行パス (または STEPLIB) に含まれていることを確認してください。含まれていない場合は、実行パスに DLL を追加するか、BBOLANG 環境変数に別の言語を指定してください。

C9C20403

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20404

説明: Component Broker シリーズは、メッセージ・スケルトンを取得できませんでした。これは、直前に発生した障害が原因です。

ユーザーの処置: メッセージ DLL が、このプロセスの実行パス (または STEPLIB) に含まれていることを確認してください。含まれていない場合は、実行パスに DLL を追加するか、BBOLANG 環境変数に別の言語を指定してください。

C9C20405

説明: MsgRetrieve 関数をメッセージ DLL から取得できませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ DLL が、このプロセスの実行パス (または STEPLIB) に含まれていることを確認してください。含まれていない場合は、実行パスに DLL を追加するか、BBOLANG 環境変数に別の言語を指定してください。

C9C20406

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20407

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20408

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C20409

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2040A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2040B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2040C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2040D

説明: 無効な状態にあるときに、アダプター・コードが呼び出されました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2040E

説明: アダプター・コードは、無効な入力パラメーターを受け取りました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2040F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20410

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C0A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C0B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C0C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C0D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C0E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C0F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C10

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C11

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C12

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C13

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C14

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C15

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C16

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C17

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C18

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C19

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C1A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C1B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C1C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C20C1D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C1E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C1F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C20

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C21

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C23

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C24

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C25

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C26

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C27

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C28

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C29

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C2A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C2B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C2C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C2D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C2E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C2F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C30

説明: このエラーは、(特定の状況に応じて IOR で識別された) サーバーについて検出要求を発行したときに、現在の IOR の通信プロトコルに関する情報をすべて参照しても、サーバーへの接続を確立できなかったときに発生します。

ユーザーの処置: 次の 3 つの可能性が考えられます。ネットワーク・エラー (接続しようとしたサーバーがリモートであった)、セットアップ・エラー (ローカル・サーバーが起動していない)、または IOR が不正であった。不正な IOR (他の 2 項目よりもエラーの原因である可能性は低い) とは、たとえば、ネーミングから IOR を取得して、それをファイルなどに保管しておき、数週間後にその IOR を使用しようとした場合などに発生します。さらに、ネットワーク変更、または特

定の IOR 情報を陳腐化する状況が原因で発生する場合があります。

C9C20C31

説明: comm_inbound_request - 下位レベルの DCE サービス・コンテキストが検出されました。

ユーザーの処置: 現行の DCE サービス・コンテキストを使用するようにクライアントをアップグレードしてください。

C9C20C32

説明: comm_inbound_response - 下位レベルの DCE サービス・コンテキストが検出されました。

ユーザーの処置: 現行の DCE サービス・コンテキストを使用するようにクライアントをアップグレードしてください。

C9C20C33

説明: comm_merge_response - 下位レベルの DCE サービス・コンテキストが検出されました。

ユーザーの処置: 現行の DCE サービス・コンテキストを使用するようにクライアントをアップグレードしてください。

C9C20C35

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C37

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C20C38

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C39

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C3A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C3C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C3D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C41

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C42

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C43

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C44

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C45

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C46

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C47

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C48

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C49

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C4A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C4B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C4C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C4D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C4E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C4F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C50

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C51

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C52

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C53

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C54

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C55

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C56

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C57

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C20C58

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C59

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C5A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C5B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C5C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C5D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C5E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C5F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C60

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C61

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C62

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C63

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C64

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C67

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C68

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C69

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C6B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C6C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C6D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C6F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C70

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C71

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C72

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C74

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C75

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C76

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C77

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C78

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C20C7B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C7C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C7D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C7E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C7F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C80

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C81

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C82

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C83

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C84

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C85

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C87

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C88

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C89

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C8A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C8B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C8C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C8D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C8E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C8F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C90

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C91

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C92

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C93

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C94

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C95

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C96

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C97

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C20C98

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C99

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C9A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C9B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C9C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C9D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20C9F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CA0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CA1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CA2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CA3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CA4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CA5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CA6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CA7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CA8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CA9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CAA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CAB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CAC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CAD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CAE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CAF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CB0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CB1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CB2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CB3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CB4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C20CB5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CB6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CB7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CB8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CB9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CBA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CBB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CBC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CBD

説明: 要求がデーモンに送信され、オブジェクト・キーが特定の制御領域への直接参照を指定しました。しかし、一致する制御領域がアクティブになっていないため、要求はこの説明とともにリジェクトされました。

ユーザーの処置: 最も可能性の高い原因は、アプリケーションが制御領域への参照を保持している間に、参照される制御領域が使い果たされたということです。

C9C20CBE

説明: 要求がデーモンに送信され、オブジェクト・キーが間接参照を指定しました。これは、オブジェクトが存在する任意の制御領域をこの要求に使用できることを意味します。ただし、オブジェクトが存在する汎用サーバー名についてアクティブな制御領域は検出されませんでした。要求はこの説明とともにリジェクトされます。

ユーザーの処置: このオブジェクトの制御領域を開始します。

C9C20CBF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CC0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CC1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CC2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CC3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CC4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CC5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CC6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CC7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CC8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CC9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CCA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CCB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CCC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CCD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CCE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C20CCF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CD0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CD1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CD2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CD3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CD4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CD5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CD6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CD7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CD8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CD9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C20CDA

説明: 制御領域は、制御領域初期化プロセス中にデーモンへの登録を試行しました。しかし、デーモンを新規制御領域の登録に利用できませんでした。これは、STOP コマンドをデーモンに発行していたため、または登録要求が発行されたときにデーモンが終了中であったためであると考えられます。制御領域は終了します。

ユーザーの処置: デーモンが完了して再度起動されてから、制御領域の始動を再試行してください。

C9C21001

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21002

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21003

説明: CB/390 インストール・ブートストラップの再実行中に、クライアントが起動された状態でした (つまり、ORBCBI が指定されていた)。クライアントがサーバー上のオブジェクトに対して保持している参照には、再ブートストラップによって陳腐化された情報が含まれています。

ユーザーの処置: クライアントを再起動してください。

C9C21004

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21005

説明: CB/390 インストール・ブートストラップの再実行中に、クライアントが起動された状態でした (つまり、ORBCBI が指定されていた)。クライアントがサーバー上のオブジェクトに対して保持している参照には、再ブートストラップによって陳腐化された情報が含まれています。

ユーザーの処置: EUI に接続しようとしているシステムの DAEMON IP_NAME と一致する、システム IP アドレスのホスト・ファイルを調べてください。

C9C21006

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21007

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21008

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21009

説明: Component Broker の実行スレッドがユーザー例外をキャッチしました。このスローは無効です。ユーザー例外は、このエラー・コードとともにシステム例外によって示されます。

ユーザーの処置: この例外がアプリケーション・コードによってスローされた場合は、ユーザー例外を IDL に追加することにより、ユーザー例外がバインディングでキャッチされてクライアントに戻されるようにしてください。この例外がシステム・コードによってスローされた場合は、エラー・ログを調べて、この例外がスローされたときにユーザー例外が記録されているかを確認してください。ユーザー例外が記録されていない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C2100A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2100B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C2100C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2100D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2100E

説明: Component Broker 制御領域の実行スレッドが、不明なタイプの例外をキャッチしました。このスローは無効です。このエラー・コードを持つシステム例外が作成されず。

ユーザーの処置: この例外がアプリケーション・コードによってスローされた場合は、この例外をキャッチして処理できるようにアプリケーション・コードを変更するか、ユーザー例外を IDL に追加することにより、ユーザー例外がスローされ、これがバインディングでキャッチされてクライアントに戻されるようにしてください。この例外がシステム・コードによってスローされた場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C2100F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21010

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21011

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21012

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21013

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21014

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21015

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21016

説明: CORBA::BOA::change_implementation が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置:

CORBA::BOA::change_implementation を起動しないでください。

C9C21017

説明: CORBA::BOA::obj_is_ready が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::obj_is_ready を起動しないでください。

C9C21018

説明: CORBA::BOA::deactivate_obj が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::deactivate_obj を起動しないでください。

C9C21019

説明: CORBA::BOA::_get_implementation が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置:
CORBA::BOA::_get_implementation を起動しないでください。

C9C2101A

説明: CORBA::BOA::_get_interface が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::_get_interface を起動しないでください。

C9C2101B

説明: CORBA::BOA::_create_request が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::_create_request を起動しないでください。

C9C2101C

説明: CORBA::BOA::_request が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::_request を起動しないでください。

C9C2101D

説明: CORBA::BOA::_is_a が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::_is_a を起動しないでください。

C9C2101E

説明: CORBA::BOA::_non_existent が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::_non_existent を起動しないでください。

C9C2101F

説明: CORBA::BOA::_is_equivalent が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::_is_equivalent を起動しないでください。

C9C21020

説明: CORBA::BOA::_hash が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::_hash を起動しないでください。

C9C21021

説明: CORBA::BOA::_has_ancestor が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::_has_ancestor を起動しないでください。

C9C21022

説明: 再試行不能シグナルが検出されたため、制御領域スレッドが終了中です。

ユーザーの処置: 制御領域のダンプおよびログを弊社営業担当員に提供してください。

エラー (マイナー) コード

C9C21023

説明: 再試行不能シグナルが検出されたため、サーバー領域スレッドが終了中です。

ユーザーの処置: サーバー領域ダンプおよびログを調べて、アプリケーションに問題があるのか Component Broker に問題があるのかを判別してください。アプリケーション・エラーが原因でスレッドの終了が発生した場合は、問題を訂正してください。Component Broker のエラーの場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21024

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21025

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21026

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21027

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21028

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21029

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2102A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2102B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2102C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2102D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2102E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2102F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21030

説明: 作業を WLM のキューに入れようとしたが、失敗しました。

ユーザーの処置: D WLM,APPLENV=xxxxxx を発行して、WLM が STOPPED 状態にないことを確認してください。STOPPED 状態にあった場合は、STOPPED 状態の原因となった問題を修正した後で、V WLM,APPLENV=xxxxxx,RESUME を発行してください。

C9C21031

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21032

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21033

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21034

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21035

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21036

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21037

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21039

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2103A

説明: 作業を保留キューから WLM に入れようとしたが、失敗しました。

ユーザーの処置: D WLM,APPLENV=xxxxxx を発行して、WLM が STOPPED 状態にないことを確認してください。STOPPED 状態にあった場合は、STOPPED 状態の原因となった問題を修正した後で、V WLM,APPLENV=xxxxxx,RESUME を発行してください。

C9C2103B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2103C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C2103D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2103E

説明: Component Broker の実行スレッドがユーザー例外をキャッチしました。このスローは無効です。ユーザー例外は、このエラー・コードとともにシステム例外によって示されます。

ユーザーの処置: この例外がアプリケーション・コードによってスローされた場合は、ユーザー例外を IDL に追加することにより、ユーザー例外がバインディングでキャッチされてクライアントに戻されるようにしてください。この例外がシステム・コードによってスローされた場合は、エラー・ログを調べて、この例外がスローされたときにユーザー例外が記録されているかを確認してください。ユーザー例外が記録されていない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C2103F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21040

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21041

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21042

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21043

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21044

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21045

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21046

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21047

説明: 位置指定要求によって不明なオブジェクトが戻されました。

ユーザーの処置: このメッセージが表示された理由はいくつか考えられます。

1. 検索対象のオブジェクトが破壊された。
2. 構成が変更されたため、位置指定を試みたオブジェクトが構成内に存在しなくなった。

3. 要求の処理に適した別のサーバーに要求が転送された。要求の転送が過度に行われた場合、その要求は破棄されることがあります。
4. 位置指定メッセージの送信が、TCP/IP タイムアウトまたはその他の理由によって失敗した。位置指定メッセージの送信が失敗した場合は、COMM はエラーをログに記録する必要があります。

C9C21048

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21049

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2104A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2104B

説明: この例外では、メッセージ BBOU0092E が DLL の名前とともに戻されます。

ユーザーの処置: メッセージ BBOU0092E をエラー・ログで探し出し、ロードできなかった DLL の名前を判別してください。欠落している DLL を STEPLIB 連結に入れ、この DLL が検出されるようにしてください。

C9C2104C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2104D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2104E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2104F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21050

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21051

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21052

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21054

説明: オブジェクト参照子に対してオブジェクトを作成できませんでした。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

エラー (マイナー) コード

C9C21055

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21056

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21057

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21058

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21059

説明: オブジェクト参照子に対してオブジェクトを作成できませんでした。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C2105D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21064

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21065

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21066

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21067

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21068

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2106B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2106C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21071

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21072

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21073

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21074

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21075

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21076

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21077

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21078

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21079

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2107A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2107B

説明: getJavaEnv 外部関数が BBOLRT dll で検出されませんでした。

ユーザーの処置: STEPLIB,LNKLST を使用するか、またはランタイムを LPA (リンク・パック域) にロードすることによって、障害のあるアドレス・スペースから正しいバージョンの BBOLRT にアクセスできることを確認してください。

C9C2107C

説明: BBOLRT dll をロードできませんでした。

ユーザーの処置: STEPLIB,LNKLST を使用するか、またはランタイムを LPA (リンク・パック域) にロードすることによって、障害のあるアドレス・スペースが WAS/390 EE ランタイム DLL にアクセスできることを確認してください。

C9C21080

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21081

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C21082

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21083

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21087

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21089

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2108A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2108B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2108C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2108D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2108E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2108F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21090

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21091

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21092

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21093

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21094

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21095

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21096

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21097

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21098

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21099

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2109A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2109B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2109C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2109D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2109E

説明: サーバー領域が制御領域への登録を試行しましたが、サーバーが停止されています。

ユーザーの処置: サーバーが停止されていた場合は、処置は必要ありません。それ以外の場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C2109F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210A0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C210A1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210A2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210A3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210A4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210A5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210A6

説明: ディスパッチ・メソッドは操作が実行されなかったことを示すメッセージを戻しました。

ユーザーの処置: サーバーが、要求された操作をサポートする xxxxxxxs.cpp ファイルのバージョンを持つクラスの DLL で実行されていることを確認してください。

C9C210AA

説明: オブジェクト・キーの妥当性検査に失敗しました。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C210AB

説明: 初期サービスのリストを取得できません。

ユーザーの処置: エラー・ログを調べて他のメッセージがないか探してください。この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C210AC

説明: オブジェクト参照子に対してプロキシ・オブジェクトを作成できませんでした。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C210AD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210AE

説明: 入力オブジェクトが CORBA::Object ではありません。

ユーザーの処置: オブジェクトが CORBA::Object から継承されていることをチェックしてください。

C9C210AF

説明: オブジェクト・キーになんらかの問題があります。サーバーまたは制御領域の UUID が、オブジェクト・キーに示された通信のタイプと一致していない可能性があります。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C210B0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210B1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210B2

説明: build_IOR メソッドが IOR の作成に失敗しました。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C210B3

説明: get_SCO() が呼び出され、初期化が完了されませんでした。

ユーザーの処置: get_SCO メソッドを起動する前に BOA_init メソッドが呼び出されるようにしてください。

C9C210B4

説明: object_to_IOR メソッドが IOR の作成に失敗しました。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C210B5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210B6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210B7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210B8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210B9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210BA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210BB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210BC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C210BD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210BE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210BF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210C0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210C1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210C2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210C3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210C4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210C5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210C6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210C7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210C8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210C9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210CA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210CB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210CC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210CD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210CE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210CF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210D0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210D1

説明: オブジェクト参照子をマーシャルしてカプセル化するとき、オブジェクト参照子が NULL でした。

ユーザーの処置: このエラーを技術担当者または

弊社営業担当員に報告してください。

C9C210D2

説明: IOR をカプセル化バッファにマーシャルするときに、リトル・エンディアン・バイト配列が検出されました。S/390 はビッグ・エンディアン・バイト配列である必要があります。

ユーザーの処置: このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C210D3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210D4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210D5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210D6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210D9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C210DA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210DB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210DC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210DD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210DE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210DF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210E2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210E3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210E4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210E5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210E6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210E7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210E8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210E9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210EA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210EB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210ED

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210EF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210F0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210F1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210F2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210F3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210F4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210F5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210F6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210F7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210F8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210F9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C210FA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210FB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210FC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210FD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210FE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C210FF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21100

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21101

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21102

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21103

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21104

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21105

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21106

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21107

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21108

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21109

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2110A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2110B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2110C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2110D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2110E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2110F

説明: ORB_Request が WLM のキューに入れられましたが、処理が進行されません。

ORB_Request レジストリーのクリーンアップ・ルーチンである WLM Queue Snoozer によって例外がクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: WLM がターゲット・サーバー領域を確実に開始できるようにしてください (静止状態になっている可能性があります)。さらに、トランザクション・タイムアウト値が十分な長さであることを確認してください。環境変数 (OTS_DEFAULT_TIMEOUT および OTS_MAXIMUM_TIMEOUT) を介したトランザクション・タイムアウト・デフォルト値の設定については、「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の説明を参照してください。

C9C21110

説明: ORB_Request が WLM のキューに入れられましたが、処理が進行されません。

ORB_Request レジストリーのクリーンアップ・ルーチンである WLM Queue Snoozer によって例外がクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: WLM がターゲット・サーバー領域を確実に開始できるようにしてください (静止状態になっている可能性があります)。さらに、トランザクション・タイムアウト値が十分な長さであることを確認してください。環境変数 (OTS_DEFAULT_TIMEOUT および OTS_MAXIMUM_TIMEOUT) を介したトランザクション・タイムアウト・デフォルト値の設定については、「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の説明を参照してください。

C9C21111

説明: ORB_Request が WLM のキューに入れられましたが、進行していないか (グローバルまた

エラー (マイナー) コード

はハイブリッド・グローバル・トランザクション)、または OTS がまだ context_association (ハイブリッド・グローバル・トランザクション) を実行していません。ORB_Request レジストリーのクリーンアップ・ルーチンである WLM Queue Snoozer によって例外がクライアントに戻されません。

ユーザーの処置: WLM がターゲット・サーバー領域を確実に開始できるようにしてください (静止状態になっている可能性があります)。さらに、タイムアウト値が十分な長さであることを確認してください。環境変数 (OTS_DEFAULT_TIMEOUT および OTS_MAXIMUM_TIMEOUT) を介したトランザクション・タイムアウト・デフォルト値の設定については、「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の説明を参照してください。

C9C21112

説明: ORB_Request はタイムアウトになったトランザクション下にあります。ORB_Request レジストリーのクリーンアップ・ルーチンである Transaction Timed Out によって例外がクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: トランザクション・タイムアウト値が十分な長さであることを確認してください。環境変数 (OTS_DEFAULT_TIMEOUT および OTS_MAXIMUM_TIMEOUT) を介したトランザクション・タイムアウト・デフォルト値の設定については、「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の説明を参照してください。

C9C21113

説明: ORB_Request はタイムアウトになったトランザクション下にあります。ORB_Request レジストリーのクリーンアップ・ルーチンである Timed Out によって例外がクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: トランザクション・タイムアウト値が十分な長さであることを確認してください。環境変数 (OTS_DEFAULT_TIMEOUT および OTS_MAXIMUM_TIMEOUT) を介したトランザクション・タイムアウト・デフォルト値の設定については、「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の説明を参照してください。

C9C21114

説明: ORB_Request はタイムアウトになったトランザクション下にあります。ORB_Request レジストリーのクリーンアップ・ルーチンである Transaction Timed Out によって例外がクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: トランザクション・タイムアウト値が十分な長さであることを確認してください。環境変数 (OTS_DEFAULT_TIMEOUT および OTS_MAXIMUM_TIMEOUT) を介したトランザクション・タイムアウト・デフォルト値の設定については、「OS/390 Component Broker 計画およびインストール・ガイド」の説明を参照してください。

C9C21115

説明: サーバー領域で要求の処理中に不明なエラーが発生しました。このエラー・コードは、要求の処理が失敗したことを示すためにクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、障害が発生したサーバー領域でどのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。

C9C21116

説明: サーバー領域で要求の処理中に不明なエラーが発生しました。このエラー・コードは、要求の処理が失敗したことを示すためにクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、障害が発生したサーバー領域でどのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。

C9C21117

説明: サーバー領域で要求の処理中に不明なエラーが発生しました。このエラー・コードは、要求の処理が失敗したことを示すためにクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、障害が発生したサーバー領域でどのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。

C9C21118

説明: サーバー領域で要求の処理中に不明なエラーが発生しました。このエラー・コードは、要求の処理が失敗したことを示すためにクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、障害が発生したサーバー領域でどのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。

C9C21119

説明: サーバー領域で要求の処理中に不明なエラーが発生しました。このエラー・コードは、要求の処理が失敗したことを示すためにクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、障害が発生したサーバー領域でどのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。

C9C21120

説明: サーバー領域で要求の処理中に不明なエラーが発生しました。このエラー・コードは、要求

の処理が失敗したことを示すためにクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、障害が発生したサーバー領域でどのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。

C9C21121

説明: サーバー領域で要求の処理中に不明なエラーが発生しました。このエラー・コードは、要求の処理が失敗したことを示すためにクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、障害が発生したサーバー領域でどのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。

C9C21122

説明: サーバー領域で要求の処理中に不明なエラーが発生しました。このエラー・コードは、要求の処理が失敗したことを示すためにクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、障害が発生したサーバー領域でどのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。

C9C21123

説明: サーバー領域で要求の処理中に不明なエラーが発生しました。このエラー・コードは、要求の処理が失敗したことを示すためにクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、障害が発生したサーバー領域でどのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。

エラー (マイナー) コード

C9C21124

説明: サーバー領域で要求の処理中に不明なエラーが発生しました。このエラー・コードは、要求の処理が失敗したことを示すためにクライアントに戻されます。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、障害が発生したサーバー領域でどのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。

C9C21125

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21126

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21127

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21128

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21129

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2112A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2112B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2112C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2112D

説明: CORBA::BOA::get_principal が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::get_principal を起動しないでください。

C9C2112E

説明: DII とともに使用するために作成されたのではない CORBA::Request オブジェクトに対して DII メソッドが使用されました。

ユーザーの処置: このメソッドを使用しないでください。あるいは、CORBA::Request オブジェクトの作成方法を変更してください。

C9C2112F

説明: DSI メソッド params()、ctx()、result()、またはクラス ServerRequest の例外のいずれかが、誤った順序で呼び出されました。

ユーザーの処置: CORBA 2.0 で指定されたとおりの正しい順序でメソッドを呼び出してください。

い。また、同じメソッドを 2 回呼び出さないでください。

C9C21130

説明: CORBA::CBSeriesGlobal::hostName が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置:

CORBA::CBSeriesGlobal::hostName を起動しないでください。

C9C21131

説明: ローカル専用オブジェクトとして生成された MO バインディングが原因で、メソッドをディスパッチすることができません。

ユーザーの処置: MO バインディングをリモート可能オブジェクトとして再生成してください。

C9C21132

説明: CORBA::BOA::create が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::create を起動しないでください。

C9C21133

説明: CORBA::BOA::dispose が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::dispose を起動しないでください。

C9C21134

説明: CORBA::BOA::get_id が起動されましたが、これはサポートされていません。

ユーザーの処置: CORBA::BOA::get_id を起動しないでください。

C9C21135

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21136

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21137

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21138

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21139

説明:

CORBA::Object_ORBProxy::_get_implementation がサポートされていないクライアントから起動されました。

ユーザーの処置: クライアントから

CORBA::Object_ORBProxy::_get_implementation を起動しないでください。

C9C2113A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C2113B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2113C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2113D

説明: ORB::resolve_initial_references は、初期参照をどこから取得するか判別できなかったため、完了できませんでした。

ユーザーの処置: RESOLVE_IPNAME 環境変数は、初期参照が解決可能なシステム (つまり、Component Broker システム管理サーバーが実行されている S/390 システム) の TCP/IP 名を指定する必要があります。あるいは、Component Broker デーモンとシステム管理サーバーを resolve_initial_references が発行された同じシステム上で実行する必要があります。

C9C2113E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2113F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21140

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21141

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21142

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21143

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21145

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21146

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21147

説明: CORBA::Object_ORBProxy::_decref() がオブジェクトの参照数を減少させるために起動されましたが、参照数は 0 でした。

ユーザーの処置: アプリケーションを検査して、

CORBA::release が過度に発行されていないことを確認してください。内部オブジェクトの場合は、このエラーを弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21148

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21149

説明: デモンへの位置指定要求を駆動しようとしたときに COMM が失敗しました。

ユーザーの処置: エラー・ログを調べて COMM 障害エラー・メッセージがないか探してください。

C9C2114A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2114B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2114C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2114D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2114E

説明: ネーミング IOR はシステム管理シプレックス・オブジェクトに保管されていなかったため、BGVT に保管することはできません。

ユーザーの処置: ネーミング IOR はシステム管理ブートストラップのフェーズ 1 で生成されたため、この状況はシステム管理ブートストラップを実行する必要があることを示しています。

C9C2114F

説明: IR IOR はシステム管理シプレックス・オブジェクトに保管されていなかったため、BGVT に保管することはできません。

ユーザーの処置: IR IOR はシステム管理ブートストラップのフェーズ 1 で生成されたため、この状況はシステム管理ブートストラップを実行する必要があることを示しています。

C9C21150

説明: システム管理 SMO IOR は システム管理サーバー・オブジェクトに保管されていなかったため、BGVT に保管することはできません。

ユーザーの処置: SM SMO IOR はシステム管理ブートストラップのフェーズ 1 で生成されたため、この状況はシステム管理ブートストラップを実行する必要があることを示しています。

C9C21151

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21152

説明: TCP/IP listen を開始しようとして失敗しました。

ユーザーの処置: エラー・ログを調べて、どのよ

エラー (マイナー) コード

うなエラーが検出されたかを示す詳細情報を探してください。

C9C21153

説明: BBOOSCO:readMasterRecord が呼び出されましたが、マスター・レコードが存在しません。システム管理ブートストラップが駆動されていません。

ユーザーの処置: -ORBCBI パラメーターを指定してデーモンを再始動し、システム管理ブートストラップが駆動されるようにしてください。

C9C21154

説明: Component Broker システム管理マスター・レコードを更新しようとして、BBOOSCO:readMasterRecord がエラーを検出しました。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、どのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。原因としては、存在しないテーブルに対して更新が試行されたか、またはバインド・ジョブが Component Broker 用に実行されなかったことが考えられます。

C9C21155

説明: DB2 テーブルからサーバー構成情報を読み取ろうとして、BBOOSCO:initialize_SCOI_Server がエラーを検出しました。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、どのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。原因としては、アドレス・スペースが DB2 の使用許可を持っていない、または存在しないテーブルへの読み取りが試行された、あるいはバインド・ジョブが Component Broker 用に実行されなかったことが考えられます。

C9C21156

説明: BBOOSCO:initialize_SCOI_Server はシステム管理テーブルに定義されたサーバーを検出できませんでした。

ユーザーの処置: 例外トレース再試行をまだオンにしていない場合はオンにしてください。検出されなかったサーバー・レコードに関する追加情報がトレースされます。このエラーは、システム管理サーバーまたはデーモンでのみ発生します。推定原因としては、システム管理ブートストラップが失敗したか、または実行されていなかったことが考えられます。

C9C21157

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21158

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21159

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2115A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2115B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2115C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2115D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2115E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2115F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21160

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21161

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21162

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21163

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21164

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21165

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21166

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21167

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21168

説明: 要求シーケンスの索引が、シーケンスの長さと同じか、それ以上でした。

ユーザーの処置: 有効なシーケンス・エレメントへのアクセスのみを使用してください。

エラー (マイナー) コード

C9C21169

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2116A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2116B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2116C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2116D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2116E

説明: BBOOSCO:getSCO は、現在アクティブなレベルで、このシスプレックスのシステム管理テーブルに定義されたサーバーを検出できませんでした。

ユーザーの処置: 例外トレース再試行をまだオンにしている場合は、オンにしてください。検出されなかったサーバーに関する追加情報がトレースされます。原因としては、サーバーがシステム管理エンド・ユーザー・インターフェース (EUI) を使用して定義されていなかったか、サーバーが

システム管理 EUI を使用して定義されていた場合は、そのサーバーを含んでいる会話がまだシステム管理 EUI を使用して活動化されていないことが考えられます。

C9C2116F

説明: BBOOSCO:getSCO は、このサーバーの構成データをシステム管理制御領域から取得できませんでした。

ユーザーの処置: 例外トレースをまだオンにしている場合はオンにして、再試行してください。エラーのあるサーバーに関する追加情報がトレースされます。追加のトレース情報は、システム管理制御領域の例外トレース出力にもあります。原因としては、サーバーがシステム管理エンド・ユーザー・インターフェース (EUI) を使用して定義されていなかったか、サーバーがシステム管理 EUI を使用して定義されていた場合は、そのサーバーを含んでいる会話がまだシステム管理 EUI を使用して活動化されていないことが考えられます。そのほかの原因としては、サーバーがシステム管理制御領域にコールバックできなかったことが考えられます。サーバーが定義され、サーバーを含む会話が活動化された会話であることが EUI によって示されている場合は、問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C21170

説明: クラス・マネージャーが、サーバーによってサポートされるクラスのリスト内で指定されたクラスを検出できませんでした。このクラスを含むアプリケーションは、サーバーに適切に定義またはインストールされていない可能性があります。

ユーザーの処置: エラー・ログを調べて、エラーのあるクラスを判別してください。追加情報は、例外トレースがオンになったときのトレースにあります。原因としては、クラスがシステム管理エンド・ユーザー・インターフェース (EUI) を使用してインストールされていなかったか、クラスが

システム管理 EUI を使用してインストールされていた場合は、そのクラスを含んでいる会話がまだシステム管理 EUI を使用して活動化されていないことが考えられます。クラスがサポートされていることが EUI によって示されている場合は、問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C21171

説明:

CORBA::ImplRepository::find_impldef_by_alias がクライアントによって起動されました。

ユーザーの処置: クライアント・プログラムを変更して、

CORBA::ImplRepository::find_impldef_by_alias を起動しないようにしてください。

C9C21172

説明: CORBA::ImplRepository::find_impldef がクライアントによって起動されました。

ユーザーの処置: クライアント・プログラムを変更して、CORBA::ImplRepository::find_impldef を起動しないようにしてください。

C9C21173

説明:

CORBA::ImplRepository::find_impldef_by_alias が起動されましたが、CORBA::ImplementationDef オブジェクトに限定しようとしてエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 入力別名のサーバーが開始されるようにしてください。例外トレースがオンになっている場合は、入力別名がトレースされます。

C9C21174

説明:

CORBA::ImplRepository::find_impldef_by_alias が起動されましたが、オブジェクトを作成しようとしてエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 入力別名のサーバーが開始されていることを確認してください。例外トレースがオンになっている場合は、入力別名がトレースされます。

C9C21175

説明:

CORBA::ImplRepository::find_impldef_by_alias が起動されましたが、IOR を構築しようとしてエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 入力別名のサーバーが開始されるようにしてください。例外トレースがオンになっている場合は、入力別名がトレースされます。

C9C21176

説明: CORBA::ImplRepository::find_impldef が起動されましたが、暗黙入力の implementationDef を検索しようとしてエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 暗黙入力のサーバーが開始されていることを確認してください。例外トレースがオンになっている場合は、暗黙入力にトレースされます。**説明:** デーモンが開始されましたが、デーモンの IP 名が環境変数に指定されていませんでした。これはデーモンの初期化時に必要です。**推奨アクション:** DAEMON_IPNAME 環境変数が有効な値に設定されていることを確認して、デーモンを再始動してください。環境変数は、BBOENV DD でデーモン proc によって示された環境変数ファイルに指定できます。

C9C21178

説明: このサーバーが初期化を開始したときに Component Broker シリーズ・デーモンはアクティブでしたが、初期化の完了時にはすでに存在していませんでした。Component Broker シリーズ・サーバーはデーモンがシステムにないと存在できないため、このサーバーは終了しなければなりません。

ユーザーの処置: デーモンに障害が起こった理由

エラー (マイナー) コード

を判別して、必要に応じてデーモンおよびその他のサーバーを再始動してください。

C9C21179

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2117A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2117B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2117C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2117D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2117E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2117F

説明: このサーバーが初期化を開始したときに Component Broker シリーズ・デーモンはアクティブでしたが、初期化の完了時にはすでに存在していませんでした。Component Broker シリーズ・サーバーはデーモンがシステムにないと存在できないため、このサーバーは終了しなければなりません。

ユーザーの処置: デーモンに障害が起こった理由を判別して、必要に応じてデーモンおよびその他のサーバーを再始動してください。

C9C21180

説明: このサーバーが初期化を開始したときに Component Broker シリーズ・デーモンはアクティブでしたが、初期化の完了時にはすでに存在していませんでした。Component Broker シリーズ・サーバーはデーモンがシステムにないと存在できないため、このサーバーは終了しなければなりません。

ユーザーの処置: デーモンに障害が起こった理由を判別して、必要に応じてデーモンおよびその他のサーバーを再始動してください。

C9C21181

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21182

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21183

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21184

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21185

説明: Component Broker シリーズの制御領域を開始する試みがなされましたが、同じ特定のサーバー名を持つ別の制御領域も開始中でした。ある特定のサーバー名を持つ Component Broker シリーズ制御領域は、1 度に 1 つのみアクティブにすることができます。この制御領域はエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 同じ特定のサーバー名を持つ 2 つの Component Broker 制御領域を開始しようとしないでください。

C9C21186

説明: Component Broker シリーズの制御領域を開始する試みがなされましたが、同じ特定のサーバー名を持つ別の制御領域がアクティブでした。ある特定のサーバー名を持つ Component Broker シリーズ制御領域は、1 度に 1 つのみアクティブにすることができます。この制御領域はエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 同じ特定のサーバー名を持つ 2 つの Component Broker 制御領域を開始しようとしないでください。

C9C21187

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21188

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21189

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2118A

説明: Component Broker シリーズ制御領域は、同じシステム上にアクティブな Component Broker システム管理サーバーがないと開始できません。開始しようとしたサーバーは、このシステム上のシステム管理サーバーを見つけることができなかつたため、エラーになり終了します。

ユーザーの処置: 他の Component Broker シリーズ・サーバーを開始する前に、このシステム上の Component Broker システム管理サーバーを開始してください。

C9C2118B

説明: Component Broker シリーズ制御領域は、同じシステム上にアクティブな Component Broker システム管理サーバーがないと開始できません。開始しようとしたサーバーは、このシステム上のシステム管理サーバーを見つけることができなかつたため、エラーになり終了します。

ユーザーの処置: 他の Component Broker シリーズ・サーバーを開始する前に、このシステム上の

エラー (マイナー) コード

Component Broker システム管理サーバーを開始してください。

C9C2118C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2118D

説明: サーバー領域を開始できるようにするには、その前にサーバー領域が関連付けられている制御領域を初期化する必要があります。このサーバー領域は自身が所有する制御領域を検出できなかったため、終了します。

ユーザーの処置: このサーバー領域の所有する制御領域がアクティブであることを確認してから、サーバー領域を開始してください。

C9C2118E

説明: Component Broker シリーズの制御領域を開始する試みがなされましたが、同じ特定のサーバー名を持つ別の制御領域がアクティブでした。ある特定のサーバー名を持つ Component Broker シリーズ制御領域は、1 度に 1 つのみアクティブにすることができます。この制御領域はエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 同じ特定のサーバー名を持つ 2 つの Component Broker 制御領域を開始しようとしないでください。

C9C2118F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21190

説明: ネーミング・サーバーの開始を待機しているときにタイムアウトになりました。ネーミン

グ・サーバーがないと続行できないため、例外がスローされます。

ユーザーの処置: タイムアウトになる前にネーミング・サーバーが開始されなかった理由を判別してから、問題を修正して再試行してください。

C9C21191

説明: IR サーバーの開始を待機しているときにタイムアウトになりました。IR サーバーがないと続行できないため、例外がスローされます。

ユーザーの処置: タイムアウトになる前に IR サーバーが開始されなかった理由を判別してから、問題を修正して再試行してください。

C9C21192

説明: システム管理サーバーの開始を待機しているときにタイムアウトになりました。システム管理サーバーがないと続行できないため、例外がスローされます。

ユーザーの処置: タイムアウトになる前にシステム管理サーバーが開始されなかった理由を判別してから、問題を修正して再試行してください。

C9C21193

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21194

説明: ORB_Request::setSystemException が認識できないシステム例外で起動されました。認識できないシステム例外がトレースされ、このマイナー・コードを持つ CORBA::UNKNOWN システム例外が ORB_Request に入れられてクライアントに戻されました。

ユーザーの処置: 認識できないシステム例外の発信元を判別してください。この情報を使用して、障害の原因を判別してください。

C9C21195

説明: ORB_Request::getSystemExceptionId が認識できないシステム例外を検出しました。認識できないシステム例外がトレースされ、このマイナー・コードを持つ CORBA::UNKNOWN システム例外が ORB_Request に入れられてクライアントに戻されました。

ユーザーの処置: 認識できないシステム例外の発信元を判別してください。この情報を使用して、障害の原因を判別してください。

C9C21196

説明: Component Broker サーバー領域実行スレッドが ... をキャッチしました。これは誤ったスローです。このエラー・コードを持つシステム例外が作成され、戻されます。

ユーザーの処置: アプリケーション・コードがシステム例外またはユーザー例外以外のものをスローしている場合は、アプリケーション・コードを変更して、メソッドの発生を示しているシステム例外またはユーザー例外をスローするようにしてください。アプリケーション・コードではない場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C21197

説明: DAEMON_IPNAME 環境変数が IP アドレスに設定されています。この環境変数は IP 名、ホスト n 名に設定する必要があります。

ユーザーの処置: DAEMON_IPNAME 環境変数を訂正して、システム管理ブートストラップを再度実行してください。

C9C21198

説明: コンバーターを開くことができません。

ユーザーの処置: コード・セットに互換性がない可能性があります。

C9C21199

説明: コンバーターを開くことができません。

ユーザーの処置: コード・セットに互換性がない可能性があります。

C9C2119A

説明: 変換エラー

ユーザーの処置: コード・セットに互換性がない可能性があります。

C9C2119B

説明: 変換エラー

ユーザーの処置: コード・セットに互換性がない可能性があります。

C9C2119C

説明: データ長の誤り

ユーザーの処置: 入力データの長さが正しいことを確認してください。

C9C2119D

説明: 入力コード・セットがレジストリーにありません。

ユーザーの処置: コード・セットがサポートされているかどうかを確認してください。

C9C2119E

説明: 入力コード・セットがレジストリーにありません。

ユーザーの処置: コード・セットがサポートされているかどうかを確認してください。

C9C2119F

説明: 入力コード・セットがレジストリーにありません。

エラー (マイナー) コード

ユーザーの処置: コード・セットがサポートされているかどうかを確認してください。

C9C211A0

説明: 入力コード・セットがレジストリーにありません。

ユーザーの処置: コード・セットがサポートされているかどうかを確認してください。

C9C211A1

説明: 入力コード・セットがレジストリーにありません。

ユーザーの処置: コード・セットがサポートされているかどうかを確認してください。

C9C211A2

説明: 入力コード・セットがレジストリーにありません。

ユーザーの処置: コード・セットがサポートされているかどうかを確認してください。

C9C211A3

説明: 入力コード・セットがレジストリーにありません。

ユーザーの処置: コード・セットがサポートされているかどうかを確認してください。

C9C211A4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211A5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211A6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211A7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211A8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211A9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211AA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211AB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211AC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211AD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211AE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211AF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211B0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211B1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211B2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211B3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211B4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211B5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211B6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211B7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211B8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211B9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211BA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C211BB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211BC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211BD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211BE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211BF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211C0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211C1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211C2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211C3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211C4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211C5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211C6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211C7

説明: デーモンへの位置指定要求を駆動しようとしたときに COMM が失敗しました。

ユーザーの処置: エラー・ログを調べて COMM 障害エラー・メッセージがないか探してください。

C9C211C8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211C9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211CA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211CB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211CC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211CE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211CF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211D0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211D1

説明: コンバーターを開くことができません。

ユーザーの処置: コード・セットに互換性がない可能性があります。

C9C211D2

説明: コンバーターを開くことができません。

ユーザーの処置: コード・セットに互換性がない可能性があります。

C9C211D3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211D4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211D5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211D6

説明: `rebuild_proxy` にプロキシ・オブジェクトを作成できませんでした。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

エラー (マイナー) コード

C9C211D7

説明: Component Broker システム管理マスター・レコードを読み取ろうとして BBOOSCO:readMasterRecord がエラーを検出しました。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、どのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。原因としては、存在しないテーブルに対して更新が試行されたか、またはバインド・ジョブが Component Broker 用に実行されなかったことが考えられます。

C9C211D8

説明: CORBA::Context::delete_values が起動されましたが、入力プロパティ名をコンテキスト・オブジェクトで見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: アプリケーション・コードによって検出された場合は、アプリケーション・エラーがないかを調べてください。システム・コードによって検出された場合は、このエラーを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C211D9

説明: Component Broker デーモンがアクティブでないことが検出されたため、制御領域での処理が停止されました。

ユーザーの処置: Component Broker デーモンは Component Broker サーバーに対してアクティブである必要があります。すべての Component Broker サーバーは、デーモンが終了すると終了します。この異常終了は、デーモンの終了時にサーバーが作業を処理していた場合に発生することがあります。準備ができたならデーモンを再始動してください。

C9C211DA

説明: Component Broker デーモンがアクティブでないことが検出されたため、制御領域での処理が停止されました。

ユーザーの処置: Component Broker デーモンは Component Broker サーバーに対してアクティブである必要があります。すべての Component Broker サーバーは、デーモンが終了すると終了します。この異常終了は、デーモンの終了時にサーバーが作業を処理していた場合に発生することがあります。準備ができたならデーモンを再始動してください。

C9C211DB

説明: ORB_init および BOA_init の実行前に resolve_initial_references が呼び出されました。

ユーザーの処置: resolve_initial_references を呼び出す前に、CBSeriesGlobal::Initialize() への呼び出しか、またはその他のメソッドによって ORB と BOA がいずれも初期化されていることを確認してください。

C9C211DC

説明: ORB_init および BOA_init の実行前に resolve_initial_references_remote が呼び出されました。

ユーザーの処置: resolve_initial_references_remote を呼び出す前に、CBSeriesGlobal::Initialize() への呼び出しか、またはその他のメソッドによって ORB と BOA がいずれも初期化されていることを確認してください。

C9C211DD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211DE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211DF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211E0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211E1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211E2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211E3

説明: encode_objref で、ptable 内の pfactory の検索後に pfactory が NULL でした。

ユーザーの処置: pfactory は、特定のクラス名のテーブル・エントリーを ptable 内で検索します。システム・エラー・メッセージを調べて、どのクラス名が ptable 内で「検索」されたかを判別してください。

C9C211E4

説明: encode_objref で、要求の最中に local_only オブジェクトのマーシャルが試行されました。この場合、local_only とは完全なクライアント専用プロセスにあるローカル・オブジェクトを意味します。

ユーザーの処置: 要求の進行中は local_only オブジェクトをマーシャルしないでください。

C9C211E5

説明: Component Broker システム管理マスター・レコードを更新しようとして、BBOOSCO:readMasterRecord がエラーを検出しました。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、どのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。原因としては、アドレス・スペースに DB2 の使用許可がないことが考えられます。

C9C211E6

説明: Component Broker システム管理マスター・レコードを読み取ろうとして BBOOSCO:readMasterRecord がエラーを検出しました。

ユーザーの処置: Component Broker シリーズのエラー・ログを調べて、どのようなエラーが検出されたかを示す情報を探してください。原因としては、アドレス・スペースに DB2 の使用許可がないことが考えられます。

C9C211E7

説明: ORB_init の ORBid キーワードに BOSS の値を指定する必要があります。

ユーザーの処置: ORBid キーワードの値として BOSS の値を提供してください。

エラー (マイナー) コード

C9C211E8

説明: ORBid キーワードは ORB_init で値を指定する必要があります。

ユーザーの処置: ORBid BOSS を指定してください。

C9C211E9

説明: ORB_init の ORBSrvname キーワードに値を指定する必要があります。

ユーザーの処置: ORBSrvname に有効なサーバー名を指定してください。

C9C211EA

説明: ORB_init の ORBType キーワードに有効な値を指定する必要があります。

ユーザーの処置: ORBType に有効な値を指定してください。

C9C211EB

説明: 必要なプロダクト・ロード・モジュールをロードしようとして Component Broker サーバーの初期化に失敗しました。検出できなかったモジュール名に関して付随するメッセージがないか調べてください。

ユーザーの処置: 検出できなかったモジュールとその理由を判別し、問題を訂正してサーバーを再始動してください。

C9C211EC

説明: Component Broker シリーズが機能するためには RRS が必要です。Component Broker サーバーの初期化中に、RRS を検出できませんでした。サーバーは終了します。

ユーザーの処置: RRS が起動および初期化されていることを確認してください。

C9C211ED

説明: ORB_init の ORBCBI キーワードに指定された値が COLD、WARM、または HOT のいずれかではありません。

ユーザーの処置: 有効な値を指定してください。

C9C211EE

説明: ORB_init の ORBCBI キーワードに有効な値を指定する必要があります。

ユーザーの処置: COLD、WARM、または HOT を値として指定します。例: START BBODMN,BOOT=-ORBCBI COLD' (ここで BBODMN はデーモン proc 名です)。

C9C211F0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211F1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211F2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211F3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211F4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211F5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211F6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211F7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211F8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211F9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211FA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211FB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211FC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211FD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211FE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C211FF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21200

説明: この例外では、メッセージ BBOU0092E が DLL の名前とともに戻されます。

ユーザーの処置: メッセージ BBOU0092E をエラー・ログで探し出し、ロードできなかった DLL の名前を判別してください。欠落している DLL を STEPLIB 連結に入れ、この DLL が検出されるようにしてください。

エラー (マイナー) コード

C9C21201

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21202

説明: CBSeriesGlobal::hostName が Component Broker サーバー・スペースから呼び出されました。この環境では、戻された hostName はこのシステム上のデーモンに指定された DAEMON_IPNAME 環境変数になります。ただし、このシステムではデーモンがアクティブでない (おそらく終了中である) と考えられます。

ユーザーの処置: このエラーが発生したときにデーモンが終了中であるかダウンしていた場合は、この結果は予測どおりであるため処置は必要ありません。

C9C21203

説明: システム管理サーバーが SMF (システム管理機能) データ収集のために要求されたデータ・スペースを作成しましたが、ALESERV が失敗しました。データ収集は実行されません。

ユーザーの処置: エラー・ログでメッセージ BBOU0042E を見つけて ALESERV 戻りコードを取得してください。問題が解決されない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21204

説明: システム管理サーバーが要求されたデータ・スペースを作成しようとしたが、DSPSERV が失敗しました。データ収集は実行されません。

ユーザーの処置: エラー・ログでメッセージ BBOU0042E を見つけて DSPSERV 戻りコードおよび理由コードを取得してください。問題が解決

されない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21205

説明: システム管理サーバーが SMF (システム管理機能) データ収集のために要求されたデータ・スペースを作成しましたが、このサーバーが ALESERV を試行したときに ALESERV が失敗しました。データ収集は実行されません。

ユーザーの処置: エラー・ログでメッセージ BBOU0042E を見つけて ALESERV 戻りコードを取得してください。問題が解決されない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21206

説明: MVS STOP コンソール・コマンドまたはシステム管理 EUI STOP コマンドがこのサーバーに対してすでに発行されています。後続のコマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 現行の停止処理が完了するのを待つか、または EUI Cancel コマンドまたは MVS コンソールの Modify Cancel コマンドを使用してください。

C9C21207

説明: MVS Modify Cancel コンソール・コマンドまたはシステム管理 EUI CANCEL コマンドがこのサーバーに対してすでに発行されています。後続のコマンドは無視されます。

ユーザーの処置: 現行の取り消し処理が完了するまで待機してください。

C9C21208

説明: 制御領域に対してサーバー名が指定されていません。

ユーザーの処置: 制御領域の開始に使用された制御領域プロシージャーまたはパラメーターを調べ

て、適切なサーバー名を指定するよう訂正してください。

C9C21209

説明: 制御領域メインルーチンによってユーザー例外がキャッチされました。

ユーザーの処置: エラー・ログを調べて、スローされた例外に関連する情報を探し、例外によって示された処置を実行してください。

C9C2120A

説明: サーバー領域に対してサーバー名が指定されていません。

ユーザーの処置: サーバー領域の開始に使用されたサーバー領域プロシージャーまたはパラメーターを調べて、適切なサーバー名を指定するよう訂正してください。

C9C2120B

説明: サーバー領域メインルーチンによってユーザー例外がキャッチされました。

ユーザーの処置: エラー・ログを調べて、スローされた例外に関連する情報を探し、例外によって示された処置を実行してください。

C9C2120C

説明: 内部エラーが原因でサーバー領域が終了中です。

ユーザーの処置: Component Broker のエラー・ログを調べて、サーバー領域の終了を引き起こした可能性のある、以前のエラーに関する情報を探してください。

C9C2120D

説明: Component Broker シリーズのデーモン領域および制御領域の実行には許可が必要です。しかし、許可なしで実行されていることがスペース

で検出されました。スペースはエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 最も可能性の高い推定原因は、APF リストにない proc の Steplib 内のデータ・セットが考えられます。

C9C2120E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2120F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21210

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21211

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21212

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21213

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C21214

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21215

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21216

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21217

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21218

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21219

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2121A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2121B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2121C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2121D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2121E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2121F

説明: BBOOSCO:readSysplex が呼び出されましたがシスプレックスがシステム管理データベースに存在していません。システム管理ブートストラップが実行されていません。

ユーザーの処置: -ORBCBI パラメーターを指定してデーモンを再始動し、システム管理ブートストラップが実行されるようにしてください。

C9C21220

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21221

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21222

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21223

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21224

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21225

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21226

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21227

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21228

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21229

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2122A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2122B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2122C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2122D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2122E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C2122F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21230

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21231

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21232

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21233

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21234

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21235

説明: MODIFY server-instance,CANCEL によって、サーバー・インスタンスは終了中です。

ユーザーの処置: サーバー・インスタンスを取り消す理由が解決されたら、サーバー・インスタンス

スを再始動してください。

C9C21236

説明: MODIFY

server-instance,CANCEL,ARMRESTART によって、サーバー・インスタンスは終了中です。

ユーザーの処置: ありません。

C9C21237

説明: アウトバウンド要求によって戻されたメッセージが大き過ぎます。

ユーザーの処置: 小さいメッセージを送信してみてください。

C9C21238

説明: 片方向送信または送信据え置き要求によって戻されたメッセージが大き過ぎます。

ユーザーの処置: 小さいメッセージを送信してみてください。

C9C21239

説明: アウトバウンド要求 (コールバック) によって戻されたメッセージが大き過ぎます。

ユーザーの処置: 小さいメッセージを送信してみてください。

C9C2123A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2123B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2123C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2123E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2123F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21401

説明: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに `getHome` メソッドがインプリメントされていません。

ユーザーの処置: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに対して `getHome` を発行しないでください。注: これは、実際に反復サポートが使用可能になった場合は除去してください。

C9C21402

説明: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに `getPrimaryKeyString` がインプリメントされていません。

ユーザーの処置: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに対して `getPrimaryKeyString` を発行しないでください。注: これは、実際に反復サポートが使用可能になった場合は除去してください。

C9C21403

説明: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに `getHandleString` がインプリメントされていません。

ユーザーの処置: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに対して `getHandleString` を発行しないでください。注: これは、実際に反復サポートが使用可能になった場合は除去してください。

C9C21404

説明: `IManagedLocal::INonManageable` に `externalize_to_stream` がインプリメントされていません。

ユーザーの処置: `externalize_to_stream` はオーバーライドされ、このクラスから継承したアプリケーション・クラスによってインプリメントされる必要があります。

C9C21405

説明: `IManagedLocal::INonManageable` に `internalize_from_stream` がインプリメントされていません。

ユーザーの処置: `internalize_from_stream` は変更され、このクラスから継承したアプリケーション・クラスによってインプリメントされる必要があります。

C9C21407

説明: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに `nextN` がインプリメントされていません。

ユーザーの処置: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに対して `nextN` を発行しないでください。注: これは、実際に反復サポートが使用可能になった場合は除去してください。

エラー (マイナー) コード

C9C21408

説明: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに `setMixin` がインプリメントされていません。

ユーザーの処置: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに対して `setMixin` を発行しないでください。注: これは、実際に反復サポートが使用可能になった場合は除去してください。

C9C21409

説明: コンテキストにトランザクションを割り当てようとしたが、コンテキストは別のトランザクションに割り当てられました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2140A

説明: コンテキストからトランザクションを割り当て解除しようとしたが、コンテキストはトランザクションに割り当てられていません。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2140B

説明: `Terminate Identify` の実行後もコンテキストが割り当てられたままです。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2140C

説明: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに `uninitForPassivation` がインプリメントされていません。

ユーザーの処置: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに対して `uninitForPassivation` を発行しないでください。注: これは、実際に反復サポートが使用可能になった場合は除去してください。

C9C2140D

説明: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに `initForReactivation` がインプリメントされていません。

ユーザーの処置: ビジネス・オブジェクト・イテレーターに対して `initForReactivation` を発行しないでください。注: これは、実際に反復サポートが使用可能になった場合は除去してください。

C9C2140E

説明: メソッドにクラス・インプリメンテーションが存在していません。

ユーザーの処置: 当該メソッドのコーディングが正しいこと、およびサポートされていることを検証してください。サポートされていないメソッドを起動しないでください。サポートされているメソッドの場合は、インスタンス・マネージャー詳細トレースをメソッド・フローの取り込みに使用することができます。

C9C2140F

説明: `Root` ホームのデフォルト・コンストラクターが起動されました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。注: これは、`RAS_MinorCode_IM_Fork_In_head` のために除去する必要があります。

C9C21410

説明: インスタンス・マネージャーはデータ・オブジェクト・インスタンスを作成できません。

ユーザーの処置: ホーム構成情報が正しいかどうかを検証してください。クラス・マネージャーの `createObject` フローをトレースするために、ORB 詳細トレースもオンになる場合があります。これは、DLL が適切にロードされているかどうか、インスタンス作成のために正しいファクトリー関数

が呼び出されているかを判断する上で役立ちます。

C9C21411

説明: インスタンス・マネージャーはデータ・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: データ・オブジェクトの継承が正しいかどうかを検証してください。

C9C21412

説明: インスタンス・マネージャーは混合オブジェクト・インスタンスを作成できません。

ユーザーの処置: ホーム構成情報が正しいかどうかを検証してください。クラス・マネージャーの createObject フローをトレースするために、ORB 詳細トレースもオンになる場合があります。これは、DLL が適切にロードされているかどうか、インスタンス作成のために正しいファクトリー関数が呼び出されているかを判断する上で役立ちます。

C9C21413

説明: インスタンス・マネージャーは混合オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: 混合オブジェクトの継承が正しいかどうかを検証してください。

C9C21414

説明: インスタンス・マネージャーはマネージド・オブジェクト・インスタンスを作成できません。

ユーザーの処置: ホーム構成情報が正しいかどうかを検証してください。クラス・マネージャーの createObject フローをトレースするために、ORB 詳細トレースもオンになる場合があります。これは、DLL が適切にロードされているかどうか、インスタンス作成のために正しいファクトリー関数

が呼び出されているかを判断する上で役立ちます。

C9C21415

説明: インスタンス・マネージャーはマネージド・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: マネージド・オブジェクトの継承が正しいかどうかを検証してください。

C9C21416

説明: インスタンス・マネージャーは srcrcmit を実行できません。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21417

説明: 無効な状態にあるときに、インスタンス・マネージャーが起動されました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21418

説明: インスタンス・マネージャーは無効な状態を検出しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21419

説明: インスタンス・マネージャーは基本キー・インスタンスを作成できません。

ユーザーの処置: ホーム構成情報が正しいかどうかを検証してください。クラス・マネージャーの createObject フローをトレースするために、ORB 詳細トレースもオンになる場合があります。これは、DLL が適切にロードされているかどうか、インスタンス作成のために正しいファクトリー関数

エラー (マイナー) コード

が呼び出されているかを判断する上で役立ちます。

C9C2141A

説明: インスタンス・マネージャーは基本キー・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: 基本キー・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C2141B

説明: インスタンス・マネージャーはコピー・ヘルパー・インスタンスを作成できません。

ユーザーの処置: ホーム構成情報が正しいかどうかを検証してください。クラス・マネージャーの createObject フローをトレースするために、ORB 詳細トレースもオンになる場合があります。これは、DLL が適切にロードされているかどうか、インスタンス作成のために正しいファクトリー関数が呼び出されているかを判断する上で役立ちます。

C9C2141C

説明: インスタンス・マネージャーはコピー・ヘルパー・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: コピー・ヘルパー・オブジェクトの継承が正しいかどうかを検証してください。

C9C2141D

説明: IKeyStreamFactory オブジェクトにデフォルト・コンストラクターがインプリメントされていません。

ユーザーの処置: IKeyStreamFactory オブジェクトに対してデフォルト・コンストラクターを発行しないでください。

C9C2141E

説明: ファクトリーはサーバーの存続期間中は起動している必要があるため、IKeyStreamFactory オブジェクトにはデストラクターがインプリメントされていません。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2141F

説明: IM_GTIDFactory オブジェクトにデフォルト・コンストラクターがインプリメントされていません。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21420

説明: ファクトリーはサーバーの存続期間中は起動している必要があるため、IM_GTIDFactory オブジェクトにはデストラクターがインプリメントされていません。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21422

説明: インスタンス・マネージャーはリソース・マネージャーに限定することができません。

ユーザーの処置: リソース・マネージャー・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C21423

説明: インスタンス・マネージャーは、無効な入力パラメーターを受け取りました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21424

説明: インスタンス・マネージャーは、無効な入力パラメーターを受け取りました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。注: これは、実際に参照コレクション・サポートが使用可能になった場合は除去してください。

C9C21425

説明: インスタンス・マネージャーは、無効な入力パラメーターを受け取りました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。注: これは、実際に参照コレクション・サポートが使用可能になった場合は除去してください。

C9C21426

説明: インスタンス・マネージャーはイテレーター・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: IM 構成テーブルでイテレーターが適切に構成されていることを検証してください。注: これは、実際に反復機能が使用可能になった場合は除去してください。

C9C21427

説明: インスタンス・マネージャーはカーソル・インスタンスを作成できません。

ユーザーの処置: ホーム構成情報が正しいかどうかを検証してください。クラス・マネージャーの createObject フローをトレースするために、ORB 詳細トレースもオンになる場合があります。これは、DLL が適切にロードされているかどうか、インスタンス作成のために正しいファクトリー関数が呼び出されているかを判断する上で役立ちます。

C9C21428

説明: インスタンス・マネージャーはカーソル・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: カーソル・オブジェクトの継承が正しいかどうかを検証してください。

C9C21429

説明: インスタンス・マネージャーは、内部処理またはユーザー例外の代行受信によって無効なキーを検出しました。

ユーザーの処置: 追加のロギング情報がないかログを調べ、無効なキーが検出された理由を判別してください。

C9C2142A

説明: インスタンス・マネージャーは、「完了前」処理中にユーザー例外を検出しました。

ユーザーの処置: 追加のロギング情報がないかログを調べ、ユーザー例外が検出された理由を判別してください。

C9C2142B

説明: インスタンス・マネージャーは、「完了後」処理中にユーザー例外を検出しました。

ユーザーの処置: 追加のロギング情報がないかログを調べ、ユーザー例外が検出された理由を判別してください。

C9C2142C

説明: インスタンス・マネージャーはデータ・アクセス拒否例外を検出しました。

ユーザーの処置: 適切な権限を取得して再試行してください。

エラー (マイナー) コード

C9C2142D

説明: インスタンス・マネージャーは、データ・オブジェクトからのデータ・オブジェクト障害例外を検出しました。

ユーザーの処置: データ・オブジェクトが例外をスローした理由を判別してください。トレース・レベル 1 がアクティブであった場合、問題判別に役立つ追加の診断情報がトレースされています。トレース・レベル 0 が使用されていた場合、追加の診断情報が Component Broker エラー・ログに記録されています。

C9C2142E

説明: インスタンス・マネージャーは、readKeyComponent 要求が keystore の長さを超えることを判別しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2142F

説明: インスタンス・マネージャーは、アプリケーション提供メソッドの 1 つを使用中にエラーを検出しました。アプリケーション提供メソッドとは、Component Broker シリーズ・フレームワークが自身のオブジェクトを活動化したり非活性化したりするためにオブジェクト・プロバイダーからの提供を必要とするメソッドです。たとえば、retrieveFromDataStore、internalizeResourceMgrHelper、および initForCreation などがあります。

ユーザーの処置: 追加の診断情報を提供するこのエラーに関連したメッセージが、Component Broker エラー・ログに記録されています。メッセージには同じタイム・スタンプ、ファイル、およびライン・オフセットが含まれています。メッセージのプログラマー応答に従ってください。

C9C21430

説明: インスタンス・マネージャーはマネージド・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: マネージド・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C21431

説明: インスタンス・マネージャーはマネージド・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: マネージド・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C21432

説明: インスタンス・マネージャーはマネージド・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: マネージド・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C21433

説明: インスタンス・マネージャーはマネージド・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: マネージド・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C21434

説明: インスタンス・マネージャーはマネージド・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: マネージド・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C21435

説明: インスタンス・マネージャーはデータ・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: データ・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C21436

説明: インスタンス・マネージャーはデータ・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: データ・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C21437

説明: インスタンス・マネージャーはデータ・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: データ・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C21438

説明: インスタンス・マネージャーはデータ・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: データ・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C21439

説明: インスタンス・マネージャーは基本キー・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: 基本キー・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C2143A

説明: インスタンス・マネージャーは基本キー・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: 基本キー・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C2143B

説明: インスタンス・マネージャーは基本キー・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: 基本キー・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C2143C

説明: インスタンス・マネージャーは基本キー・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: 基本キー・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C2143D

説明: インスタンス・マネージャーはコピー・ヘルパー・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: コピー・ヘルパー・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C2143E

説明: インスタンス・マネージャーはコピー・ヘルパー・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: コピー・ヘルパー・オブジェクトの継承が正しいかどうか検証してください。

C9C2143F

説明: インスタンス・マネージャーはイテレーター・オブジェクトに限定することができません。

ユーザーの処置: IM 構成テーブルでイテレーターが適切に構成されていることを検証してください。注: これは、実際に反復機能が使用可能になった場合は除去してください。

C9C21440

説明: インスタンス・マネージャーはデータ・オブジェクト・インスタンスを作成できません。

ユーザーの処置: ホーム構成情報が正しいかどうかを検証してください。クラス・マネージャーの createObject フローをトレースするために、ORB 詳細トレースもオンになる場合があります。これは、DLL が適切にロードされているかどうか、インスタンス作成のために正しいファクトリー関数

エラー (マイナー) コード

が呼び出されているかを判断する上で役立ちます。

C9C21441

説明: インスタンス・マネージャーは基本キー・インスタンスを作成できません。

ユーザーの処置: ホーム構成情報が正しいかどうかを検証してください。クラス・マネージャーの createObject フローをトレースするために、ORB 詳細トレースもオンになる場合があります。これは、DLL が適切にロードされているかどうか、インスタンス作成のために正しいファクトリー関数が呼び出されているかを判断する上で役立ちます。

C9C21442

説明: インスタンス・マネージャーは、内部処理またはユーザー例外の代行受信によって無効なキーを検出しました。

ユーザーの処置: 追加のロギング情報がないかログを調べ、無効なキーが検出された理由を判別してください。

C9C21443

説明: インスタンス・マネージャーは、内部処理またはユーザー例外の代行受信によって無効なキーを検出しました。

ユーザーの処置: 追加のロギング情報がないかログを調べ、無効なキーが検出された理由を判別してください。

C9C21444

説明: インスタンス・マネージャーは、内部処理またはユーザー例外の代行受信によって無効なキーを検出しました。

ユーザーの処置: 追加のロギング情報がないかログを調べ、無効なキーが検出された理由を判別してください。

C9C21445

説明: インスタンス・マネージャーは、内部処理またはユーザー例外の代行受信によって無効なキーを検出しました。

ユーザーの処置: 追加のロギング情報がないかログを調べ、無効なキーが検出された理由を判別してください。

C9C21446

説明: インスタンス・マネージャーは、内部処理またはユーザー例外の代行受信によって無効なキーを検出しました。

ユーザーの処置: 追加のロギング情報がないかログを調べ、無効なキーが検出された理由を判別してください。

C9C21447

説明: インスタンス・マネージャーは、内部処理またはユーザー例外の代行受信によって無効なキーを検出しました。

ユーザーの処置: 追加のロギング情報がないかログを調べ、無効なキーが検出された理由を判別してください。

C9C21448

説明: インスタンス・マネージャーはデータ・アクセス拒否例外を検出しました。

ユーザーの処置: 適切な権限を取得して再試行してください。

C9C21449

説明: インスタンス・マネージャーは、データ・オブジェクトからのデータ・オブジェクト障害例外を検出しました。

ユーザーの処置: データ・オブジェクトが例外をスローした理由を判別してください。トレース・レベル 1 がアクティブであった場合、問題判別

に役立つ追加の診断情報がトレースされています。トレース・レベル 0 が使用されていた場合、追加の診断情報が Component Broker エラー・ログに記録されています。

C9C2144A

説明: インスタンス・マネージャーは、アプリケーション提供メソッドの 1 つを使用中にエラーを検出しました。アプリケーション提供メソッドとは、Component Broker シリーズ・フレームワークが自身のオブジェクトを活動化したり非活性化したりするためにオブジェクト・プロバイダーからの提供を必要とするメソッドです。たとえば、retrieveFromDataStore、internalizeResourceMgrHelper、および initForCreation などがあります。

ユーザーの処置: 追加の診断情報を提供するこのエラーに関連したメッセージが、Component Broker エラー・ログに記録されています。メッセージには同じタイム・スタンプ、ファイル、およびライン・オフセットが含まれています。メッセージのプログラマー応答に従ってください。

C9C2144B

説明: インスタンス・マネージャーは、アプリケーション提供メソッドの 1 つを使用中にエラーを検出しました。アプリケーション提供メソッドとは、Component Broker シリーズ・フレームワークが自身のオブジェクトを活動化したり非活性化したりするためにオブジェクト・プロバイダーからの提供を必要とするメソッドです。たとえば、retrieveFromDataStore、internalizeResourceMgrHelper、および initForCreation などがあります。

ユーザーの処置: 追加の診断情報を提供するこのエラーに関連したメッセージが、Component Broker エラー・ログに記録されています。メッセージには同じタイム・スタンプ、ファイル、およびライン・オフセットが含まれています。メッセージのプログラマー応答に従ってください。

C9C2144C

説明: インスタンス・マネージャーは、アプリケーション提供メソッドの 1 つを使用中にエラーを検出しました。アプリケーション提供メソッドとは、Component Broker シリーズ・フレームワークが自身のオブジェクトを活動化したり非活性化したりするためにオブジェクト・プロバイダーからの提供を必要とするメソッドです。たとえば、retrieveFromDataStore、internalizeResourceMgrHelper、および initForCreation などがあります。

ユーザーの処置: 追加の診断情報を提供するこのエラーに関連したメッセージが、Component Broker エラー・ログに記録されています。メッセージには同じタイム・スタンプ、ファイル、およびライン・オフセットが含まれています。メッセージのプログラマー応答に従ってください。

C9C2144D

説明: インスタンス・マネージャーは、アプリケーション提供メソッドの 1 つを使用中にエラーを検出しました。アプリケーション提供メソッドとは、Component Broker シリーズ・フレームワークが自身のオブジェクトを活動化したり非活性化したりするためにオブジェクト・プロバイダーからの提供を必要とするメソッドです。たとえば、retrieveFromDataStore、internalizeResourceMgrHelper、および initForCreation などがあります。

ユーザーの処置: 追加の診断情報を提供するこのエラーに関連したメッセージが、Component Broker エラー・ログに記録されています。メッセージには同じタイム・スタンプ、ファイル、およびライン・オフセットが含まれています。メッセージのプログラマー応答に従ってください。

C9C2144E

説明: インスタンス・マネージャーは、アプリケーション提供メソッドの 1 つを使用中にエラーを検出しました。アプリケーション提供メソッドとは、Component Broker シリーズ・フレームワー

エラー (マイナー) コード

クが自身のオブジェクトを活動化したり非活性化したりするためにオブジェクト・プロバイダーからの提供を必要とするメソッドです。たとえば、`retrieveFromDataStore`、`internalizeResourceMgrHelper`、および `initForCreation` などがあります。

ユーザーの処置: 追加の診断情報を提供するこのエラーに関連したメッセージが、Component Broker エラー・ログに記録されています。メッセージには同じタイム・スタンプ、ファイル、およびライン・オフセットが含まれています。メッセージのプログラマー応答に従ってください。

C9C2144F

説明: インスタンス・マネージャーは、アプリケーション提供メソッドの 1 つを使用中にエラーを検出しました。アプリケーション提供メソッドとは、Component Broker シリーズ・フレームワークが自身のオブジェクトを活動化したり非活性化したりするためにオブジェクト・プロバイダーからの提供を必要とするメソッドです。たとえば、`retrieveFromDataStore`、`internalizeResourceMgrHelper`、および `initForCreation` などがあります。

ユーザーの処置: 追加の診断情報を提供するこのエラーに関連したメッセージが、Component Broker エラー・ログに記録されています。メッセージには同じタイム・スタンプ、ファイル、およびライン・オフセットが含まれています。メッセージのプログラマー応答に従ってください。

C9C21450

説明: フレームワーク・クラス `IBOIM390ManagedObjectQOS::IMManagedObjectBase` のメソッド `setMixin` にクラス・インプリメンテーションが存在していません。

ユーザーの処置: 継承されたメソッドのコーディングが存在し、正しいこと、およびサポートされていることを検証してください。サポートされていないメソッドを起動しないでください。サポートされているメソッドの場合は、インスタンス・マネージャー詳細トレースをメソッド・フローの

取り込みに使用することができます。

C9C21451

説明: フレームワーク・クラス `IBOIM390ManagedObjectQOS::IMManagedObjectBase` のメソッド `externalizeKey` にクラス・インプリメンテーションが存在していません。

ユーザーの処置: 継承されたメソッドのコーディングが存在し、正しいこと、およびサポートされていることを検証してください。サポートされていないメソッドを起動しないでください。サポートされているメソッドの場合は、インスタンス・マネージャー詳細トレースをメソッド・フローの取り込みに使用することができます。

C9C21452

説明: フレームワーク・クラス `IBOIM390ManagedObjectQOS::IMMixinBase` のメソッド `externalizeKey` にクラス・インプリメンテーションが存在していません。

ユーザーの処置: 継承されたメソッドのコーディングが存在し、正しいこと、およびサポートされていることを検証してください。サポートされていないメソッドを起動しないでください。サポートされているメソッドの場合は、インスタンス・マネージャー詳細トレースをメソッド・フローの取り込みに使用することができます。

C9C21453

説明: マネージド・オブジェクトに対して `externalizeKey` を起動したあと、インスタンス・マネージャーはキーの値のストリームを取得できませんでした。

ユーザーの処置: `externalizeKey` メソッドのコーディングがマネージド・オブジェクトに対して正しくインプリメントされているかどうかを検証してください。

C9C21454

説明: メソッドに対して有効な例外として示されていないメソッドの実行中に例外がスローされました。Component Broker ランタイムは、クラスおよびメソッド情報とともに例外をログに記録してから、CORBA::UNKNOWN 例外をスローします。

ユーザーの処置: メッセージ BBOU0399E および BBOU0243E の情報を調べて、関連するメソッド、クラス、および不明な例外を判別してください。メッセージ BBOU0243E に示されたクラスのアプリケーション・プロバイダーに連絡して、問題を解決してください。

C9C21455

説明: DB2 現行パッケージ・セット特殊レジスターに保管される値の長さが長すぎます。最大長は、18 バイトです。

ユーザーの処置: 例外トレースがアクティブであった場合は、値が誤りであることを示すメッセージがあります。これらの値は、LRMI 情報からシステム管理によって取得されます。これは、LRMI 情報のコレクション ID フィールドに入れられた値です。値の長さを訂正して、操作を再試行してください。

C9C21456

説明: 現行パッケージ・セット特殊レジスターの設定中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 例外トレースがアクティブであった場合は、問題が何であることを示すメッセージが DB2 戻りコードとともにトレースに含まれています。指示された問題を訂正して、操作を再試行してください。考えられる問題の 1 つは、LRMI のコレクション ID フィールドに無効文字が使用されたということです。

C9C21457

説明: すでに存在していないオブジェクトに対して remove() が試行されました。この状態では、例外 CORBA::INV_OBJREF がクライアントにスローされます。この状態の原因としては、2 つのアプリケーション・スレッドがそれぞれほぼ同時にオブジェクトを remove() しようとしたことが考えられます。最初のスレッドは成功し、2 番目のスレッドは CORBA::INV_OBJREF 例外を受け取ります。

ユーザーの処置: アプリケーションで CORBA::INV_OBJREF 例外をキャッチして処理します。

C9C21458

説明: 現行サーバー特殊レジスターの読み取り中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 例外トレースがアクティブであった場合は、問題が何であることを示すメッセージが DB2 戻りコードとともにトレースに含まれています。指示された問題を訂正して、操作を再試行してください。

C9C21801

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21802

説明: コントロールからターミネーター・ポインターを取得できませんでした。

ユーザーの処置: アプリケーション論理を再作成します。

エラー (マイナー) コード

C9C21803

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21804

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21805

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21806

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21807

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21808

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21809

説明: decrement_association でスレッド関連カウントをゼロ以下に減らそうとしました。

ユーザーの処置: トランザクションはロールバッ

クされました。IBM に連絡する前に、以下の手順に従ってください。

1. 初期診断を実行して、ロールバックがタイムアウトによるものかどうかを判別します。トランザクション・タイムアウト値が満了していないことを確認します。
 2. トランザクション・タイムアウト値が満了していない場合は、アプリケーションを調べて、ロールバックがトランザクションの論理によって引き起こされたのではないことを確認します。
 3. DB2 または リソース・マネージャーがタイムアウトになっていないことを確認します。
 4. アプリケーション、DB2、またはリソース・マネージャーがロールバックの原因ではない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。
-

C9C2180A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2180B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2180C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2180D

説明: register_resource により、トランザクションがロールバックとしてマークされていることが検出されました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C2180E

説明: register_synchronization により、トランザクションがロールバックとしてマークされていることが検出されました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C2180F

説明: 上位コーディネーターへの register_synchronization によって不明な例外が発生しました。

ユーザーの処置: 実行可能なアクションはありません。CORBA::UNKNOWN 例外を発生させます。

C9C21810

説明: 上位へのリソース登録は genericCreate で失敗しました。

ユーザーの処置: C9C2181F を参照してください。

C9C21811

説明: extract_gtid の PropagationContext が NULL です。

ユーザーの処置: ワークステーション・ログを調べて、対応する例外が前に記録されていないか探してください。この情報を弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21812

説明: Tid の長さがゼロであるか、または bqual の長さより小か等しくなっています。

ユーザーの処置: ワークステーション・ログを調べて、対応する例外が前に記録されていないか探

してください。この情報を弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21813

説明: gtid の長さが extract_gtid の MAX_GTRID の長さを超えています。

ユーザーの処置: ワークステーション・ログを調べて、対応する例外が前に記録されていないか探してください。この情報を弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21814

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21815

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21816

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21817

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21818

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C21819

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2181A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2181B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2181C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2181E

説明: ルートの準備中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C2181F

説明: コミット中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21820

説明: コミット中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21821

説明: コミット中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21822

説明: コミット中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21823

説明: トランザクションがロールバックを保留中であることが検出されました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21824

説明: トランザクションがロールバックを保留中であることが検出されました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21825

説明: コミット中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21826

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21827

説明: すでに存在していないトランザクション・オブジェクトにアクセスしようとして、例外をスローしたメソッドは、トランザクション・オブジェクトがすでに存在していないこと、他の何らかの非同期操作によってコミットまたはロールバックされたことを検出しました。

ユーザーの処置: 例外がアプリケーションによってスローされた場合は、アプリケーションの実行と、トランザクションの照会、変更、ロールバック、またはコミットを同時に実行したことに問題がある可能性があります。

C9C21828

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21829

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2182A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2182B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2182C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2182D

説明: OTS 構造を格納するための事前割り振りストレージが不足していました。

ユーザーの処置: 環境データ・セット (BBOENV) に TRACEDetail=(3,4,6) を設定してください。

C9C2182E

説明: トランザクション・サービスはインバウンド・トランザクション片方向要求をサポートしていません。

ユーザーの処置: トランザクション片方向要求を発行しないでください。

C9C2182F

説明: コミット中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21830

説明: コミット中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

エラー (マイナー) コード

C9C21831

説明: コミット中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21832

説明: コミット中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21833

説明: コミット中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21834

説明: コミット中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21835

説明: 制御領域がシャットダウンされています。トランザクションの作成は不可能です。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21836

説明: 制御領域がシャットダウンされています。トランザクションの作成は不可能です。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21837

説明: 制御領域がシャットダウンされています。作成は不可能です。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21838

説明: 制御領域がシャットダウンされています。作成は不可能です。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21839

説明: 制御領域がシャットダウンされています。作成は不可能です。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2183A

説明: 制御領域がシャットダウンされています。作成は不可能です。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2183C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2183D

説明: リソース再始動時にリソースのコミットが発生しましたが、リゾルバーが同期点を所有しています。

ユーザーの処置: この例外は再始動のための通常処理ですが、リカバリー・コーディネーターへの連絡が失敗であったことを示しています。この状

態が継続する場合は、リカバリー・コーディネーターが起動および機能していることを確認してください。リカバリー・コーディネーターとして機能しているアプリケーション (またはアプリケーション環境) がダウンしている可能性があります。

C9C2183E

説明: リソース再始動時にリソースのロールバックが発生しましたが、リゾルバーが同期点を所有しています。

ユーザーの処置: この例外は再始動のための通常処理ですが、リカバリー・コーディネーターへの連絡が失敗であったことを示しています。この状態が継続する場合は、リカバリー・コーディネーターが起動および機能していることを確認してください。リカバリー・コーディネーターとして機能しているアプリケーション (またはアプリケーション環境) がダウンしている可能性があります。

C9C2183F

説明: トランザクションがロールバックを保留中であることが検出されました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21840

説明: 要求者がトランザクションのイニシエーターではなかったため、ロールバック要求がリジェクトされました。廃止されています。

ユーザーの処置: 可能性のあるアプリケーション・コーディング・エラーがないか調べてください。

C9C21841

説明: 要求者がトランザクションのイニシエーターではなかったため、コミット要求がリジェクトされました。廃止されています。

ユーザーの処置: 可能性のあるアプリケーション・コーディング・エラーがないか調べてください。

C9C21842

説明: 基礎的なリカバリー保守ログ制限によってリソースを登録することができません。

ユーザーの処置: より少ないリソースを組み込むようにアプリケーションを再作成します。

C9C21843

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21844

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21845

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21846

説明: インプリメンテーション制限によってローカル・リソース・オブジェクトを登録することができません。

ユーザーの処置: アプリケーション・エラーがないか調べてください。ローカル・リソースの制約事項についてはアプリケーションの資料を参照してください。

エラー (マイナー) コード

C9C21847

説明: インプリメンテーション制限によって、ローカル同期 (SYN) オブジェクトを登録することができません。

ユーザーの処置: アプリケーション・エラーがないか調べてください。同期オブジェクトの制約事項についてはアプリケーションの資料を参照してください。

C9C21848

説明: スレッドでトランザクションを rollback_only としてマークを付けようとしているときに、ユーザー例外が検出されました。

ユーザーの処置: アプリケーション・エラーがないか調べてください。

C9C21849

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2184A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2184B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2184C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2184D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2184E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2184F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21850

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21851

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21852

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21853

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21854

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21855

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21856

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21857

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21858

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21859

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2185A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2185B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2185C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2185D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2185E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2185F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21860

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21861

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C21862

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21863

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21864

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21865

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21866

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21867

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21868

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21869

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2186A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2186B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2186C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2186D

説明: 代行の準備中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C2186E

説明: インバウンド・トランザクションがネストされたトランザクションです。CB/390 ではネストされたトランザクションはサポートされません。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2186F

説明: リソース `one_phase_commit` がリソースに対して機能しましたが、同期点がすでに進行中でした。

ユーザーの処置: トランザクションがロールバックされた場合は、C9C21809 を参照してください。

C9C21870

説明: 代行準備中に、ヒューリスティックな混合状態でトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: RRS は、コミット・プロセス中にどのリソース・マネージャーがヒューリスティックな状態であったかを示すレコードを LOGREC に書き込みます。示されたリソース・マネージャーのプロシーチャーに従って、ヒューリスティックな状態を解決してください。C9C21809 も参照してください。

C9C21871

説明: 無効または NULL の `CosTransactions::Coordinator` オブジェクトがインバウンドから抽出されました。
`CosTransactions::PropagationContext` 構造体。

ユーザーの処置: 送信 ORB が CB/390 と相互運用されているかどうかを検証してください。

C9C21872

説明: コミット中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C21809 を参照してください。

C9C21873

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21874

説明: サーバー領域送信応答検査によって、メソッドに関連したオリジナル・トランザクションと、現在、スレッドに関連しているトランザクションの間にミスマッチが検出されました。

ユーザーの処置: 論理エラーがないかアプリケーションを検査してください。

C9C21875

説明: トランザクション・サービスはトランザクション・ファクトリーを見つけることができません。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21876

説明: トランザクション・サービスはトランザクション・ファクトリーを見つけることができません。

ユーザーの処置: システム管理構成を調べて、トランザクション・ファクトリーの定義を探してください。

C9C21877

説明: トランザクションがすでにアクティブではなくなったため、トランザクション要求はリジェクトされました。

ユーザーの処置: 論理エラーがないかアプリケーションを検査してください。

エラー (マイナー) コード

C9C21878

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21879

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2187A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2187B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2187C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2187D

説明: トランザクションがスレッドでアクティブであるときに、サーバー領域のトランザクション・サーバーがスレッドの終了を検出しました。これによって、サーバー領域アドレス・スペースが終了しました。

ユーザーの処置: 論理エラーがないかアプリケーションを検査してください。

C9C2187E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2187F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21880

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21881

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21882

説明: トランザクション・サーバーは rollback_only 要求について無効な状態を検出しました。

ユーザーの処置: Component Broker の内部処理。エラーは発生しませんでした。

C9C21883

説明: トランザクション・サーバーは、据え置き開始要求を含むトランザクション・サービスを検出しました。

ユーザーの処置: Component Broker の内部処理。エラーは発生しませんでした。

C9C21884

説明: `rollback_only` 要求について存在しないトランザクションが検出されました。

ユーザーの処置: 論理エラーがないかアプリケーションを検査してください。

C9C21885

説明: '据え置き開始' アウトバウンド要求の結果、無効な `CosTransaction::PropagationContext` が戻されました。

ユーザーの処置: ORB 間のインターオペラビリティに関する資料を調べてください。

C9C21886

説明: トランザクションを 'rollback_only' としてマーク付けする試みがなされましたが、そのトランザクションは以前に 'rolledback_only' としてマークされているか、またはロールバック処理中です。

ユーザーの処置: トランザクションはこの処理によって非同期にロールバックされているか、またはロールバックされます。初期ロールバックがアプリケーション自体によってこの呼び出しとは非同期に開始された可能性があります。または、トランザクションに参加しているいずれかのリソース・マネージャーによって開始された可能性があります。アプリケーションがリソース・マネージャー・プロトコルのいずれかに違反した可能性があります。いつロールバックが発生したかを示している直前のトレースをスキャンしてください。ロールバック・プロシージャーについては、C9C21809 を参照してください。

C9C21887

説明: `atr dint` がロールバック・トランザクションに対して発行されました。

ユーザーの処置: トランザクションはこの呼び出しとは非同期にロールバックされました。ロール

バックはこの呼び出しとは非同期のアプリケーションによって開始されたか、またはトランザクションに参加しているいずれかのリソース・マネージャーによって開始されました。アプリケーションがリソース・マネージャー・プロトコルのいずれかに違反した可能性があります。いつロールバックが発生したかを示している直前のトレースをスキャンしてください。ロールバック・プロシージャーについては、C9C21809 を参照してください。

C9C21888

説明: `atrspid` がロールバック・トランザクションに対して発行されました。

ユーザーの処置: トランザクションはこの呼び出しとは非同期にロールバックされました。ロールバックはこの呼び出しとは非同期のアプリケーションによって開始されたか、またはトランザクションに参加しているいずれかのリソース・マネージャーによって開始されました。アプリケーションがリソース・マネージャー・プロトコルのいずれかに違反した可能性があります。いつロールバックが発生したかを示している直前のトレースをスキャンしてください。ロールバック・プロシージャーについては、C9C21809 を参照してください。

C9C21889

説明: `atrint` が発行されましたが、UR ログ・データ制限を超えました。

ユーザーの処置: システムしきい値を超えたため、これ以上トランザクション情報を格納することはできません。アプリケーションは参加している各種リソース・マネージャーの数を削減する必要があります。そのためには、トランザクションの有効範囲を狭くするか、または複合オブジェクトを再定義してより少ないコンポーネントで構成されるようにします。

エラー (マイナー) コード

C9C2188A

説明: atreint がロールバック・トランザクションに対して発行されました。

ユーザーの処置: トランザクションはこの呼び出しとは非同期にロールバックされました。ロールバックはこの呼び出しとは非同期のアプリケーションによって開始されたか、またはトランザクションに参加しているいずれかのリソース・マネージャーによって開始されました。アプリケーションがリソース・マネージャー・プロトコルのいずれかに違反した可能性があります。いつロールバックが発生したかを示している直前のトレースをスキャンしてください。ロールバック・プロシージャについては、C9C21809 を参照してください。

C9C2188B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2188C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2188D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2188E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2188F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21890

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21891

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21892

説明: 収容トランザクションが指定指定のタイムアウト値を超えたため、トランザクションがロールバックされました (このタイムアウトは、CB/390 同期点コーディネーターによって検出されました)。

ユーザーの処置: いつロールバックが最初に発生したかを示している直前のトレースをスキャンしてください。ロールバック・プロシージャについては、C9C21809 を参照してください。

C9C21893

説明: 収容トランザクションが指定のタイムアウト値を超えたため、トランザクションがロールバックされました (このタイムアウトは、CB/390 同期点コーディネーターによって検出されました)。障害が検出されたのは、このトランザクションに対してシステム例外が生じる前でした。

ユーザーの処置: いつロールバックが最初に発生したかを示している後続のトレースをスキャンしてください。ロールバック・プロシージャについては、C9C21809 を参照してください。

C9C21894

説明: 前にタイムアウトになったトランザクション内に含まれる制御領域へのインバウンド要求が検出されました。

ユーザーの処置: いつロールバックが最初に発生したかを示している直前のトレースをスキャンしてください。ロールバック・プロシージャーについては、C9C21809 を参照してください。

C9C21895

説明: 要求者がトランザクションのイニシエーターではなかったため、コミット要求がリジェクトされました。トランザクションはロールバックのみとしてマークされました。

ユーザーの処置: 可能性のあるアプリケーション・コーディング・エラーがないか調べてください。

C9C21896

説明: 要求者がトランザクションのイニシエーターではなかったため、ロールバック要求がリジェクトされました。トランザクションはロールバックのみとしてマークされました。

ユーザーの処置: 可能性のあるアプリケーション・コーディング・エラーがないか調べてください。

C9C21897

説明: OTS 再始動プロセス中に、上位レベルのバージョン番号を含む持続データが検索されました。サーバーはダウンしました。新規レベルのコードを使用してアプリケーション・サーバーを開始し、一定期間にわたって実行し、RRS 固定データ・ログ内のトランザクションのエントリーを作成した場合にこの状態が発生し、その後アプリケーション・サーバーがダウンします。アプリケーション・サーバーが再始動されると、旧レベルの

CB/390 コードが使用されます。これはサポートされていません。

ユーザーの処置: オペレーター: 正しい PROC を使用してこのアプリケーション・サーバーが開始されたことを確認してください。システム・プログラマー: このアプリケーション・サーバーの開始に使用された PROC が、使用するレベルの CB/390 コードを指定していることを確認してください。指定が正しい場合は、故意に CB/390 コードのレベルを逆行させたことになるため、CB/390 のコールド・スタート・プロシージャーに従って、アプリケーション・サーバーが高レベルであったときに CB/390 環境に加えた変更を元に戻す必要があります。コード・レベルを変更しない場合、および PROC が正しい CB/390 コードを指定している場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21898

説明: OTS 再始動プロセス中に、上位レベルのバージョン番号を含む持続データが検索されました。サーバーはダウンしました。新規レベルのコードを使用してアプリケーション・サーバーを開始し、一定期間にわたって実行し、RRS 固定データ・ログ内のトランザクションのエントリーを作成した場合にこの状態が発生し、その後アプリケーション・サーバーがダウンします。アプリケーション・サーバーが再始動されると、旧レベルの CB/390 コードが使用されます。これはサポートされていません。

ユーザーの処置: オペレーター: 正しい PROC を使用してこのアプリケーション・サーバーが開始されたことを確認してください。システム・プログラマー: このアプリケーション・サーバーの開始に使用された PROC が、使用するレベルの CB/390 コードを指定していることを確認してください。指定が正しい場合は、故意に CB/390 コードのレベルを逆行させたことになるため、CB/390 のコールド・スタート・プロシージャーに従って、アプリケーション・サーバーが高レベルであったときに CB/390 環境に加えた変更を元

エラー (マイナー) コード

に戻す必要があります。コード・レベルを変更しない場合、および PROC が正しい CB/390 コードを指定している場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21899

説明: OTS 再始動プロセス中に、上位レベルのバージョン番号を含む持続データが検索されました。サーバーはダウンしました。新規レベルのコードを使用してアプリケーション・サーバーを開始し、一定期間にわたって実行し、RRS 固定データ・ログ内のトランザクションのエントリーを作成した場合にこの状態が発生し、その後アプリケーション・サーバーがダウンします。アプリケーション・サーバーが再始動されると、旧レベルの CB/390 コードが使用されます。これはサポートされていません。

ユーザーの処置: オペレーター: 正しい PROC を使用してこのアプリケーション・サーバーが開始されたことを確認してください。システム・プログラマー: このアプリケーション・サーバーの開始に使用された PROC が、使用するレベルの CB/390 コードを指定していることを確認してください。指定が正しい場合は、故意に CB/390 コードのレベルを逆行させたことになるため、CB/390 のコールド・スタート・プロシージャに従って、アプリケーション・サーバーが高レベルであったときに CB/390 環境に加えた変更を元に戻す必要があります。コード・レベルを変更しない場合、および PROC が正しい CB/390 コードを指定している場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2189A

説明: OTS 再始動プロセス中に、上位レベルのバージョン番号を含む持続データが検索されました。サーバーはダウンしました。新規レベルのコードを使用してアプリケーション・サーバーを開始し、一定期間にわたって実行し、RRS 固定データ・ログ内のトランザクションのエントリーを作成した場合にこの状態が発生し、その後アプリケ

ーション・サーバーがダウンします。アプリケーション・サーバーが再始動されると、旧レベルの CB/390 コードが使用されます。これはサポートされていません。

ユーザーの処置: オペレーター: 正しい PROC を使用してこのアプリケーション・サーバーが開始されたことを確認してください。システム・プログラマー: このアプリケーション・サーバーの開始に使用された PROC が、使用するレベルの CB/390 コードを指定していることを確認してください。指定が正しい場合は、故意に CB/390 コードのレベルを逆行させたことになるため、CB/390 のコールド・スタート・プロシージャに従って、アプリケーション・サーバーが高レベルであったときに CB/390 環境に加えた変更を元に戻す必要があります。コード・レベルを変更しない場合、および PROC が正しい CB/390 コードを指定している場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2189B

説明: OTS は、このサーバーに送られたメソッドがタイムアウトになったと判断しました。これは、トランザクション・オブジェクトの 1 つが存在していないことが原因です。最も可能性の高い推定原因は、トランザクション・タイムアウトです。

ユーザーの処置: いくつかのロールバックが最初に発生したかを示している後続のトレースをスキャンしてください。ロールバック・プロシージャについては、C9C21809 を参照してください。

C9C2189C

説明: エージェント作成の結果戻された予期しない戻りコードによって、トランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: 後続のトレースをスキャンしてください。TBD

C9C2189D

説明: 保護リソースがコミットに応じた適切な状態になかったため、トランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: TBD

C9C2189E

説明: MSGINDEX_BBOUENUS_OTS_HARDENED_DATA_LOSS に対する CANCEL 応答のあとで、制御領域がダウンしました。

ユーザーの処置: ありません。

C9C2189F

説明: 不明なトランザクション・ポリシーがコンテナに指定されています。

ユーザーの処置: SM の EUI で、このコンテナに指定したトランザクション・ポリシーを検査してください。

C9C218A0

説明: メソッドのディスパッチ中に開始されたトランザクションが、戻される前に完了しませんでした。トランザクションはロールバック用にマークされました。

ユーザーの処置: 可能性のあるコーディング・エラーがないかアプリケーション論理を検査してください。

C9C218A1

説明: コンテナ入り口ではなくコンテナ出口に別のトランザクションが存在しています。出口のトランザクションはロールバック用にマークされ、入り口のトランザクションは再開されます。

ユーザーの処置: 可能性のあるコーディング・エラーがないかアプリケーション論理を検査してください。

C9C218A2

説明: コンテナにより開始されたトランザクションが、コミットから不明な例外をキャッチしました。

ユーザーの処置: ありません。

C9C218A3

説明: 入り口にあるトランザクションを再開しようとしているときに、コンテナが例外をキャッチしました。

ユーザーの処置: ありません。

C9C218A4

説明: 現行リカバリー単位に関するデータを検索しようとしているときにエラーが発生しました。RRS はサーバーが無効な環境を保持していることを検出しました。サーバーは自身を終了し、ダンプを取ります。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218A5

説明: 現行リカバリー単位に関するデータを検索しようとしているときにエラーが発生しました。RRS が使用不能になったか、サーバーが RRS と通信できません (あるいはその両方)。

ユーザーの処置: RRS または障害が起こったアプリケーション・サーバー (あるいはその両方) を再始動します。

C9C218A6

説明: コンテナの代わりに手続き型グローバル・トランザクションをコミットしようとしてエラーが発生しました。手続き型グローバル・トランザクションがロールバックされました。コンテナは、特定のトランザクション・ポリシーのビジネス論理に代わって、サーバー領域の手続き型

エラー (マイナー) コード

グローバル・トランザクションを開始できます。

ユーザーの処置: オブジェクトによって変更されていたリソースは、サーバーには不明な何らかの理由によってロールバックされました。ロールバックを開始したリソース・マネージャーについては、ロールバック・デバッグの資料を参照してください。ロールバック開始リソース・マネージャーを決定する際に役立つ情報については、RRS の問題判別 (PD) 資料を参照してください。

C9C218A7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218A8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218A9

説明: ハイブリッド・グローバル・トランザクションはサーバーによってコミットすることはできません。これは、トランザクションに関係しているリソース・マネージャーが誤った状態にあったことが原因です。サーバー領域は終了します。

ユーザーの処置: アプリケーション論理エラーがないか調べてください。

C9C218AA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218AB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218AC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218AD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218AE

説明: アプリケーションにコミットされていないローカル・リソースがあるため、再開は許可されません。

ユーザーの処置: ローカル・リソースは、別のトランザクションを再開する前にコミットまたはロールバックする必要があります。アプリケーション・コーディング・エラーがないか調べてください。

C9C218AF

説明: 同期 (SYN) オブジェクトに対して `before_completion` を駆動しているときに例外がスローされました。トランザクションはロールバックされました。

ユーザーの処置: この障害が発生する前のトレースおよびメッセージを調べて、どの例外が同期オブジェクトからスローされたかを判別してください。

C9C218B0

説明: コンテナによって開始されたトランザクションをコミットしようとしているときに、Heuristic Mixed 例外が発生しました。

ユーザーの処置: この障害が発生する前のトレースおよびメッセージを調べて、どの保護リソースによってヒューリスティックな結果が生じたかを判別してください。

C9C218B1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218B2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218B3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218B4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218B5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218B6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218B7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218B8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218B9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218BA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218BB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218BC

説明: Tid の長さがゼロであるか、または bqual の長さより小か等しくなっています。

ユーザーの処置: ワークステーション・ログを調べて、対応する例外が前に記録されていないか探

エラー (マイナー) コード

してください。この情報を弊社営業担当員に報告してください。

C9C218BD

説明: gtid の長さが extract_gtid の MAX_GTRID の長さを超えています。

ユーザーの処置: ワークステーション・ログを調べて、対応する例外が前に記録されていないか探してください。この情報を弊社営業担当員に報告してください。

C9C218BE

説明: Tid の長さがゼロであるか、または bqual の長さより小か等しくなっています。

ユーザーの処置: ワークステーション・ログを調べて、対応する例外が前に記録されていないか探してください。この情報を弊社営業担当員に報告してください。

C9C218BF

説明: gtid の長さが extract_gtid の MAX_GTRID の長さを超えています。

ユーザーの処置: ワークステーション・ログを調べて、対応する例外が前に記録されていないか探してください。この情報を弊社営業担当員に報告してください。

C9C218C0

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218C1

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218C2

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218C3

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218C4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218C5

説明: ルート・コミット中にトランザクションがロールバックされました。

ユーザーの処置: C9C2181F を参照してください。

C9C218C6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218C7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218C8

説明: インバウンド・トランザクション・コンテキストに、グローバル・トランザクションのコー

ディネーター・オブジェクトへの参照が含まれていませんでした。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218C9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218CA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218CB

説明: RRS はこのシステムで使用不能です。

ユーザーの処置: RRS がこのシステムで開始済みであることを確認してください。

C9C218CC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218CD

説明: RRS はこのシステムで使用不能です。

ユーザーの処置: RRS がこのシステムで開始済みであることを確認してください。

C9C218CE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C218CF

説明: クライアントがグローバル・トランザクションでコンポーネント (EJB など) を起動しようとしたが、そのコンポーネントは、グローバル・トランザクション内で起動してはならないことを示すトランザクション・ポリシーで展開されていました。

ユーザーの処置: クライアント・アプリケーションを訂正するか、またはエラーの発生したコンポーネントを再展開してください。

C9C218D0

説明: クライアントがグローバル・トランザクションでコンポーネント (EJB など) を起動しようとしたが、そのコンポーネントは、グローバル・トランザクション内で起動してはならないことを示すトランザクション・ポリシーで展開されていました。

ユーザーの処置: クライアント・アプリケーションを訂正するか、またはエラーの発生したコンポーネントを再展開してください。

C9C21C01

説明: 無効なオブジェクト参照子が検出されました。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21C02

説明: Shasta マーシャル・エラーが検出されました。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C21C03

説明: Shasta 内部エラーが検出されました。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21C04

説明: `_narrow` メソッドが CORBA 以外の例外をキャッチしました。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21C05

説明:

ユーザーの処置:

C9C21C06

説明:

ユーザーの処置:

C9C21C30

説明: `bbolrt.cpp` の関数 `_CallMethod` は、Java クラス `/com/ibm/som/corba/rt/WeakRef.class` を検出できませんでした。

ユーザーの処置: CLASSPATH 環境変数が、`WeakRef.class` を含む JAR (Java ARchive) ファイルを指定しているかどうかを検証してください。

C9C21C31

説明: `bbolrt.cpp` の関数 `_CallMethod` は、Java クラス `/com/ibm/som/corba/rt/WeakRef.class` の `"get"` メソッドを検出できませんでした。

ユーザーの処置: CLASSPATH 環境変数が、`WeakRef.class` を含む JAR (Java ARchive) ファイルを指定しているかどうかを検証してください。

C9C21C32

説明: `bbolrt.cpp` の関数 `_StrongRef` は、Java クラス `/com/ibm/som/corba/rt/WeakRef.class` を検出できませんでした。

ユーザーの処置: CLASSPATH 環境変数が、`WeakRef.class` を含む JAR (Java ARchive) ファイルを指定しているかどうかを検証してください。

C9C21C33

説明: `bbolrt.cpp` の関数 `_StrongRef` は、Java クラス `/com/ibm/som/corba/rt/WeakRef.class` の `"get"` メソッドを検出できませんでした。

ユーザーの処置: CLASSPATH 環境変数が、`WeakRef.class` を含む JAR (Java ARchive) ファイルを指定しているかどうかを検証してください。

C9C21C34

説明: `bbolrt.cpp` の関数 `_WeakRef` は、Java クラス `/com/ibm/som/corba/rt/SOMBase.class` を検出できませんでした。

ユーザーの処置: CLASSPATH 環境変数が、`SOMBase.class` を含む JAR (Java ARchive) ファイルを指定しているかどうかを検証してください。

C9C21C35

説明: `bbolrt.cpp` の関数 `_WeakRef` は、Java クラス `/com/ibm/som/corba/rt/SOMBase.class` の `"_weakref"` メソッドを検出できませんでした。

ユーザーの処置: CLASSPATH 環境変数が、`SOMBase.class` を含む JAR (Java ARchive) ファイルを指定しているかどうかを検証してください。

C9C21C36

説明: `bbolrt.cpp` の関数 `_WeakRef` は、Java オブジェクトの実行時オブジェクト参照子を取得しませんでした。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21C37

説明: `bbolss.cpp` の関数 `_isInstanceOf` はインプリメントされていません。

ユーザーの処置: この関数は使用しないでください。

C9C21C38

説明: `bbolsreq.cpp` の関数 `SOMCPP_SOMObjectDecoder` は、カプセル化での長さが OS/390 プラットフォームのポインターの長さとは一致していないことを検出しました。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21C39

説明: `bbolsreq.cpp` の関数 `take_buffer` は、CDR バッファの長さがゼロであることを検出しました。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21C3A

説明: `bbolsreq.cpp` の関数 `decode_SOMRef` は、カプセル化での長さが OS/390 プラットフォームのポインターの長さとは一致していないことを検出しました。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21C3B

説明: `bbolpoi.cpp` で、一部の CORBA DII オブジェクトが作成後に `nil` になっています。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21C3C

説明: `bbolpoi.cpp` で、一部の Context メソッドがサポートされていません。

ユーザーの処置: アプリケーション・プログラムをそれに応じて変更してください。

C9C21C3D

説明: クラスのプロキシ・ファクトリーを検出しようとしたのですが、サーバーに対して利用不能でした。プロキシ・ファクトリーは、オブジェクト参照子を Java 環境にマーシャル・バックできるように、ポイド・ポインターを `CORBA::Object_ptr` にキャストするために使用されようとしていました。

ユーザーの処置: 関連したメッセージに示されたクラス名がサーバーにインストールされていることを確認してください。

C9C21C3E

説明:

ユーザーの処置: このメッセージの前のメッセージを調べて、どの JNI 例外がスローされたかを探索します。

C9C21C3F

説明:

ユーザーの処置:

エラー (マイナー) コード

C9C21C40

説明:

ユーザーの処置:

C9C21C41

説明:

ユーザーの処置:

C9C21C42

説明:

ユーザーの処置:

C9C21C43

説明:

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C21C44

説明:

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22001

説明: 特定のサーバー名を、8 文字を超える値に設定しようとしています。

ユーザーの処置: 名前を訂正して処理を再実行してください。

C9C22002

説明: オブジェクトに対する `_narrow` or `_narrow_in_trans` が失敗しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22009

説明: DB2 アセンブラー・サービスへの呼び出しが失敗しました。

ユーザーの処置: エラー・ログで報告された戻りコード、理由コード、および DB2 サービス名を使用し、「DB2 メッセージおよびコード」を参照して、障害の原因を判別してください。

C9C2200A

説明: Component Broker シリーズ・システム管理を開始しようとしたときに、別のシステム管理サーバーも同じシステムを開始しようとしていました。Component Broker シリーズ・システム管理サーバーは、1 つのシステムで 1 度に 1 つのみアクティブにすることができます。このシステム管理サーバーはエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 同じシステムで同時に 2 つの Component Broker シリーズ・システム管理サーバーを開始しないでください。

C9C2200B

説明: Component Broker シリーズ・システム管理サーバーを開始しようとしたときに、別のシステム管理サーバーがアクティブでした。

Component Broker シリーズ・システム管理サーバーは、1 つのシステムで 1 度に 1 つのみアクティブにすることができます。このサーバーはエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 同じシステムで同時に 2 つの Component Broker シリーズ・システム管理サーバーを開始しないでください。

C9C2200C

説明: Component Broker シリーズ・システム管理は、同じシステム上にアクティブな Component Broker シリーズ・デーモンがないと開始できません。開始しようとしたサーバーは、このシステム上のデーモンを見つけることができなかった

め、エラーになり終了します。

ユーザーの処置: 他の Component Broker シリーズ・サーバーを開始する前に、このシステム上の Component Broker シリーズ・デーモンを開始してください。

C9C2200D

説明: Component Broker シリーズ・システム管理は、同じシステム上にアクティブな Component Broker シリーズ・デーモンがないと開始できません。開始しようとしたサーバーは、このシステム上のデーモンを見つけることができなかつたため、エラーになり終了します。

ユーザーの処置: 他の Component Broker シリーズ・サーバーを開始する前に、このシステム上の Component Broker シリーズ・デーモンを開始してください。

C9C2200E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2200F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22010

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22011

説明: Component Broker シリーズ・システム管理サーバーを開始しようとしたときに、別のシステム管理サーバーがアクティブでした。

Component Broker シリーズ・システム管理サーバーは、1 つのシステムで 1 度に 1 つのみアクティブにすることができます。このサーバーはエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 同じシステムで同時に 2 つの Component Broker シリーズ・システム管理サーバーを開始しないでください。

C9C22012

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22013

説明: Component Broker サーバーを開始しようとしてタイムアウトが発生しました。これは、開始済みプロセスの JCL エラー、または他の環境問題が原因である可能性があります。

ユーザーの処置: Component Broker が開始しようとしたサーバー、および障害が発生した理由を判別してください。問題を訂正して、再試行してください。

C9C22014

説明: Stop コマンドが Component Broker デーモンに対して発行されたあとにこのサーバーが開始されました。デーモン停止処理によってすべてのアクティブ・サーバーが停止され、開始できる新規のサーバーがありません。stop コマンドの発行後に開始されるサーバーはすべて、このエラーを受け取ります。

ユーザーの処置: ありません。

C9C22015

説明: バックレベル・サーバーが開始されました。すべての複製サーバーはすでに高機能レベルで動作しているため、サーバーは異常終了しなければなりません。

エラー (マイナー) コード

ユーザーの処置: サーバーを新機能レベルにアップグレードしてください。

C9C22016

説明: SM ブートストラップの最中に回復不能エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 付随するメッセージを分析してください。

C9C22017

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22018

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22019

説明: 内部 Component Broker 環境を初期化できませんでした。

ユーザーの処置: 付随するメッセージを分析してください。

C9C22020

説明: ブートストラップに必要な構成ファイルを開くことができませんでした。付随するメッセージを参照して、正確なファイル名を確認してください。

ユーザーの処置: 環境変数 CBCONFIG が正しく設定されていること、それによって示された HFS のパスが実際にその場所にあることを確認してください。シブプレックス環境で作業している場合は、このパスが NFS マウント HFS または共用 HFS (OS/390 R9+) を介して全システム間で共用されていることを確認してください。

C9C22021

説明: ブートストラップ中または importServer の実行中に使用されていた (XML) 構成ファイルに構成ルート・ノードが欠落しているか、または無効な XML エレメントが含まれています。

ユーザーの処置: ブートストラップ: 環境変数 CBCONFIG が正しい構成ディレクトリーを指していること、適切な current.xml がこのパス CONFIG/configuration/current.xml で使用可能であることを確認してください。ImportServer: 指定したパスが正しいサーバー構成ディレクトリーを指していること、適切な SERVERNAME.xml が指定したパスで使用可能であることを確認してください。current.xml が損傷または欠落している場合は、バックアップ構成が

CONFIG/configuration/backup ディレクトリーにあります。SERVERNAME.xml が損傷または欠落している場合は、EUI を使用してサーバーを再度エクスポートすることによって新規の SERVERNAME.xml ファイルを作成してください。実際に使用されている構成の名前については、付随しているメッセージを参照してください。

C9C22022

説明: ブートストラップ中に、環境変数 SM_DEFAULT_ADMIN を使用して指定された、デフォルトの Component Broker 管理者に結合する必要のある新規の会話が作成されています。デフォルトの管理者を表すオブジェクトを検出できませんでした。

ユーザーの処置: デフォルトの管理者はブートストラップ処理中にも作成されるため、これは内部エラーです。IBM に連絡してください。実際に使用されている管理者の ID については、付随しているメッセージを参照してください。

C9C22023

説明: XML パーサーまたは ICU (対話式図表ユーティリティ) クラス・ライブラリーの初期化が失敗しました。XML パーサーおよび ICU ライブラリーは構成データまたはサーバーのインポートに使用されています。

ユーザーの処置: 環境変数 ICU_DATA が、CONFIG/configuration/icudata ディレクトリーにある ICU コンバーター・ファイルの正しい位置を指していることを確認してください。問題の原因に関する詳細は、付随しているメッセージを参照してください。

C9C22024

説明: XML ファイルの構文解析中にエラーが発生しました。インポートに使用された XML に無効な XML エレメントが含まれています。

ユーザーの処置: 詳細については、付随しているメッセージを参照してください。

C9C22025

説明: インポートするオブジェクトの 1 つがすでに存在していたため、構成データのインポートが失敗しました。

ユーザーの処置: 詳細については、付随しているメッセージを参照してください。

C9C22026

説明: インポートするオブジェクトの 1 つを MOFW で作成できなかったため、構成データのインポートが失敗しました。

ユーザーの処置: 詳細については、付随しているメッセージを参照してください。

C9C22027

説明: インポートするオブジェクトの 1 つが検出できない別のオブジェクトを参照しているた

め、構成データのインポートが失敗しました。

ユーザーの処置: 詳細については、付随しているメッセージを参照してください。

C9C22028

説明: 分類していないエラーによって構成データのインポートが失敗しました。

ユーザーの処置: 問題の原因に関する詳細は、付随しているメッセージを参照してください。

C9C22029

説明: デーモンがバックレベル・データベースで開始されました。

ユーザーの処置: ドライバーに付属のパッチ・ユーティリティを使用するか、または -ORBCBI COLD オプションを指定してデーモンを開始して、新規のスキーマ・バージョンにデータベースをアップグレードしてください。

C9C2202A

説明: システム管理に対してサーバー名が指定されていません。

ユーザーの処置: BBOSMS の開始に使用された BBOSMS プロシージャーまたはパラメーターを調べて、適切なサーバー名を指定するよう訂正してください。

C9C2202B

説明: システム管理メインルーチンによってユーザー例外がキャッチされました。

ユーザーの処置: エラー・ログを調べて、スローされた例外に関連する情報を探し、例外によって示された処置を実行してください。

C9C2202C

説明: Component Broker シリーズ・デーモンおよび制御領域の実行には許可が必要です。しか

エラー (マイナー) コード

し、許可なしで実行されていることがスペースで検出されました。スペースはエラーになり終了します。

ユーザーの処置: steplib ステートメントによって参照されるすべてのデータ・セットが APF 許可を持っているかを調べてください。

C9C2202D

説明: SM ブートストラップが、完全にブートストラップ済みのデータベースに適用されました。

ユーザーの処置: 最初に BBOMCRDB を適用してください。

C9C2202E

説明: サーバー始動中のネーミング登録によって回復不能エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 付随するメッセージを分析してください。

C9C2202F

説明: OTS がコンポーネントまたはメソッド・メタデータにアクセスしようとしたときに、コンテキスト・データ・マネージャーが回復不能エラーを発行しました。

ユーザーの処置: 付随するメッセージを分析してください。

C9C221EF

説明: Stop コマンドが Component Broker デモンに対して発行されたあとにこのサーバーが開始されました。デモン停止処理によってすべてのアクティブ・サーバーが停止され、開始できる新規のサーバーがありません。stop コマンドの発行後に開始されるサーバーはすべて、このエラーを受け取ります。

ユーザーの処置: ありません。

C9C22401

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22402

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22403

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22404

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22405

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22406

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22407

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22408

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22409

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2240A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2240B

説明: Component Broker デーモンを正常に開始するには、DAEMON_IPNAME 環境変数を設定する必要があります。設定しない場合、この例外が発生してデーモンが初期化されません。

ユーザーの処置: DAEMON_IPNAME 環境変数を適切に設定 (多くの場合はデーモンを開始しようとしているシステムの TCP/IP ホスト名に設定) してください。

C9C2240C

説明: Component Broker シリーズ・サーバー・アドレス・スペースは、同じシステム上にアクティブな Component Broker シリーズ・デーモンがないと開始できません。開始しようとしたサーバーは、このシステム上のデーモンを見つけることができなかったため、エラーになり終了します。

ユーザーの処置: 他の Component Broker シリーズ・サーバーを開始する前に、このシステム上の Component Broker シリーズ・デーモンを開始してください。

C9C2240D

説明: Component Broker シリーズ・サーバー・アドレス・スペースは、同じシステム上にアクティブな Component Broker シリーズ・デーモンがないと開始できません。開始しようとしたサーバーは、このシステム上のデーモンを見つけることができなかったため、エラーになり終了します。

ユーザーの処置: 他の Component Broker シリーズ・サーバーを開始する前に、このシステム上の Component Broker シリーズ・デーモンを開始してください。

C9C2240E

説明: Component Broker シリーズ・サーバー・アドレス・スペースは、同じシステム上にアクティブな Component Broker シリーズ・デーモンがないと開始できません。開始しようとしたサーバーは、このシステム上のデーモンを見つけることができなかったため、エラーになり終了します。

ユーザーの処置: 他の Component Broker シリーズ・サーバーを開始する前に、このシステム上の Component Broker シリーズ・デーモンを開始してください。

C9C2240F

説明: Component Broker シリーズ・サーバー・アドレス・スペースは、同じシステム上にアクティブな Component Broker シリーズ・デーモンがないと開始できません。開始しようとしたサーバーは、このシステム上のデーモンを見つけることができなかったため、エラーになり終了します。

ユーザーの処置: 他の Component Broker シリーズ・サーバーを開始する前に、このシステム上の Component Broker シリーズ・デーモンを開始してください。

エラー (マイナー) コード

C9C22410

説明: すべての Component Broker シリーズ・サーバーは、入力パラメーターとしてキーワード '-ORBsrvice' の後に指定された特定のサーバー名を持っている必要があります。この名前は 8 文字以下でなければなりません。指定された名前はこの長さを超えていました。

ユーザーの処置: サーバーの開始時に正しい特定のサーバー名を指定してください。この名前は、サーバーが Component Broker シリーズ・システム管理に定義されたときに指定されました。

C9C22411

説明: すべての Component Broker シリーズ・サーバーは、入力パラメーターとしてキーワード '-ORBsrvice' の後に指定された特定のサーバー名を持っている必要があります。この名前は 8 文字以下でなければなりません。指定された名前はこの長さを超えていました。

ユーザーの処置: サーバーの開始時に正しい特定のサーバー名を指定してください。この名前は、サーバーが Component Broker シリーズ・システム管理に定義されたときに指定されました。

C9C22412

説明: すべての Component Broker シリーズ・サーバーは、入力パラメーターとしてキーワード '-ORBsrvice' の後に指定された特定のサーバー名を持っている必要があります。この名前は 8 文字以下でなければなりません。指定された名前はこの長さを超えていました。

ユーザーの処置: サーバーの開始時に正しい特定のサーバー名を指定してください。この名前は、サーバーが Component Broker シリーズ・システム管理に定義されたときに指定されました。

C9C22413

説明: すべての Component Broker シリーズ・サーバーは、入力パラメーターとしてキーワード '-ORBsrvice' の後に指定された特定のサーバー名を持っている必要があります。この名前は 8 文字以下でなければなりません。指定された名前はこの長さを超えていました。

ユーザーの処置: サーバーの開始時に正しい特定のサーバー名を指定してください。この名前は、サーバーが Component Broker シリーズ・システム管理に定義されたときに指定されました。

C9C22414

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22415

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22416

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22417

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22418

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22419

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2241A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2241B

説明: PPT::PPT(char*) で、BBO3PPT1 マクロが IEFPPSCN を呼び出すことができません。これは、APF がこのようなアクションを実行する許可を持っていないことが原因です。

ユーザーの処置: ロード・モジュールが APF 許可を持っていることを確認してください。

C9C2241C

説明: PPT エントリーの指定エラー

ユーザーの処置: PPT エントリーを訂正 - BBOSCHED

C9C2241D

説明: Component Broker シリーズ・デーモンを開始しようとしたときに、別の Component Broker シリーズ・デーモンも開始中でした。Component Broker シリーズ・デーモンは、1 つのシステムで 1 度に 1 つのみアクティブにすることができます。このデーモンはエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 同じシステムで同時に 2 つの Component Broker シリーズ・デーモンを開始しないでください。

C9C2241E

説明: Component Broker シリーズ・デーモンを開始しようとしたときに、別の Component Broker シリーズ・デーモンがアクティブでした。

Component Broker シリーズ・デーモンは、1 つのシステムで 1 度に 1 つのみアクティブにすることができます。このデーモンはエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 同じシステムで同時に 2 つの Component Broker シリーズ・デーモンを開始しないでください。

C9C2241F

説明: Component Broker シリーズ・デーモンを開始しようとしたときに、別の Component Broker シリーズ・デーモンがアクティブでした。

Component Broker シリーズ・デーモンは、1 つのシステムで 1 度に 1 つのみアクティブにすることができます。このデーモンはエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 同じシステムで同時に 2 つの Component Broker シリーズ・デーモンを開始しないでください。

C9C22420

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22421

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C22422

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22423

説明: サービス CRGRRMD から無効な戻りコードを受け取りました。

ユーザーの処置: 追加情報については、エラー・ログのメッセージ BBOU0095E を参照してください。

C9C22425

説明: サービス CTXSDTA から無効な戻りコードを受け取りました。

ユーザーの処置: 追加情報については、エラー・ログのメッセージ BBOU0095E を参照してください。

C9C22427

説明: サービス CTXBEGC から無効な戻りコードを受け取りました。

ユーザーの処置: 追加情報については、エラー・ログのメッセージ BBOU0095E を参照してください。

C9C22428

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22429

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2242A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2242B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2242C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2242D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2242E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2242F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22430

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22431

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22804

説明: RRSAF DB2 IDENTIFY 処理は、DB2 アクティブ・サーバー・リポジトリ・スレッドについて失敗しました。

ユーザーの処置: この問題およびこれに付随する情報を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C22805

説明: RRSAF DB2 SIGNON 処理は、DB2 アクティブ・サーバー・リポジトリ・スレッドについて失敗しました。

ユーザーの処置: この問題およびこれに付随する情報を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C22806

説明: RRSAF DB2 CREATE THREAD 処理は、DB2 アクティブ・サーバー・リポジトリ・スレッドについて失敗しました。

ユーザーの処置: この問題およびこれに付随する情報を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C22808

説明: RRSAF DB2 Terminate Thread 処理は、DB2 アクティブ・サーバー・リポジトリ・スレッドについて失敗しました。

ユーザーの処置: この問題およびこれに付随する情報を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C22809

説明: RRSAF DB2 Terminate Identity 処理は、DB2 アクティブ・サーバー・リポジトリ・スレッドについて失敗しました。

ユーザーの処置: この問題およびこれに付随する情報を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C2280A

説明: サポートされない daue 作業キュー・エレメント・タイプが検出されました。daue 作業キューの処理は終了します。

ユーザーの処置: この問題およびこれに付随する情報を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C2280B

説明: Component Broker シリーズ・デーモンを開始しようとしたときに、別の Component Broker シリーズ・デーモンも開始中でした。Component Broker シリーズ・デーモンは、1 つのシステムで 1 度に 1 つのみアクティブにすることができます。このデーモンはエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 同じシステムで同時に 2 つの Component Broker シリーズ・デーモンを開始しないでください。

C9C2280C

説明: Component Broker シリーズ・デーモンを開始しようとしたときに、別の Component Broker シリーズ・デーモンがアクティブでした。Component Broker シリーズ・デーモンは、1 つのシステムで 1 度に 1 つのみアクティブにすることができます。このデーモンはエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 同じシステムで同時に 2 つの Component Broker シリーズ・デーモンを開始しないでください。

エラー (マイナー) コード

C9C2280D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2280E

説明: Component Broker シリーズ・デーモンを開始しようとしたときに、別の Component Broker シリーズ・デーモンがアクティブでした。

Component Broker シリーズ・デーモンは、1 つのシステムで 1 度に 1 つのみアクティブにすることができます。このデーモンはエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 同じシステムで同時に 2 つの Component Broker シリーズ・デーモンを開始しないでください。

C9C2280F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22810

説明: 必要なプロダクト・ロード・モジュールをロードしようとして Component Broker サーバーの初期化に失敗しました。検出できなかったモジュール名に関して付随するメッセージがないか調べてください。

ユーザーの処置: 検出できなかったモジュールとその理由を判別し、問題を訂正してサーバーを再始動してください。

C9C2281A

説明: デーモンに対してサーバー名が指定されていません。

ユーザーの処置: デーモンの開始に使用されたデーモン・プロシージャーまたはパラメーターを調

べて、適切なサーバー名を指定するように訂正してください。

C9C2281B

説明: デーモン・メインルーチンによってユーザー例外がキャッチされました。

ユーザーの処置: エラー・ログを調べて、スローされた例外に関連する情報を探し、例外によって示された処置を実行してください。(このような事態が発生しないようにしてください。)

C9C2281C

説明: Component Broker シリーズのデーモン領域および制御領域の実行には許可が必要です。しかし、許可なしで実行されていることがスペースで検出されました。スペースはエラーになり終了します。

ユーザーの処置: 最も可能性の高い推定原因は、APF リストにない proc の Steplib 内のデータ・セットが考えられます。

C9C2281D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2281E

説明: DAUT スレッドの初期設定から DB/2 のセットアップに対して実行された DSNLOAD が失敗しました。例外トレースが戻りコードを伴って中断されます。

ユーザーの処置: DB/2 をセットアップする DSNLOAD に対するデーモンの呼び出しが失敗しました。例外トレースが DSNLOAD からの戻りコードを伴って中断されます。

C9C2281F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22820

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C22821

説明: DB/2 ASR テーブルの初期読み取りが失敗しました。BBODADT によって障害に関する情報がログおよびトレースされました。

ユーザーの処置: 「IBM 内部使用のみ」

C9C22822

説明: IBM ではテーブル全体をクリアしなかったため (起動している唯一のデーモンであってはなりません)、独自のシステムの残余エントリーを DB/2 ASR テーブルから削除しようとして失敗しました。この試みは失敗しました (RC が 0 または 100 ではない)。BBODADT によって障害に関する情報がログおよびトレースされました。

ユーザーの処置: 「IBM 内部使用のみ」

C9C22823

説明: DB/2 ASR テーブルに新規エントリーを追加しようとして失敗しましたが、これと一致するエントリーがすでに存在していることが判明しました。このエントリーを削除してから、再度追加を試みましたが、2 度目の追加も失敗しました。BBODADT によって障害に関する情報がログに記録されました。

ユーザーの処置: 「IBM 内部使用のみ」

C9C22824

説明: 新規エントリーを追加しようとして失敗しましたが、重複するエントリーが存在していることが判明しました。したがって、このエントリーの削除を試行しました。削除は失敗しました。

BBODADT によって障害に関する情報がログに記録されました。

ユーザーの処置: 「IBM 内部使用のみ」

C9C22825

説明: DB/2 ASR テーブルに新規エントリーを追加しようとして失敗しました。障害は「重複するエントリー」によるものではありません。BBODADT によって障害に関する情報がログに記録されました。

ユーザーの処置: 「IBM 内部使用のみ」

C9C22826

説明: DB/2 ASR エントリーを削除しようとして失敗しました。BBODADT によって障害に関する情報がログに記録されました。

ユーザーの処置: 「IBM 内部使用のみ」

C9C22827

説明: DB/2 ASR エントリーを更新しようとして失敗しました。BBODADT によって障害に関する情報がログに記録されています。

ユーザーの処置: 「IBM 内部使用のみ」

C9C22828

説明: reprime プロセス中に、特定のシステムの DB/2 からすべての ASR エントリーを読み取りようとして失敗しました。この読み取りは失敗しました。BBODADT によって障害に関する情報がログに記録されました。

ユーザーの処置: 「IBM 内部使用のみ」

エラー (マイナー) コード

C9C22829

説明: 指定されたシステムのすべてのエントリーを削除しようとしたときに、DB/2 からのエラーを検出しました。BBODADT によって障害に関する情報がログに記録されました。

ユーザーの処置: 「IBM 内部使用のみ」

C9C2282A

説明: DB/2 ASR テーブルからすべてのエントリーを削除しようとしたときに、「検出不能」以外の SQL エラーが発生しました。DB/2 エラー・テキストとともにエラー・ログ・エントリーが作成されています。SQLCODE によっては、スペースを削減するために代入する場合があります。

ユーザーの処置: エラーに関する詳細情報については、エラー・ログを調べてください。

SQLCODE が -812 または -805 の場合は、バインド対コードのタイム・スタンプ問題があるため、再バインドする必要がある場合があります。

C9C2282B

説明: 所定のシステム名の DB/2 ASR からすべてのエントリーを削除しようとしたときに、「検出不能」以外の SQL エラーが発生しました。DB/2 エラー・テキストとともにエラー・ログ・エントリーが作成されています。SQLCODE によっては、スペースを削減するために代入する場合があります。

ユーザーの処置: エラーに関する詳細情報については、エラー・ログを調べてください。

SQLCODE が -812 または -805 の場合は、バインド対コードのタイム・スタンプ問題があるため、再バインドする必要がある場合があります。

C9C2282C

説明: DB/2 ASR にエントリーを追加しようとしたときに、SQL エラーが発生しました。DB/2 エラー・テキストとともにエラー・ログ・エントリー

ーが作成されています。SQLCODE によっては、スペースを削減するために代入する場合があります。

ユーザーの処置: エラーに関する詳細情報については、エラー・ログを調べてください。

SQLCODE が -812 または -805 の場合は、バインド対コードのタイム・スタンプ問題があるため、再バインドする必要がある場合があります。

C9C2282D

説明: DB/2 ASR からエントリーを削除しようとしたときに、SQL エラーが発生しました。DB/2 エラー・テキストとともにエラー・ログ・エントリーが作成されています。SQLCODE によっては、スペースを削減するために代入する場合があります。

ユーザーの処置: エラーに関する詳細情報については、エラー・ログを調べてください。

SQLCODE が -812 または -805 の場合は、バインド対コードのタイム・スタンプ問題があるため、再バインドする必要がある場合があります。

C9C2282E

説明: DB/2 ASR のエントリーを更新しようとしたときに、SQL エラーが発生しました。DB/2 エラー・テキストとともにエラー・ログ・エントリーが作成されています。SQLCODE によっては、スペースを削減するために代入する場合があります。

ユーザーの処置: エラーに関する詳細情報については、エラー・ログを調べてください。

SQLCODE が -812 または -805 の場合は、バインド対コードのタイム・スタンプ問題があるため、再バインドする必要がある場合があります。

C9C2282F

説明: DB/2 ASR のすべてのエントリーを読み取るようとしたときに、SQL エラーが発生しました。DB/2 エラー・テキストとともにエラー・ログ・

エントリーが作成されています。SQLCODE によっては、スペースを削減するために代入する場合があります。

ユーザーの処置: エラーに関する詳細情報については、エラー・ログを調べてください。

SQLCODE が -812 または -805 の場合は、バインド対コードのタイム・スタンプ問題があるため、再バインドする必要がある場合があります。

C9C22830

説明: 1 つのシステムの DB/2 ASR のすべてのエントリーを読み取ろうとしたときに、SQL エラーが発生しました。DB/2 エラー・テキストとともにエラー・ログ・エントリーが作成されています。SQLCODE によっては、スペースを削減するために代入する場合があります。

ユーザーの処置: エラーに関する詳細情報については、エラー・ログを調べてください。

SQLCODE が -812 または -805 の場合は、バインド対コードのタイム・スタンプ問題があるため、再バインドする必要がある場合があります。

C9C22831

説明: すべての DB/2 ASR エントリーを読み取るためにカーソルを開こうとしたときに、SQL エラーが発生しました。DB/2 エラー・テキストとともにエラー・ログ・エントリーが作成されています。SQLCODE によっては、スペースを削減するために代入する場合があります。

ユーザーの処置: エラーに関する詳細情報については、エラー・ログを調べてください。

SQLCODE が -812 または -805 の場合は、バインド対コードのタイム・スタンプ問題があるため、再バインドする必要がある場合があります。

C9C22832

説明: 1 つのシステムの DB/2 ASR エントリーを読み取るためにカーソルを開こうとしたときに、SQL エラーが発生しました。DB/2 エラー・

テキストとともにエラー・ログ・エントリーが作成されています。SQLCODE によっては、スペースを削減するために代入する場合があります。

ユーザーの処置: エラーに関する詳細情報については、エラー・ログを調べてください。

SQLCODE が -812 または -805 の場合は、バインド対コードのタイム・スタンプ問題があるため、再バインドする必要がある場合があります。

C9C22833

説明: 現行のカーソル位置で DB/2 ASR エントリーを削除しようとしたときに SQL エラーが発生しました。DB/2 エラー・テキストとともにエラー・ログ・エントリーが作成されています。SQLCODE によっては、スペースを削減するために代入する場合があります。

ユーザーの処置: エラーに関する詳細情報については、エラー・ログを調べてください。

SQLCODE が -812 または -805 の場合は、バインド対コードのタイム・スタンプ問題があるため、再バインドする必要がある場合があります。

C9C22834

説明: すべての DB/2 ASR エントリーを最初に読み出すためにカーソルを開くと、エラーが発生します。BBODADT によって障害に関する情報がログに記録されました。

ユーザーの処置: 「IBM 内部使用のみ」

C9C22835

説明: sysname 指定の reprime read を実行するためにカーソルを開くと、エラーが発生します。BBODADT によって障害に関する情報がログに記録されました。

ユーザーの処置: 「IBM 内部使用のみ」

エラー (マイナー) コード

C9C22836

説明: sysname 指定の dmn down read を実行するためにカーソルを開くと、エラーが発生します。BBODADT によって障害に関する情報がログに記録されました。

ユーザーの処置: 「IBM 内部使用のみ」

C9C23000

説明: 390 StreamIO デストラクターの起動が試行されました。このデストラクターを呼び出してはなりません。IExtended390 streamIO オブジェクトはスタックに戻され、破壊されません。

ユーザーの処置: 無効な操作を呼び出したコードを探し出し、その使用法を訂正してください。

C9C23001

説明: この例外が発生した Externalization StreamIO メソッドは、誤った順序で発行されました。現行の StreamIO バッファを取得するために get_buffer_ref() メソッドが以前に発行されており、その後、StreamIO バッファを再確立するために set_buffer_ref() が発行される前に StreamIO メソッドが起動された場合にこのエラーが発生します。

ユーザーの処置: StreamIO バッファを取得するために get_buffer_ref() が発行されたときに、StreamIO バッファの再確立のために set_buffer_ref() が実行されてからその他の StreamIO メソッドを発行できるようにするため、コードを訂正してください。

C9C23002

説明: Externalization StreamIO メソッド、write_object() の呼び出しが試行されました。このメソッドは Externalization StreamIO サポートによってインプリメントされていません。

ユーザーの処置: write_object メソッドの使用をコードから除去してください。

C9C23003

説明: Externalization StreamIO メソッド、write_graph() の呼び出しが試行されました。このメソッドは Externalization StreamIO サポートによってインプリメントされていません。

ユーザーの処置: write_graph メソッドの使用をコードから除去してください。

C9C23004

説明: Externalization StreamIO メソッド、read_object() の呼び出しが試行されました。このメソッドは Externalization StreamIO サポートによってインプリメントされていません。

ユーザーの処置: read_object メソッドの使用をコードから除去してください。

C9C23005

説明: Externalization StreamIO メソッド、read_graph() の呼び出しが試行されました。このメソッドは Externalization StreamIO サポートによってインプリメントされていません。

ユーザーの処置: read_graph メソッドの使用をコードから除去してください。

C9C23007

説明: IBM フォーマット 1 の外部化で、Externalization StreamIO メソッド、read_wchar() の起動が試行されました。このメソッドは、フォーマット 1 の外部化については Externalization StreamIO サポートによってサポートされていません。

ユーザーの処置: read_wchar メソッドの使用をコードから除去するか、または IBM フォーマット 2 外部化に切り替えます。

C9C23008

説明: IBM フォーマット 1 の外部化で、Externalization StreamIO メソッド、read_wstring() の起動が試行されました。このメソッドは、フォーマット 1 の外部化については Externalization StreamIO サポートによってサポートされていません。

ユーザーの処置: read_wstring メソッドの使用をコードから除去するか、または IBM フォーマット 2 の外部化に切り替えます。

C9C23009

説明: IBM フォーマット 1 の外部化で、Externalization StreamIO メソッド、write_wchar() の起動が試行されました。このメソッドは、フォーマット 1 の外部化については Externalization StreamIO サポートによってサポートされていません。

ユーザーの処置: write_wchar メソッドの使用をコードから除去するか、または IBM フォーマット 2 の外部化に切り替えます。

C9C2300A

説明: IBM フォーマット 1 の外部化で、Externalization StreamIO メソッド、write_wstring() の起動が試行されました。このメソッドは、フォーマット 1 の外部化については Externalization StreamIO サポートによってサポートされていません。

ユーザーの処置: write_wstring メソッドの使用をコードから除去するか、または IBM フォーマット 2 の外部化に切り替えます。

C9C2300B

説明: カプセル化バッファの EncapIOP オブジェクトへの割り振りが試行されました。このオブジェクトは Externalization StreamIO サポートによって使用されています。

ユーザーの処置: この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C23101

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23102

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23103

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23104

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23105

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23106

説明: このメソッドはインプリメントされていません。

ユーザーの処置: 別のメソッドを呼び出して、実行したい操作を行ってください。

エラー (マイナー) コード

C9C23107

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23108

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23109

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2310A

説明: カプセル化データ内にワイド文字データが検出されましたが、ワイド文字の伝送コード・セットは関連セッションが確立されたときに折衝されませんでした (このため、CB/390 はこのセッションではワイド文字を伝送できません)。

ユーザーの処置: ワイド文字サポートが正しく構成されているかを検証してください。

C9C2310B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2310C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2310D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2310E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2310F

説明: カプセル化データ内またはカプセル化するデータ内で無効なマルチバイト文字値が検出されました。(これは主に、要求内に無効なマルチバイト文字が存在していること、または CORBA オブジェクトに対するメソッド呼び出しに関連した応答パラメーターが原因で発生します。)

ユーザーの処置: エラーの原因となったメソッド呼び出しに関連したワイド文字パラメーターの値を検査してください。

C9C23110

説明: ワイド文字に使用された固有コード・ページが、文字の長さが 2 以外の非バイト指向でした。

ユーザーの処置: バイト指向または非バイト指向で文字の長さが 2 であるワイド文字の固有コード・ページに切り替えます。

C9C23111

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23112

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23113

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23114

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23115

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23116

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23117

説明: データのマーシャルまたはアンマーシャルの際に、文字データに対してコード・ページ変換を行った結果、文字の長さまたは文字配列が変更されました。

ユーザーの処置: マルチバイト・コード・ページを使用している場合は、マルチバイト・データを表すために使用されている IDL タイプをストリングまたは wchar に変更してください。

C9C23118

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23119

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2311A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23401

説明: bboslloi のメソッドが予期しない例外をキャッチしました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログ、システム・ログ (SYSLOG)、またはエラー・ログで以前にキャッチされた例外を調べて、予期しない例外を識別します。

C9C23402

説明: InsertToDataStore は DB2 エラーにより失敗しました。

ユーザーの処置: sysprint に表示された DB2 エラーを参照してください。

C9C23403

説明: RetrieveFromDatastore は DB2 エラーにより失敗しました。

ユーザーの処置: sysprint に表示された DB2 エラーを参照してください。

エラー (マイナー) コード

C9C23404

説明: UpdateToDataStore は DB2 エラーにより失敗しました。

ユーザーの処置: sysprint に表示された DB2 エラーを参照してください。

C9C23405

説明: DeleteFromDataStore は DB2 エラーにより失敗しました。

ユーザーの処置: sysprint に表示された DB2 エラーを参照してください。

C9C23406

説明: InternalizeFromCopyHelper はインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このメソッドは使用しないでください。

C9C23407

説明: InternalizeFromPrimaryKey メソッドは限定エラーによって失敗しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23408

説明: InternalizeResourceMgr メソッドは限定エラーによって失敗しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23409

説明: setMixin メソッドは限定エラーによって失敗しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2340A

説明: IOR setter は IOR サイズが大きすぎたために失敗しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2340B

説明: 位置属性が大きすぎます。

ユーザーの処置: 問題を訂正して、再実行してください。

C9C2340C

説明: オブジェクトに対する `_narrow` または `_narrow_in_trans` が失敗しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23801

説明: `uninitForPassivation` は、Managed オブジェクト・イテレーターに対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: イテレーターに対してメソッドを起動しないでください。

C9C23802

説明: `initForReactivation` は、Managed オブジェクト・イテレーターに対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: イテレーターに対してメソッドを起動しないでください。

C9C23803

説明: `uninitForPassivation` は、Managed オブジェクト・ストリング・イテレーターに対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: イテレーターに対してメソッド

を起動しないでください。

C9C23804

説明: `initWithReactivation` は、`Managed` オブジェクト・ストリング・イテレーターに対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: イテレーターに対してメソッドを起動しないでください。

C9C23805

説明: カーソルが `ldap_search_s` を実行中に、LDAP によってエラーが検出されました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23806

説明: カーソルが `ldap_get_dn` を実行中に、LDAP によってエラーが検出されました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23807

説明: `new_context` が `NamingService` `NamingContext` に対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: ネーミング・コンテキストに対してメソッドを起動しないでください。

C9C23808

説明: `NamingService` ホームを見つけようとして例外が発生しました。

ユーザーの処置: ネーミングが正しく構成されていることを確認してください。

C9C23809

説明: `BindingIterator` オブジェクトを作成しようとして予期しない例外が発生しました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2380A

説明: `internalizeFromCopyHelper` は `BindingDO` に対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: `BindingDO` に対してメソッドを起動しないでください。

C9C2380B

説明: `internalizeFromCopyHelper` は `NamingContextDO` に対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: `NamingContextDO` に対してメソッドを起動しないでください。

C9C2380C

説明: `internalizeFromCopyHelper` は `BindingIteratorDO` に対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: `BindingIteratorDO` に対してメソッドを起動しないでください。

C9C2380D

説明: `insertToDataStore` は `BindingIteratorDO` に対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: `BindingIteratorDO` に対してメソッドを起動しないでください。

C9C2380E

説明: `retrieveFromDataStore` は `BindingIteratorDO` に対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: `BindingIteratorDO` に対してメソ

エラー (マイナー) コード

ッドを起動しないでください。

C9C2380F

説明: updateToDataStore は BindingIteratorDO に対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: BindingIteratorDO に対してメソッドを起動しないでください。

C9C23810

説明: deleteFromDataStore は BindingIteratorDO に対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: BindingIteratorDO に対してメソッドを起動しないでください。

C9C23811

説明: internalizeFromCopyHelper は BindingStringIteratorDO に対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: BindingStringIteratorDO に対してメソッドを起動しないでください。

C9C23812

説明: insertToDataStore は BindingStringIteratorDO に対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: BindingStringIteratorDO に対してメソッドを起動しないでください。

C9C23813

説明: retrieveFromDataStore は BindingStringIteratorDO に対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: BindingStringIteratorDO に対してメソッドを起動しないでください。

C9C23814

説明: updateToDataStore は BindingStringIteratorDO に対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: BindingStringIteratorDO に対してメソッドを起動しないでください。

C9C23815

説明: deleteFromDataStore は BindingStringIteratorDO に対してインプリメントされていません。

ユーザーの処置: BindingStringIteratorDO に対してメソッドを起動しないでください。

C9C23816

説明: NamingStringSyntax モジュールの setter 属性メソッドがインプリメントされていません。

ユーザーの処置: setter メソッドを使用して属性を変更しないでください。

C9C23817

説明: LDAP への書き込み時に、insertToDataStore がエラーを検出しました。

ユーザーの処置: LDAP 状況を調べてください。LDAP が実行され、適切に構成されていることを確認してください。

C9C23818

説明: LDAP からの読み取り時に、retrieveFromDataStore がエラーを検出しました。

ユーザーの処置: LDAP 状況を調べてください。LDAP が実行され、適切に構成されていることを確認してください。

C9C23819

説明: retrieveFromDataStore が LDAP から無効なバインディング・タイプを読み取りました。

ユーザーの処置: エントリーの作成時に適切なバインディング・タイプが挿入されたかどうかを確認してください。

C9C2381A

説明: LDAP への書き込み時に、updateToDataStore がエラーを検出しました。

ユーザーの処置: LDAP 状況を調べてください。LDAP が実行され、適切に構成されていることを確認してください。

C9C2381B

説明: LDAP エントリーの削除時に、deleteFromDataStore がエラーを検出しました。

ユーザーの処置: LDAP 状況を調べてください。LDAP が実行され、適切に構成されていることを確認してください。

C9C2381C

説明: bt() setter が無効なバインディング・タイプを入力として受け取りました。

ユーザーの処置: エントリーの作成時に適切なバインディング・タイプが挿入されたかどうかを確認してください。

C9C2381D

説明: LDAP への書き込み時に、insertToDataStore がエラーを検出しました。

ユーザーの処置: LDAP 状況を調べてください。

C9C2381E

説明: LDAP からの読み取り時に、retrieveFromDataStore がエラーを検出しました。

ユーザーの処置: LDAP 状況を調べてください。

C9C2381F

説明: retrieveFromDataStore が LDAP から無効なバインディング・タイプを読み取りました。

ユーザーの処置: エントリーの作成時に適切なバインディング・タイプが挿入されたかどうかを確認してください。

C9C23820

説明: LDAP への書き込み時に、updateToDataStore がエラーを検出しました。

ユーザーの処置: LDAP 状況を調べてください。

C9C23821

説明: LDAP エントリーの削除時に、deleteFromDataStore がエラーを検出しました。

ユーザーの処置: LDAP 状況を調べてください。

C9C23822

説明: bt() setter が無効なバインディング・タイプを入力として受け取りました。

ユーザーの処置: エントリーの作成時に適切なバインディング・タイプが挿入されたかどうかを確認してください。

C9C23823

説明: ルート・ネーミング・コンテキストを見つけようとして例外が発生しました。

ユーザーの処置: ネーミングが正しく構成されているかどうか確認してください。

C9C23824

説明: 一時イテレーター・オブジェクトを作成しようとして例外が発生しました。

エラー (マイナー) コード

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23825

説明: `initForReactivation` は `BindingIteratorBO` でインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスに対して `initForReactivation` を起動しないでください。

C9C23826

説明: `uninitForPassivation` は `BindingIteratorBO` でインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスに対して `uninitForPassivation` を起動しないでください。

C9C23827

説明: `initForReactivation` は `BindingStringIteratorBO` でインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスに対して `initForReactivation` を起動しないでください。

C9C23828

説明: `uninitForPassivation` は `BindingIteratorBO` でインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスに対して `uninitForPassivation` を起動しないでください。

C9C23829

説明: `_narrow` (または `_narrow_in_trans`) がゼロの値を戻しました。

ユーザーの処置: 正しいデータ・タイプに限定していることを確認してください。弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23830

説明: ネーミング上の致命的エラー

ユーザーの処置: さらに詳しい調査が必要です。弊社営業担当員に連絡してください。

C9C23831

説明: 固有ネーミング・コンテキストをアンバインドできません。この結果、孤立ネーム・スペースが作成されます。

ユーザーの処置: 固有の 390 ベースのネーミング・コンテキストに対してアンバインドを起動しないでください。

C9C24002

説明: デフォルトのアイデンティティーが許可されていますが、このサーバーにはデフォルトのアイデンティティーが定義されていません。許可は拒否されています。

ユーザーの処置: このサーバーにデフォルトのアイデンティティーを定義するようにシステム管理を構成してください。

C9C24003

説明: セキュリティー・コンテキストに無効な長さのユーザー ID が提供されました。許可が拒否されました。

ユーザーの処置: クライアントに対する ORB 要求では、8 文字のストリング (8 文字以下のユーザー ID の場合は空白を埋め込む) を提供する必要があります。

C9C24004

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24005

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24006

説明: クライアント ID には、このサーバーをバインドする RACF 許可がありません。

ユーザーの処置: 必要な RACF 許可を取得して、要求 (CB.BIND.servername) を再実行依頼してください。

C9C24007

説明: これは単一クライアント・セッションであり、要求のクライアント ID が直前の要求の ID と一致しません。単一クライアント・セッションにつき 1 つのクライアントのみが許可を持つことができます。

ユーザーの処置: 複数クライアント・セッションに変更するために RACF 許可を変更するか、または単一クライアント・セッションの同じクライアントからの要求をすべて実行依頼します。

C9C24008

説明: SecurityAttributeType AuditId は、SecurityLevel1::get_attributes() クラスで有効な SecurityAttributeType としてインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこの SecurityAttribute タイプを要求しないでください。

C9C24009

説明: SecurityAttributeType AccountingId は、SecurityLevel1::get_attributes() クラスで有効な SecurityAttributeType としてインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこの

SecurityAttribute タイプを要求しないでください。

C9C2400A

説明: SecurityAttributeType NonRepudiationId は、SecurityLevel1::get_attributes() クラスで有効な SecurityAttributeType としてインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこの SecurityAttribute タイプを要求しないでください。

C9C2400B

説明: SecurityAttributeType GroupId は、SecurityLevel1::get_attributes() クラスで有効な SecurityAttributeType としてインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこの SecurityAttribute タイプを要求しないでください。

C9C2400C

説明: SecurityAttributeType Role は、SecurityLevel1::get_attributes() クラスで有効な SecurityAttributeType としてインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこの SecurityAttribute タイプを要求しないでください。

C9C2400D

説明: SecurityAttributeType AttributeSet は、SecurityLevel1::get_attributes() クラスで有効な SecurityAttributeType としてインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこの SecurityAttribute タイプを要求しないでください。

C9C2400E

説明: SecurityAttributeType Clearance は、クラスで有効な SecurityAttributeType としてインプリメントされていません。

エラー (マイナー) コード

ユーザーの処置: このクラスでこの SecurityAttribute タイプを要求しないでください。

C9C2400F

説明: SecurityAttributeType Capability は、SecurityLevel1::get_attributes() クラスで SecurityAttributeType としてインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこの SecurityAttribute タイプを要求しないでください。

C9C24010

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24011

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24012

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24013

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24014

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24015

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24016

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24017

説明: セッション所有者は複数クライアントをこのサーバーに渡すための RACF 許可を持っていません。

ユーザーの処置: 必要な RACF 許可 (CONTROL) を取得して、要求 (CB.BIND.servername) を再実行依頼してください。

C9C24018

説明: クライアント ID には、この <serverName.homeName> を実行するための RACF 許可がありません。

ユーザーの処置: 必要な RACF 許可を取得して、要求を再実行依頼してください。

C9C24019

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2401A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2401B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2401C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2401D

説明: クライアント ID には、このサーバーで実行するための RACF 許可がありません。

ユーザーの処置: 必要な RACF 許可を取得して、要求を再実行依頼してください。注: DCE の場合、認証によって DCE プリンシパルが有効にマップされます。外部 DCE セルからの MVS ユーザー ID Clients は、許可されません。

C9C2401E

説明: ユーザー ID およびパスワードを含んでいると想定されるセキュリティ・コンテキストに提供されたパスワードはありませんでした。

ユーザーの処置: デフォルトのユーザー ID を使用して実行している場合は、デフォルト・パスワードが設定されているかどうかを確認してください。

C9C2401F

説明: SecurityAttributeType Public は、SecurityLevel1::get_attributes() クラスで有効な SecurityAttributeType としてインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこの SecurityAttribute タイプを要求しないでください。

C9C24020

説明: SecurityLevel2::Credentials の copy メソッドはインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこのメソッドを要求しないでください。

C9C24021

説明: SecurityLevel2::Credentials の set_security_features メソッドはインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこのメソッドを要求しないでください。

C9C24022

説明: SecurityLevel2::Credentials の get_security_features メソッドはインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこのメソッドを要求しないでください。

C9C24023

説明: SecurityLevel2::Credentials の is_valid メソッドはインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこのメソッドを要求しないでください。

C9C24024

説明: SecurityLevel2::Credentials の refresh メソッドはインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこのメソッドを要求しないでください。

C9C24025

説明: このサーバーは DCE セキュリティーを使用する必要があるが、サーバーの始動時に DCE セキュリティー・サービスが利用不能であったこ

エラー (マイナー) コード

とが SCO 情報によって示されました。

ユーザーの処置: サーバー・ログのメッセージを調べて、このサーバーが DCE セキュリティー・サービスにアクセスできなかった理由を判別してください。これらのメッセージに基づいて適切な修正処置を実行し、操作を再試行してください。

C9C24026

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24027

説明: DCE PRINCIPAL が MVS ユーザー ID にマップされていません。

ユーザーの処置: 「プリンシパル UUID を RACF の MVS ID マップにセットアップしてください」

C9C24028

説明: ネイティブ・セキュリティーのバージョンが予期したバージョン番号と一致していません。

ユーザーの処置: クライアントおよびサーバーのセキュリティー・バージョンを調べてください。

C9C24029

説明: ロー・クライアント実行保護コード (未加工コード)

ユーザーの処置: クライアント・コードを修正してください。

C9C2402A

説明: サーバーが非サーバー・コードを実行しようとしています。

ユーザーの処置: サーバー・コードを修正してください。

C9C2402B

説明: ネイティブ・セキュリティー・コンテキストがリモート側で送信されました。

ユーザーの処置: 実行可能な外部ハッキングが試行されました。

C9C2402C

説明: ネイティブ・セキュリティー・コンテキストがリモート側で送信されました。

ユーザーの処置: 実行可能な外部ハッキングが試行されました。

C9C2402D

説明: Get Transportable Identity がヌルを戻しました。

ユーザーの処置: IBM 内部の問題

C9C2402E

説明: Get Transportable Identity がヌルを戻しました。

ユーザーの処置: IBM 内部の問題

C9C2402F

説明: 非拒絶証明書タイプがインプリメントされていません。

ユーザーの処置: この証明書タイプは要求しないでください。

C9C24030

説明: 要求がサーバー領域から発信されましたが、ネイティブ・セキュリティー・コンテキストが存在しません。get_userid() メソッドが発生元です。

ユーザーの処置: ORB は、サーバーの ORBR からネイティブ・セキュリティー CTX をコピーして、サーバーからのアウトバウンド・フローで

CTL の ORBR に戻しています。コピーの実行前にサーバー領域が異常終了したかどうかを確認してください。

C9C24031

説明: 要求がサーバー領域から発信されましたが、ネイティブ・セキュリティ・コンテキストが存在しません。get_userid_build_ctx() メソッドが発生元です。

ユーザーの処置: ORB は、サーバーの ORBR からネイティブ・セキュリティ CTX をコピーして、サーバーからのアウトバウンド・フローで CTL の ORBR に戻しています。コピーの実行前にサーバー領域が異常終了したかどうかを確認してください。

C9C24032

説明: クライアント ID には、このサーバーを使用するための RACF 許可がありません。

ユーザーの処置: 必要な RACF 許可を取得して、要求 (CB.servername) を再実行依頼してください。

C9C24033

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24035

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24036

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24037

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24038

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24039

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2403A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2403B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2403C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2403D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C2403E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2403F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24040

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24041

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24043

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24044

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24045

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24046

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24048

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24049

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2404A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2404B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2404C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2404E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2404F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24050

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24051

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24052

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24054

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24055

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24056

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24057

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24058

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2405A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2405B

説明: クライアントがサーバーを検査しようとしたときに、相互認証が失敗しました。

ユーザーの処置: サーバーを調べてください。

C9C2405D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2405E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2405F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C24060

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24061

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24062

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24063

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24064

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2406A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24070

説明: このクライアントに対する認証がありません。

ユーザーの処置:

C9C24071

説明: クライアントを認証しようとして失敗しました。

ユーザーの処置:

C9C24073

説明: クライアントは、サーバーとの DCE 保護会話を DCE 品質の保護レベルで開始しようとしています。このレベルは、システム管理者によってこのサーバーに設定されたレベルを下回ります。サーバーは無許可例外をクライアントに戻します。

ユーザーの処置: クライアントは、DCE 保護会話の開始に使用する保護の品質を上げることができます。あるいは、サーバーがクライアントの要求する保護レベルに一致するように自身の設定レベルを下げるすることができます。サーバーは、クライアントが要求した DCE 品質の保護レベルが自身の保護品質設定と等しいか、またはこれを超える場合は、クライアントが要求した DCE 品質の保護レベルを優先します。保護レベルのサーバー品質は、システム管理ユーザー・インターフェースによって制御されます。保護レベルのクライアント品質は、システム管理ユーザー・インターフェースによって設定されるか、または OS/390 で環境変数 CLIENT_DCE_QOP を使用して設定されます。

C9C24074

説明: DCE セキュリティーを使用してサーバーへの要求を開始しようとしているときに、クライアント・プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C24075

説明: DCE セキュリティーを使用したサーバーへの要求中に、クライアント・プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C24076

説明: SSL を介して DCE セキュリティーを使用したサーバーとの相互認証を試行中に、クライアント・プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: 指定された DCE プリンシパルまたは DCE パスワード (あるいはその両方) が無効であったため、要求はおそらく失敗しました。REM_DCEPRINCIPAL または REM_DCEPASSWORD (あるいはその両方) を再指定して、再試行してください。

C9C24077

説明: SSL ハンドシェイク処理中に、サーバーによって SSL クライアント証明書が受信されました。この証明書を解決してアイデンティティーを確認することはできません。

ユーザーの処置: SSL クライアント証明書はおそらくサーバー鍵リングには存在しないため、S/390 でのアイデンティティーに変換することができません。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24080

説明: 不明なセキュリティー・メソッドを使用したサーバーへの要求中に、クライアント・プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: これは内部エラーです。この問

題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C24081

説明: DCE セキュリティーを使用したサーバーとの相互認証を試行中に、クライアント・プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C24082

説明: RACF - パラメーター・リスト (PLIST) エラーが発生しました。

ユーザーの処置:

C9C24083

説明: RACF - RACF 処理中に内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置:

C9C24084

説明: RACF - リカバリー環境を確立できませんでした。

ユーザーの処置:

C9C24085

説明: RACF - ユーザー ID が RACF に定義されていません。

ユーザーの処置:

エラー (マイナー) コード

C9C24086

説明: RACF - パスワードまたはパスチケットが無効です。

ユーザーの処置:

C9C24087

説明: RACF - パスワードの有効期限が切れています。

ユーザーの処置:

C9C24088

説明: RACF - ユーザー ID が取り消されました。

ユーザーの処置:

C9C24089

説明: RACF - ユーザーが許可されていません。

ユーザーの処置:

C9C2408A

説明: RACF - 証明書が無効です。

ユーザーの処置:

C9C2408B

説明: ユーザー ID がこの証明書に対して定義されていないか、証明書の状況が NOTRUST です。

ユーザーの処置:

C9C2408C

説明: NatSecCtx_Auth のセッション ID が NULL です。

ユーザーの処置:

C9C2408D

説明: アドレス・スペースで MethAuthCheck が BACB なしで発行されました。

ユーザーの処置:

C9C2408E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2408F

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24090

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24091

説明: クライアントは DCE 品質の機密保護設定を有していますが、ターゲット・サーバーは DCE セキュリティーをサポートしていません。Component Broker のワークステーション版では、サーバーは DCE セキュリティーをサポートしているかしていないかにかかわらず、サポートしていると公示します。ターゲット・サーバーが DCE セキュリティーを公示しているが、実際にはサポートしていないことが明確な場合は、OS/390 クライアントはどの DCE 品質の保護をクライアントが要求したのかを調べます。機密性の保護であった場合は、要求がこの例外とともに終了します。クライアントに他の DCE 品質保護設定がある場合は、要求はセキュリティなしで引き続き処理されます。

ユーザーの処置: クライアントが機密性保護設定

の品質による DCE セキュリティーを必要としている場合は、ターゲット・サーバーの管理者はサーバーの DCE セキュリティーを使用可能にする必要があります。クライアントが機密性保護設定の品質による DCE セキュリティーを必要としない場合は、環境変数 `CLIENT_DCE_QOP` を `CONFIDENTIALITY` 以外の任意の値に設定できます。このようにして保護の品質を低下させた場合、要求は継続しますが、要求に対してセキュリティーを使用することはできません。

C9C24092

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24093

説明: DCE セキュリティーを使用したサーバーとの相互認証を試行中に、クライアント・プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C24094

説明: DCE セキュリティーを使用したサーバーとの相互認証を試行中に、クライアント・プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C24095

説明: クライアントの初期メッセージへのサーバーの応答に DCE コンテキストが含まれていなかったため、クライアントは DCE 相互認証プロセスを完了できませんでした。

ユーザーの処置: この例外の前に発行された可能性のあるメッセージを調べてください。これらのメッセージは問題の発生元を示しています。

BBOU0334I メッセージがある場合、クライアントはサーバーのアイデンティティーを検証することができませんでした。メッセージ **BBOU0397E** は、サーバーがクライアントのアイデンティティーを検証できなかったことを示します。

C9C24096

説明: クライアントの初期メッセージへのサーバーの応答にセッション ID が含まれていません。これは、サーバーがこのクライアントとのセッションに同意しなかったことを示しています。クライアントに戻されたサーバー例外を調べてください。

ユーザーの処置: 必要な RACF 許可がサーバーで確立されているかどうかを検査してください。確立されていない場合は、必要な RACF 許可を取得して要求 (`CB.servername`) を再実行依頼してください。

C9C24097

説明: クライアントの初期メッセージへのサーバー応答は、すでにこのクライアントによって処理されています。

ユーザーの処置: クライアントとサーバー間のハンドシェークのシーケンスが誤っています。要求を再実行依頼してください。

C9C24098

説明: サーバーは、DCE 相互認証プロセスの一部としてクライアントのアイデンティティーを検

エラー (マイナー) コード

証できませんでした。この例外は、最初は失敗した `gss_accept_sec_context()` `GSS_API` 呼び出しに対する応答としてサーバーによって発行されました。サーバーのメッセージ・ログに、この呼び出しによって戻された `GSS_API` メジャー状況コードとマイナー状況コードとともにメッセージが表示されます。

ユーザーの処置: 戻される状況コードの説明については、「OS/390 DCE メッセージおよびコード」を参照してください。戻された状況コードに基づいて適切な処置を実行し、クライアントに要求を再試行させてください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。参照資料:「OS/390 V2R7.0 DCE Messages and Codes (SC28-1591-06)」

C9C24099

説明: セキュリティー・コンテキストにアウトバウンド要求を作成中に `getTransportableIdentity()` が呼び出されたときの、オリジナルのインバウンド・クライアント用の `OPI` の現行 `RACO` ポインターの戻り値が `NULL` です。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C2409A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2409B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2409C

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2409D

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2409E

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2409F

説明: Authentication オブジェクトの作成中に DEC 相互認証プロセスでエラーが発生しました。または、DCE 初回メッセージ・ハンドシェイクに問題があります。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240A0

説明: DCE 初回メッセージが処理されたあとの DCE 相互認証プロセスで認証クラスが検出されませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240A1

説明: サーバーが非サーバー・コードを実行しようとしています。

ユーザーの処置: サーバー・コードを修正してください。

C9C240A2

説明: サーバーが非サーバー・コードを実行しようとしています。

ユーザーの処置: サーバー・コードを修正してください。

C9C240A3

説明: サーバーが非サーバー・コードを実行しようとしています。

ユーザーの処置: サーバー・コードを修正してください。

C9C240A4

説明: サーバーが非サーバー・コードを実行しようとしています。

ユーザーの処置: サーバー・コードを修正してください。

C9C240A5

説明: サーバーが非サーバー・コードを実行しようとしています。

ユーザーの処置: サーバー・コードを修正してください。

C9C240A6

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240A7

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240A8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240A9

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240AA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240AB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240AC

説明: クライアントがサーバーを検査しようとしたときに、相互認証が失敗しました。

ユーザーの処置: サーバーを調べてください。

C9C240AD

説明: クライアントがサーバーを検査しようとしたときに、相互認証が失敗しました。

ユーザーの処置: サーバーを調べてください。

エラー (マイナー) コード

C9C240AE

説明: クライアントがサーバーを検査しようとしたときに、相互認証が失敗しました。

ユーザーの処置: サーバーを調べてください。

C9C240AF

説明: SecurityAttributeType AuditId は、SecurityLevel1::get_attributes() クラスで有効な SecurityAttributeType としてインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこの SecurityAttribute タイプを要求しないでください。

C9C240B0

説明: SecurityAttributeType AuditId は、SecurityLevel1::get_attributes() クラスで有効な SecurityAttributeType としてインプリメントされていません。

ユーザーの処置: このクラスでこの SecurityAttribute タイプを要求しないでください。

C9C240B1

説明: セキュリティー・メソッド convertToSessionID の保管 RACO ポインターの更新中にエラーが発生しました。メモリーをポインターに割り振ることができなかった可能性があります。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて、更新が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240B2

説明: ORB 要求にクライアント・セキュリティー・コンテキストが提供されておらず (したがっ

てアイデンティティーも提供されていない)、デフォルトのアイデンティティーはこのサーバーについて許可されていません。許可は拒否されています。

ユーザーの処置: クライアント ORB 要求のセキュリティー・コンテキストにセキュリティー・アイデンティティーの確認を含める必要があるか、またはシステム管理者が未定義のユーザーを許可するようにシステム管理者を構成する必要があります。

C9C240B3

説明: このサーバーに送信された ORB 要求にはクライアント・ユーザー ID のみが提供されています。サーバーにアクセスするには、クライアントはユーザー ID 以外のもの (パスワードなど) も提供する必要があります。許可は拒否されています。

ユーザーの処置: クライアント ORB 要求には完全なセキュリティー・コンテキストを含める必要があります。

C9C240B4

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240B5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240B6

説明: SSL タイプ 1 アソシエーション完了サービス・コンテキストがサーバーによって検出されましたが、対応する認証セグメントがありません。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求

が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240B7

説明: SSL タイプ 1 サービス・コンテキストが ASSOC_COMPLETE または MUTUAL AUTH 以外の msgtype とともにサーバーによって受信されました。

ユーザーの処置: 非互換のクライアントまたはサーバー構成を使用している可能性があります。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240B8

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240B9

説明: SSL セッションのアイデンティティ確認機構が更新権限を付与されていなかったため、表明されたアイデンティティを伝搬する許可を持っていません。

ユーザーの処置: セッションのアイデンティティ確認機構が表明されたアイデンティティを伝搬する許可を持つ必要があるかどうかを確認し、必要な場合はアイデンティティ更新権限を与えてください。SSL セッションのアイデンティティ確認機構がすでに更新権限を持っている場合は、それを技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240BA

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240BB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240BC

説明: SSL セッションは表明済みアイデンティティサービスを受け取りましたが、これは受け入れられません。アイデンティティがターゲット・ホストで認識されないか、またはこのサーバーがアイデンティティを表明する許可をターゲット・サーバーから与えられていません。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーの CB.BIND を検査して、このクライアントまたはサーバーに対して表明されたアイデンティティを使用不可にすることを検討してください。

C9C240C0

説明: サーバーとの認証試行中にクライアント・プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240C1

説明: サーバーとの認証試行中にクライアント・プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエ

エラー (マイナー) コード

ラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240C2

説明: サーバーとの認証試行中にクライアント・プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240C3

説明: セキュリティー・メソッド createOutbound の Outbound_UseridInfo 構造の更新中にエラーが発生しました。メモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて、更新が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240C4

説明: セキュリティー・メソッド createOutbound の Outbound_UseridInfo 構造の更新中にエラーが発生しました。メモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて、更新が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240C5

説明: セキュリティー・メソッド createOutbound の SupportedSecurities 構造の更新中にエラーが発生しました。メモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて、更新が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240C6

説明: プロセスは、要求に関連した SSL Kerberos セキュリティー・コンテキストの検出に失敗しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240C7

説明: セキュリティー・メソッド KRBAuth で Kerberos セッション ID へのストリングの割り振り中にエラーが発生しました。メモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて、更新が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240C8

説明: SSL を介して Kerberos GSS_API セキュリティーを使用したサーバーとの認証を試行中

に、クライアント・プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: 接続サーバーのメッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出した情報に基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240C9

説明: セキュリティー・メソッド `createSSLKRBGSSAPIAuthenticationContext` で Kerberos 名のストリングの更新中にエラーが発生しました。メモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて、更新が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240CA

説明: セキュリティー・メソッド `createSSLKRBGSSAPIAuthenticationContext` の Kerberos GSS_API サービス・コンテキストの更新中にエラーが発生しました。メモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて、更新が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240CB

説明: セキュリティー・メソッド `initKRB` の Kerberos 名のストリングの更新中にエラーが発生しました。メモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて、更新が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240CC

説明: セキュリティー・メソッド `KRBAuth` の Kerberos セキュリティー・コンテキストへのストリングの割り振り中にエラーが発生しました。サーバーにメモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて、更新が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240CD

説明: `DCE api gss_init_sec_context` 内のエラー

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240CE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240CF

説明: SSL Kerberos GSS_API コンテキスト処理中のエラー。コンテキストに含まれたセッション ID がサーバーによって使用中であり、このコン

エラー (マイナー) コード

テキストには GSS_API トークンが含まれていません。

ユーザーの処置: クライアント・プロセスによって送信されたコンテキストを検討してください。コンテキストに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240D0

説明: リクエストはこの要求を行う許可を持っていません。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡してこのサービスに対する許可を要求し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240D2

説明: サーバーのメモリー不足により、リクエストは Kerberos 認証テストに失敗しました。

ユーザーの処置: サーバー・ログを調べて、Kerberos 認証に失敗した理由を確認してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240D3

説明: サーバーとの認証試行中にクライアント・プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240D4

説明: サーバーとの認証試行中にクライアント・プロセスが失敗しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者または弊社営業担当員に報告してください。

C9C240D5

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240D6

説明: サーバーがクライアント・コンテキストを受け入れようとしたときにエラーが発生しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者に報告するか、または弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240D7

説明: サーバーがセキュリティー・コンテキストからプリンシパル名を抽出しようとしたときにエラーが発生しました。

ユーザーの処置: メッセージ・ログを調べて要求が失敗した理由を検討してください。検出したエラー・メッセージに基づいて適切な処置を実行し、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者に報告するか、または弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240D8

説明: セキュリティー・コンテキストから抽出された Kerberos プリンシパル名が長すぎます。

ユーザーの処置: プリンシパル名を訂正して、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者に報告するか、または弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240D9

説明: Kerberos プリンシパル名に「アット」マークが含まれていません (プリンシパル名は `principallm` の形式である必要があります)。

ユーザーの処置: プリンシパル名を訂正して、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者に報告するか、または弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240DA

説明: Kerberos 認証中に、Kerberos プリンシパルと RACF ユーザー ID 間のマッピングがなかったため、Component Broker は Kerberos プリンシパルに関連した SAF ユーザーを取得できませんでした。

ユーザーの処置: セキュリティー管理者に連絡して、Kerberos プリンシパルを RACF ユーザー ID にマップしてください。SAF コードと RACF コードは「OS/390 Security server (RACF) 呼び出し可能サービス」に記載されています。プリンシパルをマップしてから、要求を再試行してください。問題が解消しない場合は、この問題を技術担当者に報告するか、または弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240DB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240DC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240DD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240DE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C240DF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24401

説明: Repository PK `relativename()` での内部エラー

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24402

説明: Repository PK `relativename()` での内部エラー

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24403

説明: Repository PK `internalize_from_stream` での内部エラー。

エラー (マイナー) コード

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24404

説明: PrimitiveDef PK internalize_from_stream での内部エラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24405

説明: StringDef PK internalize_from_stream での内部エラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24406

説明: SequenceDef PK internalize_from_stream での内部エラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24407

説明: ArrayDef PK internalize_from_stream での内部エラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24408

説明: WstringDef PK internalize_from_stream での内部エラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24410

説明: ModuleDefCopy internalize_from_stream での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24411

説明: ConstantDefCopy internalize_from_stream での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24412

説明: StructDefCopy internalize_from_stream での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24413

説明: UnionDefCopy internalize_from_stream での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24414

説明: EnumDefCopy internalize_from_stream での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24415

説明: AliasDefCopy internalize_from_stream での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24416

説明: ExceptionDefCopy internalize_from_stream での予期しないエラー

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24417

説明: AttributeDefCopy internalize_from_stream での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24418

説明: OperationDefCopy internalize_from_stream での予期しないエラー

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24419

説明: InterfaceDefCopy internalize_from_stream での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2441A

説明: ConstantDefCopy externalize_to_stream での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2441B

説明: ConstantDefCopy externalize_to_stream での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2441C

説明: ConstantDefCopy internalize_from_stream での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2441D

説明: ConstantDefCopy internalize_from_stream での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24480

説明: InternalizeFromCopyHelper はリポジトリ DO でインプリメントされていません。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24481

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24482

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24483

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24484

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

エラー (マイナー) コード

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24485

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24486

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24487

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24488

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24489

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2448A

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2448B

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2448C

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2448D

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2448E

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2448F

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24490

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24491

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24492

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24493

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24494

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24495

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24496

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24497

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24498

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24499

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2449A

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2449B

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2449C

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

エラー (マイナー) コード

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2449D

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2449E

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2449F

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244A0

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244A1

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244A2

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244A3

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244A4

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244A5

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244A6

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244A7

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244A8

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244A9

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244AA

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244AB

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244AC

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244AD

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244AE

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244AF

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244B0

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244B1

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244B2

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244B3

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244B4

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

エラー (マイナー) コード

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244B5

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244B6

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244B7

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244B8

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244B9

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244BA

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244BB

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244BC

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244BD

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244BE

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244BF

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C244C0

説明: リポジトリ DO からの LDAP 重複オブジェクト。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24500

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24501

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24502

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24503

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24504

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24505

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24506

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24507

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24508

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24509

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C2450A

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C2450B

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C2450C

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

エラー (マイナー) コード

C9C2450D

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C2450E

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C2450F

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24510

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24511

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24512

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24513

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24514

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24515

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24516

説明: bbopboi no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24600

説明: bbopbase no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24601

説明: bbopbase no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24602

説明: bbopbase no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24603

説明: bbopbase no impl

ユーザーの処置: このメソッドを起動しないでください。

C9C24604

説明: `InterfaceRepository_Contained()` での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24605

説明: `InterfaceRepository_Contained::id()` での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24606

説明: `InterfaceRepository_Contained::defined_in ()` での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24607

説明:
`InterfaceRepository_Container::create_module()` での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24608

説明:
`InterfaceRepository_Container::create_module()` での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24609

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2460A

説明: `InterfaceRepository_Container::create_union()` での予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2460B

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2460C

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2460D

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2460E

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2460F

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24610

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C24611

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24612

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24613

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24614

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24615

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24616

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24617

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24618

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24619

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2461A

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2461B

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2461C

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2461D

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24700

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24701

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24702

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24703

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24704

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24705

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24706

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24707

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24708

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24709

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2470A

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2470B

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2470C

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2470D

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2470F

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C24710

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24711

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24712

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24713

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24714

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24715

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24716

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24717

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24718

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24719

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2471A

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2471B

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2471C

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2471D

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2471F

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24720

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24721

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24722

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24723

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24724

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24725

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24726

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24727

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24728

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24729

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2472A

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2472B

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2472C

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C2472D

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2472F

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24730

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24731

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24732

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24733

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24734

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24735

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24736

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24737

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24738

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24739

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2473A

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2473B

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2473C

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2473D

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2473F

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24740

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24741

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24742

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24743

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24744

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24745

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24746

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24747

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24748

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24749

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2474A

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C2474B

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2474C

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2474D

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2474F

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24750

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24751

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24752

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24753

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24754

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24755

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24756

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24757

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24758

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24759

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2475A

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2475B

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2475C

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2475D

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2475F

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24760

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24761

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24762

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24763

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24764

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24765

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24767

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24768

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24769

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C2476A

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2476B

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2476C

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2476D

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2476F

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24770

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24771

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24772

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24773

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24774

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24775

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24776

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24777

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24778

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24779

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2477A

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2477B

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2477C

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2477D

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2477F

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24780

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24781

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24782

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24783

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24784

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24785

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24786

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24787

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C24788

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24789

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2478A

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2478B

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2478C

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2478D

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2478F

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24790

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24791

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24792

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24793

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24794

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24795

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24796

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24797

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24798

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24799

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2479A

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2479B

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2479C

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2479D

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2479F

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247A0

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247A1

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247A2

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247A3

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247A4

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247A5

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C247A6

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247A7

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247A8

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247A9

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247AA

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247AB

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247AC

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247AD

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247AF

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247B0

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247B1

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247B2

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247B3

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247B4

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247B5

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247B6

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247B7

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247B8

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247B9

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247BA

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247BB

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247BC

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247BD

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247BF

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247C0

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247C1

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247C2

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247C3

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C247C4

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247C5

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247C6

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247C7

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247C8

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247C9

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247CA

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247CB

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247CC

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247CD

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247CF

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247D0

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247D1

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247D2

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247D3

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247D4

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247D5

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247D6

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247D7

説明: 予期しないエラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247F0

説明: IR Bootstrap での予期しない内部エラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247F1

説明: IR Bootstrap での予期しない内部エラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247F2

説明: IR Bootstrap での予期しない内部エラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C247F3

説明: IR Bootstrap での予期しない内部エラー。

ユーザーの処置: 資料を収集して、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24801

説明: インターフェース・リポジトリへのアクセス中にエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 詳しくは、エラー・ログを調べてください。

C9C24802

説明: 照会コンポーネントでプログラム・エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 詳細をエラー・ログで調べて、エラーを技術担当者に報告してください。

C9C24803

説明: 照会コンポーネントはデータベース接続を確立できませんでした。

ユーザーの処置: 詳しくはエラー・ログを調べてください。

C9C24804

説明: IM は Query Evaluator Home を作成できません。

ユーザーの処置: 詳しくはエラー・ログを調べてください。

エラー (マイナー) コード

C9C24805

説明: IM は Query Iterator Home を作成できません。

ユーザーの処置: 詳しくはエラー・ログを調べてください。

C9C24806

説明: IM は Query IDataArrayIterator Home を作成できません。

ユーザーの処置: 詳しくはエラー・ログを調べてください。

C9C24C01

説明: 無効な状態にあるときに、アダプター・コードが呼び出されました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24C02

説明: アダプター・コードは、無効な入力パラメーターを受け取りました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24C03

説明: アダプターはアダプター・リソース・マネージャーに限定することができません。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24C04

説明: アダプター・コードは未知の予期しない割り込みを受けました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C24C05

説明: APPC を使用するアダプター・コードは会話の割り振りに失敗しました。

ユーザーの処置: APPC 構成を検査して、2 つの LU 間に APPC 接続が存在することを確認してください。追加の APPC 診断情報については、Component Broker のエラー・ログを調べてください。

C9C24C06

説明: APPC 送信サービスの起動中に、APPC を使用するアダプター・コードに障害が発生しました。

ユーザーの処置: APPC 診断情報については、Component Broker のエラー・ログを調べてください。

C9C24C07

説明: APPC 受信サービスの起動中に、APPC を使用するアダプター・コードに障害が発生しました。

ユーザーの処置: APPC 診断情報については、Component Broker のエラー・ログを調べてください。

C9C24C08

説明: APPC 確認型サービスの起動中に、APPC を使用するアダプター・コードに障害が発生しました。

ユーザーの処置: APPC 診断情報については、Component Broker のエラー・ログを調べてください。

C9C24C09

説明: APPC 割り振り解除サービスの起動中に、APPC を使用するアダプター・コードに障害が発生しました。

ユーザーの処置: APPC 診断情報については、Component Broker のエラー・ログを調べてください。

C9C25001

説明: コレクションについて要求された操作は完了しませんでした。これは、コレクションに割り振られるカーソルの最大限度 (256) を超えたためです。

ユーザーの処置: どのアプリケーションがコレクション・カーソルを保持しているかを検査し、コレクション・イテレーターを解放しないでください。このアプリケーションを終了してください。操作を再試行してください。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C257F4

説明: ORB は、ローカル・モード RMI/IIOP スタブをロードしようとしているときに NULL のリモート・インプリメンテーションを J2EE コンテナから受け取りました。

ユーザーの処置: サーバーの SYSOUT (システム出力ストリーム) で Java スタック・トレースを検索して、実際に発生した例外を判別してください。

C9C257F3

説明: ORB は、ローカル・モード RMI/IIOP スタブをロードしようとしているときに J2EE コンテナから例外を受け取りました。

ユーザーの処置: サーバーの SYSOUT (システム出力ストリーム) で Java スタック・トレースを検索して、実際に発生した例外を判別してください。

C9C257F2

説明: `resolve_initial_references()` メソッドが、singleton ORB がインプリメントしていない singleton Java ORB に駆動されました。

ユーザーの処置: ありません。

C9C257F1

説明: `string_to_object` メソッドに NULL ストリングが渡されました。

ユーザーの処置: アプリケーションを訂正してください。

C9C257F0

説明: `string_to_object` メソッドに stringified IOR ではないストリングが渡されました。

ユーザーの処置: アプリケーションを訂正してください。

C9C257EF

説明: `string_to_object` メソッドに長さゼロのストリングが渡されました。

ユーザーの処置: アプリケーションを訂正してください。

C9C257CE

説明: J2EE 要求を実行しようとしたときに、J2EE コンテナがヌルのリモート・インプリメンテーションを戻しました。

ユーザーの処置: サーバーの SYSOUT (システム出力ストリーム) で Java スタック・トレースを検索して、例外を IBM に報告してください。

C9C257CD

説明: `get_interface()` メソッドは使用すべきではなく、J2EE コンポーネントに対してサポートされていません。

ユーザーの処置: アプリケーションを訂正してください。

エラー (マイナー) コード

C9C257CC

説明: J2EE 要求が、ターゲット・オブジェクトがサポートしていないメソッド名とともに受信されました。クライアントの RMI/IIOP スタブがサーバーの RMI/IIOP タイと同期していません。

ユーザーの処置: アプリケーションを訂正してください。

C9C257CB

説明: RMI/IIOP スタブをロードしようとしているときにエラーが発生しました。

ユーザーの処置: サーバーの SYSOUT (システム出力ストリーム) で Java スタック・トレースを検索してください。問題が特定できない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C257CA

説明: RMI/IIOP タイをロードしようとしているときにエラーが発生しました。

ユーザーの処置: サーバーの SYSOUT (システム出力ストリーム) で Java スタック・トレースを検索してください。問題が特定できない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。

C9C257C9

説明: コールバック・オブジェクトのディスパッチ要求が、ターゲット・オブジェクトがサポートしていないメソッド名とともに受信されました。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C257C8

説明: コールバック・オブジェクトのディスパッチ要求が失敗しました。ターゲットのコールバック・オブジェクトがクライアント ORB に登録されていないことが原因です。

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C257AF

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C257AE

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C257AD

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C257AC

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C257AB

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2579F

説明: J2EE 要求の実行中に、J2EE サーバーで予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: サーバーの SYSOUT (システム出力ストリーム) で Java スタック・トレースを検索して、実際に発生した例外を判別してください。

C9C25790

説明: J2EE 要求の結果として、`java.rmi.RemoteException` が戻されています。実際の `RemoteException` は、GIOP 応答の不明例外サービス・コンテキスト内に組み込まれています。これは、クライアントによって受信される組み込み例外です。

ユーザーの処置: ありません。これはエラーではありません。

C9C25780

説明: `com.ibm.ws390.rmi.corba.ClientDelegate` クラスを Java によって検出できませんでした。

ユーザーの処置: WebSphere/390 EE ランタイム jar ファイルが失敗したプロセスの `CLASSPATH` にあることを確認してください。

C9C2C601

説明: `register_sync` のシンクロナイザー・ポインターが `NULL` です。

ユーザーの処置: 実行可能なアクションはありません。`CORBA::BAD_PARAM` 例外が発生します。

C9C2C602

説明: `extract_gitd` の `TransactionService Context` が `NULL` です。

ユーザーの処置: 実行可能なアクションはありません。`CORBA::BAD_PARAM` 例外が発生します。

C9C2C603

説明: `register_sync` のシンクロナイザー・ポインターが `NULL` です。

ユーザーの処置: 実行可能なアクションはありません。`CORBA::BAD_PARAM` 例外が発生します。

C9C2C604

説明: 無効なリソース・パラメーターによってリソースを登録することができません。

ユーザーの処置: アプリケーション・エラーがないか調べてください。

C9C2C605

説明: 無効なリソース・パラメーターによって同期 (SYN) オブジェクトを登録することができません。

ユーザーの処置: アプリケーション・エラーがないか調べてください。

C9C2C606

説明: `is_same_transaction`、`is_ancestor_transaction`、`is_descendant_transaction`、または `is_related_transaction` メソッドで無効なコーディネーター参照が渡されました。

ユーザーの処置: アプリケーション・エラーがないか調べてください。

C9C2C607

説明: `is_same_transaction`、`is_ancestor_transaction`、`is_descendant_transaction`、または `is_related_transaction` メソッドで無効な伝搬コンテキストにアクセスしました。

ユーザーの処置: アプリケーション・エラーがないか調べてください。

C9C2E601

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

エラー (マイナー) コード

C9C2E602

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2E603

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2E604

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2E605

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2E606

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2E607

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2E608

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2E609

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2E60A

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2E60B

説明: IBM 内部使用のみ

ユーザーの処置: 弊社営業担当員に連絡してください。

C9C2E60C

説明: addControl でトランザクション・サービス・コンテキスト・ヒープにメモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: サービス・コンテキストの内容を妥当性検査してください。

C9C2E60D

説明: トランザクション・サービス・トランザクション名印刷バッファーにメモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: 実行可能なアクションはありません。

C9C2E60E

説明: トランザクション・サービス・トランザクション情報呼び出し用にメモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: 実行可能なアクションはありません。

C9C2E60F

説明: トランザクション・サービス初期化用にメモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: 実行可能なアクションはありません。

C9C2E610

説明: OTS 初期化中に、ブローカー同期 (SYN) オブジェクトにストレージを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: 実行可能なアクションはありません。

C9C2E613

説明: ヒープにメモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: 実行可能なアクションはありません。

C9C2E614

説明: ヒープにメモリーを割り振ることができませんでした。

ユーザーの処置: 実行可能なアクションはありません。

C9C2E802

説明: サーバー・インスタンスの開始時に開始コマンド・パラメーター用にストレージを獲得できませんでした。

ユーザーの処置: システム管理アドレス・スペースに十分なストレージがあることを確認してください。

エラー (マイナー) コード

第14章 異常終了 (理由) コード

この章では、WebSphere for z/OS の異常終了理由コードについて説明します。

注: この章に記載されていない異常終了 (理由) コードは、必ず弊社営業担当員に直接連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
CC3	00010001	BBORFRR ルーチンが誤ったアドレスにロードされました。このルーチンは共通ルーチンです。	製品が誤った方法で構築またはインストールされています。BBORFRR は Component Broker シリーズ・デーモンのアドレス・スペースの STEPLIB/JOBLIB 内ではなく、LPA 内に存在しなければなりません。
CC3	00020001	BBORLEXT ルーチンが誤ったアドレスにロードされました。このルーチンは共通ルーチンです。	製品が誤った方法で構築またはインストールされています。BBORLEXT は Component Broker シリーズ・デーモンのアドレス・スペースの STEPLIB/JOBLIB 内ではなく、LPA 内に存在しなければなりません。
CC3	00030001	BBORADMP ルーチンが誤ったアドレスにロードされました。このルーチンは共通ルーチンです。	製品が誤った方法で構築またはインストールされています。BBORADMP は Component Broker シリーズ・デーモンのアドレス・スペースの STEPLIB/JOBLIB 内ではなく、LPA 内に存在しなければなりません。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
CC3	00060001	BBORTSRB ルーチンが誤ったアドレスにロードされています。このルーチンは共通ルーチンです。	製品が誤った方法で構築またはインストールされています。BBORTSRB は Component Broker シリーズ・デーモンのアドレス・スペースの STEPLIB/JOBLIB 内ではなく、LPA 内に存在しなければなりません。
CC3	00070001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	00070002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	00070003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	000C0003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	000C0005	<p>次のいずれかが原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • MVS コンソール・コマンドの Modify Cancel または「システム管理 EUI 再始動なしのキャンセル (Systems Management EUI Cancel NoRestart)」オプションによって、Component Broker サーバーが終了するよう指示された。 • Modify Cancel コマンドによって、このシステムのデーモンが終了するよう指示された (その結果、このデーモンがこのシステムのすべての Component Broker サーバーを停止した)。 <p>この異常終了はサーバーのアドレス・スペースを終了させるために使用されます。</p>	なし

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
CC3	000C0006	<p>次のいずれかが原因となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • MVS コンソール・コマンド Modify Cancel, ARMRESTART または「システム管理 EUI キャンセル (Systems Management EUI Cancel)」オプションによって、Component Broker サーバーが終了するよう指示された。 • Modify Cancel, ARMRESTART コマンドによって、このシステムのデーモンが終了するよう指示された (その結果、このデーモンがこのシステムのすべての Component Broker サーバーを停止した)。 <p>この異常終了はサーバーのアドレス・スペースを終了させるために使用されます。</p>	なし
CC3	01010001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	02040003	Component Broker デーモンで METHAUTH が呼び出されましたが、Component Broker デーモンはまだ初期化を完了していません。	Component Broker デーモンの初期化が完了してから再度試行してください。
CC3	03010001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	03010002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	040E0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	040E0002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	040E0003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
CC3	040E0004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	040E0005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	040E0006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	040E0007	BBOOSCHD ルーチンが誤ったアドレスにロードされています。このルーチンは共通ルーチンです。	製品が誤った方法で構築またはインストールされています。 BBOOSCHD は、Component Broker シリーズ・デーモンのアドレス・スペースの STEPLIB/JOBLIB 内ではなく、LPA 内に存在しなければなりません。
CC3	04100007	BBOOSRBF ルーチンが誤ったアドレスにロードされています。このルーチンは共通ルーチンです。	製品が誤った方法で構築またはインストールされています。 BBOOSRBF は、Component Broker シリーズ・デーモンのアドレス・スペースの STEPLIB/JOBLIB 内ではなく、LPA 内に存在しなければなりません。
CC3	06030001	BBOTETCD ルーチンが誤ったアドレスにロードされています。このルーチンは共通ルーチンです。	製品が誤った方法で構築またはインストールされています。 BBOTETCD は、Component Broker シリーズ・デーモンのアドレス・スペースの STEPLIB/JOBLIB 内ではなく、LPA 内に存在しなければなりません。
CC3	08010001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	08010002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	08010003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
CC3	08010004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	09010001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	09010002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A020001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A020004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A040001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A040005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A050001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A050002	「ロックされた操作の実行」がインストールされていません。	「ロックされた操作の実行」がインストールされているシステム上のデーモン・アドレス・スペースを始動します。ルーチン: bbodasrp.plx -- 0A06xxxx
CC3	0A060001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A060002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A060003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A060004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A060005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A060006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A060007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
CC3	0A070001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A08000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A08000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A08000C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A08000D	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A08000E	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A08000F	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080010	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080011	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
CC3	0A080012	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080013	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080014	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080015	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080016	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080017	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080018	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A080019	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A08001A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A08001B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A08001C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A090001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A090002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A090003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A090004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A090005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A090006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A090007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
CC3	0A090008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A090009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A0A0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A0A0002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
CC3	0A0A0003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	00040001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	00040002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	00040003	BBORARM ルーチンの呼び出しで指定された登録サーバー名の長さが無効です。	呼び出し元から ARM 登録用に渡されたサーバー名は最大長を超えています。登録するサーバー名のストリングを短くして再試行してください。
DC3	00050001	呼び出し元には要求された関数を呼び出す許可が与えられていません。サービスの呼び出し元は無効です。	アプリケーションで標準インターフェースを使用していることを確認します。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	00050002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	00050003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	00050004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	00050005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	00050006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	00080001	デーモンの終了により、制御領域が終了しました。デーモン resmgr の処理が制御領域を異常終了させました。	なし
DC3	00080002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	00080003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	00080004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	00090001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	000C0002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	000C0005	次のいずれかが原因となっています。 <ul style="list-style-type: none"> • MVS コンソール・コマンドの Modify Cancel または「システム管理 EUI 再始動なしのキャンセル (Systems Management EUI Cancel NoRestart)」オプションによって、Component Broker サーバーが終了するよう指示された。 • Modify Cancel コマンドによって、このシステムのデーモンが終了するよう指示された (その結果、このデーモンがこのシステムのすべての Component Broker サーバーを停止した)。 <p>この異常終了はサーバーのアドレス・スペースを終了させるために使用されます。</p>	なし

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	000C0006	<p>次のいずれかが原因となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • MVS コンソール・コマンド Modify Cancel, ARMRESTART または「システム管理 EUI キャンセル (Systems Management EUI Cancel)」オプションによって、Component Broker サーバーが終了するよう指示された。 • Modify Cancel, ARMRESTART コマンドによって、このシステムのデーモンが終了するよう指示された (その結果、このデーモンがこのシステムのすべての Component Broker サーバーを停止した)。 <p>この異常終了はサーバーのアドレス・スペースを終了させるために使用されます。</p>	なし
DC3	000D0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02030001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02030002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02030003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02030004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02030005	システムに下位レベルのセキュリティ製品がインストールされているのが、Component Broker によって検出されました。	製品が誤った方法で構築またはインストールされています。Component Broker シリーズで使用するセキュリティ製品は、RACF リリース 2.4 以上と互換でなければなりません。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	02040001	制御領域で METHAUTH が呼び出されましたが、その制御領域は初期化を完了していません。	制御領域が初期化を完了するまで待ち、再試行してください。
DC3	02040004	Component Broker 環境の外で METHAUTH が呼び出されましたが、これはサポートされていません。	METHAUTH は Component Broker 環境の外では実行できません。
DC3	02040005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02040006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02040007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02040008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02040009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0204000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0204000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02050001	METHAUTH が呼び出されましたが、呼び出し元は Component Broker の承認された呼び出し元ではありません。	METHAUTH の呼び出し前に、必ず ORB_init、BOA_init、および IMPL_is_ready を呼び出す必要があります。
DC3	02050002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02050003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02050004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02050005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02050006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	02050007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02050008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02050009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0205000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0205000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0205000C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0205000D	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0205000E	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0205000F	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02050010	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	0206000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0206000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0206000C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0206000D	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0206000E	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0206000F	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060010	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060011	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060012	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060013	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060014	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060015	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060016	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060017	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02060019	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02070001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02070002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02070003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	02070004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02070005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02070006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02070007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02070008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02070009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0207000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0207000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0207000C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0207000D	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0207000E	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0207000F	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02080003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02080004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02080005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02080006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02080007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	02080008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	02090001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03020001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03020002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03020003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03020004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03020005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03020006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03020007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03020008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03020009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0302000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03030001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03030002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03030003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03040001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03040002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03040003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03040004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	03040005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03040006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	03040007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04010001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04010002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04010003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04010004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04010005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04010006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04010007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04010008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04020005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04030001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04030002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04030003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04030004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	0406002A	Component Broker デーモンが活動していないことが検出されたため、制御領域の処理は停止されました。	Component Broker サーバーが活動するには Component Broker デーモンが必要です。 Component Broker デーモンが終了すると、Component Broker サーバーはいずれも実行を打ち切られます。この異常終了は、サーバーの処理中にデーモンが終了したときに発生する場合があります。作動可能になったら、デーモンを再始動します。
DC3	0406002B	Component Broker デーモンが活動していないことが検出されたため、制御領域の処理は停止されました。	Component Broker サーバーが活動するには Component Broker デーモンが必要です。 Component Broker デーモンが終了すると、Component Broker サーバーはいずれも実行を打ち切られます。この異常終了は、サーバーの処理中にデーモンが終了したときに発生する場合があります。作動可能になったら、デーモンを再始動します。
DC3	04090001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04090004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04090005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04090006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04090007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	040A0004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	040B0006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	040C0004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	040C0005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	040F0001	RRS トークンが原因でサービス IEANTRT への呼び出しに失敗しました。IEANTRT からの戻りコードがレジスター 0 にあります。	「MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」で IEANTRT サービスの戻りコードを調べます。問題が解決しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	040F0002	BBOOSCHD および IEAMSCHD のスケジュールの呼び出しに失敗しました。BBOOSCHD からの戻りコードがレジスター 0 にあります。BBOOSCHD の理由コードがレジスター 2 にあります。	「MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」で IEAMSCHD サービスの戻りコードを調べます。問題が解決しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04120001	BBOOSCHD および IEAMSCHD のスケジュールの呼び出しに失敗しました。BBOOSCHD からの戻りコードがレジスター 0 にあります。BBOOSCHD の理由コードがレジスター 2 にあります。	「MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」で IEAMSCHD サービスの戻りコードを調べます。問題が解決しない場合は、技術担当者または弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04160001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04160003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04170001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04180001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04180002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04180003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	04180004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04180005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04180006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04180007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04180008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04180009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0418000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0418000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04190001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04190002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04190003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04190004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04190005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04190006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	041A000C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	041A000D	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	041A000E	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	041A000F	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	041A0010	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	041A0011	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	041A0012	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	041B0001	Component Broker デーモンが活動していないことが検出されたため、制御領域の処理は停止されました。	Component Broker サーバーが活動するには Component Broker デーモンが必要です。 Component Broker デーモンが終了すると、Component Broker サーバーはいずれも実行を打ち切られます。この異常終了は、サーバーの処理中にデーモンが終了したときに発生する場合があります。作動可能になったら、デーモンを再始動します。
DC3	041B0002	Component Broker デーモンが活動していないことが検出されたため、制御領域の処理は停止されました。	Component Broker サーバーが活動するには Component Broker デーモンが必要です。 Component Broker デーモンが終了すると、Component Broker サーバーはいずれも実行を打ち切られます。この異常終了は、サーバーの処理中にデーモンが終了したときに発生する場合があります。作動可能になったら、デーモンを再始動します。ルーチン: bboosbnd.plx -- 041Cxxxx

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	041C0001	Component Broker デーモンが活動していないことが検出されたため、制御領域の処理は停止されました。	Component Broker サーバーが活動するには Component Broker デーモンが必要です。 Component Broker デーモンが終了すると、Component Broker サーバーはいずれも実行を打ち切られます。この異常終了は、サーバーの処理中にデーモンが終了したときに発生する場合があります。作動可能になったら、デーモンを再始動します。ルーチン: bboosubd.plx -- 041Dxxxx
DC3	041D0001	Component Broker デーモンが活動していないことが検出されたため、制御領域の処理は停止されました。	Component Broker サーバーが活動するには Component Broker デーモンが必要です。 Component Broker デーモンが終了すると、Component Broker サーバーはいずれも実行を打ち切られます。この異常終了は、サーバーの処理中にデーモンが終了したときに発生する場合があります。作動可能になったら、デーモンを再始動します。ルーチン: bboosmfp.plx -- 041Exxxx
DC3	041E0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	041E0002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	041E0003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	041E0004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	041E0005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	041F0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	041F0002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	041F0003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04210001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04210002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04210003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04210004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04220006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04220007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04220008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	04220009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0422000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0422000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0422000F	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	06010001	呼び出し元には要求された関数を呼び出す許可が与えられていません。サービスの呼び出し元は無効です。	アプリケーションで標準インターフェースを使用していることを確認します。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	06010002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	06010003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	06010004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	06020001	呼び出し元には要求された関数を呼び出す許可が与えられていません。サービスの呼び出し元は無効です。	アプリケーションで標準インターフェースを使用していることを確認します。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	08020001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09030004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09040001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09040002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09040003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09040004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09040008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09050001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09050002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09050003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09050004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09050005	呼び出し元には要求された関数を呼び出す許可が与えられていません。サービスの呼び出し元は無効です。	アプリケーションで標準インターフェースを使用していることを確認します。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09060001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09060002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	09060003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09060004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09060005	呼び出し元には要求された関数を呼び出す許可が与えられていません。サービスの呼び出し元は無効です。	アプリケーションで標準インターフェースを使用していることを確認します。問題が解決しない場合は、弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	09060006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0A010001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0A010002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0A010003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0A010004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0A010005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0A020002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0A020003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0A030001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0A030002	サーバーを登録するための呼び出しが行われましたが、PC テーブルが存在しません。	デーモンの初期化が完了するまでサーバー制御領域を始動しないでください。
DC3	0A030003	サーバーを登録するための呼び出しが行われましたが、Component Broker のグローバル・ベクトル・テーブルが存在しません。	デーモンの初期化が完了するまでサーバー制御領域を始動しないでください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
DC3	0A040002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0A040003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
DC3	0A040004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	000A0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	000A0002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	000A0003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	000A0004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	000B0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	000B0002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	000B0003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	000B0004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	000C0001	エラーによって、サーバー領域がこの異常終了コードで終了しました。	Component Broker のエラー・ログをチェックして、このエラーを誘発した可能性がある先行するエラーに関する情報がないか調べてください。
EC3	000C0004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	02010001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	02010002	サーバーがサーバー・クラスのメンバーとして認証されていません。	そのサーバーのユーザー ID をサーバー・セキュリティー・クラスに追加します。
EC3	02010003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
EC3	02010004	デーモンが初期化されていません。	デーモンの初期化前にはサーバー領域を始動しないでください。
EC3	02010005	RACF Somdobjs が活動していません。	RACF Somdobjs クラスを活性化するように、システム管理者に連絡します。
EC3	02020001	デーモンの始動前にサーバーが手動で始動されています。	Component Broker デーモンのアドレス・スペースを開始します。
EC3	02040002	サーバー領域で METHAUTH が呼び出されましたが、そのサーバー領域は初期化を完了していません。	サーバー領域が初期化を完了するまで待ち、再試行してください。
EC3	02060001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	02060018	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04020001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04020002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04020003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04020004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04020006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04020007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04020008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04020009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0402000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
EC3	0402000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0402000C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04040001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04040002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04040006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04040007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0404000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0404000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04050001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04050002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04050004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04050008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04050009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0405000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0405000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0405000C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0405000D	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0405000E	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
EC3	04060001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0406000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0406000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0406000C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0406000D	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0406000E	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0406000F	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060010	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060011	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060012	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
EC3	04060013	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060014	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060015	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060016	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060017	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060018	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060019	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0406001A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0406001B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0406001C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0406001D	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0406001E	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0406001F	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060020	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060021	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060022	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060023	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060024	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
EC3	04060025	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060026	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060027	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060028	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04060029	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0407000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0407000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0407000C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0407000D	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
EC3	0407000E	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0407000F	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070010	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070011	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070012	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070013	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04070014	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04080001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04080002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04080003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04080005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04080006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04080007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04080008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04080009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0408000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04090008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	040A0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
EC3	040A0002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	040A0003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	040B0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	040B0002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	040B0003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	040B0004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	040B0005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	040C0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	040C0002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	040C0003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	040D0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04110001	BBOOSRQA ルーチンが誤ったアドレスにロードされています。このルーチンは共通ルーチンです。	製品が誤った方法で構築またはインストールされています。BBOOSRQA は、Component Broker シリーズ・デーモンのアドレス・スペースの STEPLIB/JOBLIB 内ではなく、LPA 内に存在しなければなりません。
EC3	04110002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
EC3	04130001	WLM キューまたは OTS のタイムアウトが発生したため、制御領域からこのサーバー領域に対して ABTERM が発行されました。ディスパッチされているコードが緊密なループに入っていた可能性があります。	トランザクションがタイムアウトになった場合は、タイムアウト値を上げてトランザクションを再試行します。ディスパッチされているメソッドがループに入っていた場合は、メソッドを修正して再試行します。
EC3	04140001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04140002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04140003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04140004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04140005	Component Broker デーモンが活動していないことが検出されたため、サーバー領域の処理は停止されました。	Component Broker サーバーが活動するには Component Broker デーモンが必要です。 Component Broker デーモンが終了すると、Component Broker サーバーはいずれも実行を打ち切られます。この異常終了は、サーバーの処理中にデーモンが終了したときに発生する場合があります。作動可能になったら、デーモンを再始動します。
EC3	04140006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04140007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04150001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04150002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04160002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
EC3	04160004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04160005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04160006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04160007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04160008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04160009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0416000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0416000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	041A0002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	041A0003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	041A0004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	041A0005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	041A0006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	041A0007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	041A0008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	041A0009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	041A000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	041A000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
EC3	041A0013	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04200001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04220001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04220002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04220003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04220004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04220005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0422000C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0422000D	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0422000E	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04230001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04230002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	04230003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	05010001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09020001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09020002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09020003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09030001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
EC3	09030002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09030003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09030005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09040005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09040006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09040007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09040009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0904000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0904000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0904000C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09050006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09060007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09070001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09070002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09070003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09070004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09070005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09070006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
EC3	09070007	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09070008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09070009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0907000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0907000C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0907000D	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0907000E	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	0907000F	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	09090001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090A0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090A0002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090B0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090B0003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090B0004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090B0005	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090B0006	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090B0008	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090B0009	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

異常終了 (理由) コード

表 11. Component Broker 異常終了コード (続き)

異常終了コード	異常終了理由	説明	推奨アクション
EC3	090B000A	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090B000B	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090B000C	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090B000D	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090C0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090C0003	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090C0004	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090D0001	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。
EC3	090D0002	IBM 内部使用のみ	弊社営業担当員に連絡してください。

付録A. VERBEXIT CBDATA サブコマンド -- WebSphere for z/OS データのフォーマット

注: このコマンドは、IBM サービス技術員に指示された場合に使用してください。

VERBEXIT は、インストール・システム提供または IBM 提供の動詞出口ルーチン呼び出して、ダンプ情報を表示するために使用する IPCS サブコマンドです。CBDATA 動詞名およびオプション・パラメーターを VERBEXIT サブコマンドに指定して、OS/390 の Application Server コンポーネントの診断データをフォーマットします。このコマンドを使用して、ダンプ・ストレージのブラウザ中にフォーマット済み制御ブロック情報を表示できます。フォーマット済み制御ブロックは容易に読み取ることができます。

ヒント: VERBEXIT サブコマンドの詳細は、「z/OS MVS 対話式問題管理システム (IPCS) コマンド (SA88-8566)」を参照してください。

VERBEXIT CBDATA サブコマンドのフォーマット

VERBEXIT CBDATA ['parameter [,parameter]...']

CBDATA は以下を表示します。

- Application Server グローバル制御ブロック
- Application Server アドレス・スペース制御ブロック (ASCB)
- 1 つの Application Server TCB のみを持つ Application Server アドレス・スペース制御ブロック (ASCB)
- ORB 制御ブロック情報

パラメーターの構文は以下のとおりです。

これらのパラメーターは、データ域のフォーマットに使用します。このパラメーターを省略した場合、デフォルトは GLOBAL です。

GLOBAL (デフォルト)

Application Server グローバル・ベクトル・データをフォーマットします。以下のフォーマット済み Application Server 制御ブロックを表示します。

- BGVT アドレス -- Application Server グローバル・ベクトル・テーブル
- ASR テーブルおよび ASR テーブル・エントリー -- アクティブ・サーバー・リポジトリ情報

VERBEXIT CBDATA サブコマンド -- Component Broker データのフォーマット

ASID(asid-number)

Application Server アドレス・スペース情報をフォーマットします。以下のフォーマット済み Application Server 制御ブロックを表示します。

- BACB -- Application Server アドレス・スペース制御ブロック
- BTRC,TBUFSET,TBUF -- Application Server コンポーネント・トレース制御ブロック
- BOAM,BOAMX -- Application Server BOA 制御ブロック
- ACRW キュー -- アプリケーション制御領域作業エレメント制御ブロック
- DAUE -- DB2 アクティブ・サーバー (ASR) テーブル
- BTCB キュー -- Application Server 制御情報

ASID(asid-number) BTCB(btc_b_address)

以下のフォーマット済み Application Server 制御ブロックおよび指定された BTCB を表示します。

- BACB -- Application Server アドレス・スペース制御ブロック
- BTRC,TBUFSET,TBUF -- Application Server コンポーネント・トレース制御ブロック
- BOAM,BOAMX -- Application Server BOA 制御ブロック
- ACRW キュー -- アプリケーション制御領域作業エレメント制御ブロック
- DAUE -- DB2 ASR テーブル
- BTCB -- Application Server TCB
- Application Server TCB の ORB 情報を表示

ASID(asid-number) ORB(orb_address)

タスクの ORB 情報をフォーマットします。ORB 情報を表示します。

付録B. 自動化対応メッセージ

表 12. 自動化に役立つメッセージ

BBOU0001I	BBOU0158E
BBOU0002I	BBOU0174E
BBOU0003E	BBOU0175E
BBOU0004I	BBOU0246I
BBOU0005I	BBOU0247E
BBOU0006E	BBOU0366E
BBOU0007I	BBOU0367E
BBOU0008I	BBOU0368E
BBOU0009E	BBOU0370E
BBOU0010I	BBOU0371E
BBOU0016I	BBOU0372E
BBOU0018E	BBOU0373E
BBOU0020I	BBOU0374E
BBOU0021I	BBOU0375E
BBOU0038W	BBOU0376E
BBOU0039E	BBOU0377W
BBOU0070W	BBOU0378W
BBOU0101W	BBOU0379E
BBOU0126I	BBOU0516E
BBOU0127E	

自動化対応メッセージ

付録C. 有効な WebSphere for z/OS エラー (マイナー) コードのコンポーネント範囲

表 13. 有効なエラー (マイナー) コードのコンポーネント範囲

範囲 (C9C2xxxx)	コンポーネント
0000-03FF	RAS
0400-07FF	OS/390 「ユーティリティ」 (ORB の一部)
0800-0BFF	COS
0C00-0FFF	通信
1000-13FF	ORB
1400-17FF	IM (インスタンス管理)
1800-1BFF	OTS (オブジェクト・トランザクション・サービス)
1C00-1FFF	Shasta ランタイム
2000-23FF	システム管理
2400-27FF	OS/390 サービス (ORB の一部)
2800-2BFF	デーモン (COMM の一部)
2C00-2FFF	イベント
3000-33FF	COS / 外部化
3400-37FF	COS / ライフ・サイクル
3800-3BFF	COS / ネーミング
3C00-3FFF	アイデンティティ (COS / 外部化の一部)
4000-43FF	COS / セキュリティー
4400-47FF	IR (インターフェース・リポジトリ)
4800-4BFF	照会
4C00-4FFF	アダプター
5000-53FF	コレクション
5400-57FF	JAVA_ORB
5800-5BFF	J2EE

付録D. WebSphere for z/OS エラー・ダンプおよびクリーンアップ・インターフェース

注: この付録には、プログラミング・インターフェースおよび関連ガイダンス情報を収録しています。

WebSphere for z/OS エラー・ダンプおよびクリーンアップ (BBORLEXT) インターフェースは、リカバリー環境で WebSphere for z/OS を呼び出してダンプを生成し、WebSphere for z/OS リソースをクリーンアップする機能です。

このインターフェースは次の処理を行います。

- 障害が発生した WebSphere for z/OS コンポーネントの関数と DLL 名を SDWA に保管する。
- 障害時環境に関連する場合は、SDUMP を発行するかどうかを決定する。
- WebSphere for z/OS の内部構造と接続をクリーンアップする。

プログラム要件

このインターフェースは、WebSphere for z/OS デーモン、制御領域、またはサーバー領域内から呼び出す必要があります。呼び出し元がどのリカバリー環境 (ESTAE または FRR ルーチンなど) に存在するかについての制約はありません。

一般情報

インターフェース:	BALR - BBORLEXT 間
ルーチンのアドレス:	(ECVT+'234'x)+'20'x
アドレス・モード:	AMODE 31、RMODE 任意
状態:	問題プログラムの許可状態、タスク・モード
クロス・メモリー・モード:	PASN=HASN=SASN (非クロス・メモリー)
戻りコード:	戻りコードなし
機能:	さまざまな WebSphere for z/OS リソースのクリーンアップ、および場合によっては現在のアドレス・スペースの SVC ダンプの発行

入力レジスター情報

レジスターの内容は以下のとおりです。

1	SDWA のアドレスを格納
14	戻りアドレスを格納
15	BBORLEXT のエントリー・ポイント・アドレスを格納

出力レジスター情報

制御が呼び出し元に戻ったときのレジスターの内容は以下のとおりです。

0-1	システムが作業レジスターとして使用
2-14	変更なし
15	システムが作業レジスターとして使用

注: 一部の呼び出し元は、サービスの発行の前と後でレジスターの内容が同じであることを必要とします。呼び出し元が依存するレジスターの内容をシステムが変更した場合、呼び出し元はサービスの発行前に変更されたレジスターの内容を保管し、システムから制御が戻った後にその内容を復元する必要があります。

注: X22 異常終了コード、および 0D6、052、067、CC3、DC3 異常終了からの一定の理由コードに対しては、ダンプは生成されません。その他にも、ダンプが生成されないエラー状態があります。

例

例
アセンブラーでこのルーチンを呼び出す例を以下に示します。

LA 1,SDWA	Load SDWA@ in Reg 1
L 15,(0,16)	Load CVT address
L 15,140(,15)	Load ECVT address
L 15,564(,15)	Load address of WebSphere for z/OS structure
L 15,32(,15)	Load address of WebSphere for z/OS routine
BALR 14,15	Invoke WebSphere for z/OS routine

付録E. 特記事項

本書において、日本では発表されていない IBM 製品 (機械およびプログラム)、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのような IBM 製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で IBM ライセンス・プログラムまたは他の IBM 製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM 製品、プログラム、またはサービスに代えて、IBM の有効な知的所有権またはその他の法的に保護された権利を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、他社の製品と組み合わせた場合の操作の評価と検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書で解説されている主題について特許権 (特許出願を含む)、商標権、または著作権を所有している場合があります。本書の提供は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。

〒106-0032 東京都港区六本木 3 丁目 2-31
AP 事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

本書に対して、周期的に変更が行われ、これらの変更は、本書の次版に組み込まれます。IBM は、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するもので

特記事項

はありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとして扱います。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
Mail Station P300
2455 South Road
Poughkeepsie, NY 12601-5400
USA

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定値が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。また、IBM 以外の製品に関するパフォーマンスの正確性、互換性、またはその他の要求は確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があり、単に目標を示しているものです。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書で使用している例について

本書で使用している例は IBM Corporation が作成した単なるサンプルです。これらの例は、標準的な製品や IBM 製品の一部ではなく、単に、ユーザーのアプリケーション開発を支援する目的で提供されています。例は、「現状のまま」で提供されます。IBM は、これらの例の機能およびパフォーマンスに関して、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。IBM は、これらの例を使用することによって生じたいかなる損害に対しても、たとえば、そのような損害の可能性を通知している場合でも、法律上の責任は負いません。

これらの例は、上記の免責条項をそのまま適用することを条件として、配布し、複製し、改変し、他のソフトウェアに取り込むことができます。

プログラミング・インターフェース情報

本書が提供する大部分の情報は、WebSphere for z/OS のプログラミング・インターフェースとして使用することを目的とするものではありません。

本書には、WebSphere for z/OS のサービスを受けるプログラムをカスタマーが作成するためのプログラミング・インターフェース情報も含まれています。この情報が含まれている章の冒頭には、その旨記述しています。

商標

以下は、米国および他の国における IBM Corporation の商標または登録商標です。

CICS	MVS
DB2	OS/390
IBM	RACF
IBM.COM	S/390
IMS	VTAM
IMS/ESA	WebSphere
Language Environment	z/OS

Java およびすべての Java 関連の商標は、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

特記事項

Microsoft、ActiveX、Visual Basic、Visual C++、Windows、Windows NT、および Windows ロゴは、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。

用語集

本書で使用している用語については、次の用語集を参照してください。

- *WebSphere Application Server* エンタープライズ版 *Component Broker* 用語集 (SD88-7380)。次の URL からご覧になれます。

<http://www.ibm.com/jp/software/websphere/appserv/library.html>

- Sun Microsystems Glossary of Java Technology-Related Terms。次の URL からご覧になれます。

<http://java.sun.com/docs/glossary.html>

探している用語が見つからない場合は、*IBM Glossary of Computing Terms* を調べてください。これは、次の URL からご覧になれます。

<http://www.ibm.com/ibm/terminology/>

また、次の Sun Microsystems の Web サイトもご覧ください。

<http://www.sun.com/>



プログラム番号: 5655-F31

Printed in Japan

GA88-8655-00



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12